

CICS Transaction Server for z/OS



CICSplex SM メッセージおよびコード

バージョン 5 リリース 5

CICS Transaction Server for z/OS



CICSplex SM メッセージおよびコード

バージョン 5 リリース 5

注記

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、 441 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM CICS Transaction Server for z/OS バージョン 5 リリース 5 (製品番号 5655-Y04) および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： CICS Transaction Server for z/OS
CICSplex SM Messages and Codes
Version 5 Release 5

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 1999, 2018.

目次

PDF について	v
----------	---

第 1 章 CICSplex SM メッセージ

メッセージ ID	1
アクション・コードおよび重大度コード	2
メッセージの説明の形式	2

第 2 章 CICSplex SM メッセージ

メッセージ ID	5
アクション・コードおよび重大度コード	6
メッセージの説明の形式	6
EYUARnnnn メッセージ	7
EYUBInnnn メッセージ	12
EYUBMnnnn メッセージ	14
EYUBNnnnn メッセージ	33
EYUBUnnnn メッセージ	44
EYUCCnnnn メッセージ	46
EYUCInnnn メッセージ	47
EYUCLnnnn メッセージ	53
EYUCPnnnn メッセージ	70
EYUCRnnnn メッセージ	84
EYUCSnnnn メッセージ	87
EYUCTnnnn メッセージ	95
EYUCWnnnn メッセージ	97
EYUHIInnnn メッセージ	101
EYUMMnnnn メッセージ	102
EYUNLnnnn メッセージ	114
EYUNXnnnn メッセージ	138
EYUPEnnnn メッセージ	149
EYUPInnnn メッセージ	152
EYUPMnnnn メッセージ	154
EYUPNnnnn メッセージ	160
EYUPPnnnn メッセージ	170
EYUPRnnnn メッセージ	175
EYUPSnnnn メッセージ	176
EYUPTnnnn メッセージ	179

EYUTIInnnn メッセージ	180
EYUTSnnnn メッセージ	189
EYUTTnnnn メッセージ	204
EYUVCnnnn メッセージ	204
EYUVEnnnn メッセージ	230
EYUVHnnnn メッセージ	243
EYUVSnnnn メッセージ	244
EYUWGnnnn メッセージ	267
EYUWInnnn メッセージ	270
EYUWMnnnn メッセージ	278
EYUWRnnnn メッセージ	294
EYUWTnnnn メッセージ	299
EYUXCnnnn メッセージ	301
EYUXDnnnn メッセージ	309
EYUXEnnnn メッセージ	345
EYUXLnnnn メッセージ	355
EYUXMnnnn メッセージ	386
EYUXQnnnn メッセージ	390
EYUXSnnnn メッセージ	391
EYUXUnnnn メッセージ	400
EYUXZnnnn メッセージ	427
COD0 メッセージおよび CODB メッセージ	433
COD0 メッセージ	433
CODB メッセージ	434
CMAS シャットダウン・トランザクション・メ ッセージ	436

第 3 章 CICSplex SM 異常終了コード およびダンプ・コード

CICS 異常終了コードおよびダンプ・コード	437
Uxxxx 異常終了コード	439
システム・ダンプ・コード	439

特記事項

索引

PDF について

この PDF は、CICS Transaction Server for z/OS の CICSplex[®]SM エlement によって発行されるすべてのメッセージのリファレンスです。

本書で使用される用語および表記について詳しくは、IBM Knowledge Center の CICS 資料で使用されている表記規則および用語を参照してください。

この PDF の日付

この PDF は、2018 年 12 月 14 日に作成されました。

第 1 章 CICSplex SM メッセージ

CICSplex® SM では、オペレーター・メッセージ、Web ユーザー・インターフェース・メッセージ、およびバッチ・レポート・メッセージが作成されます。これらのメッセージはコンソールまたはジョブ・ログに出力されます。または、Web ユーザー・インターフェースに表示することもできます。

CICSplex SM メッセージはコンポーネント別にリストされています。メッセージごとに、説明、システム応答、および該当する場合にはメッセージを解決するために実行できる処置が記載されています。メッセージの書き込み先や、メッセージを発行した可能性のあるモジュールの名前も確認できます。

コンソールに発行されるすべてのメッセージの先頭には、日付、時刻、およびメッセージの対象となる CMAS または MAS のアプリケーション ID が付加されます。多くのメッセージでは、追加の診断情報を提供するトレース・レコードが同時に発行されます。CMAS および MAS のトレース・レコードは、CICS® ユーザー・トレース・レコードとして CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。CICSplex SM トレース機能について詳しくは、Using trace in CICSplex SM を参照してください。

メッセージ ID

CICSplex SM メッセージは EYU で始まり、その後に 2 文字のコンポーネント ID と 4 桁のメッセージ番号が続きます。

EYU は、IBM が CICSplex SM モジュールに割り当てた ID です。コンポーネント ID は、メッセージを発行したコンポーネントを示します。各コンポーネント ID と対応するコンポーネントのリストを次の表に示します。

表 1. EYU メッセージ ID とそのコンポーネント

接頭部	コンポーネント	場所
EYUAR	アプリケーション・プログラミング・インターフェース (REXX)	
EYUBx	ビジネス・アプリケーション・サービス (BAS)	
EYUCx	通信	
EYUMM	モニター・サービス	
EYUNx	管理アプリケーション・システム (MAS)	
EYUPx	リアルタイム分析	
EYUTx	トポロジー・サービス	
EYUWx	ワークロード・マネージャー	
EYUXC	データ・キャッシュ・マネージャー	
EYUXD	データ・リポジトリ	
EYUXE	環境サービス・システム・サービス (ESSS)	
EYUXL	カーネル・リンケージ	
EYUXM	メッセージ・サービス	
EYUXQ	キュー・マネージャー	
EYUXS	共通サービス	
EYUXU	バッチ・リポジトリ機能	

表 1. EYU メッセージ ID とそのコンポーネント (続き)

接頭部	コンポーネント	場所
EYUXZ	トレース・サービス	

アクション・コードおよび重大度コード

メッセージ ID の後には、メッセージに対して必要な応答のタイプを示すアクション・コードまたは重大度コード (EYUCI0102W など) が続きます。

使用されるアクション・コードおよび重大度コードは以下のとおりです。

- A** 即時アクションが必要です。
- D** 即時決定が必要です。
- E** エラー。何らかの問題が発生しました。CICSplex SM 処理を続行する前に、ユーザーによる何らかの処置が必要な場合があります。
- I** 通知のみ。処置は必要ありません。
- S** 重大エラー。何らかの重大な問題が発生しました。訂正処置が実行されるまで、CICSplex SM 処理は中断されます。
- U** リカバリー不能エラー。CICSplex SM 処理は終了します。
- W** 警告。何らかの問題が発生した可能性があります。CICSplex SM 処理は続行されます。

メッセージの説明の形式

CICSplex SM のメッセージの説明には、メッセージが発生した原因、システムが実行したアクション、および該当する場合にはユーザーが実行できる訂正処置を説明する標準形式があります。

各メッセージの説明は、以下のセクションで構成されています。

メッセージ ID

ID は EYUccnnnn 形式です。cc はコンポーネント、nnnn はメッセージ番号です。

メッセージ・テキスト

メッセージ・テキストは、単語と挿入変数で構成されます。

説明 説明では、メッセージが出される原因となった、またはメッセージが出された後のイベントを説明します。

システム処置

システム処置では、システムがどのように応答するかを説明します。

ユーザー応答

ユーザー応答では、問題を修正するために必要な処置について説明します (存在する場合)。通知メッセージと一部の警告メッセージでは、処置は不要です。

宛先 宛先は、メッセージの送信先を示します。メッセージは以下の 1 つ以上の宛先に送信されます。

- コンソール (CICS に接続している特定のタイプの端末)
- CICS 端末
- EYULOG
- ジョブ・ログ
- SYSOUT

モジュール

メッセージが送信される原因となった 1 つ以上のモジュールの名前。これは、必ずしもメッセージを書き込むためにマクロを発行したモジュールとは限りません。

第 2 章 CICSplex SM メッセージ

CICSplex SM では、オペレーター・メッセージ、Web ユーザー・インターフェース・メッセージ、およびバッチ・レポート・メッセージが作成されます。これらのメッセージはコンソールまたはジョブ・ログに出力されます。または、Web ユーザー・インターフェースに表示することもできます。

CICSplex SM メッセージはコンポーネント別にリストされています。メッセージごとに、説明、システム応答、および該当する場合にはメッセージを解決するために実行できる処置が記載されています。メッセージの書き込み先や、メッセージを発行した可能性のあるモジュールの名前も確認できます。

コンソールに発行されるすべてのメッセージの先頭には、日付、時刻、およびメッセージの対象となる CMAS または MAS のアプリケーション ID が付加されます。多くのメッセージでは、追加の診断情報を提供するトレース・レコードが同時に発行されます。CMAS および MAS のトレース・レコードは、CICS ユーザー・トレース・レコードとして CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。CICSplex SM トレース機能について詳しくは、Using trace in CICSplex SMを参照してください。

メッセージ ID

CICSplex SM メッセージは EYU で始まり、その後に 2 文字のコンポーネント ID と 4 桁のメッセージ番号が続きます。

EYU は、IBM が CICSplex SM モジュールに割り当てた ID です。コンポーネント ID は、メッセージを発行したコンポーネントを示します。各コンポーネント ID と対応するコンポーネントのリストを次の表に示します。

表 2. EYU メッセージ ID とそのコンポーネント

接頭部	コンポーネント	場所
EYUAR	アプリケーション・プログラミング・インターフェース (REXX)	
EYUBx	ビジネス・アプリケーション・サービス (BAS)	
EYUCx	通信	
EYUMM	モニター・サービス	
EYUNx	管理アプリケーション・システム (MAS)	
EYUPx	リアルタイム分析	
EYUTx	トポロジー・サービス	
EYUWx	ワークロード・マネージャー	
EYUXC	データ・キャッシュ・マネージャー	
EYUXD	データ・リポジトリ	
EYUXE	環境サービス・システム・サービス (ESSS)	
EYUXL	カーネル・リンケージ	
EYUXM	メッセージ・サービス	
EYUXQ	キュー・マネージャー	
EYUXS	共通サービス	
EYUXU	バッチ・リポジトリ機能	

表 2. EYU メッセージ ID とそのコンポーネント (続き)

接頭部	コンポーネント	場所
EYUXZ	トレース・サービス	

アクション・コードおよび重大度コード

メッセージ ID の後には、メッセージに対して必要な応答のタイプを示すアクション・コードまたは重大度コード (EYUCI0102W など) が続きます。

使用されるアクション・コードおよび重大度コードは以下のとおりです。

- A** 即時アクションが必要です。
- D** 即時決定が必要です。
- E** エラー。何らかの問題が発生しました。CICSplex SM 処理を続行する前に、ユーザーによる何らかの処置が必要な場合があります。
- I** 通知のみ。処置は必要ありません。
- S** 重大エラー。何らかの重大な問題が発生しました。訂正処置が実行されるまで、CICSplex SM 処理は中断されます。
- U** リカバリー不能エラー。CICSplex SM 処理は終了します。
- W** 警告。何らかの問題が発生した可能性があります。CICSplex SM 処理は続行されます。

メッセージの説明の形式

CICSplex SM のメッセージの説明には、メッセージが発生した原因、システムが実行したアクション、および該当する場合にはユーザーが実行できる訂正処置を説明する標準形式があります。

各メッセージの説明は、以下のセクションで構成されています。

メッセージ ID

ID は EYUccnnnn 形式です。cc はコンポーネント、nnnn はメッセージ番号です。

メッセージ・テキスト

メッセージ・テキストは、単語と挿入変数で構成されます。

説明 説明では、メッセージが出される原因となった、またはメッセージが出された後のイベントを説明します。

システム処置

システム処置では、システムがどのように応答するかを説明します。

ユーザー応答

ユーザー応答では、問題を修正するために必要な処置について説明します (存在する場合)。通知メッセージと一部の警告メッセージでは、処置は不要です。

宛先 宛先は、メッセージの送信先を示します。メッセージは以下の 1 つ以上の宛先に送信されます。

- コンソール (CICS に接続している特定のタイプの端末)
- CICS 端末
- EYULOG
- ジョブ・ログ
- SYSOUT

モジュール

メッセージが送信される原因となった 1 つ以上のモジュールの名前。これは、必ずしもメッセージを書き込むためにマクロを発行したモジュールとは限りません。

EYUARnnnnn メッセージ

EYUARnnnnn メッセージは、API の REXX ランタイム・インターフェースによって発行されます。ランタイム・インターフェースは、REXX プログラムの 1 回目のパススルーで CICSplex SM API コマンドの構文をチェックし、2 回目のパススルーでこれらのコマンドの内容を評価します。

これらのメッセージで説明される状態はいずれも、REXX プログラム全体には影響を及ぼしません。エラー状態への対処方法によっては、EYUARnnnnn メッセージの発行後にプログラムが続行されることがあります。

EYUARnnnnn メッセージは、システムで IRXSAY WRITEERR 出力先として定義されている宛先に対して発行されます。デフォルトでは、これらの出力は以下のいずれかの場所へ送信されます。

- TSO フォアグラウンドでは、出力は端末へ送信されます。
- バッチを含むバックグラウンドでは、出力は SYSTSPRT DD 宛先に送信されます。

EYUAR0001E E コマンド (*cmdname*) が無効です。
(**Command (*cmdname*) invalid.**)

説明: 示されているコマンドが有効な API コマンドではありません。

cmdname

指定されたコマンド名です。

システムの処置: 現行 API コマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: CICS の資料で、使用可能な API コマンドの構文を確認してください。エラーを修正して REXX プログラムを再実行してください。

モジュール: EYU0ARCL

宛先:

説明: 示されているキーワード・パラメーターが、現行 API コマンドに対して無効です。

parm 無効なキーワード・パラメーターです。

システムの処置: 可能な場合、現行 API コマンド構文の残り部分は検査されます。ただし、現行コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置: CICS の資料で、現行コマンドの構文を確認してください。エラーを修正して REXX プログラムを再実行してください。

モジュール: EYU0ARKL

宛先:

EYUAR0003E E 必須キーワード (*parm*) がありません。(Required keyword (*parm*) missing.)

説明: 示されているキーワード・パラメーターは現行 API コマンドに必要ですが、見つかりませんでした。

parm 必須キーワード・パラメーターです。

EYUAR0002E E キーワード (*parm*) がコマンドに対して無効です。(Keyword (*parm*) invalid for command.)

EYUAR0005E E • EYUAR0010E E

システムの処置: 可能な場合、現行 API コマンド構文の残り部分は検査されます。ただし、現行コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置: CICS の資料で、現行コマンドの構文を確認してください。その後、必須パラメーターを追加して REXX プログラムを再実行してください。

モジュール: EYU0ARRF

宛先:

EYUAR0005E E キーワード (*parm*) の引数がありません。(Argument missing for keyword (*parm*).)

説明: 示されているキーワード・パラメーターには引数が必要ですが、見つかりませんでした。

parm 引数を必要とするキーワード・パラメーターです。

システムの処置: 可能な場合、現行 API コマンド構文の残り部分は検査されます。ただし、現行コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置: CICS の資料で、現行コマンドの構文を確認してください。その後、必要な引数を追加して REXX プログラムを再実行してください。

モジュール: EYU0ARCL、EYU0ARKL

宛先:

EYUAR0006E E コマンド (*cmdname*) が長すぎます。(Command (*cmdname*) too long.)

説明: 示されている API コマンドが長すぎます。

cmdname

長すぎるコマンド名です。

システムの処置: 現行 API コマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: CICS の資料で、示されている API コマンドの構文を確認してください。エラーを修正して REXX プログラムを再実行してください。

モジュール: EYU0ARPR

宛先:

EYUAR0007E E キーワード (*parm*) が長すぎます。(Keyword (*parm*) too long.)

説明: 示されているキーワード・パラメーターが長すぎます。

parm 長すぎるキーワード名です。

システムの処置: 可能な場合、現行 API コマンド構文

の残り部分は検査されます。ただし、現行コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置: CICS の資料で、現行 API コマンドの構文を確認してください。エラーを修正して REXX プログラムを再実行してください。

モジュール: EYU0ARPR

宛先:

EYUAR0008E E コマンドが予期せず終了しました。(Unexpected end of command encountered.)

説明: 処理中の API コマンドが、コマンドの終わりを示す区切り文字が検出される前に予期せず終了しました。このエラーの原因の 1 つとして、コマンド構文で右括弧が欠落していた可能性があります。

システムの処置: 現行 API コマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: 現行 API コマンドを調べて構文エラーがないか確認してください。エラーを訂正し、REXX プログラムを再実行してください。

モジュール: EYU0ARPR、EYU0ARRF

宛先:

EYUAR0009E E 重複キーワード (*parm*) が検出されました。(Duplicate keyword (*parm*) encountered.)

説明: 示されているキーワード・パラメーターが、現行 API コマンドで複数回検出されました。

parm 重複するキーワード・パラメーターの名前です。

システムの処置: 可能な場合、現行 API コマンド構文の残り部分は検査されます。ただし、現行コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置: 重複するパラメーターを削除して REXX プログラムを再実行してください。

モジュール: EYU0ARFB

宛先:

EYUAR0010E E 引数がキーワード (*parm*) に対して無効です。(Argument not valid for keyword (*parm*).)

説明: 示されているキーワード・パラメーターは引数を受け入れませんが、引数が検出されました。

parm キーワード・パラメーターの名前です。

システムの処置: 可能な場合、現行 API コマンド構文の残り部分は検査されます。ただし、現行コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置: 示されているパラメーターから引数を削除して REXX プログラムを再実行してください。

モジュール: EYU0ARCL、EYU0ARKL

宛先:

EYUAR0011E E パラメーター・データ (*data*) がキーワード (*parm*) に対して長すぎます。
(Parameter data (*data*) too long for keyword (*parm*).)

説明: 示されているキーワード・パラメーターに指定されたデータが、このパラメーターのデータ・タイプでは長すぎます。

data 指定されたデータです。

parm キーワード・パラメーターの名前です。

システムの処置: 可能な場合、現行 API コマンド構文の残り部分は検査されます。ただし、現行コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置: CICSplex SM コマンド マニュアルで、示されているパラメーターの説明を確認してください。エラーを修正して REXX プログラムを再実行してください。

モジュール: EYU0ARFB

宛先:

EYUAR0012E E パラメーター・データ (*data*) がキーワード (*parm*) に対して無効です。
(Parameter data (*data*) invalid for keyword (*parm*).)

説明: 示されているキーワード・パラメーターに指定されたデータは、このパラメーターに対する正しいタイプのデータではありません。

data 指定されたデータです。

parm キーワード・パラメーターの名前です。

システムの処置: 可能な場合、現行 API コマンド構文の残り部分は検査されます。ただし、現行コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置: CICSplex SM コマンド マニュアルで、示されているパラメーターの説明を確認してください。エラーを修正して REXX プログラムを再実行してください。

モジュール: EYU0ARFB

宛先:

EYUAR0013E E キーワード (*parm*) の変数パラメーター (*var*) が無効です。(The variable parameter (*var*) for keyword (*parm*) is invalid.)

説明: REXX は、示されているキーワード・パラメーターに指定された変数が無効であると見なしました。

var 無効な変数の名前です。

parm キーワード・パラメーターの名前です。

システムの処置: 可能な場合、現行 API コマンド構文の残り部分は検査されます。ただし、現行コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置: CICSplex SM コマンド マニュアルで、示されているパラメーターの説明を確認してください。エラーを修正して REXX プログラムを再実行してください。

モジュール: EYU0ARFB、EYU0ARRF

宛先:

EYUAR0014E E キーワード (*parm*) の変数パラメーター (*var*) が長すぎます。(The variable parameter (*var*) for keyword (*parm*) is too long.)

説明: 示されている変数パラメーターが長すぎます。

var 長すぎる変数の名前です。

parm キーワード・パラメーターの名前です。

システムの処置: 可能な場合、現行 API コマンド構文の残り部分は検査されます。ただし、現行コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置: CICSplex SM コマンド マニュアルで、示されているパラメーターの説明を確認してください。エラーを修正して REXX プログラムを再実行してください。

モジュール: EYU0ARFB、EYU0ARRF

宛先:

EYUAR0015E E キーワード (*parm*) の変数パラメーター (*var*) にデータが含まれていません。(The variable parameter (*var*) for keyword (*parm*) contains no data.)

説明: 示されているキーワード・パラメーターに指定された変数が初期設定されていないか、ヌルです。

var 指定された変数です。

parm キーワード・パラメーターの名前です。

システムの処置: 可能な場合、現行 API コマンド構文

の残り部分は検査されます。ただし、現行コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置: 変数が正しく指定されており、適切なデータが含まれていることを確認してください。その後、REXX プログラムを再実行してください。

モジュール: EYU0ARFB、EYU0ARRF

宛先:

EYUAR0016E E 矛盾するキーワード (*parm*) が指定されています。(Conflicting keyword (*parm*) specified.)

説明: 示されているキーワード・パラメーターが、同じ API コマンドの別のパラメーターと矛盾しています。

parm 矛盾しているキーワード・パラメーターの名前です。

システムの処置: 可能な場合、現行 API コマンド構文の残り部分は検査されます。もう一方の矛盾するパラメーターが特定された場合は、別の EYUAR0016E メッセージが発行されることがあります。現行コマンドの処理を終了します。

ユーザーの処置: CICSplex SM コマンド マニュアルで、現行 API コマンドの構文を確認してください。その後、矛盾するパラメーターを削除して REXX プログラムを再実行してください。

モジュール: EYU0ARFB、EYU0ARRF

宛先:

EYUAR0017E E キーワード (*parm*) が指定されていますが、必須の副キーワードが指定されていません。(Keyword (*parm*) specified without required co-keyword)

説明: 示されているキーワード・パラメーターが現行 API コマンドで検出されましたが、必須の関連パラメーターが指定されていませんでした。

parm 関連パラメーターを必要とするキーワード・パラメーターの名前です。

システムの処置: 可能な場合、現行 API コマンド構文の残り部分は検査されます。ただし、現行コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置: CICSplex SM コマンド マニュアルで、現行 API コマンドの構文を確認してください。その後、必須パラメーターを追加して REXX プログラムを再実行してください。

モジュール: EYU0ARFB

宛先:

EYUAR0018E E 必須キーワード (*parm*) がありません。(Required keyword (*parm*) missing.)

説明: 示されているキーワードは必須ですが、見つかりませんでした。

示されているキーワード・パラメーターは現行 API コマンドで必須ですが、指定されませんでした。

parm 必須キーワード・パラメーターの名前です。

システムの処置: 可能な場合、現行 API コマンド構文の残り部分は検査されます。ただし、現行コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置: 必須パラメーターを追加して REXX プログラムを再実行してください。

モジュール: EYU0ARFB

宛先:

EYUAR0020E E キーワード (*parm*) の変数 (*var*) のデータが長すぎます。(Data for variable (*var*) of keyword (*parm*) is too long.)

説明: 示されているキーワード・パラメーターに指定された変数のデータが、このパラメーターに対して長すぎます。

var 指定された変数です。

parm キーワード・パラメーターの名前です。

システムの処置: 可能な場合、現行 API コマンド構文の残り部分は検査されます。ただし、現行コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置: 処理されていたコマンドが TBUILD または TPARSE の場合、プログラムにより渡されるデータが無効である可能性があります。それ以外の場合は、このメッセージが発行されたときに処理されていたリソース・テーブルの名前と、渡されたデータのレコードを用意して、IBM® サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0ARFI、EYU0ARRB、EYU0ARRF

宛先:

EYUAR0021E E 属性 (*attr*) のデータが長すぎます。(Data for attribute (*attr*) is too long.)

説明: 示されているリソース・テーブル属性に指定されたデータが、その属性に対して長すぎます。

attr 属性の名前です。

システムの処置: 可能な場合、現行 API コマンド構文

の残り部分は検査されます。ただし、現行コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置: システム・プログラミング・リファレンスおよびシステム・プログラミング・リファレンスで説明する適切なリソース・テーブルで、示されている属性の説明を確認してください。エラーを修正して REXX プログラムを再実行してください。

モジュール: EYU0ARRB

宛先:

EYUAR0022E E 属性 (*attr*) のデータが無効です。
(Data for attribute (*attr*) is invalid.)

説明: 示されているリソース・テーブル属性に指定されたデータが、この属性に対して無効です。

attr 属性の名前です。

システムの処置: 可能な場合、現行 API コマンド構文の残り部分は検査されます。ただし、現行コマンドの処理は終了します。

ユーザーの処置: システム・プログラミング・リファレンスおよびシステム・プログラミング・リファレンスで説明する適切なリソース・テーブルで、示されている属性の説明を確認してください。エラーを修正して REXX プログラムを再実行してください。

モジュール: EYU0ARRB

宛先:

EYUAR0023E E 関数 *func* には引数が必要です。
(Argument is required for function *func*.)

説明: 示されている関数には引数が必要ですが、見つかりませんでした。

func 引数を必要とする関数です。

システムの処置: 関数処理が戻りコード -1 で終了します。

ユーザーの処置: 戻りコードのリストおよび示されている関数の構文については、CICS の資料を参照してください。その後、必要な引数を追加して REXX プログラムを再実行してください。

モジュール: EYU0AREY

宛先:

EYUAR0024E E 関数 *var* には引数を指定できません。(Argument is not permitted for function *var*.)

説明: 示されている関数は引数を受け入れませんが、引数が検出されました。

func 引数を受け入れない関数です。

システムの処置: 関数処理が戻りコード -1 で終了します。

ユーザーの処置: 戻りコードのリストおよび示されている関数の構文については、CICS の資料を参照してください。その後、示されている関数から引数を削除して REXX プログラムを再実行してください。

モジュール: EYU0AREY

宛先:

EYUAR0025E E 引数 (*arg*) は関数 *func* に対して無効です。(Argument (*arg*) is invalid for function *func*.)

説明: REXX は、示されている関数に指定されている引数が無効であると見なしました。

arg 指定された引数です。

func 関数の名前です。

システムの処置: 関数処理が戻りコード -1 で終了します。

ユーザーの処置: 戻りコードのリストおよび示されている関数の構文については、CICS の資料を参照してください。その後、引数を訂正して REXX プログラムを再実行してください。

モジュール: EYU0AREY

宛先:

EYUAR0026E E オブジェクト (*name*) が見つかりません。(Object (*name*) is not found.)

説明: TBUILD コマンドまたは TPARSE コマンドが発行されましたが、OBJECT オプションに指定されたオブジェクトが見つかりませんでした。*name* は OBJECT オプションに指定されたオブジェクト名です。

システムの処置: TBUILD コマンドまたは TPARSE コマンドは、STATUS 値として FAILURE を返します。トレース・レコードが EYUTRACE ステム変数に書き込まれます。

ユーザーの処置: OBJECT オプションに有効な CICSplex SM リソース・テーブルが指定されていることを確認してください。

EYUAR0027E E • EYUBI0004I I

TBUILD コマンドおよび TPARSE コマンドは、リソース・テーブルのユーザー定義ビューの処理には使用できません。指定されているリソース・テーブルと同じ名前でビューを定義している場合、そのオブジェクトに対して TBUILD コマンドまたは TPARSE コマンドを発行すると、API はビューの処理を試行しますが、失敗します。

モジュール: EYU0ARRF

宛先:

EYUAR0027E E オブジェクト (*name*) は TBUILD コマンドに対して無効です。(Object (*name*) is invalid for TBUILD command.)

説明: TBUILD コマンドが発行されましたが、OBJECT

オプションに指定されたオブジェクトが無効でした。*name* は OBJECT オプションに指定されたオブジェクト名です。TBUILD コマンドは CICSplex SM 定義のみ使用できます。定義は、CPSM 定義タイプの CICSplex SM リソース・テーブルによって表されます。

システムの処置: TBUILD コマンドは STATUS 値として FAILURE を返します。トレース・レコードが EYUTRACE ステム変数に書き込まれます。

ユーザーの処置: OBJECT オプションに有効な CPSM 定義リソース・テーブルが指定されていることを確認してください。

モジュール: EYU0ARRB

宛先:

EYUBInnnn メッセージ

EYUBI0001I I *date time applid* BAS 初期化 *ins#1* が要求されました。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ins#1*

宛先: COLG

EYUBI0003I I *date time applid* BAS の初期化が完了しました。

説明: ビジネス・アプリケーション・サービス (BAS) の初期化が正常に完了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0BINT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUBI0002I I *date time applid* BAS 初期化 *ins#1* が完了しました。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ins#1*

宛先: COLG

EYUBI0004I I *date time applid* CICSplex *plexname* のための BAS の初期化を開始しました。

説明: BAS が CICSplex のデータ構造の初期化を開始しました。

plexname

CICSplex の名前です。

これは、CMAS の初期設定中、または新しい CICSplex が CMAS に追加された後に発生することがあります。

システムの処置: CICSplex の BAS 内部データ構造が初期化されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU0BIBD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *plexname*

宛先: COLG

EYUBI0005I I *date time applid CICSplex plexname*
のための **BAS** 初期化を完了しました。

説明: BAS が CICSplex のデータ構造の初期化を完了しました。

plexname

CICSplex の名前です。

これは、CMAS の初期設定中、または新しい CICSplex が CMAS に追加された後に発生することがあります。

システムの処置: CMAS、および CMAS に接続している MAS での BAS 処理に CICSplex が使用できるようになりました。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU0BIBD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *plexname*

宛先: COLG

EYUBI0006I I *date time applid CICSplex plexname*
のための **BAS** の終了を開始しました。

説明: BAS が CICSplex のデータ構造の削除を開始しました。

plexname

CICSplex の名前です。

これは、CMAS の終了中、または CMAS から CICSplex が削除された後に発生することがあります。

システムの処置: CICSplex の BAS 内部データ構造が削除されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU0BIBD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *plexname*

宛先: COLG

EYUBI0007I I *date time applid CICSplex plexname*
のための **BAS** の終了を完了しました。

説明: BAS が CICSplex のデータ構造の削除を完了しました。

plexname

CICSplex の名前です。

これは、CMAS の終了中、または CMAS から CICSplex が削除された後に発生することがあります。

システムの処置: CMAS、および CMAS に接続している MAS での BAS 処理に CICSplex を使用できなくなりました。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU0BIBD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *plexname*

宛先: COLG

EYUBI0101E E *date time applid BAS* の初期化に失敗しました。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUBI0102E E *date time applid CICSplex plexname*
のための **BAS** の初期化に失敗しました。

説明: CICSplex のデータ構造の初期化中に BAS で障害が発生しました。

EYUBI0103E E

plexname

CICSplex の名前です。

これは、CMAS の初期設定中、または新しい CICSplex が CMAS に追加された後に発生することがあります。

システムの処置: CMAS、および CMAS に接続している MAS での BAS 処理に CICSplex を使用することはできません。

ユーザーの処置: 障害について説明する他のメッセージが、このメッセージよりも前に発行されているかどうかを確認します (CICSplex が CMAS から削除された場合など)。発行されていない場合は、CMAS ジョブ出力と AUXTRACE データ・セットを収集し、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0BIBD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUBI0103E E *date time applid CICSplex plexname*
のための **BAS** の終了に失敗しました。

説明: CICSplex のデータ構造の削除中に BAS で障害が発生しました。

plexname

CICSplex の名前です。

これは、CMAS の終了中、または CMAS から CICSplex が削除された後に発生することがあります。

システムの処置: 処理が続行されます。孤立データ構造が使用される可能性があります。

ユーザーの処置: 障害について説明する他のメッセージが、このメッセージよりも前に発行されているかどうかを確認します (CICSplex の BAS 初期化が失敗した場合など)。発行されていない場合は、CMAS ジョブ出力と AUXTRACE データ・セットを収集し、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0BIBD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUBMnnnn メッセージ

EYUBMnnnn メッセージで一般的に使用される変数を以下に示します。

event1

ビジネス・アプリケーション・サービスにより認識されないイベント通知。

event2

次のイベント通知のいずれかです。

EDEFCHG	EMASSTRT
ECSYSCHG	EPLEXCHG
EMASJOIN	ESGRPCHG
EMASSTOP	

resassgn

リソース割り当ての名前。リソース割り当て名がない場合は、リソース・グループがリソース記述に含まれていたことを示します。

resdesc

リソース記述の名前。

resgroup

リソース・グループの名前。

resname

リソースの名前。

restype

リソース・タイプの名前。

resvers

CMAS データ・リポジトリ内の定義レコードのバージョン。

スコープ

メッセージ・テキストに示されているターゲット有効範囲、関連有効範囲、またはインストール有効範囲の名前。

sysgroup

CICS システム・グループの名前。システム・グループ名がない場合は、システム自体が有効範囲であることを示します。

システム

CICS システムの名前。

使用

リソースの使用方法 (ローカル、リモート、現状) を示します。

EYUBM0101W W *date time applid* **BAS** が不明なイベント通知 (*nnnn*) を検出しました。イベントは無視されました。

説明: **BAS** が非送信請求イベント・レコードを受信しました。

システムの処置: **BAS** はこのイベント・レコードを無視して処理を続行します。無効なイベント・レコードが **CICS** トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0BMLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nnnn*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUBM0102W W *date time applid* **BAS** がエラー処理イベント(*event*) を報告しました。

説明: 示されているイベントの処理試行中に **BAS** で内部エラーが発生しました。

システムの処置: **BAS** イベント処理は続行されます。ユーザー・トレース・レコードが **CICS** トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・ログ、関連するすべてのメッセージ、およびジョブ・ログを収集し、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0BMLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *event*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUBM0301E E *date time applid* システム (*sysname*) をシステム・グループ (*groupname*) に追加すると、セットが矛盾したものになります。

説明: 示されているシステムを、示されているシステム・グループに追加しようとしたのですが、追加するとリソース・セットが矛盾したものになるため、この操作が失敗しました。

システムの処置: さらに、EYUBM032nI メッセージが EYULOG に書き込まれます。

ユーザーの処置: 詳しい説明は、追加メッセージを参照してください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysname*
5. *groupname*

宛先: COLG

EYUBM0302E E *date time applid* リソース定義
(*restype,resname,resvers*) をリソース・グループ (*resgroup*) に追加すると、セットが矛盾したものになります。

説明: 示されている定義を、示されているリソース・グループに追加しようとしたが、追加するとリソース・セットが矛盾したものになるため、この操作が失敗しました。

システムの処置: さらに、EYUBM032nI メッセージが EYULOG に書き込まれます。

ユーザーの処置: 詳しい説明は、追加メッセージを参照してください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *restype*
5. *resname*
6. *resvers*
7. *resgroup*

宛先: COLG

EYUBM0303E E *date time applid* リソース・グループ (*resgroup*) のリソース定義
(*restype,resname,resvers*) を更新すると、セットが矛盾したものになります。

説明: 示されているリソース・グループの示されている定義を更新しようとしたが、更新するとリソース・セットが矛盾したものになるため、この操作が失敗しました。

システムの処置: さらに、EYUBM032nI メッセージが EYULOG に書き込まれます。

ユーザーの処置: 詳しい説明は、追加メッセージを参照してください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *restype*
5. *resname*
6. *resvers*

7. *resgroup*

宛先: COLG

EYUBM0304E E *date time applid* リソース・タイプ (*restype*) のリソース割り当て (*resassgn*) をリソース記述 (*resdesc*) に追加すると、セットが矛盾したものになります。

説明: 示されているリソース割り当てを、示されているリソース記述に追加しようとしたが、追加するとリソース・セットが矛盾したものになるため、この操作が失敗しました。

システムの処置: さらに、EYUBM032nI メッセージが EYULOG に書き込まれます。

ユーザーの処置: 詳しい説明は、追加メッセージを参照してください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *resassgn*
5. *resdesc*
6. *restype*

宛先: COLG

EYUBM0305E E *date time applid* リソース・グループ (*resgroup*) をリソース記述 (*resdesc*) に追加すると、セットが矛盾したものになります。

説明: 示されているリソース・グループを、示されているリソース記述に追加しようとしたが、追加するとリソース・セットが矛盾したものになるため、この操作が失敗しました。

システムの処置: さらに、EYUBM032nI メッセージが EYULOG に書き込まれます。

ユーザーの処置: 詳しい説明は、追加メッセージを参照してください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *resgroup*
5. *resdesc*

宛先: COLG

EYUBM0306E E *date time applid* リソース・タイプ (*restype*) のリソース記述 (*resdesc*) にあるリソース割り当て (*resassgn*) を更新すると、セットが矛盾したものになります。

説明: 示されているリソース記述に含まれている、示されているリソース割り当て (*RASGNDEF*) を更新しようとしたが、更新するとリソース・セットが矛盾したものになるため、この操作が失敗しました。

システムの処置: さらに、EYUBM032nI メッセージが EYULOG に書き込まれます。

ユーザーの処置: 詳しい説明は、追加メッセージを参照してください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *resassgn*
5. *resdesc*
6. *restype*

宛先: COLG

EYUBM0307E E *date time applid (resassgn,resdesc)* およびリソース・タイプ (*restype*) のリソース記述にあるリソース割り当てを更新すると、セットが矛盾したものになります。

説明: 示されているリソース記述 (*RASINDSC*) に含まれている、示されているリソース割り当てを更新しようとしたが、更新するとリソース・セットが矛盾したものになるため、この操作が失敗しました。

システムの処置: さらに、EYUBM032nI メッセージが EYULOG に書き込まれます。

ユーザーの処置: 詳しい説明は、追加メッセージを参照してください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *resassgn*
5. *resdesc*
6. *restype*

宛先: COLG

EYUBM0308E E *date time applid* インストール有効範囲 (*scope*) を持つリソース記述 (*resdesc*) を更新すると、セットが矛盾したものになります。

説明: 示されているインストール有効範囲を持つ、示されているリソース記述を更新しようとしたが、更新するとリソース・セットが矛盾したものになるため、この操作が失敗しました。

システムの処置: さらに、EYUBM032nI メッセージが EYULOG に書き込まれます。

ユーザーの処置: 詳しい説明は、追加メッセージを参照してください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *resdesc*
5. *scope*

宛先: COLG

EYUBM0309E E *date time applid* リソース・タイプ (*restype*) およびリソース割り当て (*resassgn*) のリソース記述 (*resdesc*) を更新すると、セットが矛盾したものになります。

説明: 示されているリソース割り当てを含む、示されているリソース記述を更新しようとしたが、更新するとリソース・セットが矛盾したものになるため、この操作が失敗しました。

システムの処置: さらに、EYUBM032nI メッセージが EYULOG に書き込まれます。

ユーザーの処置: 詳しい説明は、追加メッセージを参照してください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *resdesc*
5. *restype*
6. *resassgn*

宛先: COLG

EYUBM0310W W *date time applid* リソース・レコードがリソース割り当て (*resassgn*) の候補セットから欠落しています。詳しくは、**EYULOG** のメッセージ **EYUBM0311** を参照してください。

説明: 示されているリソース割り当てに関連付けられているリソースの候補セットの整合性を検査しようとしてしました。このセットの検証中に、セット内に指定されている 1 つ以上のリソースがローカル CPSM データ・リポジトリ (EYUDREP) で見つかりませんでした。

システムの処置: さらに、EYUBM0311W メッセージが EYULOG に書き込まれます。

ユーザーの処置: 見つからなかったリソース定義の詳細については、追加メッセージを参照してください。欠落に関して適切に説明されていることがあります。例えば、データ・リポジトリに対する削除または更新の要求がこの要求と同時に実行された可能性があります。

欠落に関する適切な説明がない場合は、データ・リポジトリが破損している可能性があります。その場合は、以下の資料を収集して IBM サポートにお問い合わせください。

1. この CMAS の EYUDREP のコピー。
2. 関連付けられている CICSplex の保守ポイントである CMAS の EYUDREP のコピー。
3. 両方の CMAS の完全なジョブ出力。
4. 両方の CMAS の AUXTRACE データ・セットのコピー。

モジュール: EYU0BMCN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *resassgn*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUBM0311W W *date time applid* リソース定義 (*restype, resname, resvers*) がリソース割り当て (*resassgn*) の候補セットで欠落しています。

説明: 示されているリソース定義は、示されているリソース割り当ての整合性チェックのための定義レコードの候補セットの一部です。しかし、リソース定義がローカル CPSM データ・リポジトリで見つかりませんでした。

システムの処置: 現行の BAS アクションは、候補セットで欠落しているリソース名が正常に完了した場合と同様に、正常に完了するまで続行されます。

ユーザーの処置: 示されているリソース定義の欠落に関して適切に説明されている場合もあります。例えば、データ・リポジトリに対する削除または更新の要求がこの要求と同時に実行された可能性があります。

欠落に関する適切な説明がない場合は、データ・リポジトリが破損している可能性があるため、リカバリー・アクションを検討する必要があります。その場合は、以下の資料を収集して IBM サポートにお問い合わせください。

1. この CMAS の EYUDREP のコピー。
2. 関連付けられている CICSplex の保守ポイントである CMAS の EYUDREP のコピー。
3. 両方の CMAS の完全なジョブ出力。
4. 両方の CMAS の AUXTRACE データ・セットのコピー。

モジュール: EYU0BMCN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *restype*
5. *resname*
6. *resvers*
7. *resassgn*

宛先: COLG

EYUBM0320I I *date time applid* 候補リソース定義 (*resdef*) は、システム・グループ (*sysgroup*) の {関連 | ターゲット・} システム (*system*) に関するリソース記述 (*resdesc*) にある、{指定変更なしで | 指定変更ありで} (*usage*) を使用したリソース割り当て (*resassgn*) のリソース・グループ (*resgroup*) に含まれます。

説明: このメッセージは EYUBM030nE メッセージの後に表示され、そのメッセージの診断情報を示します。

システムの処置: 同時に発行される EYUBM030nE メッセージに示されている、ビジネス・アプリケーション・サービス管理定義の追加は行われません。

ユーザーの処置: このメッセージの情報を確認して、試行した追加操作で矛盾するリソース・セットが作成される理由を特定してください。リソース割り当てに指定変更式が指定されていたことがメッセージに示されている

場合は、その式が矛盾の原因である可能性があります。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *resdef*
5. *resgroup*
6. *resassgn*
7. 以下のオプションから選択される値:

1=指定変更なしで,

2= ,

3=指定変更ありで

8. *usage*
9. *resdesc*

10. 以下のオプションから選択される値:

1=関連,

2=ターゲット・

11. *system*
12. *sysgroup*

宛先: COLG

EYUBM0321I I *date time applid* 既存リソース定義 (*resdef*) は、システム・グループ (*sysgroup*) の {関連 | ターゲット・} システム (*system*) に関するリソース記述 (*resdesc*) にある、{指定変更なしで | 指定変更ありで} (*usage*) を使用したリソース割り当て (*resassgn*) のリソース・グループ (*resgroup*) に含まれます。

説明: このメッセージは EYUBM030nE メッセージの後に表示され、そのメッセージの診断情報を示します。

システムの処置: 同時に発行される EYUBM030nE メッセージに示されている、ビジネス・アプリケーション・サービス管理定義の更新は行われません。

ユーザーの処置: このメッセージの情報を確認して、試行した更新で矛盾するリソース・セットが作成される理由を特定してください。リソース割り当てに指定変更式が指定されていたことがメッセージに示されている場合は、その式が矛盾の原因である可能性があります。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *resdef*
5. *resgroup*
6. *resassgn*
7. 以下のオプションから選択される値:

1=指定変更なしで,

2= ,

3=指定変更ありで

8. *usage*
9. *resdesc*

10. 以下のオプションから選択される値:

1=関連,

2=ターゲット・

11. *system*
12. *sysgroup*

宛先: COLG

EYUBM0322I I *date time applid* リソース{割り当て | 割り当て (リソース記述内) | 記述} (*resaorresd1*) のターゲット有効範囲 (*scope*) と リソース{割り当て | 割り当て (リソース記述内) | 記述} (*resaorresd2*) の関連有効範囲 (*scope*) が同じです。

説明: ビジネス・アプリケーション・サービス管理定義の追加または更新の試行中に、ターゲット有効範囲と関連有効範囲が同じであると判別されました。 *def1* と *def2* は、次のいずれかに置き換えられます。

- リソース割り当て (*resassgn*)
- リソース記述 (*resdesc*)
- リソース割り当て (リソース記述内) (*resassgn,resdesc*)

システムの処置: このメッセージは EYUBM30nE メッセージとともに発行され、追加または更新のアクションが試行されたかどうかを示しています。要求されたアクションは実行されませんでした。

ユーザーの処置: *def1* のターゲット有効範囲または *def2* の関連有効範囲を変更してください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

EYUBM0323I I • EYUBM0324I I

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *scope*
5. 以下のオプションから選択される値:

1=割り当て,
2=割り当て(リソース記述内),
3=記述

6. *resaorresd1*
7. *scope*
8. 以下のオプションから選択される値:

1=割り当て,
2=割り当て(リソース記述内),
3=記述

9. *resaorresd2*

宛先: COLG

EYUBM0323I I *date time applid* リソース(割り当て | 割り当て (リソース記述内) | 記述) (*resaorresd1*) のターゲット・システム (*system*) は、リソース(割り当て | 割り当て (リソース記述内) | 記述) (*resaorresd2*) の関連有効範囲 (*scope*) 内にあります。

説明: ビジネス・アプリケーション・サービス管理定義の追加または更新の試行中に、ターゲット・システムが関連有効範囲内にあると判別されました。*def1* と *def2* は次のいずれかに置き換えられます。

- リソース割り当て (*resassgn*)
- リソース記述 (*resdesc*)
- リソース割り当て (リソース記述内) (*resassgn,resdesc*)

システムの処置: このメッセージは EYUBM30nE メッセージとともに発行され、追加または更新のアクションが試行されたかどうかを示しています。要求されたアクションは実行されませんでした。

ユーザーの処置: ターゲット・システムか関連スコープのいずれかを変更してください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *system*
5. 以下のオプションから選択される値:

1=割り当て,
2=割り当て(リソース記述内),
3=記述

6. *resaorresd1*
7. *scope*
8. 以下のオプションから選択される値:

1=割り当て,
2=割り当て(リソース記述内),
3=記述

9. *resaorresd2*

宛先: COLG

EYUBM0324I I *date time applid* リソース(割り当て | 割り当て (リソース記述内) | 記述) (*resaorresd1*) の関連システム (*system*) は、リソース(割り当て | 割り当て (リソース記述内) | 記述) (*resaorresd2*) のターゲット有効範囲 (*scope*) 内にあります。

説明: ビジネス・アプリケーション・サービス管理定義の追加または更新の試行中に、関連システムがターゲット有効範囲内にあると判別されました。*def1* と *def2* は次のいずれかに置き換えられます。

- リソース割り当て (*resassgn*)
- リソース記述 (*resdesc*)
- リソース割り当て (リソース記述内) (*resassgn,resdesc*)

システムの処置: このメッセージは EYUBM30nE メッセージとともに発行され、追加または更新のアクションが試行されたかどうかを示しています。要求されたアクションは実行されませんでした。

ユーザーの処置: *def1* または *def2* から CICS システムを削除するか、ターゲット有効範囲を変更してください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *system*

5. 以下のオプションから選択される値:

1=割り当て,
2=割り当て(リソース記述内),
3=記述

6. *resaorresd1*7. *scope*

8. 以下のオプションから選択される値:

1=割り当て,
2=割り当て(リソース記述内),
3=記述

9. *resaorresd2*

宛先: COLG

EYUBM0325I I *date time applid* リソース(割り当て
| 割り当て(リソース記述内) | 記述}
(*resaorresd1*) のターゲット有効範囲(*scope*)
とリソース(割り当て | 割り当て(リソ
ース記述内) | 記述} (*resaorresd2*) の関連有
効範囲 (*scope*) に、同じシステム (*system*)
があります。

説明: ビジネス・アプリケーション・サービス管理定義
の追加または更新の試行中に、ターゲット有効範囲と関
連有効範囲に同じ CICS システムが含まれていると判別
されました。*def1* と *def2* は次のいずれかに置き換えられ
ます。

-
- リソース割り当て (*resassgn*)
-
- リソース記述 (*resdesc*)
-
- リソース割り当て (リソース記述内) (*resassgn,resdesc*)

システムの処置: このメッセージは EYUBM30nE メッ
セージとともに発行され、追加または更新のアクション
が試行されたかどうかを示しています。要求されたアク
ションは実行されませんでした。

ユーザーの処置: *def1* または *def2* から重複する CICS
システムを削除してください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *scope*

5. 以下のオプションから選択される値:

1=割り当て,
2=割り当て(リソース記述内),
3=記述

6. *resaorresd1*7. *scope*

8. 以下のオプションから選択される値:

1=割り当て,
2=割り当て(リソース記述内),
3=記述

9. *resaorresd2*10. *system*

宛先: COLG

EYUBM0326I I *date time applid* リソース(割り当て
| 割り当て(リソース記述内) | 記述}
(*resaorresd*) の関連有効範囲 (*scope*) に複
数のシステムがあります。

説明: ビジネス・アプリケーション・サービス管理定義
の追加または更新の試行中に、複数のシステムが関連有
効範囲に含まれていると判別されました。リソース・タ
イプが TRANDEF で USAGE が DYNAM である場合
を除き、関連有効範囲に複数のシステムを含めることは
できません。

def1 は次のいずれかに置き換えられます。

-
- リソース割り当て (*resassgn*)
-
- リソース記述 (*resdesc*)
-
- リソース割り当て (リソース記述内) (*resassgn,resdesc*)

システムの処置: このメッセージは EYUBM30nE メッ
セージとともに発行され、追加または更新のアクション
が試行されたかどうかを示しています。要求された操
作は実行されませんでした。

ユーザーの処置: 関連有効範囲に複数のシステムが含ま
れていないことを確認してください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *scope*

5. 以下のオプションから選択される値:

1=割り当て,

2=割り当て(リソース記述内),

3=記述

6. *resaorresd*

宛先: COLG

EYUBM0327I I *date time applid* リソース(割り当て
| 割り当て(リソース記述内) | 記述)
(*resaorresd*) の関連有効範囲 (*scope*) のシ
ステム (*system*) に **SYSID** がありませ
ん。

説明: ビジネス・アプリケーション・サービス管理定義
の追加または更新の試行中に、関連有効範囲内の示され
ているシステムに **SYSID** が定義されていないと判別さ
れました。リソース・タイプが **TRANDEF** で **USAGE**
が **DYNAM** の場合を除き、関連有効範囲内の示されて
いるシステムには **SYSID** が定義されている必要があります。

defl は次のいずれかに置き換えられます。

•

リソース割り当て (*resassgn*)

•

リソース記述 (*resdesc*)

•

リソース割り当て (リソース記述内) (*resassgn,resdesc*)

システムの処置: このメッセージは EYUBM30n メッ
セージとともに発行され、追加または更新のアクション
が試行されたかどうかを示しています。要求された操作
は実行されませんでした。

ユーザーの処置: 関連有効範囲内の示されているシステ
ムの **CICS** 定義に、**SYSID** が含まれていることを確認
してください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

4. *system*

5. *scope*

6. 以下のオプションから選択される値:

1=割り当て,

2=割り当て(リソース記述内),

3=記述

7. *resaorresd*

宛先: COLG

EYUBM0328E E *date time applid* **BAS**がこの**CMAS**
で提供される関連エレメントを使い果たし
ました。

説明: **BAS** エンティティー間の関連付けの定義を試行
中に、フリーの **BAS** 関連マトリックス・エレメントが
見つかりませんでした。

システムの処置: 現行の **BAS** エンティティーまたは関
連の定義が失敗します。

ユーザーの処置: **CMAS** EYUPARM ファイルの
BASASSOCBLK の値を増やし、**CMAS** を再始動してく
ださい。関連ブロックごとに 257544 個の関連マトリッ
クス・エレメントが追加されます。**plex** の管理に関わ
る各 **CMAS** によって **BAS** 関連マトリックスのコピー
が保持されるため、すべての **CMAS** において
BASASSOCBLK を同じ量だけ増加する必要があること
に注意してください。

モジュール: EYU0BMZA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUBM0329I I *date time applid* {リソース割り当て
| リソース記述} (*resaorresd1*) のターゲッ
ト有効範囲 (*scope1*)と{リソース割り当て
| リソース記述} (*resaorresd2*) の関連有効
範囲 (*resaorresd2*) が同じです。

説明: ビジネス・アプリケーション・サービス管理定義
の追加または更新の試行中に、ターゲット有効範囲と関
連有効範囲が同一であると判別されました。

システムの処置: このメッセージは EYUBM30nE メッ
セージとともに発行され、追加または更新のアクション
が試行されたかどうかを示しています。要求されたアク
ションは実行されませんでした。

ユーザーの処置: ターゲット有効範囲または関連有効範
囲を変更し、同一にならないようにしてください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *scope1*
5. 以下のオプションから選択される値:

1=リソース割り当て,
2=リソース記述

6. *resaorresd1*
7. *scope2*
8. 以下のオプションから選択される値:

1=リソース割り当て,
2=リソース記述

9. *resaorresd2*

宛先: COLG

EYUBM0330I I *date time applid* {リソース割り当て
| リソース記述} (*resaorresd*) のターゲッ
ト有効範囲 (*scope1*) とリソース記述内の
リソース割り当て (*resassgn*) の関連有効
範囲 (*scope2*) が同じです。

説明: ビジネス・アプリケーション・サービス管理定義
の追加または更新の試行中に、ターゲット有効範囲と関
連有効範囲が同一であると判別されました。

システムの処置: このメッセージは EYUBM30nE メッ
セージとともに発行され、追加または更新のアクション
が試行されたかどうかを示しています。要求されたアク
ションは実行されませんでした。

ユーザーの処置: ターゲット有効範囲または関連有効範
囲を変更し、同一にならないようにしてください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *scope1*
5. 以下のオプションから選択される値:

1=リソース割り当て,
2=リソース記述

6. *resaorresd*
7. *scope2*
8. *resassgn*

宛先: COLG

EYUBM0331I I *date time applid (resassgn)* のリソー
ス記述にあるリソース割り当てのターゲッ
ト有効範囲 (*scope1*) と {リソース割り当て
| リソース記述} (*resaorresd*) の関連有効
範囲 (*scope2*) が同じです。

説明: ビジネス・アプリケーション・サービス管理定義
の追加または更新の試行中に、ターゲット有効範囲と関
連有効範囲が同一であると判別されました。

システムの処置: このメッセージは EYUBM30nE メッ
セージとともに発行され、追加または更新のアクション
が試行されたかどうかを示しています。要求されたアク
ションは実行されませんでした。

ユーザーの処置: ターゲット有効範囲または関連有効範
囲を変更し、同一にならないようにしてください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *scope1*
5. *resassgn*
6. *scope2*
7. 以下のオプションから選択される値:

1=リソース割り当て,
2=リソース記述

8. *resaorresd*

宛先: COLG

EYUBM0332I I *date time applid (resassgn1)* のリソー
ス記述にあるリソース割り当てのターゲッ
ト有効範囲 (*scope1*) と (*resassgn2*) のリソ
ース記述にあるリソース割り当ての関連有
効範囲 (*scope2*) が同じです。

説明: ビジネス・アプリケーション・サービス管理定義
の追加または更新の試行中に、ターゲット有効範囲と関
連有効範囲が同一であると判別されました。

システムの処置: このメッセージは EYUBM30nE メッ
セージとともに発行され、追加または更新のアクション
が試行されたかどうかを示しています。要求されたアク
ションは実行されませんでした。

ユーザーの処置: ターゲット有効範囲または関連有効範
囲を変更し、同一にならないようにしてください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *scope1*
5. *resassgn1*
6. *scope2*
7. *resassgn2*

宛先: COLG

EYUBM0333I I *date time applid* {リソース割り当て
| リソース記述} (*resaorresd1*) のターゲッ
ト・システム (*system*) は、{リソース割り
当て | リソース記述} (*resaorresd2*) の関
連有効範囲 (*scope*) 内にあります。

説明: ビジネス・アプリケーション・サービスの管理定
義の追加や更新の試行中に、ターゲット・システムは関
連スコープに含まれていると判別されました。

システムの処置: このメッセージは EYUBM30nE メッ
セージとともに発行され、追加または更新のアクション
が試行されたかどうかを示しています。要求されたアク
ションは実行されませんでした。

ユーザーの処置: ターゲット・システムが関連スコープ
のいずれかを変更してください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *system*
5. 以下のオプションから選択される値:

1=リソース割り当て,
2=リソース記述

6. *resaorresd1*
7. *scope*
8. 以下のオプションから選択される値:

1=リソース割り当て,
2=リソース記述

9. *resaorresd2*

宛先: COLG

EYUBM0334I I *date time applid* {リソース割り当て
| リソース記述} (*resaorresd*) のターゲッ
ト・システム (*system*) は、(*resassgn*) の
リソース記述にあるリソース割り当ての関
連有効範囲 (*scope*) 内にあります。

説明: ビジネス・アプリケーション・サービスの管理定
義の追加や更新の試行中に、ターゲット・システムは関
連スコープに含まれていると判別されました。

システムの処置: このメッセージは EYUBM30nE メッ
セージとともに発行され、追加または更新のアクション
が試行されたかどうかを示しています。要求されたアク
ションは実行されませんでした。

ユーザーの処置: ターゲット・システムが関連スコープ
のいずれかを変更してください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *system*
5. 以下のオプションから選択される値:

1=リソース割り当て,
2=リソース記述

6. *resaorresd*
7. *scope*
8. *resassgn*

宛先: COLG

EYUBM0335I I *date time applid (reassgn)* のリソース
記述にあるリソース割り当てのターゲッ
ト・システム (*system*) は、{リソース割り
当て | リソース記述} (*resaorresd*) の関連
有効範囲 (*scope*) 内にあります。

説明: ビジネス・アプリケーション・サービスの管理定
義の追加や更新の試行中に、ターゲット・システムは関
連スコープに含まれていると判別されました。

システムの処置: このメッセージは EYUBM30nE メッ
セージとともに発行され、追加または更新のアクション
が試行されたかどうかを示しています。要求されたアク
ションは実行されませんでした。

ユーザーの処置: ターゲット・システムが関連スコープ
のいずれかを変更してください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *system*
5. *reassgn*
6. *scope*
7. 以下のオプションから選択される値:

1=リソース割り当て,
2=リソース記述

8. *resaorresd*

宛先: COLG

EYUBM0336I I *date time applid (reassgn1)* のリソース記述にあるリソース割り当てのターゲット・システム (*system*) は、(*reassgn2*) のリソース記述にあるリソース割り当ての関連有効範囲 (*scope*) 内にあります。

説明: ビジネス・アプリケーション・サービスの管理定義の追加や更新の試行中に、ターゲット・システムは関連スコープに含まれていると判別されました。

システムの処置: このメッセージは EYUBM30nE メッセージとともに発行され、追加または更新のアクションが試行されたかどうかを示しています。要求されたアクションは実行されませんでした。

ユーザーの処置: ターゲット・システムが関連スコープのいずれかを変更してください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *system*
5. *reassgn1*
6. *scope*
7. *reassgn2*

宛先: COLG

EYUBM0337I I *date time applid n* {リソース割り当て | リソース記述} (*resaorresd*) の関連システム (*system*) は、{リソース割り当て | リソース記述} (*resaorresd*) のターゲット有効範囲(*scope*) 内にあります。

説明: ビジネス・アプリケーション・サービス管理定義の追加または更新の試行中に、関連システムがターゲット有効範囲に含まれていると判別されました。

システムの処置: このメッセージは EYUBM30nE メッセージとともに発行され、追加または更新のアクションが試行されたかどうかを示しています。要求されたアクションは実行されませんでした。

ユーザーの処置: リソース割り当てまたはリソース記述から CICS システムを削除するか、ターゲット有効範囲を変更してください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *system*
5. 以下のオプションから選択される値:

1=リソース割り当て,
2=リソース記述

6. *resaorresd*

7. *scope*

8. 以下のオプションから選択される値:

1=リソース割り当て,
2=リソース記述

9. *resaorresd*

宛先: COLG

EYUBM0338I I *date time applid* {リソース割り当て | リソース記述} (*resaorresd1*) の関連システム (*system*) は、(*resaorresd2*) のリソース記述にあるリソース割り当てのターゲット有効範囲 (*scope*) 内にあります。

説明: ビジネス・アプリケーション・サービス管理定義の追加または更新の試行中に、関連システムがターゲット有効範囲に含まれていると判別されました。

システムの処置: このメッセージは EYUBM30nE メッセージとともに発行され、追加または更新のアクションが試行されたかどうかを示しています。要求されたアクションは実行されませんでした。

ユーザーの処置: リソース割り当て、リソース記述、またはリソース記述にあるリソース割り当てから CICS システムを削除するか、ターゲット有効範囲を変更してください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *system*
5. 以下のオプションから選択される値:

1=リソース割り当て,
2=リソース記述

6. *resaorresd1*
7. *scope*
8. *resaorresd2*

宛先: COLG

EYUBM0339I I *date time applid (resaorresd1)* のリソース記述にあるリソース割り当ての関連システム (*system*) は、{リソース割り当て | リソース記述} (*resaorresd2*) のターゲット有効範囲 (*scope*) 内にあります。

説明: ビジネス・アプリケーション・サービスの管理定義の追加や更新の試行中に、ターゲット・システムは関連スコープに含まれていると判別されました。

システムの処置: このメッセージは EYUBM30nE メッセージとともに発行され、追加または更新のアクションが試行されたかどうかを示しています。要求されたアクションは実行されませんでした。

ユーザーの処置: リソース記述にあるリソース割り当て、リソース割り当て、またはリソース記述から CICS システムを削除するか、ターゲット有効範囲を変更してください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *system*
5. *resaorresd1*
6. *scope*
7. 以下のオプションから選択される値:

1=リソース割り当て,
2=リソース記述

8. *resaorresd2*

宛先: COLG

EYUBM0340I I *date time applid (resassgn1)* のリソース記述にあるリソース割り当ての関連システム (*system*) は、(*resassgn2*) のリソース記述にあるリソース割り当てのターゲット有効範囲 (*scope*) 内にあります。

説明: ビジネス・アプリケーション・サービスの管理定義の追加や更新の試行中に、ターゲット・システムは関連スコープに含まれていると判別されました。

システムの処置: このメッセージは EYUBM30nE メッセージとともに発行され、追加または更新のアクションが試行されたかどうかを示しています。要求されたアクションは実行されませんでした。

ユーザーの処置: リソース記述にあるリソース割り当てから CICS システムを削除するか、ターゲット有効範囲を変更してください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *system*
5. *resassgn1*
6. *scope*
7. *resassgn2*

宛先: COLG

EYUBM0341I I *date time applid* {リソース割り当て | リソース記述} (*resaorresd1*) のターゲット有効範囲 (*scope1*) と {リソース割り当て | リソース記述} (*resaorresd2*) の関連有効範囲 (*scope2*) に、同じシステム (*system*) があります。

説明: ビジネス・アプリケーション・サービスの管理定義の追加や更新の試行中に、ターゲット・スコープと関連スコープは同じ CICS システムを含んでいると判別されました。

システムの処置: このメッセージは EYUBM30nE メッセージとともに発行され、追加または更新のアクションが試行されたかどうかを示しています。要求されたアクションは実行されませんでした。

ユーザーの処置: 重複する CICS システムを削除してください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *scope1*
5. 以下のオプションから選択される値:

1=リソース割り当て,
2=リソース記述

6. *resaorresd1*
7. *scope2*
8. 以下のオプションから選択される値:

1=リソース割り当て,
2=リソース記述

9. *resaorresd2*
10. *system*

宛先: COLG

EYUBM0342I I *date time applid* {リソース割り当て
| リソース記述} (*resaorresd*) のターゲット
有効範囲 (*scope1*) と (*resassgn*) のリソ
ース記述にあるリソース割り当ての関連有
効範囲 (*scope2*) に、同じシステム
(*system*) があります。

説明: ビジネス・アプリケーション・サービスの管理定
義の追加や更新の試行中に、ターゲット・スコープと関
連スコープは同じ CICS システムを含んでいると判別さ
れました。

システムの処置: このメッセージは EYUBM30nE メッ
セージとともに発行され、追加または更新のアクション
が試行されたかどうかを示しています。要求されたアク
ションは実行されませんでした。

ユーザーの処置: 重複する CICS システムを削除して
ください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *scope1*
5. 以下のオプションから選択される値:

1=リソース割り当て,
2=リソース記述

6. *resaorresd*
7. *scope2*
8. *resassgn*
9. *system*

宛先: COLG

EYUBM0343I I *date time applid (resassgn)* のリソ
ース記述にあるリソース割り当てのターゲッ
ト有効範囲 (*scope1*) と {リソース割り当て
| リソース記述} (*resaorresd*) の関連有効
範囲 (*scope2*) に、同じシステム (*system*)
があります。

説明: ビジネス・アプリケーション・サービスの管理定
義の追加や更新の試行中に、ターゲット・スコープと関
連スコープは同じ CICS システムを含んでいると判別さ
れました。

システムの処置: このメッセージは EYUBM30nE メッ
セージとともに発行され、追加または更新のアクション
が試行されたかどうかを示しています。要求されたアク
ションは実行されませんでした。

ユーザーの処置: 重複する CICS システムを削除して
ください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *scope1*
5. *resassgn*
6. *scope2*
7. 以下のオプションから選択される値:

1=リソース割り当て,
2=リソース記述

8. *resaorresd*
9. *system*

宛先: COLG

EYUBM0344I I *date time applid (resassgn1)* のリソ
ース記述にあるリソース割り当てのターゲッ
ト有効範囲 (*scope1*) と (*resassgn2*) のリソ
ース記述にあるリソース割り当ての関連有
効範囲 (*scope2*) に、同じシステム
(*system*) があります。

EYUBM0345I I • EYUBM0347I I

説明: ビジネス・アプリケーション・サービスの管理定義の追加や更新の試行中に、ターゲット・スコープと関連スコープは同じ CICS システムを含んでいると判別されました。

システムの処置: このメッセージは EYUBM30nE メッセージとともに発行され、追加または更新のアクションが試行されたかどうかを示しています。要求されたアクションは実行されませんでした。

ユーザーの処置: 重複する CICS システムを削除してください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *scope1*
5. *resassgn1*
6. *scope2*
7. *resassgn2*
8. *system*

宛先: COLG

EYUBM0345I I *date time applid* {リソース割り当て
| リソース記述} (*resaorresd*) の関連有効
範囲 (*scope*) に複数のシステムがあります。

説明: ビジネス・アプリケーション・サービス管理定義の追加または更新の試行中に、複数のシステムが関連有効範囲に含まれていると判別されました。リソース・タイプが TRANDEF で USAGE が DYNAM である場合を除き、関連有効範囲に複数のシステムを含めることはできません。

システムの処置: このメッセージは EYUBM30nE メッセージとともに発行され、追加または更新のアクションが試行されたかどうかを示しています。要求された操作は実行されませんでした。

ユーザーの処置: 関連有効範囲に複数のシステムが含まれていないことを確認してください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *scope*
5. 以下のオプションから選択される値:

1=リソース割り当て,
2=リソース記述

6. *resaorresd*

宛先: COLG

EYUBM0346I I *date time applid (resaorresd)* のリソース記述にあるリソース割り当ての関連有効範囲 (*scope*) に複数のシステムがあります。

説明: ビジネス・アプリケーション・サービス管理定義の追加または更新の試行中に、複数のシステムが関連有効範囲に含まれていると判別されました。リソース・タイプが TRANDEF で USAGE が DYNAM である場合を除き、関連有効範囲に複数のシステムを含めることはできません。

システムの処置: このメッセージは EYUBM30nE メッセージとともに発行され、追加または更新のアクションが試行されたかどうかを示しています。要求された操作は実行されませんでした。

ユーザーの処置: 関連有効範囲に複数のシステムが含まれていないことを確認してください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *scope*
5. *resaorresd*

宛先: COLG

EYUBM0347I I *date time applid* {リソース割り当て
| リソース記述} (*resaorresd*) の関連有効
範囲 (*scope*) のシステム (*system*) に
SYSID がありません。

説明: ビジネス・アプリケーション・サービス管理定義の追加または更新の試行中に、関連有効範囲内の示されているシステムに **SYSID** が定義されていないと判別されました。リソース・タイプが TRANDEF で USAGE が DYNAM の場合を除き、関連有効範囲内の示されているシステムには **SYSID** が定義されている必要があります。

システムの処置: このメッセージは EYUBM30nE メッセージとともに発行され、追加または更新のアクションが試行されたかどうかを示しています。要求された操作は実行されませんでした。

ユーザーの処置: 関連有効範囲内の示されているシステムの CICS 定義に、SYSID が含まれていることを確認してください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *system*
5. *scope*
6. 以下のオプションから選択される値:

1=リソース割り当て,
2=リソース記述

7. *resaorresd*

宛先: COLG

EYUBM0348I I *date time applid (resassgn)* のリソース記述にあるリソース割り当ての関連有効範囲 (*scope*) のシステム (*system*) に **SYSID** がありません。

説明: ビジネス・アプリケーション・サービス管理定義の追加または更新の試行中に、関連有効範囲内の示されているシステムに **SYSID** が定義されていないと判別されました。リソース・タイプが **TRANDEF** で **USAGE** が **DYNAM** の場合を除き、関連有効範囲内の示されているシステムには **SYSID** が定義されている必要があります。

システムの処置: このメッセージは EYUBM30*n* メッセージとともに発行され、追加または更新のアクションが試行されたかどうかを示しています。要求された操作は実行されませんでした。

ユーザーの処置: 関連有効範囲内の示されているシステムの CICS 定義に、**SYSID** が含まれていることを確認してください。

モジュール: EYU0BMSG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *system*
5. *scope*
6. *resassgn*

宛先: COLG

EYUBM0349W W *date time applid*

CICSplex(plexname) の *deftype(defname)*

レコードがデータ・リポジトリにありません。

説明: CMAS は、データ・リポジトリを読み取って、接続している MAS 上にインストールするリソース・レコードを入手します。しかし、データ・リポジトリからリソース定義が欠落しています。

システムの処置: CMAS は、欠落しているレコードを迂回して、その他のリソース定義のインストールを続行します。

ユーザーの処置: EYULOG 内のメッセージ

EYUXD0002I を調べて、データ・リポジトリからレコードが削除されているかどうか確認してください。

モジュール: EYU0BMES

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *deftype*
5. *defname*
6. *plexname*

宛先: COLG

EYUBM0500E E *date time applid APPLDEF appldef*
はファイル *filename* を見つけることができません。

説明: アプリケーション *appldef* のインストール・プロセス中に UNIX システム・サービス・ファイルが見つかりませんでした。

システムの処置: アプリケーションはインストールされません。

ユーザーの処置: アプリケーションおよびアプリケーション・バインディング・バンドルが正常にエクスポートされたことを確認してください。アプリケーション定義でアプリケーションおよびバインディングのディレクトリが正しく指定されていることを確認してください。

モジュール: EYU0BPDx

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *appldef*
5. *filename*

宛先: COLG

EYUBM0501E E *date time applid* ファイル *filename*
 に対する **APPLDEF appldef** 許可エラーが
 発生しました。(**APPLDEF appldef**
authorization error for file filename.)

説明: 許可エラーが原因で、アプリケーション *appldef*
 のインストール・プロセス中に UNIX システム・サー
 ビス・ファイルをオープンすることができませんでし
 た。

システムの処置: アプリケーションはインストールされ
 ません。

ユーザーの処置: Unix システム・サービスのファイル
 権限が適切に設定されていることを確認してください。

モジュール: EYU0BPDX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *appldef*
5. *filename*

宛先: COLG

EYUBM0502E E *date time applid APPLDEF appldef*
 で空のファイル *filename* が検出されまし
 た。(**APPLDEF appldef empty file**
found filename.)

説明: アプリケーション *appldef* 用の UNIX システ
 ム・サービス・ファイルが空であることが検出されまし
 た。

システムの処置: アプリケーションはインストールされ
 ません。

ユーザーの処置: アプリケーションおよびアプリケーシ
 ョン・バインディング・バンドルが正常にエクスポート
 されたことを確認してください。

モジュール: EYU0BPDX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *appldef*
5. *filename*

宛先: COLG

EYUBM0503E E *date time applid APPLDEF appldef*
 でファイル *filename* に対するコード・ペ
 ージ変換エラーが発生しました。
(APPLDEF appldef codepage conversion
error for file filename.)

説明: UNIX システム・サービス・ファイルの内容
 が、アプリケーション *appldef* 用にコード・ページ変換
 できません。

システムの処置: アプリケーションはインストールされ
 ません。

ユーザーの処置: アプリケーションおよびアプリケーシ
 ョン・バインディング・バンドルが正常にエクスポート
 されたことを確認してください。

モジュール: EYU0BPDX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *appldef*
5. *filename*

宛先: COLG

EYUBM0504E E *date time applid APPLDEF appldef*
 でファイル *filename* には無効な **XML** が
 検出されました。(**APPLDEF appldef**
invalid XML found for file filename.)

説明: アプリケーション *appldef* 用の UNIX システ
 ム・サービス・ファイルの内容が解析できません。

システムの処置: アプリケーションはインストールされ
 ません。この問題の詳細を記述したメッセージ
 DFHPI1007 またはメッセージ DFHPI1009 が発行され
 ます。

ユーザーの処置: アプリケーションおよびアプリケーシ
 ョン・バインディング・バンドルが正常にエクスポート
 されたことを確認してください。

モジュール: EYU0BPDX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *appldef*
5. *filename*

宛先: COLG

EYUBM0505E E *date time applid* アプリケーション
application appversion とアプリケーション
のバインディング *binding bindversion* の
間で **APPLDEF appldef** の不一致が検出さ
れました。

説明: アプリケーション *appldef* でアプリケーションと
バインディング・バンドルが一致しません。

システムの処置: アプリケーションはインストールされ
ません。

ユーザーの処置: アプリケーションおよびアプリケーシ
ョン・バインディング・バンドルが正常にエクスポート
されたことを確認してください。

モジュール: EYU0BPDX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *appldef*
5. *application*
6. *appversion*
7. *binding*
8. *bindversion*

宛先: COLG

EYUBM0506E E *date time applid APPLDEF appldef*
にデプロイメント情報 *bundleid*
bundleversion のないアンバインド済みバ
ンドルが含まれています。 (**APPLDEF**
appldef **contains an unbound Bundle**
with no deployment information
bundleid bundleversion.)

説明: アプリケーション *appldef* でアプリケーションと
バインディング・バンドルが一致しません。

システムの処置: アプリケーションはインストールされ
ません。

ユーザーの処置: アプリケーションおよびアプリケーシ
ョン・バインディング・バンドルが正常にエクスポート
されたことを確認してください。

モジュール: EYU0BPDX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *appldef*

5. *bundleid*
6. *bundleversion*

宛先: COLG

EYUBM0507E E *date time applid APPLDEF appldef*
でファイル *filename* には無効なバージョ
ン番号が検出されました。サポートされる
最新のバージョンは *version* です。

説明: UNIX システム・サービス・ファイルの内容
が、アプリケーション *appldef* に対して誤ったバージョ
ンです。

システムの処置: アプリケーションはインストールされ
ません。

ユーザーの処置: アプリケーションおよびアプリケーシ
ョン・バインディング・バンドルが正常にエクスポート
されたことを確認してください。

モジュール: EYU0BPDX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *appldef*
5. *filename*
6. *version*

宛先: COLG

EYUBM0508E E *date time applid APPLDEF appldef*
の *parameter* がロケーション *directory* で
見つかりませんでした。

説明: アプリケーション *appldef* のバンドル・ディレク
トリーが見つかりませんでした。

システムの処置: アプリケーションはインストールされ
ません。

ユーザーの処置: アプリケーションおよびアプリケーシ
ョン・バインディング・バンドルが正常にエクスポート
されたことを確認してください。

モジュール: EYU0BPDX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *appldef*
5. *parameter*
6. *directory*

宛先: COLG

EYUBM0509E E *date time applid APPLDEF appldef*
にバンドル *bundleid bundleversion* 用の未
使用のバインディングが含まれています。

説明: アプリケーション *appldef* でバンドル用の未使用
のバインディングが見つかりました。

システムの処置: アプリケーションはインストールされ
ません。

ユーザーの処置: アプリケーションおよびアプリケーシ
ョン・バインディング・バンドルが正常にエクスポート
されたことを確認してください。

モジュール: EYU0BPDx

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *appldef*
5. *bundleid*
6. *bundleversion*

宛先: COLG

EYUBM0510E E *date time applid APPLDEF appldef*
に、ゼロ未満の *version* 番号のバンドル
bundleid への参照が含まれています。

説明: アプリケーション *appldef* でゼロ未満のバージョ
ン番号が見つかりました。

システムの処置: アプリケーションはインストールされ
ません。

ユーザーの処置: アプリケーションおよびアプリケーシ
ョン・バインディング・バンドルが正常にエクスポート
されたことを確認してください。

モジュール: EYU0BPDx

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *appldef*
5. *bundleid*
6. *version*

宛先: COLG

EYUBM0511E E *date time applid APPLDEF appldef*
に、**PLATDEF** *platdef* には無効な領域タ
イプ *regionType* にバインドされているバ
ンドル *bundleid version* が含まれていま
す。

説明: アプリケーション *appldef* で無効な領域タイプが
見つかりました。

システムの処置: アプリケーションはインストールされ
ません。

ユーザーの処置: アプリケーションおよびアプリケーシ
ョン・バインディング・バンドルが正常にエクスポート
されたことを確認してください。

モジュール: EYU0BPDx

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *appldef*
5. *bundleid*
6. *version*
7. *regionType*
8. *platdef*

宛先: COLG

EYUBM0512E E *date time applid APPLDEF appldef*
に、プラットフォーム *platform* に対して
予期しないバインディングが含まれていま
す。予期されるプラットフォームは
expectedPlatform です。

説明: アプリケーション *appldef* で予期しないプラット
フォームが見つかりました。

システムの処置: アプリケーションはインストールされ
ません。

ユーザーの処置: アプリケーションおよびアプリケーシ
ョン・バインディング・バンドルが正常にエクスポート
されたことを確認してください。

モジュール: EYU0BPDx

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *appldef*
5. *platform*

EYUBNnnnn メッセージ

EYUBNnnnn メッセージで一般的に使用される変数を以下に示します。

cmdname

EXEC CICS コマンド名:

CREATE DISCARD
INQUIRE

または、*cmdname* が COMPLETE の場合は、**CREATE CONNECTION COMPLETE** コマンドです。

restype

リソース・タイプの名前。

resname

リソースの名前。

version

CMAS データ・リポジトリの定義レコードのバージョン。値 N/A は、リソース・タイプが定義レコードを表していないことを示します (TERMINAL POOL など)。

resp

CICS によって返される RESP= 値。

resp2

CICS によって返される RESP2= 値。

resp2lo

CICS によって返される RESP2LO= 値。

resp2hi

CICS によって返される RESP2HI= 値。

特定の CICS コマンドの RESP、RESP2、RESP2LO、および RESP2HI の値については、システム・コマンドを参照してください。

その他のそれほど一般的ではない変数については、その変数が使用されるメッセージで説明します。

EYUBN0001I I *date time applid* **CICS** リリース *rel*
はリソース作成をサポートしていません。

説明: リソースのインストール時に、示されている
CICS リリースが EXEC CICS CREATE コマンドをサポートしていないことが判明しました。

システムの処置: BAS 要求処理は終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0BNCC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

4. *rel*

宛先: COLG

EYUBN0002I I *date time applid* **CICS** リリース *rel*
 は {CONNECTION | DOCTEMP |
 DB2CONN | DB2ENTRY | DB2TRAN
 | EJCOSE | EJDJAR | ENQMODEL |
 FEPINODE | FEPIPOOL | FEPIPROP |
 FEPITRGT | FILE | JOURNAL |
 JOURNAL MODEL | LSRPOOL |
 MAPSET | PARTNER | PROCTYPE |
 PROFILE | PROGRAM |
 PARTITIONSET | RQMODEL | TCPIPS
 | TDQUEUE | TERMINAL |
 TRANSACTION | TRANCLASS |
 TSMODEL | TYPETERM | URIMAP |
 PIPELINE | WEBSERVICE | IPCONN
 | LIBRARY | ATOMSERVICE |
 BUNDLE | MQCON | JVMSERVER |
 MQMONITOR} リソース *resname* をサポ
 ートしていません。

説明: リソースのインストール時に、示されている
CICS リリースが示されているリソース・タイプの
function をサポートしていないことが判明しました。
function は、次のいずれかです。

作成

この **CICS** リリースは、示されているリソース
 に対する EXEC CICS CREATE をサポートし
 ていません。

破棄

この **CICS** リリースは、示されているリソース
 に対する EXEC CICS DISCARD をサポート
 していません。

このメッセージは、検出されるリソース・タイプごとに
 1 回だけ発行されます。

システムの処置: このリソースに対する BAS 処理はバ
 イパスされ、次の要求に処理が進みます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0BNCC, EYU0BNC1, EYU0BNDC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *rel*
5. 以下のオプションから選択される値:

1=CONNECTION,
 2=DOCTEMP,
 3=DB2CONN,

4=DB2ENTRY,
 5=DB2TRAN,
 6=EJCOSE,
 7=EJDJAR,
 8=ENQMODEL,
 9=FEPINODE,
 10=FEPIPOOL,
 11=FEPIPROP,
 12=FEPITRGT,
 13=FILE,
 14=JOURNAL,
 15=JOURNAL MODEL,
 16=LSRPOOL,
 17=MAPSET,
 18=PARTNER,
 19=PROCTYPE,
 20=PROFILE,
 21=PROGRAM,
 22=PARTITIONSET,
 23=RQMODEL,
 24=TCPIPS,
 25=TDQUEUE,
 26=TERMINAL,
 27=TRANSACTION,
 28=TRANCLASS,
 29=TSMODEL,
 30=TYPETERM,
 31=URIMAP,
 32=PIPELINE,
 33=WEBSERVICE,
 34=IPCONN,
 35=LIBRARY,
 36=ATOMSERVICE,
 37=BUNDLE,
 38=MQCON,
 39=JVMSERVER,
 40=MQMONITOR

6. *resname*

宛先: COLG

EYUBN0005E E *date time applid cmdname が*
 {CONNECTION | DOCTEMP |
 DB2CONN | DB2ENTRY | DB2TRAN
 | EJCOSE | EJDJAR | ENQMODEL |
 FEPINODE | FEPIPOOL | FEPIPROP |
 FEPITRGT | FILE | JOURNAL |
 JOURNAL MODEL | LSRPOOL |
 MAPSET | PARTNER | PROCTYPE |
 PROFILE | PROGRAM |
 PARTITIONSET | RQMODEL |
 SESSION | TCPIPS | TDQUEUE |
 TERMINAL | TERMINAL POOL |
 TRANSACTION | TRANCLASS |
 TSMODEL | TYPETERM | URIMAP |
 PIPELINE | WEBSERVICE | IPCONN
 | LIBRARY | ATOMSERVICE |
 BUNDLE | MQCON | JVMSERVER |
 MQMONITOR} *resname* (バージョン
version) で失敗しました。**RESP=resp**、
RESP2LO=resp2lo、**RESP2HI=resp2hi**

説明: 示されている EXEC CICS コマンドが示されて
 いるリソースで失敗しました。メッセージ変数の説明に
 ついては、EYUBNnnnn メッセージの概要を参照してく
 ださい。示されているリソースが既に存在している場合
 は、関連する DFH メッセージで追加情報を参照してく
 ださい。

システムの処置: 例外トレース・レコードが CICS ト
 レース・データ・セットに書き込まれます。CICS シス
 テムに対して指定されたリカバリー・アクションが実行
 されます。デフォルトの処置では処理が続行されます。
 それ以外の場合は代替処置を示すメッセージ
 EYUBN0008W が発行されます。

ユーザーの処置: EYUBN0008W が発行されているかど
 うかを確認してください。

モジュール: EYU0BNCC, EYU0BNC1, EYU0BNC2,
 EYU0BNC3, EYU0BNC4, EYU0BNC5, EYU0BNC6

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cmdname*
5. 以下のオプションから選択される値:

1=CONNECTION,
 2=DOCTEMP,
 3=DB2CONN,
 4=DB2ENTRY,
 5=DB2TRAN,

6=EJCOSE,
 7=EJDJAR,
 8=ENQMODEL,
 9=FEPINODE,
 10=FEPIPOOL,
 11=FEPIPROP,
 12=FEPITRGT,
 13=FILE,
 14=JOURNAL,
 15=JOURNAL MODEL,
 16=LSRPOOL,
 17=MAPSET,
 18=PARTNER,
 19=PROCTYPE,
 20=PROFILE,
 21=PROGRAM,
 22=PARTITIONSET,
 23=RQMODEL,
 24=SESSION,
 25=TCPIPS,
 26=TDQUEUE,
 27=TERMINAL,
 28=TERMINAL POOL,
 29=TRANSACTION,
 30=TRANCLASS,
 31=TSMODEL,
 32=TYPETERM,
 33=URIMAP,
 34=PIPELINE,
 35=WEBSERVICE,
 36=IPCONN,
 37=LIBRARY,
 38=ATOMSERVICE,
 39=BUNDLE,
 40=MQCON,
 41=JVMSERVER,
 42=MQMONITOR

6. *resname*
7. *version*
8. *resp*
9. *resp2lo*
10. *resp2hi*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUBN0006E E *date time applid cmdname が*
 {CONNECTION | DB2CONN |
 DB2ENTRY | DB2TRAN | EJCOSE |
 EJDJAR | ENQMODEL | FILE |
 JOURNAL MODEL | MAPSET |
 PARTNER | PROCTYPE | PROFILE |
 PROGRAM | PARTITIONSET | TCPIPS
 | TDQUEUE | TERMINAL |
 TRANSACTION | TRANCLASS |
 TYPETERM | URIMAP | PIPELINE |
 WEBSERVICE | IPCONN | LIBRARY |
 ATOMSERVICE | BUNDLE | MQCON
 | JVMSERVER | MQMONITOR}
resname (バージョン version) で失敗しま
した。RESP=resp、resp2

説明: 示されている EXEC CICS コマンドが示されて
 いるリソースで失敗しました。メッセージ変数の説明に
 ついては、CICS 資料を参照してください。

システムの処置: 例外トレース・レコードが CICS ト
 レース・データ・セットに書き込まれます。CICS シス
 テムのリカバリー・アクションが実行されます。デフォ
 ルトの処置では処理が続行されます。それ以外の場合
 は代替処置を示すメッセージ EYUBN0008W が発行され
 ます。

ユーザーの処置: EYUBN0008W が発行されているかど
 うかを確認してください。

モジュール: EYU0BNCC, EYU0BNC1, EYU0BNC2,
 EYU0BNC3, EYU0BNC4, EYU0BNC5, EYU0BNC6,
 EYU0BNDC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cmdname*
5. 以下のオプションから選択される値:

1=CONNECTION,
 2=DB2CONN,
 3=DB2ENTRY,
 4=DB2TRAN,
 5=EJCOSE,
 6=EJDJAR,
 7=ENQMODEL,
 8=FILE,
 9=JOURNAL MODEL,
 10=MAPSET,
 11=PARTNER,
 12=PROCTYPE,
 13=PROFILE,

14=PROGRAM,
 15=PARTITIONSET,
 16=TCPIPS,
 17=TDQUEUE,
 18=TERMINAL,
 19=TRANSACTION,
 20=TRANCLASS,
 21=TYPETERM,
 22=URIMAP,
 23=PIPELINE,
 24=WEBSERVICE,
 25=IPCONN,
 26=LIBRARY,
 27=ATOMSERVICE,
 28=BUNDLE,
 29=MQCON,
 30=JVMSERVER,
 31=MQMONITOR

6. *resname*
7. *version*
8. *resp*
9. *resp2*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUBN0007W W *date time applid リソース resname*
(バージョン version) に、{CONNECTION
| DB2CONN | DB2ENTRY | EJCOSE
| EJDJAR | ENQMODEL | FILE |
MAPSET | PROCTYPE | PROGRAM |
PARTITIONSET | TCPIPS | TDQUEUE
| TERMINAL | URIMAP | PIPELINE
| WEBSERVICE | IPCONN | LIBRARY
| ATOMSERVICE | BUNDLE |
MQCON | JVMSERVER |
MQMONITOR} が存在します。object
name status

説明: 示されているリソースは既に存在しており、リソ
 ース交換に適切な状況ではありません。

status

次のいずれかを指定します。

- CLOSED でない (not CLOSED)
- DISABLED でない (not DISABLED)
- OUTSERVICE でない (not OUTSERVICE)
-

RELEASED でない (not RELEASED)

- 現在使用中 (currently in use)

object

ファイル、プログラム、または一時データ・キューのいずれかです。

name

ファイル、プログラム、または一時データ・キューの実際の名前です。

端末と接続には同じ名前を指定できないため、CREATE が接続を対象としている場合はこのメッセージは端末を示し、CREATE が端末を対象としている場合は接続を示すことに注意してください。

このメッセージが生成されるのは、リソース・インストール要求で「状態検査 (State Check)」が「はい (Yes)」に設定されている場合だけです。

システムの処置: 1 つ以上のインストール・リソースが正しい状態ではないため、BAS 処理は続行されず、何もインストールされません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0BNCC, EYU0BNC2, EYU0BNC3, EYU0BNC4, EYU0BNC5, EYU0BNC6, EYU0BNDC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *resname*
5. *version*
6. 以下のオプションから選択される値:

1=CONNECTION,
2=DB2CONN,
3=DB2ENTRY,
4=EJCOSE,
5=EJDJAR,
6=ENQMODEL,
7=FILE,
8=MAPSET,
9=PROCTYPE,
10=PROGRAM,
11=PARTITIONSET,
12=TCPIPS,
13=TDQUEUE,
14=TERMINAL,
15=URIMAP,
16=PIPELINE,

17=WEBSERVICE,
18=IPCONN,
19=LIBRARY,
20=ATOMSERVICE,
21=BUNDLE,
22=MQCON,
23=JVMSERVER,
24=MQMONITOR

7. *object*
8. *name*
9. *status*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUBN0008W W *date time applid* エラーが発生しました。失敗アクションは *action* です。

説明: CICS システムに対して指定されている、エラー発生後に実行されるリカバリー・アクションを示します。

action

次のいずれかを指定します。

- CICS の終了 (terminate the CICS)
- オペレーターに対するプロンプト表示 (prompt the operator)
- CREATE 処理の終了 (terminate the CREATE processing)

このメッセージは、EYUBN0005E または EYUBN0006E と同時に発行されます。

システムの処置: 失敗アクションに基づいて処理が続行されます。アクションが「オペレーターに対するプロンプト表示 (prompt the operator)」の場合、メッセージ EYUBN0010E が発行されます。

ユーザーの処置: アクションが「オペレーターに対するプロンプト表示 (prompt the operator)」の場合、メッセージ EYUBN0010E に応答してください。

モジュール: EYU0BNCC, EYU0BNC1, EYU0BNC2, EYU0BNC3, EYU0BNC4, EYU0BNC5, EYU0BNC6, EYU0BNDC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. action

宛先: コンソールおよび COLG

EYUBN0009W W *date time applid CICS type* 終了が要求されました。

説明: BAS インストール障害の結果、ターゲット CICS システムの終了がスケジュールされました。

type

NORMAL または IMMEDIATE。

システムの処置: BAS 要求処理が終了し、示されているターゲット CICS のシャットダウンが開始されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0BNCC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *type*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUBN0010E E *date time applid* 失敗アクションを指定してください-
'CONTINUE'、'TERMINATE'、'NORMAL'
または 'IMMEDIATE'。

説明: 障害が発生し、CICS システムのリカバリー・アクションを求めるプロンプトがオペレーターに出されます。

システムの処置: システムはオペレーターの応答を待ちます。

ユーザーの処置: コンソール・メッセージに対して次のいずれかで応答してください。

CONTINUE (続行)

BAS 要求の処理を続行します。

TERMINATE

BAS 要求の処理を終了します。

NORMAL

ターゲット CICS の通常シャットダウンを開始します。

IMMEDIATE

ターゲット CICS の即時シャットダウンを開始します。

モジュール: EYU0BNCC, EYU0BNC1, EYU0BNC2,

EYU0BNC3, EYU0BNC4, EYU0BNC5, EYU0BNC6, EYU0BNDC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUBN0011E E *date time applid* 失敗アクション *action* は無効です。

説明: メッセージ EYUBN0010E に対するオペレーター応答が無効です。

システムの処置: メッセージ EYUBN0010E が再発行されます。

ユーザーの処置: メッセージ EYUBN0010E に対し、メッセージにリストされている応答のいずれかで応答してください。

モジュール: EYU0BNCC, EYU0BNC1, EYU0BNC2, EYU0BNC3, EYU0BNC4, EYU0BNC5, EYU0BNC6, EYU0BNDC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *action*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUBN0012W W *date time applid* {CONNECTION | TERMINAL POOL} *resname2* (バージョン *version2*) {の COMPLETE に失敗した | の DISCARD が正常に行われた | の DISCARD に失敗した | の使用可能セッションがない | が未定義または使用不可である} ため、{CONNECTION | SESSION | TERMINAL | TERMINAL POOL} *resname1* (バージョン *version1*) は使用できません。

説明: 別のリソースの処理が未完了であるか失敗したため、示されているリソースは使用できません。

reason

次のいずれかを指定します。

- の COMPLETE に失敗した
-

のDISCARDに失敗した

- のDISCARDが正常に行われた
- の使用可能セッションがない (示されている接続に対してセッションが定義されていないため、この接続は破棄されました。)
- が未定義または使用不可である (示されているセッションが処理されなかった接続を参照しているか、接続処理が失敗したか、接続が存在していないか、または接続が存在しているが使用中であるため、示されているセッションは作成されませんでした。)

その他のメッセージ変数の説明については、CICS 資料を参照してください。

システムの処置: *reason* が、COMPLETE または DISCARD が失敗したことを示している場合、実行される処置は、CICS システムに対して指定されているリカバリー・アクションに基づきます。このメッセージは EYUBN0005E と同時に発行され、追加の情報を提供します。

reason が障害を示していない場合は、次の BAS 要求が処理されます。

ユーザーの処置: リソースは正常に処理されなかったため、使用できないことに注意してください。

モジュール: EYU0BNC5、EYU0BNC6

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=CONNECTION,
2=SESSION,
3=TERMINAL,
4=TERMINAL POOL

5. *resname1*
6. *version1*

7. 以下のオプションから選択される値:

1=の COMPLETE に失敗した,
2=の DISCARD が正常に行われた,
3=の DISCARD に失敗した,
4=の使用可能セッションがない,
5=が未定義または使用不可である

8. 以下のオプションから選択される値:

1=CONNECTION,
2=TERMINAL POOL

9. *resname2*

10. *version2*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUBN0013W W *date time applid* {CONNECTION | TERMINAL POOL} *resname2* (バージョン *version2*) の **COMPLETE** に失敗したため、{CONNECTION | SESSION | TERMINAL | TERMINAL POOL} *resname1* (バージョン *version1*) は使用できません。

説明: 別のリソースでの処理が失敗したため、示されているリソースは使用できません。その他のメッセージ変数の説明については、CICS 資料を参照してください。

システムの処置: 実行される処置は、CICS システムに対して指定されたリカバリー・アクションに基づきます。このメッセージは EYUBN0005E と同時に発行され、追加の情報を提供します。

ユーザーの処置: リソースは正常に処理されなかったため、使用できないことに注意してください。

モジュール: EYU0BNC5、EYU0BNC6

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=CONNECTION,
2=SESSION,
3=TERMINAL,
4=TERMINAL POOL

5. *resname1*
6. *version1*

7. 以下のオプションから選択される値:

1=CONNECTION,
2=TERMINAL POOL

8. *resname2*
9. *version2*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUBN0014W W *date time applid {CONNECTION |
 TERMINAL POOL} resname2 (バージョン
 version2) の **DISCARD** が正常に行われ
 たため、{CONNECTION | SESSION |
 TERMINAL | TERMINAL POOL}
 resname1 (バージョン version1) は使用で
 きません。*

説明: 別のリソースでの処理が未完了であるため、示されているリソースは使用できません。その他のメッセージ変数の説明については、CICS 資料を参照してください。

システムの処置: このメッセージは EYUBN0005E と同時に発行され、追加の情報を提供します。

ユーザーの処置: リソースは正常に処理されなかったため、使用できないことに注意してください。

モジュール: EYU0BNC5、EYU0BNC6

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=CONNECTION,
 2=SESSION,
 3=TERMINAL,
 4=TERMINAL POOL

5. *resname1*
6. *version1*

7. 以下のオプションから選択される値:

1=CONNECTION,
 2=TERMINAL POOL

8. *resname2*
9. *version2*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUBN0015W W *date time applid {CONNECTION |
 TERMINAL POOL} resname2 (バージョン
 version2) の **DISCARD** に失敗したた
 め、{CONNECTION | SESSION |
 TERMINAL | TERMINAL POOL}
 resname1 (バージョン version1) は使用で
 きません。*

説明: 別のリソースでの処理が失敗したため、示されているリソースは使用できません。その他のメッセージ変

数の説明については、CICS 資料を参照してください。

システムの処置: 実行される処置は、CICS システムに対して指定されたリカバリー・アクションに基づきます。このメッセージは EYUBN0005E と同時に発行され、追加の情報を提供します。

ユーザーの処置: リソースは正常に処理されなかったため、使用できないことに注意してください。

モジュール: EYU0BNC5、EYU0BNC6

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=CONNECTION,
 2=SESSION,
 3=TERMINAL,
 4=TERMINAL POOL

5. *resname1*
6. *version1*

7. 以下のオプションから選択される値:

1=CONNECTION,
 2=TERMINAL POOL

8. *resname2*
9. *version2*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUBN0016W W *date time applid {CONNECTION |
 TERMINAL POOL} resname2 (バージョン
 version2) に使用可能セッションがないた
 め、{CONNECTION | SESSION |
 TERMINAL | TERMINAL POOL}
 resname1 (バージョン version1) は使用で
 きません。*

説明: 別のリソースでの処理が未完了であるため、示されているリソースは使用できません。その他のメッセージ変数の説明については、CICS 資料を参照してください。

システムの処置: このメッセージは EYUBN0005E と同時に発行され、追加の情報を提供します。

ユーザーの処置: リソースは正常に処理されなかったため、使用できないことに注意してください。

モジュール: EYU0BNC5、EYU0BNC6

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=CONNECTION,
2=SESSION,
3=TERMINAL,
4=TERMINAL POOL

5. *resname1*
6. *version1*

7. 以下のオプションから選択される値:

1=CONNECTION,
2=TERMINAL POOL

8. *resname2*
9. *version2*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUBN0017W W *date time applid* {CONNECTION |
TERMINAL POOL} *resname2* (バージョン
version2) が未定義または使用不可である
ため、{CONNECTION | SESSION |
TERMINAL | TERMINAL POOL}
resname1 (バージョン *version1*) は使用で
きません。

説明: 別のリソースでの処理が未完了であるため、示
されているリソースは使用できません。その他のメッセ
ージ変数の説明については、CICS 資料を参照してくださ
い。

システムの処置: このメッセージは EYUBN0005E と
同時に発行され、追加の情報を提供します。

ユーザーの処置: リソースは正常に処理されなかったた
め、使用できないことに注意してください。

モジュール: EYU0BNC5、EYU0BNC6

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=CONNECTION,
2=SESSION,
3=TERMINAL,
4=TERMINAL POOL

5. *resname1*
6. *version1*
7. 以下のオプションから選択される値:

1=CONNECTION,
2=TERMINAL POOL

8. *resname2*
9. *version2*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUBN0018W W *date time applid* 指定されたりソー
スの複数インスタンスをインストールでき
ません。指定された最初のリソースだけを
インストールしています。

説明: 複数のリソースは同時にインストールできないた
め、指定された MQCONN 定義のインストールが失敗
しました。

システムの処置: インストールが失敗し、メッセージが
発行されます。

ユーザーの処置: 1 つの MQCONN 定義のみを指定し
て、インストール・コマンドを再発行してください。

モジュール: EYU0BNCD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUBN0019W W *date time applid* 廃止されたキーワ
ード *keyword* が、{CONNECTION |
DOCTEMP | DB2CONN | DB2ENTRY
| DB2TRAN | EJCOSE | EJDJAR |
ENQMODEL | FEPINODE | FEPIPOOL
| FEPIPROP | FEPITRGT | FILE |
JOURNAL | JOURNAL MODEL |
LSRPOOL | MAPSET | PARTNER |
PROCTYPE | PROFILE | PROGRAM |
PARTITIONSET | RQMODEL |
SESSION | TCPIPS | TDQUEUE |
TERMINAL | TERMINAL POOL |
TRANSACTION | TRANCLASS |
TSMODEL | TYPETERM | URIMAP |
PIPELINE | WEBSERVICE | IPCONN
| LIBRARY | ATOMSERVICE |
BUNDLE | MQCON | JVMSERVER}
resname (バージョン *version*) の *cmdname*

中に検出され、無視されました。

説明: 示されている EXEC CICS コマンドの処理中に、示されているリソースで廃止されたキーワードが検出されました。

システムの処置: デフォルトの処置では、廃止されたキーワードは無視されて処理が続行されます。

ユーザーの処置: 追加の処置が必要であるかどうかを判断するため、示されているリソースを調べて廃止されたキーワードを特定してください。

モジュール: EYU0BNC3

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *keyword*
5. *cmdname*
6. 以下のオプションから選択される値:

1=CONNECTION,
2=DOCTEMP,
3=DB2CONN,
4=DB2ENTRY,
5=DB2TRAN,
6=EJCOSE,
7=EJDJAR,
8=ENQMODEL,
9=FEPINODE,
10=FEPPOOL,
11=FEPPIPROP,
12=FEPITRGT,
13=FILE,
14=JOURNAL,
15=JOURNAL MODEL,
16=LSRPOOL,
17=MAPSET,
18=PARTNER,
19=PROCTYPE,
20=PROFILE,
21=PROGRAM,
22=PARTITIONSET,
23=RQMODEL,
24=SESSION,
25=TCPIPS,
26=TDQUEUE,
27=TERMINAL,
28=TERMINAL POOL,
29=TRANSACTION,
30=TRANCLASS,
31=TSMODEL,
32=TYPETERM,
33=URIMAP,

34=PIPELINE,
35=WEBSERVICE,
36=IPCONN,
37=LIBRARY,
38=ATOMSERVICE,
39=BUNDLE,
40=MQCON,
41=JVMSEVER

7. *resname*

8. *version*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUBN0020I I *date time applid* **CICS** アプリケーションの状態のリカバリーが進行中です。
(CICS application state recovery is in progress.)

説明: CICS アプリケーションに関連する CICS BUNDLE リソースの ENABLED 状態と AVAILABLE 状態のリカバリーが進行中です。

システムの処置: CICS アプリケーションに関連する CICS BUNDLE リソースは、正しい ENABLED 状態および AVAILABLE 状態に移行します。状態のリカバリー処理が完了すると、メッセージ EYUBN0021I が発行されます。この処理中に問題が発生した場合は、メッセージ EYUBN0022W が発行されます。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

モジュール: EYU0BNBE

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUBN0021I I *date time applid* **CICS** アプリケーションの状態のリカバリーが完了しました。
(CICS application state recovery is complete.)

説明: CICS アプリケーションの状態のリカバリーが完了しました。

システムの処置: アクションは不要です。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

モジュール: EYU0BNBE

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUBN0022W W *date time applid* **CICS BUNDLE**
bundle が時間内に有効化できませんでした。
 関連するアプリケーションの状態がリ
 カバリーされない可能性があります。

説明: CICS アプリケーションの状態のリカバリーで、
 CICS BUNDLE が ENABLED 状態に達しなかったこと
 が検出されました。各アプリケーションで検出される最
 初の CICS BUNDLE のみが報告されます。

システムの処置: 他の CICS BUNDLE リソースについ
 ては CICS アプリケーションの状態のリカバリーが続行
 されますが、同一 CICS アプリケーション内のリソース
 は AVAILABLE 状態に設定されません。CICS
 BUNDLE リソースが ENABLED 状態および
 AVAILABLE 状態に入るまでは、この領域から CICS
 アプリケーションにアクセスすることはできません。

ユーザーの処置: 示されている CICS BUNDLE の関連
 CICS メッセージを参照し、適切な処置を判断してくだ
 さい。示されている CICS BUNDLE の DFHRL0128
 メッセージを参照し、関連プラットフォーム名、アプリ
 ケーション名、およびバージョンを判別してください。
 この情報を CICS メッセージまたは CICS エクスプロ
 ラーと組み合わせて使用することで、同じアプリケー
 ション・バージョンに関連付けられているすべての
 CICS BUNDLE リソースの状態を設定できます。

まだ有効になっていない可能性のあるリソースのインポ
 ートを含む CICS BUNDLE リソースの場合は、
 DFHRL0120 メッセージを参照して障害を特定してくだ
 さい。CICS 領域の開始中は、CICS アプリケーション
 の状態のリカバリーが完了するまで、CICS BUNDLE
 インポートによって宣言された依存関係は ENABLED
 状態に達しない可能性があります。最初に有効にできな
 かったこれらのインポートが含まれている CICS
 BUNDLE リソースは、依存関係が ENABLED 状態に
 達すると、ENABLED 状態に移行する可能性があります。
 これは、DFHRL0127 メッセージまたは
 DFHRL0132 メッセージで報告されます。この場合、依
 存関係が ENABLED 状態に達した後でも、アプリケー
 ションは自動的に AVAILABLE になりません。
 DISABLED インポートを CICS BUNDLE から削除す
 るか、オプションの依存関係に変更してください。

モジュール: EYU0BNBE

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *bundle*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUBN0098E E *date time applid* リソース作成に失敗
 しました。

説明: 非常に重大な障害が発生しました。メイン・モジ
 ュールで問題が発生したか、または従属モジュールから
 正常ではない応答コードが返されました。

システムの処置: 例外トレース・レコードが CICS ト
 レース・データ・セットに書き込まれます。BAS 要求
 処理は終了します。ターゲット CICS は引き続きアクテ
 イブです。

ユーザーの処置: 以下の情報を収集して、IBM サポー
 トにお問い合わせください。

-
- ターゲット CICS のジョブ・ログ。
-
- ターゲット CICS のトレース。
-
- CICSplex SM CICS EYULOG。

モジュール: EYU0BNCC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUBN0099I I *date time applid* リソース作成処理が
 完了しました。

説明: BAS リソース作成処理が完了しました。

システムの処置: リソースの作成が失敗した場合は、失
 敗について説明する 1 つ以上のエラー・メッセージが
 このメッセージと同時に発行されます。

リソースの作成が成功した場合はその他のエラー・メッ
 セージは発行されず、処置は必要ありません。

ユーザーの処置: エラー・メッセージを参照して適切な
 処置を判断してください。

モジュール: EYU0BNCC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUBUnnnn メッセージ

EYUBUnnnn メッセージは EYU9BCSD CSD EXTRACT ルーチンにより発行されます。EYUOUT ddname に表示されます。

EYUBU0010W W フィールド値が 30 文字を超えています。切り捨てられました。(Field value longer than 30 characters - truncated)

説明: CSD から抽出されるオブジェクトの記述が 30 文字を超えています。CICSplex SM の記述要件を満たすため、切り捨てられました。

システムの処置: EYUOUT データ・セットに書き込まれる DESCRIPTION カードには、DFHCSDUP によって提供される DESCRIPTION フィールドの最初の 30 文字のみが含まれます。メッセージの後に、完全な記述を含むコメントが EYUOUT に書き込まれます。DFHCSDUP 抽出処理が続行されます。

ユーザーの処置: EYUOUT を BATCHREP への入力として使用する前に、DESCRIPTION が適切であることを確認してください。

モジュール: EYU9BCSD

宛先:

EYUBU0020I I IBM 提供のグループからのオブジェクトが無視されました。(Object from IBM supplied group ignored.)グループ名: groupname オブジェクト・タイプ: objecttype オブジェクト名: objectname (Group name: groupname Object type: objecttype Object name: objectname)

説明: DFH または EYU で始まるグループからのオブジェクトは EYU9BCSD によって処理されません。

groupname は、オブジェクトを含む CSD グループの名前です。objecttype は、オブジェクトの CSD タイプ (TRANSACTION、FILE など) です。objectname は、処理されなかったオブジェクトの名前です。

システムの処置: DFHCSDUP 抽出処理が続行されます。

ユーザーの処置: CICS および CICSplex SM 提供の定義は、BAS ではなく RDO を使用してインストールする必要があります。サンプル・プログラムの定義を移行する必要がある場合は、IBM 提供のグループから必要なリソースをユーザー・グループにコピーし、そのユーザー・グループまたはリストを指定して DFHCSDUP 抽出を再実行します。

モジュール: EYU9BCSD

宛先:

EYUBU0110E E 無効なカード・タイプ - ERROR 状態が設定されました (Invalid card type - ERROR condition set)

説明: 無効な EYUIN 制御ステートメントが検出されました。

システムの処置: DFHCSDUP 抽出コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: EYUIN 入力を訂正してください。エラーのある EYUIN 制御ステートメントがメッセージの前に出力されます。詳しくは、CICS Knowledge Center の『抽出ルーチン EYU9BCSD への入力の作成』セクションを参照してください。

モジュール: EYU9BCSD

宛先:

EYUBU0111E E 重複カード - ERROR 状態が設定されました (Duplicate card - ERROR condition set)

説明: EYUIN 制御ステートメントが 2 回検出されました。

システムの処置: DFHCSDUP 抽出コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: EYUIN 入力を訂正してください。重複する EYUIN 制御ステートメントがメッセージの前に出力されます。

モジュール: EYU9BCSD

宛先:

EYUBU0112E E 値が無効であるかまたは欠落しています - ERROR 状態が設定されました (Invalid or missing value - ERROR condition set)

説明: 無効な EYUIN 制御ステートメントが検出されました。

システムの処置: DFHCSDUP 抽出コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: EYUIN 入力を訂正してください。EYUIN 制御ステートメントの構文が正しいことを確認

してください。無効な EYUIN 制御ステートメントがメッセージの前に出力されます。詳しくは、CICS Knowledge Center の『抽出ルーチン EYU9BCSD への入力で作成』セクションを参照してください。

モジュール: EYU9BCSD

宛先:

EYUBU0113E E DFHCSDUP からの呼び出しが無効です - **ERROR** 状態が設定されました
(Call out of order from DFHCSDUP - ERROR condition set)

説明: 予期しないパラメーターで抽出ルーチン EYU9BCSD が DFHCSDUP によって呼び出されました。

システムの処置: DFHCSDUP 抽出処理は停止します。

ユーザーの処置: DFHCSDUP を使用して CSD を検証し、ジョブを再実行依頼してください。問題が解決しない場合は、ジョブ・ログおよび CSD を収集して IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU9BCSD

宛先:

EYUBU0114E E DFHCSDUP からのヌルのオブジェクト名 - **ERROR** 状態が設定されました
(Null object name from DFHCSDUP - ERROR condition set)

説明: 抽出ルーチン EYU9BCSD に DFHCSDUP からオブジェクト名が渡されませんでした。

システムの処置: DFHCSDUP 抽出処理は停止します。

ユーザーの処置: DFHCSDUP を使用して CSD を検証し、ジョブを再実行依頼してください。問題が解決しない場合は、ジョブ・ログおよび CSD を収集して IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU9BCSD

宛先:

EYUBU0115E E DFHCSDUP からのヌルのキーワード名 - **ERROR** 状態が設定されました
(Null keyword name from DFHCSDUP - ERROR condition set)

説明: 抽出ルーチン EYU9BCSD に DFHCSDUP からオブジェクト属性が渡されませんでした。

システムの処置: DFHCSDUP 抽出処理は停止します。

ユーザーの処置: DFHCSDUP を使用して CSD を検証し、ジョブを再実行依頼してください。問題が解決しない場合は、ジョブ・ログおよび CSD を収集して IBM サポートにお問い合わせください。

い場合は、ジョブ・ログおよび CSD を収集して IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU9BCSD

宛先:

EYUBU0116E E INQUOTES が YES または NO ではありません - **ERROR** 状態が設定されました
(INQUOTES not YES or NO - ERROR condition set)

説明: INQUOTES EYUIN 制御ステートメントに無効な値が含まれています。有効値は YES または NO です。

システムの処置: DFHCSDUP 抽出処理は停止します。

ユーザーの処置: EYUIN 入力を訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU9BCSD

宛先:

EYUBU0117W W デフォルト以外の値が指定されました。**(Non-default value specified.)** キーワードが抑止されました。**(Keyword suppressed.)**

説明: 抽出ルーチン EYU9BCSD に、サポートされていない属性のキーワード (デフォルト以外の値) が渡されました。

システムの処置: DFHCSDUP 抽出処理により EYUOUT でそのキーワードがコメント化され、処理が続行します。条件コード 8 が DFHCSDUP から返されます。インストール時に CICS によって属性のデフォルト値が適用されます。

ユーザーの処置: EYUOUT ファイルを確認してください。

モジュール: EYU9BCSD

宛先:

EYUCCnnnn メッセージ

EYUCC0002E E *date time applid CMAS cmasname*
 の接続で、{更新 | 作成 | 削除 | リポ
 ジトリリー読み取り} 中に {メソッド障害 |
 リポジトリリー破損 | MAS アクティブ}
 が報告されました。

説明: 接続している CMAS にデータ・リポジトリリーの変更を通知しようとしたましたが、失敗しました。

name

エラーを報告した CMAS を示します。これはローカル CMAS (保守ポイント) または接続先 CMAS のいずれかです。

error

次のいずれかを指定します。

-
- メソッド障害
-
- リポジトリリー破損

action

報告されていた変更のタイプ。次のいずれかです。

-
- 作成
-
- 削除
-
- 更新

システムの処置: このメッセージの直後にメッセージ EYUCC0003E が発行されます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 報告されたエラーのタイプに応じて、以下のいずれかを実行します。

-
- メソッド障害の場合は、例外トレース・レコードを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。
-
- リポジトリリー破損の場合は、ローカル CMAS および接続している CMAS を調べ、保留中の通知要求がある CICSplex を確認し、データ・リポジトリリー更新を再試行してください。

モジュール: EYU0CCPP

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cmasname*
5. 以下のオプションから選択される値:

1=メソッド障害,
 2=リポジトリリー破損,
 3=MAS アクティブ

6. 以下のオプションから選択される値:

1=更新,
 2=作成,
 3=削除,
 4=リポジトリリー読み取り

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCC0003E E *date time applid CMAS cmasname*
 の接続の評価が終了しました。

説明: メッセージ EYUCC0002E で報告されたエラーが原因で、評価 CMAS ルーチンが異常終了しました。

name

エラーを報告した CMAS を示します。これはローカル CMAS (保守ポイント) または接続先 CMAS のいずれかです。

システムの処置: 接続している CMAS がローカル CMAS と次に通信するときに、保留中の通知プロセスが自動的に再試行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CCPP

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cmasname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCInnnn メッセージ

EYUCI0001I I *date time applid* 通信の初期化が完了しました。

説明: 通信コンポーネントが正常に初期設定されました。

システムの処置: CICSplex SM の初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CIIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUCI0002I I *date time applid* 通信の終了が完了しました。

説明: 通信コンポーネントが終了しました。

システムの処置: CICSplex SM の終了を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CITM、EYU1CITM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUCI0003I I *date time applid* {タイミング・サービス | トランスポート・サービス | リンク・セット・サービス | プロトコル・サービス | 接続サービス | セキュリティー・サービス} 初期化を開始しました。

説明: 通信コンポーネントの示されているサブコンポーネントが初期化されています。

subcompid

サブコンポーネントを以下のいずれかとして示します。

- タイミング・サービス
- トランスポート・サービス

- リンク・セット・サービス
- プロトコル・サービス
- 接続サービス
- アクセス・サービス

システムの処置: サブコンポーネントの初期化が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CIIN、EYU1CIIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=タイミング・サービス,
2=トランスポート・サービス,
3=リンク・セット・サービス,
4=プロトコル・サービス,
5=接続サービス,
6=セキュリティー・サービス

宛先: COLG

EYUCI0004I I *date time applid* データ・リポジトリにリンク定義が含まれていません。通信グループ *cgrp* は削除されます。

説明: CMAS の初期設定中に、データ・リポジトリがスキャンされて CMAS 間のリンク・レコードが検索されましたが、何も検出されませんでした。これは、CICSplex SM に対して (CMTCMDEF ビューまたは CMTPMDEF ビューを介して) リンクが定義されていない、またはリンクの定義後にデータ・リポジトリが再初期設定されたことを意味しています。

CICS DFHCSD ファイルをデータ・リポジトリに一致させるため、示されている CSD 通信グループ (CMAS のリンク定義が含まれているグループ) が削除されます。

grpname

EYUCxxxx 形式の通信グループの名前。xxxx
 は 4 文字の CMAS の CICS システム ID で
 す。

システムの処置: CICSplex SM が通信グループの削除
 を試行します。このメッセージの後に、グループを削除
 できたかどうかを示す別のメッセージが表示されます。
 EYUCI0005I はグループが削除されたことを示し、
 EYUCI0006E はグループが削除されなかったことを示し
 ます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CSSR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cgrp*

宛先: COLG

EYUCI0005I I *date time applid* 通信グループ *cgrp* の
 削除が正常に行われました。

説明: このメッセージはメッセージ EYUCI0004I の後
 に発行され、示されている CSD 通信グループが正常に
 削除されたことを示します。

grpname

EYUCxxxx 形式の通信グループの名前。xxxx
 は 4 文字の CMAS の CICS システム ID で
 す。

システムの処置: 通信コンポーネントの初期設定が続行
 されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CSSR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cgrp*

宛先: COLG

EYUCI0006E E *date time applid* 通信グループ *cgrp*
 の削除に失敗しました。[CEDA 障害 |
 CSD 使用中]。

説明: このメッセージはメッセージ EYUCI0004I の後
 に発行され、示されている CSD 通信グループを削除で
 きなかったことを示します。

grpname

EYUCxxxx 形式の通信グループの名前。xxxx
 は 4 文字の CMAS の CICS システム ID で
 す。

reason

次のいずれかを失敗の理由として示します。

CSD使用中

DFHCSD ファイルが別のユーザーま
 たはトランザクションによって 2 分
 を超えて使用されていました。グルー
 プを削除するには、DFHCSD ファイ
 ルへの更新アクセスが必要です。

CEDA 障害

CEDA インターフェースからゼロ以
 外の戻りコードが受信されました。こ
 のインターフェースは、DFHCSD フ
 ァイルからグループを削除するために
 使用されます。

システムの処置: CICSplex SM に対して定義されてい
 る CMAS 間のリンクが確立されませんでした。

「CEDA 障害」の場合、障害に関する詳細情報ととも
 にメッセージ EYUXS0003E が発行されます。

ユーザーの処置: 失敗の原因に応じて、次のいずれかを
 実行してください。

- 「CSD 使用中」の場合、初期設定中の CMAS で
 DFHCSD ファイルが使用可能であることを確認して
 ください。次に CMAS を停止して再始動してくださ
 い。

- 「CEDA 障害」の場合、メッセージ EYUXS0003E
 のテキストおよびCICS 用システム・プログラムの開
 発を確認し、CEDA 障害の原因を判別してくださ
 い。次に CMAS を停止して再始動してください。

モジュール: EYU0CSSR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cgrp*
5. 以下のオプションから選択される値:

1=CEDA 障害,
 2=CSD 使用中

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCI0007I I *date time applid* 通信グループ *cgrp* のインストールを開始しました。

説明: 通信コンポーネントの初期設定中に、示されている通信グループの定義がインストール中です。CMAS 間のリンクのすべての CICS 定義は、DFHCSD ファイルの通信グループ内にあります。

grpname

EYUCxxxx 形式の通信グループの名前。xxxx は 4 文字の CMAS の CICS システム ID です。

システムの処置: CICSplex SM がグループのインストールを試行します。このメッセージの後に、グループがインストールできたかどうかを示す別のメッセージが表示されます。EYUCI0008I はグループがインストールされたことを示し、EYUCI0008E と EYUCI0014W はグループがインストールされなかったことを示します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CSSR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cgrp*

宛先: COLG

EYUCI0008I I *date time applid* 通信グループ *cgrp* のインストールが正常に行われました。

説明: このメッセージはメッセージ EYUCI0007I の後に発行され、示されている CSD 通信グループが正常にインストールされたことを示します。

grpname

EYUCxxxx 形式の通信グループの名前。xxxx は 4 文字の CMAS の CICS システム ID です。

システムの処置: 通信コンポーネントの初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CSSR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cgrp*

宛先: COLG

EYUCI0009E E *date time applid* 通信グループ *grpname* のインストールに失敗しました。reason。

説明: このメッセージはメッセージ EYUCI0007I の後に発行され、示されている CSD 通信グループをインストールできなかったことを示します。

grpname

EYUCxxxx 形式の通信グループの名前。xxxx は 4 文字の CMAS の CICS システム ID です。

reason

次のいずれかを失敗の理由として示します。

CSD使用中

DFHCSD ファイルが別のユーザーまたはトランザクションによって 2 分を超えて使用されていました。グループをインストールするには、DFHCSD ファイルへの更新アクセスが必要です。

CEDA 障害

CEDA インターフェースからゼロ以外の戻りコードが受信されました。このインターフェースは、DFHCSD ファイルからグループをインストールするために使用されます。

システムの処置: CICSplex SM に対して定義されている CMAS 間のリンクが確立されませんでした。

「CEDA 障害」の場合、障害に関する詳細情報とともにメッセージ EYUXS0003E が発行されます。

ユーザーの処置: 失敗の原因に応じて、次のいずれかを実行してください。

•

「CSD 使用中」の場合、初期設定中の CMAS で DFHCSD ファイルが使用可能であることを確認してください。次に CMAS を停止して再始動してください。

•

「CEDA 障害」の場合、メッセージ EYUXS0003E のテキストおよび CICS 用システム・プログラムの開発を確認し、CEDA 障害の原因を判別してください。次に CMAS を停止して再始動してください。

モジュール: EYU0CSSR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

EYUCI0010I I • EYUCI0012E E

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *grpname*
5. *reason*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCI0010I I *date time applid {CMAS | MAS}*
sysname への通信リンクを接続リストに追加中です。

説明: CMAS の初期設定中に、データ・リポジトリがスキャンされて CMAS 間のリンク・レコードが検索されます。実行中の CMAS で、適切な CONNECTION リソース、SESSION リソース、および PARTNER リソースが動的に作成されます。

addspace

リンク先のアドレス・スペースのタイプが
CMAS または MAS として示されます。

sysname

リンク先の CMAS または MAS の名前。

システムの処置: CICSplex SM は、必要なリソースの作成と接続リストの更新を試行します。このメッセージの後に、リストが更新できたかどうかを示す別のメッセージが発行されます。EYUCI0011I はリストが更新されたことを示し、EYUCI0012E はリストが更新されなかったことを示します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CSSR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=CMAS,
2=MAS

5. *sysname*

宛先: COLG

EYUCI0011I I *date time applid {CMAS | MAS}*
sysname への通信リンクの追加が正常に行われました。

説明: このメッセージはメッセージ EYUCI0010I の後に発行され、示されている CICS システムへのリンクが

正常に定義およびインストールされたことを示します。

addspace

リンク先のアドレス・スペースのタイプが
CMAS または MAS として示されます。

sysname

リンク先の CMAS または MAS の名前。

システムの処置: 通信コンポーネントの初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CSSR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=CMAS,
2=MAS

5. *sysname*

宛先: COLG

EYUCI0012E E *date time applid {CMAS | MAS}*
sysname への通信リンクの追加に失敗しました。*{CSD 使用中 | SYSID* を別のリンクで使用しています | *APPLID* を別のリンクで使用しています | *CREATE* に失敗しました |
}。

説明: このメッセージはメッセージ EYUCI0010I の後に発行され、示されている CICS システムへのリンクを定義およびインストールできなかったことを示します。

addspace

アドレス・スペースのタイプを CMAS または
MAS として示します。

sysname

CMAS または MAS の名前です。

reason

次のいずれかを失敗の理由として示します。

CSD使用中

DFHCSD ファイルが別のユーザーまたはトランザクションによって 2 分を超えて使用されていました。グループを更新するには、DFHCSD ファイルへの更新アクセスが必要です。

SYSIDを別のリンクで使用中です

この CMAS は、同じ名前を持つ
CMAS または MAS に既に接続して
います。

APPLIDを別のリンクで使用中です

この CMAS は、同じ VTAM
APPLID を持つ CMAS または MAS
に既に接続しています。

CREATE に失敗しました

リソースを動的に作成している間に異
常な応答が受信されました。

システムの処置: システム処理に対する影響は、失敗の
理由によって異なります。

CSD使用中

定義は処理されません。

SYSIDを別のリンクで使用中です

定義は処理されません。

APPLIDを別のリンクで使用中です

定義は処理されません。

CREATE に失敗しました

CONNECTION 定義または SESSION 定義の
作成が失敗した場合、不完全なセットが破棄さ
れます。関連 PARTNER 定義の作成が失敗し
た場合、接続は破棄されません。

ユーザーの処置:

- 「CSD 使用中」の場合、初期設定中の CMAS で
DFHCSD ファイルが使用可能であることを確認して
ください。その後、再度リンクの定義を試みてくだ
さい。
- 「SYSID を別のリンクで使用中です」の場合、
CMTCMDEF または CMTPMDEF を削除して再作
成し、リモート CMAS の SYSID を未使用の状態に
してください。
- 「APPLID を別のリンクで使用中です」の場合、
CMTCMDEF または CMTPMDEF を削除して再作
成し、リモート CMAS の APPLID を未使用の状態
にしてください。
- 「CREATE に失敗しました」の場合、例外トレ
ース・レコードを調べて問題の原因を判別してくださ

い。すべてのエラーを訂正し、システム初期設定パラ
メーター START=COLD を指定して CMAS を再始
動してください。

モジュール: EYU0CSSR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=CMAS,
2=MAS

5. *sysname*

6. 以下のオプションから選択される値:

1=CSD 使用中,
2=SYSID を別のリンクで使用中です,
3=APPLID を別のリンクで使用中です,
4=CREATE に失敗しました

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCI0013I I *date time applid* 通信グループ *cgrp* の
インストールがバイパスされました。
CICS が **COLD** で開始されていませんで
した。

説明: 初期設定中の CMAS が、システム初期設定テー
ブル・パラメーター START=COLD を指定して開始さ
れていませんでした。示されている通信グループのリン
ク定義はインストールされません。CICS は、DFHRSD
ファイルからすべてのリンク定義を復元します。
(CMTCMDEF ビューまたは CMTPMDEF ビューを使
用して行われた) CICSplex SM CMAS 間リンク定義に
対する最近の変更または追加は、CMAS で有効ではあ
りません。

grpname

EYUCxxxx 形式の通信グループの名前。xxxx
は 4 文字の CMAS の CICS システム ID で
す。

システムの処置: CMAS は、前回のシャットダウンの
時点で DFHRSD ファイルに存在していたリンク定義を
使用します。前回の CMAS 実行以降に、CICSplex SM
データ・リポジトリまたは DFHCSD ファイルのいず
れかがバックアップから復元されたか、再初期設定さ
れた場合、リンク定義が最新でない可能性があります。

ユーザーの処置: 最新のリンク定義を使用するには、
CMAS を停止し、システム初期設定テーブル・パラメ

EYUCI0014W W • EYUCI0016W W

ーター START=COLD を指定して CMAS を再始動してください。

モジュール: EYU0CSSR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cgrp*

宛先: COLG

EYUCI0014W W *date time applid* 通信グループ *cgrp* のインストールに失敗しました。グループが **DFHCSD** にありません。

説明: このメッセージはメッセージ EYUCI0007I の後に発行され、示されている通信グループが **DFHCSD** ファイルで見つからなかったために、この通信グループをインストールできなかったことを示します。この問題は、次の 2 つの理由のいずれかにより発生します。

- **DFHCSD** ファイルがバックアップから復元されたか、再初期設定されました。
- **CMTCMDEF** ビューまたは **CMTPMDEF** ビューを介して **CICSplex SM** に対して通信リンクが定義されませんでした。

ここで、

grpname

EYUCxxxx 形式の通信グループの名前。xxxx は 4 文字の CMAS の CICS システム ID です。

システムの処置: **DFHCSD** ファイルがバックアップから復元されたか、再初期設定された場合、**CICSplex SM** がファイルとそのデータ・リポジトリの同期を試行するため、このメッセージの後に、1 つ以上の EYUCI0010I メッセージが発行されます。

それ以外の場合は、CMAS 間接続は確立されません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CSSR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cgrp*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCI0015W W *date time applid* トランザクション **COIR** が使用できません。

説明: 通信コンポーネントの初期設定中に、**CICSplex SM** 提供のトランザクション **COIR** の優先順位を設定しようとしたところ、エラーが検出されました。

システムの処置: **MAS** の初期設定が続行されます。ただし、この **MAS** で実行される評価定義 (**EVALDEF**) は、**CICSplex SM** システム・パラメーター **COIRTASKPRI=0** が設定されている場合と同様に動作します。つまり、「分離タスク (Separate Task)」フィールドが「はい (Yes)」に設定されている場合でも、すべての **EVALDEF** に **MAS** 長期実行タスク **COIE** が使用されます。

ユーザーの処置: **MAS** にトランザクション **COIR** がインストールされていることを確認してください。**COIR** がインストールされたら、**MAS** エージェントを再始動して変更内容を有効にする必要があります。

モジュール: EYU0CIIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCI0016W W *date time applid* トランザクション **COHT** が使用できません。

説明: 通信コンポーネントの初期設定中に、**CICSplex SM** 提供のトランザクション **COHT** の優先順位を設定しようとしたところ、エラーが検出されました。

システムの処置: **MAS** の初期設定が続行されます。ただし、**MAS COHT** トランザクションが使用できないため、完了タスク (**HTASK** リソース・テーブル) のデータを取得することはできません。

ユーザーの処置: **MAS** にトランザクション **COHT** がインストールされていることを確認してください。**COHT** がインストールされたら、**MAS** エージェントを再始動して変更内容を有効にする必要があります。

モジュール: EYU0CIIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCI0101E E *date time applid* 通信の初期化に失敗しました。

説明: 通信コンポーネントの 1 つ以上のサブコンポーネントを初期設定できませんでした。

システムの処置: CICSplex SM 初期設定を異常終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードと、このメッセージより前に発行されたメッセージを調べて、問題の原因を判別してください。

モジュール: EYU0CIIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

説明: 通信コンポーネントの 1 つ以上のサブコンポーネントを適切に終了できませんでした。一部のリソースが割り振られたままになる可能性があります。

システムの処置: CICSplex SM の終了を続行します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードと、このメッセージより前に発行されたメッセージを調べて、問題の原因を判別してください。

モジュール: EYU0CITM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCI0102W W *date time applid* 通信の終了に失敗しました。

EYUCLnnnn メッセージ

EYUCLnnnn メッセージで使用される変数を以下に示します。

protocol

使用されている通信プロトコルを以下のいずれかとして示します。

CPI-C 共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション

LU6.2 CICS システム間連絡

MRO CICS 複数領域操作

ESSS CICSplex SMEnvironment Services System Services

task

特定の通信タスクを示します。関連する通信ノードと使用されているプロトコルのタイプに応じて、以下に示す 1 つ以上のタスクが開始されます。

受信リンク・マネージャー

CMAS ネットワーク・ノードで開始し、MAS CPI-C エンドポイント接続のセットを管理します。

受信リンク・タスク

MAS エンド・ノードで開始し、制御されたエンドポイント接続を形成します。

送信リンク・マネージャー

CMAS ネットワーク・ノードで開始し、CPI-C 論理接続および MRO 論理接続を管理します。

独立受信タスク

CMAS ネットワーク・ノードで開始し、単一のネットワーク接続を管理します。

nodename

通信ノードをその CMAS 名または MAS 名によって示します。

EYUCL0001I I *date time applid* プロトコル・サービスの初期化が完了しました。

説明: 通信コンポーネントのプロトコル・サービス・サブコンポーネントが正常に初期設定されました。

システムの処置: 通信コンポーネントはその他のサブコンポーネントの初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CLIN、EYU1CLIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUCL0002I I *date time applid {ESSS} Initial Contact Transient* **TaskID(taskid)** を開始しました。

説明: 示されているプロトコルの Initial Contact Transient が開始されました。*protocol* については、を参照してください。ファースト・スピーカー・ノードからの初期接続に備えて、必要なデータ構造が作成されました。

システムの処置: プロトコル・サービス・サブコンポーネントの初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CLET, EYU0CLCT, EYU0CLMT, EYU0CLRT, EYU0CLST

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=ESSS

5. *taskid*

宛先: COLG

EYUCL0003I I *date time applid {ESSS} {受信リンク・マネージャー | 受信リンク・タスク}* を開始しました。 **TaskID(taskid)**

説明: 示されているプロトコルによって、必要なタスクが正常に開始されました。*protocol* および *task* については、を参照してください。

システムの処置: プロトコル・サービス・サブコンポーネントの初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CLER, EYU0CLEV, EYU0CLCS, EYU0CLCU, EYU0CLMS, EYU0CLRR, EYU0CLRS, EYU0CLRV, EYU0CLRW, EYU0CLSS, EYU0CLST, EYU0CLSV, EYU0CLSW

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=ESSS

5. 以下のオプションから選択される値:

1=受信リンク・マネージャー,
2=受信リンク・タスク

6. *taskid*

宛先: COLG

EYUCL0004I I *date time applid {ESSS} Initial Contact Transient* **TaskID(taskid)** を終了しました。

説明: 示されているプロトコルの Initial Contact Transient (ICT) が終了しました。*protocol* については、を参照してください。他のノードによる現行ノードとの接続が確立されなくなる可能性があります。以前に作成されたデータ構造はすべて破棄されます。

システムの処置: プロトコル・サービス・サブコンポーネントの終了を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CLET, EYU0CLCT, EYU0CLMT, EYU0CLRT, EYU0CLST

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=ESSS

5. *taskid*

宛先: COLG

EYUCL0005I I *date time applid {ESSS} {受信リンク・マネージャー | 受信リンク・タスク}* が終了しました。TaskID(taskid)

説明: 示されているプロトコルの必須タスクが終了しました。*task* については、を参照してください。

システムの処置: プロトコル・サービス・サブコンポーネントの終了を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CLER, EYU0CLEV, EYU0CLCS, EYU0CLCU, EYU0CLMS, EYU0CLRR, EYU0CLRS, EYU0CLRV, EYU0CLRW, EYU0CLSS, EYU0CLST, EYU0CLSV, EYU0CLSW

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=ESSS

5. 以下のオプションから選択される値:

1=受信リンク・マネージャー,
2=受信リンク・タスク

6. *taskid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0006I I *date time applid nodename* への {ESSS | CPI-C | MRO} リンクが確立されました。

説明: 示されているプロトコルを使用して、現行ノードと示されているノードの間のリンクが確立されました。*nodename* については、を参照してください。

システムの処置: 示されているノード間のデータ伝送にこの通信リンクを使用できます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CLER, EYU0CLEV, EYU0CLRT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=ESSS,
2=CPI-C,
3=MRO

5. *nodename*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0007I I *date time applid nodename* への *protocol* リンクを終了しました。

説明: 示されているプロトコルを使用した、現行ノードと示されているノード間のリンクが終了しました。*protocol* および *nodename* については、を参照してください。

システムの処置: 示されているノード間のデータ伝送にこの通信リンクが使用できなくなりました。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CLER, EYU0CLEV

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *protocol*
5. *nodename*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0008I I *date time applid nodename* への接続のために ESSS ICT が入力されました。TaskID(taskid)

説明: 示されているノードへの通信リンクを確立するためのローカル MAS 要求に対して ESSS ICT が入力されました。*nodename* については、を参照してください。

システムの処置: ICT 接続要求が処理されます。

ユーザーの処置: なし。

EYUCL0009I I • EYUCL0013I I

モジュール: EYU0CLET

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nodename*
5. *taskid*

宛先: COLG

EYUCL0009I I *date time applid nodename* からの切り離しのために **ESSS ICT** が入力されました。 **TaskID(taskid)**

説明: 現行ノードと示されているノードとの間の通信リンクを終了するためのローカル MAS 要求に対して ESSS ICT が入力されました。 *nodename* については、を参照してください。

システムの処置: ICT 切り離し要求が処理されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CLET

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nodename*
5. *taskid*

宛先: COLG

EYUCL0010I I *date time applid* プロトコル・サービスの終了が完了しました。

説明: 通信コンポーネントのプロトコル・サービス・サブコンポーネントが終了しました。

システムの処置: 通信コンポーネントの終了を続行します。プロトコル・サービスがアクティブでないため、CICSplex SM アドレス・スペース間でデータを伝送できなくなります。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CLTM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUCL0011I I *date time applid nodename* への *protocol* リンクを開始しました。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *protocol*
5. *nodename*

宛先: COLG

EYUCL0012I I *date time applid nodename1* と *nodename2* の接続が完了しました | 開始しました | }。 (**Connection of *nodename1* to *nodename2* {complete | started | }.**)

説明: 示されているノードの接続プロセスが完了しました。 *nodename* については、を参照してください。

システムの処置: この接続の状況はアクティブに設定されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CLCS, EYU0CLMS, EYU1CLRW

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nodename1*
5. *nodename2*
6. 以下のオプションから選択される値:

1=完了しました,
2=開始しました,
3=

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0013I I *date time applid* リンク・バッファ・プール・エレメント不足が解消しました。

説明: プロトコル・サービス・サブコンポーネントにより検出されたリンク・バッファ不足が正常に解消しま

した。リンク・バッファの新しいプールが獲得されました。

システムの処置: プロトコル・サービスの処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CLBL, EYU0CLBE

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUCL0014I I *date time applid CMAS sysid csysid*
との {MRO | LU6.2} 接続を待機中
です。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=MRO,
2=LU6.2

5. *csysid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0015I I *date time applid {CMAS | RMAS}*
nodename との {CPI-C | MRO | CPI-C
ネットワーク | MRO ネットワーク |
LU6.2} 接続で{受信リンク・タスク | 送
信リンク・タスク}を開始しました。
TaskID(taskid)

説明: 現行ノードと示されているノード間のリンクを確立しようとして、示されているプロトコルを使用する受信タスクが開始されました。*nodename* については、を参照してください。

type

接続先のノードを CMAS として示します。

システムの処置: 接続サービスは、示されているノード

へのリンクの初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CLCS, EYU0CLCT, EYU0CLMS,
EYU0CLMT, EYU0CLRR, EYU0CLRS, EYU0CLRV,
EYU0CLRW, EYU0CLSS, EYU0CLST, EYU0CLSV,
EYU0CLSW, EYU1CLRV, EYU1CLRW

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=受信リンク・タスク,
2=送信リンク・タスク

5. 以下のオプションから選択される値:

1=CPI-C,
2=MRO,
3=CPI-C ネットワーク,
4=MRO ネットワーク,
5=LU6.2

6. 以下のオプションから選択される値:

1=CMAS,
2=RMAS

7. *nodename*

8. *taskid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0016I I *date time applid {CMAS | RMAS}*
nodename との {MRO | CPI-C ネットワ
ーク | MRO ネットワーク} 接続で{受信
リンク・タスク | 送信リンク・タスク}を
終了しました。**TaskID(taskid)**

説明: 示されているプロトコルを使用した、現行ノードと示されているノード間のリンクを正常に終了しています。*protocol* および *nodename* については、を参照してください。

type

終了しているリンク先のノードを CMAS として示します。

システムの処置: このリンクのタスクが終了します。プロトコル・サービスに対し、リンクが使用できなくなったことが通知されます。

ユーザーの処置: なし。

EYUCL0017I I • EYUCL0020I I

モジュール: EYU0CLCS, EYU0CLCV, EYU0CLMS, EYU0CLMV, EYU0CLRR, EYU0CLRS, EYU0CLRV, EYU0CLRW, EYU0CLSS, EYU0CLST, EYU0CLSV, EYU0CLSW, EYU1CLRV, EYU1CLRW

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=受信リンク・タスク,
2=送信リンク・タスク

5. 以下のオプションから選択される値:

1=MRO,
2=CPI-C ネットワーク,
3=MRO ネットワーク

6. 以下のオプションから選択される値:

1=CMAS,
2=RMAS

7. *nodename*

8. *taskid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0017I I *date time applid* **NetView** の{送信リンク・マネージャー}を開始しました。

説明: CMAS から NetView® への総称アラートの送信を管理する送信リンク・マネージャー・タスクが正常に開始されました。このタスクは、CMAS 初期設定の一部として、または実行中の CMAS で NetView インターフェースをアクティブにするためのユーザー要求の結果として、開始できます。

システムの処置: NetView インターフェース処理は実行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CLNW

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=送信リンク・マネージャー

宛先: COLG

EYUCL0018I I *date time applid* **NetView** の{送信リンク・マネージャー}を終了しました。

説明: 送信リンク・マネージャー・タスクが正常に終了しました。このタスクは、CMAS 終了の一部として、または実行中の CMAS で NetView インターフェースを非アクティブにするためのユーザー要求の結果として、終了できます。

システムの処置: NetView インターフェースが使用できなくなりました。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CLNW

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=送信リンク・マネージャー

宛先: COLG

EYUCL0019I I *date time applid* 通信バッファ長期実行タスクの初期化を開始しました。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUCL0020I I *date time applid* 通信バッファ長期実行タスクの初期化を完了しました。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUCL0021I I *date time applid* 通信バッファ長期
実行タスクの終了を開始しました。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUCL0022I I *date time applid* 通信バッファ長期
実行タスクの終了を完了しました。

説明: 通信バッファ長期実行タスク (LRT) が終了しました。

システムの処置: 通常シャットダウンの結果として
LRT が終了した場合は、CICSplex SM シャットダウン
が続行されます。

異常条件が原因で LRT が終了した場合、このメッセー
ジの前に発行されるメッセージで終了の原因となった条
件が説明されます。CICSplex SM は、LRT のサービス
なしで実行を継続できます。

ユーザーの処置: 通常の CICSplex SM シャットダウ
ンが進行中の場合、処置は必要ありません。

異常条件 (このメッセージの前に発行されるメッセージ
EYUCL0121E で示されます) が原因で LRT が終了した
場合、CICSplex SM をシャットダウンして再始動する
必要があります。

モジュール: EYU0CSGT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUCL0023W W *date time applid MVS* イメージが
ワークロード管理目標モードで実行されて
いますが、**CMAS** がサービス・クラス
SYSSTC に定義されていません。

説明: MVS イメージがワークロード管理目標モードで
実行されていますが、CMASがサービス・クラス
SYSSTCに定義されていません。目標モードでは、
CMAS はサーバーとして実行されるのではなく、サー
バー・トランザクション応答時間管理の対象外として
SYSSTC に定義される必要があります。SYSSTC 内の開
始タスクには、高いディスパッチング優先順位が割り当
てられます。

システムの処置: CMAS はこの警告メッセージを発行
し、処理を続行します。ただし、CICSplex SM で重大
なパフォーマンス上の問題が発生する可能性があります。

ユーザーの処置: CMAS では、CMAS が管理する
MAS よりも高い優先度でデータを処理できることが重
要です。したがって、MVS イメージがワークロード管
理目標モードで実行されている場合、CMAS は MVS
サービス・クラス SYSSTC に定義される必要がありま
す。CICS TS のインストールを参照してください。

モジュール: EYU0CLET

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0024W W *date time applid MVS* イメージがワ
ークロード管理互換モードで実行されてお
り、接続している **MAS (nodename)** のデ
ィスパッチング優先順位 (**X'priority1'**) が
CMAS のディスパッチング優先順位
(**X'priority2'**) より高くなっています。

説明: MVS イメージがワークロード管理互換モードで
実行されている場合、最適なパフォーマンスを実現す
るため、CMAS のディスパッチング優先順位は、接続し
ている MAS のディスパッチング優先順位と等しいかそ
れより高くなっている必要があります。

nn は 16 進数のディスパッチング優先順位です。

システムの処置: CMAS はこの警告メッセージを発行
し、処理を続行します。ただし、CICSplex SM で重大
なパフォーマンス上の問題が発生する可能性があります。

ユーザーの処置: CMAS では、CMAS が管理する

EYUCL0101E E • EYUCL0103E E

MAS よりも高い優先度でデータを処理できることが重要です。したがって、MVS イメージがワークロード管理互換モードで実行されている場合、CMAS のディスパッチング優先順位は、接続している MAS のディスパッチング優先順位と等しいかそれより高くなっている必要があります。CICS TS のインストールを参照してください。

注: CICS Transaction Server for z/OS バージョン 2 リリース 3 のオペレーティング・システムの最小必須レベルは、z/OS バージョン 1 リリース 4 です。z/OS V1 R3 以降では WLM 互換モードは使用できなくなりました。したがって、CICS Transaction Server for z/OS バージョン 2 リリース 3 ではこのメッセージは発行されません。このメッセージは参照目的で引き続き資料に掲載されています。

モジュール: EYUOCLET

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *priority1*
5. *nodename*
6. *priority2*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0101E E *date time applid* プロトコル・サービスの初期化に失敗しました。

説明: 通信コンポーネントのプロトコル・サービス・サブコンポーネントを初期設定できませんでした。

システムの処置: システム処理に対する影響は、初期設定されているアドレス・スペースのタイプによって異なります。

CMAS

CMAS を終了します。CICSplex SM は、ダンプ・コード EYUXL001 の SVC ダンプをとります。

MAS

MAS を終了します。CICSplex SM は、ダンプ・コード EYUI のトランザクション・ダンプをとり、制御を CICS に返します。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードと、このメッセージより前に発行されたメッセージを調べて、問題の原因を判別してください。

モジュール: EYU0CLIN、EYU1CLIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0102E E *date time applid {ESSS} Initial Contact Transient* の開始に失敗しました。**TaskID(taskid)**

説明: CMAS で、示されているプロトコルの Initial Contact Transient (ICT) の初期設定を試みましたが、失敗しました。*protocol* については、を参照してください。

システムの処置: 通信の初期設定に失敗し、これが原因で CMAS が終了します。CICSplex SM は、ダンプ・コード EYUXL001 の SVC ダンプをとります。

ユーザーの処置: プログラム EYU9XLOP に対して適切な ICT トランザクション ID が定義されていることを確認してください。EYU0CLIN により生成されたトレース・レコードを調べ、ICT トランザクション ID が見つからない場合は、カーネル・リンケージを使用して問題の原因を判別してください。

モジュール: EYU0CLIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=ESSS

5. *taskid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0103E E *date time applid {ESSS} {受信リンク・マネージャー | 受信リンク・タスク}* の開始に失敗しました。**TaskID(taskid)**

説明: 示されているプロトコルの必須タスクを開始しようとしたが、失敗しました。*protocol* および *task* については、を参照してください。

システムの処置: タスクが Initial Contact Transient (ICT) から開始された場合、ICT が終了し、これが原因で現行ノードとのリンクを確立できません。

タスクがプロトコル・サービス初期設定から開始された場合、システムの処理に対する影響は、初期設定されているアドレス・スペースのタイプによって異なります。

CMAS

CMAS を終了します。CICSplex SM は、ダンプ・コード EYUXL001 の SVC ダンプをとります。

MAS

MAS を終了します。CICSplex SM は ダンプ・コード EYUI のトランザクション・ダンプをとって、制御を CICS に返します。

ユーザーの処置: プログラム EYU9XLOP に対して適切なトランザクション ID が定義されていることを確認してください。いずれかの発行モジュールによって生成されたトレース・レコードを調べ、問題の原因を判別してください。

モジュール: EYU0CLET, EYU0CLIN, EYU0CLCT, EYU0CLMT, EYU0CLRT, EYU0CLST

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=ESSS

5. 以下のオプションから選択される値:

1=受信リンク・マネージャー,
2=受信リンク・タスク

6. *taskid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0104E E *date time applid {ESSS} Initial Contact Transient* が異常終了しました。
TaskID(taskid)

説明: エラー状態が原因で、示されているプロトコルの Initial Contact Transient (ICT) が異常終了しました。*protocol* については、を参照してください。

システムの処置: ICT タスクが終了します。これにより、示されているプロトコルを使用するノードは、通信リンクを確立できません。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードと、このメッセージより前に発行されたメッセージを調べて、問題の原因を判別してください。

モジュール: EYU0CLET

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=ESSS

5. *taskid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0105E E *date time applid {ESSS} {受信リンク・マネージャー | 受信リンク・タスク}* が異常終了しました。**TaskID(taskid)**

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=ESSS

5. 以下のオプションから選択される値:

1=受信リンク・マネージャー,
2=受信リンク・タスク

6. *taskid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0106E E *date time applid nodename* への {CPI-C | MRO} リンクが異常終了しました。

説明: エラー状態が原因で、現行ノードと示されているノード間のリンクが終了しました。*protocol* および *nodename* については、を参照してください。

システムの処置: リンク会話状態が非アクティブに設定され、これにより 2 つのノード間での SEND と RECEIVE を実行できません。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードと、このメッセージより前に発行されたメッセージを調べて、問題の原因を判別してください。

モジュール: EYU0CLER, EYU0CLEV, EYU0CLCS, EYU0CLCU, EYU0CLMS, EYU0CLRR, EYU0CLRS, EYU0CLRV, EYU0CLRW, EYU0CLSS, EYU0CLST, EYU0CLSV, EYU0CLSW

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=CPI-C,
2=MRO

5. *nodename*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0107E E *date time applid nodename* への
{ESSS} ICT 接続が失敗しました。{MAS
がすでに存在します | MAS 名が無効で
す | リンク会話ブロックがありません |
CICSリリースがサポートされていません
| パラメーターを照会してください | 追
加機能に障害が発生しました | チェック
機能に障害が発生しました}。

説明: 通信リンクを確立するために MAS によって行
われた Initial Contact Transient (ICT) 接続要求が失敗
しました。protocol および *nodename* については、を参
照してください。reason は失敗の原因を示します。

システムの処置: ICT 接続要求が拒否されます。ロー
カル MAS の初期設定が終了します。ユーザー・トレ
ース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き
込まれます。

ユーザーの処置: 応答は、示されている失敗の理由に応
じて以下のように異なります。

MAS がすでに存在します

処置は必要ありません。ただし、一部の無効な
レコードがデータ・リポジトリに残る可能性
があります。データ・リポジトリをクリーン
アップするには、MAS が接続しようとしてい
た CMAS を停止して再始動する必要があります。

MAS 名が無効です

MAS 始動ジョブを調べ、CICS システムと
CICSplex の名前が正しく指定されていること
を確認します。MAS 始動ジョブが正しい場合
は、CICSSYS ビューと CMASPLEX ビューを
使用して、CICS システムと CICSplex がデー
タ・リポジトリに対して定義されていること
を確認します。

パラメーターの照会

例外トレース・レコードを収集して、IBM サ
ポートにお問い合わせください。

リンク会話ブロックがありません

例外トレース・レコードおよび CMAS または
MAS のジョブ・ログを収集して、IBM サポー
トにお問い合わせください。

追加機能に障害が発生しました

例外トレース・レコード、CMAS および MAS
のジョブ・ログを収集して、IBM サポートに
お問い合わせください。

チェック機能に障害が発生しました

例外トレース・レコード、CMAS および MAS
のジョブ・ログを収集して、IBM サポートに
お問い合わせください。

CICS リリースがサポートされていません

サポートされているバージョンの CICS に
MAS をアップグレードしてください。

モジュール: EYU0CLET、EYU0CLRT、EYU0CLST

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=ESSS

5. *nodename*

6. 以下のオプションから選択される値:

1=, MAS がすでに存在します,
2=, MAS 名が無効です,
3=, リンク会話ブロックがありません,
4=, CICS リリースがサポートされていません,
5=, パラメーターを照会してください,
6=, 追加機能に障害が発生しました,
7=, チェック機能に障害が発生しました

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0108E E *date time applid nodename* からの
ESSS ICT 切り離しに失敗しました。

説明: ESSS 通信リンクを終了するためにローカル
MAS によって行われた Initial Contact Transient (ICT)
切り離し要求が失敗しました。*nodename* については、
を参照してください。

システムの処置: ICT 切り離し要求が拒否されます。

ユーザーの処置: EYU0CLET によって発行された例外
トレース・レコードと、このメッセージの前に発行され
たメッセージを調べて、問題の原因を判別してくださ
い。

モジュール: EYU0CLET

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nodename*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0109E E *date time applid* プロトコル・サービスの終了に失敗しました。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0110E E *date time applid nodename* の **ESSS** **ICT** リンク開始に失敗しました。

説明: 現行の CICSplex SM アドレス・スペース (CMAS) と示されている *nodename* の間のリンクを確立するための環境サービス・システム・サービス (ESSS) Initial Contact Transient (ICT) が失敗しました。*nodename* については、を参照してください。

システムの処置: MAS の初期設定が終了します。

ユーザーの処置: 始動 JCL で使用される MAS の名前が、CMAS データ・リポジトリに含まれている名前であることを確認してください。CICS トレース・データ・セットのユーザー・トレース・レコードを調べ、問題の原因を判別してください。

モジュール: EYU0CLET

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nodename*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0111E E *date time applid* リンク・バッファ・プール・エレメント不足が解消できませんでした。

説明: プロトコル・サービス・サブコンポーネントにより検出されたリンク・バッファ不足を解消できませんでした。リンク・バッファの新しいプールを獲得するのに十分な仮想ストレージがありませんでした。

システムの処置: 通信コンポーネントは終了します。

ユーザーの処置: 使用可能な仮想ストレージを増やし、CICSplex SM を再始動してください。

モジュール: EYU0CLBL

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0112E E *date time applid* プロトコル・サービスの初期化で { パラメーターの照会 | **ICT ECB** の通知 | **ICT ECB** の待機 | **ICT** 接続の実行 | 初期接続エレメントの取得 | ストレージの獲得 } ができません。

説明: CMAS または MAS の初期設定中に、プロトコル・サービス・サブコンポーネントが示されているアクションを完了できませんでした。*action* は、以下のいずれかの完了できなかったアクションを示します。

ストレージの獲得

CICS/ESA ストレージを獲得しようとしたましたが、失敗しました。

パラメーターの照会

パラメーター・サービス・サブコンポーネントを照会しようとしたましたが、失敗しました。

ICT ECBの通知

CMAS Initial Contact Transient (ICT) イベント制御ブロック (ECB) をポストしようとしたましたが、失敗しました。

ICT ECBの待機

ICT の MAS ECB 処理が終了するまで待機しようとしたましたが、失敗しました。

ICT接続の実行

環境サービス・システム・サービス (ESSS) **ICT** を使用して MAS を CMAS に接続しようとしたましたが、失敗しました。

EYUCL0113E E • EYUCL0114E E

初期接続エレメントの取得

環境サービス・システム・サービス (ESSS) を使用して MAS を CMAS に接続しようとしたが、初期接続エレメント(EICE) が不足していたため失敗しました。

システムの処置: CMAS または MAS の初期設定が終了します。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードと、このメッセージより前に発行されたメッセージを調べて、問題の原因を判別してください。

モジュール: EYU0CLIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1= パラメーターの照会,
2=ICT ECB の通知,
3=ICT ECB の待機,
4=ICT 接続の実行,
5=初期接続エレメントの取得,
6=ストレージの獲得

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0113E E *date time applid {CMAS | RMAS}*
nodename との {CPI-C | MRO | CPI-C
ネットワーク | MRO ネットワーク |
LU6.2} 接続で{受信リンク・タスク | 送信
リンク・タスク} が異常終了しました。
TaskID(taskid)

説明: 異常条件が発生したため、現行ノードと示されているノードの間のリンクが終了しました。*task*、*protocol*、および *nodename* については、を参照してください。

type

終了したリンク先のノードを CMAS として示します。

システムの処置: プロトコル・サービスに対し、リンクが使用できなくなったことが通知されます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 示されているノードが異常終了した場合、このメッセージが表示されます。ノードが終了した原因を判別し、可能であれば通信リンクを再確立してください。

ノードがアクティブで使用可能であると思われる場合は、例外トレース・レコードと、このメッセージの前に発行されたメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0CLCS, EYU0CLCV, EYU0CLMS, EYU0CLMV, EYU0CLRR, EYU0CLRS, EYU0CLRV, EYU0CLRW, EYU0CLSS, EYU0CLST, EYU0CLSV, EYU0CLSW.

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=受信リンク・タスク,
2=送信リンク・タスク

5. 以下のオプションから選択される値:

1=CPI-C,
2=MRO,
3=CPI-Cネットワーク,
4=MROネットワーク,
5=LU6.2

6. 以下のオプションから選択される値:

1=CMAS,
2=RMAS

7. *nodename*
8. *taskid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0114E E *date time applid NetView* の
sendlink の開始に失敗しました。

説明: CMAS から NetView への総称アラートの送信を管理する送信リンク・マネージャー・タスクを開始できませんでした。

システムの処置: NetView インターフェースは使用できません。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0CLNW

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *sendlink*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0115E E *date time applid NetView* の *sendlink* が異常終了しました。

説明: 異常条件が原因で送信リンク・マネージャー・タスクが終了しました。

システムの処置: NetView インターフェースが使用できなくなりました。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0CLNW

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sendlink*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0116E E *date time applid CSD* 定義 *definition* が無効か、または定義されていません。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *definition*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0117E E *date time applid* リンク・バッファ・プールを拡張するための **ECDSA** ストレージが不足しています。

説明: ユーザー要求に対応できるようにリンク・バッファ・プールを正常に拡張するための十分な ECDSA ストレージがありません。

システムの処置: ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: ECDSA ストレージ域割り振りを増や

して CICS を再実行してください。

モジュール: EYU0CLBL

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0118E E *date time applid CMAS-CMAS* 定義が矛盾しています。{ターゲット | ソース} {CMAS | SYSID} *id1* が必要ですが、{ターゲット | ソース} {CMAS | SYSID} *id2* が見つかりました。

説明: 2 つの CMAS が相互接続を試行しましたが、いずれかの CMAS により接続定義が矛盾していると判別されました。

cmastype

矛盾のある CMAS が接続試行の TARGET であるか、SOURCE であるかを示します。接続試行のいずれかの CMAS で矛盾を特定して報告できます。

idtype

CICS システム ID (SYSID) または CMAS 名 (CMAS) のどちらに矛盾が生じたかを示します。

id1

予期されていたシステム ID または CMAS 名です。

id2

検出されたシステム ID または CMAS 名です。

システムの処置: 2 つの CMAS の接続は失敗します。これらの CMAS 間で通信を行うことはできません。

ユーザーの処置: CMTCMDEF ビューを使用して、示されている CMAS の定義の矛盾を訂正してください。

モジュール: EYU0CLCT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=ターゲット,
2=ソース

5. 以下のオプションから選択される値:

1=CMAS,
2=SYSID

6. *id1*

7. 以下のオプションから選択される値:

1=ターゲット,
2=ソース

8. 以下のオプションから選択される値:

1=CMAS,
2=SYSID

9. *id2*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0119E E *date time applid CMAS cmasname*
に接続しようとしたときに障害が発生しました。

説明: この CMAS と別の CMAS の間の CICSplex SM 接続をアクティブにしようとしたましたが、障害が発生しました。

cmasname

もう一方の CMAS の名前です。

システムの処置: 接続は完了しません。

ユーザーの処置: 両方の CMAS からすべてのジョブ出力と AUXTRACE データ・セットを収集してください。もう一方の CMAS でタイムアウト期間が経過した後に、接続が自動的に再試行されます。問題が繰り返し起こる場合は、IBM サポートに連絡してください。

モジュール: EYU0CLCT、EYU0CLMT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cmasname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0120E E *date time applid* 通信バッファ長期実行タスクを開始できません。

説明: 通信コンポーネントのプロトコル・サービス・サブコンポーネントが、CICSplex SM アドレス・スペー

ス (CMAS) の通信バッファ長期実行タスク (LRT) を開始できませんでした。

システムの処置: CICSplex SM を異常終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: CICS CSD を調べ、トランザクション LSGT とプログラム EYU9XLOP が定義されていることを確認してください。定義が正しい場合は、例外トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0CLIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0121E E *date time applid* 通信バッファ長期実行タスクがリカバリー不能エラーのため終了します。

説明: 通信バッファ長期実行タスク (LRT) でエラーが発生し、このエラーからリカバリーできませんでした。

システムの処置: LRT は終了します。CICSplex SM は、LRT のサービスなしで実行を継続できます。

ユーザーの処置: このメッセージより前に発行されたメッセージを調べて、問題の原因を判別してください。例外トレース・レコード、ジョブ・ログ、および CICS または MVS/ESA のダンプ出力 (使用可能な場合) を収集し、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0CSGT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0122E E *date time applid MAS* 通信バッファ一不足が検出されました。

説明: CMAS またはそのローカル MAS の 1 つにより MAS 通信バッファ不足が検出されました。このメッセージは、CMAS の実行中に初めて不足が発生したときに発行されます。

システムの処置: CMAS または MAS がこのメッセージを発行して SVCdump を要求し、続いて例外トレー

スを発行します。その後、CMAS または MAS の実行が続行されます。

ユーザーの処置: CMAS または MAS からの CICS AUXTRACE データ・セット、SVC ダンプ、およびジョブ出力を収集してください。要求側システムが MAS の場合は、この MAS の接続先 CMAS からの CICS AUXTRACE データ・セットとジョブ出力も収集してください。IBM サポートに連絡して収集した資料を提示してください。

モジュール: EYU0CTBT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0123E E *date time applid nodename* からの **STOPCOM** のために **ESSS ICT** が入力されました。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nodename*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0124E E *date time applid CMAS cmasname* に接続しようとしたときに障害が発生しました。

説明: この LMAS と CMAS の間の CICSplex SM 接続をアクティブにしようとしたましたが、障害が発生しました。

cmasname

CMAS の名前です。

システムの処置: 接続は完了しません。

ユーザーの処置: CMAS のジョブ出力を参照し、障害に関する詳細情報を示すメッセージを調べてください。

モジュール: EYU0CLIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cmasname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0125E E *date time applid CMAS* 終了中に **ESSS ICT** がエラーを検出しました。

説明: CMAS の終了中に、アクティブなローカル MAS を切断しようとしたところ EYU0CLET でエラーが検出されました。

システムの処置: ダンプが要求されてこのメッセージが発行され、CMAS の終了が続行されます。ダンプのタイトルは次のようになります。

EYU0XZSD Dump,cmasjobn,cmasname,lpar,CMAS,LEEI,tasknum,TRAC,EYU0CLET,mm/dd/yy, hh:mm:ss

ユーザーの処置: CMAS からダンプ、AUXTRACE データ・セット、および完全なジョブ出力を収集し、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0CLET

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0126E E *date time applid nodename* への **ESSS ICT** 接続に失敗しました。**MAS** はすでに **CMAS** (*cmasname*) に接続されています。

説明: MAS が CMAS に接続しようとしたましたが、MAS はすでに別の CMAS に接続されています。*cmasname* は、既に MAS が接続されている先の CMAS の名前です。MAS と、MAS が接続しようとしている先の CMAS の両方でこのメッセージが発行されますが、変数 *name* の意味は以下のように異なります。

- このメッセージが CMAS から発行される場合、*name* は MAS の名前です。
- このメッセージが MAS から発行される場合、*name* は MAS が接続しようとしている先の CMAS の名前です。

システムの処置: このメッセージの発行後、CMAS は通常の処理を続行しますが、MAS は次のように処理を行います。

- 新しいプロンプト・メッセージ EYUCL0127A を発行します。

EYUCL0127E E • EYUCL0130E E

- 5 秒間の遅延を発行します。
- 接続が正常に完了するまで、または MAS エージェントが終了するまで、CMAS への接続を再試行します。

ユーザーの処置: EYUCL0126E エラーが有効であり、重複する MAS が開始された、または誤った NAME EYUPARM を使用して MAS が開始された可能性があります。あるいは、CMAS-MAS の接続処理および切断処理における非同期性のため、CMAS が後続の MAS 接続を受け取り失敗した時点では、CMAS はまだ前の MAS 接続の切断処理中である可能性があります。

- 接続要求が有効な場合は、処置は不要です。
- 接続要求が無効な場合は、次のいずれかの処置を実行すると、MAS エージェントを終了して接続再試行処理を停止できます。
 - プロンプト・メッセージ EYUCL0127A に応答する。
 - COSH トランザクションを発行する。
 - CEMT トランザクションを使用して領域を終了する。
 - 領域をキャンセルする。

注: MASPLTWAIT(YES) EYUPARM が MAS に対して有効な場合は、領域は COSH 要求および CEMT 要求に応答できません。

モジュール: EYU0CLET

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nodename*
5. *cmasname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0127E E ESSS ICT 接続は再試行されます。
(ESSS ICT attach will be retried.)
MAS エージェントを終了するには **"T"** と応答してください。(Reply "T" to terminate the MAS agent.)

説明: 接続が正常に完了するまで、または MAS エージェントが終了するまで、MAS 接続が再試行されます。このメッセージの前にメッセージ EYUCL0126E が発行されます。

システムの処置: このメッセージの発行後、MAS は遅延してから接続プロセスを再試行します。

ユーザーの処置: 接続再試行プロセスを停止して MAS

エージェントを終了するには、『T』と応答します。このメッセージに対するユーザー処置の詳細については、メッセージ EYUCL0126E を参照してください。

モジュール: EYU0CLIN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUCL0128E E *date time applid* **EYUCL0127A** への応答は無効でした。プロンプトが再度出されます。

説明: メッセージ EYUCL0127A に対する応答が無効でした。

システムの処置: このメッセージの発行後に EYUCL0127A が再び発行されます。

ユーザーの処置: EYUCL0127A のユーザー処置を参照してください。

モジュール: EYU0CLIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0130E E *date time applid* **MAS** *nodename* の機能は低くなっていないか、または等しくなっています。

説明: MAS *nodename* が CMAS より新しいバージョンで実行されているため、通信リンクを確立するための MAS *nodename* からの要求が失敗しました。

nodename

通信ノードの MAS 名です。

CMAS または MAS の機能は、そのサービス・レベルまたは CICSplex SM のリリースとバージョンによって決まります。

このメッセージの後に、詳細情報を示すメッセージ EYUCL0131E が発行されることがあります。

システムの処置: 通信リンクを確立する要求が拒否されます。MAS の初期設定は終了します。

ユーザーの処置: MAS *nodename* の始動 JCL を訂正し、そのサービス・レベルまたは CICSplex SM のリリースとバージョンが、このメッセージを発行した CMAS のものよりも新しくならないようにしてください。

モジュール: EYU0CLET、EYU0CLRT、EYU0CLST

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nodename*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0131E E *date time applid MAS nodename* と
のリソース・タイプ不一致 *n* は *objname*
です。

説明: *MAS nodename* のリソース・テーブル *objname*
のバージョンが、この CMAS で使用中のバージョンと
一致しません。

nodename

通信ノードの MAS 名です。

objname

この CMAS で使用中のリソース・テーブルよ
りも前または後のリリースとなっている、*MAS*
nodename で使用中のリソース・テーブルの名
前です。

n

検出された不一致の数です。

このメッセージは、最大 2 つのリソース・テーブル・
タイプについて発行できます。

システムの処置: 詳しい説明は、メッセージ
EYUCL0130E を参照してください。

ユーザーの処置: 詳しい説明は、メッセージ
EYUCL0130E を参照してください。

モジュール: EYU0CLET、EYU0CLRT、EYU0CLST

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *n*
5. *nodename*
6. *objname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0132E E *date time applid* このCMASに割り当
てられた**MAS**データ・キャッシュ・スト
レージ域のリカバリーが失敗しました。

説明: CMAS が、MAS データ・キャッシュで割り振
られている CMAS-MAS 通信ストレージ域を解放しよ

うとしたときに、エラーが検出されました。このストレ
ージ域は CMAS の以前のインスタンスで割り振られて
使用され、その CMAS のインスタンスが正常終了せず
に終了した際に解放されませんでした。

システムの処置: 例外トレースとこのメッセージが発行
され、処理が続行されます。

ユーザーの処置: CMAS の完全なジョブ出力と
AUXTRACE データ・セットを収集し、IBM サポート
にお問い合わせください。

モジュール: EYU0CLET

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCL0201I I *date time applid* リンク・バッファ
ー・プール・エレメント不足が検出されま
した。

説明: プロトコル・サービス・サブコンポーネントによ
り、リンク・バッファ・プールにリンク・バッファ
ーが残っていないと判別されました。

システムの処置: CICSplex SM はリンク・バッファ
ーの新しいプールの獲得を試行します。このメッセージの
後に、不足が解消できたかどうかを示す別のメッセージ
が発行されます。EYUCL0013I は不足が解消されたこと
を示し、EYUCL0111E は不足が解消されなかったこと
を示します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CLBL、EYU0CLBE

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUCL0202I I *date time applid CMAS sysid sysid*
への再接続を試行中です。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

EYUCPnnnn メッセージ

EYUCP0001E E *date time applid CICSplex plexname*
 の保守ポイントが、次のように重複しています:
cmasid1 および *cmasid2* 上の **MP**

説明: 示されている CMAS を相互接続しようとしたときに、CICSplex SM により、両方の CMAS が示されている CICSplex の保守ポイントと見なされたと判別されました。これは、2 つの異なる CMAS で同一の CICSplex が手動で作成されると発生します。CICSplex の作成が行われた CMAS はその CICSplex の保守ポイントとなりますが、各 CICSplex が持つことのできる保守ポイントは 1 つのみです。

システムの処置: 2 つの CMAS 間の通信リンクが終了します。

ユーザーの処置: CMAS を相互通信させるには、いずれか 1 つの CMAS でのみ CICSplex を定義する必要があります。CPLEXDEF ビューを使用してどちらかの CMAS から CICSplex 定義を削除し、その CMAS を再起動してください。

モジュール: EYU0CPSI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *plexname*
5. *cmasid1*
6. *cmasid2*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCP0002E E *date time applid CMAS masid* の接続での **NetTop** インポート障害。障害は *method* で発生しました。

説明: 接続サービス・サブコンポーネントが、示されている CMAS に関するネットワーク・トポロジー情報をインポートできませんでした。

method

障害が発生した接続サービス・メソッドを示します。

システムの処置: ネットワーク・トポロジーのインポート処理が終了します。

4. *sysid*

宛先: コンソールおよび COLG

ユーザーの処置: メッセージの前にある APPLID スタンプによって示されている障害が発生した CMAS を停止し、再始動してください。

モジュール: EYU0CPTI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cmasid*
5. *method*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCP0003E E *date time applid masid1* と *cmasid2* 上のシステムの **CICSplex plexname** で **MAS masid** が重複しています。**MAS** はシャットダウンされます。

説明: 示されている CMAS を相互接続しようとしたときに、CICSplex SM により、同じ名前の MAS が各 CMAS に対してアクティブであると判別されました。CICSplex SM が管理する CICS システムの名前は CICSplex 内で固有でなければなりません。両方の CMAS が示されている CICSplex の管理に参加しているため、重複する MAS 名は許可されません。

システムの処置: 重複する MAS は終了します。CICS システムは引き続き正常に稼働しますが、CICSplex SM には認識されません。CMAS 間の接続が完了します。

ユーザーの処置: 適切な CICS システムの始動 JCL でいずれかの MAS 名を変更してください。その後、両方の CICS システムを停止してから再始動してください。

モジュール: EYU0CPMI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *masid*
5. *plexname*
6. *cmasid1*
7. *cmasid2*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCP0004I I *date time applid* 接続サービス長期実行タスクの初期化を開始しました。

説明: 接続サービス長期実行タスク (LRT) を初期設定しています。

システムの処置: LRT の初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU0CPLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUCP0005I I *date time applid* 接続サービス長期実行タスクの初期化が完了しました。

説明: 接続サービス長期実行タスク (LRT) の初期設定が正常に完了しました。

システムの処置: 接続サービス・サブコンポーネントの初期設定。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU0CPLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUCP0006I I *date time applid* 接続サービス長期実行タスクの終了を開始しました。

説明: 接続サービス長期実行タスク (LRT) を終了しています。

システムの処置: LRT の終了が続行されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU0CPLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUCP0007I I *date time applid* 接続サービス長期実行タスクの終了が完了しました。

説明: 接続サービス長期実行タスク (LRT) が終了しました。

システムの処置: 接続サービス・サブコンポーネントの終了が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CPLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUCP0008E E *date time applid* 接続サービス長期実行タスクがリカバリー不能エラーのため終了します。

説明: 接続サービス長期実行タスク (LRT) でエラーが発生し、このエラーからリカバリーできませんでした。

システムの処置: LRT は終了します。CICSplex SM は、LRT のサービスなしで実行を継続できます。

ユーザーの処置: メッセージの前にある APPLID スタンプによって示されている障害が発生した CMAS を停止し、再始動してください。問題が解決しない場合は、例外トレース・レコード、ジョブ・ログ、および CICS または MVS™ のダンプ出力 (使用可能な場合) を収集し、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0CPLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCP0009E E *date time applid* 接続サービス長期実行タスク・エラー。処理を続行します。

説明: 接続サービス長期実行タスク (LRT) でエラーが発生しましたが、このエラーからリカバリーして処理を続行できました。

システムの処置: 接続サービス処理は続行されます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、例外トレー

EYUCP0010E E • EYUCP0011E E

ス・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0CPLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCP0010E E *date time applid CMAS cmasname*
での **CICSplex** *plexname* の同期に失敗しました。その**CMAS**は分離中です。

説明: 示されている CICSplex と CMAS のリポジトリ同期を実行しようとしたが、失敗しました。

plexname

同期が試行された CICSplex の名前です。

cmasname

同期できなかった CMAS の名前です。

システムの処置: この CMAS が例外トレースを発行し、SVCdump を要求して、このメッセージを発行します。その後、同期できなかった CMAS は CMAS ネットワークから削除されます。

ユーザーの処置: この CMAS からの CICS AUXTRACE データ・セット、SVCdump、ジョブ出力、およびこの CMAS のデータ・リポジトリのバックアップ・コピーを収集してください。分離された CMAS でメッセージ EYUCP0011E が発行されることに注意してください。収集するその他の資料については、そのメッセージの説明を参照してください。

この問題からリカバリーするには、分離された CMAS とこの CMAS に接続しているすべての MAS を終了する必要があります。その後、分離された CMAS を再始動します。ネットワーク内のその他の CMAS とのリポジトリ同期が正常に完了したら (EYULOG メッセージ EYUCP0203I および EYUCP0204I)、その MAS を再始動できます。

問題の原因を判別するには、IBM サポートに連絡して収集した資料を提示してください。

モジュール: EYU0CPLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *plexname*

5. *cmasname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCP0011E E *date time applid* 1つ以上の **CICSplex** のリポジトリ同期に失敗しました。この **CMAS** は **CMAS** (*cmasname*) の要求により分離中です。

説明: このメッセージを発行した CMAS のデータ・リポジトリが 1 つ以上の CICSplex と同期できませんでした。

cmasname

分離を要求した CMAS の名前です。

システムの処置: この CMAS が例外トレースを発行し、SVC ダンプを要求して、このメッセージを発行します。次に、この CMAS が CMAS ネットワークから削除されます。

CMAS へのすべての接続が終了します。

ユーザーの処置: この CMAS からの CICS AUXTRACE データ・セット、SVCdump、ジョブ出力、およびこの CMAS のデータ・リポジトリのバックアップ・コピーを収集してください。要求側 CMAS がローカル CMAS でない場合は、要求側 CMAS でメッセージ EYUCP0010E も発行されます。収集するその他の資料については、そのメッセージの説明を参照してください。要求側 CMAS がローカル CMAS の場合、ローカル CMAS でメッセージ EYUXD0029E も発行されます。その他の資料を収集する必要はありません。

この問題からリカバリーするには、ローカル CMAS とこの CMAS に接続するすべての MAS を終了する必要があります。その後、ローカル CMAS を再始動する必要があります。ネットワーク内のその他の CMAS とのリポジトリ同期が正常に完了したら (EYULOG メッセージ EYUCP0203I および EYUCP0204I)、その MAS を再始動できます。

問題の原因を判別するには、IBM サポートに連絡して収集した資料を提示してください。

モジュール: EYU0CPRL

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cmasname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCP0012E E *date time applid cmasid1* での
CICSplex *plexname* の保守ポイントが、
CMAS *cmasid2* より低いバージョンにな
 っています。**CICSplex** は *cmasid2* から
 削除されます。

説明: 示されている **CMAS** を相互接続しようとしたと
 きに、**CICSplex** **SM** により、接続する **CMAS** が保守
 ポイントよりも新しい製品リリースを実行していると判
 別されました。

plexname

影響を受ける **CICSplex** の名前です。

cmasid1

CICSplex の保守ポイント **CMAS** の名前で
 す。

cmasid2

保守ポイントよりも新しいリリースの
CICSplex **SM** を実行していることが検出され
 た **CMAS** の名前です。

保守ポイント **CMAS** は常に、**CICSplex** の管理にアク
 ティブに参与する **CMAS** の中で最も新しいリリースを
 実行している必要があります。

システムの処置: 保守ポイントよりも新しいリリースの
CICSplex **SM** を実行している **CMAS** は、**CICSplex** の
 アクティブな管理から削除されます。**CICSplex** に関連
 するすべての定義が、保守ポイントよりも新しいレベル
 の **CMAS** のデータ・リポジトリから削除されます。

ユーザーの処置: 保守ポイント **CMAS** を最新リリース
 の **CICSplex** **SM** にアップグレードしてください。両方
 の **CMAS** を始動します。両方の **CMAS** が接続された
 ら、保守ポイントではない **CMAS** を **CICSplex** に再度
 追加します。

CICSplex **SM** のリリースのアップグレードについて
 は、この **CICS** リリースのアップグレードに関する資料
 を参照してください。

複雑な **CICSplex** 環境では、新たにアップグレードされ
 た **CMAS** によってメッセージ **EYUCP0012E** とメッセ
 ージ **EYUTS0012E** のインスタンスが繰り返し発行され
 ることがあります。これは、影響を受ける **CMAS** をリ
 サイクルすることで解消できます。

モジュール:

EYU0CCPA、**EYU0CPAI**、**EYU0CPLT**、**EYU0CPSI**

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *plexname*
5. *cmasid1*
6. *cmasid2*
7. *cmasid2*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCP0013E E *date time applid CMAS cmasid1* (バ
 ージョン *relnum*) は *cmasid2* でサポート
 されていません。**CMAS** *cmasid3* は終了
 します。

説明: ネットワークで **CMAS** を接続しようとしたとき
 に、**CICSplex** **SM** により、示されている **CMAS** が非
 互換の製品リリースを実行していると判別されました。

cmasid1

古いリリースの **CICSplex** **SM** を実行している
CMAS の名前です。

relnum

新しいリリースでサポートが終了した
CICSplex **SM** のリリースを示します。

cmasid2

新しいリリースの **CICSplex** **SM** を実行してい
 る **CMAS** の名前です。

システムの処置: 新しいリリースの **CICSplex** **SM** を
 実行している **CMAS** はシャットダウンします。

ユーザーの処置: *cmasid1* で示される **CMAS** をより新
 しい **CMAS** が含まれるネットワークに組み込むには、
 その **CMAS** をサポートされているリリースの
CICSplex **SM** にアップグレードする必要があります。

サポートされているリリースのリスト、およびリリース
 のアップグレードの詳細については、この **CICS** リリ
 ースのアップグレードに関する資料を参照してください。

モジュール: **EYU0CPCI**、**EYU0CPDG**

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cmasid1*
5. *relnum*
6. *cmasid2*
7. *cmasid3*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCP0014E E *date time applid CMAS cmasname*
から切断しようとしたときに障害が発生しました。

説明: この CMAS と別の CMAS の間の CICSplex SM 接続を除去しようとしたのですが、障害が発生しました。

cmasname

もう一方の CMAS の名前です。

システムの処置: 接続は終了しますが、一部の適切なクリーンアップが実行されない可能性があります。これにより、リンクが再確立されるときにエラーが発生するおそれがあります。

ユーザーの処置: 両方の CMAS からすべてのジョブ出力と AUXTRACE データ・セットを収集してください。リンクが再確立されたら、各 CMAS がもう一方の CMAS の MAS を結合することを確認してください。結合されない場合は、いずれかの CMAS を再始動すると問題は修正されます。問題が繰り返し起こる場合は、IBM サポートに連絡してください。

モジュール: EYU0CPRL

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cmasname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCP0015E E *date time applid NetTop* インポート・エラー。**CMAS** *cmasname*、**APPLID** *applid*、**SYSID** *sysid* で無効な値が検出されました。

説明: ネットワーク・トポロジ交換が発生しましたが、受信された CMAS *cmas* の定義に、既存の CMAS と競合する APPLID または SYSID が指定されています。

システムの処置: CMAS *cmas* は発行側 CMAS のネットワーク・トポロジに追加されません。

ユーザーの処置: 他の CMAS の CMTCMDEF を調べ、定義が正しく、すべての CMAS 名、APPLID、および SYSID が固有であることを確認してください。

モジュール: EYU0CPCI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *cmasname*
5. *applid*
6. *sysid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCP0016I I *date time applid* このCMASは、より低い機能の **CMAS** *nodename* に変わります。

説明: この CMAS が通信する CMAS *nodename* には、前のバージョンまたはサービス・レベルのリソース・テーブルが 1 つ以上含まれています。

nodename

通信ノードの CMAS 名です。

CMAS の機能は、そのサービス・レベルまたは CICSplex SM のリリースとバージョンによって決まります。

システムの処置: この CMAS は、CMAS *nodename* との伝送時に追加の処理を実行することがあります。これは、1 つ以上のリソース・テーブルを、CMAS *nodename* で使用中の前のバージョンに変換する必要があります。

ユーザーの処置: 処置は不要です。これは通知専用のメッセージです。

モジュール: EYU0CPUC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nodename*

宛先: COLG

EYUCP0017E E *date time applid CMAS nodename* の機能は、この **CMAS** に接続するには無効です。

説明: CMAS *nodename* に、この CMAS より新しいバージョンまたはサービス・レベルのリソース・テーブルが少なくとも 1 つ含まれ、この CMAS より前のバージョンまたはサービス・レベルのリソース・テーブルが少なくとも 1 つ含まれています。

nodename

通信ノードの CMAS 名です。

CMAS の機能は、そのサービス・レベルまたは CICSplex SM のリリースとバージョンによって決まります。

この CMAS は、自らと CMAS *nodename* との間の伝送時にリソース・テーブルを前のバージョンに変換する役割をこの CMAS が担うのか、それとも CMAS *nodename* がこれを行うのかを判別できません。

このメッセージの後に、詳細情報を示すメッセージ EYUCP0018E が発行されることがあります。

システムの処置: 通信リンクを確立する要求が拒否されます。

ユーザーの処置: この CMAS または CMAS *nodename* の始動 JCL を訂正してください。両方の CMAS システムのサービス・レベルまたは CICSplex SM のリリースとバージョンが同一であるか、どちらかの CMAS システムがもう一方より新しいサービス・レベルまたは CICSplex SM バージョンである必要があります。

モジュール: EYU0CPUC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nodename*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCP0018E E *date time applid CMAS nodename* との
リソース・タイプ不一致 *n* は *objname*
です。

説明: CMAS *nodename* のリソース・テーブル *objname* のバージョンが、この CMAS で使用中のバージョンと一致しません。

nodename

通信ノードの CMAS 名です。

objname

この CMAS で使用中のリソース・テーブルよりも前または後のリリースとなっている、CMAS *nodename* で使用中のリソース・テーブルの名前です。

n

検出された不一致の数です。

このメッセージは、最大 2 つのリソース・テーブル・タイプについて発行できます。

システムの処置: 詳しい説明は、メッセージ

EYUCP0017E を参照してください。

ユーザーの処置: 詳しい説明は、メッセージ EYUCP0017E を参照してください。

モジュール: EYU0CPUC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *n*
5. *nodename*
6. *objname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCP0019I I *date time applid* この CMAS は、より
機能の低い CMAS *nodename* に変わる必要
はなくなりました。

説明: この CMAS は、自らと CMAS *nodename* の間での伝送時に、1 つ以上のリソース・テーブルを前のバージョンに変換する必要がありました。

nodename

通信ノードの CMAS 名です。

追加の処理は実行されなくなります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 処置は不要です。これは通知専用のメッセージです。

モジュール: EYU0CPUC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nodename*

宛先: COLG

EYUCP0020I I *date time applid* この CMAS は、より
低い機能の MAS *nodename* に変わります。

説明: この CMAS が通信する MAS *nodename* には、前のバージョンまたはサービス・レベルのリソース・テーブルが 1 つ以上含まれています。

nodename

通信ノードの MAS 名です。

MAS の機能は、そのサービス・レベルまたは CICSplex SM のリリースとバージョンによって決まります。

システムの処置: この CMAS は、MAS *nodename* との伝送時に追加の処理を実行することがあります。これは、1 つ以上のリソース・テーブルを MAS *nodename* で使用中の前のバージョンに変換する必要があるためです。

ユーザーの処置: 処置は不要です。これは通知専用のメッセージです。

モジュール: EYU0CPAM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nodename*

宛先: COLG

EYUCP0021I I *date time applid* この **CMAS** は、より機能の低い **MAS** *nodename* に変わる必要はなくなりました。

説明: この CMAS は、自らと MAS *nodename* の間での伝送時に、1 つ以上のリソース・テーブルを前のバージョンに変換する必要がありました。

nodename

通信ノードの MAS 名です。

追加の処理は実行されなくなります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。これは通知専用のメッセージです。

モジュール: EYU0CPAM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nodename*

宛先: COLG

EYUCP0022E E *date time applid* **CMAS** *cmasid1* での **CICSplex** *plexname* の保守ポイントの機能は、**CMAS** *cmasid2* より低くなっています。**CMAS** *cmasid3* は **CICSplex** から分離されます。

説明: 示されている CMAS を接続しようとしたときに、CICSplex SM により、保守ポイントの CICSplex SM のサービス・レベルが、接続する CMAS よりも古いと判別されました。

plexname

影響を受ける CICSplex の名前です。

cmasid1

CMAS の保守ポイントの名前です。

cmasid2

接続する CMAS の名前です。

特定の CICSplex では、保守ポイント CMAS は、接続する CMAS と同じかそれより新しい CICSplex SM のサービス・レベルで実行する必要があります。CMAS の機能はサービス・レベルによって決まります。

システムの処置: 保守ポイント CMAS より新しい CICSplex SM のサービス・レベルを実行している接続する CMAS は、CICSplex から分離されます。

ユーザーの処置: *cmasid1* で示される CMAS をより新しい CMAS が含まれるネットワークに組み込むには、その CMAS をそれらと同一またはより新しい CICSplex SM のサービス・レベルにアップグレードする必要があります。

モジュール: EYU0CPAI, EYU0CPSI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *plexname*
5. *cmasid1*
6. *cmasid2*
7. *cmasid3*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCP0023E E *date time applid* **CMAS** (*cmasname*) とのリポジトリ同期を実行中に、通信障害が発生しました。その**CMAS**は分離中です。

説明: この CMAS が別の CMAS とのリポジトリ同期を実行しているときに通信エラーが発生しました。これにより、もう一方の CMAS は CMAS ネットワークから分離されます。

cmasname

分離中の CMAS の名前です。

システムの処置: この CMAS が例外トレースを発行し、SVCdump を要求して、このメッセージを発行します。その後、同期できなかった CMAS は CMAS ネットワークから削除されます。

ユーザーの処置: この CMAS から CICS AUXTRACE データ・セット、SVCdump、およびジョブ出力を収集してください。分離された CMAS でメッセージ EYUCP0024E が発行されることに注意してください。収集するその他の資料については、そのメッセージの説明を参照してください。

問題からリカバリーするには、分離された CMAS を再始動してください。

問題の原因を判別するには、IBM サポートに連絡して収集した資料を提示してください。

モジュール: EYU0CPLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cmasname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCP0024E E *date time applid* リポジトリ同期を実行中に、通信障害が発生しました。この CMAS は CMAS (*cmasname*) の要求により分離中です。

説明: この CMAS が別の CMAS とのリポジトリ同期を実行しているときに通信エラーが発生しました。これにより、この CMAS がネットワークから分離されます。

cmasname

分離を要求した CMAS の名前です。

システムの処置: この CMAS が例外トレースを発行し、SVC ダンプを要求して、このメッセージを発行します。次に、この CMAS が CMAS ネットワークから削除されます。

ユーザーの処置: この CMAS から CICS AUXTRACE データ・セット、SVC ダンプ、およびジョブ出力を収集してください。分離を要求した CMAS でメッセージ EYUCP0023E が発行されることに注意してください。収集するその他の資料については、そのメッセージの説明を参照してください。

この問題からリカバリーするには、この CMAS を再始動してください。

アップグレードのバックアウトを最近行った場合は、最近アップグレードしたバージョンをダウングレードする

代わりにデータ・リポジトリの以前のコピーを復元したことが原因で、分離が発生した可能性があります。

問題の原因を判別するには、IBM サポートに連絡して収集した資料を提示してください。

モジュール: EYU0CPLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cmasname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCP0029E E CICSplex (*plexname*) のデータ・リポジトリ・レコードをアップグレードできません。Maintenance Point CMAS (*mpcmasnm*)との再同期が必要です。

説明: この CMAS が、CICSplex の保守ポイント CMAS からシッパされたデータ・リポジトリ更新を処理しているときに、リカバリー不能エラーが発生しました。

mpcmasnm

保守ポイント CMAS の名前です。

plexname

更新が試行されていた CICSplex の名前です。

システムの処置: この CMAS が例外トレース、このメッセージ、およびメッセージ EYUCP0011E を発行します。次に、この CMAS が CMAS ネットワークから削除されます。

ユーザーの処置: 詳細については、メッセージ EYUCP0011E の説明を参照してください。

モジュール: EYU0XDRS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUCP0030I I *date time applid* CMAS *cmasname* に直接接続しました。

説明: ローカル CMAS が CMAS に直接接続しました。

cmasname

ローカル CMAS が直接接続している CMAS の名前です。

システムの処置: メッセージが出されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU0CPDG

EYUCP0031I I • EYUCP0033I I

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *masname*

宛先: COLG

EYUCP0031I I *date time applid CMAS masname1*
に**CMAS masname2**を経由して間接的に
接続しました。

説明: ローカル CMAS は CMAS に間接的に接続しました。

masname1

ローカル CMAS が間接的に接続している
CMAS の名前です。

masname2

ローカル CMAS が間接接続で経由している最
初の CMAS の名前です。

システムの処置: メッセージが出されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU0CPDG

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *masname1*
5. *masname2*

宛先: COLG

EYUCP0032I I *date time applid* 現在 **CMAS**
masname に接続していません。

説明: ローカル CMAS が接続しなくなりました。

masname

ローカル CMAS が接続しなくなった CMAS
の名前です。

システムの処置: メッセージが出されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU0CPDG, EYU0CPSL

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*

4. *masname*

宛先: COLG

EYUCP0033I I *date time applid CMAS ins#1* の切断
が要求されました。理由: {メソッド障
害。| メソッド異常終了。| CMAS 分
離。| MP 重複。| CMTCLNK 削除。}

説明: ローカル CMAS が CMAS 間のリンクを切断し
ます。

masname

切断されるパートナー CMAS の名前です。

reason ローカル CMAS が切断を要求する理由です。
以下のいずれかの値になります。

メソッド障害

メソッド呼び出しが失敗しました。

メソッド異常終了

異常終了が発生しました。

CMAS 分離

CMAS が分離中のため、すべての
CMAS 通信が停止します。

MP 重複

CICSplex で重複する保守ポイント
CMAS が検出されたため、CMAS 間
リンクを停止しています。

CMTCLNK 削除

WUI または API の廃棄アクションに
より、CMTCLNK が廃棄されてい
ます。

システムの処置: 示されている CMAS の CMAS 間送
信リンク・タスクが停止します。パートナー・システム
との通信を再試行する場合は、CMAS を再始動する必
要があります。

ユーザーの処置: メッセージに示される理由に応じて、
次のように処置します。

メソッド障害またはメソッド異常終了

ローカル CMAS とパートナー CMAS の両方
で他のメッセージを参照してください。関連す
るメッセージが見つからない場合は、このメッ
セージで示されるローカル CMAS とパートナ
ー CMAS から、CICS AUXTRACE データ・
セット、SVC ダンプ、および完全なジョブ出
力を収集してください。問題の原因を判別する
には、IBM サポートに連絡して収集した資料
を提示してください。

CMAS 分離

メッセージ EYUCP0011E を参照してください。

MP 重複

メッセージ EYUCP0001E を参照してください。

CMTCMLNK 削除

なし。ユーザー要求に基づいて CMAS 間リンクが廃棄されました。

モジュール:

EYU0CPDG、EYU0CPRL、EYU0CPTI、EYU0CSUC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ins#1*
5. 以下のオプションから選択される値:

1=メソッド障害。
2=メソッド異常終了。
3=CMAS 分離。
4=MP 重複。
5=CMTCMLNK 削除。

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCP0101W W *date time applid CICSplex*

plexname には管理対象の *number type* 領域があります。これは **CICSplex** に割り当てられた *total* 管理領域機能の *percentage%* です。

説明: 示されているタイプで許容される管理領域機能の最大数に近づいています。このメッセージは、アクティブな領域が 90 % を超えたときに表示されます。

plexname

CICSplex の名前です。

count1

示されているタイプのアクティブな管理領域の現在の数を示します。

type

管理領域のタイプを MVS または VSE として示します。

percentage

最大許容数に対する現在アクティブな領域の割合 (%) です。

count2

アクティブな管理領域の最大許容数を示します。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: 企業が使用許諾を受けた管理領域機能のコピー数については、IBM 使用許諾契約書または最新の請求書を確認してください。同時に管理する CICS システムの数は、使用許諾されている管理領域機能の数を超えることはできません。

使用許諾されている管理領域機能の数が十分である場合には、CICSplex 間での配布が実際の CICSplex 構成に一致していることを確認してください。各 CICSplex に割り当てられている管理領域の数を確認するには、CPLEXDEF ビュー (Administering CICSplex SM マニュアルを参照) を使用してください。

企業をサポートするのに十分な数の管理領域機能の使用許諾を受けていない場合は、次のいずれかを実行してください。

- IBM 担当員に連絡して、管理領域機能の追加コピーに対しての使用許諾を取得する。

- 余分な CICS システムを CICSplex SM 管理環境から削除する。

モジュール: EYU0CPCM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *plexname*
5. *number*
6. *type*
7. *percentage*
8. *total*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCP0102W W *date time applid CICSplex SM* ラ

イセンス準拠の検査: *number type CICS* 領域は **CICSplex** *plexname* 内で管理されており、これはこの **CICSplex** に対して使用を許諾された *total* 管理領域機能の *percentage %* です。管理領域機能のこれ以上のコピーに対しては、IBMから使用許諾を受けることが必要になる可能性があります。

EYUCP0103W W

説明: 示されているタイプで許容される管理領域機能の最大数を超過しました。

count1

示されているタイプのアクティブな管理領域の現在の数を示します。

type

管理領域のタイプを MVS または VSE として示します。

plexname

CICSplex の名前です。

percentage

最大許容数に対する現在アクティブな領域の割合 (%) です。

count2

アクティブな管理領域の最大許容数を示します。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: 企業が使用許諾を受けた管理領域機能のコピー数については、IBM 使用許諾契約書または最新の請求書を確認してください。同時に管理する CICS システムの数は、使用許諾されている管理領域機能の数を超えることはできません。

使用許諾されている管理領域機能の数が十分である場合には、CICSplex 間での配布が実際の CICSplex 構成に一致していることを確認してください。各 CICSplex に割り当てられている管理領域の数を確認するには、CPLEXDEF ビュー (Administering CICSplex SM マニュアルを参照) を使用してください。

企業をサポートするのに十分な数の管理領域機能の使用許諾を受けていない場合は、次のいずれかを実行してください。

- 余分な CICS システムを CICSplex SM 管理環境から削除する。
- IBM 担当員に連絡して、管理領域機能の追加コピーに対しての使用許諾を取得する。

モジュール: EYU0CPCM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *number*
5. *type*

80 CICS TS for z/OS: CICSplex SM メッセージおよびコード

6. *plexname*
7. *percentage*
8. *total*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCP0103W W *date time applid CICSplex SM* ライセンス条項に違反している可能性があります。*number1 type CICS* 領域は **CICSplex** *plexname* 内で管理されています。*number2* のみが管理領域機能の適用範囲にあります。現在、許可された領域の *percentage%* を管理しています。IBM に連絡して、管理領域機能の追加コピーに対しての使用許諾を取得してください。

説明: 許容される管理領域機能の最大数を大幅に超過しました。

count1

示されているタイプのアクティブな管理領域の現在の数を示します。

type

管理領域のタイプを MVS または VSE として示します。

plexname

CICSplex の名前です。

count2

アクティブな管理領域の最大許容数を示します。

percentage

最大許容数に対する現在アクティブな領域の割合 (%) です。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: 企業が使用許諾を受けた管理領域機能のコピー数については、IBM 使用許諾契約書または最新の請求書を確認してください。同時に管理する CICS システムの数は、使用許諾されている管理領域機能の数を超えることはできません。

使用許諾されている管理領域機能の数が十分である場合には、CICSplex 間での配布が実際の CICSplex 構成に一致していることを確認してください。各 CICSplex に割り当てられている管理領域の数を確認するには、CPLEXDEF ビュー (Administering CICSplex SM マニュアルを参照) を使用してください。

企業をサポートするのに十分な数の管理領域機能の使用許諾を受けていない場合は、次のいずれかを実行してください。

- 余分な CICS システムを CICSplex SM 管理環境から削除する。

- IBM 担当員に連絡して、管理領域機能の追加コピーに対しての使用許諾を取得する。

モジュール: EYU0CPCM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *number1*
5. *type*
6. *plexname*
7. *number2*
8. *percentage*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCP0104W W *date time applid* 将来のライセンス・メッセージ用に予約されています。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCP0105W W *date time applid* 将来のライセンス・メッセージ用に予約されています。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCP0106W W *date time applid* 将来のライセンス・メッセージ用に予約されています。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCP0107W W *date time applid* 将来のライセンス・メッセージ用に予約されています。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCP0108W W *date time applid* 将来のライセンス・メッセージ用に予約されています。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCP0200I I *date time applid* **CMAS** *cmasname1* を **CMAS** *cmasname2* 内の **CMAS** ディレクトリーに追加しています。

説明: **CMAS** *cmas1* が **CMAS** *cmas2* に対して正常に

EYUCP0201I I • EYUCP0205S S

識別されました。*cmas1* が CMAS ネットワークに参加できるようになりました。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CPAC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cmasname1*
5. *cmasname2*

宛先: COLG

EYUCP0201I I *date time applid CMAS cmasname* からの **NetTop** インポートを開始しました。

説明: 示されている CMAS によってネットワーク・トポロジの変更が開始されました。このメッセージは、CMAS で (通信コンポーネントの) トレース・レベル 23 が YES に設定されている場合のみ表示されます。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CPTI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cmasname*

宛先: COLG

EYUCP0202I I *date time applid CMAS cmasname* からの **NetTop** インポートを終了しました。

説明: 示されている CMAS によって開始されたネットワーク・トポロジの変更が正常に完了しました。このメッセージは、CMAS で (通信コンポーネントの) トレース・レベル 23 が YES に設定されている場合のみ表示されます。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CPTI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *cmasname*

宛先: COLG

EYUCP0203I I *date time applid CMAS cmasname* とのリポジトリ同期を開始しました。

説明: 示されている CMAS のデータ・リポジトリが、このメッセージを発行した CMAS のデータ・リポジトリと同期されています。ネットワークに参加するすべての CMAS のデータ・リポジトリが同期され、同じネットワーク・トポロジ情報が格納されます。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CPLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cmasname*

宛先: COLG

EYUCP0204I I *date time applid CMAS cmasname* とのリポジトリ同期が正常に終了しました。

説明: 示されている CMAS のデータ・リポジトリと、このメッセージを発行した CMAS のデータ・リポジトリの同期が正常に完了しました。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CPLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cmasname*

宛先: COLG

EYUCP0205S S *date time applid CMAS cmasname* とのリポジトリ同期に失敗しました。

説明: メッセージを発行した CMAS のリポジトリを CMAS (*cmasname*) と同期しようとしたときに、接続サ

ービス長期実行タスク (LRT) でエラーが発生しました。

システムの処置: メッセージを発行した CMAS は処理を続行します。ただし、CMAS (*cmasname*) がトポロジー結合または WLM 要求を受け入れることができなくなる可能性があります。

ユーザーの処置: 同時に複数の CMAS をシャットダウンすると、EYUCP0205S のメッセージを受け取る場合があります。この状況ではメッセージは問題を示してはならず、このメッセージが出るときの通常の動作として、CICSplex SM は診断 SVC ダンプを生成しません。このメッセージは、CMAS シャットダウンを順番に行うことで回避できます。

その他の場合は、CMAS (*cmasname*) を停止してから再始動してください。これにより、再始動時に同期プロセスが再試行されます。問題が解決しない場合は、例外トレース・レコードおよび両方の CMAS のジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0CPLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cmasname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCP0206E E *date time applid CICSplex plexname*
のデータ・リポジトリ定義が不完全です。リポジトリ同期はこのCICSplexを迂回します。

説明: 現行 CMAS と別の CMAS の間でのリポジトリ同期の処理中に、現行 CMAS が保守ポイント (MP) CMAS である CICSplex でデータ・リポジトリ (EYUDREP) レコードが不完全であると、現行 CMAS により判別されました。

plexname

CICSplex の名前です。

システムの処置: このメッセージとトレース・レコードが発行されます。エラーとなっている CICSplex を処理せずに、リポジトリ同期が続行されます。

ユーザーの処置: CICSplex が追加または削除されたときにエラーが発生し、これが原因で CICSplex の EYUDREP レコードが不完全になりました。この CMAS の現在のジョブ・ログと以前のジョブ・ログを調べ、エラー・メッセージが発行されていたかどうか確認してください。エラー・メッセージが見つかった場合

は、そのエラー・メッセージ、当該 CMAS 実行からのフォーマットされていない AUXTRACE データ・セット (使用可能な場合)、および CMAS の EYUDREP のバックアップ・コピーを収集し、IBM サポートにお問い合わせください。

エラー・メッセージを解決するには、Web ユーザー・インターフェース (WUI) の CPLEXDEF ビューから CICSplex を削除してください。CICSplex が必要な場合は、削除後に再作成してください。問題が解決しない場合は、ジョブ出力、現行の CMAS 実行からのフォーマットされていない AUXTRACE データ・セット、および CMAS の EYUDREP のバックアップ・コピーを収集し、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0CPLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCP0207E E *date time applid CMAS cmasname1*
上の **CICSplex** *plexname* は、**MAS** が **CMAS** *cmasname2* でアクティブであるため、{削除 | 再定義}できません。

説明: このメッセージを発行する CMAS は、CICSplex *plexname* の保守ポイント (MP) CMAS です。

CMAS *cmasname* との CICSplex *plexname* のデータ・リポジトリ同期中に、保守ポイント CMAS により、CMAS *cmasname* の CICSplex 定義を削除する必要があると判別されました。データ・リポジトリの同期が試行された時点で、CICSplex *plexname* 内の **MAS** が CMAS *cmasname* に直接接続されていた (または接続処理中であった) ため、CICSplex の削除は不可能でした。

action は「削除」または「再定義」です。

•

action が「削除」の場合、CICSplex の削除は、CPLXCMAS ビューでの「FORce」アクションによるものか、または MP 以外の CMAS が CICSplex の MP CMAS よりも新しいレベルの CICSplex SM を使用していることによるものです。

•

action が「再定義」の場合、CICSplex *plexname* の定義が古いことが原因で、CICSplex が CMAS *cmasname* で再定義されているため、CICSplex が削除されています。

システムの処置: メッセージ EYUCP0010E が発行され、CMAS *cmasname* が分離されます。

ユーザーの処置: CMAS *cmasname* に直接接続する MAS エージェントを停止する必要があります。また、データ・リポジトリの同期を完了するために CMAS *cmasname* を再始動する必要があります。

接続していた (または接続を試行していた) MAS エージェントを特定するには、CMAS *cmasname* EYULOG で次のメッセージを確認してください。

- EYUTI0001I (「Topology Connect」) は、CMAS に直接接続している MAS を示します。
- EYUTI0009I は、CMAS への接続を試行している MAS を示します。

これらの MAS で CICSplex SM MAS エージェントを停止するには、各 MAS で COSH トランザクションを使用するか、MAS が MP 以外の CMAS に接続している場合には MAS ビュー STOp アクション (または

WUI/API の同等のアクション) を使用します。あるいは、MAS をシャットダウンします。

MAS エージェントが停止したら、CMAS *cmasname* を再始動してデータ・リポジトリ同期を再試行します。

データ・リポジトリ同期が完了したら、COLM トランザクションを使用して前に停止した MAS エージェントを再始動するか、または MAS を再始動します。

モジュール: EYU0CPLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *plexname*
5. *cmasname1*
6. 以下のオプションから選択される値:

1=削除,
2=再定義

7. *cmasname2*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCRnnnnn メッセージ

EYUCR0001I I *date time applid* セキュリティ・サービスの初期化が完了しました。

説明: セキュリティ・サービス・サブコンポーネントが正常に初期設定されました。

システムの処置: CMAS初期化は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CRIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUCR0002I I *date time applid* セキュリティ・サービス長期実行タスクの初期化が完了しました。

説明: セキュリティ・サービス長期実行タスク (LRT) の初期設定が正常に完了しました。

システムの処置: セキュリティ・サービス・サブコン

ポーネントの初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU0CRLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUCR0003I I *date time applid* セキュリティ・サービス長期実行タスクの終了が完了しました。

説明: セキュリティ・サービス長期実行タスク (LRT) が終了しました。

システムの処置: セキュリティ・サービス・サブコンポーネントの終了が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CRLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUCR0004E E *date time applid* セキュリティー・サービスの初期化に失敗しました。

説明: セキュリティー・サービス・サブコンポーネントを初期設定できませんでした。

システムの処置: CMAS の初期設定は終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0CRIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCR0005E E *date time applid* セキュリティー・サービス長期実行タスクがリカバリー不能エラーのため終了します。

説明: セキュリティー・サービス長期実行タスク (LRT) でエラーが発生し、このエラーからリカバリーできませんでした。

システムの処置: LRT は終了します。CMAS は、LRT のサービスなしで実行を継続できます。

ユーザーの処置: 障害が発生した CMAS を停止してから再始動してください。問題が解決しない場合は、例外トレース・レコード、ジョブ・ログ、および CICS または MVS のダンプ出力 (使用可能な場合) を収集し、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0CRLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCR0006W W *date time applid* SEC(NO)

EYUPARM パラメーターの指定によってセキュリティ検査は使用不可になります。

説明: 始動ジョブでの要求に従い、CMAS がセキュリティ検査なしで実行されています。

システムの処置: CMAS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: CMAS でセキュリティを使用するには、CMAS の EYUPARM メンバーに SEC(YES) を指定してください。SEC が指定されていない場合のデフォルトは SEC(NO) です。次に CMAS を停止して再始動してください。

モジュール: EYU0CRIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCR0007E E *date time applid* Security mismatch between CMAS *cmasname* and MAS *masname* . Connection terminating.

説明: 示されている MAS が CICS SIT パラメーター SEC=YES を指定して開始されましたが、この MAS を管理する CMAS が EYUPARM パラメーター SEC(NO) を指定して開始されました。セキュリティが無効になっている CMAS は、その管理対象の MAS に対しセキュリティ処理を提供できません。

システムの処置: MAS と CMAS の間の接続が終了します。CICS システムは実行を続けますが、CICSplex SM に認識されていません。

ユーザーの処置: MAS でセキュリティをアクティブにするには、この MAS を管理する CMAS の SEC パラメーターを YES に変更してください。MAS にセキュリティを使用しない場合は、この MAS の SEC パラメーターを NO に変更してください。その後、必要に応じて CMAS または MAS を停止してから再始動してください。

モジュール: EYU0CRSC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cmasname*
5. *masname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCR0008E E 相互に排他的な CICS セキュリティー・パラメーターと CICSplex SM セキュリティー・パラメーターが指定されています。(Mutually exclusive CICS and CICSplex SM security parameters specified.) CMAS は終了します。(The CMAS will terminate.)

説明: CMAS の初期設定時に、CICS SIT パラメーター SEC=YES と CICSplex SM システム・パラメーター SEC(YES) の両方が指定されていました。CICSplex SM による適切なセキュリティ検査を実行するには、CMAS の次の CICS SIT パラメーターをすべての NO に設定する必要があります。

- XCMD=
- XDCT=
- XFCT=
- XJCT=
- XPCT=
- XPPT=

外部セキュリティ・マネージャー (ESM) のリソース・リストが CICS と CICSplex SM の両方から正しく参照できません。

システムの処置: CMAS の初期設定は終了します。

ユーザーの処置: CMAS で CICS と CICSplex SM の両方のセキュリティを使用するには、XCMD=、XDCT=、XFCT=、XJCT=、XPCT=、およびXPPT= の各 CICS SIT パラメーターをすべて NO に設定してください。その後、CMAS を再始動してください。

モジュール: EYU0CRIN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUCR0009I I *date time applid* セキュリティー検査:
Userid=userid、**Class=classname**、
Access={読み取り | 更新 | 制御 | 変更 | 不明}、**Resource=resname**、
ESMResponse=esmresp、
ESMReason=esmreason。

説明: セキュリティー検査が実行されました。

userid

リソースへのアクセスを要求しているユーザーのユーザー ID です。

classname

検査対象のクラスの名前です。

access

試行されるアクセス・レベルです。「読み取り」、「更新」、「制御」、「変更」、または「不明」です。

resource

アクセスされるリソースの名前です。

esmresp

ESM からの応答コードです。

esmreason

ESM からの理由コードです。

このメッセージを発行するには、CICSplex SM CMAS システム・パラメーター SECLOGMSG に YES または ALL を設定する必要があります。

システムの処置: リソースへのアクセスが外部セキュリティ・マネージャーにより許可されていない場合、要求は失敗します。通常、API 要求または WUI 要求からの応答は、理由が USRID の NOTPERMIT です。

ユーザーの処置: アクセスが正しく不許可にされている場合は、不要です。アクセスが誤って不許可にされている場合は、このメッセージの情報を使用して、検査対象のリソースと ESM がアクセスを許可しない理由を判別してください。

モジュール: EYU0CRCK

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *classname*
6. 以下のオプションから選択される値:

1=読み取り,
 2=更新,
 3=制御,
 4=変更,
 5=不明

7. *resname*
8. *esmresp*
9. *esmreason*

宛先: COLG

EYUCR0010I I *date time applid* セキュリティー・プロファイルはリフレッシュされています。リフレッシュは**ESM**を使用して実行する必要があります。

説明: セキュリティーの再作成が要求されました。外部セキュリティ・マネージャ (ESM) を使用して CMAS が使用するセキュリティ・プロファイルをリフレッシュする必要があるため、この要求は実行されませんでした。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: ESM が提供する機能を使用してセキュリティ・プロファイルをリフレッシュしてください。例えば、RACF ユーザーは次の TSO コマンドを発行できます。

SETROPTS RACLIST(xxxxxxx) REFRESH

xxxxxxx は、リフレッシュする RACF クラスの名前です。

モジュール: EYU0CRLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUCSnnnn メッセージ

EYUCSnnnn メッセージで使用される変数を以下に示します。

mode

通信接続で使用される通信モードを、標準または拡張のいずれかとして示します。通信モードは、リンク・セット・サービス・サブコンポーネントが自動的に決定するため、ユーザーは制御できません。

text

パートナー・システムから受信するメッセージです。このメッセージの説明については、「メッセージおよびコード」マニュアルを参照してください。

type

割り当てられている通信接続タイプを次のいずれかとして示します。

CPI-C ネットワーク

CPI-C (LU6.2) 伝送プロトコルを使用した CMAS 間接続

MRO ネットワーク

MRO 伝送プロトコルを使用した CMAS 間接続

Netview エンドポイント

NetView PPI リンクを使用した CMAS と Netview 間の接続

name

通信パートナーの名前。

EYUCS0001I I *date time applid* リンク・セット・サービスの初期化が完了しました。

説明: 通信コンポーネントのリンク・セット・サービス・サブコンポーネントが正常に初期設定されました。

システムの処置: 通信コンポーネントはその他のサブコンポーネントの初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU0CSIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUCS0002I I *date time applid* 通信長期実行タスクの初期化を開始しました。

説明: 通信長期実行タスク (LRT) が初期設定されています。

システムの処置: 通信 LRT の初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU0CSLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUCS0003I I *date time applid* 通信長期実行タスクの初期化を完了しました。

説明: 通信長期実行タスク (LRT) の初期設定が正常に完了しました。

システムの処置: 通信コンポーネントはその他のサブコンポーネントの初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU0CSLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUCS0004I I *date time applid* 通信長期実行タスクの終了を開始しました。

説明: 通信長期実行タスク (LRT) が終了しています。

システムの処置: 通信 LRT の終了が続行されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU0CSLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUCS0005I I *date time applid* 通信長期実行タスクの終了を完了しました。

説明: 通信長期実行タスク (LRT) が終了しました。

システムの処置: 通常シャットダウンの結果として LRT が終了した場合は、CICSplex SM シャットダウンが続行されます。異常条件が原因で LRT が終了した場合、このメッセージの前に発行されるメッセージで終了の原因となった条件が説明されます。CICSplex SM は、LRT のサービスなしで実行を継続できます。

ユーザーの処置: 通常の CICSplex SM シャットダウンが進行中の場合、処置は必要ありません。異常条件 (このメッセージの前に発行されるメッセージ EYUCS0104E で示されます) が原因で LRT が終了した場合、CICSplex SM をシャットダウンして再始動する必要があります。

モジュール: EYU0CSLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUCS0006I I *date time applid type* 接続 *name* がリンク・セットに割り当てられました。

説明: 示されている通信接続が CICSplex SM リンク・セットに正しく割り当てられました。*type* および *name* については、EYUCSnnnn messagesを参照してください。リンク・セットとは、類似する属性を持つ接続に対して実行される処理を CICSplex SM が最適化するための手段です。接続がリンク・セットに割り当てられると、CICSplex SM は通信パートナーとの間でデータを送受信できます。

システムの処置: 他の CICSplex SM 通信プロセスでこの接続が使用可能になります。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CSAC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *type*
5. *name*

宛先: COLG

EYUCS0007I I *date time applid type* 接続 *name* がリンク・セットから割り当て解除されました。

説明: 示されている通信接続が CICSplex SM リンク・セットから正常に割り当て解除されました。リンク・セットとは、類似する属性を持つ接続に対して実行される処理を CICSplex SM が最適化するための手段です。*type* および *name* については、EYUCSnnnn messagesを参照してください。接続がリンク・セットから割り当て解除されると、CICSplex SM は通信パートナーとの間でデータを送受信できなくなります。

システムの処置: 他の CICSplex SM 通信プロセスはこの接続を使用できなくなります。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CSUC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *type*
5. *name*

宛先: COLG

EYUCS0008I I *date time applid* サービス要求ブロック・エレメント不足が解消しました。

説明: 追加エレメントを割り振ることにより、通信長期実行タスク (LRT) のサービス要求ブロック・エレメントの不足が正常に解消されました。サービス要求ブロック・エレメントは、CICSplex SM 通信プロセスによって LRT に要求を送信する手段です。

システムの処置: エレメントを待機している通信プロセスはすべてディスパッチされ、エレメントの獲得が許可されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CSES

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCS0009I I *date time applid CMAS cmasname* からメッセージを受け取りました: *msgtext*。

説明: 接続の初期設定処理中にパートナー CMAS からメッセージを受信しました。EYUCSnnnn messagesを参照してください。

システムの処置: メッセージ *text* の重大度に応じて、CMAS 間接続が正常に完了するか、あるいは接続が終了して他のサポート・メッセージが発行されます。

ユーザーの処置: 接続が正常に完了できなかった場合は、両方の CMAS から EYULOG、JOBLOG、および例外トレース・レコードを取得し、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0CLCS、EYU0CLMS

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cmasname*
5. *msgtext*

宛先: COLG

EYUCS0010I I *date time applid CMAS cmasname* への{拡張 | 標準} (CPI-C ネットワーク | MRO ネットワーク)接続を初期化しています。

説明: ローカル CMAS とパートナー CMAS の間の通信接続を開始しています。EYUCSnnnn messagesを参照してください。

システムの処置: 通信接続の初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU0CLCS、EYU0CLMS

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=拡張,
2=標準

5. 以下のオプションから選択される値:

1=CPI-C ネットワーク,
2=MRO ネットワーク

EYUCS0011W W • EYUCS0102E E

6. *cmasname*

宛先: COLG

EYUCS0011W W *date time applid* 10 秒未満の **EYUPARM** *parmname* の値が指定されました。この値は**CMAS**のこの実行用に**10** 秒に設定されました。

説明: 示されている EYUPARM が、10 秒未満のゼロ以外の値に設定されました。

システムの処置: 示されている EYUPARM の値が 10 秒に設定され、CMAS 初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: 10 秒よりも大きい値が必要な場合は、示されている EYUPARM を変更してから CMAS を再始動してください。10 秒の値を設定する場合は、現在の CMAS 実行でユーザー応答は不要です。ただし今後の CMAS 実行でこのメッセージが表示されないように、CMAS を再始動する前に、示されている EYUPARM の値を 10 に変更してください。

モジュール: EYU0CSLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *parmname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCS0012W W *date time applid* 要求タイムアウト **EYUPARM** *eyuparm* がタイムアウト・ポーリング **EYUPARM** **TOPOLLINT** より小さい値に指定されました。

説明: 示されている EYUPARM に、TOPOLLINT EYUPARM よりも小さい値が指定されました。これは許可されますが、効率的ではありません。

システムの処置: CMAS初期化は続行されます。

ユーザーの処置: ポーリングは要求がいつタイムアウトになるのかを判断するために使用されるので、ポーリングよりも小さい値をタイムアウトに指定すると、指定された値よりも後に要求がタイムアウトになる可能性があります。これが望ましくない場合は、TOPOLLINT の値が示されている EYUPARM の値以下になるように EYUPARM を変更し、CMAS を再始動してください。

モジュール: EYU0CSLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*

4. *eyuparm*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCS0101E E *date time applid* リンク・セット・サービスの初期化に失敗しました。

説明: 通信コンポーネントのリンク・セット・サービス・サブコンポーネントを初期設定できませんでした。

システムの処置: CICSplex SM 初期設定を異常終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードと、このメッセージより前に発行されたメッセージを調べて、問題の原因を判別してください。

モジュール: EYU0CSIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCS0102E E *date time applid target* のリンク・セット保留接続リストを作成できません。

説明: 通信長期実行タスク (LRT) が、リンク・セット保留接続リストを作成できませんでした。このリストは、状況がモニター対象になっている通信接続についての情報を保管するために使用されます。

システムの処置: CICSplex SM を異常終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0CSLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. ターゲット

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCS0103E E *date time applid* 通信長期実行タスクを開始できません。

説明: 通信コンポーネントのリンク・セット・サービス・サブコンポーネントが、CICSplex SM アドレス・スペース (CMAS) の通信長期実行タスク (LRT) を開始できませんでした。

システムの処置: CICSplex SM を異常終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: CICS CSD を調べ、トランザクション CSLT とプログラム EYU9XLOP が定義されていることを確認してください。定義が正しいと思われる場合は、例外トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0CSIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCS0104E E *date time applid* 通信長期実行タスクがリカバリー不能エラーのため終了します。

説明: 通信長期実行タスク (LRT) でエラーが発生し、このエラーからリカバリーできませんでした。

システムの処置: LRT は終了します。CICSplex SM は、LRT のサービスなしで実行を継続できます。

ユーザーの処置: このメッセージより前に発行されたメッセージを調べて、問題の原因を判別してください。例外トレース・レコード、ジョブ・ログ、および CICS または MVS のダンプ出力 (使用可能な場合) を収集し、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0CSLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCS0105E E *date time applid type* 接続 *name* のリンク・セットを割り当てることができません。

説明: 示されている通信接続を CICSplex SM リン

ク・セットに割り当てることができませんでした。*type* および *name* については、EYUCSnnnn messagesを参照してください。リンク・セットとは、類似する属性を持つ接続に対して実行される処理を CICSplex SM が最適化するための手段です。接続がリンク・セットに割り当てられるまで、CICSplex SM は通信パートナーとの間でデータを送受信できません。

システムの処置: CICSplex SM が定期的な間隔で接続の割り当てを再試行します。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、例外トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0CSAC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *type*
5. *name*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCS0106E E *date time applid type* 接続 *name* のリンク・セットを割り当て解除することができません。

説明: 示されている通信接続を CICSplex SM リンク・セットから割り当て解除できませんでした。*type* および *name* については、EYUCSnnnn messagesを参照してください。リンク・セットとは、類似する属性を持つ接続に対して実行される処理を CICSplex SM が最適化するための手段です。

システムの処置: 他の CICSplex SM 通信プロセスはこの接続を使用できません。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0CSUC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *type*
5. *name*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCS0107E E *date time applid* サービス要求ブロック・エレメント不足が解消できませんでした。

説明: 追加エレメントを割り振るためのストレージが不足しているため、通信長期実行タスク (LRT) のサービス要求ブロック・エレメントの不足を解消できませんでした。サービス要求ブロック・エレメントは、CICSplex SM 通信プロセスによって LRT に要求を送信する手段です。

システムの処置: エレメントを待機しているすべての通信プロセスは、この失敗に関する通知を受信します。

ユーザーの処置: CICS 拡張動的ストレージ域 (EDSA) に追加ストレージを割り振ってください。

モジュール: EYU0CSES

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCS0108E E *date time applid* **CMAS**接続の完了を待っていた初期化が、すべての接続が完了する前に終了しました。

説明: CMAS の初期設定中、ローカル CMAS は他のアクティブな CMAS が CMAS 間接続を開始するのを待機しています。少なくとも 1 つのパートナー CMAS が、割り当てられた 5 分の時間フレーム内にこれを実行できませんでした。

システムの処置: システム・ダンプが要求されて例外トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれた後、CMAS 初期設定が続行されます。応答に失敗した CMAS ごとに EYUCS0109I が発行されます。

ユーザーの処置: この状況は、CICS 通信の問題が存在している場合、または CMAS 間定義 (CMTCMDEF) がパートナー CMAS から削除されたが CMAS がワールド・スタートされなかった場合に発生することがあります。これらが原因ではないと考えられる場合は、CMAS からシステム・ダンプ、AUXTRACE データ・セット、および完全なジョブ出力を収集し、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0CSLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCS0109I I *date time applid* **CMAS** *cmasname* への接続を完了できませんでした。(date time applid **The connection to CMAS** *cmasname* **could not be completed.**)

説明: CMAS の初期設定中、ローカル CMAS は他のアクティブな CMAS が CMAS 間接続を開始するのを待機しています。CMAS *cmasname* が、割り当てられた 5 分の時間フレーム内にこれを実行できませんでした。このメッセージは、メッセージ EYUCS0108E の後で 1 回以上発行されることがあります。

システムの処置: メッセージ EYUCS0108E を参照してください

ユーザーの処置: メッセージ EYUCS0108E を参照してください

モジュール: EYU0CSLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cmasname*

宛先: COLG

EYUCS0201W W *date time applid* **NetView PPI**モジュールをロードできませんでした。
NetViewサポートが使用できません。

説明: 通信長期実行タスク (LRT) が NetView PPI モジュール CNMNETV をロードできませんでした。

システムの処置: NetView サポートが無効な状態で CICSplex SM の実行が続行されます。

ユーザーの処置: CNMNETV をロードできなかった理由を判別し、問題を訂正してください。

モジュール: EYU0CSLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCS0202W W *date time applid* **NetView** リリースの非互換- **NetView** サポートは使用できません。

説明: 通信長期実行タスク (LRT) により、システムにインストールされている **NetView** リリースが必要な PPI サポートのレベルを提供していないと判別されました。

システムの処置: **NetView** サポートが無効な状態で **CICSplex SM** の実行が継続されます。

ユーザーの処置: **CICSplex SM** インストール要件を確認し、サポートされている **NetView** リリースをシステムにインストールしてください。

モジュール: EYU0CSLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCS0203W W *date time applid* サービス要求ブロック・エレメント不足が検出されました。

説明: 通信長期実行タスク (LRT) サービス要求ブロック・エレメントの不足が検出されました。サービス要求ブロック・エレメントは、**CICSplex SM** 通信プロセスによって LRT に要求を送信する手段です。

システムの処置: エレメントを待機しているすべての通信プロセスは中断されます。**CICSplex SM** は追加のエレメントの割り振りを試行します。このメッセージの後に、不足が解消できたかどうかを示す別のメッセージが表示されます。EYUCS0008I は不足が解消されたことを示し、EYUCS0107E は不足が解消されなかったことを示します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CSES

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCS0204W W *date time applid {CMAS | RMAS} name* でタイムアウトが発生しました。(A **timeout has occurred with {CMAS | RMAS} name.**)

説明: 内部で定義された期間に、示されている **CMAS** がデータ・レコードを受信しなかったか、この **CMAS** にデータ・レコードを送信できませんでした。

システムの処置: ローカル **CMAS** と示されている **CMAS** の間の通信リンクが終了します。

ユーザーの処置: 示されている **CMAS** のジョブ・ログを調べ、問題の原因を示している可能性があるメッセージがないか確認してください。

モジュール: EYU0CSLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=CMAS,
2=RMAS

5. *name*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCS0205W W *date time applid CMAS cmasname* への接続を次の理由で再試行しています:
{セッション割り振り失敗 | パートナー・システム要求 | 初期化バージョン・リセット}。

説明: ローカル **CMAS** が通信接続を開始しようとしたときに、予期しない状態が検出されました。

EYUCSnnnn messagesを参照してください。状態は、次のいずれかの値です。

初期化バージョン・リセット

これは、ファースト・スピーカーによって拡張接続が試行されているときに、パートナー・システムからの応答により、パートナー・システムは標準接続方式のみを受け入れることが示された場合に発生します。

セッション割り振り失敗

これは **CPI-C** 接続のみで発生する可能性があります。**CPI-C** プロトコル・サービスが初期接続割り振り要求に応答を返しました。この応答は、障害が発生したものの必ずしも重大ではなく、再試行できることを示しています。

CICSplex SM 接続プロセスは **CPI-C** 割り振りを 15 回まで再試行でき、それでも失敗した場合は接続がサービス不能と見なされます。

パートナー・システム要求

これは、いずれかの CMAS パートナーが実行時点で解決できない一時的な処理の問題（つまり、ローカル接続プロセスに必要なリソース・ロックが保留された状態）を認識したときに発生する可能性があります。このような状況のとき、ローカル・システムは、短時間（通常 2 分）経過した後に再試行できることを示して、接続要求を拒否する可能性があります。パートナー CMAS はメッセージを発行し、指示された時間だけ待機した後に接続を再試行します。

システムの処置: CMAS 間接続が再試行されます。

ユーザーの処置: 接続自体が適切に確立される場合は、これ以上の処置は不要です。接続が完了できない場合は、CMAS から EYULOG、JOBLOG、および例外トレース・レコードを取得し、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0CLCS、EYU0CLMS

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cmasname*
5. 以下のオプションから選択される値:

1=セッション割り振り失敗,
2=パートナー・システム要求,
3=初期化バージョン・リセット

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCS0206W W *date time applid* 例外トレースが発行されました: ポイント **Id=** *tracepoint*、デバッグ・テキスト= *debug*。

説明: 通信メソッドにより例外トレース・レコードが書き込まれました。*tracepoint* はトレース・ポイント ID、*debug* はデバッグ・テキストです。このメッセージは、メッセージ EYUCS0009I に組み込まれます。トレース・ポイントとデバッグの情報は、IBM サポートが使用します。

システムの処置: CMAS はパートナー・システムへの接続を終了します。

ユーザーの処置: このメッセージは、他の通信エラー・メッセージとともに発行されます。接続がアクティブにならない場合は、両方の CMAS からジョブ・ログ、EYULOG、および例外トレース・レコードを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0CLCT、EYU0CLMT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tracepoint*
5. デバッグ

宛先: COLG

EYUCS0207W W *date time applid* 接続された **MAS** *ins#1* が応答していません。 **APPLID** (*ins#2*) **CICSplex** (*ins#3*)。

説明: CMAS により、示されている接続された MAS が CMAS から送信された要求に応答していないと判別されました。

システムの処置: このメッセージが発行され、処理が続行されます。

ユーザーの処置: 応答のない MAS が原因で、この CMAS と他の MAS および CMAS との間の接続で問題が発生することがあります。MAS を調べ、問題を訂正するためにその MAS を終了する必要があるかどうかを判別してください。MAS がまだ応答していない状態で、MAS JOBLOG にメッセージ EYUBN0020I があるがメッセージ EYUBN0021I がない場合は、CICS アプリケーション・バンドルの使用可能化が原因である可能性があります。詳細については、EYUBN0020I のメッセージの説明を参照してください。

モジュール: EYU0CSLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ins#1*
5. *ins#2*
6. *ins#3*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCS0208I I *date time applid* 接続された **MAS** *ins#1* が応答しています。 **APPLID** (*ins#2*) **CICSplex** (*ins#3*)。

説明: CMAS により、CMAS から送信された要求に応答していなかった MAS が、現在は応答していると判別されました。

システムの処置: このメッセージが発行され、処理が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CSLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *ins#1*

5. *ins#2*

6. *ins#3*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCTnnnn メッセージ

EYUCT0001I I *date time applid* トランスポート・サービスの初期化が完了しました。

説明: 通信コンポーネントのトランスポート・サービス・サブコンポーネントが正常に初期設定されました。

システムの処置: 通信コンポーネントはその他のサブコンポーネントの初期設定を続行します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU0CTIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

U1000 で終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードと、このメッセージより前に発行されたメッセージを調べて、問題の原因を判別してください。

モジュール: EYU0CTIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCT0002I I *date time applid* トランスポート・サービスの終了が完了しました。

説明: 通信コンポーネントのトランスポート・サービス・サブコンポーネントが終了しました。

システムの処置: 通信コンポーネントの終了を続行します。トランスポート・サービスがアクティブではなくなったため、現在の CMAS とその他の通信ノードの間でデータを伝送できなくなります。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CTRM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUCT0102W W *date time applid* トランスポート・サービスの終了に失敗しました。

説明: 通信コンポーネントのトランスポート・サービス・サブコンポーネントの終了試行中にエラーが発生しました。

システムの処置: 他のすべての通信サブコンポーネントは通常のシャットダウンを試行します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードと、このメッセージより前に発行されたメッセージを調べて、問題の原因を判別してください。

モジュール: EYU0CTRM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCT0101E E *date time applid* トランスポート・サービスの初期化に失敗しました。

説明: 通信コンポーネントのトランスポート・サービス・サブコンポーネントを初期設定できませんでした。

システムの処置: CICSplex SM 初期設定が異常終了

EYUCT0103E E *date time applid* トランスポート・サービスの初期化で{ パラメーターの照会 | ストレージの獲得 | MAS 応答リストの作成 | MAL 応答リストの作成 | ロックの登録 | パラメーター RECVLSRB の設定}ができません。

EYUCT0104W W • EYUCT0106W W

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1= パラメーターの照会,
2=ストレージの獲得,
3=MAL 応答リストの作成,
4=MAL 応答リストの作成,
5=ロックの登録,
6=パラメーター RECVLSRB の設定

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCT0104W W *date time applid* トランスポート・サービス**EYUPARM COMMTSBLOCKS** が無効です。最小値が使用されます。

説明: CMAS または MAS の EYUPARM COMMTSBLOCKS に指定された値が、必須最小値よりも小さな値でした。

システムの処置: CMAS または MAS のこの実行時に COMMTSBLOCKS の最小値が使用されます。

ユーザーの処置: 最小値が受け入れ可能な場合は、不要です。それ以外の場合は、EYUPARM を変更し、CMAS または MAS を再始動する必要があります。CICS TS のインストールで CICSplex SM システム・パラメーター COMMTSBLOCKS EYUPARM の説明を参照してください。

モジュール: EYU0CTIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCT0105E E *date time applid* トランスポート・サービス制御ブロックの不足が発生しました。

説明: API、つまり内部要求を処理しようとしたときに、CMAS または MAS でリソース不足が発生しました。このメッセージは、CMAS または MAS の実行中

に初めて不足が発生したときに発行されます。

システムの処置: CMAS または MAS の実行が続行されます。

ユーザーの処置: CMAS または MAS の終了時にメッセージ EYUCT0106W が発行されます。メッセージを参照してください。

モジュール: EYU0CAMP, EYU0CTBP, EYU0CTBS, EYU0CTES, EYU0CTMB, EYU0CTSK, EYU0CTSP

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCT0106W W *date time applid* トランスポート・サービス制御ブロックの最大同時不足は *ins#1* エレメントでした。

説明: 終了中の CMAS または MAS の実行時に、トランスポート・サービス制御ブロックの不足が発生しました。*number* は、発生した最大同時不足を示します。

システムの処置: トレース・レコードが書き込まれ、CMAS または MAS の終了が続行します。

ユーザーの処置: CMAS または MAS を再始動する前に、*number* 値を参考にして、CMAS または MAS の COMMTSBLOCKS EYUPARM パラメーターの値を増やしてください。詳しくは、CICS TS のインストールで COMMTSBLOCKS EYUPARM の説明を参照してください。

COMMTSBLOCKS EYUPARM の値を増加しても問題が解決しない場合は、CMAS または MAS の実行からのジョブ出力とフォーマットされていない AUXTRACE データ・セットを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0CTRM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ins#1*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCT0107E E *date time applid CMAS {name | SYSID} (cmasid)* から重複パケット・セットを受信しました。

説明: この CMAS が別の CMAS から重複するパケット・セットを受信しました。*cmasid* は送信側 CMAS の ID、*cmasidtype* は ID が送信側 CMAS の「name」または「SYSID」のいずれであるかを示します。

システムの処置: 受信側 CMAS のダンプが要求されます。*cmasidtype* が「name」の場合、送信側 CMAS のダンプが要求されました。*cmasidtype* が「SYSID」の場合、送信側 CMAS のダンプを要求できませんでした。その後、処理は続行されます。

ユーザーの処置: *cmasidtype* が「SYSID」の場合、送信側 CMAS のダンプを手動で要求する必要があります。ダンプには、CMAS および ESSS のアドレス・スペースと、ESSS により CMAS に割り振られたデータ・スペースが含まれている必要があります。MVS DUMP コマンドの詳細については、「CICSplex SM のトラブルシューティング」のユーザー要求ダンプに関するセクションを参照してください。次に、両方の CMAS から完全なジョブ出力、AUXTRACE データ・セットおよびダンプを収集してください。

資料を収集したら、重複パケット・セットの問題を解決

EYUCWnnnnn メッセージ

EYUCW0001I I *date time applid* タイミング・サービスの初期化が完了しました。

説明: タイミング・サービス・サブコンポーネントが正常に初期設定されました。時間枠登録が使用可能になりました。

システムの処置: CMAS初期化は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CWIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUCW0002I I *date time applid* タイミング・サービスの終了が完了しました。

説明: タイミング・サービス・サブコンポーネントが終了しました。時間枠登録が使用不可になりました。

システムの処置: CMAS の終了が続行されます。

するために、送信側 CMAS をシャットダウンして再始動することをお勧めします。CMAS の実行中はメッセージ EYUCT0107E は 1 回だけ発行されるため、後続のメッセージが発行されない場合でも、パケット・セットが重複する状況が引き続き発生する可能性があることに注意してください。

重複パケット・セットの問題の原因を判別するには、IBM サポートに連絡して収集した資料を提示してください。

モジュール: EYU0CTSK

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=*name*,
2=*SYSID*

5. *cmasid*

宛先: コンソールおよび COLG

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CWTM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUCW0101E E *date time applid* タイミング・サービスの初期化に失敗しました。

説明: タイミング・サービス・サブコンポーネントを初期設定できませんでした。

システムの処置: CMAS の初期設定は続行されますが、タイミング・サービスは使用できません。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードと、このメッセージより前に発行されたメッセージを調べて、問題の原因を判別してください。

モジュール: EYU0CWIN

EYUCW0102E E • EYUCW0104E E

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCW0102E E *date time applid* タイミング・サービスの終了に失敗しました。

説明: タイミング・サービス・サブコンポーネントを正常に終了できませんでした。一部のリソースが割り振られたままになる可能性があります。

システムの処置: CMAS の終了が続行されます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードと、このメッセージより前に発行されたメッセージを調べて、問題の原因を判別してください。

モジュール: EYU0CWTM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCW0103E E *date time applid* タイミング・サービス通知タスクが{登録障害 | 待機失敗 | 内部エラー}のために失敗しました。

説明: タイミング・サービス・サブコンポーネントの通知タスクが、以下のいずれかの理由で失敗しました。

- 過剰な障害
- 登録障害
- 待機失敗
- ストレージ不足
- 内部エラー

システムの処置: 既存の時間枠登録はすべて取り消されます。これ以上の時間枠登録要求は受け入れられません。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードと、このメッ

セージより前に発行されたメッセージを調べて、問題の原因を判別してください。

モジュール: EYU0CWTM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=登録障害,
2=待機失敗,
3=内部エラー

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCW0104E E *date time applid* 時間枠定義が *reason* のために除去されました。

説明: 以下のいずれかの理由で既存の時間枠定義が取り消されています。

- 過剰な障害
- 登録障害
- 待機失敗
- ストレージ不足
- 内部エラー

システムの処置: タイミング・サービス処理は続行されます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードと、このメッセージより前に発行されたメッセージを調べて、問題の原因を判別してください。

モジュール: EYU0CWTR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *reason*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCW0105W W *date time applid* {ストレージ不足
| 時間枠が未定義 | タイミング・サービ
スが非アクティブ | 内部エラー}のため、
コンテキスト (*plexname*) の定義
(*definition*) の時間枠登録に失敗しまし
た。

説明: CMAS コンポーネントが時間枠定義についての
インタレストを登録しようとしたが、要求が失敗し
ました。

plexname

CMAS がインタレストを登録しようとした
CICSplex を示します。

reason

失敗の理由として次のいずれかを示します。

時間枠が未定義 (*defname*)

指定された時間枠はデータ・リポジト
リーで定義されていません。

タイミング・サービスが非アクティブ

タイミング・サービス・サブコンポー
ネントが使用できません。

内部エラー

タイミング・サービス・サブコンポー
ネントでエラーが発生し、このエラー
からリカバリーできませんでした。

システムの処置: タイミング・サービスで要求が失敗し
ます。

ユーザーの処置: ユーザー応答は失敗の理由によって異
なります。

•

「時間枠が未定義 (*defname*)」の場合は、時間枠名
が正しく指定されていることを確認してください。時
間枠定義のリストを表示するには、PERIODEF ビュ
ーを使用します。

•

「タイミング・サービスが非アクティブ」の場合は、
CMAS を停止してから再始動してください。この問
題が繰り返し起こる場合は、IBM サポートに連絡し
てください。

•

「内部エラー」の場合は、例外トレース・レコードと
ジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0CWTR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *definition*
5. *plexname*
6. 以下のオプションから選択される値:

1=ストレージ不足,
2=時間枠が未定義,
3=タイミング・サービスが非アクティブ,
4=内部エラー

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCW0106I I *date time applid* オンライン変更のた
め、時間枠 (*periodf*) は現在{アクティブ
| 非アクティブ | 除去済み}です。

説明: 示されている時間枠定義は 1 つ以上の
CICSplex SM コンポーネント (モニター・サービスや
リアルタイム分析など) で使用中です。PERIODEF ビュ
ーを使用して時間枠定義が更新または削除されたため、
その状況が変更されました。*status* は、時間枠定義の新
しい状況として次のいずれかを示します。

ACTIVE

非アクティブだった時間枠定義がアクティブに
なりました。その時間枠を使用する定義もアク
ティブになります。

INACTIVE

アクティブだった時間枠定義が非アクティブに
なりました。その時間枠を使用する定義も非ア
クティブになります。

REMOVED

時間枠定義が削除されました。その時間枠を使
用していたすべての定義は実行中のシステムか
ら自動的に破棄されます。

システムの処置: タイミング・サービス処理は続行され
ます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CWTR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *periodf*
5. 以下のオプションから選択される値:

1=アクティブ,
2=非アクティブ,
3=除去済み

宛先: COLG

EYUCW0107I I *date time applid* コンテキスト
(*plexname*) のプレックス間隔の終わりが
nnnn 分に 1 回に設定されています。

説明: CMAS の初期設定または CICSplex の定義の一部として、タイミング・サービス・サブコンポーネントから、示されている CICSplex で有効なモニター間隔が報告されます。各モニター間隔の終わりでは、さまざまな CICSplex SM コンポーネントが特殊処理を実行します。

nnnn

モニター間隔 (分数) です。

plexname

影響を受ける CICSplex を示します。

システムの処置: タイミング・サービス処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0CWPR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nnnn*
5. *plexname*

宛先: COLG

EYUCW0108I I *date time applid GMT* からの時間帯
オフセットは、{SYS1.PARMLIB
(CLOCKxx) の TIMEZONE オペランドま
たは | CMAS の時間帯} {シスプレックス・タイマー | 属性}に基づいて計算され
ます。

説明: CMAS 初期設定の一部として、タイミング・サービス・サブコンポーネントから、CPU クロックからのグリニッジ標準時 (GMT) の計算方法が報告されます。*text* は、計算が次のいずれかに基づいていることを示します。

CMAS の時間帯属性

CMAS 始動ジョブで指定された時間帯オフセットが、CPU ストア・クロックの値に対して加算または減算されました。

SYS1.PARMLIB(CLOCKxx) の **TIMEZONE** オペランドまたはシスプレックス・タイマー

CPU クロックが GMT に設定されていたため、調整は行われませんでした。

システムの処置: タイミング・サービス処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

CICSplex SM 時間帯属性の説明については、Administering CICSplex SMを参照してください。

モジュール: EYU0CWIN、EYU0CWMT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=SYS1.PARMLIB(CLOCKxx) の TIMEZONE オペランドまたは,
2=CMAS の時間帯

5. 以下のオプションから選択される値:

1=シスプレックス・タイマー,
2=属性

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCW0109I I *date time applid GMT* からの時間帯
オフセットは、**CMAS** 時間帯属性に基づいて計算されます。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUCW0110I I *date time applid GMT* からの時間帯オフセットは、**SYS1.PARMLIB (CLOCKxx)** の **TIMEZONE** オペランドまたはシスプレックス・タイマーに基づいて計算されます。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

EYUHI000 メッセージ

EYUHI001 データ・セット **EYUHISTx** を処理しています。(**Processing data set EYUHISTx.**)

説明: DDName **EYUHISTx** のジョブ・ストリームでステートメントが検出されました。

システムの処置: プログラムは、**EYUHISTx** DD ステートメントに関連付けられているデータ・セットのオープン、調査、フォーマットを続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XHID

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUHI002 **EYUHISTx** 初期化カウントは *nnnn* です。(**EYUHISTx initialization count is nnnn.**)

説明: **EYUHISTx** DDName に関連付けられているデータ・セットが、*nnnn* 初期化レコードを使用してフォーマットされました。

システムの処置: プログラムは次の順次 **EYUHISTx** データ・セットの処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XHID

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUHI003 データ・セット **EYUHISTx** は既に初期化されているため、スキップされます。(**Data set EYUHISTx is already initialized and is being skipped.**)

説明: **EYUHISTx** DDName に関連付けられているデータ・セットは既にフォーマットされていることが検出されました。

システムの処置: プログラムは直ちに終了します。

ユーザーの処置: 示されている DDName に異なるデータ・セットを提供するか、**EYUHISTx** DDname に関

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

連付けられているデータ・セットを削除して再定義してください。

モジュール: EYU9XHID

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUHI004 データ・セット **EYUHISTx** はヒストリー・ファイルではありません。(**Data set EYUHISTx is not a history file.**)プログラムは終了します。

説明: **EYUHISTx** DDName に関連付けられているデータ・セットに、ヒストリー・レコードではないデータが含まれていることが検出されました。示されているデータ・セット名をヒストリー・レコーディングの目的で再利用する場合は、事前にこのデータ・セット名を削除して再定義する必要があります。

システムの処置: プログラムは直ちに終了します。

ユーザーの処置: 示されている DDName に異なるデータ・セットを提供するか、**EYUHISTx** DDname に関連付けられているデータ・セットを削除して再定義してください。

モジュール: EYU9XHID

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUHI005 プログラムが終了しました (**Program terminated**)

説明: プログラムの実行は完了しました。

システムの処置: プログラムは終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XHID

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUHI006 *xxxxxx* 要求のエラー: **RPL** フィードバックは **X'0x0x0x0x'** です (**Error from xxxxxx request: RPL Feedback is X'0x0x0x0x'**)

説明: VSAM OPEN 要求、GET 要求、PUT 要求、または CLOSE 要求が失敗しました。RPL フィードバック・コードが示されています。

システムの処置: プログラムは直ちに終了します。

ユーザーの処置: RPL フィードバック・コードを調べ、失敗の理由を判別してください。これについては、z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Sets マニュアルで説明されています。

モジュール: EYU9XHID

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

説明: VSAM GENCB 要求、MODCB 要求、または SHOWCB 要求が失敗しました。汎用レジスター 15 および 0 からの要求の理由コードおよび応答コードが示されています。

システムの処置: プログラムは直ちに終了します。

ユーザーの処置: マクロ応答コードを調べ、失敗の理由を判別してください。これについては、z/OS DFSMS Macro Instructions for Data Sets マニュアルで説明されています。

モジュール: EYU9XHID

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUHI007 *xxxxx* 要求のエラー:
R15=X'0x0x0x0x'、**R0=X'0x0x0x0x'** (**Error from xxxxxx request: R15=X'0x0x0x0x'**,
R0=X'0x0x0x0x')

EYUMMnnnn メッセージ

EYUMMnnnn メッセージで使用される変数を以下に示します。

restype

関係するリソースのタイプを次のいずれかとして示します。

- All (すべて)
- CICS
- Connection
- データベース
- ファイル
- グローバル
- ジャーナル
- プログラム
- 端末
- トランザクション
- 一時データ・キュー
- 不明

コンテキスト

メッセージが適用される CICSplex を示します。

スコープ

メッセージが適用される CICS システムを示します。

EYUMM0001I I *date time applid* モニターの初期化が完了しました。

説明: CMAS モニター・サービス・コンポーネントが

正常に初期設定されました。モニターが有効になりました。

システムの処置: CMAS初期化は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0MMIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUMM0002E E *date time applid* モニターの初期化に失敗しました。

説明: CMAS モニター・サービス・コンポーネントを初期設定できませんでした。

システムの処置: CMAS 初期化は続行されますが、モニター・サービスは使用できません。

ユーザーの処置: このメッセージより前に発行されたメッセージを参照して、問題の原因を判別してください。

モジュール: EYU0MMIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUMM0071E E *date time applid* モニターMOEBの初期化に失敗しました。

説明: CMAS モニター・サービス・コンポーネントが、その主オブジェクト環境ブロック (MOEB) に十分なストレージを獲得できませんでした。

システムの処置: CMAS 初期化は続行されますが、モニター・サービスは使用できません。

ユーザーの処置: 以下のいずれかを実行して、CMAS で使用可能なストレージを増やしてください。

- EXEC ステートメントで REGION = パラメーターを使用して CICS 領域のサイズを増やす。
- EUDSA のサイズを増やす。

モジュール: EYU0MMIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUMM0072E E *date time applid* モニター・データ・キャッシュの作成に失敗しました。

説明: CMAS モニター・サービス・コンポーネントが、必要なデータ・キャッシュを割り振ることができませんでした。

システムの処置: CMAS 初期化は続行されますが、モニター・サービスは使用できません。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードと、データ・キャッシュ・コンポーネントからの関連メッセージ (EYUXCnnnn) を調べ、問題の原因を判別してください。

モジュール: EYU0MMIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUMM0073E E *date time applid* モニター・リスト・ヘッダーの初期化に失敗しました。

説明: CMAS モニター・サービス・コンポーネントが、必要な内部ワーク・リストを作成できませんでした。

システムの処置: CMAS 初期化は続行されますが、モニター・サービスは使用できません。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 問題の原因を判別するために、例外トレース・レコードを調べてください。

モジュール: EYU0MMIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUMM0074E E *date time applid* モニター・キャッシュ属性テーブルの初期化に失敗しました。

説明: CMAS モニター・サービス・コンポーネントが、リソース・ディスクリプター・テーブル EYUTMMDT をロードできませんでした。

システムの処置: CMAS 初期化は続行されますが、モニター・サービスは使用できません。

ユーザーの処置: CICSplex SM ロード・ライブラリーにすべての分散モジュールが含まれていることを確認してください。

モジュール: EYU0MMIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUMM0075E E *date time applid* モニター管理サービス・タスクの開始に失敗しました。

説明: CMAS モニター・サービス・コンポーネントがサービス・タスク EYU0MMST を開始できませんでした。

システムの処置: CMAS 初期化は続行されますが、モニター・サービスは使用できません。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 問題の原因を判別するために、例外トレース・レコードを調べてください。

モジュール: EYU0MMIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUMM0076E E *date time applid* モニターが不明なイベント通知 (*notification*) を検出しました。イベントは無視されました。

説明: CMAS モニター・サービス・コンポーネントが非送信請求イベント・レコードを受信しました。*nn* は、モニター・サービスが認識しなかったイベント通知 ID です。指定されたイベント通知 ID に基づいて、イ

ベントを作成した CICSplex SM メソッドを判別することが可能です。

システムの処置: モニター・サービスはイベント・レコードを無視して処理を続行します。無効なイベント・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0MMST

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *notification*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUMM0077E E *date time applid* モニター管理サービス・タスクに障害があります。タスクは終了します。

説明: CMAS モニター・サービス・タスクが失敗しました。

システムの処置: モニター・サービスは MAS 終了を確認できません。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。現在モニター中のこれらの MAS のモニターが続行されます。モニター中の MAS が終了すると、一部のモニター・サービス・リソース (データ・キャッシュなど) は割り振られたままになることがあります。

ユーザーの処置: 影響を受ける CMAS を再始動してください。問題の原因を判別するために、例外トレース・レコードを調べてください。

モジュール: EYU0MMST

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUMM0079E E *date time applid* モニターが {CICS | 接続 | ファイル・ | ジャーナル・ | トランザクション・ | プログラム・ | 一時データ・キュー・ | 端末} データ・コレクター・タスクを開始できませんでした。

説明: CMAS の初期設定中に、モニター・サービス

が、示されているリソース・タイプのデータ・コレクター・タスクを開始できませんでした。*restype* については、を参照してください。

システムの処置: 初期設定中であった CMAS に関連付けられているすべての MAS では、示されているリソース・タイプをモニターできません。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。CMAS初期化は続行されます。

ユーザーの処置: 問題の原因を判別するために、例外トレース・レコードを調べてください。示されているリソース・タイプをモニターする場合は、CMAS を停止してから再始動してください。

モジュール: EYU0MCCM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=CICS,
2=接続,
3=ファイル・,
4=ジャーナル・,
5=トランザクション・,
6=プログラム・,
7=一時データ・キュー・,
8=端末

宛先: コンソールおよび COLG

EYUMM0080E E *date time applid* モニター・データ・コレクター・タスクが{CICS | 接続 | ファイル・ | ジャーナル・ | トランザクション・ | プログラム・ | 一時データ・キュー・ | 端末}リソースで失敗しました。

説明: 示されているリソース・タイプのデータ・コレクター・タスクで問題が発生し、これが原因でこのタスクが終了しました。*restype* については、を参照してください。

システムの処置: モニター・サービスが障害からのリカバリーとデータ・コレクター・タスクの再開を試行しますが、他のリソース・タイプのモニターは実行できませんが、他のリソース・タイプのモニターが続行されます。

ユーザーの処置: 問題の原因を判別するために、例外トレース・レコードを調べてください。問題が解決しない場合は、トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0MCCM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=CICS,
2=接続,
3=ファイル・,
4=ジャーナル・,
5=トランザクション・,
6=プログラム・,
7=一時データ・キュー・,
8=端末

宛先: コンソールおよび COLG

EYUMM0081E E *date time applid* {CICS | 接続 | ファイル・ | ジャーナル・ | トランザクション・ | プログラム・ | 一時データ・キュー・ | 端末}リソースでの失敗が多すぎるため、モニター・データ・コレクター・タスクを終了しました。

説明: 示されているリソース・タイプのデータ・コレクター・タスクをリカバリーしようとしたましたが、モニター・サービスにより、このタスクは許容されている最大失敗回数を越えたと判別されました。*restype* については、を参照してください。

システムの処置: データ・コレクター・タスクは終了し、このリソース・タイプはモニターできなくなります。その他のリソース・タイプのモニターは続行されます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0MCCM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=CICS,
2=接続,
3=ファイル・,
4=ジャーナル・,
5=トランザクション・,

6=プログラム・,
7=一時データ・キュー・,
8=端末

宛先: コンソールおよび COLG

EYUMM0082W W *date time applid* モニターがエラー処理イベント (*name*) を報告しました。

説明: 示されているイベントの処理試行中にモニター・サービス長期実行タスクで内部エラーが発生しました。

name

イベントを以下のいずれかとして示します。

- CsysChg
- EndOfPer
- ENetDisc
- MasJoin
- MasStart
- MasStop
- MonSick
- PlexChg
- TimeChg

システムの処置: モニター・イベント処理は続行されます。ただし、イベント障害が原因で、一部のデータまたは内部構造が無効または不完全である可能性があります。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: イベント名をメモし、トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0MMST

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *name*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUMM0299I I *date time applid* メソッド: *part1 part2 part3 part4*。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *part1*
5. *part2*
6. *part3*
7. *part4*

宛先: COLG

EYUMM0300I I *date time applid* コンテキスト (*context*) 有効範囲 (*scope*) の{CICS | 接続 | ファイル・ | ジャーナル・ | トランザクション・ | プログラム・ | 一時データ・キュー・ | グローバル・ | データベース・ | すべての | 端末 | 不明}リソースのモニター除去が保留されています。

説明: 示されているコンテキストと有効範囲で、示されているリソース・タイプのモニターが停止しました。

restype については、を参照してください。モニター・サービスは、定義された保存期間にわたって待機した後、リソース・クリーンアップ手順に進みます。モニター・データの保存期間は、CICSSYS 定義または MONSPEC 定義の一部として定義されています。詳細については、Administering CICSplex SMを参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: EYU0MMIS

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=CICS,
 2=接続,
 3=ファイル・,
 4=ジャーナル・,
 5=トランザクション・,
 6=プログラム・,
 7=一時データ・キュー・,
 8=グローバル・,
 9=データベース・,
 10=すべての,
 11=端末,
 12=不明

5. *context*

6. *scope*

宛先: COLG

EYUMM0301I I *date time applid* コンテキスト
 (context) 有効範囲 (scope) の {CICS | 接
 続 | ファイル・ | ジャーナル・ | トラン
 ザクション・ | プログラム・ | 一時デー
 タ・キュー・ | グローバル・ | データベ
 ース・ | すべて | 端末 | 不明}リソース
 のモニター除去が完了しました。

説明: 示されているコンテキストと有効範囲で、示され
 ているリソース・タイプの保存期間が満了しました。
scope については、を参照してください。モニター・サ
 ービスがすべての未解決リソースを正常に解放しまし
 た。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0MMKL

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=CICS,
 2=接続,
 3=ファイル・,
 4=ジャーナル・,
 5=トランザクション・,
 6=プログラム・,
 7=一時データ・キュー・,
 8=グローバル・,
 9=データベース・,
 10=すべての,
 11=端末,

12=不明

5. *context*

6. *scope*

宛先: COLG

EYUMM0302E E *date time applid* コンテキスト
 (context) 有効範囲 (scope) の {CICS | 接
 続 | ファイル・ | ジャーナル・ | トラン
 ザクション・ | プログラム・ | 一時デー
 タ・キュー・ | グローバル・ | データベ
 ース・ | すべて | 端末 | 不明}リソースの
 モニター除去に失敗しました。

説明: 示されているコンテキストと有効範囲で、示され
 ているリソース・タイプの保存期間が満了しました。
scope については、を参照してください。モニター・サ
 ービスは、示されているタイプの 1 つ以上の未解決リ
 ソースを解放できませんでした。

システムの処置: モニター・サービスはそのリソース・
 クリーンアップ手順を続行します。ユーザー・トレ
 ース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き
 込まれます。

ユーザーの処置: 問題の原因を判別するために、例外ト
 レース・レコードを調べてください。問題が解決しない
 場合は、トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集
 して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0MMKL

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=CICS,
 2=接続,
 3=ファイル・,
 4=ジャーナル・,
 5=トランザクション・,
 6=プログラム・,
 7=一時データ・キュー・,
 8=グローバル・,
 9=データベース・,
 10=すべての,
 11=端末,
 12=不明

5. *context*

6. *scope*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUMM0303I I *date time applid* コンテキスト
(*context*) 有効範囲 (*scope*) のモニター・リ
ソース除去を強制的に行っています。

説明: CICSplex を削除する要求、または CICS システムを CICS システム・グループから削除する要求が発行されました。*scope* については、を参照してください。このコンテストと有効範囲で除去が保留されていたすべてのモニター・リソース (メッセージ EYUMM0300I で示されます) が強制的に除去されます。これにより、CICSplex または CICS システムを正常に削除できるようになります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0MPUD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *context*
5. *scope*

宛先: COLG

EYUMM0304W W *date time applid* コンテキスト
(*context*) 有効範囲 (*scope*) の{ CICS | 接
続 | ファイル・ | ジャーナル・ | トラン
ザクション・ | プログラム・ | 一時デー
タ・キュー・ | グローバル・ | データベ
ース・ | すべて | 端末 | リソースのモニター
が停止しました。

説明: 以前のエラー状態が原因で、モニター・サービスが、示されているコンテキストと有効範囲で、示されているリソース・タイプのモニターを停止しました。*scope* については、を参照してください。

システムの処置: メッセージ EYUMM0300I で説明されるように、モニター・サービスが示されているリソース・タイプのリソース除去処理を開始します。その他のリソース・タイプのモニターが続行されます。

ユーザーの処置: ジョブ・ログを調べ、示されているリソース・タイプに関連する EYUMMnnnnn メッセージが以前に発行されていないか確認してください。このメッセージはモニター間隔の終わりまで発行されないため、間隔の長さの分だけ、関連するエラー・メッセージから離れている可能性があります。問題の原因を判別できない場合は、ジョブ・ログを収集して IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0MAUD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=CICS,
2=接続,
3=ファイル・,
4=ジャーナル・,
5=トランザクション・,
6=プログラム・,
7=一時データ・キュー・,
8=グローバル・,
9=データベース・,
10=すべての,
11=端末

5. *context*

6. *scope*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUMM0400I I *date time applid* コンテキスト
(*context*) 有効範囲 (*scope*) のモニター・リ
ソース・リセットが進行中です。

説明: モニター・サービスが、示されているコンテキストと有効範囲のキャッシュ・データ・フィールドを事前設定された値にリセットする処理を開始しました。*scope* については、を参照してください。リセット・プロセスは各モニター・パフォーマンス間隔の終わりで実行され、現在モニターされているすべてのリソース・タイプに対して行われます。

システムの処置: リセット処理が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0MMEI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *context*
5. *scope*

宛先: COLG

EYUMM0401I I *date time applid* コンテキスト
(context) 有効範囲(scope) のモニター・リ
ソース・リセットが完了しました。

説明: モニター・サービスが示されているコンテキスト
と有効範囲のキャッシュ・データ・フィールドのリセッ
トを正常に完了しました。scope については、を参照し
てください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0MMEI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *context*
5. *scope*

宛先: COLG

EYUMM0402E E *date time applid* コンテキスト
(context) 有効範囲(scope) のモニター・リ
ソース・リセットに失敗しました。

説明: モニター・サービスが示されているコンテキスト
と有効範囲のキャッシュ・データ・フィールドをリセッ
トしようとしたのですが、問題が発生しました。scope に
ついては、を参照してください。

システムの処置: モニターがアクティブなコンテキスト
で、次の管理対象アプリケーション・システム (MAS)
に処理が進みます。ユーザー・トレース・レコードが
CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。部
分的または不完全なモニター・データが報告されること
があります。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードおよび関連す
るメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせ
してください。

モジュール: EYU0MMEI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *context*
5. *scope*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUMM0600I I *date time applid* コンテキスト
(context) 有効範囲 (scope) のモニター{仕
様 | グループ | 定義 | 時間定義}
(defname) が正常にインストールされまし
た。

説明: 示されているコンテキストと有効範囲の示されて
いるモニター基準をインストールする要求が正常に行わ
れました。scope については、を参照してください。

type

インストールされたモニター基準のタイプを次
のいずれかとして示します。

- 定義
- グループ
- 仕様
- 時間定義

name

基準のユーザー定義名です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0MMIC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=仕様,
2=グループ,
3=定義,
4=時間定義

5. *defname*
6. *context*
7. *scope*

宛先: COLG

EYUMM0601E E *date time applid* コンテキスト
(context) 有効範囲 (scope) のモニター{仕
様 | グループ | 定義 | 時間定義}
(defname) のインストールに失敗しまし

た。理由: *reason1* -- *reason2*。

説明: 示されているコンテキストと有効範囲の示されているモニター基準をインストールする要求が失敗しました。*scope*については、を参照してください。

type

インストールできなかったモニター基準を次のいずれかとして示します。

- 定義
- グループ
- 仕様
- 時間定義

name

基準のユーザー定義名です。

code

理由コードを示します。

text

診断テキストを示します。

システムの処置: 処理を続行します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコード、理由コード、および理由テキストを収集し、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0MMIC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=仕様,
2=グループ,
3=定義,
4=時間定義

5. *defname*
6. *context*
7. *scope*
8. *reason1*
9. *reason2*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUMM0602E E *date time applid* グループ

(*grpname*) のモニター定義 (*defname*) が見つかりませんでした。要求は無視されました。

説明: 示されているモニター・グループの示されているモニター定義に対する要求が行われましたが、データ・リポジトリでこの定義が見つかりませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 要求で定義名が正しく指定されていることを確認してください。必要に応じて、定義をデータ・リポジトリに追加してください。

モジュール: EYU0MMIR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *defname*
5. *grpname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUMM0603E E *date time applid* コンテキスト

(*context*) 有効範囲 (*scope*) の{ CICS | 接続 | ファイル・| ジャーナル・| トランザクション・| プログラム・| 一時データ・キュー・| グローバル・| データベース・| 端末 | *HTASK* } モニターの開始に失敗しました。

説明: モニター・サービスが示されているコンテキストと有効範囲でモニター・エージェントを開始しようとしたのですが、失敗しました。*scope*については、を参照してください。

システムの処置: 処理は続行されますが、示されているコンテキストと有効範囲で、示されているリソース・タイプのモニターがアクティブではありません。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 問題の原因を判別するために、例外トレース・レコードを調べてください。問題が解決しない場合は、トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0MMCL

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=CICS,
2=接続,
3=ファイル・,
4=ジャーナル・,
5=トランザクション・,
6=プログラム・,
7=一時データ・キュー・,
8=グローバル・,
9=データベース・,
10=端末,
11=HTASK

5. *context*

6. *scope*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUMM0604E E *date time applid* モニター「トランザクションの終わり」データ・コレクターの開始に失敗しました。

説明: トランザクション・モニター定義のインストール試行時に、モニター・サービスが「トランザクションの終わり」データ・コレクターを開始しようとしたが、失敗しました。

システムの処置: モニター定義のインストールが失敗します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードおよび関連するメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0MMCL

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUMM0605E E *date time applid* コンテキスト (*context*) 有効範囲 (*scope*) のモニターに *tt* {仕様 | グループ | 定義}インストール障害による *nn* がありました。

説明: モニターの仕様、グループまたは定義のインストール中に障害が発生しました。*scope*については、を参照してください。

type

インストール中だったモニター基準のタイプを次のいずれかとして示します。

- 定義
- グループ
- 仕様
- 時間定義

このメッセージの前に、失敗したインストール要求ごとに EYUMM0601E メッセージが発行されます。

システムの処置: モニター定義のインストール・プロセスが続行されます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 問題の原因を判別するために、例外トレース・レコードを調べてください。問題が解決しない場合は、トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0MMID

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nn*
5. *tt*
6. 以下のオプションから選択される値:

1=仕様,
2=グループ,
3=定義

7. *context*

8. *scope*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUMM0606W W *date time applid* モニターがコンテキスト (*context*) 有効範囲 (*scope*) の *nn* {CICS | 接続 | ファイル | ジャーナル | トランザクション | プログラム | 一時データ・キュー | グローバル | データベース | 端末} 定義をインストールできませんでした - {リソースのサポートなし | サンプル間隔がゼロです}。

EYUMM0607W W

説明: モニターの仕様、グループ、または定義のインストール中に、示されている CICS システムに特定の数の定義をインストールできませんでした。 *restype*、*context*、および *scope* については、を参照してください。

nn

インストールできなかった定義の数を示します。

reason

次のいずれかの理由で定義をインストールできなかったことを示します。

サンプル間隔がゼロです

示されているリソース・タイプのサンプル間隔がゼロでした。モニター・サンプリングは発生しません。

リソースのサポートなし

示されている CICS システムでは、示されているリソースがサポートされていません。

システムの処置: モニター定義のインストール・プロセスが続行されます。示されている CICS システムでは、示されているリソース・タイプをモニターできません。

ユーザーの処置: *reason* の値に応じて、次のいずれかを実行してください。

サンプル間隔がゼロです

MAS ビューを使用して、示されているリソース・タイプのモニター・サンプル間隔をゼロ以外の値に設定します。次に、このリソース・タイプのモニター定義を再インストールします。

リソースのサポートなし

次回モニター定義をインストールするときにこのメッセージが表示されないように、示されているリソース定義に関連付けられている有効範囲を、そのリソースをサポートする CICS システムに限定します。特定のリソースが特定のプラットフォームまたは CICS リリースでサポートされているかどうか判別するには、システム・プログラミング・リファレンスを参照してください。

モジュール: EYU0MMIB

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nn*

5. 以下のオプションから選択される値:

- 1=CICS,
- 2=接続,
- 3=ファイル,
- 4=ジャーナル,
- 5=トランザクション,
- 6=プログラム,
- 7=一時データ・キュー,
- 8=グローバル,
- 9=データベース,
- 10=端末

6. *context*

7. *scope*

8. 以下のオプションから選択される値:

- 1=リソースのサポートなし,
- 2=サンプル間隔がゼロです

宛先: コンソールおよび COLG

EYUMM0607W W *date time applid* 時間枠 (*defname*)
が定義されていないため、モニターがコンテキスト (*context*) 有効範囲 (*scope*) の *nn* 定義をインストールできませんでした。

説明: モニターの仕様、グループ、または定義のインストール中に、モニター・サービスが示されている時間枠についてのインタレストを登録しようとしたが、その時間枠定義が存在しません。*scope* については、を参照してください。この時間枠を参照する示されている数の定義をインストールできませんでした。

nn

インストールできなかった定義の数を示します。

defname

見つからなかった時間枠定義の名前です。

システムの処置: モニター定義のインストール・プロセスが続行されます。示されている時間枠を参照するモニター定義はインストールされません。

ユーザーの処置: 時間枠名が MONINGRP ビューに正しく指定されていることを確認してください。

PERIODEF ビューを使用すると、既存の時間枠定義のリストを表示でき、必要に応じて新規の時間枠定義を作成できます。次に、正しい時間枠名を使用してモニター定義を再インストールしてください。

モジュール: EYU0MMIC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nn*
5. *context*
6. *scope*
7. *defname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUMM0608E E *date time applid* コンテキスト
(*context*) 有効範囲(*scope*) のモニターの開
始に失敗しました。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *context*
5. *scope*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUMM0903E E *date time applid* モニター・デー
タ・キャッシュの削除に失敗しました。

説明: CMAS モニター・サービス・コンポーネント
が、終了処理中にそのデータ・キャッシュをパージでき
ませんでした。

システムの処置: モニター・サービスの終了が続行され
ます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードと、データ・
キャッシュ・コンポーネントからの関連メッセージ
(EYUXCnnnn) を調べ、問題の原因を判別してくださ
い。

モジュール: EYU0MMTM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUMM0904E E *date time applid* モニターMOEB削
除に失敗しました。

説明: CMAS モニター・サービス・コンポーネント
が、終了処理中にその主オブジェクト環境ブロック
(MOEB) を解放できませんでした。

システムの処置: モニター・サービスの終了が続行され
ます。

ユーザーの処置: 問題の原因を判別するために、例外ト
レース・レコードを調べてください。

モジュール: EYU0MMTM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUMM0905E E *date time applid* モニターの終了に
失敗しました。

説明: CMAS モニター・サービス・コンポーネントの
終了試行中に 1 つ以上のエラーが発生しました。

システムの処置: CMAS の終了が続行されます。ユー
ザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・
セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードおよび関連す
るメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせ
してください。

モジュール: EYU0MMTM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUMM0906E E *date time applid* モニター・イベン
ト通知の登録解除に失敗しました。

説明: CMAS モニター・サービス・コンポーネントが
CICSplex SM イベントについてのインタレストの登録
解除を試みましたが、失敗しました。

システムの処置: モニター・サービスの終了が続行され
ます。

ユーザーの処置: 問題の原因を判別するために、例外ト
レース・レコードを調べてください。

モジュール: EYU0MMTM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUMM0999I I *date time applid* モニターの終了が完了しました。

説明: CMAS モニター・サービス・コンポーネントが終了しました。リソース・モニターが実行できなくなりました。

システムの処置: CMAS の終了が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0MMTM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUNLnnnn メッセージ

EYUNLnnnn メッセージで使用する変数を以下に示します。

eibrcode

CICS によって返される EIBRCODE= 値。

respcode

CICS によって返される RESP= 値。

resp2code

CICS によって返される RESP2= 値。

これらの変数を使用する各メッセージでは、これらの変数を返した CICS コマンドが示されます。特定の CICS コマンドの値については、システム・コマンドを参照してください。

EYUNL0001E E *date time applid* **MOEB** 登録に失敗しました。

説明: MAS サブコンポーネントが、その主オブジェクト環境ブロック (MOEB) 制御ブロックをカーネル・リンケージ・コンポーネントに登録できませんでした。

システムの処置: MAS の初期設定は終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。CICS システムは、正常に実行を続けますが、CICSplex SM に認識されていません。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0NLRT、EYU1NLRT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0002E E *date time applid* **ECB**登録の終了に失敗しました。

説明: MAS サブコンポーネントが、その終了 ECB をカーネル・リンケージ・コンポーネントに登録できませんでした。

システムの処置: MAS の初期設定は終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。CICS システムは、正常に実行を続けますが、CICSplex SM に認識されていません。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0NLRT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0003E E MOEB ストレージの **GETMAIN** が失敗しました (**GETMAIN for MOEB storage failed**)

説明: MAS サブコンポーネントが、その主オブジェクト環境ブロック (MOEB) 制御ブロックに必要なストレージを獲得できませんでした。

システムの処置: MAS の初期設定は終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。CICS システムは、正常に実行を続けますが、CICSplex SM に認識されていません。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU1NLRT

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNL0007E E date time applid 通信レシーバー・ブロックが使用できません。

説明: MAS から CMAS への通信に必要な通信レシーバー・ブロックのアドレスがゼロです。MAS から CMAS への通信を実行できません。

システムの処置: MAS の処理が終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。CICS システムは、正常に実行を続けますが、CICSplex SM に認識されていません。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0NLRT、EYU1NLRT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0010E E date time applid パラメーター・サービス照会に失敗しました。

説明: CICSplex SM パラメーター・サービスに対して要求が発行され、異常な応答が返されました。

システムの処置: MAS の初期設定は終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。CICS システムは、正常に実行を続けますが、CICSplex SM に認識されていません。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0NLRT、EYU1NLRT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0087E E date time applid CONAの**EXEC CICS SET TRANSACTION** 要求に失敗しました。

説明: MAS エージェントの初期設定中に MASALTLRTCNT EYUPARM でゼロ以外の値が検出されたときに、EYU0NLRT が CONA トランザクションの優先順位を、MASALTLRTPRI EYUPARM で指定された値に設定しようとしたましたが、OK 以外の応答が受信されました。

システムの処置: このメッセージの発行後に MAS エージェントの初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: CONA トランザクションが MAS にインストールされていることを確認してください。インストールされていない場合は、必要に応じて CSD をアップグレードし、トランザクションをインストールして、MAS エージェントを再始動してください。CONA トランザクションがインストールされている場合は、MAS とその接続先 CMAS から AUXTRACE データ・セットと完全なジョブ出力を収集し、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0NLRT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0088I I date time applid (a) の代替 **LRT** が要求され、**(b)** を開始しました。

説明: MAS エージェントの初期設定中に、MASALTLRTCNT EYUPARM がゼロ以外の場合は、CONA タスクの開始後に CONL タスクで実行されている EYU0NLRTがこのメッセージを発行します。

a

開始が試行された CONA タスクの数
 (MASALTLRTCNT パラメーターの値) です。

b

EYU0NLRT が正常に開始したタスクの実際
 の数です。

システムの処置: このメッセージの発行後に MAS
 エージェントの初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: *a* と *b* が等しい場合、開始されたタ
 スクの数を変更する必要がなければ、処置は不要です。
a と *b* が等しくない場合は、MAS とその接続先
 CMAS から AUXTRACE データ・セットと完全なジョ
 ブ出力を収集し、IBMサポートにお問い合わせくださ
 い。

モジュール: EYU0NLRT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *a*
5. *b*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0089I I *date time applid* 代替 **LRT** がメッ
 セージ処理を行っています。

説明: このメッセージは、MAS の最初の代替長期実行
 タスクが要求を処理するときに発行されます。

システムの処置: このメッセージの発行後に MAS 処
 理が続行されます。

ユーザーの処置: MAS で代替長期実行タスク処理を行
 わない場合以外は、処置は必要ありません。代替長期実
 行タスク処理を行わない場合は、EYUPARM
 MASALTLRTCNT を 0 (ゼロ) に設定し、MAS エー
 ジェントを再始動してください。

EYUNL0088I メッセージで少なくとも 1 つの代替 LRT
 が開始されたことが示されたものの、このメッセージが
 発行されない場合は、通常、問題が発生しています。
 CONA トランザクションがセキュリティーに対して定
 義されており、MAS の開始に使用されるユーザー ID
 がトランザクションを開始する権限を持っていることを
 確認してください。セキュリティーが問題ではない場合
 は、MAS とその接続先 CMAS から AUXTRACE デー
 タ・セットと完全なジョブ出力を収集し、IBM サポー
 トにお問い合わせください。

モジュール: EYU0NLRA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0090W W *date time applid* 要求の処理が可能
 にならなかったため、*addspace* はシャッ
 トダウンされます。

説明: 初期設定の完了後に、管理対象アプリケーショ
 ン・システム (MAS) により、ハートビート・タスクが
 アクティブでなかったため通常シャットダウンが開始さ
 れたと判別されました。

addspace

MAS がローカル MAS (LMAS) であることを
 示します。

システムの処置: CICS システムは、正常に実行を続
 けますが、CICSplex SM に認識されていません。

ユーザーの処置: CMAS EYULOG を調べて関連する
 メッセージがないか確認し、それらのメッセージで示さ
 れている指示に従ってください。COLM トランザクシ
 ョンを使用して MAS を再始動できます。問題が解決し
 ない場合は、トレース・レコードおよび CMAS
 EYULOG を収集して、IBM サポートにお問い合わせく
 ださい。

モジュール: EYU0NLRT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *addspace*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0096E E *date time applid* 代替 **LRT** (
addspace) が異常終了中です。

説明: 代替長期実行タスクがエラーで終了すると、この
 メッセージが発行されます。

n

終了中の CONA タスクの番号です。

システムの処置: このメッセージの発行後に MAS 処
 理が続行されます。

ユーザーの処置: ログを調べ、代替長期実行タスクが異
 常終了した理由を示している可能性があるメッセージが
 以前に発行されていないか確認し、それらのメッセージ
 についての資料を参照してください。他のメッセージが

存在しない場合は、MAS とその接続先 CMAS から AUXTRACE データ・セットと完全なジョブ出力を収集し、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0NLRA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *addspace*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0098E E *date time applid addspace* **LRT** の初期化に失敗しました。

説明: MAS の長期実行タスク (LRT) を初期設定できませんでした。

addspace

MAS がローカル MAS (LMAS) であることを示します。

システムの処置: MAS の初期設定は終了します。CICS システムは、正常に実行を続けますが、CICSplex SM に認識されていません。

ユーザーの処置: これより前に発行されたメッセージを参照し、問題の原因に関する詳細情報を確認してください。

モジュール: EYU0NLRT、EYU1NLRT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *addspace*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0099I I *date time applid addspace* **LRT** 初期化が完了しました。

説明: MAS の長時間実行タスク (LRT) が正常に初期設定されました。

addspace

MAS がローカル MAS (LMAS) であることを示します。

システムの処置: MAS は作業を行う準備ができています。CICSplex SM 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU0NLRT、EYU1NLRT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *addspace*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0101W W *date time applid* メソッドがサポートされていません: フォーマット **ID=id**。

説明: CICSplex SM の別のコンポーネントが、MAS サブコンポーネントによってサポートされていない要求を行いました。

id

要求 ID です。

システムの処置: 要求は無視されます。MAS 処理が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0NLRT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *id*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0103E E *date time applid* **WAIT EXTERNAL** に失敗しました。**RESP=respcode**
RESP2=reasoncode。

説明: EXEC CICS WAIT EXTERNAL コマンドが異常応答を返しました。*respcode* 値および *resp2code* 値は CICS によって返されます。

システムの処置: MAS は通常シャットダウンを試行します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: EXEC CICS WAIT EXTERNAL コマンドの *respcode* 値および *resp2code* 値に関連する指示に従ってください。

モジュール: EYU0NLRT、EYU0NLRA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *respcode*

5. *reasoncode*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0105E E *date time applid* ロック・サービスに障害が発生しました。メッセージ処理が作動不能です。

説明: MAS によって処理されるメッセージの取得中に、ロック・サービス・サブコンポーネントでエラーが発生しました。MAS は CICSplex SM 要求を処理できなくなりました。

システムの処置: MAS の処理が終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。CICS システムは、正常に実行を続けますが、CICSplex SM に認識されていません。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0NLRT、EYU0NLRA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0120W W *date time applid* **ENABLE PROGRAM** *progrname* に失敗しました。
RESP=*respcode* **EIBRCODE=***reasoncode*。

説明: MAS サブコンポーネントに必要なプログラムを有効にできませんでした。

prgmid

有効にできなかったプログラムを次のいずれかとして示します。

- EYU9NLDC
- EYU9NLDR
- EYU9NLME
- EYU9NMST
- EYU9NMTE
- EYU9XLAP

respcode

値は CICS によって返されます。

eibrcode

値は CICS によって返されます。

システムの処置: システム処理に対する影響は、有効にできなかったプログラムによって異なります。

EYU9NLDC

XDUREQC ダンプ・ドメイン出口が使用できません。MAS 処理が続行されます。トランザクション・ダンプの完了が XDUOUT 出口によって検出されます。システム・ダンプの完了はハートビート・タスクによって検出されます。

EYU9NLDR

XDUREQ ダンプ・ドメイン出口が使用できません。MAS 処理は続行されますが、トランザクション・ダンプ通知およびシステム・ダンプ(非正常) 通知は発行されません。

EYU9NLID

XRSINDI 出口が使用できません。MAS 処理は続行されますが、トポロジー変更は CMAS に通知されません。

EYU9NLME

XMEOUT メッセージ・ドメイン出口が使用できません。MAS 処理は続行されますが、トポロジー変更は CMAS に通知されません。

EYU9NMST

XMNOUT モニター・ドメイン出口が使用できません。MAS 処理は続行されますが、タスク終了モニター・データは収集されません。

EYU9NMTE

XSTOUT 統計ドメイン出口が使用できません。MAS 処理は続行されますが、モニター統計データは失われます。

EYU9XLAP

CICSplex SM API は使用できません。MAS 処理は続行されますが、API プログラムは MAS にアクセスできません。

いずれの場合でも、ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: EXEC CICS ENABLE コマンドの *respcode* 値および *eibrcode* 値に関連する指示に従ってください。その後、有効にできなかったプログラムに応じて次のいずれかを実行してください。

EYU9NLDR、EYU9NLID、EYU9NLME、EYU9NMST、
または EYU9XLAP

MAS ビューから STOP アクション・コマンドを発行して、MAS を停止します。その後、CICS から COLM トランザクション (ローカル MAS 用) を発行して MAS を再始動します。これらのトランザクションにより、実行中の CICS システムで CICSplex SM MAS エージェント・コードが再開されます。

EYU9NMTE または EYU9NMT2

CICSSYS ビューを使用して CICSplex SM トランザクション・モニターを停止して再開し、CICS システム定義を更新します。トランザクション・モニターを停止するには、サンプル・レートにゼロを指定します。トランザクション・モニターを再開するには、サンプル・レートをゼロ以外の値に戻します。

モジュール: EYU0NLGT, EYU0NLHD, EYU0NLRA, EYU0NLRT, EYU0NMMC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *progrname*
5. *respcode*
6. *reasoncode*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0123W W *date time applid* **DISABLE**
PROGRAM *progrname* に失敗しました。
RESP=respcode EIBRCODE=reasoncode。

説明: MAS サブコンポーネントが使用するプログラムを無効にできませんでした。

prgmid

無効にできなかったプログラムを次のいずれかとして示します。

- EYU9NLDR
- EYU9NLME
- EYU9NMST
- EYU9NMTE
-

EYU9XLAP

respcode

値は CICS によって返されます。

eibrcode

値は CICS によって返されます。

システムの処置: MAS 処理が継続されます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: EXEC CICS DISABLE コマンドの *respcode* 値および *eibrcode* 値に関連する指示に従ってください。

モジュール:

EYU0NLHD、EYU0NLRA、EYU0NLRT、EYU0NMMC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *progrname*
5. *respcode*
6. *reasoncode*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0125W W *date time applid* **LOAD**
PROGRAM *progrname* に失敗しました。
RESP=respcode EIBRCODE=reasoncode。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *progrname*
5. *respcode*
6. *reasoncode*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0130W W *date time applid addspace* ハートビートを終了しました。再試行限度に達しました。

説明: MAS ハートビート・タスクが異常終了しました

た。これは、CICSplex SM アドレス・スペース (CMAS) に対して定期的な間隔で通知イベントを発行するタスクです。異常条件の発生回数が CICSplex SM で許容される最大回数に達したため、ハートビート・タスクを再開できません。

addspace

MAS がローカル MAS (LMAS) であることを示します。

システムの処置: 示されている MAS のハートビート・タスクは再開されません。MAS 処理は続行され、CICS システムは影響を受けません。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。ハートビート・タスクが異常終了した場合は、トランザクション・ダンプが CICS ダンプ・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードとトランザクション・ダンプ (使用可能な場合) を収集し、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0NLRT、EYU1NLRT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *addspace*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0131W W *date time applid addspace* ハートビートを終了しました。再始動しています。

説明: MAS ハートビート・タスクが異常終了し、現在再開中です。これは、CICSplex SM アドレス・スペース (CMAS) に対して定期的な間隔で通知イベントを発行するタスクです。

addspace

MAS がローカル MAS (LMAS) であることを示します。

システムの処置: 示されている MAS のハートビート・タスクが自動的に再開されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0NLRT、EYU1NLRT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *addspace*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0140W W *date time applid restype* モニターを終了しました。再試行限度に達しました。

説明: 示されているリソースのモニターが異常終了しました。異常条件の発生回数が CICSplex SM で許容される最大回数に達したため、このモニターを再開できません。

restype

モニターが終了したリソースのタイプを次のいずれかとして示します。

HTASK

完了したタスク

MCICS

CICS システム

MCONN

接続およびモードネーム

MDBX

DB2 リソースおよび DBCTL リソース

MFILE

ファイル

MGLBL

グローバル・リソース

MJRNL

ジャーナル

MPROG

Programs (プログラム)

MTDQS

一時データ・キュー

MTERM

端末

MTRAN

トランザクション

システムの処置: 示されているリソースのモニター・タスクは再開されません。その他のモニター・タスクなどの MAS 処理は続行されます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。モニター・タスクが異常終了した場合は、トランザクション・ダンプが CICS ダンプ・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: MONDEF ビューを使用して、示されているリソースのモニター定義を再インストールしてください。この状況が解決しない場合は、トレース・レコードとトランザクション・ダンプ (使用可能な場合) を収集し、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0NLRT、EYU1NLRT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *restype*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0141W W *date time applid restype* モニターを終了しました。再始動しています。

説明: 示されているリソースのモニターが異常終了し、現在再開中です。

restype

モニターが終了したリソースのタイプを次のいずれかとして示します。

HTASK

完了したタスク

MCICS

CICS システム

MCONN

接続およびモードネーム

MDBX

DB2 リソースおよび DBCTL リソース

MFILE

ファイル

MGLBL

グローバル・リソース

MJRNL

ジャーナル

MPROG

Programs (プログラム)

MTDQS

一時データ・キュー

MTERM

端末

MTRAN

トランザクション

システムの処置: 示されているリソースのモニター・タスクが自動的に再開されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0NLRT、EYU1NLRT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *restype*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0142W W *date time applid type* モニターを終了しました。*product* リリース *level* はサポートされていません。

説明: DB2 リソースのモニターが要求されましたが、示されている DB2 リリースでは実行できません。

システムの処置: DB2 (MDBX) のモニター・タスクは終了します。その他のリソースのモニターなどの MAS 処理は続行されます。

ユーザーの処置: CICSplex SM でサポートされている DB2 リリースの一覧については、インストール要件を確認してください。サポートされている DB2 リリースが使用可能になり、そのリソースをモニターする場合には、DB2 リソース・クラスのモニターを再開する必要があります。

モジュール: EYU0NM2T

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *type*
5. *product*
6. *level*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0143W W *date time applid MTRAN* モニター・データが不完全です - CICS モニター・データがありません。| 切り捨てられました。|

説明: CICSplex SM が出口点 XMNOUT で CICS モニター・データを処理できなかったため、一部またはすべての MTRAN モニター・データが使用できません。

reason

CICS モニター・データを処理できなかった理由を示します。

ありません

ディクショナリー・データの作業域が小さすぎました。すべてのパフォーマンス・データは破棄されます。

切り捨てられました

パフォーマンス・データを CICSplex SM モニター・コンポーネントに渡すために使用されるバッファが小さすぎました。パフォーマンス・レコードは切り捨てられます。

システムの処置: MTRAN リソースの CICSplex SM モニターは続行されますが、CICS モニター・ドメインから提供される一部またはすべてのパフォーマンス・データが欠落します。CICS 統計ドメインから提供されるデータは、モニター・サンプル間隔で収集され報告されます。

ユーザーの処置: AUXTRACE レコードと MAS および CMAS のジョブ・ログを収集し、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0NMMC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=ありません。
2=切り捨てられました。

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0144W W *date time applid* **MAS** 通知は失われました-空きのメッセージ・バケットがありません。

説明: CICS は、グローバル・ユーザー出口モジュール (GLUE) を介して、重要なシステム・イベントを CICSplex SM に通知します。これらの GLUE は、事前に割り振られているデータ・バケットに通知データを取り込みます。通知データは CICSplex SM 管理ルーチンに転送されて、ランタイム環境に統合されます。CPSM が通知データを受信して処理すると、保留中のデータ・バケットがバケットのフリー・チェーンに解放され、後続の通知で再利用されます。

データ・バケットの数は固定されており (デフォルトでは 1024)、MAS の MSGBUCKETS EYUPARM 値によって制御されます。通知アクティビティーが集中する期間 (多数の CICS リソースが同時にインストールまたは破棄される場合など) では、通知データの引き渡しに使用できる空きバケットがないことがあります。この場合、CPSM はシステム・イベントを処理できません。このメッセージは、MAS の開始後に 1 度だけ発行されます。

システムの処置: このメッセージは、MAS の実行中に初めて MSGBUCKETS の不足が発生したときに発行されます。このメッセージが発行されると、「XDATLOST」というデバッグ・テキストとともに例外トレースが書き込まれます。その後、CPSM がシステム・イベントを処理することなく、処理が続行されます。

MAS の同一の実行中に問題が再び発生した場合、このメッセージは再発行されませんが、引き続き「XDATLOST」例外トレース・エントリーが書き込まれます。前回と同様に、使用可能なメッセージ・バケットがないため、CPSM は関連システム・イベントを処理できません。

SNA 接続または IP 接続のインストールが原因で MSGBUCKETS の不足が発生した場合は、すべての SNA 接続または IP 接続に関する情報が MAS によって取得されてその CMAS に提供されるため、イベントは失われない点に注意してください。

ユーザーの処置: このメッセージは、ローカル MAS からの通知データのピーク時に時折発行されることがあります。このようなアクティビティーとして考えられるのは、CICS CSD データ・セットから複数の CEDA 定義リソースが同時にインストールされている、または多数のユーザー・トランザクションが同時に異常終了している、などです。したがって、補助トレースに「XDATLOST」CPSM 例外トレースの多数のオカレンスが含まれる場合は、MAS MSGBUCKETS EYUPARM 値の再調整 (値を2 倍に設定するなど) が必要になることがあります。

モジュール: EYU0NLXD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0148W W *date time applid* 警告 - *addspace*
終了中にアクティブ **MAS** タスクが強制的にページされました。

説明: MAS、WUI、または SMSS 領域内の CPSM エージェントの終了または再始動中に、1 つ以上の MAS タスクを正常に終了できませんでした。代わりに、CICS システムからタスクが強制的にページされました。

addspace

領域が CPSM ローカル MAS (LMAS) であるか、シングル・サーバー領域 (SMSS) であるかを示します。

システムの処置: MAS エージェントの終了処理は続行され、メッセージ EYUXZ0910I で示されるシステム・ダンプも取られます。ページされるタスクの数にかかわらず、システム・ダンプは 1 つだけ取られます。ページされたタスクごとに、一連のタスク異常終了メッセージ (EYUXL09nn) がコンソールに書き出されます。このメッセージとともに、メッセージ EYUNL0149I が発行されます。すべてのアクティブ・タスクが強制的にページされると、MAS はタスクが完全に終了するまで最大 1 分間待機します。その後、MAS の終了が続行されてストレージ域が解放されます。引き続きアクティブなタスクの後処理は予測不能です。

ユーザーの処置: この状況が解決しない場合は、システム・ダンプ、トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0NLRT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *addspace*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0149I I *date time applid* アクティブ **MAS** タスクが *addspace* 終了のために **LRT** によって終了されています。

説明: MAS の終了に伴い、すべてのアクティブ MAS タスクが終了しています。

addspace

MAS がローカル MAS (LMAS) であることを示します。

システムの処置: すべてのアクティブ MAS タスクについて終了 ECB がポストされます。MAS はタスクが

終了するまで 1 分間待機してから、その終了プロセスを続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0NLRT、EYU1NLRT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *addspace*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0150W W *date time applid* リソース
{UNKNOWN | AUTINSTMODEL | CONNECTION | DB2 CONNECTION | DB2 ENTRY | DB2 TRANSACTION | DOCUMENT TEMPLATE | DATA SET NAMES | ENQUEUE MODEL | GLOBAL EXITS | TASK EXITS | FEPI CONNECTIONS | FEPI NODE | FEPI POOL | FEPI TARGET | FILE | JOURNAL | JOURNALNAMES | MODENAME | PARTNER | PROCESS TYPE | PROFILE | PROGRAM | REQUEST MODEL | SYSTEM DUMP CODES | TCP/IP SERVICE | TDQUEUE | TERMINAL | TRANSACTION | TRANSACTION DUMP CODES | TRANCLASS | TEMP STORAGE MODEL | IP CONNECTION | LIBRARY | WEB SERVICE | URIMAP | PIPELINE | ATOMSERVICE | BUNDLE | EVENT BINDING | JVM SERVER | CAPTURE SPEC | XML TRANSFORM | EP ADAPTER | CAPTURE SPEC OPT PRED | CAPTURE SPEC DATA PRED | CAPTURE SPEC INFO SRC | OSGI BUNDLE | OSGI SERVICE | EP ADAPTER SET | MQMONITOR} の **Get** トポロジーに失敗しました。
COMMAND=cmdname RESP=respcode RESP2=reasoncode

説明: EXEC CICS コマンドの実行中に、示されているリソースのトポロジー・データ収集が失敗しました。

restype

データ収集が失敗したリソースのタイプを次のいずれかとして示します。

•

•	ATOMSERVICE	•	FILE
•	AUTINSTMODEL	•	GLOBAL EXITS
•	BUNDLE	•	IP CONNECTION
•	CAPTURE SPEC	•	JOURNAL
•	CAPTURE SPEC OPT PRED	•	JOURNALNAMES
•	CAPTURE SPEC DATA PRED	•	JVM SERVER
•	CAPTURE SPEC INFO PRED	•	LIBRARY
•	CFDT POOL	•	MODENAME
•	CONNECTION	•	MQMONITOR
•	DATA SET NAMES	•	PARTNER
•	DB2 CONNECTION	•	PIPELINE
•	DB2 ENTRY	•	PROCESS TYPE
•	DB2 TRANSACTION	•	PROFILE
•	ENQUEUE MODEL	•	PROGRAM
•	EVENT BINDING	•	REQUEST MODEL
•	EVENT PROCESSING ADAPTER	•	SYSTEM DUMP CODES
•	EVENT PROCESSING ADAPTER SET	•	TASK EXITS
•	FEPI CONNECTIONS	•	TCP/IP SERVICE
•	FEPI NODE	•	TDQUEUE
•	FEPI POOL	•	TEMP STORAGE MODEL
•	FEPI TARGET	•	TERMINAL
•		•	

TRANCLASS

- TRANSACTION DUMP CODES
- TRANSACTION
- URIMAP
- WEB SERVICE
- XML TRANSFORM

cmdname

発行されていた EXEC CICS コマンドを START または NEXT のいずれかで示します。

respcode

値は CICS によって返されます。

resp2code

値は CICS によって返されます。

システムの処置: 次のリソースのトポロジー・データ収集に進みます。

ユーザーの処置: 示されている EXEC CICS コマンドの *respcode* 値および *resp2code* 値に関連する指示に従ってください。示されているリソースのトポロジー・データ収集を再開するには、まず MAS ビューから STOP アクション・コマンドを発行して、MAS を停止します。その後、CICS から COLM トランザクション (ローカル MAS 用) または CORM トランザクションを発行して MAS を再始動します。これらのトランザクションにより、実行中の CICS システムで CICSplex SM MAS エージェント・コードが再開されます。

モジュール: EYU0NLGT、EYU1NLGT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

0=UNKNOWN,
 1=AUTINSTMODEL,
 2=CONNECTION,
 3=DB2 CONNECTION,
 4=DB2 ENTRY,
 5=DB2 TRANSACTION,
 6=DOCUMENT TEMPLATE,

7=DATA SET NAMES,
 8=ENQUEUE MODEL,
 9=GLOBAL EXITS,
 10=TASK EXITS,
 11=FEPI CONNECTIONS,
 12=FEPI NODE,
 13=FEPI POOL,
 14=FEPI TARGET,
 15=FILE,
 16=JOURNAL,
 17=JOURNALNAMES,
 18=MODENAME,
 19=PARTNER,
 20=PROCESS TYPE,
 21=PROFILE,
 22=PROGRAM,
 23=REQUEST MODEL,
 24=SYSTEM DUMP CODES,
 25=TCP/IP SERVICE,
 26=TDQUEUE,
 27=TERMINAL,
 28=TRANSACTION,
 29=TRANSACTION DUMP CODES,
 30=TRANCLASS,
 31=TEMP STORAGE MODEL,
 32=IP CONNECTION,
 33=LIBRARY,
 34=WEB SERVICE,
 35=URIMAP,
 36=PIPELINE,
 37=ATOMSERVICE,
 38=BUNDLE,
 39=EVENT BINDING,
 40=JVM SERVER,
 41=CAPTURE SPEC,
 42=XML TRANSFORM,
 43=EP ADAPTER,
 44=CAPTURE SPEC OPT PRED,
 45=CAPTURE SPEC DATA PRED,
 46=CAPTURE SPEC INFO SRC,
 47=OSGI BUNDLE,
 48=OSGI SERVICE,
 49=EP ADAPTER SET,
 50=MQMONITOR

5. *cmdname*
6. *respcode*
7. *reasoncode*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0151I I *date time applid* リソース
 {UNKNOWN | AUTINSTMODEL |
 CONNECTION | DB2 CONNECTION |
 DB2 ENTRY | DB2 TRANSACTION |
 DOCUMENT TEMPLATE | DATA SET
 NAMES | ENQUEUE MODEL |
 GLOBAL EXITS | TASK EXITS | FEPI
 CONNECTIONS | FEPI NODE | FEPI
 POOL | FEPI TARGET | FILE |
 JOURNAL | JOURNALNAMES |
 MODENAME | PARTNER | PROCESS
 TYPE | PROFILE | PROGRAM |
 REQUEST MODEL | SYSTEM DUMP
 CODES | TCP/IP SERVICE |
 TDQUEUE | TERMINAL |
 TRANSACTION | TRANSACTION
 DUMP CODES | TRANCLASS | TEMP
 STORAGE MODEL | IP CONNECTION
 | LIBRARY | WEB SERVICE |
 URIMAP | PIPELINE | ATOMSERVICE
 | BUNDLE | EVENT BINDING | JVM
 SERVER | CAPTURE SPEC | XML
 TRANSFORM | EP ADAPTER |
 CAPTURE SPEC OPT PRED |
 CAPTURE SPEC DATA PRED |
 CAPTURE SPEC INFO SRC | OSGI
 BUNDLE | OSGI SERVICE | EP
 ADAPTER SET | DB2 PACKAGESET |
 MQ MONITOR} の **GET** トポロジーに
 データ・レコードがありません。

説明: 示されているリソースのトポロジー・データ収集
 でデータが返されませんでした。使用可能なデータがな
 いか、データ収集プロセス中に問題が発生しました。

restype

データが返されなかったリソースのタイプを次
 のいずれかとして示します。

-
- ATOMSERVICE
-
- AUTINSTMODEL
-
- BUNDLE
-
- CAPTURE SPEC
-
- CAPTURE SPEC OPT PRED
-

- CAPTURE SPEC DATA PRED
-
- CAPTURE SPEC INFO PRED
-
- CFDT POOL
-
- CONNECTION
-
- DATA SET NAMES
-
- DB2 CONNECTION
-
- DB2 ENTRY
-
- DB2 PACKAGESET
-
- DB2 TRANSACTION
-
- ENQUEUE MODEL
-
- EVENT BINDING
-
- EVENT PROCESSING ADAPTER
-
- EVENT PROCESSING ADAPTER SET
-
- FEPI CONNECTIONS
-
- FEPI NODE
-
- FEPI POOL
-
- FEPI TARGET
-
- FILE
-
- GLOBAL EXITS
-
- IP CONNECTION
-
- JOURNAL
-

JOURNALNAMES	WEB SERVICE
•	•
JVM SERVER	XML TRANSFORM
•	システムの処置: 次のリソースのトポロジー・データ収集に進みます。
LIBRARY	ユーザーの処置: 示されているリソースでトポロジー・データが予期されていなかった場合は、処置は必要ありません。
•	トポロジー・データが予期されていた場合は、データ収集時に問題が発生した可能性があります。この場合は、このメッセージの前に、
MODENAME	EYUNL0150W、EYUNL0152W、または EYUNL0153W のいずれかのメッセージが発行されます。問題の原因の詳細については、該当するメッセージを参照してください。
•	モジュール: EYU0NLGT、EYU1NLGT
MQMONITOR	XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:
•	1. <i>date</i>
PARTNER	2. <i>time</i>
•	3. <i>applid</i>
PIPELINE	4. 以下のオプションから選択される値:
•	0=UNKNOWN,
PROCESS TYPE	1=AUTINSTMODEL,
•	2=CONNECTION,
PROFILE	3=DB2 CONNECTION,
•	4=DB2 ENTRY,
PROGRAM	5=DB2 TRANSACTION,
•	6=DOCUMENT TEMPLATE,
REQUEST MODEL	7=DATA SET NAMES,
•	8=ENQUEUE MODEL,
SYSTEM DUMP CODES	9=GLOBAL EXITS,
•	10=TASK EXITS,
TASK EXITS	11=FEPI CONNECTIONS,
•	12=FEPI NODE,
TCP/IP SERVICE	13=FEPI POOL,
•	14=FEPI TARGET,
TDQUEUE	15=FILE,
•	16=JOURNAL,
TEMP STORAGE MODEL	17=JOURNALNAMES,
•	18=MODENAME,
TERMINAL	19=PARTNER,
•	20=PROCESS TYPE,
TRANCLASS	21=PROFILE,
•	22=PROGRAM,
TRANSACTION DUMP CODES	23=REQUEST MODEL,
•	24=SYSTEM DUMP CODES,
TRANSACTION	25=TCP/IP SERVICE,
•	26=TDQUEUE,
URIMAP	27=TERMINAL,
•	28=TRANSACTION,

EYUNL0152W W

29=TRANSACTION DUMP CODES,
30=TRANCLASS,
31=TEMP STORAGE MODEL,
32=IP CONNECTION,
33=LIBRARY,
34=WEB SERVICE,
35=URIMAP,
36=PIPELINE,
37=ATOMSERVICE,
38=BUNDLE,
39=EVENT BINDING,
40=JVM SERVER,
41=CAPTURE SPEC,
42=XML TRANSFORM,
43=EP ADAPTER,
44=CAPTURE SPEC OPT PRED,
45=CAPTURE SPEC DATA PRED,
46=CAPTURE SPEC INFO SRC,
47=OSGI BUNDLE,
48=OSGI SERVICE,
49=EP ADAPTER SET,
50=DB2 PACKAGESET,
51=MQ MONITOR

宛先: COLG

EYUNL0152W W *date time applid* 専用リソース
{UNKNOWN | PROGRAM | LIBRARY
| DB2 PACKAGESET} の **GET** トポロジ
ーに失敗しました。
COMMAND=cmdname RESP=respcode
RESP2=reasoncode。

説明: EXEC CICS コマンドの実行中に、示されている
専用リソースのトポロジ・データ収集が失敗しまし
た。

restype

データ収集が失敗した専用リソースのタイプを
次のいずれかとして示します。

- DB2 PACKAGESET
- LIBRARY
- PROGRAM

cmdname

発行されていた EXEC CICS コマンドを
START または NEXT のいずれかで示しま
す。

respcode

値は CICS によって返されます。

resp2code

値は CICS によって返されます。

システムの処置: 次のリソースのトポロジ・データ収
集に進みます。

ユーザーの処置: 示されている EXEC CICS コマンド
の *respcode* 値および *resp2code* 値に関連する指示に従っ
てください。示されているリソースのトポロジ・デー
タ収集を再開するには、まず MAS ビューから STOP
アクション・コマンドを発行して、MAS を停止しま
す。その後、CICS から COLM トランザクション (ロ
ーカル MAS 用) または CORM トランザクションを発
行して MAS を再始動します。これらのトランザクシ
ョンにより、実行中の CICS システムで CICSplex SM
MAS エージェント・コードが再開されます。

モジュール: EYU0NLGT、EYU1NLGT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

0=UNKNOWN,
1=PROGRAM,
2=LIBRARY,
3=DB2 PACKAGESET

5. *cmdname*
6. *respcode*
7. *reasoncode*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0153W W *date time applid* リソース
 {UNKNOWN | AUTINSTMODEL |
 CONNECTION | DB2 CONNECTION |
 DB2 ENTRY | DB2 TRANSACTION |
 DATA SET NAMES | GLOBAL EXITS
 | TASK EXITS | FEPI CONNECTIONS
 | FEPI NODE | FEPI POOL | FEPI
 TARGET | FILE | JOURNAL |
 JOURNALNAMES | MODENAME |
 PARTNER | PROFILE | PROGRAM |
 SYSTEM DUMP CODES | TDQUEUE
 | TERMINAL | TRANSACTION |
 TRANSACTION DUMP CODES |
 TRANCLASS | IP CONNECTION |
 LIBRARY | WEB SERVICE | URIMAP
 | PIPELINE | ATOMSERVICE |
 BUNDLE | EVENT BINDING | JVM
 SERVER | CAPTURE SPEC | XML
 TRANSFORM | EP ADAPTER |
 CAPTURE SPEC OPT PRED |
 CAPTURE SPEC DATA PRED |
 CAPTURE SPEC INFO SRC | OSGI
 BUNDLE | OSGI SERVICE | EP
 ADAPTER SET | DB2 PACKAGESET |
 MQMONITOR} の **Get** トポロジが不
 完全です。

説明: 示されているリソースのトポロジ・データ収集
 が、完了前に失敗しました。

restype

データ収集が完了しなかったリソースのタイプ
 を次のいずれかとして示します。

-
- ATOMSERVICE
-
- AUTINSTMODEL
-
- BUNDLE
-
- CAPTURE SPEC
-
- CAPTURE SPEC OPT PRED
-
- CAPTURE SPEC DATA PRED
-
- CAPTURE SPEC INFO PRED
-

- CFDT POOL
-
- CONNECTION
-
- DATA SET NAMES
-
- DB2 CONNECTION
-
- DB2 ENTRY
-
- DB2 PACKAGESET
-
- DB2 TRANSACTION
-
- ENQUEUE MODEL
-
- EVENT BINDING
-
- EVENT PROCESSING ADAPTER
-
- EVENT PROCESSING ADAPTER SET
-
- FEPI CONNECTIONS
-
- FEPI NODE
-
- FEPI POOL
-
- FEPI TARGET
-
- FILE
-
- GLOBAL EXITS
-
- IP CONNECTION
-
- JOURNAL
-
- JOURNALNAMES
-
- JVM SERVER
-

EYUNL0153W W

- LIBRARY
-
- MODENAME
-
- MQMONITOR
-
- PARTNER
-
- PIPELINE
-
- PROCESS TYPE
-
- PROFILE
-
- PROGRAM
-
- REQUEST MODEL
-
- SYSTEM DUMP CODES
-
- TASK EXITS
-
- TCP/IP SERVICE
-
- TDQUEUE
-
- TEMP STORAGE MODEL
-
- TERMINAL
-
- TRANCLASS
-
- TRANSACTION DUMP CODES
-
- TRANSACTION
-
- URIMAP
-
- WEB SERVICE
-
- XML TRANSFORM

システムの処置: 次のリソースのトポロジー・データ取

集に進みます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: このメッセージの前に次の 3 つのメッセージのいずれかが発行されていないか確認します。

EYUNL0150W

EXEC CICS コマンドで問題が発生しました。

EYUNL0152W

専用リソースに対する EXEC CICS コマンドで問題が発生しました。

EYUTS0021E

MAS トポロジーの要求がタイムアウトになりました。

問題の原因の詳細については、該当するメッセージを参照してください。この状況が解決しない場合は、トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0NLGT、EYU1NLGT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

0=UNKNOWN,
1=AUTINSTMODEL,
2=CONNECTION,
3=DB2 CONNECTION,
4=DB2 ENTRY,
5=DB2 TRANSACTION,
6=DATA SET NAMES,
7=GLOBAL EXITS,
8=TASK EXITS,
9=FEPI CONNECTIONS,
10=FEPI NODE,
11=FEPI POOL,
12=FEPI TARGET,
13=FILE,
14=JOURNAL,
15=JOURNALNAMES,
16=MODENAME,
17=PARTNER,
18=PROFILE,
19=PROGRAM,
20=SYSTEM DUMP CODES,
21=TDQUEUE,
22=TERMINAL,
23=TRANSACTION,
24=TRANSACTION DUMP CODES,

25=TRANCLASS,
 26=IP CONNECTION,
 27=LIBRARY,
 28=WEB SERVICE,
 29=URIMAP,
 30=PIPELINE,
 31=ATOMSERVICE,
 32=BUNDLE,
 33=EVENT BINDING,
 34=JVM SERVER,
 35=CAPTURE SPEC,
 36=XML TRANSFORM,
 37=EP ADAPTER,
 38=CAPTURE SPEC OPT PRED,
 39=CAPTURE SPEC DATA PRED,
 40=CAPTURE SPEC INFO SRC,
 41=OSGI BUNDLE,
 42=OSGI SERVICE,
 43=EP ADAPTER SET,
 44=DB2 PACKAGESET,
 45=MQMONITOR

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0159I I *date time applid* リソース・トポロジ
ー・データ検索が完了しました。

説明: MAS によるリソース・トポロジ・データの収集が完了しました。このメッセージは、必ずしもデータ収集プロセスが正常に完了したことを示すものではありません。データ収集中に問題が発生した場合は、このメッセージの前に発行される EYUNLnnnn メッセージまたは EYUTSnnnn メッセージでその問題について説明されます。

システムの処置: MAS トポロジ処理が完了し、MAS は作業を行う準備ができています。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0NLGT、EYU1NLGT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUNL0160I I *date time applid* ワークロード登録が完了しました。

説明: 領域がワークロードに結合されました。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0NLSP

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0161E E *date time applid* リソース・トポロジ
ー・データ検索に失敗しました。

説明: トポロジ接続中に、MAS でのリソース・トポロジ・データ検索時にエラーが発生しました。

システムの処置: トポロジ接続が失敗し、MAS エージェントが終了します。

ユーザーの処置: MAS ジョブ・ログを調べ、問題が発生した理由を示している可能性があるメッセージが以前に発行されていないか確認してください。問題を判別できない場合は、MAS およびその MAS が接続していた CMAS からの完全なジョブ出力と AUXTRACE データ・セット、および MAS または CMAS で発生したダンプを収集し、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0NLGT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0170I I *date time applid* ヒストリー・レコー
ダーを開始しました。

説明: ヒストリー・レコーダー長期実行タスクが正常に初期設定されました。

システムの処置: CICSplex SM 処理が続行されます。タスク・ヒストリー・レコーダー・タスクは、完了した CICS トランザクションの詳細を受け入れる準備ができています。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0NHCT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0171I I *date time applid* ヒストリー・レコーダーを終了しました。

説明: ヒストリー・レコーダー長期実行タスクが終了しました。

システムの処置: CICSplex SM 処理が続行されます。これ以降のタスク・ヒストリー・レコーディングは実行されません。

ユーザーの処置: ヒストリー・レコーディングの終了を予期していない場合は、前のメッセージを調べ、ヒストリー・レコーダーが終了した理由を判別してください。

モジュール: EYU0NHCT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0172E E *date time applid* ヒストリー・レコーダー内で異常終了が発生しました。

説明: ヒストリー・レコーダー長期実行タスクが異常終了を検出しました。

システムの処置: ヒストリー・レコーダー・タスクは終了し、再開を試行します。CICSplex SM 処理が続行されます。

ユーザーの処置: 前のメッセージを調べ、ヒストリー・レコーダーの終了を引き起こした異常終了またはエラーの原因を特定してください。問題の原因を判別できない場合は、MAS の完全なジョブ・ログ、キャプチャーされたダンプ、完全な CMAS ジョブ・ログまたは EYULOG、および CMAS 補助トレース・データ・セットを収集し、IBM サポートにご連絡ください。

モジュール: EYU0NHCT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0173I I *date time applid* ヒストリー・レコーディングがデータ・セット *x* からデータ・セット *y* に切り替えられました。

説明: 長期実行タスク・ヒストリー・レコーダー・タスクが VSAM データ・セット EYUHISTx で完了したタスクを記録しようとしたますが、このデータ・セットが

満杯であることを検出し、データ・セット EYUHISTy の使用を開始するように切り替えました。

システムの処置: タスク・ヒストリー・レコーダーは引き続きデータ・セット EYUHISTy を使用します。満杯のデータ・セット EYUHISTx はオープンのままとなり、そのデータは使用可能ですが、ヒストリー・レコーダーがすべてのデータ・セットを満杯にすると EYUHISTx を再び使用する必要が生じます。この時点で、EYUHISTx はクローズに設定され、空にされた後で再びオープンします。その結果、以前の内容は破棄されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0NHCT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *x*
5. *y*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0174E E *date time applid cmdname* コマンドからデータ・セット *dsname* にエラーが返されました。**RESP=** *respcode* **RESP2=** *reasoncode*。

説明: 長期実行タスク・ヒストリー・レコーダー・タスクが、示されているヒストリー・データ・セットに対して CICS ファイル制御コマンドまたは CICS SPI コマンドを発行し、正常でない応答を受信しました。

システムの処置: ヒストリー・レコーディングは終了します。

ユーザーの処置: CICS コマンドで返された RESP 値および RESP2 の値を調べ、問題を特定してください。問題の原因を判別できない場合は、MAS の完全なジョブ・ログ、キャプチャーされたダンプ、完全な CMAS ジョブ・ログまたは EYULOG、および CMAS 補助トレース・データ・セットを収集し、IBM サポートにご連絡ください。

モジュール: EYU0NHCT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cmdname*
5. *dsname*

6. *respcode*
7. *reasoncode*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0175W W *date time applid* ヒストリー・レコーダーの同時反復。

説明: 初期設定中に、長期実行タスク・ヒストリー・レコーダー・タスクにより、ヒストリー・レコーダー・タスクのアクティブなインスタンスが既に存在していることが検出されました。

システムの処置: ヒストリー・レコーダー・タスクのこのインスタンスを終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0NHCT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0176W W *date time applid* 使用可能なヒストリー・データ・セットがありません。

説明: 初期設定中に、長期実行タスク・ヒストリー・レコーダー・タスクにより、このタスクによる記録で使用可能なヒストリー・データ・セットがないという問題が検出されました。

システムの処置: ヒストリー・レコーダー・タスクは開始しません。

ユーザーの処置: ローカル CICS 領域でヒストリー・レコーディングが不要であることが確実な場合は、このメッセージは単に、ヒストリー・レコーダー・プロセスを開始できないことを確認するためのメッセージです。現行 CICS 領域の実行中にどこかの時点でタスク・ヒストリー・レコーディングが必要となることが予想される場合は、DD カードを使用してヒストリー・データ・セットがローカル MAS 領域に割り振られていることを確認する必要があります。正しく割り振られている場合は、前のメッセージを調べて問題を判別してください。問題の原因を判別できない場合は、MAS の完全なジョブ・ログ、キャプチャーされたダンプ、完全な CMAS ジョブ・ログまたは EYULOG、および CMAS 補助トレース・データ・セットを収集し、IBM サポートにご連絡ください。

モジュール: EYU0NHCT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0177W W *date time applid* ヒストリー・データ・バッファが小さすぎます。データ・バッファは *size* に設定されています。

説明: ヒストリー・レコーダー・タスクの初期設定中に、ヒストリー・データ・セットの CICS 定義が自動的に作成されます。このプロセス中に、プログラムにより、当該データ・セットに対する EXEC CICS CREATE の DATABUFFS パラメーターのデフォルト設定が、無効な値で上書きされたと判別されました。このため、DATABUFFS 値が、このメッセージに示されている値にリセットされました。

システムの処置: 示されている値を使用して、ヒストリー・データ・セットの CICS ファイル作成が続行されず。

ユーザーの処置: HISTDBUFFS EYUPARM を、受け入れ可能な数値 (HISTIBUFFS の指定値よりも 1 以上大きい値) に再調整してください。

モジュール: EYU0NHFM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *size*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0178E E *date time applid* ヒストリー・レコーダーがデータ・セット *dsname* を初期化できません。

説明: MAS ヒストリー・ファイル・マネージャーにより、示されているヒストリー・データ・セットをその制御情報で初期化できなかったという問題が検出されました。

システムの処置: 示されているヒストリー・データ・セットは使用不可能としてマークされます。ヒストリー・レコーダー・タスクは終了します。

ユーザーの処置: 前のメッセージを調べ、問題を判別してください。問題の原因を判別できない場合は、MAS の完全なジョブ・ログ、キャプチャーされたダンプ、完全な CMAS ジョブ・ログまたは EYULOG、および CMAS 補助トレース・データ・セットを収集し、IBM サポートにご連絡ください。

EYUNL0179I I • EYUNL0183W W

モジュール: EYU0NHFM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dsname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0179I I *date time applid* ヒストリー・レコーダー・データ・セット *dsname* で *nnnn* レコードが生成されました。

説明: ヒストリー・レコーダー長期実行タスクが示されているヒストリー・データ・セットに書き込んだレコードの数を示す通知メッセージです。このメッセージの表示頻度は、HISTRECSMSG EYUPARM によって制御されます。

システムの処置: タスク・ヒストリー・レコーディングが続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0NHCT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dsname*
5. *nnnn*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0181E E *date time applid* ヒストリー・データ・セット数が無効です。

説明: ヒストリー・ファイル・マネージャーが、無効な数のヒストリー・データ・セット (EYUHISTx) を検出しました。少なくとも 2 つのヒストリー・データ・セット (EYUHISTA および EYUHISTB) が MAS に割り振られている必要があります。

システムの処置: ヒストリー・レコーディングはアクティブ化されません。

ユーザーの処置: 少なくとも 2 つのヒストリー・データ・セットが割り振られており、MAS JCL でそのデータ・セットに DD ステートメント

(EYUHISTA、EYUHISTB など、順次) が提供されていることを確認してください。

モジュール: EYU0NHFM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0182W W *date time applid* 使用可能なヒストリー・バケットがありません。*nnn* レコードが除去されました。

説明: 完了タスク・ヒストリー・データが、サービス・キューを介してヒストリー・レコーダーに渡されます。サービス・キューは、CPSM モニター・データ・グローバル・ユーザー出口ルーチンによりロードされます。この出口プログラムは、完了タスクの詳細をヒストリー長期実行タスクに転送するため、事前に割り振られているデータ・スロット (「バケット」) にタスク・データを格納します。現行の完了タスク詳細に使用する空きバケットを獲得しようとしたときに、使用できるバケットがないと GLUE が判別しました。

システムの処置: GLUE が現行の完了タスク・データを除去し、除去レコードの数が増加します。ヒストリー・レコーダーは、その未処理のデータ・キューのファイリングを完了すると、この除去レコード数を報告し、カウンターをゼロにリセットします。

ユーザーの処置: このメッセージは、ローカル MAS でのトランザクション処理のピーク時に時折発行されることがあります。したがって、このような処理のピークに対応するために、ヒストリー・レコーダーの制御パラメーターの設定を再調整する必要があります。これは、適格な CICS サービス担当員によるアドバイスと指導の下でのみ実行してください。IBM サポートに連絡して、アドバイスを受けてください。

モジュール: EYU0NHCT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nnn*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0183W W *date time applid* 使用可能なヒストリー出口作業域がありません。*nnn* レコードが除去されました。

説明: 完了タスク・ヒストリー・データが、サービス・キューを介してヒストリー・レコーダーに渡されます。サービス・キューは、CPSM モニター・データ・グローバル・ユーザー出口ルーチンによりロードされます。この出口プログラムは、完了タスクの詳細をヒストリー長

期実行タスクに転送するため、事前に割り振られているデータ・スロット (「バケット」) にタスク・データを格納します。これらのバケットは、CMAS が制御する非同期プロセスによって割り振られる、MAS データ・スペース内の連続出口作業域に存在します。空きバケットを (現行の完了タスク詳細に使用するため) 獲得しようとしたときに、制御プロセスがこの出口作業域の割り振りをまだ完了していないため、現在使用可能なバケットがないと GLUE が判別しました。

システムの処置: GLUE が現行の完了タスク・データを除去し、除去レコードの数が増加します。ヒストリー・レコーダーは、その未処理のデータ・キューのファイリングを完了すると、この除去レコード数を報告し、カウンタをゼロにリセットします。

ユーザーの処置: 使用中の MAS では、ヒストリー・レコーダー環境の初期設定が完了する前に GLUE がタスク・データを収集することから、この状態が報告されることがあります。MAS 内での通常のトランザクション処理中にこの状況が報告される場合は、より深刻な問題が発生しています。したがって、MAS の完全なジョブ・ログ、キャプチャーされたダンプ、完全な CMAS ジョブ・ログまたは EYULOG、および CMAS 補助トレース・データ・セットを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0NHCT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nnn*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0184E E *date time applid* ヒストリー・ファイル *filename* の属性が無効です。

説明: MAS ヒストリー・ファイル・マネージャーが、示されているヒストリー・ファイルの無効な属性を検出しました。このメッセージの後に、無効な属性の詳細を示すメッセージ EYUNL0185E が発行されます。

システムの処置: ヒストリー・レコーダー長期実行タスクが終了します。

ユーザーの処置: この後に続く EYUNL0185E メッセージを使用して、無効なファイル属性を判別してください。

モジュール: EYU0NHFM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *filename*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0185E E *date time applid* キーワード: *keyword*
必要な値: *value1* 返された値: *value2*。

説明: このメッセージはメッセージ EYUNL0184E とともに出力され、ヒストリー・ファイルの無効な属性の詳細情報を示します。必要な値と検出された値が CICS CVDA 値の形式で返されます。

システムの処置: CICSplex SM 処理が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの情報を使用して、ヒストリー・ファイルの属性を訂正してください。

モジュール: EYU0NHFM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *keyword*
5. *value1*
6. *value2*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0186I I *Ddate time applid* ヒストリー・レコーダーがデータ・セット *dsname* でデータ収集を開始しました。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dsname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0187W W *date time applid* ヒストリー・レコーディングが *action* でした。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

EYUNL0901I I • EYUNL0904E E

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *action*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0901I I *date time applid addspace* **LRT**
NORMAL 終了を開始しました。

説明: 関連する CICS システムが終了中のため、MAS の長時間実行タスク (LRT) を終了しています。

addspace

MAS がローカル MAS (LMAS) であることを示します。

システムの処置: MAS の終了が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0NLRT、EYU1NLRT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *addspace*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0902I I *date time applid addspace* **LRT**
CMAS 要求の終了を開始しました。

説明: MAS を制御する CMAS からの要求の結果として、MAS の長期実行タスク (LRT) を終了しています。

addspace

MAS がローカル MAS (LMAS) であることを示します。

システムの処置: MAS の終了が続行されます。CICS システムは、正常に実行を続けますが、CICSplex SM に認識されなくなります。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0NLRT、EYU1NLRT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *addspace*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0903E E *date time applid addspace* **LRT** 異常終了を開始しました。

説明: MAS の長期実行タスク (LRT) でエラーまたは異常終了が発生したため、この LRT を終了しています。

addspace

MAS がローカル MAS (LMAS) であることを示します。

システムの処置: MAS の終了が試行されます。

ユーザーの処置: 前のメッセージを調べ、LRT の終了を引き起こした異常終了またはエラーの原因を特定してください。問題の原因を判別できない場合は、MAS の完全なジョブ・ログ、キャプチャーされたダンプ、完全な CMAS ジョブ・ログまたは EYULOG、および CMAS 補助トレース・データ・セットを収集し、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0NLRT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *addspace*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0904E E *date time applid* **LRT** 異常終了に失敗しました。

説明: MAS の長期実行タスク (LRT) の異常終了を試行しましたが、失敗しました。

システムの処置: MAS エージェント LRT は完了しますが、一部の MAS エージェント・コンポーネントはアクティブなままとなる可能性があります。この CICS 実行で MAS エージェントを再始動することはできません。

ユーザーの処置: このメッセージの前に発行されるメッセージのユーザー応答を参照してください。MAS エージェントを再接続する前に、CICS 領域を再始動する必要があります。

モジュール: EYU0NLRT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0905E E *date time applid* リカバリー不能エラーが発生しました。**MAS**エージェントを終了しています。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0906E E *date time applid CMAS* が **MAS** エージェントのシャットダウンを開始しました。追加情報については、**CMAS**ジョブ・ログを参照してください。

説明: CICS システム内の **MAS** エージェントを初期設定しようとしたましたが、要求が失敗しました。

システムの処置: 処理は続行されますが、CICSplex SM は CICS システムを管理できません。

ユーザーの処置: **CMAS** のジョブ・ログを調べ、問題の原因を示している可能性があるメッセージがないか確認してください。ログのメッセージを読んでも問題の原因を判別できない場合は、例外トレース・レコード、**CMAS** ジョブ・ログ、および **MAS** ジョブ・ログを収集し、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0NLSD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0910I I *date time applid* 代替 **LRT** (*n*) が正常に終了しました。

説明: 代替長期実行タスクが正常に終了すると、このメッセージが発行されます。

n

終了中の **CONA** タスクの番号です。

システムの処置: このメッセージの発行後に **MAS** 処理が続行されます。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

モジュール: EYU0NLRA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *n*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0911I I *date time applid* アクティブな代替 **LRT** 数: *n*。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *n*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0912I I *date time applid* 同時にビジーだった代替 **LRT** の最大数: *n*。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *n*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0913I I *date time applid* すべての代替 **LRT** がビジーだった回数: *n*。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

EYUNL0914E E • EYUNX0001I I

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *n*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0914E E *date time applid CICSplex SM* システム・タスクをページできません。

TRANID() TASKID()。(Unable to purge CICSplex SM system task - TRANID() TASKID().)

説明: 指定された CICSplex SM システム・タスクをページできません。

システムの処置: CICSplex SM はその終了を続行します。

ユーザーの処置: 可能であれば、CICS 領域をシャットダウンして再始動してください。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4.

5.

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNL0999I I *date time applid addspace LRT* 終了が完了しました。

説明: MAS の長時間実行タスク (LRT) が終了しました。

addspace

MAS がローカル MAS (LMAS) であることを示します。

システムの処置: MAS サブコンポーネントが CICS システムから削除されます。CICS システムは終了するか、あるいは実行を継続します。これは、このメッセージの前に発行されるメッセージ (EYUNL0901I または EYUNL0902I) によって示されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0NLRT、EYU1NLRT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *addspace*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUNXnnnn メッセージ

EYUNXnnnn メッセージで使用される変数を以下に示します。

eibrcode

CICS によって返される EIBRCODE= 値。

respcode

CICS によって返される RESP= 値。

resp2code

CICS によって返される RESP2= 値。

これらの変数を使用する各メッセージでは、これらの変数を返した CICS コマンドが示されます。

EYUNX0001I I *addspace* 初期設定プログラムが開始中です (*addspace initialization program starting*)

説明: MAS の初期設定プログラムを開始しています。

addspace

MAS がローカル MAS (LMAS) であるか、シングル・サーバー領域 (SMSS) であることを示します。

システムの処置: CICS は MAS または初期設定プログラムに制御を渡し、処理が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9NXSM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0008E E LINK が失敗しました。

PROGRAM *program* (LINK failed:
PROGRAM *program*)

説明: MAS 始動を開始するために PROGRAM *program* の EXEC CICS LINK コマンドが発行されましたが、異常応答が返されました。

システムの処置: ダンプ・コード EYUN のシステム・ダンプがとられ、CICS に制御が戻されます。CICS システムは初期設定を続行しますが、CICSplex SM に認識されていません。

ユーザーの処置: ダンプを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

このメッセージの後に発行されるメッセージ EYUNX0009E のユーザー応答を参照してください。

モジュール: EYU9NXLM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0009E E LINK が失敗しました。

RESP=respcode RESP2=resp2code (LINK
failed: **RESP=respcode RESP2=resp2code**)

説明: MAS 始動を開始するために EXEC CICS LINK コマンドが発行されましたが、異常応答が返されました。*respcode* 値および *resp2code* 値は CICS によって返されます。

システムの処置: ダンプ・コード EYUN のシステム・ダンプがとられ、CICS に制御が戻されます。CICS システムは初期設定を続行しますが、CICSplex SM に認識されていません。

ユーザーの処置: このプログラムのロード・モジュールが、この CICS システム用に配置できることを確認してください。プログラムは、前のメッセージ EYUNX0008E で示されます。このメッセージで示されている EXEC CICS LINK コマンドの **RESP=** 値および **RESP2=** 値に関連する指示に従ってください。問題が繰り返し起こる場合は、ダンプを収集し、IBM サポートに連絡してください。

モジュール: EYU9NXLM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0010E E 領域が *addspace2* であるため、*addspace1* エージェントの開始に失敗しました (*addspace1 agent startup failed because region was an addspace2*)

説明: この CICS 実行で *addspace2* エージェントが以前に実行されていたため、CICS で *addspace1* エージェントを開始する要求が失敗しました。*addspace* エージェント・タイプを変更するには、CICS 領域を再始動する必要があります。

addspace1 と *addspace2* は、ローカル MAS の LMAS またはシングル・サーバーの SMSS を指します。

システムの処置: ダンプ・コード EYUN のシステム・ダンプがとられ、CICS に制御が戻されます。CICS 領域は初期設定を続行しますが、CICSplex SM に認識されず、シングル・サーバー処理は使用できません。

ユーザーの処置: *addspace2* が適切なエージェントである場合は、COLM (LMAS) トランザクションまたは CORM (SMSS) トランザクションを使用してその適切なエージェントを再始動してください。

addspace1 が適切なエージェントである場合は、CICS 領域を再始動し、*addspace1* エージェントが初期設定されることを確認してください。

モジュール: EYU9NXSM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0011W W {PROFILE | PROGRAM |
TRANSACTION | TDQUEUE}
resourcename の定義が置換されました。

説明: MAS の初期設定プログラムは、CICSplex SM リソース リソース名 の無効な定義を置き換えました。前のメッセージ EYUNX0013E に無効な定義オプションの詳細が示されています。

システムの処置: MAS の初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9NXLM

宛先: コンソール

EYUNX0012E E *addspace* の初期化に失敗しました
(*addspace initialization failed*)

説明: PLTPI プログラムで MAS の初期設定が失敗しました。

addspace

MAS がローカル MAS (LMAS) であるか、シングル・サーバー領域 (SMSS) であるかを示します。

システムの処置: CICS に制御が戻されます。CICS システムは初期設定を続行しますが、CICSplex SM に認識されていません。

ユーザーの処置: これより前に発行されたメッセージを参照し、問題の原因に関する詳細情報を確認してください。

モジュール: EYU9NXSM

宛先: コンソール、SYSPRINT、および端末エンド・ユーザー

EYUNX0013E E {PROFILE | PROGRAM | TRANSACTION | TDQUEUE}
resourcename で、オプション: *yyyyyyyyyy*
 に対する値: *xxxxxxx* は無効です。

説明: MAS の初期設定プログラムは、CICSplex SM リソース リソース名 で無効な定義オプションを検出しました。

システムの処置: CICSplex SM は、無効な定義がクリティカルまたは非クリティカルのどちらであるかに基づいて、次のいずれかの処置を実行します。例えば、CODB トランザクションは非クリティカル・トランザクションであるため、MAS エージェントはこのトランザクションなしでも完全に機能することができます。

- クリティカル: CICSplex SM は、この定義をリソースのデフォルト定義に置き換えようとしています。成功した場合は、メッセージ EYUNX0011W を発行します。置き換えが失敗した場合は、メッセージ EYUNX0014E を発行し、MAS 初期設定を終了します。
- 非クリティカル: CICSplex SM は、無効な定義を示すためにメッセージ EYUNX0013E を発行します。CICSplex SM はこれ以上の処理を行わず、MAS エージェントは初期設定処理を続行します。

ユーザーの処置: GRPLIST SIT パラメーターを確認し、無効な定義の原因を判別してください。

このメッセージは、CPSM MAS リリースをアップグレードした (かつ START=AUTO を使用した) 後で、CICS リリースをまだアップグレードしていない場合に、MAS 領域を初めて再始動すると発行されることがあります。このメッセージに続いて、リソースが置換されたことを示す EYUNX0011W が出される場合、このメッセージは無視してかまいません。

モジュール: EYU9NXLM

宛先: コンソール

EYUNX0014E E *resourcename* の {PROFILE | PROGRAM | TRANSACTION | TDQUEUE} 定義が無効です。 (The {PROFILE | PROGRAM | TRANSACTION | TDQUEUE} definition for *resourcename* is invalid.)
MAS 初期設定を終了しています (MAS initialization is terminating)

説明: MAS の初期設定プログラムは、CICSplex SM リソース リソース名 の無効な定義を置き換えられませんでした。前のメッセージ EYUNX0013E に無効な定義オプションの詳細が示されています。

システムの処置: MAS の初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: MAS の始動時に使用するグループ・リスト内の定義を検討します。無効なオプションを変更してから、定義を再インストールし、COLM トランザクションを使用して MAS を再始動してください。デフォルト・オプションはサンプル EYU9MDEF に示されています。

モジュール: EYU9NXLM

宛先: コンソール

EYUNX0015E E *addspace* 初期設定トランザクションが見つかりませんでした (addspace initialization transaction not found)

説明: MAS に対する EXEC CICS START コマンドで使用される初期設定トランザクションが、CICS システムに対して定義されていません。

addspace

MAS がローカル MAS (LMAS) であるか、シングル・サーバー領域 (SMSS) であるかを示します。

システムの処置: MAS の初期設定が終了し、CICS に制御が戻されます。CICS システムは初期設定を続行しますが、CICSplex SM に認識されていません。

ユーザーの処置: MAS 長期実行タスク (LRT) のトランザクションおよびプログラムが、この CICS システムの CSD で定義されていることを確認してください。トランザクションは CONL、プログラムは EYU9XLEV です。

モジュール: EYU9NXSM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0016E E *addspace* 初期設定プログラムが異常終了しました (*addspace initialization program abended*)

説明: MAS の初期設定プログラムが異常終了しました。

addspace

MAS がローカル (LMAS) であるか、シングル・サーバー領域 (SMSS) であることを示します。

システムの処置: ダンプ・コード EYUN のシステム・ダンプがとられ、CICS に制御が戻されます。CICS システムは初期設定を続行しますが、CICSplex SM に認識されていません。

ユーザーの処置: これより前に発行されたメッセージを参照し、問題の原因に関する詳細情報を確認してください。

モジュール: EYU9NXLM, EYU9NXSM, EYU9NXRM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0017E E *addspace* 初期設定プログラム - CICS エラー (*addspace initialization program - CICS error*)

説明: CICS エラーが原因で、MAS の初期設定プログラムが異常終了しました。

システムの処置: CICS HANDLE ABEND ルーチンに制御が戻されます。CICS によって割り当てられたダンプ・コードのシステム・ダンプがとられます。CICS システムは初期設定を続行しますが、CICSplex SM に認識されていません。

ユーザーの処置: ダンプを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU9NXSM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0018E E **ENABLE PROGRAM** *prgmid* に失敗しました。EIBRCODE=*code*

説明: 示されているプログラムを有効にするために EXEC CICS ENABLE コマンドが発行されましたが、異常応答が返されました。

prgmid

有効にできなかったプログラムを示します。

code 値は CICS によって返されます。

システムの処置: ダンプ・コード EYUN のシステム・ダンプがとられ、CICS に制御が戻されます。CICS シ

ステムは初期設定を続行しますが、CICSplex SM に認識されていません。

ユーザーの処置: EXEC CICS ENABLE PROGRAM コマンドの EIBRCODE= 値に関連する指示に従ってください。問題が繰り返し起こる場合は、ダンプを収集し、IBM サポートに連絡してください。

モジュール: EYU9NXSM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0019E E **Extract Exit** *prgmid* に失敗しました。EIBRCODE=*code* (**Extract Exit** *prgmid failed, EIBRCODE=code*)

説明: 示されているプログラムのグローバル作業域アドレスを取得するために EXEC CICS EXTRACT EXIT コマンドが発行されましたが、異常応答が返されました。*prgmid* は、アドレスが要求されたプログラムを示します。EIBRCODE= 値は CICS によって返されます。

システムの処置: ダンプ・コード EYUN のシステム・ダンプがとられ、CICS に制御が戻されます。CICS システムは初期設定を続行しますが、CICSplex SM に認識されていません。

ユーザーの処置: EXEC CICS EXTRACT EXIT コマンドの EIBRCODE= 値に関連する指示に従ってください。問題が繰り返し起こる場合は、ダンプを収集し、IBM サポートに連絡してください。

モジュール: EYU9NXSM, EYU9NXSD

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0020E E **START** が失敗しました。
RESP=*respcode* RESP2=*resp2code* (**START** *failed: RESP=respcode RESP2=resp2code*)

説明: MAS 長期実行タスク (LRT) を開始するために EXEC CICS START コマンドが発行されましたが、異常応答が返されました。*respcode* 値および *resp2code* 値は CICS によって返されます。

システムの処置: ダンプ・コード EYUN のシステム・ダンプがとられ、CICS に制御が戻されます。CICS システムは初期設定を続行しますが、CICSplex SM に認識されていません。

ユーザーの処置: EXEC CICS START コマンドの *respcode* 値および *resp2code* 値に関連する指示に従ってください。問題が繰り返し起こる場合は、ダンプを収集し、IBM サポートに連絡してください。

モジュール: EYU9NXSM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0021E E *addspace* グローバル作業域のサイズが **32K** を上回っています (*addspace global work area size is larger than 32K*)

説明: MAS 用に要求されたグローバル作業域のサイズが大きすぎます。

addspace

MAS がローカル MAS (LMAS) であることを示します。

システムの処置: ダンプ・コード EYUN のシステム・ダンプがとられ、CICS に制御が戻されます。CICS システムは初期設定を続行しますが、CICSplex SM に認識されていません。

ユーザーの処置: ダンプを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU9NXSM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0022E E **INQUIRE** が失敗しました。
RESP=respcode RESP2=resp2code
(INQUIRE failed: RESP=respcode RESP2=resp2code)

説明: CICS リリース・レベルを取得するために EXEC CICS INQUIRE SYSTEM コマンドが発行されましたが、異常応答が返されました。*respcode* 値および *resp2code* 値は CICS によって返されます。

システムの処置: ダンプ・コード EYUN のシステム・ダンプがとられ、CICS に制御が戻されます。CICS システムは初期設定を続行しますが、CICSplex SM に認識されていません。

ユーザーの処置: EXEC CICS INQUIRE SYSTEM コマンドの *respcode* 値および *resp2code* 値に関連する指示に従ってください。問題が繰り返し起こる場合は、ダンプを収集し、IBM サポートに連絡してください。

モジュール: EYU9NXSM, EYU9NXSD

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0023E E **CICS** リリース *cicsrel* がサポートされていません

説明: インストールされている CICS のバージョンが CICSplex SM でサポートされていないため、MAS サブコンポーネントを初期設定できませんでした。*cicsrel* は、検出された CICS のリリースを示します。

システムの処置: MAS の初期設定は終了します。CICS システムは、正常に実行を続けますが、CICSplex SM に認識されていません。

ユーザーの処置: CICSplex SM インストール要件を確認し、サポートされている CICS リリースをインストールしてください。

モジュール: EYU9NXSM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0024E E **ASSIGN** が失敗しました。
RESP=respcode RESP2=resp2code
(ASSIGN failed, RESP=respcode RESP2=resp2code)

説明: CICS SYSID、APPLID、および TERMCODE を取得するために EXEC CICS ASSIGN コマンドが発行されましたが、異常応答が返されました。*respcode* 値および *resp2code* 値は CICS によって返されます。

システムの処置: MAS の初期設定は終了します。

ユーザーの処置: EXEC CICS ASSIGN コマンドの *respcode* 値および *resp2code* 値に関連する指示に従ってください。

モジュール: EYU9NXSM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0026E E **WAIT EXTERNAL** に失敗しました。
RESP=respcode RESP2=resp2code

説明: MAS が ECB を初期設定して POST するまで PLT 処理を遅らせるために、EXEC CICS WAIT EXTERNAL が発行されました。EXEC CICS WAIT EXTERNAL コマンドが失敗しました。*respcode* 値および *resp2code* 値は CICS によって返されます。

システムの処置: MAS PLT 処理が完了し、CICS に制御が戻されます。PLT 処理が続行され、MAS 初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: EXEC CICS ATTACH コマンドの *respcode* 値および *resp2code* 値に関連する指示に従ってください。リソースの定義およびインストールに BAS が使用されている場合は、複数のアプリケーションに必要な場合にリソースが使用できないことがあります。問題が繰り返し起こる場合は、IBM サポートに連絡してください。

モジュール: EYU9NXSM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0027E E **START exit** *cccccccc* に失敗しました。
EIBRCODE=xxxxxxxxxxxxx (START exit cccccccc failed, EIBRCODE=xxxxxxxxxxxxx)

説明: ローカル MAS の初期設定中に、CICSplex SM

関連の CICS 出口の処理を開始しようとしたところ (EXEC CICS ENABLE PROGRAM START)、エラーが発生しました。

cccccccc

出口の名前です。

xxxxxxxxxxxx

CICS 16 進数 EIBRCODE です。

システムの処置: EYUN トランザクション・ダンプがとられ、MAS 初期設定は失敗します。

ユーザーの処置: 出口プログラムが定義されて MAS にインストールされており、MAS によって使用されている DFHRPL ライブラリー内に存在していることを確認してから、MAS を再始動してください。上記の検証後もエラーが続く場合、以下の情報をできる限り収集して IBM サポートにお問い合わせください。

- 完全なジョブ出力
- EYUN トランザクション・ダンプ
- フォーマットされていない AUXTRACE データ・セット

モジュール: EYU9NXSM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0028E E INQUIRE PROGRAM cccccccc に失敗しました。EIBRCODE=xxxxxxxxxxxx (INQUIRE PROGRAM cccccccc failed, EIBRCODE=xxxxxxxxxxxx)

説明: ローカル MAS の初期設定中に、CICSplex SM 関連の CICS 出口のエントリー・ポイント・アドレスを照会しようとしたところ (EXEC CICS INQUIRE PROGRAM)、エラーが発生しました。

cccccccc

出口の名前です。

xxxxxxxxxxxx

CICS 16 進数 EIBRCODE です。

システムの処置: EYUN トランザクション・ダンプがとられ、MAS 初期設定は失敗します。

ユーザーの処置: 出口プログラムが定義されて MAS にインストールされており、MAS によって使用されている DFHRPL ライブラリー内に存在していることを確認してから、MAS を再始動してください。上記の検証後もエラーが続く場合、以下の情報をできる限り収集して IBM サポートにお問い合わせください。

•

完全なジョブ出力

•

EYUN トランザクション・ダンプ

•

フォーマットされていない AUXTRACE データ・セット

モジュール: EYU9NXSM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0030I I addspace が端末 *termid* から正常に開始されました (*addspace successfully initiated from terminal termid*)

説明: MAS は、指定の端末でオペレーターによって正常に開始されました。

addspace

MAS がローカル MAS (LMAS) であるか、シングル・サーバー領域 (SMSS) であるかを示します。

termid MAS を開始した端末を示します。

システムの処置: MAS の初期設定が続行されます。初期設定プロセスに関連した詳細メッセージがジョブ・ログに示されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9NXSM

宛先: コンソール、SYSPRINT、および端末エンド・ユーザー

EYUNX0031I I MAS は既に初期設定済みです (MAS is already initialized)

説明: 既に初期設定済みの MAS を開始しようとしたしました。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9NXSM

宛先: コンソール、SYSPRINT、および端末エンド・ユーザー

EYUNX0032E E プログラム EYU9XLEV の LOAD が失敗しました。RESP2=*resp2code* (LOAD Program EYU9XLEV failed, RESP2=*resp2code*)

説明: CICSplex SM 環境を確立できたかどうかを判別するために、示されているプログラムに対して EXEC CICS LOAD コマンドが発行されました。LOAD コマ

EYUNX0033I I • EYUNX0038E E

ンドが異常応答を返しました。

resp2code

値は CICS によって返されます。

システムの処置: MAS の初期設定は終了します。

ユーザーの処置: EXEC CICS LOAD コマンドの *resp2code* 値に関連する指示に従ってください。

モジュール: EYU9NXSM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0033I I プログラム EYU9XLEV の RELEASE が失敗しました。RESP2=*resp2code*
(RELEASE Program EYU9XLEV failed, RESP2=*resp2code*)

説明: 示されているプログラムを解放するために EXEC CICS RELEASE コマンドが発行されました。RELEASE コマンドが異常応答を返しました。

resp2code

値は CICS によって返されます。

システムの処置: MAS の初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9NXSM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0034I I 名前トークン・サービスの呼び出しが失敗しました。RC=*code* (Name Token Services call failed. RC=*code*)

説明: MAS エージェントが MVS 名前トークン・サービス IEANTRT を呼び出そうとしましたが、戻りコード (10 進数) *code* で要求が失敗しました。

システムの処置: MAS エージェントの初期設定が終了します。

ユーザーの処置: 前のメッセージを調べ、この失敗を引き起こした異常終了またはエラーの原因を特定してください。問題の原因を特定できない場合は、MAS の完全なジョブ・ログと、キャプチャーされたダンプを収集し、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU9NXSM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0035I I 開始が異常終了しました。(Startup aborted.) 直前の LRT 異常終了が失敗しました。(Previous LRT abnormal termination failure.)

説明: 正常に終了できなかった MAS エージェントが

以前存在した CICS の実行で、MAS エージェントを初期設定しようとしてしました。

システムの処置: MAS エージェントの初期設定が終了します。

ユーザーの処置: MAS エージェントの初期設定の前に、CICS 領域を再始動する必要があります。

このメッセージの前に発行されるメッセージ EYUNL0903E および メッセージ EYUNL0904E のユーザー応答を参照してください。

モジュール: EYU9NXSM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0037E E LRT 異常終了のために MAS 始動がリジェクトされました (MAS startup rejected due to LRT abnormal termination)

説明: MAS エージェントを始動するためにローカル MAS でトランザクション COLM が発行されましたが、CICSplex SM 制御タスク CONL の前の障害が検出されたため、始動要求は拒否されました。

システムの処置: 始動要求は無視されます。

ユーザーの処置: MAS のこの実行中、メッセージ EYUXS1018E が前に発行されました。このメッセージに関する資料を参照してください。それから CICS システムを再始動して、MAS エージェントを始動します。

モジュール: EYU9NXSM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0038E E CREATE {PROFILE | PROGRAM | TRANSACTION | TDQUEUE} *resourcename* に失敗しました。
RESP=*respcode*、RESP2=*resp2code*
(CREATE {PROFILE | PROGRAM | TRANSACTION | TDQUEUE} *resourcename* failed: RESP=*respcode*, RESP2=*resp2code*)

説明: MAS の初期設定プログラムが CICSplex SM にリソース リソース名 を作成する EXEC CICS CREATE コマンドを発行しました。CREATE コマンドは、*respcode* および *resp2code* に示す値で異常応答を戻しました。

システムの処置: MAS の初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: CICS トレース・レコードを確認して、EXEC CICS エラーの原因を判断します。その後、COLM トランザクションを使用して MAS の初期設定を再始動してください。

モジュール: EYU9NXLM

宛先: コンソール

EYUNX0039E E CICS Transaction Server SMSS
リリース *smssrelease* は、CICS リリース *cicsrelease* と異なります。(CICS Transaction Server SMSS release *smssrelease* is different from CICS release *cicsrelease*.) SMSS 初期設定は終了します。(SMSS initialization is terminated.)

説明: SMSS 初期設定は、SMSS と CICS のリリース・レベルが一致しないため失敗しました。SMSS が CICS Transaction Server とともに稼働できるのは、同じリリース・レベルである場合のみです。

システムの処置: 初期設定は終了します。

ユーザーの処置: CICS Transaction Server SMSS リリース *smssrelease* が CICS リリース *cicsrelease* と必ず一致するようにしてください。CICS STEPLIB を調べて、SDFHAUTH データ・セットおよび SEYUAUTH データ・セットが同じ CICS TS リリース用であることを確認します。CICS DFHRPL を調べて、SDFHLOAD データ・セットおよび SEYULOAD データ・セットが同じ CICS TS リリース用であることを確認します。

モジュール: EYU9NXRM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0040I I applid 終了タスクを開始しました
(Termination task initiated)

説明: 指定された CICS システムをシャットダウンする要求が発行されました。シャットダウン・トランザクションが制御を受け取り、シャットダウン処理が開始されました。

システムの処置: MAS システムおよび CICS システムの終了処理が開始されました。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9NPS2、EYU1NPS2

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0041E E applid RETRIEVE に失敗しました。**RESP=respcode、RESP2=resp2code**
(**applid RETRIEVE failed:**
RESP=respcode、RESP2=resp2code)

説明: 指定された CICS システムのシャットダウンのために通信域からデータを取得する EXEC CICS RETRIEVE コマンドが発行されましたが、コマンドは

異常応答を返しました。*respcode* 値および *resp2code* 値は CICS によって返されます。

システムの処置: シャットダウン・タスクは、CICS に制御を返します。CICS システムのシャットダウンは開始されません。

ユーザーの処置: EXEC CICS RETRIEVE コマンドの *respcode* および *resp2code* の値に関連付けられている説明に従ってください。

モジュール: EYU9NPS2、EYU1NPS2

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0044E E applid PERFORM SHUTDOWN に失敗しました。**RESP=respcode**
RESP2=resp2code (applid PERFORM SHUTDOWN failed: RESP=respcode
RESP2=resp2code)

説明: 指定された CICS システムに対して PERFORM SHUTDOWN コマンドが発行され、このコマンドが異常応答を返しました。*respcode* 値および *resp2code* 値は CICS によって返されます。

システムの処置: シャットダウン・タスクは、CICS に制御を返します。CICS システムのシャットダウンは開始されません。

ユーザーの処置: CEMT PERFORM SHUTDOWN または EXEC CICS PERFORM SHUTDOWN の *respcode* および *resp2code* の値に関連付けられている説明に従ってください。

モジュール: EYU9NPS2、EYU1NPS2

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0045E E applid シャットダウン・タスクの誤ったブランチ値 - *value* (Shutdown task bad branch value - *value*)

説明: 指定された CICS システムのシャットダウン・タスクが誤ったブランチ値を受け取り、実行すべきコマンドを判別できませんでした。

システムの処置: シャットダウン・タスクは、CICS に制御を返します。CICS システムのシャットダウンは開始されません。

ユーザーの処置: ジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU9NPS2

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0046E E LRT 異常終了のために MAS シャットダウンがリジェクトされました
(MAS shutdown rejected due to LRT abnormal termination)

説明: MAS エージェントをシャットダウンするためにローカル MAS でトランザクション COSH が発行されましたが、CICSplex SM 制御タスク CONL の前の障害が検出されたため、シャットダウン要求は拒否されました。

システムの処置: シャットダウン要求は無視されます。

ユーザーの処置: MAS のこの実行中、メッセージ EYUXS1018E が前に発行されました。このメッセージに関する資料を参照してください。それから CICS システムを再始動して、MAS エージェントを始動します。

モジュール: EYU9NXTM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0047E E EXTRACT EXIT に失敗しました。
RESP=nnnn, EIBRCODE= hhhhhh
(EXTRACT EXIT failed: RESP=nnnn, EIBRCODE= hhhhhh)

説明: API、つまり WUI MAS 終了要求の処理中、EXEC CICS EXTRACT コマンドを発行したときにモジュール EYU9NPS2 がエラーを検出しました。

システムの処置: CICS 終了は異常終了します。

ユーザーの処置: MAS およびその MAS が接続する CMAS から完全なジョブ出力と AUXTRACE データ・セットを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。MAS を終了するには、CEMT PERFORM SHUTDOWN を使用します。

モジュール: EYU9NPS2

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0049E E COND トランザクションが端末から発行されました。(COND transaction has been issued from a terminal.)
EIBTRMID=termid, USERID=userid.
(EIBTRMID=termid, USERID=userid.)

説明: COND トランザクションが端末から発行されました。このトランザクションは、CICSRGN SHUTDOWN アクションまたは内部終了要求をサポートするために CICSplex SM によって内部的にのみ発行できます。

システムの処置: CICS 終了は異常終了します。

ユーザーの処置: メッセージに示されているユーザーに

確認して、COND トランザクションを発行した理由を突き止めてください。

モジュール: EYU9NPS2

宛先: コンソール

EYUNX0051I I addspace 終了を開始しました
(termination initiated)

説明: 終了中の CICS システムから MAS シャットダウン・タスクに制御が渡されました。

addspace

MAS がローカル MAS (LMAS) であるか、シングル・サーバー領域 (SMSS) であるかを示します。

システムの処置: MAS の終了処理が開始され、CICS に制御が返されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9NXSD, EYU1NXTM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0052I I compid 終了 ECB が通知されました
(termination ECB posted)

説明: 指定されたコンポーネントの終了 ECB が通知されました。タスクが終了します。

compid コンポーネントがカーネル・リンケージ (KNL) であるか、管理対象アプリケーション・システム (MAS) であるかを示します。

システムの処置: MAS の終了が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9NXSD, EYU1NXTM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0053W W グローバル域アドレスがゼロまたは無効です (Global area address is zero or invalid)

説明: MAS シャットダウン・プログラムに渡されたグローバル作業域アドレスがゼロまたは無効でした。

システムの処置: MAS がアクティブである場合、正常に終了できません。制御は CICS に返され、終了を続行します。

ユーザーの処置: MAS タスクがアクティブな状態のままである場合、CICS システムを IMMEDIATE オペランドを使用して終了するか、キャンセルする必要があります。

モジュール: EYU9NXSD

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0054W W XLWA アドレスがゼロまたは無効です (**XLWA address is zero or invalid**)

説明: MAS シャットダウン・プログラムに渡されたカーネル・リンケージ作業域アドレスが、ゼロまたは無効でした。

システムの処置: MAS がアクティブである場合、正常に終了できません。制御は CICS に返され、終了を続行します。

ユーザーの処置: MAS タスクがアクティブな状態のままである場合、CICS システムを IMMEDIATE オペランドを使用して終了するか、キャンセルする必要があります。

モジュール: EYU9NXSD、EYU1NXTM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0055W W MODB リスト・アドレスがゼロです (**MODB list address is zero**)

説明: MAS のシャットダウン・プログラムに渡された、主オブジェクト記述子ブロック (MODB) アドレスのリストのアドレスがゼロでした。

システムの処置: MAS がアクティブである場合、正常に終了できません。制御は CICS に返され、終了を続行します。

ユーザーの処置: MAS タスクがアクティブな状態のままである場合、CICS システムを IMMEDIATE オペランドを使用して終了するか、キャンセルする必要があります。

モジュール: EYU9NXSD

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0058W W ASSIGN に失敗しました。
(**ASSIGN failed:**) **RESP=respcode**
RESP2=respcode2

説明: タスクに関連付けられた端末のタイプを取得するために EXEC CICS ASSIGN TERMINAL コマンドが発行され、このコマンドが異常応答を返しました。
respcode 値および *resp2code* 値は CICS によって返されます。

システムの処置: MAS エージェントのシャットダウン・タスクは、CICS に制御を返します。MAS エージェント・コードは終了しません。

ユーザーの処置: CICSplex SM API から STOP アク

ションを発行することで、MAS エージェント・コードを停止できます。

モジュール: EYU9NXTM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0060W W compid MODB アドレスがゼロまたは無効です (**MODB address is zero or invalid**)

説明: 指定されたコンポーネントの主オブジェクト記述子ブロック (MODB) アドレスがゼロまたは無効です。ここで *compid* は、コンポーネントがカーネル・リンケージ (KNL) であるか、管理対象アプリケーション・システム (MAS) であるかを示します。

システムの処置: コンポーネント・タスクは終了しません。制御は CICS に返され、終了を続行します。

ユーザーの処置: MAS タスクがアクティブな状態のままである場合、CICS システムを IMMEDIATE オペランドを使用して終了するか、キャンセルする必要があります。

モジュール: EYU9NXSD

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0061W W compid OPB アドレスがゼロまたは無効です。(**OPB address is zero or invalid.**)

説明: 指定されたコンポーネントの主オブジェクト記述子ブロック (MODB) に、ゼロまたは無効であるオブジェクト処理ブロック (OPB) アドレスがあります。ここで *compid* は、コンポーネントがカーネル・リンケージ (KNL) であるか、管理対象アプリケーション・システム (MAS) であるかを示します。

システムの処置: コンポーネント・タスクは終了しません。制御は CICS に返され、終了を続行します。

ユーザーの処置: MAS タスクがアクティブな状態のままである場合、CICS システムを IMMEDIATE オペランドを使用して終了するか、キャンセルする必要があります。

モジュール: EYU9NXSD

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0062W W compid ECB アドレスがゼロです (**ECB address is zero**)

説明: 指定されたコンポーネントのオブジェクト処理ブロック (OPB) にある終了 ECB アドレスがゼロです。ECB を通知できません。ここで *compid* は、コンポーネントがカーネル・リンケージ (KNL) であるか、管理

対象アプリケーション・システム (MAS) であるかを示します。

システムの処置: コンポーネント・タスクは終了しません。制御は CICS に返され、終了を続行します。

ユーザーの処置: MAS タスクがアクティブな状態のままである場合、CICS システムを IMMEDIATE オペランドを使用して終了するか、キャンセルする必要があります。

モジュール: EYU9NXSD

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0070I I XLWA 終了 ECB が通知されました (XLWA termination ECB posted)

説明: カーネル・リンケージ (KNL) 作業域の ECB が通知され、CICS システムが終了中であること、および MAS が再始動されないことが示されます。

システムの処置: CICS に制御が戻り、CICS システムと MAS の終了が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9NXSD、EYU1NXTM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0071I I MAS は端末 *termid* から正常に終了 しました (MAS successfully terminated from terminal *termid*)

説明: MAS エージェント・コードが、端末 *termid* でトランザクション COSH を実行しているオペレーターによって正常に停止されました。

システムの処置: MAS エージェント・コードが停止しました。CICS は実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9NXTM

宛先: コンソール、SYSPRINT および端末エンド・ユーザー

EYUNX0072E E 端末 *termid* からの *addspace* 終了が 失敗しました (*addspace* termination from terminal *termid* failed)

説明: トランザクション COSH を使用して呼び出された MAS 終了中にエラーが発生しました。ここで、

addspace

MAS がローカル MAS (LMAS) であることを示します。

termid MAS を終了した端末を示します。

前のメッセージに失敗の原因が示されています。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: コンソールおよびジョブ・ログに書き込まれた前のエラー・メッセージを確認してください。

モジュール: EYU9NXTM

宛先: コンソール、SYSPRINT および端末エンド・ユーザー

EYUNX0101E E TRANSATTACH *resourcename* に 対する QUERY SECURITY に失敗しま した。RESP= *respcode*、RESP2= *resp2code*。(QUERY SECURITY for TRANSATTACH *resourcename* failed: RESP= *respcode*, RESP2= *resp2code*.)

説明: MAS 初期設定プログラムは EXEC CICS QUERY SECURITY コマンドを発行し、トランザクション *resourcename* が外部セキュリティ・マネージャーに適切に定義されていることを検証します。コマンドは、*respcode* および *resp2code* に示す値で異常応答を戻しました。

システムの処置: MAS 初期設定は、すべてのトランザクション ID が処理されるまで続行し、その後、MAS エージェントがメッセージ EYUNX0103E を発行して終了します。

ユーザーの処置: EXEC CICS QUERY SECURITY の *respcode* および *resp2code* の値に関連付けられている説明に従ってください。

モジュール: EYU9NXLM、EYU9NXRM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0102E E TRANSATTACH *resourcename* に 対する QUERY SECURITY は正しくあ りません。READ=NOTREADABLE. (QUERY SECURITY for TRANSATTACH *resourcename* is incorrect: READ=NOTREADABLE.)

説明: MAS 初期設定プログラムは EXEC CICS QUERY SECURITY コマンドを発行し、トランザクション *resourcename* が外部セキュリティ・マネージャーに適切に定義されていることを検証します。MAS 初期設定プログラムを実行するユーザー ID (領域のユーザー ID) に、トランザクション *resourcename* を START する権限がありません。

システムの処置: MAS 初期設定は、すべてのトランザクション ID が処理されるまで続行し、その後、MAS エージェントがメッセージ EYUNX0103E を発行して終了します。

ユーザーの処置: トランザクション *resourcename* のリソース・プロファイルおよび権限を修正し、COLM トランザクションを使用して MAS の初期設定を再始動してください。

モジュール: EYU9NXLM、EYU9NXRM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUNX0103E E 1 つ以上のリソースのセキュリティ・プロファイルが正しくありません。
(Incorrect security profile for one or more resources.) CICS は終了します。
(CICS is terminating.)

説明: それぞれの内部 CPSM トランザクションが外部セキュリティ・マネージャーに適切に定義されている

EYUPEnnnn メッセージ

EYUPE0001I I *date time applid* RTAEVL の初期化が完了しました。

説明: RTA の評価サービス・サブコンポーネントが正常に初期設定されました。

システムの処置: RTA の初期設定は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PEIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUPE0002I I *date time applid* RTAEVL の終了が完了しました。

説明: RTA の評価サービス・サブコンポーネントが終了しました。

システムの処置: RTA 終了は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PETM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

ことを検証するために、MAS 初期設定プログラムが EXEC CICS QUERY SECURITY コマンドを発行しました。1 つ以上のコマンドが異常応答を返したか、1 つ以上のトランザクションに正しくないセキュリティ・プロファイルがありました。

システムの処置: CMAS 領域は終了します。

ユーザーの処置: メッセージ EYUNX0101E および EYUNX0102E に示されている問題を訂正し、COLM トランザクションを使用して MAS の初期設定を再始動してください。

モジュール: EYU9NXLM、EYU9NXRM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUPE0004I I *date time applid* RTAEVL 長期実行タスクを終了しました。

説明: RTA の評価サービス・サブコンポーネントの長期実行タスク (LRT) が終了しました。

システムの処置: RTA 終了は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PELT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUPE0005W W *date time applid* RTAEVL がプログラム (*prgmid*) トランザクション (*tranid*) を呼び出せませんでした - {プログラムに使用不可マークが付いています | リンク失敗 | トランザクションに使用不可マークが付いています | トランザクションが EYU9XLOP にリンクしていません | CICS タスクを開始できません | プログラムが見つかりません}。

説明: RTA が、指定されたユーザー作成状況プローブ・プログラムを呼び出そうとしましたが、呼び出しは失敗しました。ここで、

prgmid

状況プローブ・プログラムの名前です。

tranid

プログラムを開始するために使用するトランザクションの名前です。

reason

次のいずれかを失敗の理由として示します。

リンク失敗

指定された状況プローブ・プログラムへのリンクに失敗しました。

プログラムに使用不可マークが付いています

CICS が、指定された状況プローブ・プログラムに使用不可のマークを付けました。

CICS タスクを開始できません

指定された状況プローブ・プログラムを呼び出すタスクを開始できませんでした。

トランザクションに使用不可マークが付いています

CICS が、指定された状況プローブ・プログラムの呼び出しに使用するトランザクションに使用不可のマークを付けました。

トランザクションが EYU9XLOP にリンクしていません

(STATDEF ビューに定義済みの) 指定された状況プローブ・プログラムの呼び出しに使用するトランザクションが、CICSplex SM プログラム EYU9XLOP にリンクされていません。

プログラムが見つかりません

CICS が、CICSplex SM プログラム照会要求に対する応答として PGMIDERR 状態を返しました。

システムの処置: RTA 処理は、状況プローブ・プログラムが NORMAL の状況を返した場合と同様に続行されます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: *reason* テキストに応じて、以下のいずれかを実行してください。

リンク失敗

プログラムが CICS に正しく定義され、STEPLIB データ・セットのいずれかに配置されていることを確認してください。

プログラムに使用不可マークが付いています

プログラムが CICS STEPLIB データ・セットのいずれかに配置されていることを確認してください。

CICS タスクを開始できません

プログラムが実行される CICS システムが MAX TASK でないことを確認してください。そうである場合は、MAXTASK パラメーターを増やしてください。また、プログラムとそのプログラムの呼び出しに使用されるトランザクションの両方が、CICS に正しく定義されていることを確認してください。

トランザクションに使用不可マークが付いています

トランザクションが CICS に正しく定義されていることを確認してください。

トランザクションが EYU9XLOP にリンクしていません

トランザクションの CICS 定義が EYU9XLOP を指していることを確認してください。

モジュール: EYU0PEMA、EYU0PEMS

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *prgmid*
5. *tranid*
6. 以下のオプションから選択される値:

1=プログラムに使用不可マークが付いています、
2=リンク失敗、
3=トランザクションに使用不可マークが付いています、
4=トランザクションが EYU9XLOP にリンクしていません、
5=CICS タスクを開始できません、
6=プログラムが見つかりません

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPE0006W W *date time applid RTAEVL* がプログラム (*prgmid*) から無効な状況を返しました。

説明: ユーザー作成の状況プローブ・プログラムを正常に呼び出した後、RTA は無効な戻り状況を受け取りました。ここで、

prgmid

状況プローブ・プログラムの名前です。

システムの処置: RTA 処理は、状況プローブ・プログ

ラムが NORMAL の状況を返した場合と同様に続行されます。

ユーザーの処置: 状況モニター・プログラムのソース・コードを確認し、戻り状況が設定されているかどうかと設定場所を判別してください。有効な状況標識を返すように、プログラムを変更します。RTA 状況プローブ・プログラムの作成方法の詳細については、CICS 資料を参照してください。

モジュール: EYU0PEMA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *prgmid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPE0007E E *date time applid RTAEVL* エージェントに障害があります。

説明: RTA の評価サービス・サブコンポーネントが、ユーザー作成の状況プローブ・プログラムの実行中に問題を検出しました。問題が発生した場所によっては、状況プローブ・プログラムが正常に完了している場合があります。

システムの処置: RTA 処理は、状況プローブ・プログラムが NORMAL の状況を返した場合と同様に続行されます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0PEMA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPE0101E E *date time applid RTAEVL* の初期化に失敗しました。

説明: RTA の評価サービス・サブコンポーネントを初期設定できませんでした。

システムの処置: RTA の初期設定は終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメ

ッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0PEIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPE0102E E *date time applid RTAEVL* の終了に失敗しました。

説明: RTA の評価サービス・サブコンポーネントを終了する際にエラーが発生しました。

システムの処置: その他すべての RTA サブコンポーネントは、正常シャットダウンを試行します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0PETM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPE0104E E *date time applid RTAEVL* 長期実行タスクに失敗しました。

説明: RTA の評価サービス・サブコンポーネントの長期実行タスク (LRT) で、リカバリーできない問題が検出されました。

システムの処置: RTA は中止されます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0PELT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPE0105E E *date time applid RTAEVL* 長期実行タスクが不明なイベント通知 (*nn*) を検出しました。イベントは無視されました。

説明: 評価サービスの長期実行タスク (LRT) が非送信請求イベント・レコードを受け取りました。ここで、

nn

認識されなかったイベント通知 ID です。指定されたイベント通知 ID に基づいて、イベントを作成した CICSplex SM メソッドを判別することが可能です。

システムの処置: 評価サービスはそのイベント・レコードを無視して処理を続行します。無効なイベント・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0PELT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nn*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPE0106W W *date time applid RTAEVL* イベント {CICSSTRT | CICSSTOP} 処理に失敗しました。

EYUPInnnn メッセージ

EYUPI0001I I *date time applid {RTASAM | RTAAPM | RTAMRM | RTAACT | RTAALZ | RTAEVL}* 初期化を開始しました。

説明: RTA は、指定されたサブコンポーネントの初期化を開始しました。ここで、

subcompid

初期化しているサブコンポーネントを示します。RTA サブコンポーネントは、以下の順序で初期化されます。

1. 分析サービス (RTAALZ)

説明: 評価サービス・サブコンポーネントで、指定されたイベントの処理中に内部エラーが発生しました。ここで、

name

処理されているイベントを以下のいずれかとして示します。

CICSSTRT

CICS システムが開始されました。

CICSSTOP

CICS システムが停止しました。

システムの処置: 評価サービスのイベント処理は続行されます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: イベント名をメモし、トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0PELT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=CICSSTRT、
2=CICSSTOP

宛先: コンソールおよび COLG

2. 評価サービス (RTAEVL)
3. システム使用可能性モニター (RTASAM)
4. アクション・サービス (RTAACT)
5. 分析点モニター (RTAAPM)
6. MAS リソース・モニター (RTAMRM)

システムの処置: RTA の初期設定は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PINT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=RTASAM、
2=RTAAPM、
3=RTAMRM、
4=RTAACT、
5=RTAALZ、
6=RTAEVL

宛先: COLG

EYUPI0002I I *date time applid* **RTA** の初期化が完了しました。

説明: すべての RTA サブコンポーネントが正常に初期設定されました。

システムの処置: CMAS初期化は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PINT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUPI0101E E *date time applid* **RTA** の初期化で {ストレージの獲得 | MOEB の登録 | データ・キャッシュの作成 | キューの作成 | イベントの登録 | CICSplex リストの作成 | パラメーターの照会} ができません。

説明: RTA が、初期化に必要な、示されたアクションを完了できませんでした。ここで、

action

完了できなかったアクションを以下のいずれかとして示します。

- ストレージの獲得
- MOEB の登録
-

データ・キャッシュの作成

- キューの作成
- イベントの登録
- CICSplex リストの作成
- 照会パラメーター

システムの処置: RTA の初期設定は終了します。

CMAS初期化は続行されます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0PINT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=ストレージの獲得、
2=MOEB の登録、
3=データ・キャッシュの作成、
4=キューの作成、
5=イベントの登録、
6=CICSplex リストの作成、
7=パラメーターの照会

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPI0102E E *date time applid* **RTA** の初期化に失敗しました。

説明: RTA コンポーネントを初期設定できませんでした。

システムの処置: RTA は中止されます。CMAS初期化は続行されます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0PINT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPMnnnn メッセージ

EYUPM0001I I *date time applid RTAMRM* の初期化が完了しました。

説明: RTA の MAS リソース・モニター・サブコンポーネントが正常に初期設定されました。

システムの処置: RTA の初期設定は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PMIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUPM0002I I *date time applid RTAMRM* の終了が完了しました。

説明: RTA の MAS リソース・モニター・サブコンポーネントが終了しました。

システムの処置: RTA 終了は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PMTM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUPM0003I I *date time applid* コンテキスト (*plexname*) 有効範囲 (*sysname*) の RTA 仕様 (*specname*) が正常にインストールされました。

説明: 指定の RTA 仕様が、指定されたコンテキストおよびスコープに対してインストールされました。ここで、

specname

インストールされた仕様を示します。

plexname

仕様を適用する CICSplex を示します。

sysname

仕様が適用される CICS システムまたは CICS システム・グループを示します。

システムの処置: RTA 処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU0PMCS

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *specname*
5. *plexname*
6. *sysname*

宛先: COLG

EYUPM0004I I *date time applid RTAMRM* 長期実行タスクを終了しました。

説明: RTA の MAS リソース・モニター・サブコンポーネントの長期実行タスク (LRT) が終了しました。

システムの処置: RTA 終了は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PMLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUPM0005I I *date time applid* コンテキスト (*plexname*) 有効範囲 (*sysname*) の RTA 仕様 (*specname*) が正常に解放されました。

説明: 指定の分析仕様は、指定されたコンテキストおよびスコープ内の処理から解放されました。仕様は、その仕様が関連付けられているスコープがシャットダウンされるときに解放されます。ここで、

specname

解放された仕様を示します。

plexname

仕様が解放された CICSplex を示します。

sysname

仕様が解放された CICS システムを示します。

システムの処置: RTA 処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PMCCE

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *specname*
5. *plexname*
6. *sysname*

宛先: COLG

EYUPM0006I I *date time applid* コンテキスト
(*plexname*) 有効範囲 (*sysname*) の
{RTADEF | STATDEF} (*defname*) が正常
にインストールされました。

説明: 指定された分析定義または状況定義が、指定のコンテキストおよびスコープにインストールされました。ここで、

deftype

インストールされた定義のタイプを RTADEF
または STATDEF として示します。

defname

定義の名前です。

plexname

定義がインストールされた CICSplex を示します。

sysname

定義がインストールされた CICS システムを示します。

システムの処置: RTA 処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PMDI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=RTADEF、
2=STATDEF

5. *defname*

6. *plexname*

7. *sysname*

宛先: COLG

EYUPM0007I I *date time applid* コンテキスト
(*plexname*) 有効範囲 (*sysname*) の
{RTADEF | STATDEF} (*defname*) が正常
に手動で非活動化されました。

説明: 指定された分析定義が、指定のコンテキストおよびスコープ内で非活動化されました。ここで、

deftype

インストールされた定義のタイプを RTADEF
または STATDEF として示します。

defname

定義の名前です。

plexname

定義が非活動化された CICSplex を示します。

sysname

定義が非活動化された CICS システムを示します。

システムの処置: RTA 処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PGDD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=RTADEF、
2=STATDEF

5. *defname*

6. *plexname*

7. *sysname*

宛先: COLG

EYUPM0008I I *date time applid* コンテキスト
(*plexname*) 有効範囲 (*sysname*) の
{RTADEF | STATDEF} (*defname*) が正常
に手動で再活動化されました。

説明: 指定された分析定義が、指定のコンテキストおよ
びスコープ内で再活動化されました。ここで、

deftype

インストールされた定義のタイプを RTADEF
または STATDEF として示します。

defname

定義の名前です。

plexname

定義が再活動化された CICSplex を示します。

sysname

定義が再活動化された CICS システムを示しま
す。

システムの処置: RTA 処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PGDD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=RTADEF、
2=STATDEF

5. *defname*

6. *plexname*

7. *sysname*

宛先: COLG

EYUPM0101E E *date time applid RTAMRM* の初期
化に失敗しました。

説明: RTA の MAS リソース・モニター・サブコンポー
ネントを初期設定できませんでした。

システムの処置: RTA の初期設定は終了します。ユー
ザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・
セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメ
ッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせせ
ください。

モジュール: EYU0PMIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPM0102E E *date time applid RTAMRM* の終了
に失敗しました。

説明: RTA の MAS リソース・モニター・サブコンポー
ネントを終了する際にエラーが発生しました。

システムの処置: その他すべての RTA サブコンポーネ
ントは、正常シャットダウンを試行します。ユーザー・
トレース・レコードが CICS トレース・データ・セット
に書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメ
ッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせせ
ください。

モジュール: EYU0PMTM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPM0103E E *date time applid* コンテキスト
(*plexname*) 有効範囲 (*sysname*) の RTA
仕様 (*specname*) が正常にインストールさ
れませんでした。

説明: 指定の RTA 仕様の内部データ構造に使用可能な
ストレージが不足していたため、その仕様をインストー
ルできませんでした。ここで、

specname

仕様の名前です。

plexname

仕様を適用する CICSplex を示します。

sysname

仕様を適用する CICS システムを示します。

システムの処置: RTA 処理は続行されます。ユーザ
ー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セ
ットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 問題の原因を判別するために、例外ト
レース・レコードを調べてください。

モジュール: EYU0PMCS

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *specname*
5. *plexname*
6. *sysname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPM0104E E *date time applid RTAMRM* 長期実行タスクに失敗しました。

説明: RTA の MAS リソース・モニター・サブコンポーネントの長期実行タスク (LRT) で、リカバリーできない問題が検出されました。

システムの処置: RTA は中止されます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0PMLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPM0105E E *date time applid RTAMRM* 長期実行タスクが不明なイベント通知 (*nn*) を検出しました。イベントは無視されました。

説明: MAS リソース・モニターの長期実行タスク (LRT) が非送信請求イベント・レコードを受け取りました。ここで、

nn

認識されなかったイベント通知 ID です。指定されたイベント通知 ID に基づいて、イベントを作成した CICSplex SM メソッドを判別することが可能です。

システムの処置: MAS リソース・モニターはそのイベント・レコードを無視して処理を続行します。無効なイベント・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメ

ッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0PMLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nn*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPM0106E E *date time applid* コンテキスト (*plexname*) 有効範囲 (*sysname*) の RTA 仕様 (*specname*) が正常に解放されませんでした。

説明: 内部エラーのため、指定の RTA 仕様を解放できませんでした。ここで、

specname

仕様の名前です。

plexname

仕様を適用する CICSplex を示します。

sysname

仕様を適用する CICS システムを示します。

システムの処置: RTA 処理は続行されます。例外トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0PMCE

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *specname*
5. *plexname*
6. *sysname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPM0107E E *date time applid* コンテキスト (*plexname*) 有効範囲 (*sysname*) での RTASPEC *specname* の {RTADEF | STATDEF} (*defname*) のインストールに失敗しました。

説明: 指定された分析定義または状況定義を、指定の RTA 仕様に対してインストールできませんでした。ここで、

deftype

インストールされなかった定義のタイプを RTADEF または STATDEF として示します。

defname

定義の名前です。

specname

仕様の名前です。

plexname

CICS システムが属する CICSplex を示します。

sysname

定義がインストールできなかった CICS システムを示します。

システムの処置: RTA 処理は続行されます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0PMDI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=RTADEF、
2=STATDEF

5. *defname*

6. *specname*

7. *plexname*

8. *sysname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPM0108E E *date time applid* 時間枠名 (*defname*) の登録に失敗しました。時間枠は定義されていません。

説明: RTA が、指定された時間枠にインタレストを登録しようとしたが、データ・リポジトリ内にその時間枠が定義されていません。ここで、

defname

見つからなかった時間枠の名前です。

システムの処置: RTA 処理は続行されます。この時間枠を参照する RTADEF 定義および STATDEF 定義は、その名前の時間枠が定義されるまでインストールされません。

ユーザーの処置: 時間枠名がすべての RTADEF 定義および STATDEF 定義に正しく指定されていることを確認してください。既存の時間枠定義のリストを表示するには、PERIODEF ビューを使用します。必要に応じて、指定された名前で新規の時間枠定義を作成してください。

モジュール: EYU0PMDI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *defname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPM0109E E *date time applid* コンテキスト (*plexname*) 有効範囲 (*sysname*) での **RTASPEC** *specname* の {RTADEF | STATDEF} (*defname*) のインストールに失敗しました。{Evaldef | リソース | 評価列} が {非検出 | CICS リリースに対して無効 | リソース・テーブルのバージョンに対して無効} です。

説明: 指定された分析定義 (RTADEF) を分析仕様にインストールしようとした。有効な評価定義 (EVALDEF) の関連付けが定義にないため、インストールは失敗しました。ここで、

defname

インストールできなかった分析定義の名前です。

specname

定義をインストール中だった分析仕様の名前です。

plexname

CICS システムが属する CICSplex を示します。

sysname

定義がインストールできなかった CICS システムを示します。

description

これは、以下の追加テキストのいずれかです。

- EVALDEF が非検出です (EVALDEF not found)
- リソースが CICS リリースに対して無効です (Resource not valid for CICS release)
- 評価列がリソース・テーブルのバージョンに対して無効です (Evaluation column invalid for version of resource table)

システムの処置: RTA 処理は続行されます。

ユーザーの処置: 適切な評価定義を作成し、分析定義に関連付けてください。それから、分析定義を再インストールしてください。

モジュール: EYU0PMDI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=RTADEF、
2=STATDEF

5. *defname*
6. *specname*
7. *plexname*
8. *sysname*
9. 以下のオプションから選択される値:

1=Evaldef、
2=リソース、
3=評価列

10. 以下のオプションから選択される値:

1=非検出、
2=CICS リリースに対して無効、
3=リソース・テーブルのバージョンに対して無効

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPM0110E E *date time applid* コンテキスト
(*plexname*) 有効範囲 (*sysname*) の
RTAMRM がアクティブではありません。
定義はインストールされていません。

説明: 分析定義または状況定義を CICS システムにインストールしようとしたが、リアルタイム分析の MAS リソース・モニター・サブコンポーネントがアクティブではありません。ここで、

plexname

CICS システムが属する CICSplex を示します。

sysname

定義がインストールできなかった CICS システムを示します。

リアルタイム分析を行うには、CICS システムを分析仕様に関連付ける必要があります。

システムの処置: RTA 処理は続行されます。

ユーザーの処置: RTASPEC ビューを使用して、分析仕様を CICS システムに関連付けてください。また、CICS システムは既にアクティブであるため、MAS ビューから UPD アクション・コマンドを使用して、リアルタイム分析をオンにする必要があります。RTASPEC ビューの説明については、CICS 資料を参照してください。MAS ビューとその UPD アクション・コマンドの説明については、システム・プログラミング・リファレンスを参照してください。

CICS システムが分析仕様に関連付けられて、リアルタイム分析がオンになると、目的の定義をインストールできます。

モジュール: EYU0PGDI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *plexname*
5. *sysname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPM0111E E *date time applid* コンテキスト
(*plexname*) 有効範囲 (*sysname*) での
RTASPEC *specname* の {RTADEF |
STATDEF} (*defname*) はすでにインストール
されています。破棄して再インストール
してください。

EYUPN0001I I • EYUPN0004I I

説明: 指定の RTA 仕様に対して、分析定義または状況定義を CICS システムにインストールしようとしたのですが、指定された定義は既にインストールされています。ここで、

deftype

定義のタイプを RTADEF または STATDEF として示します。

defname

定義の名前です。

specname

仕様の名前です。

plexname

CICS システムが属する CICSplex を示します。

sysname

定義がインストールできなかった CICS システムを示します。

システムの処置: RTA 処理は続行されます。

ユーザーの処置: 分析定義または状況定義が最後のインストール以降に更新されている場合は、更新された定義

をインストールする前に、アクティブな定義を破棄する必要があります。RTAACTV ビュー (システム・プログラミング・リファレンスを参照) を使用して、稼働中の CICS システムから定義を破棄してください。

定義が更新されていない場合、再インストールは不要です。定義は CICS システムで既にアクティブです。

モジュール: EYU0PMDI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=RTADEF、
2=STATDEF

5. *defname*
6. *specname*
7. *plexname*
8. *sysname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPNnnnn メッセージ

EYUPN0001I I *date time applid* **RTAACT** の初期化が完了しました。

説明: RTA のアクション・サービス・サブコンポーネントが正常に初期設定されました。

システムの処置: RTA の初期設定は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PNIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

モジュール: EYU0PNTM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUPN0004I I *date time applid* **RTAACT** 長期実行タスクを終了しました。

説明: RTA のアクション・サービス・サブコンポーネントの長期実行タスク (LRT) が終了しました。

システムの処置: RTA 終了は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PNLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUPN0002I I *date time applid* **RTAACT** の終了が完了しました。

説明: RTA のアクション・サービス・サブコンポーネントが終了しました。

システムの処置: RTA 終了は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

EYUPN0005W W *date time applid* **SAM** 用の通知が作成されました。コンテキスト *=plexname*、ターゲット=*targetsys*、**Sev**=*level*、イベント=*eventname*、テキスト=*usertxt*。

説明: システム使用可能性モニター (SAM) イベントの結果として、ユーザーが要求した外部通知が作成されました。ここで、

plexname

通知が作成された CICSplex を示します。

targetsys

通知の宛先を示します。CICS システム、CICS システム・グループまたは CICSplex の場合があります。

level

通知の重要度を示します。

eventname

SAM によってこの通知に割り当てられているイベント名です。

!!SAMOPS

アクティブになるようにスケジュールされている CICS システムが、アクティブではありません。

!!SAMSOS

CICS システムがストレージ不足です。

!!SAMSDM

CICS システムがシステム・ダンプを取得しています。

!!SAMTDM

CICS システムがトランザクション・ダンプを取得しています。

!!SAMMAX

CICS システムが、その最大タスク限度に達しました。

!!SAMSTL

CICS システムが停止しました。

usertxt

SAM 通知で使用するためにユーザーが定義したテキストです。各種の停止状態 (!!SAMSTL) に対して発行されるデフォルトのテキスト・ス

トリングのリストについては、CICS TS のインストールの表を参照してください。

システムの処置: RTA 処理は続行されます。

ユーザーの処置: イベントについての詳細は、以下を確認してください。

•

EVENT ビューと EVENTD ビュー

•

NetView のアラート。(要求された場合)

また、ジョブ・ログやシステム・ログを調べて、指定された CICS システムの現在の状況を判別します。次に、お客様の企業基準に基づいて、このイベントにユーザー処置が必要かどうかを判断してください。

モジュール: EYU0PNAN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *plexname*
5. *targetsys*
6. *level*
7. *eventname*
8. *usertxt*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPN0006W W *date time applid* **RTADEF** *defname* 用の通知が **APM** により作成されました。コンテキスト=*plexname*、ターゲット=*targetsys*、**Sev**=*level*、リソース=*restype*、キー=*resname*、テキスト=*usertxt*。

説明: ユーザーが要求した外部通知が、RTA 定義が真になった結果として作成されました。ここで、

defname

通知が作成される原因となった RTA 定義の名前です。

plexname

RTA 定義がインストールされた CICSplex を示します。

targetsys

通知の宛先を示します。CICS システム、CICS システム・グループまたは CICSplex の場合があります。

level

通知の重要度を示します。

restype

通知を適用するリソースのタイプを示します。

resname

通知を適用する特定のリソースを示します。

usertxt

APM 通知で使用するためにユーザーが定義したテキストです。

システムの処置: RTA 処理は続行されます。

ユーザーの処置: イベントについての詳細は、以下を確認してください。

- EVENT ビューと EVENTD ビュー
- NetView のアラート。(要求された場合)

次に、お客様の企業基準に基づいて、このイベントにユーザー処置が必要かどうかを判断してください。

モジュール: EYU0PNAN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *defname*
5. *plexname*
6. *targetsys*
7. *level*
8. *restype*
9. *resname*
10. *usertxt*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPN0007W W *date time applid {RTADEF | STATDEF} defname* 用の通知が **MRM** により作成されました。コンテキスト=*plexname*、ターゲット=*targetsys*、**Sev**=*level*、リソース=*restype*、キー=*resname*、テキスト=*usertxt*。

説明: ユーザーが要求した外部通知が、RTA 定義または状況定義が真になった結果として作成されました。ここで、

deftype

定義のタイプを RTADEF または STATDEF として示します。

defname

通知が作成される原因となった定義の名前です。

plexname

定義がインストールされた CICSplex を示します。

targetsys

通知の宛先が単一の CICS システムであることを示します。

level

通知の重要度を示します。

restype

通知を適用するリソースのタイプを示します。

resname

通知を適用する特定のリソースを示します。

usertxt

MRM 通知で使用するためにユーザーが定義したテキストです。

システムの処置: RTA 処理は続行されます。

ユーザーの処置: イベントについての詳細は、以下を確認してください。

- EVENT ビューと EVENTD ビュー
- NetView のアラート。(要求された場合)

次に、お客様の企業基準に基づいて、このイベントにユーザー処置が必要かどうかを判断してください。

モジュール: EYU0PNAN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=RTADEF、
2=STATDEF

5. *defname*
6. *plexname*
7. *targetsys*

8. *level*
9. *restype*
10. *resname*
11. *usertxt*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPN0008W W *date time applid* **SAM** 用の通知が更新されました。コンテキスト=*plexname*、ターゲット=*targetsys*、**Sev**=*level*、イベント=*eventname*、テキスト=*usertxt*。

説明: 未解決の外部通知が、システム使用可能性モニター (SAM) イベントに対する重大度の変更の結果として更新されました。ここで、

plexname

通知が更新された CICSplex を示します。

targetsys

通知の宛先を示します。CICS システム、CICS システム・グループまたは CICSplex の場合があります。

level

通知の新しい重大度を示します。

eventname

SAM によってこの通知に割り当てられているイベント名です。

usertxt

SAM 通知で使用するためにユーザーが定義したテキストです。

システムの処置: RTA 処理は続行されます。

ユーザーの処置: イベントについての詳細は、以下を確認してください。

- EVENT ビューと EVENTD ビュー
- NetView のアラート。(要求された場合)

また、ジョブ・ログやシステム・ログを調べて、指定された CICS システムの現在の状況を判別します。次に、お客様の企業基準に基づいて、このイベントにユーザー処置が必要かどうかを判断してください。

モジュール: EYU0PNUN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *plexname*
5. *targetsys*
6. *level*
7. *eventname*
8. *usertxt*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPN0009W W *date time applid* **RTADEF** *defname* 用の通知が **APM** により更新されました。コンテキスト=*plexname*、ターゲット=*targetsys*、**Sev**=*level*、リソース=*restype*、キー=*resname*、テキスト=*usertxt*。

説明: 未解決の外部通知が、RTA 定義に対する重大度の変更の結果として更新されました。ここで、

defname

通知が更新される原因となった RTA 定義の名前です。

plexname

RTA 定義がインストールされた CICSplex を示します。

targetsys

通知の宛先を示します。CICS システム、CICS システム・グループまたは CICSplex の場合があります。

level

通知の新しい重大度を示します。

restype

通知を適用するリソースのタイプを示します。

resname

通知を適用する特定のリソースを示します。

usertxt

APM 通知で使用するためにユーザーが定義したテキストです。

システムの処置: RTA 処理は続行されます。

ユーザーの処置: イベントについての詳細は、以下を確認してください。

- EVENT ビューと EVENTD ビュー
- NetView のアラート。(要求された場合)

EYUPN0010W W • EYUPN0011W W

次に、お客様の企業基準に基づいて、このイベントにユーザー処置が必要かどうかを判断してください。

モジュール: EYU0PNUN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *defname*
5. *plexname*
6. *targetsys*
7. *level*
8. *restype*
9. *resname*
10. *usertxt*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPN0010W W *date time applid* {RTADEF | STATDEF} *defname* 用の通知が **MRM** により更新されました。コンテキスト=*plexname*、ターゲット=*targetsys*、**Sev**=*level*、リソース=*restype*、キー=*resname*、テキスト=*usertxt*。

説明: 未解決の外部通知が、RTA 定義または状況定義に対する重大度の変更の結果として更新されました。ここで、

deftype

定義のタイプを RTADEF または STATDEF として示します。

defname

通知が更新される原因となった定義の名前です。

plexname

定義がインストールされた CICSplex を示します。

targetsys

通知の宛先が単一の CICS システムであることを示します。

level

通知の新しい重大度を示します。

restype

通知を適用するリソースのタイプを示します。

resname

通知を適用する特定のリソースを示します。

usertxt

MRM 通知で使用するためにユーザーが定義したテキストです。

システムの処置: RTA 処理は続行されます。

ユーザーの処置: イベントについての詳細は、以下を確認してください。

- EVENT ビューと EVENTD ビュー
- NetView のアラート。(要求された場合)

次に、お客様の企業基準に基づいて、このイベントにユーザー処置が必要かどうかを判断してください。

モジュール: EYU0PNUN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=RTADEF、
2=STATDEF

5. *defname*
6. *plexname*
7. *targetsys*
8. *level*
9. *restype*
10. *resname*
11. *usertxt*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPN0011W W *date time applid* **SAM** 用の通知が {除去 | 解決} されました。コンテキスト=*plexname*、ターゲット=*targetsys*、**Sev**=*level*、イベント=*eventname*、テキスト=*usertxt*。

説明: システム使用可能性モニター (SAM) イベントの未解決の外部通知が解決または除去されました。ここで、

action

通知に対して発生した内容を次のように示します。

RESOLVED

イベントの原因となった状態は解消されました。

REMOVED

CICS システムがダウンしたため、イベントの原因となった状態をモニターできなくなりました。

plexname

通知が適用された CICSplex を示します。

targetsys

通知の宛先を示します。CICS システム、CICS システム・グループまたは CICSplex の場合があります。

level

通知の重要度を示します。

eventname

SAM によってこの通知に割り当てられているイベント名です。

usertxt

SAM 通知で使用するためにユーザーが定義したテキストです。

システムの処置: RTA 処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PNCN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=除去、
2=解決

5. *plexname*
6. *targetsys*
7. *level*
8. *eventname*
9. *usertxt*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPN0012W W *date time applid RTADEF defname*
用の通知が **APM** により {除去 | 解決} されました。コンテキスト=*plexname*、ターゲット=*targetsys*、**Sev**=*level*、リソース=*restype*、キー=*resname*、テキスト=*usertxt*。

説明: RTA 定義の未解決の外部通知が解決または除去されました。ここで、

action

通知に対して発生した内容を次のように示します。

RESOLVED

RTA 定義で記述された条件が真でなくなりました。

REMOVED

CICS システムがダウンしたため、RTA 定義で記述された条件をモニターできなくなりました。

defname

RTA 定義の名前です。

plexname

RTA 定義がインストールされた CICSplex を示します。

targetsys

通知の宛先を示します。CICS システム、CICS システム・グループまたは CICSplex の場合があります。

level

通知の重要度を示します。

restype

通知を適用するリソースのタイプを示します。

resname

通知を適用する特定のリソースを示します。

usertxt

APM 通知で使用するためにユーザーが定義したテキストです。

システムの処置: RTA 処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PNCN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=除去、
2=解決

5. *defname*
6. *plexname*
7. *targetsys*
8. *level*
9. *restype*
10. *resname*
11. *usertxt*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPN0013W W *date time applid {RTADEF | STATDEF}* *defname* 用の通知が **MRM** により {除去 | 解決} されました。コンテキスト=*plexname*、ターゲット=*targetsys*、**Sev**=*level*、リソース=*restype*、キー=*resname*、テキスト=*usertxt*。

説明: RTA 定義または状況定義の未解決の外部通知が解決または除去されました。ここで、

action

通知に対して発生した内容を次のように示します。

RESOLVED

定義で記述された条件が真でなくなりました。

REMOVED

CICS システムがダウンしたか、RTADEF が破棄されたため、定義で記述された条件をモニターできなくなりました。

deftype

定義のタイプを RTADEF または STATDEF として示します。

defname

定義の名前です。

plexname

定義がインストールされた CICSplex を示します。

targetsys

通知の宛先が単一の CICS システムであることを示します。

level

通知の重要度を示します。

restype

通知を適用するリソースのタイプを示します。

resname

通知を適用する特定のリソースを示します。

usertxt

MRM 通知で使用するためにユーザーが定義したテキストです。

システムの処置: RTA 処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PNCN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=除去、
2=解決

5. 以下のオプションから選択される値:

1=RTADEF、
2=STATDEF

6. *defname*
7. *plexname*
8. *targetsys*
9. *level*
10. *restype*
11. *resname*
12. *usertxt*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPN0014I I *date time applid* コンテキスト=*plexname*、ターゲット=*targetsys*、リソース=*restype*、キー=*resname*、**Evaldef**=*defname* のリソース変更が実行依頼されました。

説明: 指定されたリアルタイム分析評価定義で要求されたリソース変更が正常に完了しました。ここで、

plexname

変更が行われた CICSplex を示します。

targetsys

変更のターゲットが単一の CICS システムであることを示します。

restype

変更を適用するリソースのタイプを示します。

resname

変更を適用する特定のリソースを示します。

defname

変更が行われた評価定義の名前です。

システムの処置: RTA 処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PNAN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *plexname*
5. *targetsys*
6. *restype*
7. *resname*
8. *defname*

宛先: COLG

EYUPN0101E E *date time applid RTAACT* の初期化に失敗しました。

説明: RTA のアクション・サービス・サブコンポーネントを初期設定できませんでした。

システムの処置: RTA の初期設定は終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0PNIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPN0102E E *date time applid RTAACT* の終了に失敗しました。

説明: RTA のアクション・サービス・サブコンポーネントを終了する際にエラーが発生しました。

システムの処置: その他すべての RTA サブコンポーネントは、正常シャットダウンを試行します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0PNTM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPN0104E E *date time applid RTAACT* 長期実行タスクに失敗しました。

説明: RTA のアクション・サービス・サブコンポーネントの長期実行タスク (LRT) で、リカバリーできない問題が検出されました。

システムの処置: RTA は中止されます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0PNLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPN0105E E *date time applid RTAACT* 長期実行タスクが不明なイベント通知 (*nn*) を検出しました。イベントは無視されました。

説明: アクション・サービスの長期実行タスク (LRT) が非送信請求イベント・レコードを受け取りました。ここで、

nn

認識されなかったイベント通知 ID です。指定されたイベント通知 ID に基づいて、イベントを作成した CICSplex SM メソッドを判別することが可能です。

システムの処置: アクション・サービスはそのイベント・レコードを無視して処理を続行します。無効なイベント・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0PNLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nn*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPN0106W W *date time applid RTAACT* イベント {ENETCONN | ENETJOIN | EACTSERV} の処理に失敗しました。

説明: アクション・サービス・サブコンポーネントで、指定されたイベントの処理中に内部エラーが発生しました。*eventname* は、処理されているイベントを以下のいずれかとして示します。

EACTSERV

非同期処理を実行するために、RTA 長期実行タスク (LRT) が呼び出されました。

ENETCONN

隣接する CMAS の間に接続が確立されました。

ENETJOIN

CMAS 間に間接接続が確立されました。

システムの処置: アクション・サービスのイベント処理は続行されます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: イベント名をメモし、トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0PNLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*

4. 以下のオプションから選択される値:

1=ENETCONN、
2=ENETJOIN、
3=EACTSERV

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPN0107E E *date time applid* 内部イベント *eventname* が無効です。アクションは作成されていません。

説明: RTA システム使用可能性モニター (SAM) サブコンポーネントで使用されている内部イベント名、または RTADEF 定義または STATDEF 定義のデフォルトとして使用されている内部イベント名が無効でした。

システムの処置: 外部通知は作成されません。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0PNAN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *eventname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPN0108E E *date time applid* ユーザー提供の **ACTION** 定義名 *defname* が定義されていません。内部デフォルトが使用されます。

説明: RTADEF、STATDEF、または CICS SYS の定義に、データ・リポジトリ内に見つからないアクションの名前が含まれています。代わりに、内部デフォルト・アクションが使用されます。ここで、

defname

見つからなかったアクション定義の名前です。

システムの処置: RTA はデフォルト・アクションを使用し、処理を続行します。

ユーザーの処置: RTADEF、STATDEF、および CICS SYS のすべての定義にアクション名が正しく指定されていることを確認してください。既存のアクション定義のリストを表示するには、ACTNDEF ビューを使用します。必要に応じて、指定された名前での新規のアク

ション定義を作成してください。

モジュール: EYU0PNAN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *defname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPN0109E E *date time applid* コンテキスト
=plexname、ターゲット=*targetsys*、リソース=*restype*、キー=*resname*、
Evaldef=*defname* のリソース変更に失敗しました。**RESP**=*respcode*、
RESP2=*resp2code*、**EIBFN**=*eibrcode*、
ATTRIBUTE=*attrname*。

説明: CICSplex SM が EXEC CICS SET コマンドを発行して、指定されたリアルタイム分析評価定義で要求されたリソース変更を実行しようとした。しかし、指定された CICS システムの属性値が無効だったか、CICS が異常応答を返したため、変更は完了できませんでした。ここで、

plexname

変更が行われる予定だった CICSplex を示します。

targetsys

変更のターゲットが単一の CICS システムであることを示します。

restype

変更を適用するリソースのタイプを示します。

resname

変更を適用する特定のリソースを示します。

defname

変更を要求した評価定義の名前です。

respcode

EXEC CICS コマンドが失敗した場合は、**RESP**= 値です。EXEC CICS コマンドが発行される前に問題が発生した場合は、値 0 が戻されます。

resp2code

EXEC CICS コマンドが失敗した場合は、**RESP2**= 値です。EXEC CICS コマンドが発行される前に問題が発生した場合は、値 0 が戻されます。

eibrcode

EXEC CICS コマンドが失敗した場合は、**EIBRCODE**= 値です。EXEC CICS コマンドが発行される前に問題が発生した場合は、値 0 が戻されます。

attrname

EXEC CICS コマンドが発行される前に問題が発生した場合は、無効だったリソース属性の名前です。EXEC CICS コマンドが失敗した場合は、値 **N_A** が戻されます。

システムの処置: RTA 処理は続行されます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: EXEC CICS コマンドが発行される前に問題が発生した場合 (*attrname* 値で示されている場合)、システム・プログラミング・リファレンスのマニュアルを参照して、属性に対して有効な値および CICS リリースを判別してください。次に、EVALDEF ビューを使用して、評価定義を訂正してください。

EXEC CICS コマンドが失敗した場合 (*respcode*、*resp2code*、および *eibrcode* の値で示されている場合)、問題の発生時に発行された EXEC CICS SET コマンドの判別に、このメッセージの *restype* の値が役立ちます。例えば、*restype* の値が **LOCTRAN** の場合は、EXEC CICS SET TRANSACTION コマンドが発行されました。

発行された EXEC CICS コマンドを判別したら、そのコマンドの *respcode* および *resp2code* の値に関連付けられている説明に従ってください。特定の CICS コマンドの **RESP** 値、および **EIBRCODE** 値の説明については、「CICS システム・プログラミング・リファレンス」を参照してください。

モジュール: EYU0PNAN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *plexname*
5. *targetsys*
6. *restype*
7. *resname*
8. *defname*
9. *respcode*
10. *resp2code*
11. *eibrcode*
12. *attrname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPPnnnn メッセージ

EYUPP0001I I *date time applid* RTAAPM の初期化が完了しました。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUPP0002I I *date time applid* RTAAPM の終了が完了しました。

説明: RTA の分析点モニター・サブコンポーネントが終了しました。

システムの処置: RTA 終了は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PPTM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUPP0003I I *date time applid* 分析ポイント仕様 (*specname*) がコンテキスト (*plexname*) について正常にインストールされました。

説明: 指定の分析点仕様が、指定されたコンテキストおよびスコープに対してインストールされました。ここで、

specname

インストールされた仕様を示します。

plexname

仕様が適用する CICSplex を示します。

システムの処置: RTA 処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *specname*
5. *plexname*

宛先: COLG

EYUPP0004I I *date time applid* RTAAPM 長期実行タスクを終了しました。

説明: RTA の分析点モニター・サブコンポーネントの長期実行タスク (LRT) が終了しました。

システムの処置: RTA 終了は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PPLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUPP0005I I *date time applid* 分析ポイント仕様 (*specname*) が **CMAS** (*cmasname*) で正常に解放されました。

説明: 指定の分析点仕様は、指定された CMAS 内の処理から解放されました。1 次 CMAS または CICS SYSID がより小さい 2 次 CMAS のいずれかが使用できるようにになると、仕様が 2 次 CMAS から解放されます。ここで、

specname

解放された仕様を示します。

cmasname

仕様が解放された CMAS を示します。

システムの処置: 分析点仕様 新しい CMAS に自動的にインストールされます。RTA 処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PPRS

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *specname*
5. *cmasname*

宛先: COLG

EYUPP0006I I *date time applid* コンテキスト
(*plexname*) 有効範囲 (*sysname*) の
RTADEF (*defname*) が正常にインストール
されました。

説明: 指定された分析定義が、指定のコンテキストおよび
スコープにインストールされました。ここで、

defname

定義の名前です。

plexname

定義がインストールされた CICSplex を示しま
す。

sysname

定義がインストールされた CICS システムを示
します。

システムの処置: RTA 処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PPRI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *defname*
5. *plexname*
6. *sysname*

宛先: COLG

EYUPP0007I I *date time applid* コンテキスト
(*plexname*) 有効範囲 (*sysname*) での
APSPEC (*specname*) の **RTADEF**
(*defname*) が手動で正常に非活動化されま
した。

説明: 指定された分析定義が、指定のコンテキストおよ
びスコープ内で非活動化されました。ここで、

defname

定義の名前です。

specname

定義が非活動化された仕様名を示します。

plexname

定義が非活動化された CICSplex を示します。

sysname

定義が非活動化された CICS システムを示しま
す。

システムの処置: RTA 処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PGDD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *defname*
5. *specname*
6. *plexname*
7. *sysname*

宛先: COLG

EYUPP0008I I *date time applid* コンテキスト
(*plexname*) 有効範囲 (*sysname*) での
APSPEC (*specname*) の **RTADEF**
(*defname*) が手動で正常に再活動化されま
した。

説明: 指定された分析定義が、指定のコンテキストおよ
びスコープ内で再活動化されました。ここで、

defname

定義の名前です。

specname

定義が再活動化された仕様名を示します。

plexname

定義が再活動化された CICSplex を示します。

sysname

定義が再活動化された CICS システムを示しま
す。

システムの処置: RTA 処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PGDD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *defname*
5. *specname*
6. *plexname*
7. *sysname*

宛先: COLG

EYUPP0101E E *date time applid RTAAPM* の初期化に失敗しました。

説明: RTA の分析点モニター・サブコンポーネントを初期設定できませんでした。

システムの処置: RTA の初期設定は終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0PPIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPP0102E E *date time applid RTAAPM* の終了に失敗しました。

説明: RTA の分析点モニター・サブコンポーネントを終了する際にエラーが発生しました。

システムの処置: その他すべての RTA サブコンポーネントは、正常シャットダウンを試行します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0PPTM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPP0103I I *date time applid* 分析ポイント仕様 (*specname*) がコンテキスト (*plexname*) について正常にインストールされませんでした。

説明: 指定の分析点仕様の内部データ構造に使用可能なストレージが不足していたため、この仕様をインストールできませんでした。ここで、

specname

仕様の名前です。

plexname

仕様を適用する CICSplex を示します。

システムの処置: RTA 処理は続行されます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 問題の原因を判別するために、例外トレース・レコードを調べてください。

モジュール: EYU0PPAS

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *specname*
5. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPP0104E E *date time applid RTAAPM* 長期実行タスクに失敗しました。

説明: RTA の分析点モニター・サブコンポーネントの長期実行タスク (LRT) で、リカバリーできない問題が検出されました。

システムの処置: RTA は中止されます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0PPLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPP0105E E *date time applid RTAAPM* 長期実行タスクが不明なイベント通知 (*nn*) を検出しました。イベントは無視されました。

説明: 分析点モニターの長期実行タスク (LRT) が非送信請求イベント・レコードを受け取りました。ここで、

nn

認識されなかったイベント通知 ID です。指定されたイベント通知 ID に基づいて、イベントを作成した CICSplex SM メソッドを判別することが可能です。

システムの処置: 分析点モニターはそのイベント・レコードを無視して処理を続行します。無効なイベント・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0PPLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nn*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPP0107E E *date time applid* コンテキスト (*plexname*) 有効範囲 (*sysname*) での **APSPEC** *specname* の **RTADEF** (*defname*) のインストールに失敗しました。

説明: 指定された RTA 定義が、指定の分析点仕様に對してインストールできませんでした。ここで、

defname

定義の名前です。

specname

仕様の名前です。

plexname

RTA 定義がインストール中だった CICSplex を示します。

sysname

RTA 定義がインストール中だった CICS システムを示します。

システムの処置: RTA 処理は続行されます。ユーザ

ー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0PPRI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *defname*
5. *specname*
6. *plexname*
7. *sysname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPP0108E E *date time applid* 時間枠名 (*defname*) の登録に失敗しました。時間枠は定義されていません。

説明: RTA が、指定された時間枠にインタレストを登録しようとしたましたが、データ・リポジトリ内にその時間枠が定義されていません。ここで、

defname

見つからなかった時間枠の名前です。

システムの処置: RTA 処理は続行されます。時間枠を参照する RTADEF 定義は、その名前の時間枠が定義されるまでインストールされません。

ユーザーの処置: 時間枠名がすべての RTADEF 定義に正しく指定されていることを確認してください。既存の時間枠定義のリストを表示するには、PERIODEF ビューを使用します。必要に応じて、指定された名前での新規の時間枠定義を作成してください。

モジュール: EYU0PPRI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *defname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPP0109E E *date time applid* コンテキスト
(*plexname*) 有効範囲 (*sysname*) での
APSPEC *specname* の **RTADEF** (*defname*)
のインストールに失敗しました。{Evaldef
| リソース | 評価列} が {非検出 |
CICS リリースに対して無効 | リソー
ス・テーブルのバージョンに対して無効}
です。

説明: 分析定義を分析点仕様にインストールしようとし
ました。有効な評価定義 (EVALDEF) の関連付けが定義
にないため、インストールは失敗しました。ここで、

defname

インストールできなかった分析定義の名前で
す。

specname

分析定義をインストール中だった分析点仕様の
名前です。

plexname

分析定義がインストール中だった CICSplex を
示します。

sysname

分析定義がインストール中だった CICS システ
ムを示します。

description

これは、以下の追加テキストのいずれかです。

- 評価列がリソース・テーブルのバージョンに
対して無効です (Evaluation column
invalid for version of resource table)
- リソースが CICS リリースに対して無効で
す (Resource not valid for CICS Release)
- Evaldef が非検出です (Evaldef not found)

システムの処置: RTA 処理は続行されます。

ユーザーの処置: 適切な評価定義を作成し、分析定義に
関連付けてから、その分析定義を再インストールしてく
ださい。

モジュール: EYU0PPRI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *defname*

5. *specname*
6. *plexname*
7. *sysname*
8. 以下のオプションから選択される値:

1=Evaldef、
2=リソース、
3=評価列

9. 以下のオプションから選択される値:

1=非検出、
2=CICS リリースに対して無効、
3=リソース・テーブルのバージョンに対して無効

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPP0110E E *date time applid* コンテキスト
(*plexname*) 有効範囲 (*sysname*) での
APSPEC *specname* の **RTADEF** (*defname*)
はすでにインストールされています。破棄
して再インストールしてください。

説明: 指定の分析点仕様に対して、分析定義を CICS
システムにインストールしようとしたますが、指定され
た定義は既にインストールされています。ここで、

defname

定義の名前です。

specname

仕様の名前です。

plexname

分析定義がインストール中だった CICSplex を
示します。

sysname

分析定義がインストール中だった CICS システ
ムを示します。

システムの処置: RTA 処理は続行されます。

ユーザーの処置: 分析定義が最後のインストール以降に
更新されている場合は、更新された定義をインストール
する前に、アクティブな定義を破棄する必要があります。
APACTV ビュー (システム・プログラミング・リ
ファレンスを参照) を使用して、稼働中の CICS システ
ムから定義を破棄してください。

定義が更新されていない場合、再インストールは不要で
す。定義は CICS システムで既にアクティブです。

モジュール: EYU0PPRI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *defname*
5. *specname*

6. *plexname*
7. *sysname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPRnnnn メッセージ

EYUPR0001I I *date time applid RTAALZ* の初期化が完了しました。

説明: RTA の分析サービス・サブコンポーネントが正常に初期設定されました。

システムの処置: RTA の初期設定は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PRIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUPR0002I I *date time applid RTAALZ* の終了が完了しました。

説明: RTA の分析サービス・サブコンポーネントが終了しました。

システムの処置: RTA 終了は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PRTM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUPR0004I I *date time applid RTAALZ* 長期実行タスクを終了しました。

説明: RTA の分析サービス・サブコンポーネントの長期実行タスク (LRT) が終了しました。

システムの処置: RTA 終了は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PRLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUPR0101E E *date time applid RTAALZ* の初期化に失敗しました。

説明: RTA の分析サービス・サブコンポーネントを初期設定できませんでした。

システムの処置: RTA の初期設定は終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0PRIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPR0102E E *date time applid RTAALZ* の終了に失敗しました。

説明: RTA の分析サービス・サブコンポーネントを終了する際にエラーが発生しました。

システムの処置: その他すべての RTA サブコンポーネントは、正常シャットダウンを試行します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0PRTM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPR0104E E *date time applid RTAALZ* 長期実行タスクに失敗しました。

説明: RTA の分析サービス・サブコンポーネントの長期実行タスク (LRT) で、リカバリーできない問題が検出されました。

システムの処置: RTA は中止されます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0PRLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPSnnnn メッセージ

EYUPS0001I I *date time applid RTASAM* の初期化が完了しました。

説明: RTA のシステム使用可能性モニター・サブコンポーネントが正常に初期設定されました。

システムの処置: RTA の初期設定は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PSIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

ポーネントの長期実行タスク (LRT) が終了しました。

システムの処置: RTA 終了は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PSLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUPS0002I I *date time applid RTASAM* の終了が完了しました。

説明: RTA のシステム使用可能性モニター・サブコンポーネントが終了しました。

システムの処置: RTA 終了は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PSTM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUPS0101E E *date time applid RTASAM* の初期化に失敗しました。

説明: RTA のシステム使用可能性モニター・サブコンポーネントを初期設定できませんでした。

システムの処置: RTA の初期設定は終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0PSIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPS0004I I *date time applid RTASAM* 長期実行タスクを終了しました。

説明: RTA のシステム使用可能性モニター・サブコン

EYUPS0102W W *date time applid RTASAM* の終了に失敗しました。

説明: RTA のシステム使用可能性モニター・サブコン

ポーネントを終了する際にエラーが発生しました。

システムの処置: その他すべての RTA サブコンポーネントは、正常シャットダウンを試行します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0PSTM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPS0104E E *date time applid RTASAM* 長期実行タスクに失敗しました。

説明: RTA のシステム使用可能性モニター・サブコンポーネントの長期実行タスク (LRT) で、リカバリーできない問題が検出されました。

システムの処置: RTA は中止されます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0PSLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPS0105E E *date time applid RTASAM* 長期実行タスクが不明なイベント通知 (*nn*) を検出しました。イベントは無視されました。

説明: システム使用可能性モニターの長期実行タスク (LRT) が非送信請求イベント・レコードを受け取りました。ここで、

nn

認識されなかったイベント通知 ID です。指定されたイベント通知 ID に基づいて、イベントを作成した CICSplex SM メソッドを判別することが可能です。

システムの処置: システム使用可能性モニターはそのイベント・レコードを無視して処理を続行します。無効なイベント・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0PSLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nn*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPS0106W W *date time applid RTASAM* イベント {EMASSTRT | EMASJOIN | EMASSTOP | EMASICK | EMASWELL | ENETCONN | ENETJOIN | ENETDISC | ENETEXIT | EPLEXCHG | EDEFCHG | ESAMCNTL | ETIMECHG | ERTADCHG | ECSYSCHG | ELSIGNAL | EMASMNSS} の処理に失敗しました。

説明: システム使用可能性モニター・サブコンポーネントで、指定されたイベントの処理中に内部エラーが発生しました。ここで、

eventname

処理されているイベントを以下のいずれかとして示します。

EDEFCHG

アクティブな CMAS での即時処理を必要とするデータ・リポジトリ・レコードが変更されました。

ELSIGNAL

ローカル MAS が CICS システム・ダンプを取得しています。

EMASCNTL

RTA システム使用可能性モニター (SAM) サブコンポーネントが、分析点仕様 (APSPEC) に対する変更を報告しました。

EMASJOIN

MAS が、その MAS を管理する CMAS への接続を確立しました。

EMASSICK

MAS で以下のいずれかの障害状態が発生しています。

- CICS システム・ダンプ
- CICS トランザクション・ダンプ
- CICS DSA のストレージ不足
- 最大タスク限度に到達した
- CICS システムが停止した

EMASSTOP

MAS が、その MAS を管理する CMAS から切断されました。

EMASSTRT

MAS が、その保守ポイント CMAS への接続を確立しました。

EMASWELL

以前に報告された障害状態から MAS がリカバリーしました。

ENETCONN

隣接する CMAS の間に接続が確立されました。

ENETDISC

CMAS が隣接する CMAS から切断されました。

ENETEXIT

CMAS が、間接的に接続されていた別の CMAS から切断されました。

ENETJOIN

CMAS 間に間接接続が確立されました。

EPLEXCHG

CICSplex の管理で CMAS が追加または除去されたか、CICSplex 自体が除去されました。

ETIMECHG

CMAS または CICS システムの時間帯属性が変更されました。

システムの処置: システム使用可能性モニターのイベン

ト処理は続行されます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: イベント名をメモし、トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0PSLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=EMASSTRT、
2=EMASJOIN、
3=EMASSTOP、
4=EMASSICK、
5=EMASWELL、
6=ENETCONN、
7=ENETJOIN、
8=ENETDISC、
9=ENETEXIT、
10=EPLEXCHG、
11=EDEFCHG、
12=ESAMCNTRL、
13=ETIMECHG、
14=ERTADCHG、
15=ECSYSCHG、
16=EL SIGNAL、
17=EMASMNSS

宛先: コンソールおよび COLG

EYUPS0107W W *date time applid* 時間枠 (*defname*)
が未定義のため、**RTASAM** は **CICS** システム (*sysname*) をモニターできません。

説明: RTA のシステム使用可能性モニター・サブコンポーネントが、指定された CICS システムの可用性をモニターできません。これは、そのシステムに関連付けられている時間枠が定義されていないためです。ここで、

sysname

モニターできなかった CICS システムを示します。

defname

見つからなかった時間枠定義の名前です。

システムの処置: システム使用可能性モニターの処理は続行されますが、指定された CICS システムはモニターされません。

ユーザーの処置: 時間枠名が CICS SYS ビューまたは

MAS ビューに正しく指定されていることを確認してください。PERIODEF ビューを使用すると、既存の時間枠定義のリストを表示でき、必要に応じて新規の時間枠定義を作成できます。MAS ビューを更新して有効な時間枠名を含めると、システム使用可能性モニターが自動的に開始します。CICSSYS ビューを変更して MAS ビューを更新しない場合、システム使用可能性モニターを有効にするには、CICS システムを再始動する必要があります。

モジュール: EYU0PSCC、EYU0PSLT、EYU0PSRC

EYUPTnnnn メッセージ

EYUPT0001I I *date time applid* {RTASAM | RTAAPM | RTAMRM | RTAACT | RTAALZ | RTAEVL} 終了が要求されました。

説明: RTA は、指定された CICSplex SM の終了を開始しました。ここで、

subcompid

終了しているサブコンポーネントを示します。RTA サブコンポーネントは、以下の順序で終了します。

1.
MAS リソース・モニター (RTAMRM)
2.
分析点モニター (RTAAPM)
3.
システム使用可能性モニター (RTASAM)
4.
分析サービス (RTAALZ)
5.
評価サービス (RTAEVL)
6.
アクション・サービス (RTAACT)

システムの処置: RTA 終了は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PTRM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=RTASAM、

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysname*
5. *defname*

宛先: コンソールおよび COLG

2=RTAAPM、
3=RTAMRM、
4=RTAACT、
5=RTAALZ、
6=RTAEVL

宛先: COLG

EYUPT0002I I *date time applid* **RTA** の終了が完了しました。

説明: すべての RTA サブコンポーネントが終了しました。

システムの処置: CMAS の終了が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0PTRM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUPT0101W W *date time applid* **RTA** の終了に失敗しました。

説明: 1 つ以上の RTA サブコンポーネントを終了する際にエラーが発生しました。

システムの処置: CMAS の終了が続行されます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0PTRM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTInnnn メッセージ

EYUTI0002E E *date time applid* トポロジー長期実行タスク (**TRANID**={*TICT* | *TIRT* | *TIST*}) の呼び出しに失敗しました。

説明: トポロジー・サービスに対して指定された長期実行タスク (*LRT*) を開始しようとしたのですが、失敗しました。ここで、

tranid

LRT を以下のいずれかとして示します。

TICT

トポロジー・サービスのマップ変更
LRT

TIRT

トポロジー・サービスの *RODM* マネージャー *LRT*

TIST

トポロジー・サービス *LRT*

システムの処置: *CMAS* の初期設定は終了します。ユーザー・トレース・レコードが *CICS* トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 問題の原因を判別するために、例外トレース・レコードを調べてください。

モジュール: *EYU0TIML*

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=*TICT*、
2=*TIRT*、
3=*TIST*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTI0003E E *date time applid* トポロジーの初期化に失敗しました。

説明: トポロジー・サービス・コンポーネントを初期設定できませんでした。

システムの処置: *CMAS* の初期設定は終了します。ユーザー・トレース・レコードが *CICS* トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードと、このメッセージより前に発行されたメッセージを調べて、問題の原因を判別してください。

モジュール: *EYU0TIML*

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTI0004I I *date time applid* トポロジーの初期化が完了しました。

説明: トポロジー・サービス・コンポーネントが正常に初期設定されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: *EYU0TIST*

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUTI0008E E *date time applid CICSplex plexname* の作成に失敗しました。

説明: 指定された *CICSplex* のデータ構造の作成中に問題が発生しました。ここで、

plexname

データ構造が作成できなかった *CICSplex* を示します。

システムの処置: 処理を続行します。ユーザー・トレース・レコードが *CICS* トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 問題の原因を判別するために、例外トレース・レコードを調べてください。

モジュール: *EYU0TIPC*

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTI0009I I *date time applid sysname* のトポロジー・ウォーム・スタートを開始しました。
APPLID (*applid*) **CICSplex** (*plexname*)。

説明: CMAS CICSplex SM トポロジー・コンポーネントはウォーム・スタートしており、CICSplex *plexname* 内の CICS システム *sysname* の MAS 情報をリカバリーしました。この MAS は現在、CICSplex *plexname* への再接続を試行しています。

システムの処置: 処理を続行します。

注: データ・リポジトリ同期が実行される際、トポロジー・ウォーム・スタート処理を実行している MAS はアクティブと見なされます。MAS の通常のトポロジー接続は、後で CMAS 初期設定中に行われます、

ユーザーの処置: なし。ただし、CICSplex *plexname* の保守ポイント CMAS 内で発行されたメッセージ EYUCP0207E が原因で以前に失敗したデータ・リポジトリ同期を完了しようとする場合を除きます。詳細については、メッセージ EYUCP0207E のユーザー応答を参照してください。

モジュール: EYU0TIWS

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysname*
5. *applid*
6. *plexname*

宛先: COLG

EYUTI0200W W *date time applid NetView PPI* モジュールをロードできませんでした。
NetView サポートは使用できません。

説明: 初期設定時、トポロジー・サービスは、NetView サブシステム・インターフェース・モジュール、CNMNETV をロードできませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。ただし、NetView RODM インターフェースのサポートは使用できません。

ユーザーの処置: モジュール CNMNETV が以下のいずれかの場所にあることを確認してください。

•

NetView との通信を試行していた CMAS の STEPLIB 連結

•

MVS リンク・リスト

•

LPA ライブラリー

それから、CMAS をシャットダウンして再始動します。

モジュール: EYU0TIML

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTI0500E E *date time applid CICSplex cicsplex*
PLATDEF *platdef* でファイル *filename* が
見つかりません。

説明: プラットフォーム *platdef* のインストール・プロセス中に UNIX システム・サービス・ファイルが見つかりませんでした。

システムの処置: プラットフォームはインストールされません。

ユーザーの処置: プラットフォーム・バンドルが正しくエクスポートされていることを確認してください。プラットフォーム・ディレクトリーがプラットフォーム定義に正しく指定されていることを確認してください。

モジュール: EYU0TADX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cicsplex*
5. *platdef*
6. *filename*

宛先: COLG

EYUTI0501E E *date time applid CICSplex cicsplex*
PLATDEF *platdef* でのファイル *filename*
の許可エラー。

説明: 許可エラーが原因で、プラットフォーム *platdef* のインストール・プロセス中に UNIX システム・サービス・ファイルをオープンすることができませんでした。

EYUTI0502E E • EYUTI0506E E

システムの処置: プラットフォームはインストールされません。

ユーザーの処置: UNIX システム・サービスのファイル権限が適切に設定されていることを確認してください。

モジュール: EYU0TADX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cicsplex*
5. *platdef*
6. *filename*

宛先: COLG

EYUTI0502E E *date time applid CICSplex cicsplex*
PLATDEF *platdef* で空のファイル
filename が見つかりました。

説明: プラットフォーム *platdef* 用の UNIX システム・サービス・ファイルが空であることが検出されました。

システムの処置: プラットフォームはインストールされません。

ユーザーの処置: プラットフォーム・バンドルが正しくエクスポートされていることを確認してください。

モジュール: EYU0TADX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cicsplex*
5. *platdef*
6. *filename*

宛先: COLG

EYUTI0503E E *date time applid CICSplex cicsplex*
PLATDEF *platdef* でファイル *filename* に対するコード・ページ変換エラーが発生しました。

説明: UNIX システム・サービス・ファイルの内容が、プラットフォーム *platdef* 用にコード・ページ変換できません。

システムの処置: プラットフォームはインストールされません。

ユーザーの処置: プラットフォーム・バンドルが正しくエクスポートされていることを確認してください。

モジュール: EYU0TADX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cicsplex*
5. *platdef*
6. *filename*

宛先: COLG

EYUTI0504E E *date time applid CICSplex cicsplex*
PLATDEF *platdef* でファイル *filename* には無効な **XML** が検出されました。

説明: プラットフォーム *platdef* 用の UNIX システム・サービス・ファイルの内容が解析できません。

システムの処置: プラットフォームはインストールされません。この問題の詳細を記述したメッセージ DFHPI1007 またはメッセージ DFHPI1009 が発行されます。

ユーザーの処置: プラットフォーム・バンドルが正しくエクスポートされていることを確認してください。

モジュール: EYU0TADX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cicsplex*
5. *platdef*
6. *filename*

宛先: COLG

EYUTI0506E E *date time applid CICSplex cicsplex*
PLATDEF *platdef* にプラットフォーム・バインディングが指定されていないバンドル *bundleid bundleversion* が含まれています。

説明: プラットフォーム・バンドルおよびデプロイメント・バンドルは、プラットフォーム *platdef* に対して一致していません。

システムの処置: プラットフォームはインストールされません。

ユーザーの処置: プラットフォーム・バンドルおよびデ

プロイメント・バンドルが正しくエクスポートされていることを確認してください。

モジュール: EYU0TADX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cicsplex*
5. *platdef*
6. *bundleid*
7. *bundleversion*

宛先: COLG

EYUTI0507E E *date time applid CICSplex cicsplex*
PLATDEF *platdef* でファイル *filename* に
 無効なバージョン番号 *version* が見つかり
 ました。サポートされるバージョンは
version です。

説明: UNIX システム・サービス・ファイルの内容
 が、プラットフォーム *platdef* に対して誤ったバージョ
 ンです。

システムの処置: プラットフォームはインストールされ
 ません。

ユーザーの処置: プラットフォーム・バンドルが正しく
 エクスポートされていることを確認してください。

モジュール: EYU0TADX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cicsplex*
5. *platdef*
6. *version*
7. *filename*
8. *version*

宛先: COLG

EYUTI0508E E *date time applid CICSplex cicsplex*
PLATDEF *platdef* の *parameter* がロケー
 ション *directory* で見つかりませんでし
 た。

説明: プラットフォーム *platdef* のバンドル・ディレク
 トリーが見つかりませんでした。

システムの処置: プラットフォームはインストールされ
 ません。

ユーザーの処置: プラットフォーム・バンドルが正しく
 エクスポートされていることを確認してください。

モジュール: EYU0TADX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cicsplex*
5. *platdef*
6. *parameter*
7. *directory*

宛先: COLG

EYUTI0509E E *date time applid CICSplex cicsplex*
PLATDEF *platdef* のバンドル *bundleid*
bundleversion に未使用のバインディング
 が含まれています。

説明: 未使用のバインディングが、プラットフォーム
platdef のバンドルに対して見つかりました。

システムの処置: プラットフォームはインストールされ
 ません。

ユーザーの処置: プラットフォーム・バンドルが正しく
 エクスポートされていることを確認してください。

モジュール: EYU0TADX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cicsplex*
5. *platdef*
6. *bundleid*
7. *bundleversion*

宛先: COLG

EYUTI0510E E *date time applid CICSplex cicsplex*
PLATDEF *platdef* に *version* 番号がゼロ
 より小さいバンドル *bundleid* に対する参
 照が含まれています。

説明: プラットフォーム *platdef* にゼロ未満のバージョ
 ン番号が見つかりました。

EYUTI0511E E • EYUTI0513E E

システムの処置: プラットフォームはインストールされません。

ユーザーの処置: プラットフォーム・バンドルが正しくエクスポートされていることを確認してください。

モジュール: EYU0TADX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cicsplex*
5. *platdef*
6. *bundleid*
7. *version*

宛先: COLG

EYUTI0511E E *date time applid CICSplex cicsplex*
PLATDEF *platdef* ファイル *filename* は予期しない領域タイプ *regiontype* を定義します。

説明: 領域タイプの *regiontype* が *regionTypes.xml* ファイル *filename* に定義されていますが、*platform.xml* ファイルで宣言されていません。

システムの処置: プラットフォームはインストールされません。

ユーザーの処置: *regionType regiontype* を *regionTypes.xml* ファイルから除去するか、この領域タイプを *platform.xml* ファイル *filename* に追加して、プラットフォーム・バンドルをエクスポートしなおしてください。

モジュール: EYU0TADX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cicsplex*
5. *platdef*
6. *filename*
7. *regiontype*

宛先: COLG

EYUTI0512E E *date time applid CICSplex cicsplex*
PLATDEF *platdef* ファイル *filename* に領域タイプ *regiontype* の定義がありません。

説明: 領域タイプの *regiontype* が *regionTypes.xml* ファイル *filename* に定義されていませんが、*platform.xml* ファイルで宣言されています。

システムの処置: プラットフォームはインストールされません。

ユーザーの処置: 定義されていない領域タイプを *regionTypes.xml* ファイルに追加して、プラットフォーム・バンドルをエクスポートしなおしてください。

モジュール: EYU0TADX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cicsplex*
5. *platdef*
6. *filename*
7. *regiontype*

宛先: COLG

EYUTI0513E E *date time applid CICSplex cicsplex*
PLATDEF *platdef* ファイル *filename* に領域タイプ *regiontype* の重複定義があります。

説明: *regiontype* という名前の領域タイプが、*regionTypes.xml* ファイル *filename* に複数定義されています。

システムの処置: プラットフォームはインストールされません。

ユーザーの処置: 重複する領域タイプを除去または名前変更して、プラットフォーム・バンドルをエクスポートしなおしてください。

モジュール: EYU0TADX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cicsplex*
5. *platdef*
6. *filename*

7. *regiontype*

宛先: COLG

EYUTI0514E E *date time applid CICSplex cicsplex*
PLATDEF *platdef* ファイル *filename* に領域タイプが含まれていません。

説明: 1 つ以上の領域タイプを *platform.xml* ファイル *filename* に定義する必要があります。

システムの処置: プラットフォームはインストールされません。

ユーザーの処置: 1 つ以上の領域タイプを *regionTypes.xml* ファイル *filename* に追加し、プラットフォーム・バンドルをエクスポートしなおしてください。

モジュール: EYU0TADX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cicsplex*
5. *platdef*
6. *filename*

宛先: COLG

EYUTI0515E E *date time applid CICSplex cicsplex*
PLATDEF *platdef* ファイル *filename* は、属性 *attribute* に無効な値を含む領域 *region* を定義します。

説明: 領域 *region* の CICS 領域定義で、属性 *attribute* に対して無効な値が指定されています。

システムの処置: プラットフォームはインストールされません。

ユーザーの処置: CICS 領域定義を訂正して、プラットフォーム・バンドルをエクスポートしなおしてください。

モジュール: EYU0TADX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cicsplex*
5. *platdef*
6. *filename*
7. *region*

8. *attribute*

宛先: COLG

EYUTI0516E E *date time applid CICSplex cicsplex*
PLATDEF *platdef* ファイル *filename* は、領域 *region* に適用できない領域タイプ *regiontype* 属性 *attribute* のモデルを含みます。

説明: *regionTypes.xml* ファイル *filename* 内の領域タイプ *regiontype* の領域タイプ仕様に、CICS 領域 *region* が受け入れられない属性値が含まれていました。これは、その属性値が CICS 領域定義に指定された属性値と互換性がないか、CICS 領域を共用する別の領域タイプに指定された属性値と互換性がないためです。

システムの処置: プラットフォームはインストールされません。

ユーザーの処置: 指定された領域の CICS 領域定義内の属性値を訂正するか、領域タイプ仕様内の属性値と同じ値に設定して、プラットフォーム・バンドルをエクスポートしなおしてください。

モジュール: EYU0TADX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cicsplex*
5. *platdef*
6. *filename*
7. *regiontype*
8. *attribute*
9. *region*

宛先: COLG

EYUTI0517E E *date time applid CICSplex cicsplex*
PLATDEF *platdef* ファイル *filename* は、作成された領域タイプ *regiontype* の領域タイプ・リンクを含みません。

説明: 領域タイプ *regiontype* に対する領域タイプ・リンクが、*regionTypeLinks.xml* ファイル *filename* に見つかりませんでした。

システムの処置: プラットフォームはインストールされません。

ユーザーの処置: 領域タイプの領域タイプ・リンクを作成された領域に追加し、プラットフォーム・バンドルをエクスポートしなおしてください。

モジュール: EYU0TADX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cicsplex*
5. *platdef*
6. *filename*
7. *regiontype*

宛先: COLG

EYUTI0518E E *date time applid CICSplex cicsplex*
PLATDEF *platdef* ファイル *filename* は、
 採用された領域タイプ *regiontype* および
 作成された領域 *region* の領域タイプ・リ
 ンクを含みます。

説明: 採用された領域タイプ *regiontype* および作成さ
 れた領域 *region* の領域タイプ・リンクが、
regionTypeLinks.xml ファイル *filename* に見つかりま
 した。採用された領域タイプに領域タイプ・リンクを定
 義することはできません。

システムの処置: プラットフォームはインストールされ
 ません。

ユーザーの処置: 採用された領域タイプの指定された領
 域タイプ・リンクを除去して、プラットフォーム・バン
 ドルをエクスポートしなおしてください。

モジュール: EYU0TADX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cicsplex*
5. *platdef*
6. *filename*
7. *regiontype*
8. *region*

宛先: COLG

EYUTI0519E E *date time applid CICSplex cicsplex*
PLATDEF *platdef* ファイル *filename* は、
 作成された領域ではないものの、作成され
 た領域タイプと共用される領域 *region* を
 含みます。

説明: *regions.xml* ファイル *filename* に定義された領

域 *region* は、作成された領域タイプと共用できませ
 ン。これは、作成された領域タイプがプラットフォーム
 用に作成されなかったためです。作成された領域タイプ
 と共用できるのは、作成された領域のみです。

システムの処置: プラットフォームはインストールされ
 ません。

ユーザーの処置: 作成された領域タイプから領域を除去
 するか、既存の CICS 領域定義を CICSplex から除去
 して、プラットフォーム・バンドルをエクスポートしな
 おします。

モジュール: EYU0TADX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cicsplex*
5. *platdef*
6. *filename*
7. *region*

宛先: COLG

EYUTI0520E E *date time applid CICSplex cicsplex*
PLATDEF *platdef* ファイル *filename* に領
 域 *region* の重複定義があります。

説明: *region* という名前の CICS 領域が、*regions.xml*
 ファイル *filename* に複数定義されています。

システムの処置: プラットフォームはインストールされ
 ません。

ユーザーの処置: 重複する CICS 領域定義を除去また
 は訂正して、プラットフォーム・バンドルをエクスポー
 トしなおしてください。

モジュール: EYU0TADX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cicsplex*
5. *platdef*
6. *filename*
7. *region*

宛先: COLG

EYUTI0521E E *date time applid CICSplex cicsplex*
PLATDEF platdef ファイル *filename* に、
 領域 **ID** *regionid* および領域名 *region* を
 指定した重複領域リンク定義があります。

説明: 同じ *regionid* および *region* を持つ領域リンク
 が、*regionTypeLinks.xml* ファイル *filename* に複数定
 義されています。

システムの処置: プラットフォームはインストールされ
 ません。

ユーザーの処置: 重複する領域リンクを除去または名前
 変更して、プラットフォーム・バンドルをエクスポート
 しておしてください。

モジュール: EYU0TADX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cicsplex*
5. *platdef*
6. *filename*
7. *regionid*
8. *region*

宛先: COLG

EYUTI0522E E *date time applid CICSplex cicsplex*
PLATDEF platdef ファイル *filename* は、
 作成された領域タイプ *regiontype* および
 領域 *region* の領域タイプ・リンクを含み
 ます。領域タイプはありません。

説明: 作成された領域タイプ *regiontype* の領域タイ
 プ・リンクが、*regionTypeLinks.xml* ファイル *filename*
 に見つかりました。指定された領域タイプは、プラッ
 トフォームに定義されていませんでした。

システムの処置: プラットフォームはインストールされ
 ません。

ユーザーの処置: 領域タイプをプラットフォームに確実
 に追加して、プラットフォーム・バンドルをエクスポ
 ートしておしてください。

モジュール: EYU0TADX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cicsplex*

5. *platdef*
6. *filename*
7. *regiontype*
8. *region*

宛先: COLG

EYUTI0523E E *date time applid CICSplex cicsplex*
PLATDEF platdef ファイル *filename* は、
 作成された領域タイプ *regiontype* および
 領域 *region* の領域タイプ・リンクを含み
 ます。領域はありません。

説明: 作成された領域タイプ *regiontype* および領域
region の領域タイプ・リンクが、*regionTypeLinks.xml*
 ファイル *filename* に見つかりました。指定された CICS
 領域は、プラットフォームの *regions.xml* ファイルに定
 義されていませんでした。

システムの処置: プラットフォームはインストールされ
 ません。

ユーザーの処置: CICS 領域をプラットフォームに確実
 に追加して、プラットフォーム・バンドルをエクスポ
 ートしておしてください。

モジュール: EYU0TADX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cicsplex*
5. *platdef*
6. *filename*
7. *regiontype*
8. *region*

宛先: COLG

EYUTI0524E E *date time applid CICSplex cicsplex*
PLATDEF platdef ファイル *filename* は、
 サポートされていない属性 *attribute* を指
 定する領域タイプ *regiontype* のモデルを
 含みます。

説明: 領域タイプ・モデルでサポートされていない属性
attribute を指定する領域タイプ・モデル *regiontype* が、
regionTypes.xml ファイル *filename* に定義されていま
 す。領域タイプ・モデルに指定できる属性は、
 AINSFAIL、AUTOINST、DYNROUTE、および
 WLMSTATUS です。

システムの処置: プラットフォームはインストールされません。

ユーザーの処置: 指定された領域タイプからサポートされていない領域属性を除去して、プラットフォーム・バンドルをエクスポートしなおしてください。

モジュール: EYU0TADX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cicsplex*
5. *platdef*
6. *filename*
7. *regiontype*
8. *attribute*

宛先: COLG

EYUTI0525E E *date time applid CICSplex cicsplex*
PLATDEF platdef ファイル *filename* は、作成された領域 *region* のリンクを含みません。

説明: 作成された領域 *region* の領域タイプ・リンクが、**regionTypes.xml** ファイル *filename* に定義されていません。

システムの処置: プラットフォームはインストールされません。

ユーザーの処置: 定義されていない領域タイプ・リンクを領域 *region* に定義して、プラットフォーム・バンドルをエクスポートしなおしてください。

モジュール: EYU0TADX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cicsplex*
5. *platdef*
6. *filename*
7. *region*

宛先: COLG

EYUTI0526E E *date time applid CICSplex cicsplex*
PLATDEF platdef ファイル *filename* に含まれているバンドル *bundleid* のデプロイメント規則は、プラットフォームの **regionTypes.xml** ファイルに定義されていない領域タイプ *regiontype* を参照しています。

説明: プラットフォームの **regionTypes.xml** ファイルに定義されていない領域タイプ *regiontype* が、**deployment.xml** ファイル *filename* 内のバンドル *bundleid* のデプロイメント規則によって参照されています。

システムの処置: プラットフォームはインストールされません。

ユーザーの処置: 定義されていない領域タイプを **regionTypes.xml** ファイルに追加して、プラットフォーム・バンドルをエクスポートしなおしてください。

モジュール: EYU0TADX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cicsplex*
5. *platdef*
6. *filename*
7. *bundleid*
8. *regiontype*

宛先: COLG

EYUTI0527E E *date time applid CICSplex cicsplex*
PLATDEF platdef ファイル *filename* は、属性 **DAYLGHTSV**、**TMEZONE**、および **TMEZONEO** の値の無効な組み合わせを指定する領域 *region* を定義しています。

説明: 領域 *region* の CICS 領域定義に、属性 **DAYLGHTSV**、**TMEZONE**、および **TMEZONEO** の値の無効な組み合わせが指定されています。3 つの属性をすべて **INHERIT** に設定するか、すべて有効な値に設定する必要があります。

システムの処置: プラットフォームはインストールされません。

ユーザーの処置: CICS 領域定義を訂正して、プラットフォーム・バンドルをエクスポートしなおしてください。

モジュール: EYU0TADX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cicsplex*
5. *platdef*
6. *filename*
7. *region*

宛先: COLG

EYUTI0528E E *date time applid CICSplex cicsplex*
PLATDEF *platdef* ファイル *filename* は、
 既に **CICSplex** でアクティブな領域
region を定義します。

説明: 領域 *region* の領域定義に、**CICSplex cicsplex** で
 既にアクティブな領域が指定されています。この領域

EYUTSnnnn メッセージ

EYUTS0001I I *date time applid sysname* のトポロジ
 ー {接続 | 切断 | 結合} を開始しまし
 た。 **APPLID** (*applid*) **CICSplex**
 (*plexname*)。

説明: トポロジー・サービスが、指定された **CICS** シ
 ステムの通信エンドポイント・イベントの処理を開始し
 ました。ここで、

event

イベントを以下のいずれかとして示します。

接続

MAS (**CICS** システム) とその保守ポ
 イント CMAS との間の物理接続。

結合

MAS (**CICS** システム) と別の CMAS
 との間の論理接続。

切断

保守ポイント CMAS からの MAS
 (**CICS** システム) の切断。

sysname

CICS システムの MAS 名を示します。

applid

CICS システムの **APPLID** を示します。

plexname

は、削除された **CSYSDEF** レコードに関連付けられて
 いる場合があります。

システムの処置: プラットフォームはインストールされ
 ません。

ユーザーの処置: **CICS** 領域を停止して、プラットフォ
 ームのインストールを再試行してください。

モジュール: EYU0TADX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cicsplex*
5. *platdef*
6. *filename*
7. *region*

宛先: COLG

CICS システムが処理されている **CICSplex** を
 示します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0TSSC、EYU0TSSE、EYU0TSSJ。

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=接続、
 2=切断、
 3=結合

5. *sysname*
6. *applid*
7. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0002E E *date time applid sysname* のトポロジ
 ー {接続 | 切断 | 結合} に失敗しまし
 た。 **APPLID** (*applid*) **CICSplex**
 (*plexname*)。

説明: 指定された **CICS** システムに対してトポロジ
 ー・サービスが処理していた通信エンドポイント・イベ

ントが完了できませんでした。ここで、

event

イベントを以下のいずれかとして示します。

接続

MAS (CICS システム) とその保守ポイント CMAS との間の物理接続。

結合

MAS (CICS システム) と別の CMAS との間の論理接続。

切断

保守ポイント CMAS からの MAS (CICS システム) の切断。

sysname

CICS システムの MAS 名を示します。

applid

CICS システムの APPLID を示します。

plexname

CICS システムが処理されている CICSplex を示します。

システムの処置: 処理を続行します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 問題の原因を判別するために、例外トレース・レコードを調べてください。

モジュール: EYU0TSCI, EYU0TSMJ, EYU0TSSC, EYU0TSSE, EYU0TSSJ

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=接続、
2=切断、
3=結合

5. *sysname*

6. *applid*

7. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0003I I *date time applid sysname* のトポロジー {接続 | 切断 | 結合} が完了しました。**APPLID (applid) CICSplex (plexname)**。

説明: トポロジー・サービスが、指定された CICS システムの通信エンドポイント・イベントを完了しました。ここで、

event

イベントを以下のいずれかとして示します。

接続

MAS (CICS システム) とその保守ポイント CMAS との間の物理接続。

結合

MAS (CICS システム) と別の CMAS との間の論理接続。

切断

保守ポイント CMAS からの MAS (CICS システム) の切断。

sysname

CICS システムの MAS 名を示します。

applid

CICS システムの APPLID を示します。

plexname

CICS システムが処理されている CICSplex を示します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0TSSC, EYU0TSSE, EYU0TSSJ

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=接続、
2=切断、
3=結合

5. *sysname*

6. *applid*

7. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0004I I *date time applid* トポロジーは
sysname がすでにアクティブであることを
検出しました。

説明: トポロジー・サービスは、MAS エージェントが
既にアクティブだったため、指定された CICS システム
の通信エンドポイント・イベントを処理できませんで
した。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0TSSC、EYU0TSSJ、EYU3TSIM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysname*

宛先: COLG

EYUTS0005E E *date time applid* トポロジー
{CICSplex | スcope} データ構造が改ざ
んされています。

説明: CICSplex または CICS システムのトポロジー・
サービスのデータ・キャッシュ構造は、信頼性がなくな
りました。ここで、

type

エラーになっているデータ構造のタイプを
CICSplex またはスコープとして示します。

システムの処置: 処理を続行します。ユーザー・トレ
ース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書
き込まれます。

ユーザーの処置: 影響を受けた CMAS をシャットダウ
ンして再始動します。問題の原因を判別するために、例
外トレース・レコードを調べてください。問題が解決し
ない場合は、トレース・レコードおよび関連するメッセ
ージを収集して、IBM サポートにお問い合わせくださ
い。

モジュール: EYU0TSFD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=CICSplex、
2=スコープ

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0006I I *date time applid CICSplex plexname*
のトポロジー {追加 | 除去 | 更新} を開
始しました。

説明: トポロジー・サービスが、CMAS の CICSplex
変更イベントの処理を開始しました。ここで、

event

イベントを以下のいずれかとして示します。

- 追加
- 更新
- 除去

plexname

影響を受ける CICSplex を示します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0TSPA、EYU0TSPD、EYU0TSPU

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=追加、
2=除去、
3=更新

5. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0007E E *date time applid CICSplex plexname*
のトポロジー {追加 | 除去 | 更新} に失
敗しました。

説明: CMAS に対してトポロジー・サービスが処理し
ていた CICSplex 変更イベントが完了できませんで
した。ここで、

event

イベントを以下のいずれかとして示します。

- 追加
-

更新

•

除去

plexname

影響を受ける CICSplex を示します。

システムの処置: 処理を続行します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 問題の原因を判別するために、例外トレース・レコードを調べてください。

モジュール: EYU0TSPA、EYU0TSPD、EYU0TSPU

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=追加、
2=除去、
3=更新

5. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0008I I *date time applid CICSplex plexname*
のトポロジー {追加 | 除去 | 更新} が完了しました。

説明: トポロジー・サービスが、CMAS の CICSplex 変更イベントを完了しました。ここで、

event

イベントを以下のいずれかとして示します。

•

追加

•

更新

•

除去

plexname

影響を受ける CICSplex を示します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0TSPA、EYU0TSPD、EYU0TSPU

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=追加、
2=除去、
3=更新

5. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0009E E *date time applid CICS* システム・グループ *grpname* が見つかりません。

説明: 現行スコープである、指定された CICS システム・グループがトポロジー・サービスに認識されていないため、要求されたトポロジー・アクションを処理できませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: CICS システム・グループ名が正しく指定されていることを確認してください。CICS システム・グループの存在が認識されている場合は、例外トレース・レコードを調べて、問題の原因を判別してください。

モジュール: EYU0TSFD、EYU0TSGR、EYU0TIBS

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *grpname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0010E E *date time applid sysname* を {接続 | 結合 | 検出} できません。(**Unable to {Connect | Join | locate} *sysname*.)**CICSplex *plexname* が不明です。

説明: イベントのコンテキストである、指定された CICSplex がトポロジー・サービスに認識されていないため、指定された CICS システムの通信エンドポイント・イベントを処理できませんでした。ここで、

event

イベントを以下のいずれかとして示します。

接続

MAS (CICS システム) とその保守ポイント CMAS との間の物理接続。

結合

MAS (CICS システム) と別の CMAS との間の論理接続。

切断

保守ポイント CMAS からの MAS (CICS システム) の切断。

システムの処置: 処理を続行します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 問題の原因を判別するために、例外トレース・レコードを調べてください。

モジュール: EYU0TSSC、EYU0TSSJ、EYU0TSST

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=接続、
2=結合、
3=検出

5. *sysname*
6. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0011E E *date time applid sysname* を {接続 | 結合 | 検出} できません。(Unable to {Connect | Join | locate} sysname.)CICS システム *sysname* が不明です。

説明: イベントのスコープである、CICS システムがトポロジー・サービスに認識されていないため、指定された CICS システムの通信エンドポイント・イベントを処理できませんでした。ここで、

event

イベントを以下のいずれかとして示します。

接続

MAS (CICS システム) とその保守ポイント CMAS との間の物理接続。

結合

MAS (CICS システム) と別の CMAS との間の論理接続。

切断

保守ポイント CMAS からの MAS (CICS システム) の切断。

システムの処置: 処理を続行します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 問題の原因を判別するために、例外トレース・レコードを調べてください。

モジュール: EYU0TSSC、EYU0TSSJ、EYU0TSST

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=接続、
2=結合、
3=検出

5. *sysname*
6. *sysname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0012E E *date time applid CICSplex plexname* が見つかりません。

説明: 現行コンテキストである、指定された CICSplex がトポロジー・サービスに認識されていないため、要求されたトポロジー・アクションを処理できませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: CICSplex 名が正しく指定されていることを確認してください。CICSplex の存在が認識されている場合は、例外トレース・レコードを調べて、問題の原因を判別してください。

複雑な CICSplex 環境では、新たにアップグレードされた CMAS によってメッセージ EYUCP0012E とメッセージ EYUTS0012E のインスタンスが繰り返し発行されることがあります。これは、影響を受ける CMAS をリサイクルすることで解消できます。

モジュール: EYU0TSFD, EYU0TSGA, EYU0TSGR, EYU0TSPR, EYU0TSPU, EYU0TSSA, EYU0TSSR, EYU0TSSU

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0013E E *date time applid CICS* システム
sysname が見つかりません。

説明: 現行スコープである、指定された CICS システムがトポロジー・サービスに認識されていないため、要求されたトポロジー・アクションを処理できませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: CICS システム名が正しく指定されていることを確認してください。CICS システムの存在が認識されている場合は、例外トレース・レコードを調べて、問題の原因を判別してください。

モジュール: EYU0TSGR、EYU0TSSR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0014E E *date time applid sysname* に接続できません。リソース・トポロジーが収集されていません。

説明: 必要なリソース・トポロジー・データが MAS によって提供されなかったため、指定された CICS システムの接続に失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 問題の原因を判別するために、例外トレース・レコードを調べてください。

モジュール: EYU0TSRA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0015I I *date time applid CICS* システム
sysname のトポロジー {追加 | 除去 | 更新} を開始しました。

説明: トポロジー・サービスが、CMAS の CICS システムの変更イベントの処理を開始しました。ここで、

event

イベントを以下のいずれかとして示します。

- 追加
- 更新
- 除去

sysname

影響を受ける CICS システムを示します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0TSSA、EYU0TSSD、EYU0TSSU

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=追加、
2=除去、
3=更新

5. *sysname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0016E E *date time applid CICS* システム
sysname のトポロジー {追加 | 除去 | 更新} に失敗しました。

説明: CMAS に対してトポロジー・サービスが処理していた CICS システムの変更イベントが完了できませんでした。ここで、

event

イベントを以下のいずれかとして示します。

- 追加
- 更新

- 除去

sysname

影響を受ける CICS システムを示します。

システムの処置: 処理を続行します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 問題の原因を判別するために、例外トレース・レコードを調べてください。

モジュール: EYU0TSSA、EYU0TSSD、EYU0TSSU

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=追加、
2=除去、
3=更新

5. *sysname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0017I I *date time applid* **CICS** システム
sysname のトポロジー {追加 | 除去 | 更新} が完了しました。

説明: トポロジー・サービスは、CMAS の CICS システムの変更イベントを完了しました。ここで、

event

イベントを以下のいずれかとして示します。

- 追加
- 更新
- 除去

sysname

影響を受ける CICS システムを示します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0TSSA、EYU0TSSD、EYU0TSSU

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=追加、
2=除去、
3=更新

5. *sysname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0018I I *date time applid* システム・グループ
grpname のトポロジー {追加 | 除去} を開始しました。

説明: トポロジー・サービスが、CMAS の CICS システム・グループの変更イベントの処理を開始しました。ここで、

event

イベントを以下のいずれかとして示します。

- 追加
- 除去

grpname

影響を受ける CICS システム・グループを示します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0TSGA、EYU0TSGD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=追加、
2=除去

5. *grpname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0019E E *date time applid* システム・グループ
grpname のトポロジー {追加 | 除去} に失敗しました。

説明: CMAS に対してトポロジー・サービスが処理し

EYUTS0020I I • EYUTS0021E E

ていた CICS システム・グループの変更イベントが完了できませんでした。

event

イベントを以下のいずれかとして示します。

- 追加
- 除去

grpname

影響を受ける CICS システム・グループを示します。

システムの処置: 処理を続行します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 問題の原因を判別するために、例外トレース・レコードを調べてください。

モジュール: EYU0TSGA、EYU0TSGD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=追加、
2=除去

5. *grpname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0020I I *date time applid* システム・グループ *grpname* のトポロジー {追加 | 除去} が完了しました。

説明: トポロジー・サービスは、CMAS の CICS システム・グループの変更イベントを完了しました。ここで、

event

イベントを以下のいずれかとして示します。

- 追加
- 除去

grpname

影響を受ける CICS システム・グループを示します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0TSGA、EYU0TSGD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=追加、
2=除去

5. *grpname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0021E E *date time applid* **CICS** システム *sysname* のトポロジー {接続 | 結合} が {MAS リソース・インストール | リモート MAS リソース・マップ・ビルド | リソース・トポロジー収集 | トポロジー・リソース・マップ取得} のタイムアウトのために失敗しました。

説明: 指定された CICS システムの接続または結合に失敗しました。ここで、

event

試行されたイベントを「接続」または「結合」として示します。

sysname

CICS システムを示します。

type

発生したタイムアウト条件のタイプを以下のいずれかとして示します。

リソース・トポロジー収集

ローカル MAS の接続中に、リソース・トポロジーの要求がタイムアウトになりました。

トポロジー・リソース・マップ取得

MAS の結合中に、CMAS からトポロジー・リソース・マップを取得する要求がタイムアウトになりました。

システムの処置: CICS システムは実行を続けますが、CICSplex SM に認識されていません。MAS エージェント・コードは CICS システムでアクティブですが、指定されたタイムアウト障害のため、CICSplex SM は CICS システムを管理できません。

ユーザーの処置: 影響を受けた CICS システムをシャットダウンして再始動します。

モジュール: EYU0TSMJ、EYU0TSRA、EYU0TSSC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=接続、
 2=結合

5. *sysname*
6. 以下のオプションから選択される値:

1=MAS リソース・インストール、
 2=リモート MAS リソース・マップ・ビルド、
 3=リソース・トポロジー収集、
 4=トポロジー・リソース・マップ取得

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0022E E *date time applid* トポロジーが
 {CONNECTION | DSNNAME | FEPI
 CONNECTION | FILE | GLOBAL
 USER EXIT | JOURNAL |
 MODENAME | PROGRAM | SYSTEM
 DUMPCODE | TRAN DUMPCODE |
 TDQUEUE | TERMINAL |
 TRANSACTION | TASK RELATED
 USER EXIT} リソース・マップを管理で
 きません。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=CONNECTION、
 2=DSNNAME、
 3=FEPI CONNECTION、
 4=FILE、
 5=GLOBAL USER EXIT、
 6=JOURNAL、

7=MODENAME、
 8=PROGRAM、
 9=SYSTEM DUMPCODE、
 10=TRAN DUMPCODE、
 11=TDQUEUE、
 12=TERMINAL、
 13=TRANSACTION、
 14=TASK RELATED USER EXIT

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0023E E *date time applid CICS* システム
sysname のトポロジー接続を開始していま
 せん。**CPSM**データ・リポジトリ
CSYSDEFおよび**MAS**の**SysId**が一致しま
 せん。 **APPLID**(*applid*)
CICSplex(*plexname*)。

説明: CICS システム定義で指定された SYSIDNT が、
 SYSIDNT SIT パラメーターに指定された SYSIDNT と
 一致しないため、トポロジー・サービスは、指定された
 CICS システムの接続を処理できませんでした。ここ
 で、

sysname

CICS システムの MAS 名を示します。

applid

CICS システムの APPLID を示します。

plexname

CICS システムが処理されている CICSplex を
 示します。

システムの処置: 処理は続行されますが、CICS システ
 ムは CICSplex SM で管理できません。

ユーザーの処置: CICS システム定義を更新するか、正
 しい SYSIDNT を SIT に指定してください。

モジュール: EYU0TIST

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysname*
5. *applid*
6. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0024I I *date time applid mas* トポロジー接続
は **CICSplex** *plexname* の **BAS** の初期化
が完了するのを待っています。

説明: MAS のトポロジー接続の処理中、ここで、

mas

MAS の名前です。

リソースは BAS によってインストールが必要と判別
されましたが、BAS は CICSplex のデータ構造をまだ初
期化していません。ここで、

plexname

CICSplex の名前です。

システムの処置: BAS が CICSplex の初期設定を完了
する (EYULOG メッセージ EYUBI0005I) か、MAS 初
期設定時間 (MASINITTIME EYUPARM で指定) の有
効期限が切れるまで、MAS の接続処理は待機します。

ユーザーの処置: MAS 接続が失敗しない限り、ユーザ
ーの応答は必要ありません。(EYULOG メッセージの
EYUBI0004I および EYUBI0005I でまとめられている)
CICSplex の BAS の初期化が、MAS で許容されている
初期設定時間 (MAS の MASINITTIME EYUPARM で
指定) を超えたために接続処理が失敗した場合は、MAS
の MASINITTIME EYUPARM を増やす必要がありま
す。CICSplex の BAS の初期化が失敗した (メッセー
ジ EYUBI0102E) ために接続プロセスが失敗した場合
は、メッセージ EYUBI0102E のコメントに従って BAS
の障害を追跡する必要があります。

モジュール: EYU0TSCI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mas*
5. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0025I I *date time applid masname* のトポロジ
ー {接続 | 結合} が {切断要求 | MAS
非アクティブ (MAS not active)} により強
制終了されました。 **APPLID** (*applid*)
CICSplex (*plexname*)。

説明: トポロジー接続またはトポロジー結合の処理中に
MAS に対する切断要求が受信されたか、MAS がアク
ティブでなくなったために、トポロジー接続またはトポ
ロジー結合の要求を終了しています。

システムの処置: 接続または結合の要求は終了します。

ユーザーの処置: 切断要求が受信されたことをメッセー
ジが示す場合、これは、接続または結合の処理中に、
MAS がシャットダウンされているか、MAS エージェ
ントが終了しているためです。

MAS がアクティブでないことをメッセージが示す場
合、これは結合要求であり、MAS が接続された CMAS
は、MAS がアクティブでなくなったか、その MAS エ
ージェントがアクティブでなくなったことを示します。

これが予期したものでない場合は、MAS のジョブ・ロ
グを調べて理由を判別してください。

モジュール: EYU0TSCI , EYU0TSMJ , EYU0TSMK ,
EYU0TSSC , EYU0TSSJ

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=接続、
2=結合

5. *masname*
6. 以下のオプションから選択される値:

1=切断要求、
2=MAS 非アクティブ (MAS not active)

7. *applid*
8. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0026I I *date time applid* ユーザー *ins#1* が
MAS *ins#2* に対して **FORCEDISCON**
アクションを発行しました。 **APPLID**
(*ins#3*) **CICSplex** (*ins#4*)。

説明: 指定されたユーザーが、指定された MAS に対
して MAS リソース・テーブル **FORCEDISCON** アク
ションを正常に発行しました。ユーザー ID が
Internal の場合は、内部 CICSplex SM 処理の結果
としてアクションが生成されました。

システムの処置: MAS の ESSS 接続は終了します。そ
して、このメッセージが発行されて、このアクションの
要求側が文書化されます。

ユーザーの処置: なし。ただし、ユーザーが
Internal である場合を除きます。その場合は、アク
ションが発行された理由を判別するために、MAS およ

びこのメッセージを発行した CMAS から完全なジョブ出力と AUXTRACE データ・セット、および MAS または CMAS によってこの時点で作成されたすべてのダンプを収集して、日本 IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0TSUM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ins#1*
5. *ins#2*
6. *ins#3*
7. *ins#4*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0027I I *date time applid* プラットフォーム
pltname のトポロジー {追加 | 除去} が
開始しました。

説明: トポロジー・サービスが、CMAS のプラットフォームの変更イベントを開始しました。ここで、

event

イベントを以下のいずれかとして示します。

- 追加
- 除去

pltname

影響を受けるプラットフォームを示します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0TSFA、EYU0TSFD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=追加、
2=除去
5. *pltname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0028E E *date time applid* プラットフォーム
pltname のトポロジー {追加 | 除去} が
失敗しました。

説明: CMAS に対してトポロジー・サービスが処理していたプラットフォームの変更イベントが完了できませんでした。ここで、

event

イベントを以下のいずれかとして示します。

- 追加
- 除去

pltname

影響を受けるプラットフォームを示します。

システムの処置: 処理を続行します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 問題の原因を判別するために、例外トレース・レコードを調べてください。

モジュール: EYU0TSFA、EYU0TSFD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=追加、
2=除去
5. *pltname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0029I I *date time applid* プラットフォーム
pltname のトポロジー {追加 | 除去} が
完了しました。

説明: トポロジー・サービスが、CMAS のプラットフォームの変更イベントを完了しました。ここで、

event

イベントを以下のいずれかとして示します。

- 追加
- 除去

pltname

影響を受けるプラットフォームを示します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0TSFA、EYU0TSFD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=追加、
2=除去

5. *pltname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0030I I *date time applid* トポロジー **RODM** マネージャーが **NetView** に登録されました。

説明: トポロジー・サービスの長期実行タスク (LRT) タスクが **NetView** に送信側および受信側のプログラムとして正常に登録されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0TIRT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0031I I *date time applid (rodname)* の受信側プログラムがアクティブです。

説明: トポロジー・サービスが、指定された **RODM** サブシステムの **CICSplex SM NetView OS** タスク受信側プログラム (EYU9Tnnn) がアクティブであると判別しました。ここで、*rodname* は、データが取り込まれる **RODM** サブシステムの名前です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0TIRT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *rodname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0032I I *date time applid* **NetView** サブシステムが非アクティブです。5分以内に再度照会します。

説明: **NetView** サブシステムが現在アクティブではありません。サブシステムがアクティブになるまで、トポロジー・サービスは 5 分間隔で **NetView** の照会を続行します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0TIRT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0033I I *date time applid* **NetView** のリリースがユーザー要求をサポートしていません。

説明: **MVS** イメージ内でアクティブであることが判明した **NetView** のリリースは、**NetView RODM** に対する **CICSplex SM** インターフェースをサポートしていません。**CICSplex SM** インターフェースには、**NetView** バージョン 2.4 以降が必要です。

システムの処置: トポロジー・サービス処理は続行されます。ただし、**RODM** 関連の要求は受け入れられません。

ユーザーの処置: **RODM** に対して **CICSplex SM** インターフェースを使用する場合は、**NetView 2.4** 以降にアップグレードする必要があります。

モジュール: EYU0TIRT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0034I I *date time applid (rodmname)* の受信側プログラムが非アクティブまたは未定義です。5分以内に再度照会します。

説明: 指定された RODM サブシステムの CICSplex SM OS タスク受信側プログラム (EYU9Tnnn) が現在アクティブでないか、NetView プログラム間インターフェース (PPI) に定義されていません。ここで、

rodmname

データが取り込まれる RODM サブシステムの名前です。

受信側プログラムがアクティブになるまで、トポロジー・サービスは 5 分間隔で NetView の照会を続行します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0TIRT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *rodmname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0035E E *date time applid* トポロジー RODM マネージャー **NetView PPI** 要求に失敗しました。要求タイプ=*nnnn*、**RC**=*rcode*。

説明: トポロジー・サービス要求が NetView プログラム間インターフェースに送信されましたが、要求は失敗しました。ここで、

nnnn

発行されたトポロジー要求の数値 ID です。

rcode

NetView 戻りコードです。

システムの処置: NetView に対するトポロジー・サービス・インターフェースは終了します。

ユーザーの処置: NetView PPI 戻りコードの説明については、Tivoli Netview for z/OS アプリケーション・プログラマーズ・ガイドを参照してください。問題の原因が不明な場合は、CMAS ジョブ・ログおよび NetView メッセージが発行される場所に依りて、NetView ネットワーク・ログまたは MVS システム・ログのいずれかを収集します。それから、IBM サポー

トにお問い合わせください。

モジュール: EYU0TIRT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nnnn*
5. *rcode*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0036E E *date time applid* 非互換 **CPSM** バージョンでの **CMAS (cmas)**。RODM レポートが無効になりました。

説明: 指定された CMAS が、NetView のトポロジー・サービス・エージェントと接続しようとしていました。しかし、CMAS は、トポロジー・サービス・エージェントと異なるリリースの CICSplex SM を実行しています。ここで、

cmas

トポロジー・サービスに接続しようとしていた CMAS を示します。

システムの処置: 指定された CMAS は NetView のトポロジー・サービス・エージェントに認識されていません。CMAS は、CMAS のリソースに関して RODM に報告できません。

ユーザーの処置: 指定された CMAS を RODM インターフェースに参加させる場合は、その CMAS がトポロジー・サービス・エージェントと同じリリースの CICSplex SM を実行している必要があります。

モジュール: EYU0TIRT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cmas*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0050I I *date time applid plexname/sysname {カ
 ップリング・ファシリティー MDT |
 CICS MDT | 接続 | Dsname |
 ExtraTDQ | FEPICConn | ExitGLUE |
 IntraTDQ | ジャーナル | LocFile |
 LocTran | プログラム | RemFile |
 RemTDQ | RemTran | 端末 |
 ExitTRUE | ユーザー MDT}: resname 状
 態 <status>。*

説明: 指定されたリソースの操作状態が報告されていま
 す。ここで、

plexname

CICSplex の名前です。

sysname

リソースが定義されている CICS システムの名
 前です。

restype

リソースのタイプです。

resname

リソースの名前です。

status

リソースの現在の操作状態です。

CICSplex SM システム・パラメーター

RESSTATUS(MSG) が CMAS 始動ジョブに指定されて
 いると、このようなリソース状況メッセージが発行され
 ます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0TREH

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

4. *plexname*

5. *sysname*

6. 以下のオプションから選択される値:

1=カップリング・ファシリティーMDT、

2=CICS MDT、

3=接続、

4=Dsname、

5=ExtraTDQ、

6=FEPICConn、

7=ExitGLUE、

8=IntraTDQ、

9=ジャーナル、

10=LocFile、

11=LocTran、

12=プログラム、

13=RemFile、

14=RemTDQ、

15=RemTran、

16=端末、

17=ExitTRUE、

18=ユーザー MDT

7. *resname*

8. *status*

宛先: COLG

EYUTS0051I I *date time applid plexname/sysname {カ
 ップリング・ファシリティー MDT |
 CICS MDT | 接続 | Dsname |
 ExtraTDQ | FEPICConn | ExitGLUE |
 IntraTDQ | ジャーナル | LocFile |
 LocTran | プログラム | RemFile |
 RemTDQ | RemTran | 端末 |
 ExitTRUE | ユーザー MDT}: resname 状
 態 <status>。*

説明: 指定されたリソースの操作状態が報告されていま
 す。ここで、

plexname

CICSplex の名前です。

sysname

リソースが定義されている CICS システムの名
 前です。

restype

リソースのタイプです。

resname

リソースの名前です。

status

リソースの現在の操作状態です。

CICSplex SM システム・パラメーター

RESSTATUS(CONMSG) が CMAS 始動ジョブに指定さ
 れていると、このようなリソース状況メッセージが発行
 されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0TREH

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *plexname*
5. *sysname*
6. 以下のオプションから選択される値:

1=カップリング・ファシリティーMDT、
 2=CICS MDT、
 3=接続、
 4=Dsname、
 5=ExtraTDQ、
 6=FEPIConn、
 7=ExitGLUE、
 8=IntraTDQ、
 9=ジャーナル、
 10=LocFile、
 11=LocTran、
 12=プログラム、
 13=RemFile、
 14=RemTDQ、
 15=RemTran、
 16=端末、
 17=ExitTRUE、
 18=ユーザー MDT

7. *resname*
8. *status*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0060I I *date time applid Topology ResMap*
Hardening 長期実行タスクの初期化が完了しました。

説明: トポロジー・サービス・リソース・マップ確定の長期実行タスクが初期化を完了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0TSMH

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUTS0061I I *date time applid Topology ResMap*
Hardening 長期実行タスクの終了が完了しました。

説明: トポロジー・サービス・リソース・マップ確定の長期実行タスクが終了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: CMAS がシャットダウンされている場合は、なし。CMAS がシャットダウンされていない場合は、このメッセージの前に発行されたメッセージ EYUTS0062E に説明されている処置を実行してください。

モジュール: EYU0TSMH

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUTS0062E E *date time applid Topology ResMap*
Hardening 長期実行タスク・エラー。

説明: トポロジー・サービス・リソース・マップ確定の長期実行タスクがエラーを検出しました。

システムの処置: トポロジー・サービス・リソース・マップ確定の長期実行タスクの続行が試行されます。

10 件のエラーからリカバリーした後、さらにエラーが発生する場合、タスクは終了します。

ユーザーの処置: CMAS トレース・レコード、ジョブ・ログ、および EYULOG を収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0TSMH

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTS0063E E *date time applid CICS* システム・グループへの変更を処理中に、トポロジーがエラーを検出しました。

説明: CICS システム・グループに対する CICS システムの追加または除去の処理時、その変更に関するトポロジー更新の実行中に CMAS がエラーを検出しました。

システムの処置: データ・リポジトリの更新は完了し

EYUTT0001I I • EYUVC1001I I

ましたが、トポロジー更新の実行と、モニター、RTA、WLM、および BAS の各コンポーネントが変更のサポートを行う必要がある他の変更の実行は行われませんでした。

ユーザーの処置: ダンプも取られます。ダンプ・タイトルは、次のようになります。

EYU0XZPT Dump,cmasjobn,cmasname,lpar,CMAS,TIST,tasknum,TRAC,EYU0TSEC,date,time

ダンプおよび CMAS の完全なジョブ出力および AUXTRACE データ・セットを収集して、日本 IBM サービス・センターにお問い合わせください。

CMAS のジョブ・ログ内のこのメッセージに先立って、EYUXD0002E メッセージにトポロジーによって異

常終了となった変更が示されています。その変更が CMAS の現行の実行中に必要な場合は、CMAS は再始動する必要があります。その時点で、CMAS 初期設定中にトポロジーが要求を適切に処理するようになります。

モジュール: EYU0TSEC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTTnnnn メッセージ

EYUTT0001I I *date time applid* トポロジーの終了が完了しました。

説明: トポロジー・サービス・コンポーネントが終了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0TSTM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

説明: トポロジー・サービス・コンポーネントを終了する際にエラーが発生しました。一部のリソースが解放されていない可能性があります。

システムの処置: 処理を続行します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 問題の原因を判別するために、例外トレース・レコードを調べてください。

モジュール: EYU0TSTM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUTT0002E E *date time applid* トポロジーの終了に失敗しました。

EYUVCnnnn メッセージ

EYUVCnnnn メッセージは、インターフェースの操作中の状況を反映する、Web ユーザー・インターフェース・クライアントのメッセージです。これらのメッセージは、ユーザーの Web ブラウザーに書き込まれます。

EYUVC1000I I ユーザー *userid* によるサインオンが正常に行われました。最終アクセスは、日付 *date* 時刻 *time* です。パスワードの有効期限は、あと *nn* 日です。

説明: 指定されたユーザーのサインオンが、示された日時に正常に行われました。

システムの処置: セッションは続行されます。

ユーザーの処置: なし。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1001I I ユーザー *userid* によるサインオンが正常に行われました。最終アクセスは、日付 *date* 時刻 *time* です。

説明: 指定されたユーザーのサインオンが、示された日時に正常に行われました。

システムの処置: セッションは続行されます。

ユーザーの処置: なし。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1002I I ユーザー名を入力してください。

説明: サインオンにはユーザー名が必要です。

システムの処置: サインオンは中断されます。入力フォームがユーザーに提示されます。

ユーザーの処置: フォームにユーザー名を入力し、「サインオン」を押します。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1003I I パスワードを入力してください。

説明: サインオンにはパスワードが必要です。

システムの処置: サインオンは中断されます。入力フォームがユーザーに提示されます。

ユーザーの処置: フォームにパスワードを入力し、「サインオン」を押します。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1004E E ユーザー名が無効です。再試行してください。

説明: サインオンのフォームに、無効なユーザー名が入力されました。

システムの処置: サインオンは中断されます。入力フォームがユーザーに提示されます。

ユーザーの処置: フォームに正しいユーザー名を入力し、「サインオン」を押します。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1005E E パスワードが無効です。再試行してください。

説明: サインオンのフォームに、無効なパスワードが入力されました。

システムの処置: サインオンは中断されます。入力フォームがユーザーに提示されます。

ユーザーの処置: フォームに正しいパスワードを入力し、「サインオン」を押します。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1006E E ユーザー名が取り消されたため、サインオンは失敗しました。

説明: ユーザー ID を使用してサインオンを行おうとしましたが、そのユーザー ID は外部セキュリティ・マネージャーによって取り消されました。

システムの処置: サインオンは中断されます。入力フォームがユーザーに提示されます。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: 外部セキュリティ・マネージャーにおけるそのユーザー ID の状況を確認し、必要ならば復元処理を行います。

宛先:

EYUVC1007E E パスワードの有効期限が切れています。旧パスワードを再入力し、新規のパスワードを入力、さらに同じ新規パスワードを確認入力してください。

説明: パスワードは、外部セキュリティ・マネージャーによって有効期限切れとされています。

システムの処置: サインオンは中断されます。入力フォームがユーザーに提示されます。

ユーザーの処置: 旧パスワードを再入力し、新規のパスワードを「新規パスワード」および「新規パスワードの確認」フィールドの両方に入力して、「サインオン」を押します。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1008E E 「新規パスワード」フィールドと「新規パスワードの確認」フィールドが一致しません。再試行してください。

説明: パスワードを変更しようとしたが、「新規パスワード」フィールドと「新規パスワードの確認」フィールドに入力したパスワードが異なります。

システムの処置: サインオンは中断されます。入力フォームがユーザーに提示されます。

ユーザーの処置: 旧パスワードを再入力し、新規のパスワードを「新規パスワード」および「新規パスワードの確認」フィールドの両方に入力して、「サインオン」を押します。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1009E E ユーザー (*userid*) のサインオンは失敗しました。(CICS 情報 :
RESP(*response1*), **RESP2**(*response2*),
EIBFN(*eibfn*)) (外部セキュリティ管理プログラム情報 : **ESMRESP**(*esmresp*),
ESMREASON(*esmreason*))

説明: サインオン処理が、異常な理由により失敗しました。

システムの処置: サインオンは終了します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: EIBFN 値を確認し、CICS と外部セキュリティ・マネージャーのマニュアルを参照してください。問題が解決しない場合は、AUXTRACE とコンソール・ログを収集し、IBM サービス技術員に連絡してください。

宛先:

EYUVC1010E E 新規のパスワードは受け入れできませんでした。再試行してください。

説明: パスワードを変更しようとしたが、変更後の値が外部セキュリティ・マネージャーによって拒否されました。

システムの処置: サインオンは中断されます。入力フォームがユーザーに提示されます。

ユーザーの処置: 旧パスワードを再入力し、新規のパスワードを「新規パスワード」および「新規パスワードの確認」フィールドの両方に入力して、「サインオン」を押します。新規パスワードは、外部セキュリティ・マネージャーの規則に準拠する必要があります。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1011E E ユーザー環境を作成できません。ユーザーはすでにサインオンしています。

説明: サインオンしようとしたが、そのユーザー ID に対してアクティブなセッションが既にありました。この原因には以下のようなことが考えられます。

- このワークステーションまたは別のワークステーションの、別のブラウザで既にサインオンされている。
- 以前に「サインオフ」リンクを最初に選択しないで、すべてのブラウザ・ウィンドウをクローズしてしまった。
- 使用しているブラウザが、以前サインオンしたときに Web ユーザー・インターフェースから引き渡された Cookie を受け入れなかった。

システムの処置: サインオンは中断されます。入力フォームがユーザーに提示されます。

ユーザーの処置: 現在サインオンされているブラウザに戻るか、「再接続」オプションを指定してもう一度サインオンします。また、使用しているブラウザが Web ユーザー・インターフェースから引き渡された cookie を受け入れる構成になっていることを確認してください。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1012E E ユーザー環境を作成できません。最大ユーザー限度に達しました。

説明: サインオンしようとしたが、サーバーに対して既に最大数のユーザーがサインオンされています。

システムの処置: サインオンは中断されます。入力フォームがユーザーに提示されます。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: 次のような処置が考えられます。

- いずれかのユーザーにログオフしてもらう。
- 必要に応じて、COVC でユーザーをパーージする。
- MAXUSERS パラメーターの値を増やし、サーバーを再始動する。

宛先:

EYUVC1013E E ユーザー環境を作成できません。ユーザー・タスクを開始できませんでした。

説明: サインオン処理が失敗しました。

システムの処置: サインオンは終了します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: EYULOG に書き込まれる関連メッセージを参照してください。

宛先:

EYUVC1014E E ユーザー環境を作成できません。ユーザー・タスクの作成中に障害が発生しました。

説明: サインオン処理が失敗しました。

システムの処置: サインオンは終了します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: EYULOG に書き込まれる関連メッセージを参照してください。

宛先:

EYUVC1015I I ユーザー (*userid*) のサインオンが完了しました。

説明: 指定されたユーザーのサインオンが正常に行われました。

システムの処置: セッションは続行されます。

ユーザーの処置: なし。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1016I I ユーザー名を確認してください。

説明: URL に指定されたユーザー名でサインオンが開始されました。ユーザー名を確認してください。

システムの処置: サインオンは中断されます。入力フォームがユーザーに提示されます。

ユーザーの処置: フォームのユーザー名を確認 (必要に応じて訂正) し、「サインオン」を押します。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1017E E ユーザー・タスクによる **CICSplex SM** への接続が失敗しました。

説明: CICSplex SM への接続を指定されたユーザー名に対して行うことができなかったため、サインオン処理が失敗しました。

システムの処置: サインオンは終了します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: EYULOG に書き込まれる関連メッセージを参照してください。

宛先:

EYUVC1018I I *CICS_good_morning_message*

説明: 現行の CICS '始動メッセージ' がこのメッセージ内に表示されます。このメッセージは、Web ユーザー・インターフェース・サーバー・パラメーター GMMTEXTMSG によって、サインオンの前後どちらにでも表示できます。GMMTEXTMSG サーバー・パラメーターは、以下のように設定できます。

- NO - EYUVC1018I メッセージは、表示されません。
- YES - EYUVC1018I メッセージは、サインオンの前と後に表示されます。
- BEFORE - EYUVC1018I メッセージは、サインオンの前に表示されます。

- AFTER - EYUVC1018I メッセージは、サインオンの後に表示されます。

システムの処置: セッションは続行されます。

ユーザーの処置: なし。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1019E E 変更要求内でパスワードとパスワード・フレーズを混用することはできません。

説明: 新規パスワードをパスワード・フレーズで、または新しいパスワード・フレーズをパスワードによって認可することはできません。

システムの処置: サインオンは終了します。

ユーザーの処置: パスワードを変更するにはパスワードを、パスワード・フレーズを変更するにはパスワード・フレーズを使用してください。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1020E E 外部セキュリティ・マネージャーが初期化されていません。サインオン要求は失敗しました。

説明: 外部セキュリティ・マネージャーが初期化されていないため、サインオン試行は失敗しました。

システムの処置: サインオンは終了します。

ユーザーの処置: 外部セキュリティ・マネージャーを初期化しよう、セキュリティ管理者に依頼してください。

管理者の応答: 外部セキュリティ・マネージャーが初期化されていることを確認してください。

宛先:

EYUVC1021E E 現在、外部セキュリティ・マネージャーはサインオンを受け付けていません。後で再試行してください。

説明: 外部セキュリティ・マネージャーが静止状態であったため、サインオン要求は失敗しました。静止状態では、特別なユーザーからのサインオン要求のみ受け付けられます。

システムの処置: サインオンは終了します。

ユーザーの処置: 外部セキュリティ・マネージャー・データベース保守を可能にするために、外部セキュリティ・マネージャーが静止状態にされたものと考えられ

EYUVC1022E E • EYUVC1028I I

ます。現在保守を実施中かどうか、またどの程度時間がかかるのかを確認してください。保守が完了したら、外部セキュリティ・マネージャーの静止状態を解除する必要があります。それによりサインオンが可能になります。外部セキュリティ・マネージャーが静止状態になっているわけではないのであれば、セキュリティ管理者に連絡してください。

管理者の応答: 外部セキュリティ・マネージャーが静止状態でないこと、そして正しく実行されていてサインオンが可能な状態であることを確認してください。

宛先:

EYUVC1022E E ユーザー ID が無効です。再入力してください。

説明: このユーザー ID は無効です。

システムの処置: システムは応答を待ちます。

ユーザーの処置: 有効なユーザー ID を入力してください。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1023E E パスワードの長さが無効です。サインオンは終了します。

説明: パスワード・キーワードの値が正しくありません。パスワードは 1 文字以上 8 文字以下です。パスワード・フレーズは 9 文字以上 100 文字以下です。最小長または最大長はセキュリティ管理者によって変更される場合があります。

システムの処置: サインオンは終了します。

ユーザーの処置: 正しい長さのパスワードを入力してください。それでも失敗する場合は、パスワードの最小長または最大長が変更されたかどうかをセキュリティ管理者に問い合わせてください。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1024E E 新規パスワードの長さが無効です。サインオンは終了します。

説明: 「新規パスワード」フィールドの値が正しくありません。新規パスワードは 1 文字以上 8 文字以下です。新規パスワード・フレーズは 9 文字以上 100 文字以下です。最小長または最大長はセキュリティ管理者によって変更される場合があります。

システムの処置: サインオンは終了します。

ユーザーの処置: 正しい長さの新規パスワードを入力し

てください。それで失敗する場合は、パスワードの最小長または最大長が変更されたかどうかをセキュリティ管理者に問い合わせてください。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1025E E ユーザー名の長さが無効です。サインオンは終了します。

説明: ユーザー ID キーワードの値が正しくありません。ユーザー ID は 1 文字以上 8 文字以下です。

システムの処置: サインオンは終了します。

ユーザーの処置: 正しい長さのユーザー ID を入力してください。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1026E E グループ名の長さが無効です。

説明: グループ名の値が正しくありません。グループ名は 1 文字以上 8 文字以下です。

システムの処置: サインオンが継続し、可能ならばユーザー ID に関連したデフォルトのグループが使用されます。

ユーザーの処置: サインオフし、必要ならば正しい長さのグループ名で再度サインオンします。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1027E E 指定されたグループ名が間違っています。

説明: グループ名の値が無効です。

システムの処置: サインオンが継続し、可能ならばユーザー ID に関連したデフォルトのグループが使用されます。

ユーザーの処置: サインオフし、必要ならば有効なグループ名で再度サインオンします。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1028I I パスワードまたはパスワード・フレーズが変更されました。

説明: パスワードまたはパスワード・フレーズが変更されました。

システムの処置: 現ユーザーのセッションが既に存在す

る限り、サインオンは継続します。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。しかしながら、既存のユーザー・セッションが存在する場合、RECONNECT オプションを用いたログオンを再試行します。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1029E E ユーザー環境を作成できません。ユーザー・タスク作成がタイムアウトになりました。

説明: サインオン処理が失敗しました。

システムの処置: サインオンは終了します。

ユーザーの処置: サインオンを再試行してください。タイムアウトが続くようであれば、システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: ユーザー・タスク作成の完了を遅らせるような問題がないかシステム・ログを調べてください。

宛先:

EYUVC1030E E ユーザー名またはパスワードが無効です。もう一度やり直してください。

説明: サインオンのフォームに、無効なユーザー名またはパスワードが入力されました。

システムの処置: サインオンは中断されます。入力フォームがユーザーに提示されます。

ユーザーの処置: フォームに正しいユーザー名またはパスワードを入力し、「サインオン」を押します。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1031I I ユーザー名とパスワードを入力してください。

説明: サインオンにはユーザー名とパスワードが必要です。

システムの処置: サインオンは中断されます。入力フォームがユーザーに提示されます。

ユーザーの処置: フォームにユーザー名とパスワードを入力し、「サインオン」を押します。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1100I I サインオフ要求を受け付けました。

説明: ユーザーが「サインオフ」リンクをクリックして、セッションを終了する要求を出しました。

システムの処置: ユーザー・セッションは、終了可能になり次第、終了されます。

ユーザーの処置: ブラウザー・ウィンドウをクローズします。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1101I I サインオフ要求が失敗しました。

説明: ユーザーが「サインオフ」リンクをクリックして、セッションを終了する要求を出しましたが、要求は正しく処理できませんでした。

システムの処置: ユーザー・セッションは終了させられます。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: AUXTRACE、コンソール・ログ、およびダンプ情報を収集して、IBM サービス技術員に連絡してください。

宛先:

EYUVC1102I I ボタンを押してサインオンを開始してください。

説明: Web ユーザー・インターフェース・サーバーに対して要求が出されましたが、ユーザーはまだ認証されていません。

システムの処置: ボタンが 1 つ付いたページがユーザーに提示されます。

ユーザーの処置: 提示されたボタンを押し、続いて表示されるフォームを使用してサインオンを行ってください。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1190W W CMAS は現在使用できません。

説明: CICSplex SM CMAS アドレス・スペースは、そのインターフェースでは使用できないようです。サインオン処理が失敗する可能性があります。

システムの処置: サインオン・フォームがユーザーに提示されます。

ユーザーの処置: サインオンを試行します。サインオン

EYUVC1200E E • EYUVC1212E E

が何度も失敗するようであれば、システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: CMAS がアクティブで、Web ユーザー・インターフェース・サーバーの LMAS コンポーネントが CMAS に接続されていることを確認してください。

宛先:

EYUVC1200E E フレーム使用可能なブラウザが必要です。

説明: フレームをサポートしないブラウザを使用している Web ユーザー・インターフェースに対してサインオンしようとしてしました。

システムの処置: ユーザー・セッションは確立されていますが、ユーザーがフレームをサポートする Web ブラウザーで再接続しない限り、非アクティブのままです。そのままにしておくと、非アクティブに対するタイムアウト機能によってそのセッションは破棄されます。

ユーザーの処置: フレームをサポートする Web ブラウザーを使用するか、Web ブラウザーの設定がフレーム・サポート使用不可になっていないことを確認します。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1209E E カーネル・エラー・データのフォーマット中にエラーが発生しました。

説明: 要求されたスコープで 1 つ以上の MAS から応答がありませんでしたが、エラー・メッセージ EYUVC1293E または EYUVC1294W のフォーマットを試行中にエラーが発生しました。

システムの処置: WUI 画面は、応答がなかった MAS からのデータを反映して最新表示されます。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: WUI サーバーと CMAS、および WUI サーバーと CMAS のジョブ・ログから AUXTRACE レコードを収集し、IBM サポートに連絡してください。

宛先:

EYUVC1210E E 要求されたビュー・セット (*viewsetname*) は使用できません。

説明: 指定されたビュー・セットが参照されましたが、リポジトリに存在しないか、または、ユーザーにそれを表示する権限がありません。

システムの処置: ビューは表示されません。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。「戻る」アイコンを押すと続行できます。

管理者の応答: EYULOG でセキュリティ例外を調べ、必要ならユーザーの権限レベルを変更してください。

セキュリティ例外がない場合は、ビュー・セット名を確認してください。ビュー・セット名に誤りがある場合、適宜、エディターを使用して、エラーの原因になったビューまたはメニュー・リンクを訂正するか、または、DEFAULTxxxxxx サーバー・パラメーターを訂正します。ビュー・セット名が正しい場合は、エディターを使用してビュー・セットを作成するか、COVC トランザクションを使用して外部ファイルからインポートします。

宛先:

EYUVC1211E E 要求されたメニュー (*menuname*) は使用できません。

説明: 指定されたメニューが参照されましたが、そのメニューをリポジトリからロードできないか、または、ユーザーにそれを表示する権限がありません。

システムの処置: メニューは表示されません。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。「戻る」アイコンを押すと続行できます。

管理者の応答: EYULOG でセキュリティ例外を調べ、必要ならユーザーの権限レベルを変更してください。

セキュリティ例外がない場合は、メニュー名を確認してください。メニュー名に誤りがある場合、適宜、エディターを使用して、エラーの原因になったメニュー・リンクを訂正するか、または、DEFAULTxxxxxx サーバー・パラメーターを訂正します。メニュー名が正しい場合は、エディターを使用してメニューを作成するか、COVC トランザクションを使用して外部ファイルからインポートします。

宛先:

EYUVC1212E E ナビゲーション・エラーが発生しました。次のリンクを使用して、現在位置に戻ってください。

説明: ブラウザーの「戻る」ボタンを使用するなどして、順序列外のページを要求しました。

システムの処置: 現行ページに戻るリンクが提供されます。

ユーザーの処置: リンクを選択して現行ページに戻ります。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1213E E これ以上の数のウィンドウは使用できません。ウィンドウをいくつかクローズしてもう一度やり直してください。

説明: 単一セッションで許可された数より多いウィンドウをオープンしようとしてしました。

システムの処置: セッションは続行されます。

ユーザーの処置: 既にオープンしているウィンドウを使用するか、いずれかをクローズしてもう一度やり直してください。オープンしているウィンドウがもうない場合は、サインオフしてもう一度サインオンしなおしてください。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1214E E ウィンドウが閉じました。

説明: インターフェースにより、メッセージが表示されるウィンドウがクローズされました。

システムの処置: セッションは続行されます。

ユーザーの処置: ブラウザー・ウィンドウをクローズします。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1215E E この印刷操作に必要なデータはこれ以上使用できません。

説明: 「印刷プレビュー」ウィンドウの生成に使用されたデータは、要求が生成されたウィンドウが引き続いて使用されているため、これ以上使用できません。

システムの処置: 要求は無視され、セッションが続行します。

ユーザーの処置: メッセージが表示されているブラウザー・ウィンドウをクローズします。印刷表示が必要な場合は、表示したいディスプレイで改めて「印刷プレビュー」をオープンし、要求が生成されるウィンドウを使用する前に、ブラウザーを使用してそのページを印刷します。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1216E E 要求されたビュー (*viewname*) は使用できません。

説明: 指定のビューが参照されましたが、そのビューはビュー・セットにありませんでした。

システムの処置: ビューは表示されません。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。「戻る」アイコンを押すと続行できます。

管理者の応答: ビュー名に誤りがある場合、エディターを使用して、エラーの原因となったビューまたはメニュー・リンクを訂正します。

ビュー名が正しい場合は、エディターを使用してビュー・セット内にそのビューを作成します。

宛先:

EYUVC1217E E ビュー・セット (*viewsetname*) にあるオブジェクト (*objectname*) は、このリリースの **CICSplex SM** では認識できません。

説明: 指定のビュー・セットは、認識されないオブジェクト用に作成されたものです。例えば、別のリリースの CICSplex SM で作成された可能性があります。

システムの処置: ビューは表示されません。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。「戻る」アイコンを押すと続行できます。

管理者の応答: CICSplex SM および Web ユーザー・インターフェースが適切なリリースで稼働していることを確認してください。必要ならば、ビュー・エディターを使用してそのビュー・セットを削除します。

問題が解決しない場合は、エクスポートしたビュー・セット定義、AUXTRACE、コンソール・ログおよびダンプ情報を収集して、IBM サービス技術員に連絡してください。

宛先:

EYUVC1218E E このウィンドウは、直前の要求でまだ使用中です。再試行してください。

説明: ウィンドウにページの要求が出されましたが、このウィンドウは直前の要求を完了していません。

システムの処置: 現行ページに戻るリンクが提供されません。

ユーザーの処置: リンクを選択して現行ページに戻ります。要求が完了されていないと、再度このメッセージが表示されます。このアクションを繰り返してください。

管理者の応答: なし。

EYUVC1219E E • EYUVC1224E E

宛先:

EYUVC1219E E リポジトリ内にある要求されたビュー・セットまたはメニュー (*name*) に無効なバージョン ID が含まれています。

説明: 要求されたビュー・セットまたはメニューを表示できません。CICSplex SM の現行バージョンと一致しないバージョン ID が含まれているためです。

システムの処置: ビュー・セットまたはメニューが表示されません。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。「戻る」アイコンを押すと続行できます。

管理者の応答: Web ユーザー・インターフェースのサーバー・リポジトリが CICSplex SM の現行バージョンに正しく移行されていることを確認してください。

宛先:

EYUVC1220E E CICSplex SM API コマンド (*commname*) は失敗しました。(API 応答コード、API 理由コード)

説明: インターフェースで、CICSplex SM API コマンドから予期しない応答がありました。

システムの処置: セッションは続行されます。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: CICSplex SM API 応答コードと理由コード、ジョブ・ログまたは EYULOG 内の関連メッセージを確認し、問題の原因を判別します。API 応答コード、API 理由コードが NOTPERMIT、USRID の場合、以下のようにしてそれぞれの CMAS のジョブ・ログを確認してください。

- 現在のコンテキストが CICSplex の場合、CICSplex の管理に関与する各 CMAS のジョブ・ログを調べ、外部セキュリティ・マネージャーが出すメッセージを探します。
 - 「CICSplex 管理の CMAS」(EYUSTARTCICSplex) Web ユーザー・インターフェース・ビューによって、CICSplex の管理に関係する各 CMAS が識別されます。
- 現在のコンテキストが CMAS の場合、該当の CMAS のジョブ・ログを調べ、外部セキュリティ・マネージャーが出すメッセージを探します。

問題が解決しない場合は、AUXTRACE、コンソール・ログおよびダンプ情報を収集し、IBM サービス技術員に連絡してください。

宛先:

EYUVC1221E E CMAS が切断されているため、CICSplex SM は使用できません。

説明: インターフェースは、CMAS との接続を失っています。

システムの処置: セッションは続行されますが、すぐに終了してしまいます。

ユーザーの処置: インターフェースからサインオフし、CMAS が再び使用可能になった時点でもう一度サインオンします。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1222E E ナビゲーション・エラーの可能性あります。親スタブが無効です。

説明: インターフェースで、内部整合性の問題が検出されました。

システムの処置: セッションは続行されますが、問題が続く可能性があります。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。インターフェースからサインオフし、もう一度やり直してください。

管理者の応答: AUXTRACE、コンソール・ログ、およびダンプ情報を収集して、IBM サービス技術員に連絡してください。

宛先:

EYUVC1223E E エディターを開始できません。ユーザーは使用を許可されていません。

説明: ビュー・エディターにアクセスしようとしたましたが、使用したユーザー ID が外部セキュリティ・マネージャーによって拒否されました。

システムの処置: セッションは続行されますが、ビュー・エディターへのアクセスは拒否されます。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: そのユーザーにビュー・エディターへのアクセス権を与える場合は、ビュー・エディターの外部セキュリティ・マネージャー・プロファイルにそのユーザーを追加します。

宛先:

EYUVC1224E E 実行依頼エラーが発生しました。次のリンクを使用して、現在位置に戻ってください。

説明: 関連したアクションなしに、ページの実行依頼が

出されました。おそらく、ボタンを選択せずにテキスト・ボックスで Enter キーを押したためです。

システムの処置: 現行ページへのリンクがあります。

ユーザーの処置: リンクを選択して現行ページに戻ります。

管理者の応答: なし

宛先:

EYUVC1225E E リポジトリ内にある要求されたユーザー・グループまたはユーザー *profilename* に無効なバージョン ID が含まれています。

説明: サインオン中に、Web ユーザー・インターフェースは、ユーザー・プロファイルまたはユーザー・グループ・プロファイルプロファイル名からの情報の検索を試みましたが、オブジェクトに関連したリポジトリ内のバージョン番号が無効なために失敗しました。

システムの処置: サインオンは続行されます。ユーザー・グループ・プロファイルに関連するメッセージの場合は、Web ユーザー・インターフェース・パラメーターとして指定されたデフォルトがこのセッションに使用されます。ユーザー・プロファイルに関連するメッセージの場合、このセッションの間、ユーザーのお気に入りには使用できなくなります。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: Web ユーザー・インターフェースのサーバー・リポジトリが CICSplex SM の現行バージョンに正しく移行されていることを確認してください。

宛先:

EYUVC1226E E このヘルプ・ページは有効期限が切れました。

説明: ヘルプ・ページの生成に使用されたデータは、要求が生成されたウィンドウが引き続いて使用されているため、これ以上使用できません。

システムの処置: 要求は無視され、セッションが続行します。

ユーザーの処置: メッセージが表示されているブラウザー・ウィンドウをクローズします。ヘルプ・ページが必要な場合、必要とされるビューに戻ってヘルプ・アイコンをクリックしてください。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1227W W 要求されたグループ *group1* に接続できません。デフォルトのグループ *group2* が使用されました。

説明: サインオンする時、Web ユーザー・インターフェースのユーザーがサインオン画面上でグループ (*group1*) を指定しました。ユーザー ID が *group1* に接続していなかったため、指定されたグループ (*group1*) は使用されませんでした。

システムの処置: サインオンは継続されますが、Web ユーザー・インターフェースは Web ユーザー・インターフェースのユーザー・グループ・プロファイル名としてユーザーのデフォルト・グループ (*group2*) を使用します。

ユーザーの処置: デフォルトのユーザー・グループ・プロファイルが適切なものでない場合、Web ユーザー・インターフェースをサインオフして、サインオン画面でユーザー ID が接続されているグループを指定してください。

管理者の応答: セキュリティ管理者に連絡して、指定されたグループ *group1* が適切であること、ユーザー ID がそのグループに接続されていることを確認してください。

サインオン・グループ・オプションは、Web ユーザー・インターフェースのシステム・パラメーター SIGNONPANEL が ENHANCED に設定されている場合のみ有効です。グループ・オプションが必要ない場合は、SIGNONPANEL を BASIC に設定してください。

宛先:

EYUVC1230I I 'externact' (*apiact*) 要求は、*count* 個のレコードについて正常に完了しました。

説明: 管理リソースに対してアクションを実行する要求が正常に完了しました。

システムの処置: セッションは続行されます。

ユーザーの処置: なし。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1231E E 'externact' (*apiact*) 要求は失敗しました。 *count* レコードに対する要求が完了しました。(API 応答コード、API 理由コード)

説明: 管理リソースに対してアクションを実行する要求が失敗しました。

システムの処置: 引き続き、追加メッセージに詳細情報が表示される場合があります。セッションは続行されます。

EYUVC1232E E • EYUVC1238E E

すが、アクションの実行は不完全な場合があります。

ユーザーの処置: 追加メッセージにより、問題の本質を判別してください。問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: 「CICSplex SM Application Programming Reference」で API 応答コードと理由コードを参照します。

宛先:

EYUVC1232E E 'externact' ボタンを押す前に、変更すべきオブジェクトを 1 つ以上選択してください。

説明: オブジェクトが選択されずに、アクション・ボタンが押されました。

システムの処置: アクションは実行されずにセッションが続行します。

ユーザーの処置: アクションを実行する場合は、1 つ以上のオブジェクトを選択してからもう一度ボタンを押してください。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1233E E 属性 (*attrname*) は、オブジェクト (*objname*) に対して無効です。

説明: ビュー定義で、オブジェクトに対して、このリリースの CICSplex SM では無効な属性を指定しました。

システムの処置: アクションは実行されずにセッションが続行します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: ビュー・エディターを使用して、ビュー定義を訂正します。

宛先:

EYUVC1234E E オブジェクト (*objname*) の属性 (*attrname*) を変更できません。

説明: ビュー定義で、このリリースの CICSplex SM では設定できない属性を指定しました。

システムの処置: アクションは実行されずにセッションが続行します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: ビュー・エディターを使用して、ビュー定義を訂正します。

宛先:

EYUVC1235E E オブジェクト (*objname*) のアクション (*action*) のパラメーター (*parmname*) は無効です。

説明: ビュー定義で、このリリースの CICSplex SM では存在しないパラメーターを指定しました。

システムの処置: アクションは実行されずにセッションが続行します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: ビュー・エディターを使用して、ビュー定義を訂正します。

宛先:

EYUVC1236E E パラメーター (*parmname*) に、オブジェクト (*objname*) のアクション (*action*) として認識できないタイプがあります。

説明: ビュー定義で、仕様が無効なパラメーターを指定しました。

システムの処置: アクションは実行されずにセッションが続行します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: ビュー・エディターを使用して、そのパラメーターをビュー定義から除去します。IBM サービス技術員に連絡してください。

宛先:

EYUVC1237E E オブジェクト (*objname*) のアクション (*action*) のパラメーター (*parmname*) は無効です。

説明: ビュー定義で、このリリースの CICSplex SM では存在しないパラメーターを指定しました。

システムの処置: アクションは実行されずにセッションが続行します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: ビュー・エディターを使用して、ビュー定義を訂正します。

宛先:

EYUVC1238E E パラメーター (*parmname*) に、オブジェクト (*objname*) のアクション (*action*) として認識できないタイプがあります。

説明: ビュー定義で、仕様が無効なパラメーターを指定しました。

システムの処置: アクションは実行されずにセッションが続行します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: ビュー・エディターを使用して、そのパラメーターをビュー定義から除去します。IBM サービス技術員に連絡してください。

宛先:

EYUVC1239E E 属性値は変更されません。アクション (*action*) は実行されませんでした。

説明: オブジェクトにアクションを実行しようとしたが、そのアクションに対する属性が選択されませんでした。

システムの処置: アクションは実行されずにセッションが続行します。

ユーザーの処置: 更新に使用する属性を選択してからアクションを再試行してください。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1240E E 属性 (*attribute*) に無効な値が入力されました。アクション (*action*) は実行されませんでした。

説明: オブジェクトにアクションを実行しようとしたが、そのアクションに対して無効な属性値が選択されていました。

システムの処置: アクションは実行されずにセッションが続行します。

ユーザーの処置: その属性に対して有効な値を入力してからアクションを再試行します。詳しくはデータの入力を参照してください。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1241E E パラメーター (*parameter*) に無効な値が入力されました。アクション (*action*) は実行されませんでした。

説明: オブジェクトにアクションを実行しようとしたが、そのアクションに対して無効なパラメーター値が入力されていました。

システムの処置: アクションは実行されずにセッションが続行します。

ユーザーの処置: そのパラメーターに対して有効な値を入力してからアクションを再試行します。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1242E E 使用されるマップの名前は有効ではありません。デフォルトのマップ・オブジェクトが使用できれば、これを使用します。

説明: マップされる機能領域に関連したマップ・オブジェクトの名前を取得できませんでした。

システムの処置: ほとんどの場合、マップのハイパーリンクは表示されません。しかし、ユーザー・グループ・プロファイルの取得時の問題の場合、DEFAULTMAPxxx サーバー・パラメーターに指定されたマップ・オブジェクトを使用してハイパーリンクが生成されます。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: EYULOG でセキュリティ例外がないか確認し、必要に応じてユーザーの権限レベルを変更してください。

宛先:

EYUVC1243E E 要求されたマップ (*mapname*) は有効ではありません。マップのハイパーリンクは表示されません。

説明: 示されたマップが参照されましたが、リポジトリから使用可能ではありません。

システムの処置: マップのハイパーリンクは表示されません。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: マップ名を調べてください。マップ名が正しくない場合、適宜、エディターを使用して、ユーザー・グループ・プロファイルを訂正するか、または、DEFAULTMAPxxx サーバー・パラメーターを訂正します。マップ名が正しい場合は、エディターを使用してビュー・セットを作成するか、COVC トランザクションを使用してエクスポート・ファイルからインポートします。

宛先:

EYUVC1244E E マップ (*mapname*) のタイプは (*namedmaptype*) ですが、要求されたマップはタイプ (*requestedmaptype*) に対応しています。マップのハイパーリンクは表示されません。

説明: 示されたマップが参照されましたが、マップされる機能領域に対して正しいタイプではありません。

システムの処置: マップのハイパーリンクは表示されません。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

EYUVC1245E E • EYUVC1248E E

管理者の応答: マップ名を調べてください。マップ名が正しくない場合、適宜、エディターを使用して、ユーザー・グループ・プロファイルを訂正するか、または、DEFAULTMAPxxx サーバー・パラメーターを訂正します。マップ名が正しい場合は、エディターを使用して正しいタイプのマップを作成します。

宛先:

EYUVC1245E E リポジトリ内にある要求されたマップ (*mapname*) に無効なバージョン ID が含まれています。マップのハイパーリンクは表示されません。

説明: 要求されたマップを表示できません。CICSplex SM の現行バージョンと一致しないバージョン ID が含まれているためです。

システムの処置: マップのハイパーリンクは表示されません。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: Web ユーザー・インターフェースのサーバー・リポジトリが CICSplex SM の現行バージョンに正しく移行されていることを確認してください。

宛先:

EYUVC1246E E ユーザーに権限がないため、要求されたマップ (*mapname*) は使用できません。マップのハイパーリンクは表示されません。

説明: 示されたマップが参照されましたが、表示する権限がありません。

システムの処置: マップのハイパーリンクは表示されません。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: EYULOG でセキュリティ例外を調べ、必要ならユーザーの権限レベルを変更してください。

宛先:

EYUVC1247E E 属性 %1 の文字位置 %2 に無効文字 %0 が入力されました。

説明: 構文エラーが検出されました。

システムの処置: 要求された操作は実行されませんでした。

ユーザーの処置: 構文エラーを訂正してください。トレース・フラグの構文ルールは以下のとおりです。

- ビットは単一に指定するか、またはシーケンスで指定してください。

- ビット 1, 5 および 12 をオンにするには、1, 5, 12 と入力します。

- ビット 1、2、および 3 をオンにするには、1-3 と入力します。

- 有効なビット番号は 1 から 32 までの範囲に限ります。

- 単一ビットおよびビット・シーケンスは常にコンマで区切らなければなりません。

- 入力シーケンスの先頭と末尾はビット番号にしてください。例えば、1, 5-8 は有効ですが、,1, 5-8 および 1, 5-8, は両方とも無効です。

- スペースを使用できますが、前または後にコンマがある場合に限りです。ただし、先頭ビットは例外で、先行スペースがあってもかまいません。

- 単一ビットの指定順序は任意ですが、シーケンスは順序どおりに指定しなければなりません。例えば、1-3 は有効ですが 3-1 は無効です。

- シーケンス中では同じビット番号を使用できません。

- フィールドを空のままにするかブランクを入力して、すべてのビットを使用不可にできます。

- すべてのビットを使用可能にするには、フィールドに 1-32 と入力してください。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1248E E 属性 %1 の文字位置 %2 のビット番号 %0 は範囲外です。ビットは 1 から 32 の範囲でなければなりません。

説明: 範囲外エラーが検出されました。

システムの処置: 要求された操作は実行されませんでした。

ユーザーの処置: 範囲外エラーを訂正してください。トレース・フラグの構文ルールは以下のとおりです。

- ビットは単一に指定するか、またはシーケンスで指定してください。

- ビット 1, 5 および 12 をオンにするには、1, 5, 12 と入力します。

- ビット 1、2、および 3 をオンにするには、1-3 と入力します。

- 有効なビット番号は 1 から 32 までの範囲に限ります。

- 単一ビットおよびビット・シーケンスは常にコンマで区切らなければなりません。

- 入力シーケンスの先頭と末尾はビット番号にしてください。例えば、1, 5-8 は有効ですが、,1, 5-8 および 1, 5-8, は両方とも無効です。
- スペースを使用できますが、前または後にコンマがある場合に限ります。ただし、先頭ビットは例外で、先行スペースがあってもかまいません。
- 単一ビットの指定順序は任意ですが、シーケンスは順序どおりに指定しなければなりません。例えば、1-3 は有効ですが 3-1 は無効です。
- シーケンス中では同じビット番号を使用できません。
- フィールドを空のままにするかブランクを入力して、すべてのビットを使用不可にできます。
- すべてのビットを使用可能にするには、フィールドに 1-32 と入力してください。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1249E E 属性 %0 の文字位置 %1 に無効なビット・シーケンスが入力されました。

説明: 必要とされる構文に従っていないビット・シーケンスが検出されました。

システムの処置: 要求された操作は実行されませんでした。

ユーザーの処置: ビット・シーケンス構文を訂正してください。トレース・フラグの構文ルールは以下のとおりです。

- ビットは単一に指定するか、またはシーケンスで指定してください。
 - ビット 1, 5 および 12 をオンにするには、1, 5, 12 と入力します。
 - ビット 1、2、および 3 をオンにするには、1-3 と入力します。
- 有効なビット番号は 1 から 32 までの範囲に限ります。
- 単一ビットおよびビット・シーケンスは常にコンマで区切らなければなりません。
- 入力シーケンスの先頭と末尾はビット番号にしてください。例えば、1, 5-8 は有効ですが、,1, 5-8 および 1, 5-8, は両方とも無効です。
- スペースを使用できますが、前または後にコンマがある場合に限ります。ただし、先頭ビットは例外で、先行スペースがあってもかまいません。
- 単一ビットの指定順序は任意ですが、シーケンスは順序どおりに指定しなければなりません。例えば、1-3 は有効ですが 3-1 は無効です。

- シーケンス中では同じビット番号を使用できません。フィールドを空のままにするかブランクを入力して、すべてのビットを使用不可にできます。
- すべてのビットを使用可能にするには、フィールドに 1-32 と入力してください。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1250E E オブジェクト (*objname*) の属性を変更できません。

説明: オブジェクトに対する属性を更新しようとしたが、そのオブジェクトはこのリリースの CICSplex SM に対して、SET アクションをサポートしていません。

システムの処置: アクションは実行されずにセッションが続行します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: ビュー・エディターを使用して、障害となっているアクション・ボタンをビュー定義から除去します。

宛先:

EYUVC1251E E オブジェクト (*objname*) は、このリリースの CICSplex SM では認識できません。

説明: オブジェクトに対するアクションを実行しようとしたが、そのオブジェクトはこのリリースの CICSplex SM にはありません。

システムの処置: アクションは実行されずにセッションが続行します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: ビュー・エディターを使用して、ビューを訂正します。

宛先:

EYUVC1252E E 無効なアクション名がビューに指定されました。

説明: 実行しようとしたアクション名は、CICSplex SM では無効です。

システムの処置: アクションは実行されずにセッションが続行します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: ビュー・エディターを使用して、ビュー定義を見直してください。

EYUVC1253E E • EYUVC1261E E

宛先:

EYUVC1253E E アクション (action) は、オブジェクト (objname) では使用できません。

説明: このリリースの CICSplex SM でオブジェクトがサポートしていないアクションを実行しようとしてしました。

システムの処置: アクションは実行されずにセッションが続行します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: ビュー・エディターを使用して、ビュー定義を見直してください。

宛先:

EYUVC1254I I 残りの選択操作は取り消されました。

説明: 確認パネルで「すべていいえ」を選択しました。

システムの処置: 選択されたオブジェクトのうち残りについてはアクションが実行されずに、セッションが続行します。

ユーザーの処置: なし。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1255I I 直前の選択操作は実行されませんでした。

説明: 確認パネルで「いいえ」を選択しました。

システムの処置: 直前に選択したオブジェクトに対してアクションは実行されません。残りの選択済みオブジェクトについて、確認パネルが再表示されます。セッションは続行されます。

ユーザーの処置: なし。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1258W W このアクションは、 n 項目を含む結果セットを生成する場合があります。警告のしきい値は n です。「最新表示」をクリックして別のフィルターで再試行するか、「OK」をクリックして続行します。

説明: 開始したアクションによって、大容量のデータが生成され、処理に長時間かかる可能性があります。

システムの処置: WUI はユーザーの応答を待ちます。

ユーザーの処置: 「OK」をクリックして要求したアク

ションを続行するか、「最新表示」をクリックしてフィルターを修正します。

管理者の応答: 結果セットは、デフォルトの警告カウント (DEFAULTWARNCNT) パラメーターの値セットより大きくなる可能性があります。ユーザーがこのメッセージを大量に受け取る場合、このパラメーターの設定が適切であることを確認してください。

宛先:

EYUVC1259I I 可能な結果セット・サイズは n 警告しきい値より下です。「最新表示」をクリックして別のフィルターで再試行するか、「OK」をクリックして続行します。

説明: メッセージ EYUVC1258W への応答でフィルターを更新しました。結果セットのデータ量は、警告しきい値を下回る可能性があります。

システムの処置: WUI はユーザーの応答を待ちます。

ユーザーの処置: 「OK」をクリックして要求したアクションを続行するか、「最新表示」をクリックしてフィルターを修正します。

管理者の応答: 結果セットは、デフォルトの警告カウント (DEFAULTWARNCNT) パラメーターの値セットを下回る可能性があります。ユーザーがこのメッセージを大量に受け取る場合、このパラメーターの設定が適切であることを確認してください。

宛先:

EYUVC1260E E 内部比較演算子の値 (opervalue) が無効です。

説明: フィルターされるビューの要求に、このリリースの CICSplex SM ではサポートされない内部演算子が指定されました。

システムの処置: 要求は取り消されますが、セッションは続行されます。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: ビュー・エディターを使用して、エラーの原因となったハイパーリンクの定義を見直してください。

宛先:

EYUVC1261E E 属性 (attrname) はオブジェクト (objname) を検索できませんでした。

説明: フィルターされるビューの要求に、このリリースの CICSplex SM のオブジェクトにはない属性名が指定されました。

システムの処置: 要求は取り消されますが、セッションは続行されます。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: ビュー・エディターを使用して、エラーの原因となったハイパーリンクの定義を見直してください。

宛先:

EYUVC1262E E パラメーター (*parmname*) はオブジェクト (*objname*) に対して無効です。

説明: フィルターされるビューの要求に、このリリースの CICSplex SM のオブジェクトではサポートしないパラメーターが指定されました。

システムの処置: 要求は取り消されますが、セッションは続行されます。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: ビュー・エディターを使用して、エラーの原因となったハイパーリンクの定義を見直してください。

宛先:

EYUVC1263E E 属性 (*attrname*) フィルターに無効なデータがあります。

説明: フィルターされるビューの要求に、無効な属性フィルター値が指定されました。

システムの処置: 要求された表示はデータ・レコードなしでユーザーに対して表示されます。

ユーザーの処置: フィルター値を検討し、必要に応じて訂正してください。詳細は、「選択基準の使用によるデータのフィルター処理」を参照してください。問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: エディターを使用して、使用するリンクで指定されたフィルターを検討し、必要な場合は訂正してください。

宛先:

EYUVC1264E E パラメーター (*parmname*) フィルターに無効なデータがあります。

説明: フィルターされるビューの要求に無効なパラメーター・フィルター値が指定されました。

システムの処置: 要求された表示はデータ・レコードなしでユーザーに対して表示されます。

ユーザーの処置: フィルター値を検討し、必要に応じて訂正してください。詳細は、「選択基準の使用によるデータのフィルター処理」を参照してください。問題が解

決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: エディターを使用して、使用するリンクで指定されたフィルターを検討し、必要な場合は訂正してください。

宛先:

EYUVC1265E E 属性 (*attributename*) はフィルターとしてはサポートされていません。

説明: フィルターされるビューの要求に、サポートされない属性フィルターが指定されました。例えば、隠し文字属性はフィルターとしては使用できません。

システムの処置: 要求された表示はユーザーに対して表示されません。

ユーザーの処置: 問題が、ビューまたはメニューにあるリンクを選択することで起因した場合は、「戻る」アイコンを選択して続行し、システム管理者に連絡してください。問題が、Web ユーザー・インターフェースに対する URL 要求を入力することから起因した場合は、指定した属性フィルターを確認してください。

管理者の応答: エディターを使用して、使用するリンクで指定されたフィルターを検討し、必要な場合は訂正してください。

宛先:

EYUVC1266E E 属性 '*attributedesc*' (*attributename*) のフィールド長が限度を超えています。最大長は 最大長 です。アクション (アクション名) は実行されませんでした。

説明: アクション アクション名 を実行しようとした。この要求は、属性 '属性説明' が許されている最大長の 最大長 文字を超えているため失敗しました。

システムの処置: アクションは実行されずにセッションが続行します。

ユーザーの処置: その属性に対して有効な値を入力してからアクションを再試行します。詳しくはデータの入力を参照してください。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1267E E このアクションは、しきい値 *n2* を超える *n1* 項目を含む結果セットを生成する可能性があるため、要求が拒否されました。フィルターを変更してから最新表示をクリックして再試行してください。

説明: 起動しようとしたアクションは、*n1* 個のレコードを生成する可能性があります。Web ユーザー管理者

が、*n2* 個のレコードまでしか処理できないように設定しています。

システムの処置: WUI はユーザーの応答を待ちます。

ユーザーの処置: フィルターを修正してから最新表示をクリックして要求を再試行するか、キャンセルをクリックして前のビューまたはメニューに戻ってください。

管理者の応答: 予想される結果セットの大きさが、デフォルトの警告カウント値を上回っています。ユーザーがこのメッセージを大量に受け取る場合、この値の設定が適切であることを確認してください。

宛先:

**EYUVC1268I I CICS 情報: EIBFN(*eibfn* - *eibfn_name*)
RESP(*resp* - *resp_name*) RESP2(*resp2*)**

説明: このメッセージは、以下に示すように直前のエラーに関する CICS 関連情報を提供します。

eibfn 失敗した CICS コマンドの EIB 機能コードを示します。

eibfn_name

eibfn に対応する、失敗した CICS コマンド名を示します。

WUI サーバーをサポートしている CICS のリリースが *eibfn* 値を解決できない場合、N/A が表示されます。

resp 失敗した CICS の数値 (10 進数) EIB RESP 条件を示します。

resp_name

失敗した CICS EIB RESP 条件名を示します。

WUI サーバーをサポートしている CICS のリリースが *resp* 値を解決できない場合、N/A が表示されます。

resp2 失敗した CICS の数値 (10 進数) EIB RESP2 条件を示します。

システムの処置: セッションは続行されます。

ユーザーの処置: *eibfn_name* と *resp_name* を使用して、失敗したコマンドおよび条件を判別します。より詳しい情報が必要な場合は、次の要領で CICS の資料を参照してください。

API または SPI CICS コマンドが失敗した場合、「CICS User's Handbook」の『RESP2 values and their meanings』の項を参照してください。 *eibfn_name* の値は失敗した 'Command'、*resp_name* の値は 'Condition' を示します。 *resp2* の値は、エラーの 'Meaning' に相当します。

「CICS User's Handbook」を入手できない場合は、

API コマンドか SPI コマンドに応じてそれぞれ「CICS Application Programming Reference」または「CICS System Programming Reference」を参照することができます。

FEPI コマンドが失敗した場合、「CICS Front End Programming Interface User's Guide」の『System programming reference』の項を参照してください。

eibfn_name または *resp_name* に N/A が表示される場合、「CICS User's Handbook」、「CICS Application Programmers Reference」、「Systems Programmers Reference」、または「Front End Programming User's Guide」を使用して、*eibfn* と *resp* をそれぞれコマンド、条件に変換します。

管理者の応答: *eibfn_name* コマンドが *resp_name/resp2* 条件で失敗する原因の判別を試み、適切な処置を行います。

宛先:

**EYUVC1269I I 'cicsregion ' で 'objname ' に対するアクション (action) は失敗しました。(CICS 情報: EIBFN(*eibfn* - *eibfn_name*)
RESP(*resp* - *resp_name*) RESP2(*resp2Hi*, *resp2Lo*)**

説明: このメッセージは、メッセージ EYUVC1231E に続いて追加情報を提供します。これは CICS (CICS 領域) でアクション (アクション) 処理の失敗とレポートされた各オブジェクト (オブジェクト名) に対して発行されます。

メッセージの CICS 情報セクションに提供されるデータは、以下に示すようにエラーに関連した CICS コマンドと失敗の条件について説明します。

eibfn 失敗した CICS コマンドの EIB 機能コードを示します。

eibfn_name

eibfn に対応する、失敗した CICS コマンド名を示します。

WUI サーバーをサポートしている CICS のリリースが *eibfn* 値を解決できない場合、N/A が表示されます。

resp 失敗した CICS の数値 (10 進数) EIB RESP 条件を示します。

resp_name

失敗した CICS EIB RESP 条件名を示します。

WUI サーバーをサポートしている CICS のリリースが *resp* 値を解決できない場合、N/A が表示されます。

resp2Hi

失敗した CICS の数値 (10 進数) EIB RESP2
上位ハーフワード値を示します。

resp2Lo

失敗した CICS の数値 (10 進数) EIB RESP2
下位ハーフワード値を示します。

システムの処置: セッションは続行されます。

ユーザーの処置: *eibfn_name* と *resp_name* を使用し
て、失敗したコマンドおよび条件を判別します。より詳
しい情報が必要な場合は、次の要領で CICS の資料を参
照してください。

CSD コマンドが INVREQ の *resp_name* により失敗し
た場合、「CICS System Programming Reference」に
ある EXEC CICS CREATE コマンドと EXEC CICS
CSD コマンドの RESP2 値についての項を確認してく
ださい。

その他のコマンドの場合、「CICS User's Handbook」
の『RESP2 values and their meanings』の項を参照し
てください。 *eibfn_name* の値は失敗した
'Command'、*resp_name* の値は 'Condition' を示しま
す。 *resp2Hi* および *resp2Lo* の値はエラーの「意味」
に相当します。

「CICS User's Handbook」を入手できない場合は、
API コマンドか SPI コマンドに応じてそれぞれ「CICS
Application Programming Reference」または「CICS
System Programming Reference」を参照することがで
きます。

FEPI コマンドが失敗した場合、「CICS Front End
Programming Interface User's Guide」の『System
programming reference』の項を参照してください。

eibfn_name または *resp_name* に N/A が表示される場
合、「CICS User's Handbook」、「CICS Application
Programmers Reference」、「Systems Programmers
Reference」、または「Front End Programming User's
Guide」を使用して、*eibfn* と *resp* をそれぞれコマン
ド、条件に変換します。

管理者の応答: *eibfn_name* コマンドが
resp_name/resp2Hi および *resp2Lo* 条件で失敗する原因
の判別を試み、適切な処置を行います。

宛先:

EYUVC1270I I 'cicsregion ' で 'objname ' に対するア
クション (action) は失敗しました。(CICS
情報: **EIBFN**(*eibfn* - *eibfn_name*)
RESP(*resp* - *resp_name*) **RESP2**(*resp2*))

説明: このメッセージは、メッセージ EYUVC1231E
に続いて追加情報を提供します。これは CICS (CICS

領域) でアクション (アクション) 処理の失敗とレポー
トされた各オブジェクト (オブジェクト名) に対して発
行されます。

メッセージの CICS 情報セクションに提供されるデー
タは、以下に示すようにエラーに関連した CICS コマンド
と失敗の条件について説明します。

eibfn 失敗した CICS コマンドの EIB 機能コードを
示します。

eibfn_name

eibfn に対応する、失敗した CICS コマンド名
を示します。

WUI サーバーをサポートしている CICS のリ
リースが *eibfn* 値を解決できない場合、N/A
が表示されます。

resp 失敗した CICS の数値 (10 進数) EIB RESP
条件を示します。

resp_name

失敗した CICS EIB RESP 条件名を示します。

WUI サーバーをサポートしている CICS のリ
リースが *resp* 値を解決できない場合、N/A
が表示されます。

resp2 失敗した CICS の数値 (10 進数) EIB RESP2
を示します。

システムの処置: セッションは続行されます。

ユーザーの処置: *eibfn_name* と *resp_name* を使用し
て、失敗したコマンドおよび条件を判別します。より詳
しい情報が必要な場合は、次の要領で CICS の資料を参
照してください。

API または SPI CICS コマンドが失敗した場合、
「CICS User's Handbook」の『RESP2 values and
their meanings』の項を参照してください。 *eibfn_name*
の値は失敗した 'Command'、*resp_name* の値は
'Condition' を示します。 *resp2* の値は、エラーの
'Meaning' に相当します。

「CICS User's Handbook」を入手できない場合は、
API コマンドか SPI コマンドに応じてそれぞれ「CICS
Application Programming Reference」または「CICS
System Programming Reference」を参照することがで
きます。

FEPI コマンドが失敗した場合、「CICS Front End
Programming Interface User's Guide」の『System
programming reference』の項を参照してください。

eibfn_name または *resp_name* に N/A が表示される場
合、「CICS User's Handbook」、「CICS Application
Programmers Reference」、「Systems Programmers
Reference」、または「Front End Programming User's

EYUVC1271I I • EYUVC1273I I

Guide」を使用して、*eibfn* と *resp* をそれぞれコマンド、条件に変換します。

管理者の応答: *eibfn_name* コマンドが *resp_name/resp2* 条件で失敗する原因の判別を試み、適切な処置を行います。

宛先:

EYUVC1271I I アクション (*action*) は、属性 '*description*' (*attrname*) により失敗しました。

説明: このメッセージは、メッセージ EYUVC1231E および EYUVC1278E に続いて追加情報を提供します。これは障害の原因となった各属性ごとに発行され、その属性の名前 (属性名) および 記述 を含みます。メッセージ EYUVC1231E でパラメーターのエラーであると報告されている場合には、このメッセージでは、どのレコードが該当するかのみを伝えます。

システムの処置: セッションは続行されます。

ユーザーの処置: なし。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1272I I アクション (*action*) が失敗しました。
説明 (エラー・コード)。

説明: このメッセージは、メッセージ EYUVC1231E および EYUVC1278E に続いて追加情報を提供します。これは個々の障害に対して発行されます。説明 フィールドは、CICSplex SM がレポートするエラー・コード (エラー・コード) について説明します。

システムの処置: セッションは続行されます。

ユーザーの処置: なし。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1273I I '*cicsregion*' で '*resourcename*' (*resourcetype*) バージョン *resourceversion* に対してアクション (*action*) は失敗しました。

説明: このメッセージは、メッセージ EYUVC1231E に続いて追加情報を提供します。これは CICS リソースまたは BAS オブジェクトをインストールしようとしたときに、CICS (CICS 領域) で障害とレポートされた各リソース (リソース名) に対して発行されます。

アクション は、試行されてこのエラーを発生させた CICSplex SM API アクションを識別するものです。

リソース名 は、インストールされる CICS リソースまたは BAS オブジェクトの名前です。

リソース・タイプ は、CICS リソースまたは BAS オブジェクトのリソース・タイプです。

リソース・バージョン は、CICS リソースまたは BAS オブジェクトの BAS リソース・バージョンです。

説明 は BAS インストール・エラーの理由を示します。理由には、以下のようなものがあります。

- システムが非アクティブ
CICS CICS 領域 がアクティブではありません。
- インストールの権限なし
ユーザーが BAS リソースをインストールする権限を持っていないため、インストールが失敗しました。
- 廃棄の権限なし
将来使用するために予約されています。
- インストール失敗
インストールが失敗しました。
- インストールはサポートされていません。
インストールしようとしているリソースは、ターゲット・システムでサポートされていません。
- 廃棄インストールの失敗
DISCARD オプション付きの EXEC CICS CREATE が失敗しました。
- 完全インストールの失敗
COMPLETE オプション付きの EXEC CICS CREATE が失敗しました。
- インストール接続の失敗
インストールされる SESSIONS オブジェクトに関連する CICS CONNECTION オブジェクトが見つかりません。
- インストール状況のエラー
リソース名 は既に CICS CICS 領域 にインストールされていますが、再インストール可能な状況にありません。たとえば、ENABLED 状態の FILE などです。
- 強制インストールなし
インストールされるリソースは既に宛先システムにインストールされていて、「インストールを強制する値」が NO になっています。
- MAS 障害
インストール中に CICS CICS 領域 でエラーが発生しました。
- MAS 障害 - ABEND

リソース・タイプ リソースの CREATE (または同等の処理) 中に CICS CICS 領域 が異常終了しました。

- リソースのサポートなし

CICS CICS 領域 が、リソース・タイプ リソースの CREATE (または同等の処理) をサポートしていません。

「説明」の内容によって、このメッセージの後に、障害に関係する CICS 情報を提供するメッセージ EYUVC1279I が発行されます。

システムの処置: セッションは続行されます。

ユーザーの処置: 説明によって、以下のようなアクションを取ってください。

- システムが非アクティブ
CICS 領域 がアクティブであるかどうか確認してください。
- インストールの権限なし
ユーザーがリソースをインストールする権限を持っているかどうか、CICSplex SM Simulated Security および CICSplex SM Object Security (CPSMOBJ) の定義を確認してください。
- 廃棄の権限なし
将来使用するために予約されています。
- インストール失敗
システム・プログラマーに通知してください。
- 廃棄インストールの失敗
CREATE DISCARD の失敗に関する詳細をメッセージ EYUVC1279I で確認してください。
- 完全インストールの失敗
CREATE COMPLETE の失敗に関する詳細をメッセージ EYUVC1279I で確認してください。
- インストール接続の失敗
インストールされる SESSIONS オブジェクトに関連する CICS CONNECTION オブジェクトが見つかりません。
- インストール状況のエラー
既にインストールされている リソース名 オブジェクトの状況を変更して、再インストール可能にしてください。
- 強制インストールなし
リソースをインストールする必要がある場合、「インストールを強制する値」を YES に設定してインストールを繰り返すことにより、インストールを強制してください。
- MAS 障害

システム・プログラマーに通知してください。

- MAS 障害 - ABEND

システム・プログラマーに通知してください。

- リソースのサポートなし

このシステムへのリソースのインストールは試行しないでください。または、システムの CICS リリースを更新して、指定されたリソースのインストールがサポートされるようにしてください。

管理者の応答: さらにメッセージがないか確認するために、システム CICS 領域 の CICS ジョブ・ログをチェックします。

「説明」の理由が「インストール失敗」、「MAS 障害」、または「MAS 障害 - ABEND」の場合、CICS 領域 の接続先となる CMAS から CICS Auxiliary トレース・データ、および完全な CMAS と MAS のジョブ・ログを収集し、IBM サービス技術員に連絡してください。

宛先:

EYUVC1274I I アクション (action) が、'cicsregion' binconscerrcodeexplanation に関係する不整合なスコープのために失敗しました (ターゲットの詳細: スコープ 'targetscope' リソース割り当て 'targetassignment' リソースの記述 'targetdescription'。関連の詳細: スコープ 'relatedscope'、リソース割り当て 'relatedassignment'、記述 'relateddescription'。)

説明: このメッセージは、メッセージ EYUVC1231E に続いて追加情報を提供します。要求されたアクションについて、ターゲットおよび関連のスコープ値が相互に競合していないことを確認するための検査が行われました。CICSplex SM は、以下の場合には、ターゲットおよび関連のスコープに不整合であるというフラグを立てます。

- この 2 つの間にオーバーラップがある (例えば、同じ CICS システムが両方のスコープにある、など)。
- 関連のスコープが、システム ID が定義された単一 CICS システム以外のものである。

これは CICS が不整合なスコープ・エラーとレポートした各オブジェクトに対して発行されます。

システムの処置: 提示されたリソースに対するアクションは実行されません。これは、既に実行されたアクションの要求には影響しません。これ以降のアクションが、保留されます。

ユーザーの処置: なし

管理者の応答: なし

宛先:

EYUVC1275I I アクション (action) が、'cicsregion' 内の不整合なリソース・セットのために失敗しました

説明: アクションが不整合なリソース・セット・エラーのために失敗した場合に、このメッセージでメッセージ EYUVC1231E に続いて追加情報を提供します。

CICSplex SM は、追加または更新されているリソース (候補リソースとして参照) が CICS システムに既に存在するリソースと競合している場合に、そのリソース・セットに不整合であるというフラグをたてます。例えば、次のようなことを実行しようとする、これが起こります。

- 同じ CICS システムに同じリソースの別のバージョンを割り当てる。
- 同じ CICS システムにローカルおよびリモートの両方でリソースを割り当てる。

システムの処置: セッションは続行されます。このメッセージの後に、1 組み以上のメッセージ EYUVC1276 と EYUVC1277 が続きます。

ユーザーの処置: なし

管理者の応答: なし

宛先:

EYUVC1276I I 候補リソースの詳細: 名前 'candname' (candtype)、バージョン 'candver'、リソース・グループ 'candrgrp'、リソース割り当て 'candrasg'、リソース記述 'candrds'、使用法 'candusage'、システム・グループ 'candsgrp'、システム・タイプ 'candtype'、割り当て指定変更 'candasgvr'、
(Candidate resource details: name 'candname ' (candtype), version 'candver ', resource group 'candrgrp ', resource assignment 'candrasg ', resource description 'candrds ', usage 'candusage ', system group 'candsgrp ', system type 'candtype ', assignment override 'candasgvr '.)

説明: このメッセージは、メッセージ EYUVC1275I の後に続いて表示され、不整合なリソース・セット・エラーに伴う候補リソースに関する追加情報を提供します。

システムの処置: セッションは続行されます。このメッセージは、常に、メッセージ EYUVC1277 と一緒に表示されます。

ユーザーの処置: なし

管理者の応答: なし

宛先:

EYUVC1277I I 既存のリソースの詳細: 名前 'existname' (existtype)、バージョン 'existver'、リソース・グループ 'existgrp'、リソース割り当て 'existrasg'、リソース記述 'existrdsc'、使用法 'existusage'、システム・グループ 'existsgrp'、システム・タイプ 'existtype'、割り当て指定変更 'existrasgvr'、(Existing resource details: name 'existname ' (existtype), version 'existver ', resource group 'existgrp ', resource assignment 'existrasg ', resource description 'existrdsc ', usage 'existusage ', system group 'existsgrp ', system type 'existtype ', assignment override 'existrasgvr '.)

システムの処置: セッションは続行されます。このメッセージは、常に、メッセージ EYUVC1276 と一緒に表示されます。

ユーザーの処置: なし

管理者の応答: なし

宛先:

EYUVC1278E E 要求されたビューのデータを獲得できません。externact (apiact) 要求が失敗しました。(API 応答コード、API 理由コード)。

システムの処置: 要求されたビューのデータは表示されません。

システム・プログラマーの応答: 「CICSplex System Manager Application Programming Reference」で、API 応答および理由コードの記述を参照してください。

ユーザーの処置: 後続のメッセージで、問題の本質を判別してください。多くの場合、このエラーはフィルター属性または「ビュー」パラメーター・フィールドに無効な値が指定されたことが原因で発生します。

宛先:

EYUVC1279I I CICS 情報: EIBFN(eibfn - eibfn_name) RESP(resp - resp_name) RESP2(resp2Hi, resp2Lo)

説明: このメッセージは、以下に示すように直前のエラーに関する CICS 関連情報を提供します。

eibfn 失敗した CICS コマンドの EIB 機能コードを示します。

eibfn_name

eibfn に対応する、失敗した CICS コマンド名を示します。

WUI サーバーをサポートしている CICS のリリースが *eibfn* 値を解決できない場合、N/A が表示されます。

resp

失敗した CICS の数値 (10 進数) EIB RESP 条件を示します。

resp_name

失敗した CICS EIB RESP 条件名を示します。

WUI サーバーをサポートしている CICS のリリースが *resp* 値を解決できない場合、N/A が表示されます。

resp2Hi

失敗した CICS の数値 (10 進数) EIB RESP2 上位ハーフワード値を示します。

resp2Lo

失敗した CICS の数値 (10 進数) EIB RESP2 下位ハーフワード値を示します。

システムの処置: セッションは続行されます。

ユーザーの処置: *eibfn_name* と *resp_name* を使用して、失敗したコマンドおよび条件を判別します。より詳しい情報が必要な場合は、次の要領で CICS の資料を参照してください。

CREATE コマンドが INVREQ の *resp_name* により失敗した場合、「CICS System Programming Reference」の『EXEC CICS CREATE RESP2 values』の項を確認してください。

その他のコマンドの場合、「CICS User's Handbook」の『RESP2 values and their meanings』の項を参照してください。 *eibfn_name* の値は失敗した 'Command'、*resp_name* の値は 'Condition' を示します。 *resp2* の値は、エラーの 'Meaning' に相当します。

「CICS User's Handbook」を入手できない場合は、API コマンドか SPI コマンドに応じてそれぞれ「CICS Application Programming Reference」または「CICS System Programming Reference」を参照することができます。 FEPI コマンドが失敗した場合、「CICS Front End Programming Interface User's Guide」の『System programming reference』の項を参照してください。

eibfn_name または *resp_name* に N/A が表示される場合、「CICS User's Handbook」、「CICS Application Programmers Reference」、「Systems Programmers Reference」、または「Front End Programming User's

Guide」を使用して、*eibfn* と *resp* をそれぞれコマンド、条件に変換します。

管理者の応答: *eibfn_name* コマンドが

resp_name/resp2hi,resp2lo 条件で失敗する原因の判別を試み、適切な処置を行います。

宛先:

EYUVC1280I I *count* レコードが *time* に収集されました。

説明: このメッセージは、CICSplex SM API から Web ユーザー・インターフェース・サーバーに戻されるレコード数と (ローカル) Web ユーザー・インターフェース・サーバーがそのレコードを収集した時刻を示します。レコード数は、現在のビューで使用可能なレコード数ではない可能性があります。例えば、集計ビューまたは詳細ビューでは、収集されたレコード数が、表示できるレコード数より大きい場合があります。

システムの処置: セッションは続行されます。

ユーザーの処置: なし。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1281W W 指定の CMAS コンテキスト (CMAScontext) が使用不可です。

説明: 指定された CMAS コンテキストは、この Web ユーザー・インターフェース・サーバーには使用不可であるため、要求されたリソースを表示できませんでした。

システムの処置: 要求された表示はデータ・レコードなしでユーザーに対して表示されます。

ユーザーの処置: 入力フィールドが使用可能であれば、CMAS コンテキストを検討し、必要に応じ訂正してください。詳細は、「選択基準の使用によるデータのフィルター処理」を参照してください。問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。「戻る」アイコンを押すと続行できます。

管理者の応答: CMAS コンテキストが正しくない場合は、使用するリンクの値をエディターを使用して訂正するか、DEFAULTCMASCTXT サーバー・パラメーターを適切に訂正します。

CMAS コンテキストが正しい場合は、指定の CMAS コンテキストが Web ユーザー・インターフェース・サーバーから CICSplex SM API に対し使用可能であることを確認します。

宛先:

EYUVC1282W W 指定のコンテキスト (*context*) が使用不可か、**CICSplex** ではありません。

説明: 指定のコンテキストはこの Web ユーザー・インターフェース・サーバーでは使用不可であるため、要求されたリソースを表示できませんでした。

システムの処置: 要求された表示はデータ・レコードなしでユーザーに対して表示されます。

ユーザーの処置: 入力フィールドが使用可能であれば、コンテキストを検討し、必要に応じ訂正してください。詳細は、「選択基準の使用によるデータのフィルター処理」を参照してください。問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。「戻る」アイコンを押すと続行できます。

管理者の応答: コンテキストが正しくない場合は、使用するリンクの値をエディターを使用して訂正するか、**DEFAULTCONTEXT** サーバー・パラメーターを適切に訂正してください。

コンテキストが正しい場合は、指定のコンテキストが Web ユーザー・インターフェース・サーバーから **CICSplex SM API** に対し使用可能であることを確認してください。

宛先:

EYUVC1283W W 指定のスコープ (*scope*) はこのコンテキスト (*context*) には使用不可です。

説明: 指定のスコープは指定したコンテキスト内で使用不可であるため、要求されたリソースを表示できませんでした。

システムの処置: 要求された表示はデータ・レコードなしでユーザーに対して表示されます。

ユーザーの処置: 入力フィールドが使用可能な場合は、コンテキストおよびスコープを検討し、必要に応じ訂正してください。詳細は、「選択基準の使用によるデータのフィルター処理」を参照してください。問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。「戻る」アイコンを押すと続行できます。

管理者の応答: コンテキストまたはスコープが正しくない場合は、エディターを使用して使用リンクの値を訂正するか、**DEFAULTSCOPE** サーバー・パラメーターを適切に訂正してください。

コンテキストおよびスコープが正しい場合は、指定のスコープが指定されたコンテキストに定義されていることを確認してください。

宛先:

EYUVC1284E E 指定の属性フィルターが無効です。

説明: 指定されたフィルターが無効なため、要求されたリソースを表示できませんでした。

システムの処置: 要求された表示はデータ・レコードなしでユーザーに対して表示されます。

ユーザーの処置: フィルター値を検討し、必要に応じて訂正してください。詳細は、「選択基準の使用によるデータのフィルター処理」を参照してください。問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: エディターを使用して、使用するリンクで指定されたフィルターを検討し、必要な場合は訂正してください。

宛先:

EYUVC1285E E 指定のパラメーター・フィルターが無効か、または必要なのに指定されていません。

説明: 指定されたフィルターが無効か、または必要なのに指定されていないため、要求されたリソースを表示できませんでした。

システムの処置: 要求された表示はデータ・レコードなしでユーザーに対して表示されます。

ユーザーの処置: フィルター値を検討し、必要に応じて訂正してください。詳細は、「選択基準の使用によるデータのフィルター処理」を参照してください。問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: エディターを使用して、使用するリンクで指定されたフィルターを検討し、必要な場合は訂正してください。

宛先:

EYUVC1286W W 要求がダイレクトされる先の **CMAS** が使用不可です。

説明: 必要な **CMAS** が検出できないか接続できなかったため、要求されたリソースを表示できませんでした。

システムの処置: 要求された表示はデータ・レコードなしでユーザーに対して表示されます。

ユーザーの処置: フィルター値を検討し、必要に応じて訂正してください。詳細は、「選択基準の使用によるデータのフィルター処理」を参照してください。フィルター値が正しい場合は、**CMAS** ネットワークの状況を確認してください。問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: エディターを使用して、使用するリンクで指定されたフィルターを検討し、必要な場合は訂正し

てください。フィルター値が正しい場合は、CMAS ネットワークの状況を確認してください。

宛先:

EYUVC1287W W 要求がダイレクトされる先のワークロードが使用不可です。

説明: 指定のワークロードが存在しない、またはそのワークロードで操作するために必要な CMAS に接続できなかったため、要求されたリソースを表示できませんでした。

システムの処置: 要求された表示はデータ・レコードなしでユーザーに対して表示されます。

ユーザーの処置: フィルター値を検討し、必要に応じて訂正してください。詳細は、「選択基準の使用によるデータのフィルター処理」を参照してください。フィルター値が正しい場合は、ワークロードおよび CMAS ネットワークの状況を確認してください。問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: エディターを使用して、使用するリンクで指定されたフィルターを検討し、必要な場合は訂正してください。フィルター値が正しい場合は、ワークロードおよび CMAS ネットワークの状況を確認してください。

宛先:

EYUVC1288W W 要求されたリソースは、指定されたスコープ内で使用可能ないずれの MAS でもサポートされていません。

説明: 指定のスコープ内で MAS がすべて使用不可である、またはいずれの MAS も要求されたリソース・オブジェクトをサポートしていないため、要求されたリソースを表示できませんでした。

システムの処置: 要求された表示はデータ・レコードなしでユーザーに対して表示されます。

ユーザーの処置: フィルター値を検討し、必要に応じて訂正してください。詳細は、「選択基準の使用によるデータのフィルター処理」を参照してください。フィルター値が正しい場合は、スコープ内にある MAS の状況、および要求されたリソースがそのリリースで使用可能であることを確認してください。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1289W W フィルターを検討し、「OK」をクリックしてこのアクションを確認してください。

説明: 現在のフィルター基準を検討および確認するために、フィルター確認画面が表示されます。

システムの処置: WUI はフィルター確認画面を表示し、応答があるまで待機します。

ユーザーの処置: フィルター値を検討し、必要に応じて修正してください。「OK」をクリックして先に進みます。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1290E E アクション *action* は失敗しました。レコードは別のユーザーまたはアプリケーションによって更新されました。

説明: 定義を更新または除去しようとしたことが、失敗しました。レコードの表示中に別のユーザーまたはアプリケーションによって定義が更新されたためです。

システムの処置: アクションは失敗します。

ユーザーの処置: アクションを再試行する場合、まずビューを最新表示して、更新済みの定義を表示させてください。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1291E E アクション *action* は失敗しました。保守ポイントが使用できません。

説明: 定義を作成、更新、除去しようとしたことが、失敗しました。CICSplex の保守ポイント CMAS が使用可能ではないためです。保守ポイント CMAS 自体、またはその保守ポイントへのリンクのどちらかで失敗しました。

システムの処置: アクションは失敗します。

ユーザーの処置: CICSplex 用の保守ポイント CMAS が使用可能になるまで待ってから、アクションを再試行してください。必要な場合は、システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: 保守ポイント CMAS がアクティブで、Web ユーザー・インターフェース CMAS にリンクしていることを確認してください。

宛先:

EYUVC1292I I 'cicsregion' でアクション (action) は失敗しました。説明

説明: このメッセージは、メッセージ EYUVC1231E に続いて追加情報を提供します。これは障害をレポートした各システムに対して発行されます。

アクション は、試行されてこのエラーを発生させた CICSplex SM API アクションを識別するものです。

説明 は BAS インストール・エラーを識別します。

システムの処置: セッションは続行されます。

ユーザーの処置: 提供された説明を調べて、適切な処置を行います。

管理者の応答: さらにメッセージがないか確認するために、システム CICS 領域 の CICS ジョブ・ログをチェックします。

宛先:

EYUVC1293E E CMAS *cmasname* から応答がありませんでした。理由: 理由テキスト (理由コード)。

説明: リモート CMAS との通信に問題があるため、1 つ以上の MAS から応答がありませんでした。

システムの処置: WUI 画面は、応答がなかった MAS からのデータを反映して最新表示されます。

ユーザーの処置: 要求を再試行してください。問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: コンソールまたは CMAS の EYULOG に書き込まれたメッセージを検討してください。

宛先:

EYUVC1294W W MAS *masname* から応答がありませんでした。理由: 理由テキスト (理由コード)。

説明: MAS との通信または MAS での要求の実行に問題があるため、要求されたスコープで 1 つ以上の MAS から応答がありませんでした。

システムの処置: WUI 画面は、応答がなかった MAS からのデータを反映して最新表示されます。

ユーザーの処置: 要求を再試行してください。問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: コンソールまたは CMAS の EYULOG に書き込まれたメッセージを検討してください。

宛先:

EYUVC1300I I 要求を処理しています。お待ちください。

説明: 要求されたアクションが、一定時間内に完了しませんでした。通常、これはシステム内で管理されている他の活動に起因します。

システムの処置: 処理を続行します。要求が完了した時点で結果が表示されます。

ユーザーの処置: 数分以内に要求が完了しない場合は、システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: コンソールおよび EYULOG に書き込まれたメッセージを検討してください。外部セキュリティー・マネージャーからのエラーがある場合には、Web ユーザー・インターフェースにサインオンできる正しい権限がそのユーザーに与えられていることを確認してください。

宛先:

EYUVC1310I I 「お気に入りに追加」操作は取り消されました。

説明: 「お気に入りに追加」画面で「キャンセル」がクリックされました。更新は保管されませんでした。

システムの処置: 前の WUI 画面が再表示されます。

ユーザーの処置: なし。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1311I I *favoritename* の「お気に入りに追加」操作が完了しました。

説明: お気に入りのメニューに画面が正常に追加されました。

システムの処置: お気に入りとして選択した画面が再表示されます。この画面へのハイパーリンクが、お気に入りのメニューに表示されています。

ユーザーの処置: なし。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1312W W ユーザー (*userid*) は別のユーザーによって更新されています。お気に入りを変更することはできません。

説明: お気に入りを取得しようとしたますが、別のユーザーが更新中のため、失敗しました。ロックが解除されるまで、お気に入りを変更することはできません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1313E E リポジトリは利用不能か、またはユーザーに対して許可されていません。

説明: お気に入りの追加しようとしたところ、リポジトリが利用不可であるかアクセスに必要な許可がないために、失敗しました。

システムの処置: お気に入りの操作は失敗します。その他の処理は続行されます。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: EYULOG でセキュリティ例外がないか確認し、必要に応じてユーザーの権限レベルを変更してください。

宛先:

EYUVC1314I I 現在お気に入りの何も登録されていません。

説明: 正常にサインオンできていますが、ユーザーのお気に入りがありません。

システムの処置: 処理を続行します。 ナビゲーション・メニューには、お気に入りのグループが表示されません。

ユーザーの処置: 「お気に入りの追加」アイコンをクリックします。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1315I I 属性 *attribute* は正常に更新されました。

説明: 選択リストから属性が正常に選択されました。

システムの処置: セッションは続行されます。

ユーザーの処置: なし。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1316I I パラメーター *parameter* は正常に更新されました。

説明: 選択リストからパラメーターが正常に選択されました。

システムの処置: セッションは続行されます。

ユーザーの処置: なし。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1317I I 属性 *attribute* は更新されませんでした。

説明: 属性の選択は取り消されました。

システムの処置: セッションは続行されます。

ユーザーの処置: なし。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1318I I パラメーター *parameter* は更新されませんでした。

説明: パラメーターの選択は取り消されました。

システムの処置: セッションは続行されます。

ユーザーの処置: なし。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1319E E 「OK」ボタンをクリックする前に値を選択する必要があります。

説明: 「OK」ボタンをクリックする前に選択リストから値を選択する必要があります。

システムの処置: セッションは続行されます。

ユーザーの処置: 値を選択してから「OK」をクリックするか、「取り消し」をクリックして前の画面に戻ります。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1321E E メニュー項目のタイトルが必要です。ブランクにすることはできません。

説明: タイトルがブランクのお気に入りを作成しようとしてしました。お気に入りの一部であるメニュー項目には適切なタイトルを付ける必要があります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: メニュー項目に適切なタイトルを入力してください。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1380I I *count* レコードが *time* で拡張されました。

説明: このメッセージは、CICSplex SM API から Web ユーザー・インターフェース・サーバーに展開および戻されたレコード数と、(ローカル) Web ユーザー・インターフェース・サーバーがそのレコードを展開した時刻を示します。レコード数は、現在のビューで使用可能なレコード数ではない可能性があります。例えば、詳細ビューでは、収集されたレコード数が、表示できるレコード数より大きい場合があります。

システムの処置: セッションは続行されます。

ユーザーの処置: なし。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVC1400E E *item itemname* のヘルプ・ページを生成できませんでした。(Help page could not be generated for item itemname.)

説明: 要求されたヘルプ・ページをサーバーが構築できませんでした。アドレスを手動で入力した場合、入力したアドレスが正しいかどうか確認してください。問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

システムの処置: ヘルプ・ページは表示されず、処理が続行されます。

ユーザーの処置: アドレスを手動で入力した場合、入力したアドレスが正しいかどうか確認してください。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVEnnnn メッセージ

EYUVEnnnn メッセージは、Web ユーザー・インターフェースのビュー・エディターおよびメニュー・エディターによって発行されます。

EYUVE0000 エディター・メッセージは、ユーザーのブラウザに書き込まれて、ビューおよびメニュー・エディター内の状況を表示します。これらは概して説明の必要のないもので、次の書式になります:

EYUVE0001E E メッセージ・テキスト

説明: エディター要求が行われ、説明された結果になりました。

システムの処置: メッセージに説明されているとおりです。

ユーザーの処置: メッセージに示された指示に従ってください。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVE0011E E 新規メニューに無効な文字が含まれています。別のメニュー名を入力してください。

EYUVE0012E E メニュー (*menuname*) は既に存在しています。別のメニュー名を入力してください。

EYUVE0014I I メニュー (*menuname*) が作成されました。

EYUVE0015E E メニュー名が指定されていません。別のメニュー名を入力してください。

EYUVE0016E E 'EYU' で始まるメニュー名は予約されているため作成できません。

EYUVE0017E E この名前 (*menuname*) のメニューを作成する権限がありません。

EYUVE0021E E 新規メニュー名に無効な文字が含まれています。別のメニュー名を入力してください。

EYUVE0022E E メニュー (*menuname*) は既に存在しています。別のメニュー名を入力してください。

EYUVE0024E E ソース・メニュー (*sourcemenuname*) が見つかりません。ソース・メニュー名を選択してください。

EYUVE0025I I メニュー (*sourcemenuname*) が、新規メニュー (*targetmenuname*) としてコピーされました。

EYUVE0026E E ソース・メニューが選択されていません。ソース・メニュー名を選択してください。

EYUVE0027E E メニュー名が指定されていません。別のメニュー名を入力してください。

EYUVE0028E E 'EYU' で始まるメニュー名は予約されているため作成できません。

EYUVE0029E E この名前 (*menuname*) のメニューを作成する権限がありません。

EYUVE0033E E メニューが選択されていません。メニュー名を選択してください。

EYUVE0034E E メニューは、'EYU'で始まっているか、またはロックされているため、削除できません。

EYUVE0040E E メニュー (*menuname*) が見つかりません。削除するメニュー名を選択してください。

EYUVE0041I I メニュー (*menuname*) は削除されました。

EYUVE0042E E メニュー (*menuname*) は、更新されているため削除できません。削除するメニュー名を選択してください。

EYUVE0043E E この名前 (*menuname*) のメニューを削除する権限がありません。

EYUVE0048E E メニューが選択されていません。メニュー名を選択してください。

EYUVE0050I I メニュー (*menuname*) が編集のためオープンされました。

EYUVE0051E E メニュー (*menuname*) は、別のユーザー (*userid*) によって既に更新されているため、編集できません。編集するメニュー名を選択してください。

EYUVE0052W W メニューは、'EYU' で始まっているか、またはロックされているため、変更できません。変更を保管することはできません。

EYUVE0053E E リポジトリ・レコードに無効なバージョン **ID** が含まれているため、メニュー (*menuname*) を編集できません。編集するメニュー名を選択してください。

EYUVE0054E E この名前 (*menuname*) のメニューを更新する権限がありません。

EYUVE0060E E メニュー (*menuname*) の保管に失敗しました。更新内容は失われました。

EYUVE0061I I メニュー (*menuname*) の更新が正常に保管されました。

EYUVE0067I I メニューのタイトル、注釈、およびヘルプ・テキストが編集されました。

EYUVE0073I I コンテキストおよびスコープ・オプションは編集されました。

EYUVE0101E E ヘルプ・ロケーションが無効か、または無効文字を含んでいます。有効なヘルプ・ロケーションを入力してください。

EYUVE0102E E ヘルプ・ロケーションが指定されていません。ヘルプ・ロケーションを選択し、入力してください。

EYUVE0103I I ヘルプ・ロケーションが編集されました。

EYUVE0109I I メニュー内容が編集されました。

EYUVE0110E E メニュー項目が指定されていません。メニュー項目を選択してください。

EYUVE0111E E メニュー項目のタイトルが必要です。ブランクにすることはできません。

EYUVE0116E E メニュー項目タイプが指定されていません。メニュー項目タイプを選択してください。

EYUVE0122I I メニュー・グループのタイトルおよびヘルプ・テキストが編集されました。

EYUVE0128I I メニュー選択のタイトル、注釈、およびヘルプ・テキストが編集されました。

EYUVE0134I I メニュー選択コンポーネントが編集されました。

EYUVE0141I I メニュー項目「*menuitemname*」が削除されました。

EYUVE0142I I メニュー項目 '*menuitemname*' は移動されました。

EYUVE0144I I メニュー項目 '*menuitemname*' が新規メニュー項目 '*menuitemname*' としてコピーされました。

EYUVE0147E E メニュー選択タイプが指定されていません。メニュー選択タイプを選択してください。

EYUVE0148I I メニューへのリンクが作成されました。

EYUVE0149I I 外部 **URL** へのリンクが作成されました。

EYUVE0150I I ビューへのリンクが作成されました。

EYUVE0156I I 外部 **URL** が編集されました。

EYUVE0157E E 外部 **URL** が指定されていません。外部 **URL** を入力してください。

EYUVE0162I I メニュー・リンク・コンポーネントが編集されました。

EYUVE0201E E メニュー名に無効な文字が含まれています。有効なメニュー名を入力してください。

EYUVE0202I I メニュー・リンク・ターゲットが編集されました。

EYUVE0203E E メニューが選択されていません。メニューを選択してください。

EYUVE0204E E メニュー名が入力されていません。メニュー名を入力してください。

EYUVE0205E E メニュー選択方法が指示されていません。メニュー選択の方法を指示してください。

EYUVE0211I I コンテキストおよびスコープ設定が編集されました。

EYUVE0212E E コンテキスト・オプションが指定されていません。コンテキスト・オプションを選択してください。

EYUVE0213E E スコープ・オプションが指定されていません。スコープ・オプションを選択してください。

EYUVE0214E E **CMAS** コンテキスト・オプションが指定されていません。**CMAS** コンテキスト・オプションを選択してください。

EYUVE0215E E 固定コンテキストが指定されていません。固定コンテキスト名を入力してください。

EYUVE0216E E 固定スコープが指定されていません。固定スコープ名を入力してください。

EYUVE0217E E 固定 **CMAS** コンテキストが指定されていません。固定 **CMAS** コンテキスト名を入力してください。

EYUVE0223E E ビュー・セット名に無効な文字が含まれています。新規ビュー・セット名を入力してください。

EYUVE0224E E ビュー・セットの名前が付けられていません。ビュー・セットの選択方法を指示し、ビュー・セット名を選択または入力してください。

EYUVE0225I I ビュー・リンク・ターゲットが編集されました。

EYUVE0226E E 正しくないオブジェクトのビュー・セット (*ViewsetObject*) が入力されました。正しいオブジェクトのビュー・セット (*LinkObject*) を入力してください。

EYUVE0231E E オブジェクトが選択されていません。オブジェクトを選択してください。

EYUVE0232I I ビューのオブジェクトが選択されました。

EYUVE0238I I ビュー・リンク・コンポーネントが編集されました。

EYUVE0239E E ビュー・リンクが編集できません。ターゲット・ビュー・セットが、このリリースの **CICSplex[®] SM** では使用できないオブジェクトを表しています。

EYUVE0244E E **CMAS** コンテキスト指定が不完全です。指定を完全にしてください。

EYUVE0245E E コンテキスト指定が不完全です。指定を完全にしてください。

EYUVE0246E E 無効な固定値が入力されました。有効な固定値を入力してください。

EYUVE0247E E スコープ指定が不完全です。指定を完全にしてください。

EYUVE0248I I ビュー・リンク・コンテキストおよびスコープ設定が設定されました。

EYUVE0254E E フィルターが選択されていません。ビュー・リンク・フィルターを選択してください。

EYUVE0255I I ビュー・リンク・フィルターが編集されました。

EYUVE0262I I ビュー・リンク・フィルター、「*filtername*」が削除されました。

EYUVE0268E E フィルター属性が選択されていません。フィルター属性を選択してください。

EYUVE0269E E フィルター・パラメーターが選択されていません。フィルター・パラメーターを選択してください。

EYUVE0270I I ビュー・リンク・フィルター属性が選択されました。

EYUVE0271I I ビュー・リンク・フィルター・パラメーターが選択されました。

EYUVE0277I I ビュー・リンク・フィルター設定が編集されました。

EYUVE0278E E フィルター値指定が不完全です。フィルター値をリストから選択してください。

EYUVE0280E E 属性フィルター演算子が指定されていません。属性フィルター演算子を選択してください。

EYUVE0281E E フィルター値指定が不完全です。フィルター値が固定か可変かを指定してください。

EYUVE0282E E 可変フィルター・ソース属性を選択してください。

EYUVE0283E E フィルター値指定が不完全です。フィルター値を入力してください。

EYUVE0284E E 無効なフィルター値が指定されました。 フィルター・タイプ「*filtertypedescription*」に有効な値を入力してください。

EYUVE0285E E フィルター値が長すぎます。 フィルター・タイプ「*filtertypedescription*」に有効な値を入力してください。

EYUVE0301E E ビュー名に無効な文字が含まれています。ビュー名を入力してください。

EYUVE0302E E ビューに名前が付けられていません。ビューの選択方法を指示し、ビュー名を選択または、可能な場合には入力してください。

EYUVE0303I I ビュー・リンク・ターゲットが編集されました。

EYUVE0309E E フィルター・タイプが指定されていません。フィルター・タイプを選択してください。

EYUVE0310I I ビュー・リンクのフィルター・タイプが選択されました。

EYUVE0316E E リンク条件の属性指定が不完全です。リストから属性を選択してください。

EYUVE0317E E リンク条件が選択されていません。リンク条件を選択してください。

EYUVE0318I I ビュー・リンク条件タイプが選択されました。

EYUVE0329E E 新規ビュー・セット名に無効な文字が含まれています。新規ビュー・セット名を入力してください。

EYUVE0330E E ビュー・セット (*viewsetname*) は既に存在しています。新規ビュー・セット名を入力してください。

EYUVE0332I I ビュー・セット (*viewsetname*) が作成されました。

EYUVE0333E E オブジェクトが指定されていません。オブジェクトを選択してください。

EYUVE0334E E ビュー・セット名が指定されていません。新規ビュー・セット名を入力してください。

EYUVE0335E E 'EYU' で始まるビュー・セット名は予約済みのため、作成できません。

EYUVE0336E E この名前 (*viewsetname*) でビュー・セットを作成する権限がありません。

EYUVE0340E E 新規ビュー・セット名に無効な文字が含まれています。新規ビュー・セット名を入力してください。

EYUVE0341E E ビュー・セット (*viewsetname*) は既に存在しています。新規ビュー・セット名を入力してください。

EYUVE0343E E ソース・ビュー・セット (*sourceviewsetname*) が見つかりません。ソース・ビュー・セット名を選択してください。

EYUVE0344I I ビュー・セット (*sourceviewsetname*) が新規ビュー・セット (*targetviewsetname*) としてコピーされました。

EYUVE0345E E ソース・ビュー・セットが選択されていません。ソース・ビュー・セット名を選択してください。

EYUVE0346E E ビュー・セット名が指定されていません。新規ビュー・セット名を入力してください。

EYUVE0347E E 'EYU' で始まるビュー・セット名は予約済みのため、作成できません。

EYUVE0348E E この名前 (*viewsetname*) でビュー・セットを作成する権限がありません。

EYUVE0352E E ビュー・セットが選択されていません。ビュー・セット名を選択してください。

EYUVE0353E E ビュー・セットは、'EYU' で始まっているか、またはロックされているため、削除できません。

EYUVE0359E E ビュー・セット (*viewsetname*) が見つかりません。削除するビュー・セット名を選択してください。

EYUVE0360I I ビュー・セット (*viewsetname*) は削除されました。

EYUVE0361E E ビュー・セット (*viewsetname*) は、更新されているため削除できません。削除するビュー・セット名を選択してください。

EYUVE0362E E この名前 (*viewsetname*) のビュー・セットを削除する権限がありません。

EYUVE0367E E ビュー・セットが選択されていません。ビュー・セット名を選択してください。

EYUVE0369I I ビュー・セット (*viewsetname*) が編集のためにオープンされました。

EYUVE0370E E ビュー・セット (*viewsetname*) は、既に他のユーザー (*userid*) により更新されているため編集できません。編集するビュー・セット名を選択してください。

EYUVE0371E E ビュー・セット (*viewsetname*) は、このリリースの **CICSplex SM** では使用できないオブジェクトを表しているため、編集できません。

EYUVE0372W W ビュー・セットは、'EYU' で始まっているか、またはロックされているため、変更できません。変更を保管することはできません。

EYUVE0373E E リポジトリ・レコードに無効なバージョン **ID** が含まれているため、ビュー・セット (*viewsetname*) を編集できません。編集するビュー・セット名を選択してください。

EYUVE0374E E この名前 (*viewsetname*) のビュー・セットを更新する権限がありません。

EYUVE0377E E ビューが選択されていません。この操作に対するビューを選択してください。

EYUVE0378E E ビュー・セット (*viewsetname*) の保管に失敗しました。更新内容は失われました。

EYUVE0379I I ビュー・セット (*viewsetname*) の更新内容は正常に保管されました。

EYUVE0380I I 最終変更は (*userid*) により (*time*) に行われました。

EYUVE0401E E 新規のビュー名に無効な文字が含まれています。新規ビュー名を入力してください。

EYUVE0403I I ビュー (*sourceviewname*) が、新規ビュー (*targetviewname*) としてコピーされました。

EYUVE0404E E ビュー名が指定されていません。新規ビュー名を入力してください。

EYUVE0405E E ビュー名はすでにビュー・セットにあります。別のビュー名を入力してください。

EYUVE0411I I ビュー (*viewname*) が削除されました。

EYUVE0417E E 事前埋め込みオプションが指定されていません。事前埋め込みオプションを選択してください。

EYUVE0418E E ビュー名はすでにビュー・セットにあります。別のビュー名を入力してください。

EYUVE0419E E ビュー名が指定されていません。ビュー名を入力してください。

EYUVE0420E E ビュー・タイプが指定されていません。ビュー・タイプを選択してください。

EYUVE0421I I ビュー (*viewname*) がビュー・セットに追加されました。

EYUVE0422E E 新規のビュー名に無効文字が含まれています。新規ビュー名を入力してください。

EYUVE0428I I ビュー (*viewname*) は編集されました。ビュー・セットの保管時に保管されます。

EYUVE0434E E 自動最新表示時間が無効です。別の自動最新表示時間を入力してください。

EYUVE0435E E 最大行数が無効です。別の最大行数を入力してください。

EYUVE0436E E 自動最新表示オプションが選択されていません。自動最新表示オプションを選択してください。

EYUVE0437E E 自動最新表示時間が入力されていません。自動最新表示時間を入力してください。

EYUVE0438E E 最大行数が入力されていません。最大行数を入力してください。

EYUVE0439I I ビューの表示オプションが編集されました。

EYUVE0449I I ビューのタイトル、注釈、およびヘルプ・テキストが編集されました。

EYUVE0455E E ボタンが選択されていません。この操作に対するボタンを選択してください。

EYUVE0456I I ビュー・ボタンが編集されました。

EYUVE0463I I ビュー・ボタン '*buttonname*' が削除されました。

EYUVE0469E E ボタン・アクションが指定されていません。ボタン・アクションを選択してください。

EYUVE0475E E アクションが指定されていません。このビュー・ボタンに対するアクションを選択してください。

EYUVE0501E E 確認パネルが選択されていません。確認パネルの選択方法を指示し、確認パネル名を選択または入力してください。

EYUVE0502E E 確認パネルの名前が付けられていません。確認パネルの選択方法を指示し、確認パネル名を選択または入力してください。

EYUVE0503E E 確認パネル指定が不完全です。確認パネルの選択方法を指示し、確認パネル名を選択または入力してください。

EYUVE0504E E 確認パネル名に無効文字が含まれています。別の確認パネル名を入力してください。

EYUVE0509E E テーブル列が指定されていません。テーブル列を選択してください。

EYUVE0510I I テーブル内容が編集されました。

EYUVE0517I I テーブル列 '*tablecolumnname*' が削除されました。

EYUVE0523E E 属性が選択されていません。リストから属性を選択してください。

EYUVE0524I I テーブル列の属性が選択されました。

EYUVE0530I I テーブル列が編集されました。

EYUVE0531E E テーブル列を編集できません。列が、このリリースの **CICSplex SM** では使用できない属性を表しています。

EYUVE0536I I テーブル列のタイトルおよび注釈が編集されました。

EYUVE0542E E ビュー・リンクが指定されていません。 ビュー・リンクを選択してください。

EYUVE0543I I ビュー・リンクが編集されました。

EYUVE0550I I ビュー・リンク、'*viewlinkname*' が削除されました。

EYUVE0556I I ローカル・ビュー・リンクが選択されました。

EYUVE0557I I ビュー・セット・リンクが選択されました。

EYUVE0558E E リンク・タイプが指定されていません。 リンク・タイプを選択してください。

EYUVE0564I I ビュー・リンク・コンポーネントが編集されました。

EYUVE0565E E ビュー・リンクが編集できません。 リンクが、このリリースの **CICSplex SM** では使用できないオブジェクトを表しています。

EYUVE0601E E 条件テスト指定が不完全です。 条件テストを選択してください。

EYUVE0602E E 無効な条件値が指定されました。 属性タイプ '*attributetypedescription*' に対する有効な値を入力してください。

EYUVE0603E E 条件値が長すぎます。 属性タイプ '*attributetypedescription*' に対する有効な値を入力してください。

EYUVE0604I I ビュー・リンク条件テストが編集されました。

EYUVE0608E E ビュー名に無効な文字が含まれています。 ビュー名を入力してください。

EYUVE0609E E ビューに名前が付けられていません。 ビューの選択方法を指示し、ビュー名を選択または、可能な場合には入力してください。

EYUVE0610I I ビュー・リンク・ターゲットが編集されました。

EYUVE0616E E フィルターが指定されていません。 フィルターを選択してください。

EYUVE0617I I 使用可能なフィルターが編集されました。

EYUVE0624I I ビュー・フィルター、'*filtername*' が削除されました。

EYUVE0630E E フィルター・タイプが指定されていません。 フィルター・タイプを選択してください。

EYUVE0631I I 属性フィルターが指定されました。

EYUVE0632I I パラメーター・フィルターが指定されました。

EYUVE0638E E 属性が指定されていません。 属性を選択してください。

EYUVE0639E E 入力メカニズムが指定されていません。 フィルターの入力メカニズムを選択してください。

EYUVE0640I I 属性フィルターが編集されました。

EYUVE0641I I 選択リストの自動生成は、選択された属性タイプに定義された値がないため不可能です。 手動で選択リストの値を編集してください。

EYUVE0646E E パラメーターが指定されていません。 パラメーターを選択してください。

EYUVE0647E E 入力メカニズムが指定されていません。 フィルターの入力メカニズムを選択してください。

EYUVE0648I I パラメーター・フィルターが編集されました。

EYUVE0649I I 選択リストの値は無効となり、廃棄されました。

EYUVE0654E E 値が指定されていません。 値を選択してください。

EYUVE0655I I 選択リストの値が編集されました。

EYUVE0661I I 選択リスト値 '*selectionlistvalue*' が追加されました。

EYUVE0662I I 選択リスト値 '*selectionlistvalue*' が編集されました。

EYUVE0663E E 値が指定されていません。 値を入力してください。

EYUVE0664E E 指定値は **CVDA** タイプには無効です。 新規の値を入力してください。

EYUVE0669I I 選択リスト値 '*selectionlistvalue*' が削除されました。

EYUVE0701E E 表示タイプが選択されていません。 表示タイプを選択してください。

EYUVE0702I I 表示タイプが選択されました。

EYUVE0708E E しきい値が選択されていません。 しきい値を選択してください。

EYUVE0709I I 表示しきい値が編集されました。

EYUVE0715E E しきい値が無効です。 別のしきい値を入力してください。

EYUVE0716E E しきい値範囲が指定されていません。 タイプを選択し、しきい値範囲の値を入力してください。

EYUVE0717I I 表示しきい値範囲が編集されました。

EYUVE0718E E 無効なパーセント値が指定されました。 **0** から **100** の間の数値を入力してください。

EYUVE0719E E 無効な範囲が指定されました。 別のしきい値範囲を入力してください。

EYUVE0725I I 表示しきい値、'*presentationthresholdvalue*' が削除されました。

EYUVE0731E E 無効な数値が指定されました。 有効な数値を入力してください。

EYUVE0732E E 上限が指定されていません。 バー・ゲージの上限のタイプと値を選択してください。

EYUVE0733E E 下限が指定されていません。 バー・ゲージの下限のタイプと値を選択してください。

EYUVE0734I I 表示オプションが編集されました。

EYUVE0740I I ビュー (*viewname*) は編集されました。ビュー・セットの保管時に保管されません。

EYUVE0746I I ビュー (*viewname*) は編集されました。ビュー・セットの保管時に保管されません。

EYUVE0747E E ビュー (*viewname*) は、このリリースの **CICSplex SM** では使用できないオブジェクトを表しているため編集できません。

EYUVE0752E E アクションが指定されていません。 確認パネルに対するアクションを選択してください。

EYUVE0754I I 確認パネルのアクションが選択されました。

EYUVE0758E E 項目が選択されていません。この操作に対するフォーム項目を選択してください。

EYUVE0759I I フォーム内容が編集されました。

EYUVE0760I I 編集操作は無視されました。空白項目には編集可能なオプションはありません。

EYUVE0761I I 空白項目を 2 カラム詳細フォームから削除できません。

EYUVE0765E E フォーム項目タイプが指定されていません。フォーム項目タイプを選択してください。

EYUVE0766I I フォーム項目タイプが選択されました。

EYUVE0801I I フォーム項目が編集されました。

EYUVE0802E E フォームの項目 '*formitemname*' は、このリリースの **CICSplex SM** では使用できない属性を参照しているため、編集できません。

EYUVE0803E E フォームの項目、'*formitemname*' は、このリリースの **CICSplex SM** では使用できないパラメーターを参照しているため、編集できません。

EYUVE0807I I フォーム項目のタイトルと注釈が編集されました。

EYUVE0812I I フォーム項目表示オプションが編集されました。

EYUVE0813E E 表示オプションが指定されていません。表示オプションを選択してください。

EYUVE0814I I 選択リストの自動生成は、選択された属性タイプに定義された値がないため不可能です。手動で選択リストの値を編集してください。

EYUVE0820I I フォームの項目、'*formitemname*' が削除されました。

EYUVE0821I I フォーム項目 '*formitemname*' および '*formitemname*' が削除されました。

EYUVE0825I I フォーム項目に対する属性が指定されました。

EYUVE0826I I フォーム項目に対するパラメーターが指定されました。

EYUVE0827E E 属性が指定されていません。このフォーム項目によって表される属性を選択してください。

EYUVE0828E E パラメーターが指定されていません。このフォーム項目によって表されるパラメーターを選択してください。

EYUVE0833I I フォーム項目のデフォルト・パラメーター値が編集されました。

EYUVE0838I I 表示しきい値のコンポーネントが編集されました。

EYUVE0843E E 色が選択されていません。表示しきい値に対する色を選択してください。

EYUVE0844I I 表示しきい値の色が指定されました。

EYUVE0901I I このビューの属性グリッドは表示されません。

EYUVE0902E E 属性グリッドにキャプションを指定する必要があります。キャプションを入力してください。

EYUVE0905I I 属性グリッドの内容が編集されました。

EYUVE0906E E セルが選択されていません。セルを選択してください。

EYUVE0907E E 列または行ヘッダーを選択し、「削除」または「挿入」を実行する必要があります。

EYUVE0908E E 列または行ヘッダーの前に列または行を挿入することはできません。

EYUVE0909E E 列または行ヘッダーを削除することはできません。

EYUVE0910E E この属性グリッドからこれ以上行を削除できません。

EYUVE0911E E この属性グリッドからこれ以上列を削除できません。

EYUVE0915I I ビュー *viewname* の属性グリッドが削除されました。

EYUVE0920E E 属性が選択されていません。リストから属性を選択してください。

EYUVE0921I I 属性グリッドのセルの内容が定義されました。

EYUVE0925I I 属性グリッドの行が削除されました。

EYUVE0926I I 属性グリッドの列が削除されました。

EYUVE0930I I 属性グリッドのセルの内容が変更されました。

EYUVE0936I I 属性グリッドのセルの内容が編集されました。

EYUVE0940I I 属性グリッドのセルのタイトルが編集されました。

EYUVE0949I I ユーザー・グループ (*usergroupname*) が作成されました。

EYUVE0950E E ユーザー・グループ名が指定されていません。新規のユーザー・グループ名を入力してください。

EYUVE0951E E 新規のユーザー・グループに無効な文字が含まれています。新規のユーザー・グループ名を入力してください。

EYUVE0952E E ユーザー・グループ (*usergroupname*) は既に存在しています。新規のユーザー・グループ名を入力してください。

EYUVE0953E E ユーザー・グループを作成する権限がありません。

EYUVE0954E E ユーザー・グループ属性 *attributename* に無効な値が含まれています。有効な *attributename* の値を入力してください。

EYUVE0956I I ユーザー・グループ (*usergroupname*) の更新内容は正常に保管されました。

EYUVE0957E E ユーザー・グループが選択されていません。ユーザー・グループ名を選択してください。

EYUVE0958E E ユーザー・グループ (*usergroupname*) は別のユーザー (*userid*) によって既に更新されているため、編集できません。編集する別のユーザー・グループ名を選択してください。

EYUVE0959E E リポジトリ・レコードに無効なバージョンが含まれているため、ユーザー・グループ (*usergroupname*) を編集できません。編集する別のグループ名を選択してください。

EYUVE0960E E ユーザー・グループを更新する権限がありません。

EYUVE0961I I ユーザー・グループ (*usergroupname*) が編集のためにオープンされました。

EYUVE0962I I ユーザー・グループ (*usergroupname*) が削除されました。

EYUVE0963E E ユーザー・グループ (*usergroupname*) が見つかりません。削除する別のグループ名を選択してください。

EYUVE0964E E ユーザー・グループ (*usergroupname*) は別のユーザー (*userid*) によって既に更新されているため、削除できません。削除する別のユーザー・グループ名を選択してください。

EYUVE0965E E ユーザー・グループを削除する権限がありません。

EYUVE0969I I ユーザー (*username*) が作成されました。

EYUVE0970E E ユーザー名が指定されていません。新規のユーザー名を入力してください。

EYUVE0971E E 新規のユーザーに無効な文字が含まれています。有効なユーザー名を入力してください。

EYUVE0972E E ユーザー (*username*) は既に存在しています。新規のユーザー名を入力してください。

EYUVE0973E E ユーザーを作成する権限がありません。

EYUVE0974E E ユーザーが選択されていません。ユーザー名を選択してください。

EYUVE0975E E ユーザー (*username*) は別のユーザー (*userid*) によって既に更新されているため、編集できません。編集する別のユーザー名を選択してください。

EYUVE0976E E ユーザー (*username*) は、リポジトリ・レコードに無効なバージョンが含まれているため、編集できません。編集する別のユーザー名を選択してください。

EYUVE0977E E ユーザーを更新する権限がありません。

EYUVE0978I I ユーザー (*username*) が編集のためにオープンされました。

EYUVE0979I I ユーザー (*username*) は削除されました。

EYUVE0980E E ユーザー (*username*) は見つかりません。削除するユーザー名を選択してください。

EYUVE0981E E ユーザー (*username*) は別のユーザー (*userid*) によって既に更新されているため、削除できません。削除するユーザー名を選択してください。

EYUVE0982E E ユーザーを削除する権限がありません。

EYUVE0983I I ユーザー (*username*) の更新内容は正常に保管されました。

EYUVE0984E E ユーザー (*username*) は別のユーザーによって更新されています。お気に入りを変更することはできません。

EYUVE0985E E ユーザー (*username*) は、リポジトリ・レコードに無効なバージョン番号が含まれているため、編集できません。

EYUVE1001E E リカバリー不能なエディター・エラーが発生しました (画面番号 *screennumber*)。

EYUVE1002E E 無効なエディター要求です (画面番号 *screennumber*)。

EYUVE1003E E • EYUVE1031E E

EYUVE1003E E リポジトリは利用不能か、またはユーザーに対して許可されていません。

EYUVE1010I I マップ (*mapname*) が作成されました。

EYUVE1011E E マップ名が指定されていません。新規のマップ名を入力してください。

EYUVE1012E E 新規マップに無効文字が含まれています。新規のマップ名を入力してください。

EYUVE1013E E マップ (*mapname*) は既に存在しています。新規のマップ名を入力してください。

EYUVE1014E E 'EYU' で始まるマップ名は予約されているため作成できません。

EYUVE1015E E この名前 (*mapname*) のマップを作成する権限がありません。

EYUVE1016E E マップが選択されていません。マップ名を選択してください。

EYUVE1017E E マップ (*mapname*) は別のユーザー (*username*) によって既に更新されているため、編集できません。編集するには、別のマップ名を選択してください。

EYUVE1018W W マップは、'EYU' で始まっているか、またはロックされているため、変更できません。変更を保管することはできません。

EYUVE1019E E マップ (*mapname*) は、リポジトリ・レコードに無効なバージョンが含まれているため、編集できません。編集するには、別のマップ名を選択してください。

EYUVE1020E E この名前 (*mapname*) のマップを更新する権限がありません。

EYUVE1021I I マップ (*mapname*) が編集のためにオープンされました。

EYUVE1022I I マップ (*sourcemapname*) は、新規マップ (*targetmapname*) としてコピーされました。

EYUVE1023E E ソース・マップが選択されていません。ソース・マップ名を選択してください。

EYUVE1024E E ソース・マップ (*mapname*) が見つかりません。ソース・マップ名を選択してください。

EYUVE1025E E マップは、'EYU' で始まっているか、またはロックされているため、削除できません。

EYUVE1026I I マップ (*mapname*) が削除されました。

EYUVE1027E E マップ (*mapname*) を削除できません。マップは別のユーザー (ユーザー ID) によって更新されています。削除するには、マップ名を選択してください。

EYUVE1028E E マップ (*mapname*) が見つかりません。削除するには、マップ名を選択してください。

EYUVE1029E E この名前 (*mapname*) のマップを削除する権限がありません。

EYUVE1030I I マップ (*mapname*) の更新内容は正常に保管されました。

EYUVE1031E E マップ項目が指定されていません。マップ項目を選択してください。

EYUVHnnnn メッセージ

EYUVHnnnn メッセージは、HTTP 応答コードに対する応答として Web ユーザー・インターフェースによって発行されます。

EYUVH0400E E 無効な HTTP 要求です。

説明: ブラウザーによる要求の形式が正しくありません。

システムの処置: 要求は無視されます。

ユーザーの処置: サーバーへのアクセスに通常使用しているものとは異なるブラウザを使用している場合は、通常使用しているもので試してみてください。問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: CICS Web インターフェースおよび CICSplex SM Web ユーザー・インターフェースのフィーチャーのサービス・レベルをチェックしてください。問題が解決しない場合は、AUXTRACE を収集し、IBM に連絡してください。

宛先:

EYUVH0403E E 要求が禁止されています。

説明: このリソースにアクセスするには、ユーザーがサインオンする必要があります

システムの処置: 要求は無視されます。

ユーザーの処置: Web ユーザー・インターフェース・サーバーにサインオンしてから、再試行してください。問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: AUXTRACE を収集して IBM に連絡してください。

宛先:

EYUVH0404E E 要求が見つかりません。

説明: 要求されたリソースは、サーバーによって認識されていませんでした。

システムの処置: 要求は無視されます。

ユーザーの処置: アドレスを手動で入力した場合、入力したアドレスが正しいかどうか確認してください。問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: ユーザーによって入力された URL が有効なものかどうかチェックしてください。カスタマイズ済みヘルプのページを求める要求の場合は、ビュー・エディターを使用することによって、関連するビューまたはメニュー定義で指定されているメンバー名が正しいものであること、またそのメンバーが DFHHTML デー

タ・セット内に含まれていることを確認してください。問題を自分で解決できない場合は、AUXTRACE を収集して IBM に連絡してください。

宛先:

EYUVH0500E E 内部サーバー・エラー。

説明: サーバーで予期しない内部エラーが発生しました。

システムの処置: 応答は取り消されますが、要求されたアクションは完了している可能性があります。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: AUXTRACE とダンプを収集して IBM に連絡してください。

宛先:

EYUVH0501E E HTTP 要求の方式がサポートされていません。

説明: ブラウザーの送信した要求において、無効な、またはサポートされていない HTTP 要求メソッドが使用されています。

システムの処置: 要求は無視されます。

ユーザーの処置: サーバーへのアクセスに通常使用しているものとは異なるブラウザを使用している場合は、通常使用しているもので試してみてください。問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: AUXTRACE とダンプを収集して IBM に連絡してください。

宛先:

EYUVH0503E E サービスが一時的に使用できなくなっています。

説明: サーバーは、現在接続のために使用可能な状態ではありません。

システムの処置: 要求は無視されます。

ユーザーの処置: 後で再試行してください。問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

管理者の応答: CICSplex SM Web ユーザー・インターフェース・サーバーの状況を確認し、必要なら再始動してください。

宛先:

EYUVSnnnn メッセージ

EYUVSnnnn メッセージは、インターフェース・サーバーの状況を反映するために Web ユーザー・インターフェース・サーバーによって発行され、EYULOG、管理者端末およびコンソールに書き込まれます。

EYUVS0001I I CICSplex SM Web ユーザー・インターフェースの初期設定が開始されました。

説明: Web ユーザー・インターフェース・サーバーの初期設定シーケンスが開始されました。

システムの処置: 初期設定シーケンスが続行されます。

管理者の応答: なし。

宛先: コンソール

EYUVS0002I I CICSplex SM Web ユーザー・インターフェースの初期設定が完了しました。

説明: Web ユーザー・インターフェース・サーバーの初期設定シーケンスが正常に完了しました。

システムの処置: ブラウザー要求に対応できる状態になります。

管理者の応答: なし。

宛先: コンソール

EYUVS0003I I CICSplex SM Web ユーザー・インターフェースの終了処理が開始されました。

説明: Web ユーザー・インターフェース・サーバーの終了シーケンスが開始されました。

システムの処置: 終了シーケンスが続行されます。これ以降のブラウザー要求は拒否されます。

管理者の応答: なし。

宛先: コンソール

EYUVS0004I I CICSplex SM Web ユーザー・インターフェースの終了処理が完了しました。

説明: Web ユーザー・インターフェース・サーバーの終了シーケンスが正常に完了しました。

システムの処置: サーバーは終了します。

管理者の応答: なし。

宛先: コンソール

EYUVS0005S S CICSplex SM Web ユーザー・インターフェースの初期設定は失敗しました。
(理由テキスト)

説明: Web ユーザー・インターフェース・サーバーの

初期設定シーケンスは失敗しました。診断メッセージが EYULOG に書き込まれます。

システムの処置: サーバーは終了します。

管理者の応答: EYULOG でサーバー・アドレス・スペースを確認してください。

宛先: コンソール

EYUVS0006E E CICS シャットダウン要求が失敗しました。RESP(*resp*) RESP2(*resp2*)

説明: Web ユーザー・インターフェース・サーバー終了シーケンスの一部としての、Web ユーザー・インターフェース CICS 領域のシャットダウン要求が失敗しました。「EXEC CICS PERFORM SHUTDOWN」コマンドから戻された「RESP」と「RESP2」の値が、メッセージに含まれています。

システムの処置: Web ユーザー・インターフェース・サーバーは終了しますが、CICS 領域はアクティブのままになります。

管理者の応答: メッセージに含まれている「RESP」と「RESP2」の値を検討して、問題の原因を判断します。CICS 領域を手動でシャットダウンしてください。

宛先: コンソール

EYUVS0007E E サーバー・リポジトリのバージョン(*version*) が間違っています。

説明: WUI サーバー・リポジトリは、現行リリース以外のバージョンの CICSplex SM を実行する WUI サーバーによって初期化されました。メッセージには、WUI サーバー・リポジトリを初期化した WUI サーバーの「バージョン」が含まれます。

システムの処置: 現在実行中のサーバー初期設定プログラムは終了します。

管理者の応答: 新規の WUI サーバー・リポジトリ・データ・セットを使用するか、現行の CICSplex SM リリースを実行するサーバーによって初期化された既存のリポジトリを使用して、サーバーのアドレス・スペースを再始動します。

宛先: コンソール

EYUVS0008I I サーバー・リポジトリが共用アクセス用に初期化されました。

説明: WUI サーバー・リポジトリが RLS 用に使用可能にされ、アクセス共用が初期化されました。

システムの処置: サーバーは実行を続行します。

管理者の応答: なし。

宛先: コンソール

EYUVS0009I I CICSPlex SM Web ユーザー・インターフェースで **DEFAULTWARNCNT(0)** が使用されています。

説明: デフォルト値が使用されているか、またはゼロとして明示的にコーディングされているため、Web ユーザー・インターフェースで DEFAULTWARNCNT にゼロの設定が使用されています。これは、Web ユーザー・インターフェース要求および CICS Explorer からの CMCI 要求で、許容できないほど大量のデータが取得されると予想される場合でも、その要求が失敗しないことを意味します。

システムの処置: 処理を続行します。

管理者の応答: DEFAULTWARNCNT をゼロ以外に設定して、戻されるデータの量を制限すべきかどうか、検討してください。

宛先: コンソール

EYUVS0010I I サーバーが **CMAS**、**SYSID (sysid)** に接続されました。

説明: CMAS への接続が可能です。この時点で、ユーザーは Web ユーザー・インターフェース・サーバーにサインオンできます。

システムの処置: 処理を続行します。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVS0011W W CMAS へのサーバー接続ができません。

説明: CMAS への接続が不可能です。ユーザー・セッションはサインオフされ、Web ユーザー・インターフェース・サーバーは、CMAS 接続が確立されるまで使用できません。

システムの処置: ユーザー・セッションは終了され、処理が続行されます。

管理者の応答: 適切な状況であれば、CMAS 接続を再度確立してください。

宛先:

EYUVS0020I I ユーザー (*username*) に対するタスク初期設定が完了しました。

説明: サインオン要求の結果、指定のユーザーに対してユーザー・タスクが正常に作成されました。

システムの処置: 処理を続行します。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVS0021I I ユーザー (*username*) に対するタスク終了が完了しました。理由テキスト。

説明: ユーザー・タスクが終了し、関連セッションがクローズされました。

システムの処置: 処理を続行します。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVS0022E E ユーザー (*username*) に対するタスクが失敗しました。

説明: ユーザー・セッションを作成中に、内部エラーが発生しました。

システムの処置: ユーザーのサインオンは取り消されます。

管理者の応答: 問題と関連するこれより前のメッセージを検討してください。関連メッセージがない場合は、AUXTRACE、コンソール・ログ、およびダンプ情報を収集して、IBM サービス技術員に連絡してください。

宛先:

EYUVS0023E E ユーザー (*username*) を **CICSPlex SM** に接続するタスクが失敗しました。
(*conncode*, *connreason*)

説明: 新規ユーザー・セッションで、指定のユーザーの CICSPlex SM に対する接続に失敗しました。

システムの処置: ユーザーのサインオンは取り消されます。

管理者の応答: CMAS 状況およびそのユーザー ID のアクセス権限を確認してください。メッセージには、EXEC CPSM CONNECT コマンドから戻された応答と理由値が含まれていますので注意して参照してください。

宛先:

EYUVS0024W W ユーザー (*user*) は要求されたグループ (*group1*) に接続されていません。デフォルトのグループ (*group2*) が使用されました。

説明: サインオンする時、Web ユーザー・インターフェースのユーザー (*user*) がサインオン画面上でグループ (*group1*) を指定しました。ユーザー ID が *group1* に接続していなかったため、指定されたグループ (*group1*) は使用されませんでした。

システムの処置: サインオンは継続されますが、Web ユーザー・インターフェースは Web ユーザー・インターフェースのユーザー・グループ・プロファイル名としてユーザーのデフォルト・グループ (*group2*) を使用します。

管理者の応答: セキュリティー管理者に連絡して、指定されたグループ *group1* が適切であることを、ユーザー ID がそのグループに接続されていることを確認してください。

サインオン・グループ・オプションは、Web ユーザー・インターフェースのシステム・パラメーター SIGNONPANEL が ENHANCED に設定されている場合のみ有効です。グループ・オプションが必要ない場合は、SIGNONPANEL を BASIC に設定してください。

宛先:

EYUVS0030E E サインオンが拒否されました。最大ユーザー限度 (*maxusers*) に達しました。

説明: ユーザーが Web ユーザー・インターフェース・サーバーにサインオンしようとしたますが、既に MAXUSERS パラメーターで定義された並行セッションの最大数に達しています。

システムの処置: 処理を続行します。

管理者の応答: このメッセージが頻繁に出される場合、MAXUSERS パラメーターの数値を増やす、INACTIVETIMEOUT パラメーターを減らす、または追加の Web ユーザー・インターフェース・サーバーを導入する、などの対処をしてください。問題をすぐに解決する必要がある場合、管理トランザクション (COVC) を使用して余分なユーザー・セッションをパーージしてください。

宛先:

EYUVS0031E E サインオンが失敗しました。ユーザー (*username*) に対するタスクを開始できません。(CICS 情報: RESP(*response1*) RESP2(*response2*))

説明: ユーザー・タスク・トランザクション (COVA)

が開始できなかったため、指定のユーザーに対する新規のユーザー・セッションが開始できませんでした。

システムの処置: ユーザーのサインオンは取り消されます。

管理者の応答: Web ユーザー・インターフェース・サーバーの稼働状況、および指定のユーザー ID と COVG トランザクションに関連するユーザー ID に対するアクセス権を確認してください。メッセージには、EXEC CICS START コマンドから戻された RESP と RESP2 の値が含まれますので注意して参照してください。

宛先:

EYUVS0101I I パラメーター・サービスの初期設定が完了しました。

説明: サーバー・パラメーターが、初期設定シーケンスで正常に読み込まれ、他のサーバー・コンポーネントに対して使用可能になりました。

システムの処置: 初期設定シーケンスが続行されます。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVS0102I I パラメーター・サービスが終了しました。

説明: サーバー・パラメーターが、終了シーケンスで廃棄されました。

システムの処置: 終了シーケンスが続行されます。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVS0103E E パラメーター・サービスが失敗しました。

説明: サーバーが、初期設定シーケンスでサーバー・パラメーターを読み込めませんでした。

システムの処置: 初期設定シーケンスが異常終了し、サーバーが終了します。

管理者の応答: 直前のメッセージを確認し、エラーの原因を判別してください。

宛先:

EYUVS0104E E パラメーター (*parmname*) は無効です。

説明: パラメーター・データ・セットのサーバー・パラ

メーター名に指定された値の形式が不適切であるか、または値が範囲外です。

システムの処置: 初期設定ができません。

管理者の応答: 指定パラメーターの値を検討し、サーバーを再始動してみてください。

宛先:

EYUVS0105E E パラメーター・データ・セットに無効なレコードがあります。

説明: Web ユーザー・インターフェース・サーバーで、サーバー・パラメーターに形式が不適切な行が検出されました。

システムの処置: 初期設定ができません。

管理者の応答: サーバー・パラメーターのデータ・セットの内容を確認し、サーバーを再始動してみてください。

宛先:

EYUVS0106W W パラメーター・データ・セットの長すぎるレコードは無視されました。

説明: サーバー・パラメーター・データ・セットのレコードの長さが長すぎて処理できず、無視されました。

システムの処置: 初期設定が続行されます。

管理者の応答: サーバー・パラメーターのデータ・セットの内容を確認し、サーバーを再始動してみてください。

宛先:

EYUVS0107I I スタートアップ・パラメーターを読み込んでいます。

説明: Web ユーザー・インターフェースでは、サーバー・パラメーターを読み込んでいます。

システムの処置: 処理を続行します。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVS0108I I スタートアップ・パラメーターを読み込みました。

説明: Web ユーザー・インターフェースでは、サーバー・パラメーターを読み込みが終了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVS0109I I *parmname(parmvalue)*

説明: 指定のパラメーターが読み取られ、指定の値を持っていることが検出されました。

システムの処置: 処理を続行します。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVS0110E E 必須パラメーター (*parmname*) が指定されていません。

説明: Web ユーザー・インターフェース・サーバーは指定されたすべてのパラメーターを読み込みましたが、必須パラメーターの値が検出されませんでした。

システムの処置: 初期設定ができません。

管理者の応答: パラメーター名を指定し、サーバーを再始動してみてください。

宛先:

EYUVS0111E E トレース・フラグの指定が無効です。

説明: WUITRACE パラメーターが指定されましたが、形式が正しくありませんでした。

システムの処置: 初期設定ができません。

管理者の応答: WUITRACE パラメーターの値を検討し、サーバーを再始動してみてください。

宛先:

EYUVS0112E E パラメーター **TDQ** (*TDQname*) をオープンできません。

説明: Web ユーザー・インターフェースでは、サーバー・パラメーターを含むデータ・セットをオープンできませんでした。

システムの処置: 初期設定ができません。

管理者の応答: サーバー JCL の EYUWUI DD カードに名前のあるデータ・セット状況をチェックし、レコード形式が正しく、読み取り可能であることを確認してください。

宛先:

EYUVS0113E E **AUTOIMPORTMEM** が指定されていません。EYUX* と想定されます。

説明: AUTOIMPORTDSN WUI サーバー初期設定パラメーターにデータ・セット名を指定しましたが、AUTOIMPORTMEM パラメーターにデータ・セット・メンバー名を指定しませんでした。データ・セット・メ

EYUVS0114E E • EYUVS0123W W

ンバー名のデフォルトは EYUx* です。ここで、x は定義を記述する言語を示し、アスタリスクはワイルドカード文字です。これは、指定された言語の中で EYU の文字で始まる定義がすべてインポートされることを意味します。

システムの処置: 自動インポートは、デフォルトのデータ・セット・メンバー名で続行されます。

管理者の応答: 正しいデータ・セット・メンバーがインポートされたことを確認します。

宛先:

EYUVS0114E E AUTOIMPORTDSN パラメーターが指定されていません。これは、**AUTOIMPORTMEM** を指定するときには必須です。

説明: AUTOIMPORTMEM WUI サーバー初期設定パラメーターにデータ・セット・メンバー名を指定しましたが、AUTOIMPORTDSN パラメーターにデータ・セット名を指定しませんでした。AUTOIMPORTMEM を指定するときには、AUTOIMPORTDSN の値を指定する必要があります。

システムの処置: WUI サーバーの初期設定は、自動インポートを実行せずに続行されます。

管理者の応答: WUI サーバーをシャットダウンして、正しい自動インポート・パラメーターで初期設定を再始動するか、COVC トランザクションを使用して既存の WUI サーバーのデータ・リポジトリ定義をインポートすることができます。

宛先:

EYUVS0115I I Auxtrace がオフにされて WUI サーバーが実行されています。

説明: ユーザーが SIT で補助トレースをオフに設定しています。

システムの処置: 処理を続行します。

管理者の応答: AUXTR=ON、SYSTR=OFF、および USERTR=ON を設定して実行することを検討してください。これにより、WUI サーバーの保守のために最小のトレースが収集されます。

宛先: コンソール

EYUVS0120E E リソース・テーブル (restable) をロードできません。

説明: サーバーが指定のモジュールを SEYULOAD データ・セットからロードできませんでした。

システムの処置: 初期設定ができません。

管理者の応答: IBM に連絡してください。

宛先:

EYUVS0121W W 各国語指定が無効です。**"ENU"** を使用します。

説明: EYU9VKEC INITPARM が欠落しているか、または有効な各国語が指定されていません。このメッセージは、サーバーが INITPARM 値を使用するたびに発行されます。

システムの処置: 'ENU' がデフォルト言語として使用され、処理が続行されます。

管理者の応答: EYU9VKEC INITPARM で指定されている言語指定を確認してください。

宛先: コンソール

EYUVS0122W W デフォルト・コード・ページ指定が無効です。**"ENU1"** を使用します。

説明: EYU9VWAN INITPARM が欠落しているか、または有効なコード・ページが指定されていません。このメッセージは、サーバーが INITPARM 値を使用するたびに、すなわち無効な、またはコード・ページ指定の欠落したブラウザー要求を受け取るたびに発行されます。

システムの処置: 'ENU1' がデフォルト・コード・ページ指定として使用され、処理が続行されます。

管理者の応答: EYU9VWAN INITPARM で指定されている言語指定を確認してください。

宛先: コンソール

EYUVS0123W W 3 桁ごとの区切りの分離文字と小数部の分離文字 (小数点) が同じです。

説明: デフォルトと設計のいずれかにより、Web ユーザー・インターフェースの開始パラメーター DECIMALSEPARATOR と THOUSNDSEPARATOR が同じものに設定されています。これによって、小数点も含むような 1,000 単位の数の表示があいまいになる可能性があります。DECIMALSEPARATOR サーバー・パラメーターは同じ値となります。指定値は尊重されますが、表示される数字の形式がわかりにくくなります。

システムの処置: 処理を続行します。

管理者の応答: これらのパラメーター設定の変更を考慮してください。

宛先: コンソール

EYUVS0150E E メッセージ *messageNum* を
EYULOG に書き込めませんでした。

説明: 指定されたメッセージを EYULOG に書き込めませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

管理者の応答: EYULOG の宛先状況を検討してください。問題が解決しない場合は、AUXTRACE を収集し、IBM に連絡してください。

宛先: コンソール

EYUVS0200I I CICS Web インターフェースを開始しています。

説明: Web ユーザー・インターフェース・サーバーが、ブラウザからの着信要求に対して、CICS Web インターフェースをオープンしようとしています。

システムの処置: 初期設定が続行されます。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVS0201I I CICS Web インターフェース・トランザクション (*transname*) が正常に開始されました。

説明: CICS Transaction Server V1.3 以前のシステムで稼働しているときに、サーバーが CICS Web インターフェースの初期設定を要求しました。

システムの処置: 初期設定が続行されます。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVS0202E E CICS Web インターフェース・トランザクション (*transname*) の開始に失敗しました。

説明: CICS Transaction Server V1.3 以前のシステムで稼働しているときに、CICS Web インターフェースを開始しようとして失敗しました。

システムの処置: 初期設定ができません。

管理者の応答: CICS Web インターフェースが正しく構成されていることを確認します。

宛先:

EYUVS0203I I 以前にインストールされた TCP/IP サービス (*tcpipname*) を破棄しています。

説明: CICS Transaction Server V1.3 以降で稼働しているときに、指定の TCP/IP サーバーは既にあるため、これを破棄しています。

システムの処置: 初期設定が続行されます。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVS0204I I TCP/IP サービス (*tcpipname*) が正常にインストールされました。

説明: CICS Transaction Server V1.3 以降で稼働しているときに、指定の TCP/IP サーバーが CICS Web インターフェース要求に対してインストールされました。

システムの処置: 初期設定が続行されます。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVS0205E E TCP/IP サービス (*tcpipname*) のインストールに失敗しました。

説明: CICS Transaction Server V1.3 以降で稼働しているときに、指定の TCP/IP サービスを作成しようとして失敗しました。

システムの処置: 初期設定ができません。

管理者の応答: CICS Web インターフェースが正しく構成されていること、TCPIPPOPT サーバー・パラメーターで指定されたポート番号が使用されていないこと、関連する TCP/IP サーバー・パラメーターの値が有効であることを確認してください。

宛先:

EYUVS0206I I CICS Web インターフェースがポート番号 *portnum* で使用可能になりました。

説明: CICS Transaction Server V1.3 以降で稼働しているときに、TCP/IP サービスが、所定のポート番号で正常にオープンされました。

システムの処置: 初期設定が続行されます。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVS0207E E CICS Web インターフェースをポート番号 *portnum* で使用可能にできませんでした。

説明: CICS Transaction Server V1.3 以降で稼働しているときに、TCP/IP サービスを所定のポート番号で正常にオープンできませんでした。

システムの処置: 初期設定ができません。

管理者の応答: CICS Web インターフェースが正しく構成されていること、TCPIPPORT サーバー・パラメーターで指定されたポート番号が使用されていないこと、関連する TCP/IP サーバー・パラメーターの値が有効であることを確認してください。

宛先:

EYUVS0208E E SSL サポートはこのリリースの CICS では使用できません。

説明: TCPIPSSL サーバー・パラメーターが、保護ソケット・レイヤーのサポートを CICS に要求しましたが、これはサポートされていません。

システムの処置: 初期設定ができません。

管理者の応答: 非保護ソケットを使用する (TCPIPSSL サーバー・パラメーターを削除する) か、またはサーバー CICS を適切なリリースのものにアップグレードしてください。

宛先:

EYUVS0209I I URI マップ (*urimapname*) が正常にインストールされました。

説明: 指定された URI マップが CICS Management Client インターフェース要求に対してインストールされました。

システムの処置: 初期設定が続行されます。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVS0210E E URI マップ (*urimapname*) のインストールに失敗しました。

説明: 指定された URI マップの作成に失敗しました。

システムの処置: 初期設定ができません。

管理者の応答: CICS Management Client インターフェースが正しく構成されていることと、CICS Management Client インターフェースで指定された PATH がまだ使用されていないことを確認してください。

宛先:

EYUVS0211I I CICS Management Client インターフェースが TCP/IP ポート番号 *portnum* で有効です。

説明: TCP/IP サービスが、CICS Management Client インターフェースの所定のポート番号で正常にオープンされました。

システムの処置: 初期設定が続行されます。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVS0212E E CICS Management Client インターフェースを TCP/IP ポート番号 *portnum* で使用可能にできませんでした。

説明: TCP/IP サービスが、CICS Management Client インターフェースの所定のポート番号で正常にオープンできませんでした。

システムの処置: 初期設定ができません。

管理者の応答: CICS Management Client インターフェースが正しく構成されていること、CMCIPORT サーバー・パラメーターで指定されたポート番号がまだ使用されていないこと、関連する TCP/IP サーバー・パラメーターの値が有効であることを確認してください。

宛先:

EYUVS0213I I 以前インストールされた URI マップ (*urimapname*) を破棄します。

説明: 指定された URI マップはすでに存在していたため、破棄中です。

システムの処置: 初期設定が続行されます。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVS0214E E CICS Management Client インターフェース *parameter1* パラメーターが指定されていません。これは、*parameter2* を指定するときには必須です。

説明: *parameter1* パラメーターが指定されていません。これは、*parameter2* が指定されているときには必須です。

システムの処置: WUI サーバーの初期化は継続しますが、CICS Management Client インターフェースの初期化は失敗します。

管理者の応答: 正しいパラメーターを指定して WUI

サーバーを再始動するか、CICS Management Client インターフェースなしで WUI サーバーの使用を続けるか、いずれも可能です。

宛先:

EYUVS0215E E JVM サーバー *jmsservername* のインストールに失敗しました。

説明: 指定された JVM サーバーを作成しようとしたが、失敗しました。

システムの処置: WUI サーバーの初期化は継続しますが、CICS Management Client インターフェースの初期化は失敗します。

管理者の応答: JVM サーバーのインストールを許可するように WUI サーバーが構成されていることを確認してください。システム・ログを調べて、JVM サーバーをインストールできなかった原因を特定してください。

宛先:

EYUVS0216I I JVM サーバー(*jmsservername*) が正常にインストールされました。

説明: CMCI JVM サーバーが正常にインストールされました。

システムの処置: 初期設定が実行されます。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVS0218E E CICS Management Client インターフェースを JVM サーバー *jmsservername* で使用可能にできませんでした。

説明: 指定された JVM サーバーは、インストールされましたが、使用可能にできませんでした。JVM サーバーをインストールした後、それを使用可能にしようとした。システムは、JVM サーバーが正常に使用可能になったかどうかの判別のために最大 5 分間待機します。この待機時間中に JVM サーバーが使用可能にならない場合に、このメッセージが発行されます。

システムの処置: WUI サーバーの初期化は継続しますが、CICS Management Client インターフェースの初期化は失敗します。

管理者の応答: システム・ログを確認して、JVM サーバーを使用可能にできなかった原因を特定してください。

宛先:

EYUVS0219I I CICS Management Client インターフェース JVM サーバー *jmsservername* が使用可能になりました。ポート番号 *portnumber* を使用してサーバーを設定中です。

説明: CICS Management Client インターフェースの JVM サーバーが正常にインストールされ、使用可能になりました。

システムの処置: 初期設定が実行されます。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVS0220E E 以前にインストールされた JVM サーバー(*jmsservername*) の破棄に失敗しました。

説明: 既存の JVM サーバーを使用不可にし、破棄しようとした。JVM サーバーを使用不可に設定、または破棄することができませんでした。システムは、JVM サーバーが正常に使用不可になったかどうかの判別のために 30 秒から 60 秒の間待機します。この待機時間中に JVM サーバーが使用不可にならない場合、または JVM サーバーを破棄できない場合に、このメッセージが発行されます。

システムの処置: WUI サーバーの初期化は継続しますが、CICS Management Client インターフェースの初期化は失敗します。

管理者の応答: システム・ログを確認して、JVM サーバーを使用不可に設定または破棄できなかった原因を特定してください。あるいは、COLD または INITIAL としてシステムを再始動してください。

宛先:

EYUVS0221E E CICS GraphQL インターフェースを JVM サーバー *jmsservername* で使用可能にできませんでした。

説明: GraphQL インターフェースの実行に必要なリソースをインストールできませんでした。

システムの処置: WUI サーバーの初期化は継続しますが、CICS GraphQL インターフェースの初期化は失敗します。

管理者の応答: システム・ログを確認して、必要な GraphQL リソースをインストールできなかった原因を特定してください。

宛先:

EYUVS0222I I CICS GraphQL インターフェースが JVM サーバー *jvmservername* で使用可能になりました。

説明: CICS GraphQL インターフェースが正常に使用可能になりました。

システムの処置: 初期設定が続行されます。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVS0223I I CICS Management Client Interface JVM サーバー *jvmservername* が使用可能になるのを待機しています。

説明: CICSplex SM WUI サーバーは、CICS Management Client Interface 用の JVM サーバーのインストールが完了したため、そのサーバーが使用可能になるのを待機します。システムは約 5 分間待機します。JVM サーバーが、この時間内に ENABLED または DISABLED のいずれかの状態に達しない場合は、メッセージ EYUVS0218E が表示されます。

システムの処置: なし。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVS0900I I Web ユーザー・インターフェース・サーバーの開始が、端末 *facilityID* から要求されました。

説明: Web ユーザー・インターフェース・サーバーの初期設定が、COVC トランザクションを使用して端末名から要求されました。

システムの処置: 初期設定シーケンスが開始します。

管理者の応答: なし。

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

EYUVS0901I I Web ユーザー・インターフェース・サーバーの停止が、端末 *facilityID* から要求されました。

説明: Web ユーザー・インターフェース・サーバーの終了が、COVC トランザクションを使用して指定端末から要求されました。

システムの処置: 終了シーケンスが開始します。

管理者の応答: なし。

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

EYUVS0902W W Web ユーザー・インターフェース・サーバーは現在アクティブです。

説明: Web ユーザー・インターフェース・サーバーの初期設定が、COVC トランザクションを使用して要求されましたが、サーバーは既にアクティブになっています。

システムの処置: 要求は無視されます。

管理者の応答: なし。

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUVS0903W W Web ユーザー・インターフェース・サーバーは現在非アクティブです。

説明: Web ユーザー・インターフェース・サーバーの終了が、COVC トランザクションを使用して要求されましたが、サーバーは既に非アクティブになっています。

システムの処置: 要求は無視されます。

管理者の応答: なし。

宛先: コンソールおよび端末エンド・ユーザー

EYUVS0904E E Web ユーザー・インターフェース制御トランザクション・コマンドが無効です。

説明: 指定された操作は、Web ユーザー・インターフェース制御トランザクション (COVC) では認識できませんでした。

システムの処置: 要求は無視されます。

管理者の応答: 指定が正しいことを確認して操作をやり直してください。

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUVS0905E E Web ユーザー・インターフェース制御トランザクションは失敗しました。

説明: Web ユーザー・インターフェース制御トランザクションで内部エラーが発生しました。

システムの処置: 要求は無視されます。

管理者の応答: 異常終了情報、AUXTRACE、およびダンプを収集して、IBM サービス技術員に連絡してください。

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUVS0906I I Web ユーザー・インターフェース制御
トランザクションの操作が完了しました。

説明: 指定操作が正常に実行されました。

システムの処置: 処理を続行します。

管理者の応答: なし。

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUVS0907E E 無効な入力です。 **Y** または **N** を入力してください。

説明: Web ユーザー・インターフェース制御トランザクションのトレース設定パネルに、フラグとして無効な文字が入力されました。

システムの処置: 要求は無視されます。

管理者の応答: エラーとなっているフィールドを訂正します。

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUVS0908E E Web ユーザー・インターフェース制御トランザクションでは、指定の表示に **3270** 端末が必要です。

説明: 要求された操作にはフルスクリーン・マップが必要ですが、現行装置ではサポートされていません。

システムの処置: 要求は無視されます。

管理者の応答: 適切な端末で操作をやり直してください。

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUVS0909I I ユーザー (*username1*) のページがユーザー (*username2*) から要求されました。

説明: 指定のユーザーが、そのユーザーの Web ユーザー・インターフェース・セッションをページしました。

システムの処置: ページされたユーザー・セッションは、終了可能になり次第終了されます。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVS0910E E ページ要求が失敗しました。ユーザー (*username*) は見つかりません。

説明: 指定のユーザーの Web ユーザー・インターフェースのアクティブ・セッションを終了しようとしたのですが、そのユーザーがサインオンしていないため、終了できませんでした。

システムの処置: 要求は無視されます。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVS0911E E ユーザー (*username*) のページ要求に失敗しました。

説明: 指定のユーザーの Web ユーザー・インターフェースのアクティブ・セッションを終了しようとしたのですが、内部エラーにより失敗しました。

システムの処置: 要求は異常終了されます。

管理者の応答: 異常終了情報、AUXTRACE、およびダンプを収集して、IBM サービス技術員に連絡してください。

宛先:

EYUVS0912I I ページ要求が正常に行われました。

説明: Web ユーザー・インターフェースのアクティブ・セッションを終了する要求が受け入れられました。

システムの処置: ページされたユーザー・セッションは、終了可能になり次第終了されます。

管理者の応答: なし。

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUVS0913E E ページ要求が失敗しました。

説明: Web ユーザー・インターフェースのアクティブ・セッションを終了する要求が失敗しました。

システムの処置: 要求は完了していない可能性があります。

管理者の応答: EYULOG の関連メッセージを参照してください。

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUVS0914E E ページは既に要求されています。

説明: アクティブ・ユーザー・セッションを終了する要求は、そのセッションが既に終了しようとしているため無視されました。

システムの処置: 要求は無視されます。

管理者の応答: なし。

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUVS0915E E ユーザー (*username*) に対するページは既に要求されています。

説明: アクティブ・ユーザー・セッションを終了する要

EYUVS0916E E • EYUVS0924W W

求は、そのセッションが既に終了しようとしているため無視されました。

システムの処置: 要求は無視されます。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVS0916E E インポートが正常に完了しました。 *nn* 個のオブジェクトが読み込まれました。

説明: メニューまたはビュー・セット定義をインポートする要求が正常に行われました。

システムの処置: 処理を続行します。

管理者の応答: なし。

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUVS0917E E インポートが失敗しました。

説明: メニューまたはビュー・セット定義をインポートする要求が失敗しました。

システムの処置: エラーになった定義より前に正常にインポート完了したメニューまたはビュー・セット定義については、保持されます。エラーを含むメニューまたはビュー・セット定義はインポートされません。データ・セットのこれ以後のメニューまたはビュー・セット定義については無視されます。

管理者の応答: EYULOG の関連メッセージを参照してください。

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUVS0918E E TDQ 名が無効です。

説明: メニューまたはビュー・セット定義をインポートまたはエクスポートする要求で、無効な TDQ 名が指定されました。

システムの処置: 要求は実行されません。

管理者の応答: TDQ の状況を検討し、必要ならば訂正してください。

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUVS0919I I エクスポートが正常に完了しました。
nn 個のオブジェクトが書き込まれました。

説明: メニューまたはビュー・セット定義をエクスポートする要求が正常に行われました。

システムの処置: 処理を続行します。

管理者の応答: なし。

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUVS0920E E エクスポートに失敗しました。

説明: メニューまたはビュー・セット定義をエクスポートする要求が失敗しました。

システムの処置: エクスポート・データ・セットの出力は、エラーが発生した箇所で切り捨てられます。

管理者の応答: EYULOG の関連メッセージを参照してください。

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUVS0921E E 名前パターンが無効です。

説明: エクスポートに指定されたメニューまたはビュー・セットの名前パターンが無効です。

システムの処置: 要求は無視されます。

管理者の応答: 名前パターンを訂正して操作をやり直してください。

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUVS0922E E オブジェクト・タイプが無効です。

説明: エクスポートに指定されたオブジェクト・タイプが無効でした。

システムの処置: 要求は無視されます。

管理者の応答: 入力を訂正して操作をやり直してください。

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUVS0923W W オブジェクト・タイプが無効です。
"オブジェクト名" と想定されます。

説明: 無効なオブジェクト・タイプが、インポートまたはエクスポート・パネルで指定されました。

システムの処置: フィールドにはその値が設定されません。

管理者の応答: なし。

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUVS0924W W フィールドに無効な重複名があります。
"アクション" と想定されます。

説明: 無効な重複名のアクションがインポート・パネルで指定されました。

システムの処置: フィールドにはその値が設定されません。

管理者の応答: なし。

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUVS0925W W 無効なロック・オプションです。オプション と想定されます。

説明: エクスポート・パネルのロック・フィールドに無効なロック値が指定されています。

システムの処置: フィールドには、メッセージ・テキストにある値が設定されます。

管理者の応答: なし。

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUVS0926I I インポート操作の一部が完了しました。*count* オブジェクトが処理されました。

説明: メニューまたはビュー・セット定義をインポートする要求で、一部のリソースのインポートに失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。

管理者の応答: EYULOG の関連メッセージを参照してください。

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUVS0927W W インポートが完了しました。一致するレコードが見つかりませんでした。

説明: メニューまたはビュー・セット定義をインポートする要求で、リソースがまったくインポートされませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

管理者の応答: インポート要求が正しく指定されたことを調べてください。

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUVS0928W W エクスポートが完了しました。一致するレコードが見つかりませんでした。

説明: メニューまたはビュー・セット定義をエクスポートする要求で、リソースがまったくエクスポートされませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

管理者の応答: エクスポート要求が正しく指定されたことを調べてください。

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUVS0929E E データ・セット名が無効です。

説明: 指定されたデータ・セット名が無効です。指定された名前に無効な文字が含まれています。

システムの処置: COVC インポート・パネルが、指定された値で再表示されます。

管理者の応答: データ・セット名が正しく指定されていることを調べてください。

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUVS0930E E メンバー名が無効です。

説明: 指定されたメンバー名が無効です。指定された名前に無効な文字が含まれています。

システムの処置: COVC インポート・パネルが、指定された値で再表示されます。

管理者の応答: メンバー名が正しく指定されていることを調べてください。

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUVS0931E E インポートが失敗しました。一致するデータ・セットが見つかりませんでした。

説明: 指定されたデータ・セットと一致するデータ・セットが見つかりませんでした。

システムの処置: COVC インポート・パネルが、指定された値で再表示されます。

管理者の応答: データ・セット名が正しく指定されていることを調べてください。

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUVS0932E E インポートは強制終了されます。他のユーザーがインポートを実行中です。

説明: 現在、他のユーザーがインポートを実行中です。インポートを実行できるユーザーは一度に 1 人のみです。

システムの処置: COVC インポート・パネルが、指定された値で再表示されます。

管理者の応答: 後で、インポートを再試行してください。

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUVS0950I I Web ユーザー・インターフェース・サーバー **PLT** が開始します。

説明: Web ユーザー・インターフェース **PLT** の開始処理が起動されました。

EYUVS0951I I • EYUVS0961E E

システムの処置: Web ユーザー・インターフェースの初期設定が開始します。

管理者の応答: なし。

宛先: コンソール

EYUVS0951I I Web ユーザー・インターフェース・サーバー **PLT** がシャットダウンされます。

説明: Web ユーザー・インターフェース **PLT** のシャットダウン処理が起動されました。

システムの処置: Web ユーザー・インターフェースの終了処理が開始します。

管理者の応答: なし。

宛先: コンソール

EYUVS0952I I **PLT** シャットダウン時、Web ユーザー・インターフェース・サーバーが非アクティブでした。

説明: Web ユーザー・インターフェース **PLT** のシャットダウン処理が起動されましたが、サーバーは稼働していませんでした。

システムの処置: なし。

管理者の応答: なし。

宛先: コンソール

EYUVS0953E E Web ユーザー・インターフェース・サーバー **PLT** の開始に失敗しました。

説明: Web ユーザー・インターフェース **PLT** の開始処理で、COVG トランザクションを開始できませんでした。

システムの処置: Web ユーザー・インターフェースは開始されません。

管理者の応答: グループ・リストに **CSD** リソース・グループがあるかどうかを含め、Web ユーザー・インターフェースのインストールを検査してください。問題が解決しない場合は、**AUXTRACE**、コンソール・ログ、およびすべてのダンプ情報を収集して、IBM サービス技術員に連絡してください。

宛先: コンソール

EYUVS0960E E {**CREATE|OPEN**} {**FILE|PROGRAM|MAPSET|TRANSACTION|TDQUEUE|ENQMODEL**} *resourcename* に失敗しました。 **RESP=respcode**、**RESP2=resp2code** ({**CREATE|OPEN**} {**FILE|PROGRAM|MAPSET|TRANSACTION|TDQUEUE|ENQMODEL**} *resourcename* **failed: RESP=respcode, RESP2=resp2code**)

説明: WUI サーバーの初期設定プログラムが **CICSplex SM** のリソース *resourcename* に対して **EXEC CICS CREATE** または **EXEC CICS SET FILE() OPEN** コマンドを発行しました。 **CREATE** または **SET** コマンドが異常応答を戻しました。値は *respcode* および *resp2code* に示されています

システムの処置: WUI 初期設定は続行されます。

管理者の応答: **CICS** トレース・レコードを確認して、**EXEC CICS** エラーの原因を判断します。その後、**COVC** トランザクションを使用して WUI サーバーの初期設定を再始動してください。

宛先: コンソール

EYUVS0961E E {**FILE|MAPSET|PROGRAM|TRANSACTION|TDQUEUE**} *resourcename* にオプション *yyyyyyyyyy* に対する無効値 *xxxxxxx* があります。 ({**FILE|MAPSET|PROGRAM|TRANSACTION|TDQUEUE**} *resourcename* **has invalid value: xxxxxxxx for option: yyyyyyyyyy**)

説明: WUI サーバーの初期設定プログラムは、**CICSplex SM** リソース リソース名 で無効な定義オプションを検出しました。

システムの処置: **CICSplex SM** は、この定義をリソースのデフォルト定義に置き換えようとしています。これが成功すると、メッセージ **EYUVS0962W** が出されます。置き換えに失敗すると、メッセージ **EYUVS0963E** を出して WUI サーバーの初期設定を終了します。

管理者の応答: なし。

宛先: コンソール

EYUVS0962W W {FILE
|MAPSET|PROGRAM|TRANSACTION
|TDQUEUE} *resourcename* の定義が置き
換えられました。(The definition for
{FILE
|MAPSET|PROGRAM|TRANSACTION
|TDQUEUE} *resourcename* has been
replaced.)

説明: WUI サーバーの初期設定プログラムは、CICSplex SM リソース リソース名 の無効な定義を置き換えました。前のメッセージ EYUVS0961E に無効な定義オプションの詳細が示されています。

システムの処置: WUI サーバーの初期設定は続行されます。

管理者の応答: なし。

宛先: コンソール

EYUVS0963E E {FILE
|MAPSET|PROGRAM|TRANSACTION
|TDQUEUE} *resourcename* 定義が無効で
す。(FILE
|MAPSET|PROGRAM|TRANSACTION
|TDQUEUE} *resourcename* definition is
invalid.) WUI サーバーを終了していま
す。

説明: WUI サーバーの初期設定プログラムは、CICSplex SM リソース リソース名 の無効な定義を置き換えられませんでした。前のメッセージ EYUVS0961E に無効な定義オプションの詳細が示されています。

システムの処置: WUI サーバーの初期設定は終了されました。CICS 初期設定は続行されます。

管理者の応答: WUI サーバーの始動時に使用するグループ・リスト内の定義を検討します。無効なオプションを変更してから、定義を再インストールして、COVCTRANザクションで WUI サーバーを再始動してください。デフォルト・オプションはサンプル EYU\$WDEF に示されています。

宛先: コンソール

EYUVS0988I I *dumpType* のダンプが完了しました。

説明: 直前に報告された異常終了のためのダンプ要求が完了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

管理者の応答: AUXTRACE、コンソール・ログ、およ

び直前のダンプ情報を収集して、IBM サービス技術員に連絡してください。

宛先: コンソール

EYUVS0989I I ダンプが抑止されました。

説明: この異常終了は直前の異常終了と重複していると思われます。システム・ダンプは既に直前の異常終了で取られています。

システムの処置: ダンプは取られません。

管理者の応答: AUXTRACE、コンソール・ログ、および直前のダンプ情報を収集して、IBM サービス技術員に連絡してください。

宛先: コンソール

EYUVS0990I I *information*

説明: このメッセージには補助的な情報が含まれます。

システムの処置: なし。

管理者の応答: なし。

宛先: コンソール

EYUVS0991S S 異常終了のリカバリーに失敗しました。

説明: Web ユーザー・インターフェース・タスクで、直前の異常終了からのリカバリーができませんでした。

システムの処置: Web ユーザー・インターフェース・タスクが終了します。

管理者の応答: AUXTRACE、コンソール・ログ、およびダンプ情報を収集して、IBM サービス技術員に連絡してください。

宛先: コンソール

EYUVS0993S S スタックのスキャン中に異常終了しました。スタックが壊れている可能性があります。

説明: 直前の異常終了の診断情報を収集しようとしていてエラーが検出されました。

システムの処置: Web ユーザー・インターフェース・タスクが終了します。

管理者の応答: AUXTRACE、コンソール・ログ、およびダンプ情報を収集して、IBM サービス技術員に連絡してください。

宛先: コンソール

EYUVS0994I I *dumpTitle*

説明: このメッセージには、これから取られるシステム・ダンプのタイトルが表示されます。

システムの処置: ダンプが取られます。

管理者の応答: AUXTRACE、コンソール・ログ、およびダンプ情報を収集して、IBM サービス技術員に連絡してください。

宛先: コンソール

EYUVS0995E E *dumpType* のダンプ要求が失敗しました。**EIBFN=CICS_EIBFN、RESP=CICS_RESP、RESP2=CICS_RESP2。**

説明: 直前の異常終了を記録するための *dumpType* のダンプ処理に失敗しました。

システムの処置: ダンプが取られずに、異常終了処理が続行します。

管理者の応答: 障害の理由を判断するために、*CICS_EIBFN* で示される CICS コマンド用の *CICS_RESP* と *CICS_RESP2* の値 (両方とも 10 進数) を調べてください。理由が分からない場合は、AUXTRACE、コンソール・ログ、およびダンプ情報を収集して、IBM サービス技術員に連絡してください。

宛先: コンソール

EYUVS0996S S オフセット *abendOffset* で異常終了 *abendCode* システム・コード *systemAbendCode* が発生しました。

説明: Web ユーザー・インターフェース処理中に異常終了が発生しました。

システムの処置: 引き続き追加診断情報が出されます。

管理者の応答: AUXTRACE、コンソール・ログ、およびダンプ情報を収集して、IBM サービス技術員に連絡してください。

宛先: コンソール

EYUVS0998I I *abendInformation*

説明: このメッセージには直前の異常終了に関する診断情報が表示されます。

システムの処置: 異常終了処理が続行されます。

管理者の応答: AUXTRACE、コンソール・ログ、およびダンプ情報を収集して、IBM サービス技術員に連絡してください。

宛先: コンソール

EYUVS0999S S **WUI** に障害が発生しました。

failureString

説明: Web ユーザー・インターフェース処理中に内部エラーが発生しました。

システムの処置: 可能な場合には処理が続行されます。

管理者の応答: AUXTRACE、コンソール・ログ、およびダンプ情報を収集して、IBM サービス技術員に連絡してください。

宛先: コンソール

EYUVS1000E E インポートで、**TDQ** (*tdqname*) のレコード番号 *nn* に予期しない文字が検出されました。

説明: インポート処理で、入力データ・セット中に形式の不適切なレコードが検出されました。エクスポートされた定義が壊れていると予想されます。

システムの処置: エラーになった定義より前に正常にインポート完了したメニューまたはビュー・セット定義については、保持されます。エラーを含むメニューまたはビュー・セット定義はインポートされません。データ・セットのこれ以後のメニューまたはビュー・セット定義については無視されます。

管理者の応答: インポート・データ・セットを見直して、損傷していないか確認してください。可能ならば、別のコピーを使用するか、ソースからエクスポートしないおしてください。AUXTRACE、EYULOG、および入力データ・セットを収集し、IBM サービス技術員にお問い合わせください。

宛先:

EYUVS1001E E **TDQ** (*tdqname*) のレコード番号 *nn* で、インポート・ストリングが欠落しています。

説明: インポート処理で、入力データ・セット中に形式の不適切なレコードが検出されました。エクスポートされた定義が壊れていると予想されます。

システムの処置: エラーになった定義より前に正常にインポート完了したメニューまたはビュー・セット定義については、保持されます。エラーを含むメニューまたはビュー・セット定義はインポートされません。データ・セットのこれ以後のメニューまたはビュー・セット定義については無視されます。

管理者の応答: インポート・データ・セットを見直して、損傷していないか確認してください。可能ならば、別のコピーを使用するか、ソースからエクスポートしないおしてください。AUXTRACE、EYULOG、および入力

データ・セットを収集し、IBM サービス技術員にお問い合わせください。

宛先:

EYUVS1002E E インポートで、**TDQ (tdqname)** のレコード番号 *nn* からバージョン番号を取得できません。

説明: インポート処理で、入力データ・セット中に形式の不適切なレコードが検出されました。エクスポートされた定義が壊れていると予想されます。

システムの処置: エラーになった定義より前に正常にインポート完了したメニューまたはビュー・セット定義については、保持されます。エラーを含むメニューまたはビュー・セット定義はインポートされません。データ・セットのこれ以後のメニューまたはビュー・セット定義については無視されます。

管理者の応答: インポート・データ・セットを見直して、損傷していないか確認してください。可能ならば、別のコピーを使用するか、ソースからエクスポートしなおしてください。AUXTRACE、EYULOG、および入力データ・セットを収集し、IBM サービス技術員にお問い合わせください。

宛先:

EYUVS1003E E インポートで、**TDQ (tdqname)** のレコード番号 *nn* からインデックス番号を取得できません。

説明: インポート処理で、入力データ・セット中に形式の不適切なレコードが検出されました。エクスポートされた定義が壊れていると予想されます。

システムの処置: エラーになった定義より前に正常にインポート完了したメニューまたはビュー・セット定義については、保持されます。エラーを含むメニューまたはビュー・セット定義はインポートされません。データ・セットのこれ以後のメニューまたはビュー・セット定義については無視されます。

管理者の応答: インポート・データ・セットを見直して、損傷していないか確認してください。可能ならば、別のコピーを使用するか、ソースからエクスポートしなおしてください。AUXTRACE、EYULOG、および入力データ・セットを収集し、IBM サービス技術員にお問い合わせください。

宛先:

EYUVS1004E E インポートで、**TDQ (tdqname)** のレコード番号 *nn* に無効なデータが見つかりました。

説明: インポート処理で、入力データ・セット中に形式の不適切なレコードが検出されました。エクスポートされた定義が壊れていると予想されます。

システムの処置: エラーになった定義より前に正常にインポート完了したメニューまたはビュー・セット定義については、保持されます。エラーを含むメニューまたはビュー・セット定義はインポートされません。データ・セットのこれ以後のメニューまたはビュー・セット定義については無視されます。

管理者の応答: インポート・データ・セットを見直して、損傷していないか確認してください。可能ならば、別のコピーを使用するか、ソースからエクスポートしなおしてください。AUXTRACE、EYULOG、および入力データ・セットを収集し、IBM サービス技術員にお問い合わせください。

宛先:

EYUVS1005E E インポートで、**TDQ (tdqname)** のレコード番号 *nn* に無効なストリングが見つかりました。

説明: インポート処理で、入力データ・セット中に形式の不適切なレコードが検出されました。エクスポートされた定義が壊れていると予想されます。

システムの処置: エラーになった定義より前に正常にインポート完了したメニューまたはビュー・セット定義については、保持されます。エラーを含むメニューまたはビュー・セット定義はインポートされません。データ・セットのこれ以後のメニューまたはビュー・セット定義については無視されます。

管理者の応答: インポート・データ・セットを見直して、損傷していないか確認してください。可能ならば、別のコピーを使用するか、ソースからエクスポートしなおしてください。AUXTRACE、EYULOG、および入力データ・セットを収集し、IBM サービス技術員にお問い合わせください。

宛先:

EYUVS1006E E インポートで、**TDQ (tdqname)** のレコード番号 *nn* に句読点の欠落が検出されました。

説明: インポート処理で、入力データ・セット中に形式の不適切なレコードが検出されました。エクスポートされた定義が壊れていると予想されます。

システムの処置: エラーになった定義より前に正常にイ

ンポート完了したメニューまたはビュー・セット定義については、保持されます。エラーを含むメニューまたはビュー・セット定義はインポートされません。データ・セットのこれ以後のメニューまたはビュー・セット定義については無視されます。

管理者の応答: インポート・データ・セットを見直して、損傷していないか確認してください。可能ならば、別のコピーを使用するか、ソースからエクスポートしなおしてください。AUXTRACE、EYULOG、および入力データ・セットを収集し、IBM サービス技術員にお問い合わせください。

宛先:

EYUVS1007E E インポートで、TDQ (*tdqname*) のレコード番号 *nn* に不明なオブジェクト・タイプが見つかりました。

説明: インポート処理で、入力データ・セット中に不明なレコード ID が検出されました。エクスポートされた定義が壊れていると予想されます。

システムの処置: エラーになった定義より前に正常にインポート完了したメニューまたはビュー・セット定義については、保持されます。エラーを含むメニューまたはビュー・セット定義はインポートされません。データ・セットのこれ以後のメニューまたはビュー・セット定義については無視されます。

管理者の応答: インポート・データ・セットを見直して、損傷していないか確認してください。可能ならば、別のコピーを使用するか、ソースからエクスポートしなおしてください。AUXTRACE、EYULOG、および入力データ・セットを収集し、IBM サービス技術員にお問い合わせください。

宛先:

EYUVS1008E E TDQ (*tdqname*) のレコード番号 *nn* で、インポートが失敗しました。

説明: 直前に記録されたエラーにより、インポート処理が失敗しました。

システムの処置: エラーになった定義より前に正常にインポート完了したメニューまたはビュー・セット定義については、保持されます。エラーを含むメニューまたはビュー・セット定義はインポートされません。データ・セットのこれ以後のメニューまたはビュー・セット定義については無視されます。

管理者の応答: AUXTRACE、EYULOG、および入力データ・セットを収集し、IBM サービス技術員にお問い合わせください。

宛先:

EYUVS1009E E レコード番号 *nn* で、予期しない TDQ (*tdqname*) の終了が検出されたため、インポートが失敗しました。

説明: インポート処理で、現行メニューまたはビュー・セット定義の処理が完了する前に、入力データ・セットの終了が検出されました。入力データ・セットはそこで切り捨てられたと思われます。

システムの処置: エラーになった定義より前に正常にインポート完了したメニューまたはビュー・セット定義については、保持されます。エラーを含むメニューまたはビュー・セット定義はインポートされません。データ・セットのこれ以後のメニューまたはビュー・セット定義については無視されます。

管理者の応答: インポート・データ・セットを見直して、損傷していないか確認してください。可能ならば、別のコピーを使用するか、ソースからエクスポートしなおしてください。AUXTRACE、EYULOG、および入力データ・セットを収集し、IBM サービス技術員にお問い合わせください。

宛先:

EYUVS1010E E インポートで、TDQ (*tdqname*) のオープンに失敗しました。

説明: メニューまたはビュー・セット定義をインポートする要求で、無効な TDQ 名が指定されたか、または指定された TDQ をオープンすることができませんでした。

システムの処置: 要求は実行されません。

管理者の応答: TDQ の状況を検討し、必要ならば訂正してください。

宛先:

EYUVS1011E E エクスポートで、TDQ (*tdqname*) のオープンに失敗しました。

説明: メニューまたはビュー・セット定義をエクスポートする要求で、無効な TDQ 名が指定されたか、または指定された TDQ をオープンすることができませんでした。

システムの処置: 要求は実行されません。

管理者の応答: TDQ の状況を検討し、必要ならば訂正してください。

宛先:

EYUVS1012E E インポートで、**TDQ** (*tdqname*) のレコード *number* に不明なレコード・バージョンが検出されました。

説明: インポート処理で、インポート・データ・セット中にサーバーでサポートしているものより高いバージョン番号のレコードが見つかりました。インポート・データは、サーバーによりそのレコードの高いバージョンを使用して書き込まれています。

システムの処置: エラーになった定義より前に正常にインポートしたメニューまたはビュー・セット定義については、保持されます。エラーを含むメニューまたはビュー・セット定義はインポートされません。データ・セットのこれ以後のメニューまたはビュー・セット定義については無視されます。

管理者の応答: サーバーのリリースおよびサービス・レベルがインポート・データ・セットが、エクスポートされた元のサーバーのリリースおよびサービス・レベルより低いことを確認してください。問題が解決されない場合は、AUXTRACE、EYULOG、および入力データ・セットの内容を保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

宛先:

EYUVS1013E E 他のユーザー (*userid*) が、リソース (*resourcetype*, *resourcename*) を更新中です。インポートは強制終了されます。

説明: 他のユーザーがメニュー、ビュー・セット定義、リソース・タイプ、またはリソース名を更新しているため、インポートできません。

システムの処置: 指定されたリソースのインポートは失敗しますが、データ・セット内の他のリソースの処理は継続されます。

管理者の応答: ユーザーがリソースの更新を終了したら、インポート操作を再試行してください。

宛先:

EYUVS1014E E 直前に発生したセキュリティ例外により、インポートは終了しました。

説明: 直前に発生したセキュリティ例外により、インポートが失敗しました。この操作に含まれる 1 つ以上のリソースをインポートする権限が、ユーザーになかったことが考えられます。

システムの処置: インポート操作は終了します。エラーになったリソースより前に正常にインポートしたメニューまたはビュー・セット定義については、保持されます。エラーになったメニューまたはビュー・セット定義はインポートされません。データ・セットの残りのメニ

ューまたはビュー・セット定義については無視されます。

管理者の応答: セキュリティ例外を報告しているメッセージについては、メッセージ・ユーザー・ログを検査してください。

宛先:

EYUVS1015W W ユーザー (*userid*) には、リソース リソース・タイプ、リソース名 に対する権限がありません。リソースはエクスポートされませんでした。

説明: Web ユーザー・インターフェース・ユーザー ユーザー ID がリソースリソース・タイプ、リソース名をエクスポートしようとしたましたが、そのリソースへの必要なアクセス権がありません。

システムの処置: 指定されたリソースは、エクスポートされませんでした。残りの入力ストリームは処理されました。ユーザーには、失敗したことは通知されません。

管理者の応答: ユーザーのセキュリティ権限を確認してください。

宛先:

EYUVS1016I I '*importType*' のインポートが、**TDQ** (*tdqname*) のユーザー (*userid*) によって開始されました。リソースはエクスポートされませんでした。

説明: インポート処理が、指定の一時データ・キューから、指定された *importType* の定義のインポートを開始しています。

システムの処置: 処理を続行します。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVS1017W W リソースリソース・タイプ、リソース名 のリポジトリ・レコードに無効なバージョン ID が含まれています。リソースはエクスポートされませんでした。

説明: リソース リソース・タイプ、リソース名 のエクスポートが試みられましたが、Web ユーザー・インターフェースがそのレコードを読み取ることができないため失敗しました。これは、そのリソースに CICSplex SM の現行バージョンと一致しないバージョン ID が含まれていることが原因です。

システムの処置: 指定されたリソースは、エクスポートされませんでした。残りの入力ストリームは処理され

ました。ユーザーには、失敗したことは通知されません。

管理者の応答: Web ユーザー・インターフェースのサーバー・リポジトリが CICSplex SM の現行バージョンに正しく移行されていることを確認してください。

宛先:

EYUVS1018I I インポートが正常に完了しました。
count オブジェクトが **TDQ (tdqname)** から読み取られました。

説明: メニューまたはビュー・セット定義をインポートする要求が正常に行われました。

システムの処置: 処理を続行します。

管理者の応答: なし

宛先:

EYUVS1019W W 部分的にインポートが完了しました。**TDQ (tdqname)** からの *count* オブジェクトが拒否されました。

説明: メニューまたはビュー・セット定義をインポートする要求で、一部のリソースのインポートに失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。

管理者の応答: EYULOG の関連メッセージを参照してください。

宛先:

EYUVS1020E E リソースのインポートに失敗しました。**TDQ (tdqname)** からの *count* オブジェクトが拒否されました。

説明: メニューまたはビュー・セット定義をインポートする要求で、リソースがまったくインポートできませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

管理者の応答: EYULOG の関連メッセージを参照してください。

宛先:

EYUVS1030E E **TDQ (tdqname)** はエクスポートには無効です。

説明: エクスポートの一時データ・キュー (TDQ) が無効であるため、リソースをエクスポートできませんでした。TDQ が無効な状態にあるか、または正しく定義されなかった可能性があります。

システムの処置: 処理を続行します。

管理者の応答: TDQ がオープンされ、有効であること、また正しく定義されていることを確認してください。

宛先:

EYUVS1050E E インポートで、データ・セット (*dsname*)、メンバー (*membername*) のレコード番号 *nn* に予期しない文字が検出されました。

説明: インポート処理で、入力データ・セット・メンバー中に形式の不適切なレコードが検出されました。定義が壊れていると予想されます。

システムの処置: エラーになった定義より前に正常にインポート完了したメニューまたはビュー・セット定義については、保持されます。エラーを含むメニューまたはビュー・セット定義はインポートされません。データ・セット・メンバーのこれ以後のメニューまたはビュー・セット定義については無視されます。

管理者の応答: インポート・データ・セット・メンバーを見直して、損傷していないか確認してください。可能ならば、別のコピーを使用するか、ソースからエクスポートしなおしてください。必要に応じて、AUXTRACE、EYULOG、および入力データ・セットを収集し、IBM サービス技術員にお問い合わせください。

宛先:

EYUVS1051E E データ・セット (*dsname*)、メンバー (*membername*) のレコード番号 *nn* にインポート・ストリングがありません。

説明: インポート処理で、入力データ・セット・メンバー中に形式の不適切なレコードが検出されました。定義が壊れていると予想されます。

システムの処置: エラーになった定義より前に正常にインポート完了したメニューまたはビュー・セット定義については、保持されます。エラーを含むメニューまたはビュー・セット定義はインポートされません。データ・セット・メンバーのこれ以後のメニューまたはビュー・セット定義については無視されます。

管理者の応答: インポート・データ・セット・メンバーを見直して、損傷していないか確認してください。可能ならば、別のコピーを使用するか、ソースからエクスポートしなおしてください。必要に応じて、AUXTRACE、EYULOG、および入力データ・セットを収集し、IBM サービス技術員にお問い合わせください。

宛先:

EYUVS1052E E インポートで、データ・セット
(*dsname*)、メンバー (*membername*) のレ
コード番号 *nn* からバージョン番号を取得
できません。

説明: インポート処理で、入力データ・セット・メン
バー中に形式の不適切なレコードが検出されました。定義
が壊れていると予想されます。

システムの処置: エラーになった定義より前に正常にイ
ンポート完了したメニューまたはビュー・セット定義に
ついては、保持されます。エラーを含むメニューまたは
ビュー・セット定義はインポートされません。データ・
セット・メンバーのこれ以後のメニューまたはビュー・
セット定義については無視されます。

管理者の応答: インポート・データ・セット・メンバ
ーを見直して、損傷していないか確認してください。可能
ならば、別のコピーを使用するか、ソースからエクスポ
ートしなおしてください。必要に応じて、
AUXTRACE、EYULOG、および入力データ・セットを
収集し、IBM サービス技術員にお問い合わせくださ
い。

宛先:

EYUVS1053E E インポートで、データ・セット
(*dsname*)、メンバー (*membername*) のレ
コード番号 *nn* からインデックス番号を取
得できません。

説明: インポート処理で、入力データ・セット・メン
バー中に形式の不適切なレコードが検出されました。定義
が壊れていると予想されます。

システムの処置: エラーになった定義より前に正常にイ
ンポート完了したメニューまたはビュー・セット定義に
ついては、保持されます。エラーを含むメニューまたは
ビュー・セット定義はインポートされません。データ・
セット・メンバーのこれ以後のメニューまたはビュー・
セット定義については無視されます。

管理者の応答: インポート・データ・セット・メンバ
ーを見直して、損傷していないか確認してください。可能
ならば、別のコピーを使用するか、ソースからエクスポ
ートしなおしてください。必要に応じて、
AUXTRACE、EYULOG、および入力データ・セットを
収集し、IBM サービス技術員にお問い合わせくださ
い。

宛先:

EYUVS1054E E インポートで、データ・セット
(*dsname*)、メンバー (*membername*) のレ
コード番号 *nn* に無効なデータが見つかり
ました。

説明: インポート処理で、入力データ・セット・メンバ
ー中に形式の不適切なレコードが検出されました。定義
が壊れていると予想されます。

システムの処置: エラーになった定義より前に正常にイ
ンポート完了したメニューまたはビュー・セット定義に
ついては、保持されます。エラーを含むメニューまたは
ビュー・セット定義はインポートされません。データ・
セット・メンバーのこれ以後のメニューまたはビュー・
セット定義については無視されます。

管理者の応答: インポート・データ・セットを見直し
て、損傷していないか確認してください。可能ならば、
別のコピーを使用するか、ソースからエクスポートしな
おしてください。必要に応じて、
AUXTRACE、EYULOG、および入力データ・セットを
収集し、IBM サービス技術員にお問い合わせくださ
い。

宛先:

EYUVS1055E E インポートで、データ・セット
(*dsname*)、メンバー (*membername*) のレ
コード番号 *nn* に無効なストリングが見つ
かりました。

説明: インポート処理で、入力データ・セット・メンバ
ー中に形式の不適切なレコードが検出されました。定義
が壊れていると予想されます。

システムの処置: エラーになった定義より前に正常にイ
ンポート完了したメニューまたはビュー・セット定義に
ついては、保持されます。エラーを含むメニューまたは
ビュー・セット定義はインポートされません。データ・
セット・メンバーのこれ以後のメニューまたはビュー・
セット定義については無視されます。

管理者の応答: インポート・データ・セットを見直し
て、損傷していないか確認してください。可能ならば、
別のコピーを使用するか、ソースからエクスポートしな
おしてください。必要に応じて、
AUXTRACE、EYULOG、および入力データ・セットを
収集し、IBM サービス技術員にお問い合わせくださ
い。

宛先:

EYUVS1056E E インポートで、データ・セット (*dsname*)、メンバー (*membername*) のレコード番号 *nn* に句読点の欠落が検出されました。

説明: インポート処理で、入力データ・セット・メンバー中に形式の不適切なレコードが検出されました。定義が壊れていると予想されます。

システムの処置: エラーになった定義より前に正常にインポート完了したメニューまたはビュー・セット定義については、保持されます。エラーを含むメニューまたはビュー・セット定義はインポートされません。データ・セット・メンバーのこれ以後のメニューまたはビュー・セット定義については無視されます。

管理者の応答: インポート・データ・セットを見直して、損傷していないか確認してください。可能ならば、別のコピーを使用するか、ソースからエクスポートしなおしてください。必要に応じて、AUXTRACE、EYULOG、および入力データ・セットを収集し、IBM サービス技術員にお問い合わせください。

宛先:

EYUVS1057E E インポートで、データ・セット (*dsname*)、メンバー (*membername*) のレコード番号 *nn* に不明なオブジェクトが見つかりました。

説明: インポート処理で、入力データ・セット・メンバー中に不明なレコード ID が検出されました。エクスポートされた定義が壊れていると予想されます。

システムの処置: エラーになった定義より前に正常にインポート完了したメニューまたはビュー・セット定義については、保持されます。エラーを含むメニューまたはビュー・セット定義はインポートされません。データ・セット・メンバーのこれ以後のメニューまたはビュー・セット定義については無視されます。

管理者の応答: インポート・データ・セットを見直して、損傷していないか確認してください。可能ならば、別のコピーを使用するか、ソースからエクスポートしなおしてください。必要に応じて、AUXTRACE、EYULOG、および入力データ・セットを収集し、IBM サービス技術員にお問い合わせください。

宛先:

EYUVS1058E E データ・セット (*dsname*)、メンバー (*membername*) のレコード番号 *nn* で、インポートが失敗しました。

説明: 直前に記録されたエラーにより、インポート処理が失敗しました。

システムの処置: エラーになった定義より前に正常にインポート完了したメニューまたはビュー・セット定義については、保持されます。エラーを含むメニューまたはビュー・セット定義はインポートされません。データ・セット・メンバーのこれ以後のメニューまたはビュー・セット定義については無視されます。

管理者の応答: AUXTRACE、EYULOG、および入力データ・セットを収集し、IBM サービス技術員にお問い合わせください。

宛先:

EYUVS1059E E レコード番号 *nn* で、予期しないデータ・セット *dsname*、メンバー *membername* の終了が検出されたため、インポートに失敗しました。

説明: インポート処理で、現行メニューまたはビュー・セット定義の処理が完了する前に、入力メンバー (メンバー名) の終了が検出されました。入力メンバーはそこで切り捨てられたと思われます。

システムの処置: エラーになった定義より前に正常にインポート完了したメニューまたはビュー・セット定義については、保持されます。エラーを含むメニューまたはビュー・セット定義はインポートされません。データ・セット・メンバーのこれ以後のメニューまたはビュー・セット定義については無視されます。

管理者の応答: インポート・データ・セットを見直して、損傷していないか確認してください。可能ならば、別のコピーを使用するか、ソースからエクスポートしなおしてください。必要に応じて、AUXTRACE、EYULOG、および入力データ・セットを収集し、IBM サービス技術員にお問い合わせください。

宛先:

EYUVS1060E E インポートで、データ・セット (*dsname*) のオープンに失敗しました。

説明: メニューまたはビュー・セット定義をインポートする要求で、無効なデータ・セット名が指定されたか、または指定されたデータ・セットをオープンすることができませんでした。

システムの処置: 要求は実行されません。

管理者の応答: データ・セットの状況を検討し、必要ならば訂正してください。

宛先:

EYUVS1061E E インポートで、(*memberpattern*) と一致するメンバーの検出に失敗しました。

説明: インポート要求に指定されたデータ・セットにはメンバー・パターン と一致するメンバーがありません。

システムの処置: 要求は実行されません。

管理者の応答: メンバー・パターンおよびデータ・セット名を検討し、必要ならば訂正してください。

宛先:

EYUVS1062E E インポートで、データ・セット (*dsname*)、メンバー (*membername*) のレコード番号 *nn* に不明なレコード・バージョンが検出されました。

説明: インポート処理で、インポート・メンバー中にサーバーでサポートしているものより高いバージョン番号のレコードが見つかりました。インポート・データは、サーバーによりそのレコードの高いバージョンを使用して書き込まれています。

システムの処置: エラーになった定義より前に正常にインポートしたメニューまたはビュー・セット定義については、保持されます。エラーを含むメニューまたはビュー・セット定義はインポートされません。データ・セットのこれ以後のメニューまたはビュー・セット定義については無視されます。

管理者の応答: サーバーのリリースおよびサービス・レベルがインポート・データ・セットが、エクスポートされた元のサーバーのリリースおよびサービス・レベルより低いことを確認してください。問題が解決されない場合は、AUXTRACE、EYULOG、および入力データ・セットの内容を保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

宛先:

EYUVS1063I I '*importType*' のインポートが、データ・セット (*dsname*)、メンバー (*memberpattern*) からユーザー (*userid*) に対して開始されました。

説明: インポート処理が、指定のデータ・セットおよびメンバー・パターンから、指定された *importType* の定義のインポートを開始しています。

システムの処置: 処理を続行します。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVS1064I I インポートが正常に完了しました。*nn* オブジェクトがデータ・セット (*DS* 名)、メンバー (メンバー・パターン) から読み取られました。

説明: メニューまたはビュー・セット定義をインポートする要求が正常に行われました。

システムの処置: 処理を続行します。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVS1065W W 部分的にインポートが完了しました。データ・セット (*DS* 名)、メンバー (メンバー・パターン) からの *nn* オブジェクトが拒否されました。

説明: メニューまたはビュー・セット定義をインポートする要求で、一部のリソースのインポートに失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。

管理者の応答: EYULOG の関連メッセージを参照してください。

宛先:

EYUVS1066W W リソースのインポートに失敗しました。データ・セット (*DS* 名)、メンバー (メンバー・パターン) からの *nn* オブジェクトが拒否されました。

説明: メニューまたはビュー・セット定義をインポートする要求で、リソースがまったくインポートできませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

管理者の応答: EYULOG の関連メッセージを参照してください。

宛先:

EYUVS1067E E リソースのインポートに失敗しました。データ・セット (*DS* 名) はインポートには無効です。

説明: インポート・データ・セットが無効なため、リソースをインポートできませんでした。データ・セットが無効な状態にあるか、または正しく定義されなかった可能性があります。

システムの処置: 要求は実行されません。

EYUVS1068E E • EYUVS1074E E

管理者の応答: データ・セットが有効な状態にあること、また正しく定義されていることを確認してください。

宛先:

EYUVS1068E E リソースのインポートに失敗しました。CICS 一時ストレージ・データ・セットが満杯です。

説明: CICS DFHTEMP データ・セットが満杯なため、リソースをインポートできませんでした。

システムの処置: 要求は実行されません。

管理者の応答: DFHTEMP データ・セットを拡張して、インポートを再試行してください。

宛先:

EYUVS1069E E インポートで、データ・セット (*dsname*) が検出されませんでした。

説明: 指定されたデータ・セットと一致するデータ・セットが見つかりませんでした。

システムの処置: 要求は実行されません。

管理者の応答: データ・セット名が正しく指定されていることを調べてください。

宛先:

EYUVS1070E E インポートは強制終了されます。インポートは、他のユーザーで進行中です。

説明: 現在、他のユーザーがインポートを実行中です。インポートを実行できるユーザーは一度に 1 人のみです。

システムの処置: 要求は実行されません。

管理者の応答: 後で、インポートを再試行してください。

宛先:

EYUVS1071E E データ・セット (*dsname*) の動的割り振りに失敗しました。戻りコードは **X'rrrr'**、**X'cccc'**、**X'dddd'** です。

説明: Web ユーザー・インターフェースのビューまたはメニューのインポート中に、データ・セットの DS 名の動的割り振りに失敗しました。DYNALLOC マクロは戻りコード **rrrr** で失敗しました。**cccc** は SVC 99 エラーの理由コード、**dddd** は追加 SVC 99 エラー情報コードです。

システムの処置: インポート処理を終了します。

管理者の応答: DYNALLOC 戻りコードの意味については、「z/OS MVS Authorized Assembler Services Guide」を参照してください。

宛先:

EYUVS1072I I インポートのために、サーバー・リポジトリへのアクセスを取得しています。

説明: WUI サーバー初期設定プログラムが、データ・セットまたは区画外 TDQ から定義をインポートするために、サーバー・リポジトリ EYUWREP に対して排他的エンキューを要求しました。

システムの処置: リソース EYUWREP_IMPORT の排他制御が取得されるまで WUI サーバーは待機します。

管理者の応答: このメッセージに続いてメッセージ EYUVS1073I が出される場合、他の操作は必要ありません。それ以外の場合、サーバー・リポジトリを共用している他の WUI サーバーを検査してエンキューの所有者を見つけます。DISPLAY GRS システム・コマンド「D GRS,RES=(DFHECPSP,'EYUWREP_*)」は、リポジトリ・エンキューを保持しているサーバーを見つけるために使用されることもあります。

宛先:

EYUVS1073I I インポートのために、サーバー・リポジトリへのアクセスが取得されました。

説明: WUI サーバー初期設定プログラムが、データ・セットまたは区画外 TDQ から定義をインポートするために、サーバー・リポジトリ EYUWREP に対する排他的エンキューを取得しました。

システムの処置: WUI 初期設定は続行されます。

管理者の応答: なし。

宛先:

EYUVS1074E E 内部 CICS*cmd*TS コマンドが応答コード (*resp lresp2*) で失敗しました。
(Internal CICS*cmd*TS command has failed with response code (*resp lresp2*)).)

説明: 内部一時記憶域キューの書き込みまたは削除を行おうとして、報告されたコマンド応答 (RESP/RESP2) で失敗しました。

システムの処置: ビュー・セット・インポート操作は実行されていません。

管理者の応答: CICS WRITEQ TS コマンドまたは DELETEQ TS コマンドに対する応答コードの意味を確認し、エラーの理由を判別してください。インポート処

理でコマンド応答値を解釈できなかった場合、RESP 値または RESP2 値が、英数字に翻訳されず 16 進表記で表示されます。失敗が解決できない場合、AUXTRACE、EYULOG、入力データ・セットを収集し、IBM サービス技術員にお問い合わせください。

宛先:

EYUVS1100E E ユーザー (*userid*) には、リソース リソース・タイプ、リソース名 に対して必要なアクセス *access* の権限がありません。

説明: ユーザー ユーザー ID がリソース リソース・タイプ、リソース名 に対するアクションを試みましたが、ユーザーにそのリソースに対する必要なアクセス権がないため失敗しました。

システムの処置: 指定されたリソースに対するアクションは、失敗しましたが、残りの入力ストリームは処理されます。ユーザーには、失敗したことは通知されません。

管理者の応答: ユーザーのセキュリティ権限を確認してください。

宛先:

EYUWGnnnn メッセージ

EYUWG0100E E *date time applid WLM MOEB* のためのストレージが不足しています。

説明: CMAS または MAS の初期設定時、ワークロード・マネージャー (WLM) がその主オブジェクト環境ブロック (MOEB) 制御ブロック用に十分なストレージを獲得できませんでした。

システムの処置: WLM の初期設定は終了します。CMAS または MAS の初期設定は続行されます。

ユーザーの処置: CICS 領域サイズを増やすか、より多くのストレージが CMAS または MAS で使用できるようにしてください。

モジュール: EYU0WINT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWG0101E E *date time applid WLM MOEB* 登録に失敗しました。

説明: CMAS または MAS の初期設定時、ワークロード・

EYUVS1101I I ユーザー (*userid*) が、リソース リソース・タイプ、リソース名 を変更しました。

説明: ユーザー ユーザー ID が、リソース リソース・タイプ、リソース名 を正常にインポート、作成、または、編集しました。

システムの処置: 処理を続行します。

管理者の応答: なし

宛先:

EYUVS1102I I ユーザー (*userid*) が、リソース リソース・タイプ、リソース名 を削除しました。

説明: ユーザー ユーザー ID がリソース リソース・タイプ、リソース名 を正常に削除しました。

システムの処置: 処理を続行します。

管理者の応答: なし

宛先:

ド・マネージャー (WLM) がその主オブジェクト環境ブロック (MOEB) 制御ブロックをカーネル・リンケージ・コンポーネントに登録できませんでした。

システムの処置: WLM の初期設定は終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。CMAS または MAS の初期設定は続行されます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0WINT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWG0102E E *date time applid WLM* のキャッシュ作成に失敗しました。

説明: CMAS の初期設定時、ワークロード・マネージャー (WLM) が必要なデータ・キャッシュを割り振ることができませんでした。

EYUWG0103E E • EYUWG0106E E

システムの処置: WLM の初期設定は終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。CMAS または MAS の初期設定は続行されます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードと、データ・キャッシュ・コンポーネントからの関連メッセージ (EYUXCnnnn) を調べ、問題の原因を判別してください。

モジュール: EYU0WINT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWG0103E E *date time applid* **WLM** 終了 **ECB**
登録に失敗しました。

説明: CMAS の初期設定時、ワークロード・マネージャー (WLM) が、その終了 ECB をカーネル・リンケージ・コンポーネントに登録できませんでした。

システムの処置: WLM の初期設定は終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。CMAS または MAS の初期設定は続行されます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0WMGR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWG0104E E *date time applid* **WLM** イベント通知要求に失敗しました。

説明: 初期設定時に、ワークロード・マネージャー (WLM) が、インタレスト CICSplex SM イベントを登録できませんでした。

システムの処置: WLM の初期設定は終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0WINT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWG0105E E *date time applid* **WLM** **WMGR** トランザクションに失敗しました。

説明: ワークロード・マネージャー (WLM) 長期実行タスクが異常終了しました。

システムの処置: WLM は終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0WINT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWG0106E E *date time applid* **WLM** が **MAS** リソースを解放しようとしていたときにエラーを検出しました。

説明: モジュール EYU0WNLM が、CICSplex SM 動的トランザクション・ルーティング (DTR) の処理中に使用されたリソースを解放するために呼び出されたとき、割り振られたすべてのリソースがアクティブ・タスクに関連付けられていることが検出されました。

システムの処置: SVCdump が診断のために発行され、処理は続行されます。

ユーザーの処置: 必要な終了呼び出しを実行していない DTR 処理に対して EYU9XLOP を起動する長期実行ユーザー・アプリケーションがあると思われます。これに該当しないか、判別できない場合は、SVCdump、MAS の AUXTRACE データ・セット、および MAS から完全なジョブ出力を収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

CICS の現行の実行中に領域内の MXT 設定値が動的に増やされていた可能性もあります。CPSM は、領域の初期設定時の MXT 設定に基づいて、固定数の特定の制御ブロックを割り振ります。MXT が後で動的に増やされ

て、事前割り振りの制御ブロックすべてがアクティブ・タスクによって正しく使用される場合は、CPSM がこのメッセージを発行し、診断ダンプを生成します。

CICS 実行時に領域の MXT 設定値を動的に増やす可能性が高い場合は、領域の初期設定用に SIT 内で MXT 値をその最大値に設定して、後で MXT 値を「実行時」値に下げることができます。これにより、MAS 初期設定時に CPSM で一部の制御ブロックがより大きい数で事前割り振りされ、このエラー・メッセージおよび SVC ダンプの生成確率が下がります。

モジュール: EYU0WNLM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWG0500E E *date time applid* ワークロード・マネージャー・タスクに非常に深刻なエラーがあります。理由 (*code*) デバッグ・テキスト (*text*)。

説明: ワークロード・マネージャー (WLM) 長期実行タスクで、リカバリー不能エラーが発生しました。*code* は、その障害の理由を示します。ここで、

text

IBM サポートが使用する追加のデバッグ情報を提供します。

システムの処置: WLM は終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0WMGR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *code*
5. *text*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWG0501E E *date time applid* ワークロード・マネージャー・タスクがリカバリー不能エラーを検出しました。タスクを再始動します。

説明: ワークロード・マネージャー (WLM) 長期実行タスク (WMGR) で、リカバリー不能エラーが発生しました。WMGR は、それ自体の再始動を 10 回まで試行します。

システムの処置: 例外トレースが発行されます。これにより、ダンプが取得される場合があります。それから、WMGR がそれ自体を再始動し、処理は続行されます。

ユーザーの処置: トレース・レコード (および可能であればダンプ) とジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0WMGR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWG0502E E *date time applid* ワークロード・マネージャー・タスクが再始動エラーを検出しました。タスクを終了します。

説明: ワークロード・マネージャー (WLM) 長期実行タスク (WMGR) で、リカバリー不能エラーが発生し、それ自体を再始動しようとした。しかし、再始動の試行に失敗しました。

システムの処置: WLM は終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0WMGR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWI0001I メッセージ

EYUWI0001I I *date time applid* ワークロード・マネージャー・タスクの初期化を開始しました。

説明: ワークロード・マネージャー (WLM) 長期実行タスクの初期化が開始されました。

システムの処置: WLM の初期設定は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0WINT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUWI0002I I *date time applid* ワークロード・マネージャー・タスクの初期化が完了しました。

説明: ワークロード・マネージャー (WLM) 長期実行タスクが正常に初期設定されました。

システムの処置: WLM の初期設定は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0WMGR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUWI0003I I *date time applid* **WLM** の初期化が完了しました。

説明: ワークロード・マネージャー (WLM) コンポーネントが正常に初期設定されました。WLM は現在作業に使用できます。

システムの処置: CMAS初期化は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0WINT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUWI0010E E *date time applid* **WLM** の初期化に失敗しました。

説明: ワークロード・マネージャー (WLM) コンポーネントを初期設定できませんでした。

システムの処置: WLM は作業に使用できません。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。CMAS初期化は続行されます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードと、このメッセージより前に発行されたメッセージを調べて、問題の原因を判別してください。

モジュール: EYU0WINT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWI0011E E *date time applid* **CONTEXT** (*plexname*) のすべてのワークロードにおけるすべての **AORSCOPE** に対して、**WLM** ウォーム・スタートの **AOR** 正規化を完了できませんでした。

説明: WLM ウォーム・スタートの一部として、CMAS は、初期設定時に処理を実行して、その CMAS が管理するワークロードに対して CMAS が維持する AORSCOPE が AORSCOPE で指定されている CICSGRP の CPSM トポロジーと一致することを検証します。一致しない場合は、更新が実行され、CICSGRP のトポロジー・ビューと一致するように AORSCOPE の WLM ビューが変更されます。

この処理中にエラーが発生し、その結果として、CMAS は、指定された CICSplex のワークロードと関連付けられているどの AORSCOPE も正規化できませんでした。

システムの処置: 例外トレース・レコードが書き込まれ、この CMAS のこの実行においてこれが EYUWI0011E メッセージまたは EYUWI0012E メッセージの最初の出現である場合は、ダンプが取得されます。ダンプのタイトルは、次のようになります。

```
EYU0XZSD Dump,jobname,cmasname,
lpar,CMAS,LPLT,tasknum,XLEV,
EYU0WMWS,date,time
```

その後、CMAS は、その CMAS が管理する次の CICSplex のウォーム・スタート処理を続行します。

ユーザーの処置: CMAS からダンプ、AUXTRACE データ・セット、および完全なジョブ出力を収集し、IBM サポートにお問い合わせください。

Explorer の「ワークロードのターゲット (Workload Targets)」ビュー (「ウィンドウ」->「ビューの表示」->「その他」-「フィルター・テキストの入力 (type filter text)」ボックスで「ワークロード・ターゲット (Workload Targets)」を指定し、「OK」を選択) にアクセスするか、指定された CICSplex を管理するすべての CMAS に接続されたセッションから WUI 「アクティブ・ワークロードのターゲット配布係数」ビュー (EYU00WMAWAOR.TABULAR2) にアクセスします。このエラーを受け取った CMAS によって表示されるワークロードごとに、ワークロードに対して表示されるターゲット・メンバーが、ワークロードを表示するその他の CMAS と一致することを確認してください。

不一致が見つかった場合は、そのエラーが原因で CMAS に対して AOR 正規化が実行されませんでした。不一致を解決するには、CMAS を再始動します。それで、AOR 正規化が再試行されます。再始動時にエラーが再発しなければ、上記の検査プロセスを実行してください。エラーが再発するか、検査が依然として不一致を示す場合、WLM データ・スペースを削除できるように、CMAS、その CMAS に接続したすべての MAS、および CMAS に接続されているすべてのアクティブなバッチ API プログラムを同時に終了する必要があります。MAS が終了できない場合、COSH トランザクションを使用して MAS エージェントを終了すれば十分であることに留意してください。

CMAS、その MAS、およびすべてのバッチ API プログラムを終了したら、LPAR 上で ESSS アドレス・スペースに対して MVS 表示ジョブ・コマンドを発行して、WLM データ・スペースが削除されたことを確認します。コマンドの形式は「D J,EYUXvrm」です。ここで、「vrm」は CPSM のバージョン、リリース、およびモディフィケーションです (例えば、CPSM V5R2M0 の場合、コマンドは「D J,EYUX520」となります)。WLM1syid と WLM2syid という名前の 2 つの WLM データ・スペースが CMAS 用に割り振られています。ここで、「syid」は CMAS の CICS SYSIDNT です。WLM データ・スペースが依然として CMAS 用に割り振られていることが表示ジョブ出力で示される場合は、少なくとも 1 つの接続されている MAS またはバッチ API プログラムがまだアクティブです。まだアクティブである MAS またはバッチ API プログラムを特定するには、LPAR 上で EYU9XENF ユーティリティを実行します。このユーティリティについては、CICS インフォメーション・センターのトピック『ESSS 情報表

示ユーティリティの使用 (EYU9XENF)』を参照してください。

MVS 表示ジョブ・コマンドが発行されて、CMAS 用の WLM データ・スペースが表示されなくなったら、CMAS、MAS、およびバッチ API プログラムを再始動できます。COSH トランザクションによって MAS エージェント・コードを終了した MAS については、領域を再始動する代わりに、COLM トランザクションを使用して MAS エージェントを再始動する必要があることに注意してください。ルーティング領域が CMAS に接続するときに、ルーティング領域のワークロードが適切に再構築されます。

モジュール: EYU0WMWS

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWI0012E E *date time applid* **CONTEXT**
(*plexname*) のすべてのワークロードにおける **AORSCOPE** (*csysgrp*) に対して、**WLM** ウォーム・スタートの **AOR** 正規化を完了できませんでした。

説明: WLM ウォーム・スタートの一部として、CMAS は、初期設定時に処理を実行して、その CMAS が管理するワークロードに対して CMAS が維持する AORSCOPE が AORSCOPE で指定されている CICSGRP の CPSM トポロジーと一致することを確認します。一致しない場合は、更新が実行され、CICSGRP のトポロジー・ビューと一致するように AORSCOPE の WLM ビューが変更されます。

この処理中にエラーが発生し、その結果として、CMAS は、指定された CICSplex 内のワークロードの指定された AORSCOPE を正規化できませんでした。

システムの処置: 例外トレース・レコードが書き込まれ、この CMAS のこの実行においてこれが EYUWI0011E メッセージまたは EYUWI0012E メッセージの最初の出現である場合は、ダンプが取得されます。ダンプのタイトルは、次のようになります。

```
EYU0XZSD Dump,jobname,cmasname,
lpar,CMAS,LPLT,tasknum,XLEV,
EYU0WMWS,date,time
```

その後、CMAS は、CICSplex に関連付けられている次の AORSCOPE の AOR 正規化を続行します。

ユーザーの処置: CMAS からダンプ、AUXTRACE デ

ータ・セット、および完全なジョブ出力を収集し、IBM サポートにお問い合わせください。

Explorer の「ワークロードのターゲット (Workload Targets)」ビュー (「ウィンドウ」->「ビューの表示」->「その他」-「フィルター・テキストの入力 (type filter text)」ボックスで「ワークロード・ターゲット (Workload Targets)」を指定し、「OK」を選択) にアクセスするか、指定された CICSplex を管理するすべての CMAS に接続されたセッションから WUI 「アクティブ・ワークロードのターゲット配布係数」ビュー (EYU0STARTWLMWAOR.TABULAR2) にアクセスします。このエラーを受け取った CMAS によって表示されるワークロードごとに、ワークロードに対して表示されるターゲット・メンバーが、ワークロードを表示するその他の CMAS と一致することを確認してください。

不一致が見つかった場合は、そのエラーが原因で CMAS に対して AOR 正規化が実行されませんでした。不一致を解決するには、CMAS を再始動します。それで、AOR 正規化が再試行されます。再始動時にエラーが再発しなければ、上記の検査プロセスを実行してください。エラーが再発するか、検査が依然として不一致を示す場合、WLM データ・スペースを削除できるように、CMAS、その CMAS に接続したすべての MAS、および CMAS に接続されているすべてのアクティブなバッチ API プログラムを同時に終了する必要があります。MAS が終了できない場合、COSH トランザクションを使用して MAS エージェントを終了すれば十分であることに留意してください。

CMAS、その MAS、およびすべてのバッチ API プログラムを終了したら、LPAR 上で ESSS アドレス・スペースに対して MVS 表示ジョブ・コマンドを発行して、WLM データ・スペースが削除されたことを確認します。コマンドの形式は「D J,EYUXvrm」です。ここで、「vrm」は CPSM のバージョン、リリース、およびモディフィケーションです (例えば、CPSM V5R2M0 の場合、コマンドは「D J,EYUX520」となります)。WLM1syid と WLM2syid という名前の 2 つの WLM データ・スペースが CMAS 用に割り振られています。ここで、「syid」は CMAS の CICS SYSIDNT です。WLM データ・スペースが依然として CMAS 用に割り振られていることが表示ジョブ出力で示される場合は、少なくとも 1 つの接続されている MAS またはバッチ API プログラムがまだアクティブです。まだアクティブである MAS またはバッチ API プログラムを特定するには、LPAR 上で EYU9XENF ユーティリティを実行します。このユーティリティについては、CICS インフォメーション・センターのトピック『ESSS 情報表示ユーティリティの使用 (EYU9XENF)』を参照してください。

MVS 表示ジョブ・コマンドが発行されて、CMAS 用の

WLM データ・スペースが表示されなくなったら、CMAS、MAS、およびバッチ API プログラムを再始動できます。COSH トランザクションによって MAS エージェント・コードを終了した MAS については、領域を再始動する代わりに、COLM トランザクションを使用して MAS エージェントを再始動する必要があることに注意してください。ルーティング領域が CMAS に接続するときに、ルーティング領域のワークロードが適切に再構築されます。

モジュール: EYU0WMWS

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *csysgrp*
5. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWI0020I I *date time applid CICSplex (ins#3)* のルーティング領域 (*ins#2*) にあるワークロード (*ins#1*) の **WLM** ルーティングを開始しました。

説明: WLM ルーティング・サポートが、ルーティング領域内で正常に初期化されました。ここで、

ins#1

ルーティング領域が属するワークロードを示します。

ins#2

ルーティング領域の名前です。

ins#3

CICSplex の名前です。

システムの処置: ルーティング領域の初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0WNWK

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ins#1*
5. *ins#2*
6. *ins#3*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWI0021E E *date time applid CICSplex*
(*plexname*) のルーティング領域 (*region*)
にあるワークロード (*workload*) の **WLM**
ルーティングの初期化に失敗しました。

説明: ルーティング領域内でワークロードの初期化中に障害が発生しました。ここで、

workload

ルーティング領域が属するワークロードを示します。

region

ルーティング領域の名前です。

plexname

CICSplex の名前です。

システムの処置: ルーティング領域は、トランザクションをルーティングできなくなります。

ユーザーの処置: WLM ルーティング・サポートの初期化を妨げた問題を訂正してから、ルーティング領域を再始動してください。問題が解決しない場合は、例外トレース・レコードすべてと CMAS およびルーティング領域のジョブ・ログを収集し、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0WNWK

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *workload*
5. *region*
6. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWI0080I I *date time applid CICSplex* (*plexname*)
のワークロード (*workload*) で **WLM** ワークロード {照会 | 分析} プロセスを開始しました {- CMAS へ送信 (| - CMAS により開始 (} *cmasname*)}。

説明: 2 つの CMAS 間の接続処理の一部として、ワークロード・マネージャー (WLM) が、指定された CICSplex 内のワークロードに関する情報の交換を要求されました。ここで、

action

WLM が実行中のアクションを以下のいずれかとして示します。

照会

一方の CMAS が他方の CMAS からの情報を要求中です。

分析

一方の CMAS が他方の CMAS から受信した情報を分析中です。

direction

指定された CMAS が交換で果たしている役割を示します。

CMASへ送信 (

指定された CMAS に照会を送信中です。

CMASにより開始 (

受信した情報の分析が、指定された CMAS で実行されています。

システムの処置: ワークロード照会処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0WMQM、EYU0WMQW

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=照会、
2=分析

5. *workload*
6. *plexname*

7. 以下のオプションから選択される値:

1=- CMAS へ送信 (、
2=- CMASにより開始 (

8. *cmasname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWI0081I I *date time applid CICSplex* (*plexname*)
のワークロード (*workload*) で **WLM** ワークロード {分析 | ビルド} プロセスを完了しました {- CMAS により開始 (} *cmasname*)}。

説明: TOR から CMAS への接続中、ワークロード・マネージャーは、要求されたワークロードが別の

EYUWI0082E E

CMAS に既に存在して、ワークロードに関するすべての関連情報を取得するためにその CMAS への照会要求を開始したと判別しました。このメッセージは、その処理の正常終了を示し、要求を開始している CMAS または要求を受信している CMAS によって発行されます。ここで、

action

WLM が完了したアクションを以下のいずれかとして示します。

分析

一方の CMAS が他方の CMAS から受信した情報を分析しました。

build

一方の CMAS が、他方の CMAS から受信した情報に基づき、適切なワークロードを構成しました。

direction

指定された CMAS が交換で果たしている役割を示します。

に送信

指定された CMAS に照会を送信中です。

が端末 **T1** によって

受信した情報の分析が、指定された CMAS で実行されています。

cmasname

ワークロード処理のこの段階を開始した CMAS を示します。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0WMQB、EYU0WMQW

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=分析、
2=ビルド

5. *workload*
6. *plexname*

7. 以下のオプションから選択される値:

1=- CMASにより開始 (

8. *cmasname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWI0082E E *date time applid CICSplex*

(*plexname*) のワークロード (*workload*) で
WLM ワークロード {照会 | 分析} プロ
セスに失敗しました {- CMAS へ送信 (|
- CMAS により開始 () *cmasname*)}。

説明: TOR から CMAS への接続中、ワークロード・マネージャー (WLM) は、要求されたワークロードが別の CMAS に既に存在して、ワークロードに関するすべての関連情報を取得するためにその CMAS への照会要求を開始したと判別しました。このメッセージは、その処理の失敗を示し、要求を開始している CMAS または要求を受信している CMAS によって発行されます。ここで、

action

WLM が完了できなかったアクションを以下のいずれかとして示します。

照会

情報の要求を完了できませんでした。

分析

情報の分析を完了できませんでした。

direction

指定された CMAS が交換で果たした役割を示します。

CMASへ送信 (

指定された CMAS に照会の送信ができませんでした。

CMASにより開始 (

指定された CMAS で受信した情報の分析を完了できませんでした。

システムの処置: CICSplex のワークロード照会処理が失敗します。

ユーザーの処置: 障害に関する詳細情報を含むその他のメッセージが表示されます。

モジュール: EYU0WMQM、EYU0WMQW

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. 以下のオプションから選択される値:

1=照会、
2=分析

5. *workload*

6. *plexname*

7. 以下のオプションから選択される値:

1=- CMAS へ送信 (、
2=- CMASにより開始 (

8. *cmasname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWI0083E E *date time applid WLM* 照会ワークロードが、ワークロード・ビルド・プロセス中に、**CICSplex (plexname)** のワークロード (*workload*) で不明な {オブジェクト | コマンド} を検出しました - {オブジェクト | コマンド} (*nn*) は無視されました。

説明: 別の CMAS から受信したワークロードの構成中に、ワークロード・マネージャー (WLM) が、無効なコマンド・タイプまたはオブジェクト・タイプを含むレコードを検出しました。コマンド・タイプまたはオブジェクト・タイプの識別番号がメッセージに挿入されています。ここで、

nn

無効なコマンド・タイプ ID またはオブジェクト・タイプ ID です。

システムの処置: 無効なレコードは無視されます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。ワークロード・ビルド・プロセスは続行されます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0WMQB

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. 以下のオプションから選択される値:

1=オブジェクト、
2=コマンド

5. *workload*

6. *plexname*

7. 以下のオプションから選択される値:

1=オブジェクト、
2=コマンド

8. *nn*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWI0084E E *date time applid WLM* 照会ワークロードがオブジェクト (*nn*)、キー (*type*)、ワークロード (*workload*)、**CICSplex (plexname)** を見つけることができませんでした。更新は無視されました。

説明: 指定されたワークロード・マネージャー (WLM) オブジェクトを更新する要求が行われましたが、そのオブジェクトが見つかりませんでした。

システムの処置: レコードの更新は無視されます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。ワークロード・ビルド・プロセスは続行されます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0WMQU

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nn*
5. *type*
6. *workload*
7. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWI0085E E *date time applid WLM* 照会ワークロードが **CICSplex (plexname)** のワークロード (*workload*) の同期障害を検出しました。

説明: ワークロード分析中に、照会 CMAS と報告 CMAS の両方でワークロードがアクティブであることが検出されました。ワークロードが複数の CMAS によって開始されたため、これらの CMAS は同じワークロード特性を反映するために同期できません。

この状態は、2 つの未接続の CMAS が (TOR および AOR として動作する) それぞれの MAS で初期化さ

れ、かつ両方でワークロードがアクティブになる場合に発生することがあります。2 つの CMAS が相互に接続しようとする、それらのワークロードは同じ情報を反映せず、結合させて単一のワークロードにすることができません。この状態によって、それらのワークロードの 1 つを使用している TOR で、他の CMAS に接続された AOR へのルーティングは妨げられないことに注意してください。

システムの処置: これらのワークロードは固有であると見なされ、情報をまったく共有しません。ワークロード照会処理は続行されます。

ユーザーの処置: 2 つのワークロードを同期化する場合は、最初に CMAS の 1 つに関連付けられているすべての TOR および AOR をシャットダウンし、次に CMAS 自体をシャットダウンします。その後、CMAS を再始動し、他の CMAS への接続を確立するまで待ちます。CMAS が完全に初期化されて接続されたら、TOR および AOR を再始動します。各 CMAS 上のワークロードは同期化され、単一のワークロードとして扱われます。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *workload*
5. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWI0086I I *date time applid* ワークロード *specname* をインポートできません。ルーティング領域 *masname* のインストールを継続しますか? (Y=はい、N=いいえ、R=再試行)

説明: TOR から CMAS への接続中、ワークロード・マネージャーは、要求されたワークロードが別の CMAS に既に存在するが、CMAS との通信がアクティブではないと判別しました。これにより、要求されたワークロードはインポートできません。

コンソールで、そのワークロードをローカル CMAS 上のリポジトリ・レコードからインストールするかどうか (重複ワークロードを作成する可能性があります)、またはワークロードを認識する CMAS との通信が再確立されるまでワークロードのインストールを延期するかどうかについて確認されます。

オペレーターがワークロードのインストールを延期する場合、通信が再確立された後に、MAS ビューを使用し

て TOR 内で WLM を再始動する必要があります。

オペレーターがワークロードのローカル・コピーのインストールを続行する場合、新規に作成されたワークロードに、元のワークロード内に既に確立されている親和性の関係と競合する親和性の関係が含まれる可能性があります。

システムの処置: WLM は応答を待ちます。例外トレースが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。トレースは、ワークロードが既に存在しているが、これらの CMAS との通信がアクティブでない CMAS のリストを提供します。

ユーザーの処置: コンソールに N を入力すると、すべてのワークロードのインストールは異常終了します。コンソールに Y を入力すると、その時点でそのワークロードがインストールされます。ワークロードが既にインストールされている CMAS がアクセス可能になれば、ワークロードはその CMAS からインポートされます。そうでなければ、そのワークロードは、ローカル CMAS のデータ・リポジトリ・レコードから構築されます。

注:

1.

ワークロードがインストールされている CMAS がローカル CMAS に対してアクセス可能になる前に、Y の応答を入力すると、重複ワークロードが作成されます。元のワークロードのインストール以降に定義の変更が行われた場合、これは、ワークロード・ルーティングに異なる規則が含まれることになる場合があります。さらに、ワークロード間で親和性が受け入れられません。ワークロードが重複しないようにするには、必ず、ワークロードがインストールされている CMAS がローカル CMAS に対してアクセス可能になってから、Y と応答してください。

2.

EYUWI0086I メッセージ・プロンプトは、発行後 15 分で有効期限が切れます。その時、ワークロードがインストールされている CMAS がアクセス可能かどうかを判別するためのチェックが行われます。アクセス可能な場合、ワークロードはその CMAS からインポートされます。アクセスできない場合は、EYUWI0086I メッセージおよびプロンプトが再発行されます。

モジュール: EYU0WMQM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*
4. *specname*
5. *masname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWI0087E E *date time applid* 下位の **CMAS**
cmasname によるコンテキスト *contname*
 のワークロード *workname* を **WLM** が照
 会しようとしたが、リジェクトされま
 した。

説明: CMAS *cmasname* は、CICSplex のワークロード
workname をインポートしようとしたが、CICS BTS
 データが存在するため、このインポートは失敗しまし
 た。また、CMAS *cmasname* が以前のリリース・レベル
 です。

システムの処置: インポートはリジェクトされます。

ユーザーの処置: ワークロードを共有するつもりだった
 場合、CICS BTS データ用に別個のワークロードを作成
 するか、ワークロードから CICS BTS データを削除す
 る必要があります。

モジュール: EYU0WMQW

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *workname*
5. *contname*
6. *cmasname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWI0088I I *date time applid* コンテキスト
contname のワークロード *workname* を下
 位の **CMAS** (*cmasname*) にインポートし
 ようとしています。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *workname*
5. *contname*

6. *cmasname*

宛先: COLG

EYUWI0089E E *date time applid* 応答が無効です --
 再入力してください。

説明: 前に出されたメッセージ EYUWI0086I に対する
 応答が無効です。つまり、N と Y 以外の文字が入力さ
 れました。

システムの処置: メッセージ EYUWI0086I が再発行さ
 れます。

ユーザーの処置: メッセージ EYUWI0086I に有効な応
 答を指定してください。

モジュール: EYU0WMQW

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWI0090I I *date time applid* **CMAS** *ins#1* は、
CICSplex (*ins#3*) のワークロード (*ins#2*)
 に使用できません。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: EYU0WMQM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ins#1*
5. *ins#2*
6. *ins#3*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWMnnnn メッセージ

EYUWM0400I I *date time applid* **CICSplex**
 (*plexname*)、ワークロード (*workload*) のワ
 ークロード {仕様 | グループ | 定義}
 (*name*) が正常にインストールされました
 {- CMAS により開始 ({ *masname*)}。

説明: 指定された CMAS からワークロード情報が受信
 され、指定された CICSplex にインストールされまし
 た。ここで、

type

インストールされたワークロード情報のタイプ
 を以下のいずれかとして示します。

- 仕様
- 定義
- グループ

name

その情報のユーザー定義名です。

システムの処置: ワークロード処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0WMWB、EYU0MWI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=仕様、
 2=グループ、
 3=定義

5. *name*
6. *plexname*
7. *workload*

8. 以下のオプションから選択される値:

1=- CMASにより開始 (

9. *masname*

宛先: COLG

EYUWM0401E E *date time applid* **CICSplex**
 (*plexname*)、ワークロード (*workload*) のワ
 ークロード {仕様 | グループ | 定義}
 (*name*) のインストールに失敗しました {-
 CMAS により開始 (| - ルーターの結合
 により開始 ({ *objectname*)}。

説明: 提示されたワークロード仕様、定義、またはグル
 ープは、指定された CICSplex へのインストールに失敗
 しました。このワークロード仕様、定義、またはグル
 ープは、提示された CMAS によって CICSplex 全体に伝搬
 されました。ここで、

type

インストールできなかったワークロード情報の
 タイプを以下のいずれかとして示します。

- 仕様
- 定義
- グループ

name

その情報のユーザー定義名です。

direction

指定された CMAS が交換で果たした役割を示
 します。

TOR の結合により開始

指定された CMAS に照会の送信がで
 きませんでした。

から受信

指定された CMAS で受信した情報の
 分析を完了できませんでした。

障害の理由のさらに詳しく説明するその他の関連メッセ
 ージがある場合があります。

システムの処置: ワークロード処理は続行されますが、
 指定されたワークロード情報は CICSplex では使用でき
 ません。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレー
 ス・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードと、このメッ
 セージより前に発行されたメッセージを調べて、問題の
 原因を判別してください。問題を識別して訂正できる場
 合は、そのワークロード情報の再インストールを試行し
 てください。問題を訂正できない場合は、IBM サポー

トにお問い合わせください。

モジュール: EYU0WMWB,EYU0WMWI,EYU0WMWU,
EYU0WMWC,EYU0WMBD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=仕様、
2=グループ、
3=定義

5. *name*
6. *plexname*
7. *workload*
8. 以下のオプションから選択される値:

1=- CMASにより開始 (、
2=- ルーターの結合により開始 (

9. *objectname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWM0402E E *date time applid CICSplex*
(*plexname*)、ワークロード (*workload*) のワ
ークロード {仕様 | 定義 | トランザク
ション・グループ} (*name*) {が定義されて
いません | にトランザクション・リンク
がありません | に無効な有効範囲指定が
あります}。

説明: 指定されたワークロード情報は、指定された理由
のためインストールできませんでした。ここで、

type

インストールできなかったワークロード情報の
タイプを以下のいずれかとして示します。

- 仕様
- 定義
- トランザクション・グループ

name

その情報のユーザー定義名です。

reason

ワークロード情報がインストールできなかった
理由を説明します。

が定義されていません

データ・リポジトリに、仕様、定
義、またはトランザクション・グルー
プのレコードがありません。

に無効な有効範囲指定があります

仕様または定義の AOR 有効範囲が無
効です。

にトランザクション・リンクがありません

トランザクション・グループに関連付
けられているトランザクションがあり
ません。

システムの処置: ワークロード処理は続行されますが、
指定されたワークロード情報は CICSplex では使用でき
ません。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレー
ス・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 指定の *reason* に応じて、以下のいず
れかを実行してください。

が定義されていません

仕様、定義、またはトランザクション・グルー
プの名前が正しく指定されていることを確認し
てください。指定されている場合、そのレコ
ードはデータ・リポジトリから除去されていま
す。

に無効な有効範囲指定があります

仕様または定義内の AOR 名が正しく指定され
ていること、および AOR 自体が引き続き存在
していることを確認してください。

にトランザクション・リンクがありません

トランザクション・グループ名が正しく指定さ
れていることを確認してください。指定されて
いる場合は、DTRINGRP ビューを使用して、
グループに関連付けられているトランザクシ
ョンを判別します。

モジュール: EYU0WMWC、EYU0WMBD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=仕様、
2=定義、
3=トランザクション・グループ

5. *name*

6. 以下のオプションから選択される値:

1=定義されていません、
2=トランザクション・リンクがありません、
3=無効な有効範囲指定があります

7. *plexname*

8. *workload*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWM0403E E *date time applid* ワークロード・マネージャー・タスクが *type (name)* のエラー処理イベント (*name*) を報告しました。

説明: ワークロード・マネージャー (WLM) 長期実行タスクで、指定されたイベントの処理中に内部エラーが発生しました。ここで、

name

イベントを以下のいずれかとして示します。

-
- CICSChg
-
- CMASConn
-
- CMASDisc
-
- CMASExit
-
- CMASJoin
-
- 接続
-
- DupWrkLd
-
- EmStatus
-
- ENetDisc
-
- LambInterval
-
- LogOff
-

MasJoin

•

MasSick

•

MasStart

•

MasStop

•

MasWell

•

PIInterval

•

PlexChg

•

PlexCnfg

•

RTAEvent

•

SignOff

•

SysGroup

システムの処置: ワークロード・イベント処理は続行されます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: イベント名をメモし、トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0WMEV

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *name*
5. *type*
6. *name*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWM0404E E *date time applid* ワークロード・マネージャー・タスクが不明なイベント通知 (*nn*) を検出しました。イベントは無視されました。

説明: ワークロード・マネージャー (WLM) の長期実

行タスクが、非送信請求イベント・レコードを受け取りました。ここで、

nn

WLM で認識されなかったイベント通知 ID です。

システムの処置: WLM はそのイベント・レコードを無視して処理を続行します。無効なイベント・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードおよび関連するメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0WMEV

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nn*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWM0405W W *date time applid* ルーティング領域 (*region*) の接続 (*connection*) を処理中に、ワークロード・マネージャー・タスクが無効なネット名を検出しました。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *connection*
5. *region*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWM0410I I *date time applid* ワークロード {仕様 | 定義} (*name*) が {コンテキスト | アクティブなワークロード} (*plexname*) から除去されました。

説明: 指定されたワークロード情報は、指定された CICSplex で使用するためにインストールされなくなりました。ここで、

type

除去されたワークロード情報のタイプを以下のいずれかとして示します。

- 仕様
- 定義

name

その情報のユーザー定義名です。

システムの処置: ワークロード処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0WMDF、EYU0WMWT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=仕様、
2=定義

5. *name*
6. 以下のオプションから選択される値:

1=コンテキスト、
2=アクティブなワークロード

7. *plexname*

宛先: COLG

EYUWM0411I I *date time applid* コンテキスト (*ins#2*) のワークロード仕様 (*ins#1*) がこの CMAS から削除されました。

説明: CMAS の終了中、ワークロード・マネージャーは、ワークロードが CMAS CICSplex から除去できると判別しました。ここで、

wlmspec

ワークロード仕様の名前です。ここで、

plexname

ワークロード仕様が関連付けられている CICSplex の名前です。ワークロード仕様は、少なくとも 1 つの他のアクティブな CMAS にまだインストールされていることに注意してください。

システムの処置: CMAS の終了が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

EYUWM0420I I • EYUWM0423I I

モジュール: EYU0WMWT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ins#1*
5. *ins#2*

宛先: COLG

EYUWM0420I I *date time applid CICSplex*
(*plexname*) のルーティング領域 (*sysname*)
がワークロード (*name*) に結合しました。

説明: 指定された TOR は、指定されたワークロードに接続されました。TOR は現在、WLM によって使用できます。

システムの処置: ワークロード処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0WMTJ

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysname*
5. *plexname*
6. *name*

宛先: COLG

EYUWM0421I I *date time applid CICSplex*
(*plexname*) のルーティング領域 (*sysname*)
がワークロード (*name*) から除去されました。

説明: 指定された TOR と指定されたワークロードの間の接続が除去されました。TOR は WLM によって使用できなくなりました。

システムの処置: ワークロード処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0WMTT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysname*

5. *plexname*

6. *name*

宛先: COLG

EYUWM0422E E *date time applid CICSplex*
(*plexname*) のルーティング領域 (*sysname*)
は、ワークロード (*name*) ですすでにアクティ
ブになっています。

説明: 指定されたルーティング・システムを新規ワークロードにリンクしようとしたが、ワークロード・マネージャー (WLM) は、ルーティング・システムが既にアクティブであり、指定されたワークロードにリンクされていると判別しました。

システムの処置: 新規ワークロードの作成は失敗します。ルーティング・システムは、指定されたワークロードによって引き続き管理されます。

ユーザーの処置: WLMSCOPE ビューを使用して、ルーティング・システムとワークロードの間で定義されているリンクを確認してください。次に、トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0WMWC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysname*
5. *plexname*
6. *name*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWM0423I I *date time applid* コンテキスト
(*plexname*) のターゲット領域 (*sysname*)
が静止しました。

説明: すべてのワークロード・マネージャー (WLM) アクティビティーが、指定された CICSplex 内の指定された AOR で静止されています。1 つのワークロードの AOR を静止する要求が出されると、その AOR は CICSplex 内のすべてのワークロードで静止されます。AOR の静止が示すのは、WLM がこの AOR をルーティングの目的で考慮しなくなったということだけです。

システムの処置: AOR は静止としてマークされ、ルーティングのために WLM で使用できなくなります。ワークロード処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0WMQA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysname*
5. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWM0424I I *date time applid CICSplex*
(*plexname*) のターゲット領域 (*sysname*)
がワークロード (*name*) でアクティブ化さ
れました。

説明: 提示されたワークロードに対して、提示された
AOR がアクティブ化されました。これは、この AOR
が作業に使用できるため、WLM が現在、トランザク
ションをこの AOR にルーティングする可能性があること
を示します。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0WMAA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysname*
5. *plexname*
6. *name*

宛先: COLG

EYUWM0425I I *date time applid CICSplex*
(*plexname*) のターゲット領域 (*sysname*)
がワークロード (*name*) で終了されまし
た。

説明: 提示された AOR は、提示されたワークロード
内でアクティブではなくなりました。これは、CMAS
にこの MAS への接続がなくなったことと、MAS がト
ランザクション・ルーチンで使用できなくなることを意
味します。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0WMAT、EYU0WMRA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysname*
5. *plexname*
6. *name*

宛先: COLG

EYUWM0426I I *date time applid* {定義 | トランザク
ション・グループ | トランザクション}
(*name*) はすでに **CICSplex** (*plexname*) の
ワークロード (*name*) にインストール済み
です - パラメーターは無視されました。

説明: ワークロード定義の一部としてインストールされ
る予定だったトランザクションまたはトランザクシ
ョン・グループが、アクティブなワークロードに既に存在
していることが検出されました。ここで、

type

既にインストール済みだったものを示します。

定義

定義が既にインストールされていま
す。

トランザクション

トランザクションが既に別のトランザ
クション・グループの一部としてイン
ストールされています。

グループ

トランザクション・グループの定義
が、同じ名前です既にインストールされ
ている定義と異なります。既存の定義
はそのまま有効です。

name

特定のトランザクションまたはトランザクシ
ョン・グループと、それがインストールされてい
るワークロードを示します。

提示されたパラメーターは再インストールされません。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0WMWI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

EYUWM0427I I • EYUWM0429E E

4. 以下のオプションから選択される値:

- 1=定義、
- 2=トランザクション・グループ、
- 3=トランザクション

5. *name*

6. *name*

7. *plexname*

宛先: COLG

EYUWM0427I I *date time applid CICSplex*
(*plexname*)、ワークロード (*workload*) のワ
ークロード {グループ | 定義} (*name*) の
インストール中にパラメーターが無視され
ました {- CMAS により開始 (*cmasname*)}。

説明: 提示された WLM 定義または WLM グループ
のインストール中に重複パラメーターが検出され、その
後、無視されました。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0WMWI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

4. 以下のオプションから選択される値:

- 1=グループ、
- 2=定義

5. *name*

6. *plexname*

7. *workload*

8. 以下のオプションから選択される値:

1=- CMASにより開始 (

9. *cmasname*

宛先: COLG

EYUWM0428I I *date time applid WLMDEF*
(*defname1*) はすでにワークロード
(*workloadname*) に **CICSplex** (*plexname*)
の (*defname2*) としてインストール済みで
す - パラメーターは無視されました。

説明: 指定された WLM 定義のインストールしようと
している間に、その定義が、前にインストールした定義
のパラメーターすべてに一致することが検出されまし
た。

システムの処置: 定義はインストールされません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0WMWI、EYU0WMBD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

4. *defname1*

5. *workloadname*

6. *defname2*

7. *plexname*

宛先: COLG

EYUWM0429E E *date time applid CICSplex*
(*plexname*) のワークロード (*workloadid*)
における **WLMDEF** (*defname1*) および
(*defname2*) と矛盾するパラメーターがあり
ます。**WLMDEF** (*defname3*) は無視され
ました。

説明: 指定されたワークロードのインストール中、2 つ
のワークロード定義に、同じトランザクション・グルー
プ、LUsername、およびユーザー ID 値があるが、異なる
AOR スコープがあることが検出されました。矛盾する
AOR スコープによりルーティング決定ができないた
め、WLMDEF の 1 つが破棄されます。ここで、

システムの処置: 提示されたワークロード定義はインス
トールされません。

ユーザーの処置: 以下のいずれかを実行する。

- いずれか一方のワークロード定義を変更して、別のト
ランザクション・グループ、LUsername、または ユー
ザー ID を使用する。

- いずれか一方の定義をワークロードから除去する。

モジュール:

EYU0WMBD、EYU0WMWI、EYU0WMBP

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

4. *defname1*
5. *defname2*
6. *workloadid*
7. *plexname*
8. *defname3*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWM0430I I *date time applid CICSplex*
(plexname) のワークロード (*workloadid*)
 が *type* に移行されました: *sysplex reason*
 の *sysname*。

説明: 指定されたワークロード内で指名されたアプリケーション所有領域 (AOR) または 端末専有領域 (TOR) で状況が変化するため、そのワークロードのルーティング・アルゴリズムが変更されています。ここで、

workloadid

変更によって影響を受けるワークロードを示します。

type

ワークロードが変更しているアルゴリズムを GOAL、LNGOAL、QUEUE、LNQUEUE のいずれかとして示します。

sysname

変更の原因となった AOR または TOR の名前です。

sysplex

CICS システムが実行されている MVS シスプレックスの名前です。

reason

変更の理由を以下のいずれかとして示します。

初期化中

指定された CICS システムは初期化しています。

終了中

指定された CICS システムは終了しています。

状況の変更

シスプレックスは、その MVS/WLM 状況を変更しました。

このメッセージが表示されるのは、CICSplex SM ワークロード仕様 (WLMSPEC) がアルゴリズム・タイプとして GOAL または LNGOAL を指定する場合のみです。

システムの処置: ワークロード内のすべての TOR のルーティング・アルゴリズムは、このメッセージに指定されたタイプに変更されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0WSUA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *workloadid*
5. *plexname*
6. *type*
7. *sysname*
8. *sysplex*
9. *reason*

宛先: COLG

EYUWM0431E E *date time applid* 以前に開始した
AOR (*name2*) と同じ **APPLID** (*applid*) で
 あるため、**CICSplex** (*plexname*) のワーク
 ロード (*workloadid*) の **AOR** (*name*) の開
 始に失敗しました。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0WMAA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *name*
5. *workloadid*
6. *plexname*
7. *applid*
8. *name2*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWM0432E E *date time applid CICS BTS*
Processtype の指定により、ワークロード
 (*workloadid*) の **WLMDEF** (*defname*) は
CICSplex (*plexname*) 向けに処理できませ
 せん。

説明: CICSplex SM V1R2M0 または V1R3M0 TOR

EYUWM0433E E • EYUWM0434W W

と共用される既存のワークロードに WLMDEF をインストール中に、非総称 CICS BTS Processtype の値が見つかりました。

システムの処置: WLMDEF のインストールは失敗します。

ユーザーの処置: CICSplex SM V1R2M0 または V1R3M0 TOR が使用しているワークロードに、CICS BTS の定義または属性を含めることはできません。ワークロード・スコープから候補の TOR を除去するか、非 CICS BTS WLMDEF を別個のワークロードに分離して新規ワークロードのインストール・スコープに候補 TOR を含めてください。

モジュール: EYU0WMBD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *defname*
5. *workloadid*
6. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWM0433E E *date time applid* **CICS BTS**
Affinity の指定により、ワークロード (*workloadname*) の **TRANGRP** (*trangrpname*) は **CICSplex** (*plexname*) 向けに処理できません。

説明: CICSplex SM V1R2M0 または V1R3M0 TOR と共用される既存のワークロードに WLMDEF をインストール中に、CICS BTS Affinity の指定を含む TRANGRP が見つかりました。

システムの処置: WLMDEF のインストールは失敗します。

ユーザーの処置: CICSplex SM V1R2M0 または V1R3M0 TOR が使用しているワークロードに、CICS BTS の定義または属性を含めることはできません。ワークロード・スコープから候補の TOR を除去するか、非 CICS BTS TRANGRP を別個のワークロードに分離して新規ワークロードのインストール・スコープに候補 TOR を含めてください。

モジュール: EYU0WMBD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *trangrpname*
5. *workloadname*
6. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWM0434W W *date time applid* ルーティング領域 (*torname*) からターゲット領域 (*aorname*) へ複数の {SNA | IPIC} 接続がインストールされています。**WLM** は接続 (*conn*) を使用します。

説明: ルーティング領域またはターゲット領域のアクティベーション中に、そのルーティング領域とターゲット領域の間に複数の接続がディスカバーされました。ここで、

torname

ルーティング領域の名前です。

aorname

ターゲット領域の名前です。

conn

WLM がルーティング領域からターゲットへのルーティングに使用する接続の名前です。

システムの処置: このメッセージおよびトレース・レコードが発行されます。WLM は、メッセージに示された接続を使用して、ルーティング領域からターゲット領域へのルーティングを試行します。この接続経路でルーティングができない場合、WLM はルーティング領域とターゲット領域の間のいずれの代替接続にも切り替えないことに注意してください。

CPSM は、以下の規則に従って使用する接続を選択します。

- ルーティング領域とターゲット領域がワークロードに結合された後、WLM で使用される 2 つめの接続がインストールされます。
- 両方の接続がインストールされているワークロードにルーティング領域が結合されると、ターゲット領域がそのワークロードを結合します。WLM は、アルファベット順で最初に来る名前の接続を使用します。
- 両方の接続がインストールされているワークロードにターゲット領域が結合されると、ルーティング領域がそのワークロードを結合します。WLM は、アルファベット順で最初に来る名前の接続を使用します。

ユーザーの処置: メッセージに示された接続経路でルー

ティングする場合は、応答は必要ありません。別の接続経由でルーティングする場合は、不要な接続をすべて破棄してから、ターゲット領域を再始動してください。

モジュール: EYU0WMAA、EYU0WMTJ

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=SNA、
2=IPIC

5. *torname*
6. *aorname*
7. *conn*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWM0435W W *date time applid* ルーティング領域 (*torname*) からターゲット領域 (*aorname*) へ追加の {SNA | IPIC} 接続がインストールされました。**WLM** は、接続 (*oldc*) の代わりに (*newc*) を使用します。

説明: アクティブなルーティング領域とアクティブなターゲット領域との間での接続の随時インストールの処理中に、**WLM** は前の接続がインストールされていると判別しました。ここで、

torname

ルーティング領域の名前です。

aorname

ターゲット領域の名前です。

newc

新規にインストールされた、ルーティング領域からターゲットへの接続の名前です。

oldc

ルーティング領域からターゲットへの既存の接続の名前です。

システムの処置: このメッセージおよびトレース・レコードが発行されます。**WLM** は、新規にインストールされた接続を使用して、ルーティング領域からターゲット領域へのルーティングを試行します。この接続経由でルーティングができない場合、**WLM** はルーティング領域とターゲット領域の間のいずれの代替接続にも切り替えないことに注意してください。

ユーザーの処置: メッセージに示された新規インストール済みの接続経由でルーティングする場合は、応答は必要ありません。別の接続経由でルーティングする場合は、不要な接続をすべて破棄してから、ターゲット領域を再始動してください。

モジュール: EYU0WMTU

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=SNA、
2=IPIC

5. *torname*
6. *aorname*
7. *newc*
8. *oldc*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWM0436I I *date time applid* コンテキスト (*ins#2*) のターゲット領域 (*ins#1*) を再開しました。

説明: 提示されたターゲット領域は、指定された CICSplex 内でワークロードの潜在的なターゲットとしてアクティブ化されました。これは、このターゲット領域が作業に使用できるため、**WLM** が現在、トランザクションをこの領域にルーティングする可能性があることを示します。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0WAUO

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ins#1*
5. *ins#2*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWM0437I I *date time applid* コンテキスト
(*ins#3*) で既に静止しているため、ワーク
ロード (*ins#2*) のターゲット領域 (*ins#1*)
を静止しました。

説明: CICS システムが始動時のターゲット領域でない
として CICSplex SM に定義されているため、すべての
ワークロード・マネージャー (WLM) アクティビティ
が、指定されたコンテキスト内の指定されたターゲット
領域で静止されました。

この定義は、以下のいずれかに NO を指定することで
設定されています。

- EYUSTARTCSYSDEF 上の WUI に「AOR 動的ルー
ティング・モード」として指定。

- API に CSYSDEF オブジェクトの DYNROUTE 属
性として指定。

ターゲット領域は、CICSplex 内のすべてのワークロー
ドで静止されます。ターゲット領域の静止が示すのは、
WLM がこの領域をルーティングの目的で考慮しなくな
ったということだけです。

システムの処置: ターゲット領域は静止としてマークさ
れ、ルーティングのために WLM で使用できなくな
ります。ワークロード処理は続行されます。

ユーザーの処置: 始動時にターゲット領域がワークロー
ドの一部でなければならない場合は、定義を YES に変
更してください。

あるいは、ターゲット領域が作業を受信する準備ができ
たら、以下のいずれかの方法を使用します。

- EYUSTARTWLMWAOR 上の WUI 内で、
ACTIVATE アクションを使用して「ターゲット領域
の状況」を変更する。

- API ACTIVATE アクション内で、WLMWAOR オ
ブジェクトを使用して STATUS を更新する。

モジュール: EYU0WMAA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ins#1*
5. *ins#2*
6. *ins#3*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWM0438I I *date time applid* ワークロード・マネ
ージャーはゴール・アルゴリズムを使用し
ており、**z/OS**パーセンタイル・ゴールを
検出しました。

説明: CICSplex SM ワークロード管理はゴール・アル
ゴリズムを使用しており、z/OS ワークロード・マネ
ージャーにパーセンタイル・ゴールが定義されている作業
要求を検出しました。

システムの処置: CICSplex SM ワークロード管理は、
このような目標が定義された作業要求のルーティング決
定を確定する要因として、z/OS ワークロード・マネ
ージャーのパーセンタイル・ゴールを使用します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0WTCL

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUWM0439I I *date time applid CICSplex (context)*
内のワークロード (*workloadid*) の
TRANGRP (*transgrpid*) が *type* に変更さ
れました: *sysplex reason* の *sysname*。

説明: ワークロード内で指名されたアプリケーション所
有領域 (AOR) または 端末専有領域 (TOR) で状況が変
化したため、そのワークロードの指定された CICSplex
内の指定されたトランザクション・グループのルーティ
ング・アルゴリズムが変更されています。ここで、

transgrpid

変更によって影響を受けるトランザクション・
グループを示します。

workloadid

影響を受けたトランザクション・グループの親
ワークロードを示します。

type

ワークロードが変更しているアルゴリズムを
GOAL、LNGOAL、QUEUE、LNQUEUE の
いずれかとして示します。

sysname

変更の原因となった AOR または TOR の名前
です。

sysplex

CICS システムが実行されている MVS シスプレックスの名前です。

reason

変更の理由を以下のいずれかとして示します。

初期化中

指定された CICS システムは初期化しています。

終了中

指定された CICS システムは終了しています。

状況の変更

シスプレックスは、その MVS/WLM 状況を変更しました。

このメッセージが表示されるのは、CICSplex SM トランザクション・グループ定義 (TRANGRP) がアルゴリズム・タイプとして GOAL または LNGOAL を指定する場合のみです。

システムの処置: ワークロード内のすべての TOR のルーティング・アルゴリズムは、このメッセージに指定されたタイプに変更されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0WSUA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trangrp*
5. *context*
6. *workloadid*
7. *type*
8. *sysname*
9. *sysplex*
10. *reason*

宛先: COLG

EYUWM0440I I *date time applid CICSplex (context)*
 内のワークロード (*workloadid*) アルゴリズムのトランザクション・グループ (*trangrp*) が *type* にリセットされました。

説明: ワークロードの指定された CICSplex 内の指定されたアクティブ・トランザクション・グループのルー

ティング・アルゴリズムが *type* に変更されています。

trangrp

変更によって影響を受けるアクティブ・ワークロード・トランザクション・グループを示します。

workloadid

影響を受けたアクティブ・トランザクション・グループの親ワークロードを示します。

type

ワークロード内のトランザクション・グループが変更しているアルゴリズムを GOAL、LNGOAL、QUEUE、LNQUEUE、INHERIT のいずれかとして示します。

このメッセージが表示されるのは、アクティブ・トランザクション・グループ (WLMATGRP) アルゴリズム・タイプが修正されている場合のみです。

システムの処置: アクティブ・トランザクション・グループ内のすべてのトランザクションのルーティング・アルゴリズムは、このメッセージに指定されたタイプに変更されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0WMUT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trangrp*
5. *context*
6. *workloadid*
7. *type*

宛先: COLG

EYUWM0441I I *date time applid* コンテキスト (*plexname*) のターゲット領域 (*sysname*) が静止されています。

説明: 静止要求が、指定された CICSplex 内の指定されたターゲット領域に対して発行されました。

システムの処置: ターゲット領域は静止中としてマークされ、トランザクションまたはプログラムのアクティブな親和性がなければ、トランザクションまたはプログラムのルーティングのために WLM でその領域は使用できなくなります。すべての親和性が終了したと判別されると、ターゲット領域は静止としてマークされ、EYULOG メッセージ EYUWM0423I が発行されます。

EYUWM0442I I • EYUWM0503I I

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0WAUO

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysname*
5. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWM0442I I *date time applid CICSplex (context)*
内のワークロード (*workloadid*) 状況のトランザクション・グループ (*trangrpid*) が {ACTIVE | DORMANT} にリセットされました。

説明: アクティブなワークロードにインストールされたトランザクション・グループの状況は、リセットされました。

システムの処置: トランザクション・グループの状況が、ACTIVE または DORMANT に設定されました。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0WMUT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trangrpid*
5. *context*
6. *workloadid*
7. 以下のオプションから選択される値:

1=ACTIVE、
2=DORMANT

宛先: COLG

EYUWM0443I I *date time applid CICSplex (context)*
内のワークロード (*workloadid*) のトランザクション・グループ (*trangrpid*) から動的トランザクション (*trannname*) が破棄されました。

説明: 動的トランザクションが、アクティブなワークロードから破棄されました。

システムの処置: トランザクションがルーティング領域で開始されると、そのトランザクションは、ワークロー

ド仕様で指定されたデフォルトの AOR スコープ内のターゲット領域にルーティングされます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0WMDT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trannname*
5. *trangrpid*
6. *context*
7. *workloadid*

宛先: COLG

EYUWM0444I I *date time applid CICSplex (context)*
内のワークロード (*workloadid*) にトランザクション・グループ (*trangrpid*) からターゲット (AOR) への親和性が破棄されました。

説明: アクティブなワークロード内のトランザクション・グループと特定のターゲット領域の間のトランザクション親和性が、強制されました。

システムの処置: システム処置: トランザクションがルーティング領域で開始されると、新しいトランザクション親和性が確立されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0WMDA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *trangrpid*
5. AOR
6. *context*
7. *workloadid*

宛先: COLG

EYUWM0503I I *date time applid CICSplex (plexname)* のルーティング領域 (*name*) は、ワークロード (*workload*) 向けに **Sysplex Optimized WLM** 状態で実行されています。

説明: このルーティング領域は、現在、シスプレックスの最適化ワークロード管理モードに正常に切り替えら

れ、改善された動的ワークロード・ルーティング決定が使用できます。

システムの処置: 領域の最適化の状況は、ACTIVE としてマークされます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0WNWK、EYU0WNHD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *name*
5. *plexname*
6. *workload*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWM0504I I *date time applid CICSplex*
(*plexname*) のルーティング領域 (*name*)
は、ワークロード (*workload*) 向けに
Sysplex Optimized WLM 状態で実行されていません。

説明: このルーティング領域は、シスプレックスの最適化ワークロード管理状態で実行されていません。この領域で行われる動的ルーティング決定は、非最適化モードで行われます。

システムの処置: 領域の最適化の状況は、INACTIVE としてマークされます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール:

EYU0WNRS、EYU0WNHD、EYU0WNAL

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *name*
5. *plexname*
6. *workload*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWM0505I I *date time applid CICSplex*
(*plexname*) のターゲット領域 (*name*) が
Sysplex Optimized WLM 状態で実行されています。

説明: このターゲット領域は、現在、シスプレックスの最適化ワークロード管理モードに正常に切り替えられ、

改善された動的ワークロード・ルーティング決定が使用できます。

システムの処置: ターゲット領域の最適化の状況は、ACTIVE としてマークされます。

ユーザーの処置: CICSplex SM では、ワークロード最適化が使用可能な領域は動的ルーターとターゲット領域の両方として機能すると想定されます。このメッセージを発行している領域でルーティング役割だけを採用させる必要がある場合は、ターゲット領域の最適化を無効にする必要があります。これは、CICSplex SM 内の CICS システム定義オブジェクト (CSYSDEF) の UPDATERS 属性をゼロにリセットすることで実現できます。この属性は、MAS リソース・テーブルまたはビュー・セットを使用して、アクティブな領域内で変更できます。

モジュール: EYU0WNRS、EYU0WNHD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *name*
5. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWM0506I I *date time applid CICSplex*
(*plexname*) のターゲット領域 (*name*) が
Sysplex Optimized WLM 状態で実行されていません。

説明: このターゲット領域は、シスプレックスの最適化ワークロード管理状態で実行されていません。この領域で行われる動的ルーティング決定は、非最適化モードで行われます。

システムの処置: 領域の最適化の状況は、INACTIVE としてマークされます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0WNRS、EYU0WNHD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *name*
5. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWM0507I I *date time applid CICSplex*
 (plexname) のルーティング領域 (name)
 の、ワークロード (workload) の最適化の
 終了の理由: (RS サーバー障害 | 最適化
 が無効になっている | RSPoolID が変
 更された))。

説明: ルーティング領域内のワークロード最適化が終了
 しました。理由は、以下の原因を示します。

RS サーバー障害

領域状況 (RS) サーバーが予期せずに終了しま
 した。これに対して考えられる理由に、z/OS
 カップリング・ファシリティ内の障害が含ま
 れる場合があります。例えば、システム・オペ
 レーター介入により、RS サーバー・アドレ
 ス・スペースが終了または取り消しになった場
 合です。

最適化が無効になっている

ルーティング領域の最適化の使用可能化状況
 が、有効から無効に変更されました。この処置
 は、CICSplex SM WUI ユーザーまたは
 CICSplex SM API を使用するアプリケーション・プログラムによって実行された可能性があ
 ります。

RSPoolID が変更された

CICSplex 内の領域の処理中、現在の CICSplex
 を記述する CPLEXDEF リソース定義の「RS
 サーバーのプール名」属性が変更されました。
 CICSplex 内の WLM ルーティング領域で行わ
 れたすべての後続の動的ルーティング要求は、
 CICSplex が再始動されるまで非最適化モード
 で行われます。

システムの処置: 領域の最適化の状況は、INACTIVE
 としてマークされます。ワークロード・マネージャー
 は、CICS からの動的ルーティング要求を引き続き処理
 しますが、ルーティング領域は、非最適化処理を使用し
 て可能性のあるターゲット領域を判別します。

ユーザーの処置: 理由に応じて、以下の処置を行ってく
 ださい。

RS サーバー障害

MVS システム・ログで、RS サーバーが終了
 した理由を調べます。適切な場合は、RS サー
 バー・アドレス・スペースを再始動します。

最適化が無効になっている

報告された領域の MAS WUI ビューを使用し
 て、「最適化の使用可能化」設定の状態を確認
 します。無効な状態である場合は、設定を再度
 有効にします。

RSPoolID が変更された

現在の CICSplex を記述する CPLEXDEF リソ
 ース定義の「RS サーバー・プール名」属性の
 設定を確認します。

名前の変更が無効な場合は、元の名前に戻し、
 すべての影響を受けた領域で最適化ルーティン
 グを再開します。

RS サーバーが使用可能になるとすぐに、ワークロ
 ード・マネージャーは、最適化で使用可能な領域に対して
 最適化ルーティング・モードに自動的にスイッチバック
 します。

モジュール: EYU0WNRS、EYU0WNHD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *name*
5. *plexname*
6. *workload*
7. 以下のオプションから選択される値:

1=RS サーバー障害、
 2=最適化が無効になっている、
 3=RSPoolID が変更された

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWM0508I I *date time applid CICSplex(plexname)*
 のターゲット領域 (name) の最適化の終了
 の理由: (RS サーバー障害 | 最適化が無
 効になっている | RSPoolID が変更さ
 れた | DFHRSFDL へのリンクが失敗し
 た | ターゲット・レコードが見つかりま
 せん (Target record not found))。

説明: ターゲット領域内のワークロード最適化が終了し
 ました。理由は、以下の原因を示します。

RS サーバー障害

領域状況 (RS) サーバーが予期せずに終了しま
 した。これに対して考えられる理由に、z/OS
 カップリング・ファシリティ内の障害が含ま
 れる場合があります。例えば、システム・オペ

レーター介入により、RS サーバー・アドレス・スペースが終了または取り消しになった場合です。

最適化が無効になっている

ターゲット領域の「最適化の使用可能化」状況が、有効から無効に変更されました。この処置は、CICSplex SM WUI ユーザーまたは CICSplex SM API を使用するアプリケーション・プログラムによって実行された可能性があります。

RSPOOLID が変更された

CICSplex 内の領域の処理中、現在の CICSplex を記述する CPLEXDEF リソース定義の「RS サーバーのプール名」属性が変更されました。CICSplex 内の WLM ルーティング領域で行われたすべての後続の動的ルーティング要求は、CICSplex が再始動されるまで非最適化モードで行われます。

DFHRSFDL へのリンクが失敗した

DFHRSFDL プログラムは、CICSplex SM ワークロード管理機能を領域状況 (RS) サーバーに接続します。このプログラムへのリンクが失敗したため、最適化処理は開始できません。

ターゲット・レコードが見つかりません (*Target record not found*)

ターゲット領域のレコードが、カップリング・ファシリティー・データ・テーブルに見つかりませんでした。

システムの処置: 領域の最適化の状況は、INACTIVE としてマークされます。ワークロード・マネージャーは、CICS からの動的ルーティング要求を引き続き処理しますが、ルーティング・ターゲットは、非最適化処理を使用して判別されます。

ユーザーの処置: 理由に応じて、以下の処置を行ってください。

RS サーバー障害

MVS システム・ログで、RS サーバーが終了した理由を調べます。適切な場合は、RS サーバー・アドレス・スペースを再始動します。

最適化が無効になっている

報告された領域の MAS WUI ビューを使用して、「最適化の使用可能化」設定の状態を確認します。無効な状態である場合は、設定を再度有効にします。

RSPOOLID が変更された

現在の CICSplex を記述する CPLEXDEF リソース定義の「RS サーバー・プール名」属性の設定を確認します。

名前の変更が無効な場合は、元の名前に戻し、すべての影響を受けた領域で最適化ルーティングを再開します。

DFHRSFDL へのリンクが失敗した

CICS メッセージ・ログに、DFHRSFDL へのリンクの失敗を報告するメッセージがないかチェックします。この障害の原因として最も可能性が高いのは、DFHRSFDL の PROGRAM リソースがインストールされていないことです。DFHRS CSD グループが、CICS 領域が開始されたときにインストールされるグループ・リストの一部であることを確認してください。

ターゲット・レコードが見つかりません (*Target record not found*)

これはタイミングの問題が原因の可能性があり、この CMAS がターゲット領域の EMSTATUS レコードを受信すると再試行されます。再試行が成功すると、メッセージ EYUWM0509 が発行されて、そのことが文書化されます。再試行が別の理由で失敗した場合は、メッセージ EYUWM0508 が新しい障害理由で再発行されます。後に EYUWM0509 メッセージが続かない限り、「ターゲット・レコードが見つかりません (*Target record not found*)」の EYUWM0508 メッセージの単独での表示は、報告される問題とみなされません。

RS サーバーが使用可能になるとすぐに、ワークロード・マネージャーは、最適化で使用可能な領域に対して最適化ルーティング・モードに自動的にスイッチバックします。

モジュール: EYU0WNRS EYU0WNHD EYU0WMAA EYU0WMAM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *name*
5. *plexname*
6. 以下のオプションから選択される値:

1=RS サーバー障害、
2=最適化が無効になっている、
3=RSPOOLID が変更された、
4=DFHRSFDL へのリンクが失敗した、

EYUWM0509I I

5=ターゲット・レコードが見つかりません (*Target record not found*)

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWM0509I I *date time applid CICSplex*
(*plexname*) のターゲット領域 (*name*) のワークロード最適化がアクティブ化されました。(Workload optimization has been activated for target region (*name*), CICSplex(*plexname*).)

説明: ターゲット領域のワークロード最適化がアクティブ化されました。「ターゲット・レコードが見つかりません (*Target record not found*)」の理由を示している前の EYUWM0508 メッセージは解決されました。

システムの処置: 領域のワークロード最適化の状況は、ACTIVE としてマークされます。ワークロード・マネージャーは、ターゲット領域に対して最適化処理を使用します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU0WMAA、EYU0WMAM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *name*
5. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWRnnnn メッセージ

これらのメッセージのテキスト (プログラム自体など) は変更できます。
EYU9WRAM プログラムがお客様の企業で変更されている場合、これらのメッセージのテキストおよび意味は異なる場合があります。

EYUWRnnnn メッセージは、CICSplex SM がその ワークロード・マネージャー・コンポーネントの一部として配布する、EYU9WRAM というユーザー変更可能なプログラムによって発行されます。EYU9WRAM プログラムは、CICSplex SM が使用する動的トランザクション・ルーティングを制御するために、変更できます。EYU9WRAM と CICSplex SM ワークロード・マネージャーについて詳しくは、製品資料を参照してください。

EYUWRnnnn メッセージでは、以下で区分されている次の変数を使用されています。

fname

処理される EYU9WRAM 関数の名前。次のいずれかです。

SM_BALANCE

候補のリストからターゲット AOR を選択します。

SM_CREAFF

AOR への親和性を作成します。

SM_DELAFF

AOR への親和性を削除します。

SM_ROUTE

通常の CICSplex SM 処理を迂回して、指定された AOR にトランザクションをルーティングします。

SM_SCOPE

候補の AOR のリストを返します。

fcode

処理される EYU9WRAM 関数の数字コード。次のいずれかです。

0 ルート選択

- 1 ルート・エラー
- 2 ルート終了
- 3 トランザクション ABEND
- 4 ルート通知

EYUWR0001E E 内部エラーが **EYU9WRAM** で発生しました。エラーは *text* です (**Internal Error Raised in EYU9WRAM: Error is text**)

説明: EYU9WRAM プログラムは、予期しないエラーを検出しました。ここで、

text エラーを以下のいずれかとして示します。

API からのゼロ以外の戻りコード: **RC=code**。

WLM 内部 API の呼び出しで、ゼロ以外の戻りコードが返されました。WLM API からの戻りコードは常にゼロでなければなりません。ここで、

code 戻りコードを 10 進値として示します。

WLM API 関数プロセッサが呼び出されませんでした。

入力 **COMMAREA** サイズが無効です: **Size=nnnn**。

EYU9WRAM に渡された COMMAREA のサイズが予期されたものではありませんでした。ここで、

nnnn 10 進値の COMMAREA のサイズです。

WCOM_CTYPE の不明な関数: **Function=fcode**。

指定された機能コードは EYU9WRAM プログラムに認識されていません。ここで、*fcode* は EYUWRnnnn messages に記載されています。

fname からの不明な **API** 応答: **RESPONSE=code**。

指定された EYU9WRAM 関数から受け取った API 応答コードが不明です。ここで、

code 応答コードを 10 進値として示します。

fname からの不明な **API** 理由: **REASON=code**。

指定された EYU9WRAM 関数から受け取った API 理由コードが不明です。ここで、

code 理由コードを 10 進値として示します。

システムの処置: EYU9WRAM プログラムを使用していたトランザクションは経路指定されません。

ユーザーの処置: サイトのワークロード管理および

EYU9WRAM プログラムの担当者に問題を報告してください。

EYU9WRAM の内部エラーの最も可能性が高い原因としては、次のものが考えられます。

- EYU9WRAM への不適切なユーザー変更。
- 保守が CICSplex SM に適用されたが、EYU9WRAM プログラムに適用されていない。

モジュール: EYU9WRAM

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUWR0002W W 警告テキスト

説明: ルーティングに対して AOR を選択した後、EYU9WRAM プログラムがルート・エラー関数に対して呼び出されました。選択された AOR は使用不可で、選択対象の他の AOR がありません。ここで、

警告テキスト

問題を以下のいずれかとして示します。

- 選択された AOR (*typeid*) への CICS リンクが見つかりませんでした。
- 選択された AOR (*typeid*) への CICS リンクが現在サービス休止中です。
- AOR (*typeid*) へのルートで使用可能なセッションがありません。
- AOR *typeid* へのトランザクション・ルート上で割り振りタイムアウトが発生しました。

typeid 使用できない AOR を、AOR の以下のものとして示します。

APPLID applid

8 文字のアプリケーション ID (使用できる場合)。

SYSID sysid

4 文字のシステム ID (APPLID が使用できない場合)。

システムの処置: EYU9WRAM プログラムを使用していたトランザクションは経路指定されません。

ユーザーの処置: サイトのワークロード管理および EYU9WRAM プログラムの担当者に問題を報告してください。

モジュール: EYU9WRAM

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUWR0003W W 親和性 AOR (*typeid*) は、*reason* ため使用できません。(The Affinity AOR (*typeid*) is not available because the *reason*.) *text*

説明: EYU9WRAM プログラムがルート選択またはルート・エラーの関数に対して呼び出され、SM_SCOPE を呼び出してスコープ・リストを取得します。スコープ・リストには、使用できない単一の親和性 AOR が含まれていました。ここで、

typeid 使用できない AOR を、AOR の以下のものとして示します。

APPLID applid

8 文字のアプリケーション ID (使用できる場合)。

SYSID sysid

4 文字のシステム ID (APPLID が使用できない場合)。

dt.reason dd. は、AOR が使用できない理由を以下のいずれかとして示します。

AOR がダウンしている。

AOR がアクティブではありません。

AOR への CICS リンクが使用できない。

AOR へのリンクが定義されていないか、サービス状態ではありません。

AOR ジョブが異なっている。

AOR はアクティブですが、親和性が最初に作成された後にジョブが終了して、再始動しました。

text 親和性の新しい状態を説明します。

親和性はそのままです。

EYU9WRAM プログラムも CICSplex SM も親和性を削除しませんでした。

親和性は終了します。

EYU9WRAM または CICSplex SM が親和性を削除しました。

システムの処置: EYU9WRAM プログラムを使用していたトランザクションは経路指定されません。

ユーザーの処置: サイトのワークロード管理および EYU9WRAM プログラムの担当者に問題を報告してください。

モジュール: EYU9WRAM

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUWR0101E E CPSM に対する無効な要求。

FUNCTION=*fname*、REASON=*code*。

(Invalid Request to CPSM:

FUNCTION=*fname*, REASON=*code*.)

説明: 指定された EYU9WRAM 関数は、無効な要求応答を返しました。ここで、

fname EYUWRnnnn messages に記載されています。

code 理由コードを 10 進値として示します。

システムの処置: EYU9WRAM プログラムを使用していたトランザクションは経路指定されません。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: サイトのワークロード管理および EYU9WRAM プログラムの担当者に問題を報告してください。

モジュール: EYU9WRAM

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUWR0102E E CPSM の呼び出し時のパラメータ

ー・エラー。FUNCTION=*fname*、

REASON=*code*。(Parameter Error on

call to CPSM: FUNCTION=*fname*,

REASON=*code*.)

説明: 指定された EYU9WRAM 関数は、パラメータ・エラー応答を返しました。ここで

fname EYUWRnnnn messages に記載されています。

code 理由コードを 10 進値として示します。

システムの処置: EYU9WRAM プログラムを使用していたトランザクションは経路指定されません。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: サイトのワークロード管理および EYU9WRAM プログラムの担当者に問題を報告してください。

モジュール: EYU9WRAM

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUWR0103E E CPSM の呼び出し時の関数エラ

ー。FUNCTION=*fname*、

REASON=*code*。(Function Error on call

to CPSM: FUNCTION=*fname*,

REASON=*code*.)

説明: 指定された EYU9WRAM 関数は、関数エラー応答を返しました。ここで

fname EYUWRnnnn messages に記載されています。

code 理由コードを 10 進値として示します。

システムの処置: EYU9WRAM プログラムを使用して
いたトランザクションは経路指定されません。ユーザ
ー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セ
ットに書き込まれます。

ユーザーの処置: サイトのワークロード管理および
EYU9WRAM プログラムの担当者に問題を報告してく
ださい。

モジュール: EYU9WRAM

宛先: 端末エンド・ユーザー。

**EYUWR0104E E FUNCTION *fname* で CPSM が予
期しないエラーを報告しています。
(CPSM Reports an unexpected error
on FUNCTION *fname*.)**

説明: 指定された EYU9WRAM 関数は、予期しないエ
ラーを検出しました。ここで、*fname* は EYUWRnnnn
messages に記載されています。

システムの処置: EYU9WRAM プログラムを使用して
いたトランザクションは経路指定されません。ユーザ
ー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セ
ットに書き込まれます。

ユーザーの処置: サイトのワークロード管理および
EYU9WRAM プログラムの担当者に問題を報告してく
ださい。

モジュール: EYU9WRAM

宛先: 端末エンド・ユーザー。

**EYUWR0201W W SM_ROUTE 選択済み AOR
(*typeid*) への CICS リンクが使用できま
せん。(The CICS link to the
SM_ROUTE selected AOR (*typeid*) is
not available.)**

説明: EYU9WRAM プログラムの SM_ROUTE 関数
が、選択された AOR がルーティングに使用できないと
判別しました。ここで、*typeid* は、使用できない AOR
を、AOR の以下のものとして示します。

APPLID applid

8 文字のアプリケーション ID (使用できる場
合)。

SYSID sysid

4 文字のシステム ID (APPLID が使用できな
い場合)。

システムの処置: EYU9WRAM プログラムを使用して
いたトランザクションは経路指定されません。

ユーザーの処置: サイトのワークロード管理および
EYU9WRAM プログラムの担当者に問題を報告してく
ださい。CICSplex SM に同梱されるサンプル
EYU9WRAM プログラムは SM_ROUTE 関数を使用し
ないことに注意してください。

モジュール: EYU9WRAM

宛先: 端末エンド・ユーザー。

**EYUWR0301W W 初期親和性トランザクションが、
reason のため、ルーティングできませ
ん。(The initial affinity transaction can
not be routed because *reason*.)**

説明: EYU9WRAM プログラムの SM_SCOPE 関数
は、AOR への親和性が必要だが、作成できないと判別
しました。ここで、*reason* は、親和性が作成できなかつ
た理由を以下のいずれかとして示します。

必要な CICSplex SM サービスが使用できません。

TOR が接続されている CMAS がアクティブ
でないか、TOR が使用しているワークロード
が凍結されています。最初のケースでは、
WLMAWTOR ビューで「接続切断
(Connection Lost)」フィールドに YES の値が
表示されます。2 つ目のケースでは、
WLMAWORK ビューに FROZEN の状況が表示
されます。

使用可能なシステムがありません。

ルーティングで使用可能な AOR がありませ
ん。WLMAWAOR ビューに、ワークロードの
一部として定義されている AOR の状況が表示
されます。

システムの処置: EYU9WRAM プログラムを使用して
いたトランザクションは経路指定されません。

ユーザーの処置: サイトのワークロード管理および
EYU9WRAM プログラムの担当者に問題を報告してく
ださい。

モジュール: EYU9WRAM

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUWR0401W W 警告テキスト

説明: EYU9WRAM プログラムの SM_BALANCE 関
数が警告応答を返しました。ここで、

警告テキスト

問題を以下のいずれかとして示します。

トランザクション・ルーティングで使用可能な
AOR がありません。

SM_BALANCE は、選択のために提

示されたどの AOR もルーティングで使用できないと判断しました。

必要な親和性 **AOR (typeid)** がアクティブではありません。

SM_BALANCE は、指定された AOR で親和性を識別しました。そして、ルーティング用にその AOR を選択する必要があります。しかし、AOR がアクティブでないため、選択できません。

親和性 **AOR (typeid)** への **CICS** リンクが使用できません。

SM_BALANCE は、指定された AOR で親和性を識別しました。そして、ルーティング用にその AOR を選択する必要があります。しかし、AOR への **CICS** リンクが使用できません。

必要な **CICSplex SM** サービスが使用できないため、親和性トランザクションがルーティングできません。

SM_BALANCE は、提示されている AOR のいずれかを使用して親和性を作成する必要がありますが、必要な **CICSplex SM** サービスが使用できません。

typeid 親和性 AOR を、AOR の以下のもの以示します。

APPLID applid

8 文字のアプリケーション ID (使用できる場合)。

SYSID sysid

4 文字のシステム ID (APPLID が使用できない場合)。

システムの処置: EYU9WRAM プログラムを使用していたトランザクションは経路指定されません。

ユーザーの処置: サイトのワークロード管理および EYU9WRAM プログラムの担当者に問題を報告してください。

モジュール: EYU9WRAM

宛先: 端末エンド・ユーザー。

typeid AOR を、AOR の以下のもの以示します。

APPLID applid

8 文字のアプリケーション ID (使用できる場合)。

SYSID sysid

4 文字のシステム ID (APPLID が使用できない場合)。

reason 理由を以下のいずれかとして示します。

AOR が静止されている

AOR が静止されています。その AOR に新しい親和性を作成できません。

AOR が無視とマークされている

EYU9WRAM プログラムは、以前に AOR が **CICSplex SM** で無視されるようにマークしました。

トランザクション・グループが休止中であるトランザクションのトランザクション・グループが休止状態です。

AOR がダウンしている

AOR がアクティブではありません。

ワークロードがアクティブではない

親和性の作成呼び出しは、「システム」または「永続型」の存続期間の親和性向けでしたが、そのワークロードはアクティブであるとみなされていません。

システムの処置: EYU9WRAM プログラムを使用していたトランザクションは経路指定されません。

ユーザーの処置: サイトのワークロード管理および EYU9WRAM プログラムの担当者に問題を報告してください。

モジュール: EYU9WRAM

宛先: 端末エンド・ユーザー。

EYUWR0501W W AOR (typeid) への親和性は、*reason* ため、作成できませんでした。
(Affinity to AOR (typeid) was not created because the reason.)

説明: EYU9WRAM プログラムの SM_CREAFF 関数が警告応答を返しました。ここで、

EYUWTnnnn メッセージ

EYUWT0050I I *date time applid* **WLM** の終了を開始しました。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUWT0051I I *date time applid* ワークロード・マネージャー・タスクの終了が完了しました。

説明: ワークロード・マネージャー (WLM) 長期実行タスクが終了しました。

システムの処置: WLM 終了は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0WMGR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUWT0052I I *date time applid* **WLM** の終了が完了しました。

説明: ワークロード・マネージャー (WLM) コンポーネントが終了しました。WLM は作業に使用できなくなりました。

システムの処置: CMAS の終了が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0WTRM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUWT0053W W *date time applid* **CMAS** に少なくとも 1 つの {ルーティング | ターゲット} 領域が接続しているため、**CICSplex** (*plexname*) の **CMAS** 終了時にワークロード仕様を削除できません。

説明: CICSplex に対してワークロードがインストールされている CMAS のワークロード・マネージャー (WLM) 長期実行タスクの終了中、ワークロード・マネージャーは、CICSplex と関連付けられている少なくとも 1 つのワークロードの少なくとも 1 つのルーティング領域またはターゲット領域が CMAS に引き続き接続されているため、CICSplex のワークロードを削除できないと判別しました。ここで、

plexname

ワークロードが関連付けられている CICSplex の名前です。

regiontype

次のいずれかです。

ルーティング

または

ターゲット

システムの処置: メッセージ EYUWT0053W の発行後、メッセージ EYUWT0054I が発行され、CMAS に引き続き接続されていると判別される最初に接続されたルーティング領域またはターゲット領域を示します。その後、CMAS 終了は、CICSplex のワークロードを終了することなく続行します。WLM

ユーザーの処置: CMAS がそのインストールされたワークロードを削除せずに終了したため、他の CMAS でワークロードをインストールする際に問題が発生し、メッセージおよびプロンプト EYUWI0086I の発行、PTF UK62967 が適用される場合は、メッセージ EYUWI0090I の発行が行われる場合があります。

これを回避するには、終了した CMAS を再始動して CMAS ネットワークに接続してから、終了した CMAS にインストールされていたワークロードのインストールをネットワーク内の他の CMAS で試行する必要があります。

CMAS が終了時に CICSplex のインストールされているワークロードを確実にすべて削除するには、CMAS 終了の開始前に、CICSplex に関連付けられているワークロードのルーティング領域またはターゲット領域である、CMAS に接続されているすべての MAS を終了させるようにします。

モジュール: EYU0WTRM

EYUWT0054I I • EYUWT0061E E

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *plexname*

5. 以下のオプションから選択される値:

1=ルーティング、
2=ターゲット

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWT0054I I *date time applid* **MAS** *masname* は **CMAS** に **CICSplex** (*plexname*) のワークロード (*workload*) 内の {ルーティング | ターゲット} 領域として接続しました。

説明: ワークロードがインストールされている **CMAS** のワークロード・マネージャー (WLM) 長期実行タスクの終了中、ワークロード・マネージャーは、**CICSplex** と関連付けられているワークロード内のルーティング領域またはターゲット領域として少なくとも 1 つの **MAS** が **CMAS** に引き続き接続されているため、**CICSplex** のワークロードを削除できないと判別しました。ここで、

masname

最初に接続された **MAS** の名前です。

regiontype

次のいずれかです。

ルーティング

または

ターゲット

そして、

plexname

システムの処置: このメッセージは、メッセージ **EYUWI0053W** が発行された後に発行され、ルーティング領域またはターゲット領域を示します。その後、**CMAS** 終了は、**CICSplex** のワークロードを削除することなく続行します。WLM

ユーザーの処置: これは通知メッセージです。ユーザー処置については、メッセージ **EYUWT0053W** に関する資料を参照してください。

モジュール: **EYU0WTRM**

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *masname*

5. 以下のオプションから選択される値:

1=ルーティング、
2=ターゲット

6. *workload*

7. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWT0060E E *date time applid* **WLM** の終了に失敗しました。

説明: ワークロード・マネージャー (WLM) コンポーネントを終了する際に、1 つ以上のエラーが発生しました。WLM は作業に使用できなくなりました。

システムの処置: **CMAS** の終了が続行されます。ユーザー・トレース・レコードが **CICS** トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードと関連メッセージを調べて、問題の原因を判別してください。

モジュール: **EYU0WTRM**

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUWT0061E E *date time applid* コンテキスト (*plexname*) 有効範囲 (*sysname*) の **WLM** トポロジー・リソース除去に失敗しました。

説明: 終了時、ワークロード・マネージャー (WLM) が、指定されたコンテキストおよびスコープの 1 つ以上の未解決リソースを解放できませんでした。WLM は作業に使用できなくなりました。

システムの処置: **CMAS** の終了が続行されます。ユーザー・トレース・レコードが **CICS** トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードと関連メッセージを調べて、問題の原因を判別してください。

モジュール: **EYU0WPUD**

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *plexname*
5. *sysname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXCnnnn メッセージ

EYUXC0001I I *date time applid* データ・キャッシュの初期化が完了しました。

説明: データ・キャッシュ・マネージャー・コンポーネントが正常に初期設定されました。

システムの処置: CICSplex SM は他のコンポーネントの初期化を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0UCIN、EYU0XCIN、EYU3XCIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUXC0002E E *date time applid* データ・キャッシュの初期化に失敗しました。

説明: データ・キャッシュ・マネージャー・コンポーネントを初期設定できませんでした。

システムの処置: CICSplex SM を異常終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードと、このメッセージより前に発行されたメッセージを調べて、問題の原因を判別してください。

モジュール: EYU0UCIN、EYU0XCIN、EYU3XCIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXC0003S S *date time applid* データ・キャッシュ管理制御域のためのストレージを取得できません。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXC0004E E *date time applid* 制御ブロック *name* のためのストレージを取得できません。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *name*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXC0005S S *date time applid* **MOEB** 制御ブロックを登録できません。

説明: データ・キャッシュ・マネージャーの初期設定プロセスが、その主オブジェクト環境ブロック (MOEB) 制御ブロックをカーネル・リンケージ・コンポーネントに登録できませんでした。

システムの処置: CICSplex SM を異常終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0UCIN、EYU0XCIN、EYU3XCIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXC0006S S *date time applid* データ・キャッシュ管理データ・スペースを作成できません。

**DSPSERV RC=respcode、
REAS=reasoncode。**

説明: データ・キャッシュ・マネージャーの初期設定プロセスが、その制御データ・スペースを作成する DSPSERV 要求を行い、その要求は失敗しました (CMAS のみ)。

システムの処置: CICSplex SM を異常終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの説明は、z/OS MVS プログラミング・ライブラリー: アセンブラー・サービス解説書 を参照してください。その情報を使用して問題を解決できない場合、例外トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XCIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *respcode*
5. *reasoncode*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXC0007S S *date time applid* データ・キャッシュ管理データ・スペースへのアクセス権限を設定できません。**ALESERV**

RC=respcode、REAS=reasoncode。

説明: データ・キャッシュ・マネージャーの初期設定プロセスが、その制御データ・スペースにアクセスする ALESERV 要求を行い、その要求は失敗しました (CMAS のみ)。

システムの処置: CICSplex SM を異常終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの説明は、z/OS MVS プログラミング・ライブラリー: アセンブラー・サービス解説書 を参照してください。その情報を使用して問題を解決できない場合、例外トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XCIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *respcode*
5. *reasoncode*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXC0008W W *date time applid* 最大集合キャッシュ限界に達しました。

説明: キャッシュを作成する要求が受信されましたが、CICSplex SM で許可されている最大数のキャッシュが既に存在します。

システムの処置: データ・キャッシュ・マネージャーは要求を実行できません。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XCCC、EYU0UCCC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXC0009W W *date time applid* 最大集合データ・キャッシュ限界に達しました。

説明: キャッシュを作成または拡張する要求が受信されましたが、CICSplex SM で許可されている最大数のデータ・キャッシュ領域が既に存在します (RMAS のみ)。

システムの処置: データ・キャッシュ・マネージャーは要求を実行できません。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール:

EYU0XCCC、EYU0XCEC、EYU0UCCC、EYU0UCEC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXC0010E E *date time applid* データ・スペース
dspace を作成できません。**DSPSERV**
RC=respcode、**REAS=reasoncode**。

説明: データ・キャッシュ・マネージャーがデータ・スペースを作成する **DSPSERV** 要求を行い、その要求は失敗しました (CMAS のみ)。ここで、

dspace

作成されるデータ・スペースの名前です。以下の形式になります。

cccnssss

ここで、

ccc

内部 CICSplex SM コンポーネントの省略形 (データ・リポジトリ・コンポーネントの場合は DAT など)

n

数値 ID。関連付けられたキャッシュのデータ・スペース番号を示します (最初のデータ・スペースは番号 1, 2 番目は番号 2、など)

ssss

CICSplex SM が実行されている CICS システムの CICS システム ID (SYSIDNT)

システムの処置: データ・キャッシュ・マネージャーは要求を実行できません。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの説明は、z/OS MVS プログラミング・ライブラリー: アセンブラー・サービス解説書 を参照してください。その情報を使用して問題を解決できない場合、例外トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XCCC、EYU0XCEC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dspace*
5. *respcode*
6. *reasoncode*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXC0011E E *date time applid* データ・スペース
dspace へのアクセス権限を設定できません。**ALESERV RC=respcode**、**REAS=reasoncode**。

説明: データ・キャッシュ・マネージャーがデータ・スペースへのアクセス権限を設定する **ALESERV** 要求を行い、その要求は失敗しました (CMAS のみ)。ここで、

dspace

アクセスされるデータ・スペースの名前です。以下の形式になります。

cccnssss

ここで、

ccc

内部 CICSplex SM コンポーネントの省略形 (データ・リポジトリ・コンポーネントの場合は DAT など)

n

数値 ID。関連付けられたキャッシュのデータ・スペース番号を示します (最初のデータ・スペースは番号 1, 2 番目は番号 2、など)

ssss

CICSplex SM が実行されている CICS システムの CICS システム ID (SYSIDNT)

システムの処置: データ・キャッシュ・マネージャーは要求を実行できません。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの説明は、z/OS MVS プログラミング・ライブラリー: アセンブラー・サービス解説書 を参照してください。その情報を使用して問題を解決できない場合、例外トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XCCC、EYU0XCEC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dspace*
5. *respcode*
6. *reasoncode*

EYUXC0012E E • EYUXC0014W W

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXC0012E E *date time applid* データ・スペース *dspace* を拡張できません。 **DSPSERV**
RC=respcode、**REAS=reasoncode**。

説明: データ・キャッシュ・マネージャーがデータ・スペースを拡張する DSPSERV 要求を行い、その要求は失敗しました (CMAS のみ)。ここで、

name

拡張されるデータ・スペースの名前です。以下の形式になります。

cccnssss

ここで、

ccc

内部 CICSplex SM コンポーネント名の省略形 (データ・リポジトリ・コンポーネントの場合は DAT など)

n

数値 ID。関連付けられたキャッシュのデータ・スペース番号を示します (最初のデータ・スペースは番号 1、2 番目は番号 2、など)

ssss

CICSplex SM が実行されている CICS システムの CICS システム ID (SYSIDNT)

システムの処置: データ・キャッシュ・マネージャーは要求を実行できません。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの説明は、z/OS MVS プログラミング・ライブラリー: アセンブラー・サービス解説書を参照してください。その情報を使用して問題を解決できない場合、例外トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XCEC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dspace*
5. *respcode*
6. *reasoncode*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXC0013S S *date time applid* データ・キャッシュ管理データ・スペースに関する情報を取得できません。

説明: データ・キャッシュ・マネージャーの初期設定プロセスが、既存のデータ・キャッシュ・マネージャー管理データ・スペースに関する情報を取得できませんでした (CMAS のみ)。

システムの処置: CICSplex SM を異常終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XCEC、EYU0XCIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXC0014W W *date time applid* キャッシュ *compid* の最大データ・キャッシュ限界に達しました。

説明: データ・キャッシュ・マネージャーが、既存のキャッシュを拡張できませんでした。これは、別のデータ・キャッシュ領域の作成が必要でしたが、そのキャッシュが既に CICSplex SM で定義された最大に達したためです (RMAS のみ)。

システムの処置: データ・キャッシュ・マネージャーは要求を実行できません。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XCEC、EYU0UCEC

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *compid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXC0015S S *date time applid* データ・キャッシュ
管理データ・スペースを拡張できません。
DSPSERV RC=respcode、
REAS=reasoncode。

説明: データ・キャッシュ・マネージャーがその管理データ・スペース内の場所を使い切りましたが、データ・スペースを拡張するために行った DSPSERV 要求は失敗しました (CMAS のみ)。

システムの処置: データ・キャッシュ・マネージャーは要求を実行できません。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの説明は、z/OS MVS プログラミング・ライブラリー: アセンブラー・サービス解説書 を参照してください。その情報を使用して問題を解決できない場合、例外トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XCED

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *respcode*
5. *reasoncode*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXC0016S S *date time applid* データ・キャッシュ
管理データ・キャッシュの最大スペース割
り振りに達しました。

説明: データ・キャッシュ・マネージャーがその管理データ・スペース内の場所を使い切りましたが、データ・キャッシュはその CICSplex SM で定義された最大まで既に割り振られています (CMAS のみ)。

システムの処置: データ・キャッシュ・マネージャーは要求を実行できません。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XCED

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXC0017E E *date time applid* データ・スペース
dspace にあるリソースを解放できませ
ん。**DSPSERV RC=respcode**、
REAS=reasoncode。

説明: データ・キャッシュ・マネージャーが、不要なデータ・スペース・リソースの DSPSERV RELEASE 要求を行い、その要求は失敗しました (CMAS のみ)。

システムの処置: データ・キャッシュ・マネージャーは障害を無視します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの説明は、z/OS MVS プログラミング・ライブラリー: アセンブラー・サービス解説書 を参照してください。その情報を使用して問題を解決できない場合、例外トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XCBR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dspace*
5. *respcode*
6. *reasoncode*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXC0018E E *date time applid* メジャー・オブジェ
クト・キャッシュのためのストレージを取
得できません。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXC0019S S *date time applid* データ・キャッシュ管理制御域のための追加ストレージを取得できません。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXC0020E E *date time applid* キャッシュ要求が *compid* キャッシュの拡張サイズを超えています。

説明: 要求のサイズがデータ・キャッシュ領域のサイズを超過していたため、データ・キャッシュ・マネージャーはブロック割り振り要求を満たすことができませんでした。

compid

ブロック割り振りを要求したコンポーネントの省略形です (例えば、データ・リポジトリの場合は DAT)。

システムの処置: データ・キャッシュ・マネージャーは要求を実行できません。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0UCBA、EYU0XCBA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *compid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXC0021S S *date time applid {CPSM | 合計}* 補助ストレージ限界に達しました。

説明: データ・キャッシュ・マネージャーは、現在の要求により、CICSplex SM がこの CMAS または MVS

イメージの補助ストレージ使用制限を超えることになると判別しました。

このメッセージは通常、例外状態が原因による 1 つ以上のキャッシュ・データ・スペースの異常増加の結果として発行されます。CMAS が再始動されると、キャッシュ・コンポーネントは再初期化され、多少過剰なキャッシュ・ストレージが解放されます。このメッセージの発行後に CMAS が繰り返し終了する場合は、CMAS の通常のストレージ要件をサポートするために使用できる補助ストレージが不十分である可能性があります。その場合、外部ページ・データ・セットを追加または拡張して、追加の補助ストレージを提供することが必要です。ここで、

type

超過となる制限を示します。値は以下です。

CPSM

1 つの CMAS にコミットできる補助ストレージ・スロットの最大パーセント。

合計

使用できる補助ストレージ・スロットの最大パーセント。

システムの処置: メッセージ EYUXC0024S が発行され、SDUMP が取得されて CMAS が終了します。障害前に CMAS 初期設定が完了した場合は、その CMAS の ARMRESTART の実行が試行されます。

ユーザーの処置: CMAS が初期設定中に失敗した場合は、MAXAUXCPSM パラメーターと MAXAUXTOTL パラメーターのいずれかまたは両方を増やして、CMAS を再始動してください。障害前に CMAS 初期設定が完了した場合は、CMAS ジョブ出力とこのエラーに対する応答として作成された SDUMP を収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XCCL

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=CPSM、
2=合計

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXC0022S S *date time applid* 最大集合データ・キャッシュ限界に達しました。

説明: キャッシュを作成または拡張する要求が受信されましたが、CICSplex SM で許可されている最大数のデータ・キャッシュ領域が既に存在します (CMAS のみ)。

システムの処置: メッセージ EYUXC0024S が発行され、SDUMP が取得されて CMAS が終了します。障害前に CMAS 初期設定が完了した場合は、その CMAS の ARMRESTART の実行が試行されます。

ユーザーの処置: CMAS ジョブ出力とこのエラーに対する応答として作成された SDUMP を収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XCCL

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXC0023S S *date time applid* キャッシュ *compid* の最大データ・キャッシュ限界に達しました。

説明: データ・キャッシュ・マネージャーが、既存のキャッシュを拡張できませんでした。これは、別のデータ・キャッシュ領域の作成が必要でしたが、そのキャッシュが既に CICSplex SM で定義された最大に達したためです (CMAS のみ)。ここで、

compid

キャッシュを拡張しようとしたコンポーネントの省略形です (例えば、データ・リポジトリの場合は DAT)。

システムの処置: メッセージ EYUXC0024S が発行され、SDUMP が取得されて CMAS が終了します。障害前に CMAS 初期設定が完了した場合は、その CMAS の ARMRESTART の実行が試行されます。

ユーザーの処置: CMAS ジョブ出力とこのエラーに対する応答として作成された SDUMP を収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XCCL

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

4. *compid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXC0024S S *date time applid* キャッシュ・コンポーネントでの前のエラーのために **CMAS** を終了します。

説明: このメッセージは、メッセージ EYUXC0021S、EYUXC0022S、および EYUXC0023S の後に表示されます。必要なユーザー応答については、前のメッセージを参照してください。

システムの処置: SDUMP が取得されて CMAS が終了します。障害前に CMAS 初期設定が完了した場合は、その CMAS の ARMRESTART の実行が試行されます。

ユーザーの処置: 前のメッセージ EYUXC0021S、EYUXC0022S、または EYUXC0023S に示されている処置を実行してください。

モジュール: EYU0XCCL

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXC0025E E *date time applid CICSplex plexname* 内の *masname* に割り当てられた **MAS** データ・キャッシュ・ストレージ域のリカバリーが失敗しました。(**Recovery failed for MAS data cache storage area allocated for *masname* in CICSplex *plexname*.**)

説明: MAS *masname*、CICSplex *plexname* の MAS データ・キャッシュに割り振られた MAS CPSM TRUE ストレージ域を解放しようとしたときに、CMAS または MAS がエラーを検出しました。この領域は、MAS の前のインスタンスに割り振られて使用されていましたが、MAS のインスタンスまたはその MAS が接続された CMAS が正常終了を行わずに終了したため、解放されませんでした。

システムの処置: 例外トレースとこのメッセージが発行され、処理が続行されます。

ユーザーの処置: MAS およびその MAS に接続されている CMAS の完全なジョブ出力と AUXTRACE データ・セットを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XCWF

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *masname*
5. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXC0026S S *date time applid* **EYUPARM**
CACHEDSNUM(*parmval*) の **CMAS**
 ウォーム再始動が、以前の値 (*prevval*) と
 競合しています。**CMAS** を終了していま
 す。

説明: CMAS の再始動時に共用データ・スペースが存在していたので、CMAS は CPSM ウォーム・スタートを実行しました。CACHEDSNUM EYUPARM 値が、以前の値と等しくなければなりません。

システムの処置: CMAS は異常終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

その後、メッセージ EYUXL0112E が発行されます。

ユーザーの処置: 新しい CACHEDSNUM EYUPARM 値が必須でない場合は、CACHEDSNUM EYUPARM を以前の値に設定して、CMAS を正常に再始動できます。

新しい CACHEDSNUM EYUPARM 値が必須の場合は、CMAS は CPSM コールド・スタートを行う必要があります。つまり CMAS と、直接接続しているすべての MASes、さらにバッチ API プログラムを同時に終了して、専用データ・スペースと共用データ・スペースを両方とも終了できるようにする必要があります。そうすれば、CMAS を再始動できます。

問題が解決しない場合は、例外トレース・レコードと完全な CMAS ジョブ出力を収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XCIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *parmval*
5. *prevval*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXC0027I I *date time applid* データ・キャッシュ
 の初期設定が *start_type* で実行されま
 す。(date time applid **Data Cache**
initialization will be performed
start_type.)

説明: これは、CPSM CMAS ウォーム・スタートかコールド・スタートのどちらが実行されるかを示します。

CMAS の起動時に、前回 CMAS がアクティブだった時に使用したデータ・スペースが存在しない場合は、起動は CPSM CMAS コールド・スタートです。そのようなデータ・スペースが存在する場合は、CPSM CMAS ウォーム・スタートです。

CPSM コールド・スタートまたはウォーム・スタートを意図的に指定する方法はないことに注意してください。CICS システム初期設定パラメーター START は、CMAS の再始動が CPSM CMAS コールド・スタートとウォーム・スタートのいずれであるかを判別するのに影響しません。

CPSM CMAS 再始動の詳細については、「CICSplex SM の管理」のCMAS の再始動の管理を参照してください。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU0XCIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *start_type*

宛先: COLG

EYUXC0101I I *date time applid* データ・キャッシュ
 の終了が完了しました。

説明: データ・キャッシュ・マネージャー・コンポーネントが終了しました。

システムの処置: CICSplex SM のシャットダウンは続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0UCTM、EYU3XCTM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUXDnnnn メッセージ

EYUXD0001I I *date time applid* データ・リポジトリの初期化が完了しました。

説明: データ・リポジトリ・コンポーネントが正常に初期設定されました。

システムの処置: CMAS初期化は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0XDIN、EYU3XDIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUXD0002I I *date time applid* {追加 | 削除 | 総称削除 | 内部削除 | 更新} **CONTEXT** *plexname*) **MAJOR_ID** (*deftype*) **MAJOR_NAME** (*defname*) **MAJOR_VER** (*defver*) **MINOR_ID** (*deftype*) **MINOR_NAME** (*defname*) **MINOR_VER** (*defver*) ユーザー (*userid*) システム (*sysname*).

説明: データ・リポジトリに対して変更が行われました。このメッセージは、変更の記録として使用されています。ここで、

action

行われた変更のタイプです。

ADD、UPDATE、DELETE、GENERIC DELETE、INTERNAL DELETE のいずれかになります。

総称削除は、1 つの定義の複数インスタンスに影響する総称名を使用したものです (+ または * の文字を含みます)。内部削除は、データ・リポジトリの参照整合性を維持するために、別の削除の結果として行われたものです。

plexname

変更の影響を受けた CICSplex の名前。

deftype

変更された定義のタイプ。これは、CPLXCMAS や MONDEF などの管理定義に相当します。

defname

変更された定義の名前。

defver

変更された定義のバージョン。MAJOR_ID が APPLDEF または APPLCTN と一致すると、*defver* 値はそのレコードのフィールド MAJORVERSION、MINORVERSION、および MICROVERSION から派生します。*defver* 値の形式は、*majorversion.minorversion.microversion* です。この値は、レコード内の特定のフィールドを表し、データ・リポジトリのレコード・キー構造でないことに注意してください。

userid

変更を行ったユーザーの ID。

sysname

変更が行われた CICS システムの名前。

dddy

変更が行われた日付 (ユリウス形式)。

hh.mm.ss

変更が行われた時刻。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: このメッセージにユーザーが行った変更が正確に反映されている場合、処置は必要ありません。ただし、このメッセージに無効とみなされる情報が含まれている場合は、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XDCR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=追加、
2=削除、
3=総称削除、
4=内部削除、
5=更新

5. *plexname*
6. *deftype*
7. *defname*
8. *defver*
9. *deftype*

EYUXD0003I I • EYUXD0007I I

10. *defname*
11. *defver*
12. *userid*
13. *sysname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0003I I *date time applid* データ・リポジトリの終了が完了しました。

説明: データ・リポジトリ・コンポーネントが終了しました。

システムの処置: CMAS の終了が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0XD TM、EYU3XD TM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUXD0004I I *date time applid CMAS (cmasid)* からの **PLEX** (*plexname*) のインポートが正常に行われました。

説明: CMAS を CICSplex の管理に追加する要求が出されました。ここで、

plexname

インポートされる CICSplex の名前を示します。

cmasid

CICSplex 情報のインポート元の保守ポイント CMAS を示します。

システムの処置: このメッセージは、追加されていた CMAS の EYULOG に書き込まれます。指定された CICSplex を管理するために必要な定義が、データ・リポジトリに追加され、CMAS は CICSplex の管理に参加できるようになりました。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

モジュール: EYU0XDIP

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *plexname*

5. *cmasid*

宛先: COLG

EYUXD0005I I *date time applid* 管理対象オブジェクト・サービスの初期化を開始しました。

説明: データ・リポジトリ・コンポーネントの管理対象オブジェクト・サービス・サブコンポーネントが初期設定されています。

システムの処置: 管理対象オブジェクト・サービスの初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0XDIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUXD0006I I *date time applid* 管理対象オブジェクト・サービスの初期化が完了しました。

説明: データ・リポジトリ・コンポーネントの管理対象オブジェクト・サービス・サブコンポーネントが正常に初期設定されました。

システムの処置: CMAS初期化は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0XD MI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUXD0007I I *date time applid* 管理対象オブジェクト・サービスの終了が要求されました。

説明: データ・リポジトリ・コンポーネントの管理対象オブジェクト・サービス・サブコンポーネントを終了しています。

システムの処置: 管理対象オブジェクト・サービスの終了が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0XD MT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUXD0008I I *date time applid* 管理対象オブジェクト・サービスの終了が完了しました。

説明: データ・リポジトリ・コンポーネントの管理対象オブジェクト・サービス・サブコンポーネントが終了しました。

システムの処置: CMAS の終了が続行されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU0XDMT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUXD0009E E *date time applid CMAS cmasid* のリポジトリで入出力エラーが発生しました。オフライン保守が必要です。**CMAS** は終了します。

説明: リポジトリ内で入出力エラーが発生しました。

システムの処置: CMAS は終了します。

ユーザーの処置: バックアップからリポジトリをリストアしてください。

モジュール: EYU0XDKL

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cmasid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0010E E *date time applid CPSM* バージョン *nnnn* がリポジトリ・バージョン *yyyy* に一致しません。**CMAS** は終了します。

説明: バージョン *nnnn* の CMAS の初期設定中に、CICSplex SM バージョン *yyyy* のデータ・リポジトリを検出しました。

システムの処置: CMAS の初期設定は終了します。

ユーザーの処置: 正しいデータ・リポジトリ

(EYUDREP) を CMAS で使用するようになっています。CMAS が新しいバージョンの CICSplex SM に移行されている場合は、EYU9XDUT を使用してデータ・リポジトリが適切な TARGETVER に変換されていることを確認してください。EYU9XDUT について詳しくは、CICSplex SM セットアップのマニュアルを参照してください。

モジュール: EYU0XDIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nnnn*
5. *yyyy*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0011S S *date time applid* データ・リポジトリがいっぱいになっています。これ以後の変更はすべて失敗します。リポジトリを拡張する必要があります。

説明: データ・リポジトリを更新しようとしたのですが、NOSPACE 状態のため失敗しました。

システムの処置: CMAS は実行を続けますが、データ・リポジトリの更新を開始したプロセスは終了します。

ユーザーの処置: データ・リポジトリを正常に更新するには、CMAS を停止し、データ・リポジトリを再編成するか拡張してください。

モジュール: EYU0XDAI, EYU0XDCA, EYU0XDRC, EYU0XDIP, EYU0XDRS, EYU0XDUI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0012E E *date time applid CICSplex (plexname)* の特別リポジトリ・リカバリを実行中にエラーが発生しました。特別リカバリ処理は *type* です。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

EYUXD0013E E • EYUXD0016W W

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *plexname*
5. *type*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0013E E *date time applid CMAS cmasname*
のリポジトリをリカバリー不能からリカバリー可能に変換中にエラーが発生しました。**CMAS**は終了します。

説明: CICSplex の追加または除去の処理時、リポジトリの状況をリカバリー不能からリカバリー可能に変更中にエラーが発生しました。ここで、

cmasname

CMAS の名前です。

システムの処置: CMAS を終了します。

ユーザーの処置: CMAS ジョブ出力と AUXTRACE データ・セットを収集してから、CMAS を再始動してみてください。CMAS は COLD スタートで再始動してください。障害が解決しない場合は、IBM サポートに連絡して、ジョブ出力およびトレース・データ・セットを提供してください。

モジュール: EYU0XDIP、EYU0XDDP

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cmasname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0014I I *date time applid* 特別リポジトリ・リカバリー処理を開始しました。

説明: EYUDREP ファイル内のレコードにエラーがないか調べてそれらのエラーを自動的に訂正する、特別リポジトリ・リカバリー処理が開始されました。

システムの処置: EYUDREP のレコードがエラーであることが検出された場合、これらは自動的に訂正されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU0XDRR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0015I I *date time applid* 特別リポジトリ・リカバリー処理を終了しました。

説明: EYUDREP ファイル内のレコードにエラーがないか調べてそれらのエラーを自動的に訂正する処理が終了しました。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU0XDRR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0016W W *date time applid* ファイル **EYUDREPN** の **CSD** 定義がないか、またはインストールされていません。**CMAS**初期化は続行されます。

説明: CMAS の初期設定中、データ・リポジトリの初期化で、データ・リポジトリ・ファイル **EYUDREPN** の代替ファイル定義がインストールされていないことが検出されました。

システムの処置: CMAS 初期設定は、**EYUDREPN** ファイル定義を使用せずに続行されます。

これは、CICSplex の追加および除去の処理のパフォーマンスに悪影響を与えます。

ユーザーの処置: IBM 提供の CMAS CSD グループ **EYU310 G0** が CMAS にインストールされていることを確認してください。

モジュール: EYU0XDIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0017E E *date time applid CICSplex (cicsplex)*
 のデータ・リポジトリ・レコードが壊れている可能性があります。**Maintenance Point CMAS (cmasname)** との再同期が必要です。

説明: この CMAS が、CICSplex の保守ポイント CMAS からシッパされた CICSplex のデータ・リポジトリ更新を処理中に、リカバリー不能エラーが発生しました。ここで、

cicsplex

CICSplex の名前です。

cmasname

保守ポイント CMAS の名前です。

システムの処置: このエラーは内部的に記録され、ダンプが取られて、CMAS の実行は続行します。ただし、この CICSplex のこの CMAS のリポジトリに対してこれ以上の更新は処理されません。

ユーザーの処置: この CMAS に接続されているすべての MAS を終了してから、CMAS を再始動する必要があります。これにより、この CMAS が保守ポイント CMAS とのリポジトリ同期を実行することになります。この CICSplex のこの CMAS のリポジトリが破損していることがシステムで指摘されていたため、CICSplex がこの CMAS のリポジトリから除去され、その後、リポジトリ同期プロセスの一部としてそのリポジトリに再追加されます。

モジュール: EYU0XDRS

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cicsplex*
5. *cmasname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0018I I *date time applid 拡張 MOS* 初期化が進行中です。

説明: CMAS 初期設定の拡張 MOS 初期設定フェーズが開始されました。

システムの処置: CMAS初期化は続行されます。

ユーザーの処置: 処置は不要です。これは通知専用のメッセージです。

モジュール: EYU0MOIT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUXD0019I I *date time applid 拡張 MOS* 初期化が完了しました。

説明: CMAS 初期設定の拡張 MOS 初期設定フェーズが正常に完了しました。

システムの処置: CMAS初期化は続行されます。

ユーザーの処置: 処置は不要です。これは通知専用のメッセージです。

モジュール: EYU0MOIT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUXD0020E E *date time applid 拡張 MOS* 初期化に失敗しました。

説明: CMAS 初期設定の拡張 MOS 初期設定フェーズ中に障害が発生しました。

システムの処置: システムは終了します。

ユーザーの処置: ジョブ・ログを調べて、障害の理由を示している可能性がある、以前に発行されたメッセージがないか確認してください。生成されたダンプやトレースも調べてください。障害の理由が見つからない場合は、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0MOIT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0021I I *date time applid 拡張 MOS* 終了が進行中です。

説明: CMAS 終了の拡張 MOS 終了フェーズが開始されました。

システムの処置: CMAS の終了が続行されます。

ユーザーの処置: 処置は不要です。これは通知専用のメッセージです。

EYUXD0022I I • EYUXD0026E E

モジュール: EYU0MOIT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUXD0022I I *date time applid* 拡張 **MOS** 終了が完了しました。

説明: CMAS 終了の拡張 MOS 終了フェーズが正常に完了しました。

システムの処置: CMAS の終了が続行されます。

ユーザーの処置: 処置は不要です。これは通知専用のメッセージです。

モジュール: EYU0MOIT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUXD0023E E *date time applid* 拡張 **MOS** 終了に失敗しました。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0024I I *date time applid* フィールド *field* 値 *value* が変更ストリングから削除されました。

説明: 変更ストリングに、ターゲット・エンドで存在しないフィールドが含まれています。このメッセージは、CICSplex SM API またはバッチ処理されるリポジトリ更新機能によって発行されます。このメッセージは、さまざまなレベルの CICSplex SM にある複数の CMAS に 1 つのリソース割り当てがインストールされていて、変更されるフィールドが CICSplex SM の下位

レベルで認識されていない場合に発生する可能性があります。

システムの処置: 変更ストリングは、このリリースでは認識されないフィールドを除去してインストールされます。

ユーザーの処置: 入力ストリングのエラーを訂正してください。

モジュール: EYU0MOSS

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *field*
5. *value*

宛先: COLG

EYUXD0025E E *date time applid* フィールド *fielda* には **MAL** *mal* のフィールド *fieldb* が必要です。

説明: このメッセージは、CICSplex SM のバッチ処理されるリポジトリ更新機能によって発行されます。フィールド *fielda* および *fieldb* の両方にベース・テーブルの作成が必要です。しかし、バッチ・リポジトリ入力データに含まれているのは、*fielda* のみです。

システムの処置: バッチ処理されるリポジトリ更新機能の要求は失敗します。

ユーザーの処置: 入力のエラーを訂正して、要求を再発行してください。

モジュール: EYU0MOMB

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *fielda*
5. *fieldb*
6. *mal*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0026E E *date time applid* フィールド *fielda* は **MAL** *mal* のフィールド *fieldb* と相互排他的です。

説明: このメッセージは、CICSplex SM のバッチ処理されるリポジトリ更新機能によって発行されます。ベース・テーブルの作成に *fielda* または *fieldb* のいずれ

かが指定できますが、両方は指定できません。しかし、バッチ・リポジトリ入力データに *fielda* と *fieldb* の両方が含まれています。

システムの処置: バッチ処理されるリポジトリ更新機能の要求は失敗します。

ユーザーの処置: 入力のエラーを訂正して、要求を再発行してください。

モジュール: EYU0MOMB

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *fielda*
5. *fieldb*
6. *mal*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0027E E *date time applid MAL mal* を変換できません。メタデータが使用できません。

説明: 2 つのシステム間の変換が失敗しました。これは、CICSplex SM の内部エラーです。

システムの処置: MAL は、他の MAS または CMAS 内でのプログラムの実行要求です。このプログラム要求は、変換されることなく、その宛先に送信されます。関連付けられているリソース・テーブルが変更された場合、プログラムは失敗する場合があります。

ユーザーの処置: IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0MOX2

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mal*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0028E E *date time applid MOS* ディレクトリ一完了に失敗しました。**MAL:** *mal* フィールド: *field* 値: *value*。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *mal*
5. *field*
6. *value*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0029E E *date time applid CICSplex* (*plexname*) のデータ・リポジトリ・レコードをアップグレードできません。

Maintenance Point CMAS (*cmasname*) との再同期が必要です。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *plexname*
5. *cmasname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0030W W *date time applid CICSplex* (*cicsplex*) のデータ・リポジトリ・レコードに対して操作を実行すると、

EYUDREPN のリカバリー可能属性のために機能低下が起こる可能性があります。

説明: EYUDREPN ファイルは、データ・リポジトリ・データ・セットのリカバリー可能属性を得ました。その結果、CICSplex の追加または削除時にデータ・リポジトリ・レコードに対するパフォーマンスが低下します (ログ発生します)。

EYUDREPN のリカバリー不能からリカバリー可能へのリカバリー定義の変更は、2 つの方法のいずれかで行われたと考えられます。

1.

「オープン中のバックアップ (BWO)」オプションが、IDCAMS DEFINE CLUSTER 定義によって、ICF カタログ内の EYUDREP に関連付けられているデータ・リポジトリ・データ・セットに指定された。IDCAMS は、EYUDREP データ・セットに

リカバリー可能のマークを付けます。そのため、EYUDREP¹ ファイル名が EYUDREP データ・セットに関連付けられると、EYUDREP はリカバリー可能としてマークされます。ICF カタログ定義は、EYUDREP RDO 定義よりも優先されます。

2.

EYUDREP RDO 定義がユーザー・グループにコピーされ、RECOVERY(NONE) が変更された。

システムの処置: CICSplex SM 処理は続行されます。ただし、EYUDREP がリカバリー可能として定義されていたため、データ・リポジトリ・レコードに対する操作が機能低下する場合があります。

ユーザーの処置: データ・リポジトリがオープン中のバックアップに適格であるようにするには、RDO EYUDREP 定義をユーザー・グループにコピーし、以下のキーワードを指定することによって、デフォルトの RDO EYUDREP 定義を変更する必要があります。

```
RECOVERY(ALL)
FWDRECOVLOG(nn)
BACKUPTYPE(DYNAMIC)
```

ここで、*nn* は 1 から 99 までの数値です。

この定義の変更により、ファイル EYUDREP がリカバリー可能としてマークされると同時に、EYUDREP ファイル名に関連付けられているデータ・セットがリカバリー可能としてマークされます。

ICF カタログ内の IDCAMS DEFINE CLUSTER 定義による CICSplex SM データ・リポジトリ・データ・セットの BWO の要求はサポートされていません。

EYUDREP¹ FILE 定義のリカバリー・オプションは変更しないでください。

モジュール: EYU0XDDP、EYU0XDIP

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cicsplex*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0031E E *date time applid* テーブル
 rtnum/rtname の機能の不一致
 (*relationship*) (サービス =*serolevel*) ローカル
 =*lver/lsub* : リモート =*rver/rsub*。

説明: リソース・テーブルのサービス・レベルおよび保

守レベルは、パートナー・システムに適合しません。ここで、

relationship

サービス・レベルおよび保守レベルのローカル・システムとリモート・システムの間の関係です。次のいずれかです。

HIGH

パートナー・システムがローカル・システムよりもレベルが高い。

LOW

パートナー・システムがローカル・システムよりもレベルが低い。

rtnum/rtname

CICSplex SM のリソース・テーブルの番号および名前です。

serolevel

ローカル CMAS 内で定義された、リソース・テーブルのサービス・レベルおよび保守レベルです。

lver/lsub

リソース・テーブルのローカル・バージョンおよびサブバージョンです。

rver/rsub

リソース・テーブルのリモート・バージョンおよびサブバージョンです。

パートナー名が、後のメッセージに示されます。このメッセージは、EYUCL0130E (パートナーが MAS の場合)、または EYUCP0022E (パートナーが CMAS の場合) です。

システムの処置: システム処置についての情報は、後のメッセージ (EYUCL0130E または EYUCP0022E のいずれか) に示されています。

ユーザーの処置: CMAS 間接続の場合、保守ポイント CMAS は非保守ポイント CMAS より低いレベルであってはなりません。保守レベルで他の CMAS と互換性のある CICSplex SM ロード・ライブラリーのバージョンを使用して CMAS のいずれかを再始動します。

CMAS から MAS への接続の場合、CMAS は MAS より低いレベルであってはなりません。保守レベルで他のシステムと互換性のある CICSplex SM ロード・ライブラリーのバージョンを使用して MAS または CMAS のいずれかを再始動します。

モジュール: EYU0MOCS

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *relationship*
5. *rtnum*
6. *rtname*
7. *servlevel*
8. *lver*
9. *lsub*
10. *rver*
11. *rsub*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0032E E *date time applid CMAS (cmasid)* からの **PLEX (plexname)** のインポートに失敗しました。

説明: CMAS を CICSplex の管理に追加する要求が出されました。ここで、

plexname

インポートされる CICSplex の名前を示します。

cmasid

CICSplex 情報のインポート元の保守ポイント CMAS を示します。

システムの処置: このメッセージは、コンソールと、追加されていた CMAS のジョブ・ログおよび EYULOG に書き込まれます。追加要求が WUI を介して行われた場合は、メッセージ EYUVC1231E および EYUVC1272I が受信されます。

ユーザーの処置: 追加が試行されたところに表示されたメッセージによって問題の原因が判別できない場合は、保守ポイント CMAS と追加される CMAS の両方から完全なジョブ出力と AUXTRACE データ・セットを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XDIP

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *plexname*
5. *cmasid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0033E E *date time applid* 保守ポイント

CMAS (cmasname) により **CICSplex (plexname)** に対して配布された定義は、ローカル・データ・リポジトリがいっぱいであるため処理できません。

説明: ローカル CMAS のデータ・リポジトリが満杯のため、CICSplex のデータ・リポジトリの更新をローカル CMAS のデータ・リポジトリに追加できませんでした。ここで、

•

plexname は、定義が関連付けられている CICSplex の名前を示します。

•

cmasname は、CICSplex の保守ポイント CMAS を示します。

システムの処置: このメッセージは、コンソールと、ローカル CMAS のジョブ・ログおよび EYULOG に書き込まれます。また、例外トレースが、ローカル CMAS の AUXTRACE データ・セットに書き込まれます。CMAS は実行を続けますが、CICSplex のローカル・データ・リポジトリに対するこれ以降の更新はすべて失敗します。CICSplex の更新の失敗数に関係なく、メッセージおよびトレースは一度だけ発生することに注意してください。

ユーザーの処置: このメッセージの前には、メッセージ EYUXD0011S があります。そのメッセージの指示が示すように、ローカル CMAS を終了させ、そのデータ・リポジトリを再編成するか拡張させる必要があります。ローカル CMAS が再始動され、CICSplex の保守ポイント CMAS とのリポジトリ同期を実行すると、欠落している更新情報がローカル・データ・リポジトリに追加されます。

モジュール: EYU0XDRS

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *plexname*
5. *cmasname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0034I I *date time applid* データ・リポジトリからのトポロジー・リソース・マップの特別一時除去 (**APAR (PM16522)**) が開始されました。

説明:

EYUXD0035I I • EYUXD0101E E

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0035I I *date time applid* ファイル定義 (*filedef*) で、データ・リポジトリからのトポロジー・リソース・マップの特別一時除去 (**APAR (PM16522)**) が実行されています。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *filedef*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0036I I *date time applid* データ・リポジトリからのトポロジー・リソース・マップの特別一時除去 (**APAR (PM16522)**) が完了しました。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0037E E *date time applid* データ・リポジトリからのトポロジー・リソース・マップの特別一時除去 (**APAR (PM16522)**) で、ファイル定義 (**EYUDREP**) への戻し切り替え中にエラーが発生しました。**CMAS**は終了します。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0038I I *date time applid CICSplex (plexname)* 用のデータ・リポジトリがアップグレードされました。

説明: このデータ・リポジトリが EYU9XDUT ユーティリティを使用して以前のリリースからアップグレードされていた間に、リソース・タイプが以前のリリースにないため、CICSplex の 1 つ以上のリソースが除去されたことが検出されました。ここで、

cicsplex は、影響を受けた CICSplex の名前です。

保守ポイント CMAS とのリポジトリ同期の一部として、除去されたレコードがこの CMAS のデータ・リポジトリに復元されました。

システムの処置: このメッセージが発行され、CMAS 処理は継続します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0XDRS

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0101E E *date time applid* データ・リポジトリの初期化に失敗しました。

説明: データ・リポジトリ・コンポーネントを初期設定できませんでした。

システムの処置: CMAS の初期設定は終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードと、このメッセージより前に発行されたメッセージを調べて、問題の原因を判別してください。

モジュール: EYU0XDIN、EYU3XDIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0103E E *date time applid* データ・リポジトリの終了に失敗しました。

説明: データ・リポジトリ・コンポーネントを終了する際にエラーが発生しました。

システムの処置: CMAS の終了が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0XDTM、EYU3XDTM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0104E E *date time applid* データ・リポジトリの初期化に失敗しました。リポジトリが定義されていません。

説明: EYUDREP の DD ステートメントがないか無効であるため、データ・リポジトリ・コンポーネントを初期設定できませんでした。

システムの処置: CMAS の初期設定は終了します。

ユーザーの処置: EYUDREP の DD ステートメントが CMAS 始動 JCL に正しく指定されていることを確認してください。CMAS を再始動してください。

モジュール: EYU0XDIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0105E E *date time applid* データ・リポジトリの初期化に失敗しました。ファイルをオープンできません。

説明: VSAM ファイルをオープンできないため、データ・リポジトリ・コンポーネントを初期設定できませんでした。

システムの処置: CMAS の初期設定は終了します。

ユーザーの処置: VSAM ファイル定義が CMAS 始動 JCL に正しく指定されていることを確認してください。CMAS を再始動してください。

モジュール: EYU0XDIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0106E E *date time applid* データ・リポジトリの初期化に失敗しました。ファイル属性が無効です。

説明: VSAM ファイル属性が無効であるため、データ・リポジトリ・コンポーネントを初期設定できませんでした。

システムの処置: CMAS の初期設定は終了します。

ユーザーの処置: ファイルが、キーの長さが 64、キー位置が 0、および属性が

ADD、UPDATE、DELETE、BROWSE、READ の KSDS データ・セットであることを確認してください。

モジュール: EYU0XDIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0107E E *date time applid* データ・リポジトリの初期化に失敗しました。**SYSID** が一致しません。リポジトリ
SYSID=sysid1、CICS SYSID=sysid2。

説明: EYU9XDUT リポジトリ初期設定プログラムに指定された **SYSID** が、接続している CMAS の **SYSID** に一致しないため、データ・リポジトリ・コンポーネントを初期設定できませんでした。

システムの処置: CMAS の初期設定は終了します。

EYUXD0108E E • EYUXD0112I I

ユーザーの処置: EYU9XDUT プログラムまたは CMAS 始動ジョブのいずれかの SYSID パラメーターを訂正してから、CMAS を再始動してください。

モジュール: EYU0XDIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *sysid1*
5. *sysid2*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0108E E *date time applid* データ・リポジトリの初期化に失敗しました。**CMAS** 名 *cmasid* がリポジトリに定義されていません。

説明: CMAS 名が、EYU9XDUT リポジトリ初期設定プログラムに指定された CMAS に一致しないため、データ・リポジトリ・コンポーネントを初期設定できませんでした。

システムの処置: CMAS の初期設定は終了します。

ユーザーの処置: 始動ジョブの CMAS 名を訂正してから、CMAS を再始動してください。

モジュール: EYU0XDIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cmasid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0109E E *date time applid* **EYUTXDMD** モジュールをロードできません。

説明: 管理対象オブジェクト・サービスの初期化ルーチンが、必須モジュール、EYUTXDMD に対して OS LOAD を実行できませんでした。

システムの処置: CMAS の初期設定は終了します。

ユーザーの処置: モジュール EYUTXDMD が CMAS 始動ジョブの STEPLIB に存在することを確認してから、ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU0XDMI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0110E E *date time applid* 管理対象オブジェクト・サービスの初期化に失敗しました。

説明: データ・リポジトリ・コンポーネントの管理対象オブジェクト・サービス・サブコンポーネントを初期設定できませんでした。

システムの処置: CMAS の初期設定は終了します。

ユーザーの処置: このメッセージより前に発行された EYUXD01nn メッセージのジョブ・ログを調べて、問題の原因を判別してください。問題が繰り返し起こる場合は、IBM サポートに連絡してください。

モジュール: EYU0XDMI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0111E E *date time applid* 管理対象オブジェクト・サービスの終了に失敗しました。

説明: データ・リポジトリ・コンポーネントの管理対象オブジェクト・サービス・サブコンポーネントを適切に終了できませんでした。

システムの処置: データ・リポジトリの終了は続行されます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードと、このメッセージより前に発行されたメッセージを調べて、問題の原因を判別してください。

モジュール: EYU0XDMT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0112I I *date time applid* **API** の初期化を開始しました。

説明: データ・リポジトリ・コンポーネントのアプリケーション・プログラミング・インターフェース (API) サブコンポーネントが初期設定されています。

システムの処置: API の初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0XDIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUXD0113E E *date time applid* データ・リポジトリの初期化に失敗しました。システム・ログのタイプは**DUMMY**であってはいけません。

説明: CICS システム・ログ DFHLOG がダミー・ログとして定義されているため、データ・リポジトリ・コンポーネントを初期設定できませんでした。CICSplex SM データ・リポジトリでデータ保全性を維持するためには、完全に機能する CICS システム・ログが必要です。

システムの処置: CMAS の初期設定は終了します。

ユーザーの処置: システム・ログ DFHLOG のセットアップの CICS 手順に従ってください。

モジュール: EYU0XDIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0601I I **CMASDEF CMASNAME=cmasid**
SYSID=sysid TIMEZ=x ZONEO=nn
DAYLSV=option が **EYUDREP** に正常に書き込まれました。(Successful
CMASDEF CMASNAME=cmasid
SYSID=sysid TIMEZ=x ZONEO=nn
DAYLSV=option written to EYUDREP.)

説明: 指定された CMAS のリポジトリ・バッチのヘッダー・レコードが正常にフォーマット設定されました。パラメーターは、EYU9XDUT リポジトリ初期設定プログラムに指定したとおりに表示されます。

cmasid

データ・リポジトリが定義された CMAS を示します。

sysid CMAS の CICS システム ID です。

x B から Z までの時間帯コードです。

nn 00 から 59 までの分単位の時間帯オフセットです。

オプション

夏時間調整が有効であるかどうかを Y または N で示します。

システムの処置: データ・リポジトリ (EYUDREP) は CMAS 初期設定を行う準備ができています。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XDUT

宛先: SYSPRINT

EYUXD0602E E **SYSPRINT** を指定してください。
(SYSPRINT must be specified.)

説明: CMAS データ・リポジトリの SYSPRINT DD ステートメントがないか、無効でした。

システムの処置: データ・リポジトリの初期設定は終了します。

ユーザーの処置: 有効な SYSPRINT DD ステートメントがデータ・リポジトリ初期化ルーチンにあることを確認してから、ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU9XDUT

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXD0603E E **SYSPRINT** を指定してください。
(SYSPRINT must be specified.)

説明: CMAS データ・リポジトリの SYSPRINT DD ステートメントがないか、無効でした。

システムの処置: データ・リポジトリの初期設定は終了します。

ユーザーの処置: 有効な SYSPRINT DD ステートメントがデータ・リポジトリ初期化ルーチンにあることを確認してから、ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU9XDUT

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXD0604E E **EYUDREP VSAM** ファイルを指定してください。**(EYUDREP VSAM file must be specified.)** EYUDREP Init は終了しました。**(EYUDREP Init terminated.)**

説明: CMAS データ・リポジトリの EYUDREP DD ステートメントがないか、無効でした。

EYUXD0605E E • EYUXD0607E E

システムの処置: データ・リポジトリの初期設定は終了します。

ユーザーの処置: 有効な EYUDREP DD ステートメントがデータ・リポジトリ初期設定 JCL にあることを確認してください。

モジュール: EYU9XDUT

宛先: SYSPRINT

EYUXD0605E E 無効なパラメーター長です。
SYSID=status CMASNAME=status
TIMEZONE=status ZONEOFFSET=status
DAYLIGHT=status。(Invalid parm
length SYSID=status
CMASNAME=status TIMEZONE=status
ZONEOFFSET=status
DAYLIGHT=status.) EYUDREP Init は
終了しました。(EYUDREP Init
terminated.)

説明: EYU9XDUT リポジトリ初期設定プログラムに指定されたパラメーターのいずれかの長さが無効でした。ここで、

status 各パラメーターの状況を次の値で示します。

ERR パラメーターにエラーがありました。

OK パラメーターは正しく指定されました。

システムの処置: データ・リポジトリの初期設定は終了します。

ユーザーの処置: 以下のように、エラーになったパラメーターの長さを訂正してください。

SYSID=
1 文字から 4 文字まで。

CMASNAME=
1 文字から 8 文字まで。

TIMEZONE=
1 文字。

ZONEOFFSET=
2 文字。

DAYLIGHT=
1 文字。

モジュール: EYU9XDUT

宛先: SYSPRINT

EYUXD0606E E 無効なパラメーター・データです。
SYSID=status CMASNAME=status
TIMEZONE=status ZONEOFFSET=status
DAYLIGHT=status。(Invalid parm data
SYSID=status CMASNAME=status
TIMEZONE=status ZONEOFFSET=status
DAYLIGHT=status.) EYUDREP Init は
終了しました。(EYUDREP Init
terminated.)

説明: EYU9XDUT リポジトリ初期設定プログラムに指定されたパラメーターのいずれかが無効でした。ここで、

status 各パラメーターの状況を次の値で示します。

ERR パラメーターにエラーがありました。

OK パラメーターは正しく指定されました。

システムの処置: データ・リポジトリの初期設定は終了します。

ユーザーの処置: 以下のように、エラーになったパラメーターを訂正してください。

SYSID=
1 文字から 4 文字までの、CMAS の CICS システム ID。

CMASNAME=
1 文字から 8 文字までの CMAS の名前。

TIMEZONE=
B から Z までの 1 文字の時間帯コード。

ZONEOFFSET=
00 から 59 までの 2 文字の分単位の時間帯オフセット。

DAYLIGHT=
夏時間調整が有効であるかどうかを示す Y または N。

モジュール: EYU9XDUT

宛先: SYSPRINT

EYUXD0607E E **CMASNAME=xxxxxxx** の最初の位置が無効です。(CMASNAME=xxxxxxx
1st position invalid.) EYUDREP Init は
終了しました。(EYUDREP Init
terminated.)

説明: EYU9XDUT に指定された CMASNAME= パラメーターの最初の文字が無効でした。最初の文字は、A-Z、a-z、@、\$、または # のいずれかでなければなりません。

システムの処置: データ・リポジトリの初期設定は終了します。

ユーザーの処置: パラメーターを訂正して、ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU9XDUT

宛先: SYSPRINT

EYUXD0608E E EYUDREP に少なくとも 1 つのレコードが含まれています。(EYUDREP contains at least one(1) record.)
EYUDREP Init は終了しました。(EYUDREP Init terminated.)

説明: データ・リポジトリに少なくとも 1 つのレコードが既に含まれているため、初期設定できませんでした。

システムの処置: データ・リポジトリの初期設定は終了します。

ユーザーの処置: IDCAMS ユーティリティで「DELETE data set name,PURGE,ERASE」の後に DEFINE CLUSTER パラメーターを続けて使用して EYUDREP を初期設定してから、ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU9XDUT

宛先: SYSPRINT

EYUXD0609E E EYUDREP の相対キー位置のエラーです。(EYUDREP Relative Key Position error.) EYUDREP Init は終了しました。(EYUDREP Init terminated.)

説明: EYUDREP の相対キー位置が無効でした。

システムの処置: データ・リポジトリの初期設定は終了します。

ユーザーの処置: IDCAMS ユーティリティで KEYS(64,0) を使用して EYUDREP を初期設定してから、ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU9XDUT

宛先: SYSPRINT

EYUXD0610E E EYUDREP KEYLEN は (nnnnnnnnnn) でなければなりません。(EYUDREP KEYLEN must be (nnnnnnnnnn).) EYUDREP Init は終了しました。(EYUDREP Init terminated.)

説明: EYUDREP の相対キーの長さが無効でした。

システムの処置: データ・リポジトリの初期設定は終了します。

ユーザーの処置: IDCAMS ユーティリティで KEYS(64,0) を使用して EYUDREP を初期設定してから、ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU9XDUT

宛先: SYSPRINT

EYUXD0611I I エラーで実行を終了しています。(Error is terminating execution)

説明: エラーが原因で、データ・リポジトリ初期化ルーチンが終了します。このメッセージの前に発行された 1 つ以上の EYUXDnnnn メッセージにそのエラーが説明されています。

システムの処置: データ・リポジトリの初期設定は終了します。

ユーザーの処置: SYSPRINT に対して発行された EYUXDnnnn メッセージに関連付けられている説明に従ってください。

モジュール: EYU9XDUT

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXD0612E E VSAM エラー処理 EYUDREP
 Return Code=code Feedback=chars
 MACRO=macro Mode=mode。(VSAM Error Processing EYUDREP Return Code=code Feedback=chars MACRO=macro Mode=mode.)

説明: このメッセージは、データ・リポジトリ処理中に検出された VSAM エラーを説明します。

システムの処置: データ・リポジトリの初期設定は終了します。

ユーザーの処置: 指定されたエラーの説明については VSAM 資料を参照し、問題の訂正のためにそこに示されている指示に従ってください。問題を訂正したら、ジョブを再実行依頼します。

モジュール: EYU9XDUT

宛先: SYSPRINT

EYUXD0613E E SYSID= は 2 進ゼロにできません。(SYSID= cannot be binary zeroes) EYUDREP Init は終了しました。(EYUDREP Init terminated.)

説明: EYU9XDUT に指定された SYSID= パラメーターが無効であり、2 進数のゼロが含まれていました。

EYUXD0614E E • EYUXD0617I I

システムの処置: データ・リポジトリの初期設定は終了します。

ユーザーの処置: CMAS の CICS システム ID を 1 文字から 4 文字までで指定することで、SYSID= パラメーターを訂正してから、ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU9XDUT

宛先: SYSPRINT

EYUXD0614E E 無効な **KEYWORD** です。
SYSID=status CMASNAME=status
TIMEZONE=status ZONEOFFSET=status
DAYLIGHT=status。(Invalid
KEYWORD SYSID=status
CMASNAME=status TIMEZONE=status
ZONEOFFSET=status
DAYLIGHT=status.) EYUDREP Init
終了しました。(EYUDREP Init
terminated.)

説明: EYU9XDUT リポジトリ初期設定プログラムに指定されたキーワードのいずれかが無効でした。ここで、*status* は各キーワードの状況を次の値で示します。

ERR キーワードはエラーであるか、指定されませんでした。

OK キーワードは正しく指定されました。

システムの処置: データ・リポジトリの初期設定は終了します。

ユーザーの処置: 以下のように、エラーになったキーワードを訂正してください。

- SYSID=
- CMASNAME=
- TIMEZONE=
- ZONEOFFSET=
- DAYLIGHT=

その後、ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU9XDUT

宛先: SYSPRINT

EYUXD0615E E 無効な **KEYWORD** です。
WUINAME=status WUIPLEX=status
WUISYSID=status WUIAPPLID=status
EYUDREP Init は終了しました。
(Invalid KEYWORD WUINAME=status
WUIPLEX=status WUISYSID=status
WUIAPPLID=status EYUDREP Init
terminated.)

説明: EYU9XDUT リポジトリ初期設定プログラムに指定されたキーワードのいずれかが無効でした。ここで、*status* は各キーワードの状況を次の値で示します。

ERR キーワードはエラーであるか、指定されませんでした。

OK キーワードは正しく指定されました。

システムの処置: データ・リポジトリの初期設定は終了します。

ユーザーの処置: 以下のように、エラーになったキーワードを訂正してください。

- WUINAME=
- WUIPLEX=
- WUISYSID=
- WUIAPPLID=

その後、ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU9XDUT

宛先: SYSPRINT

EYUXD0616I I **CPLXDEF CICSplex=CICSplex**
MP=mp が EYUDREP に正常に書き込ま
れました。(Successful CPLXDEF
CICSplex=CICSplex MP=mp written to
EYUDREP.)

説明: パラメーターは、EYU9XDUT リポジトリ初期設定プログラムに指定したとおりに表示されます。

CICSplex

保守ポイント CMAS が管理する CICSplex を示します。

mp CICSplex を管理する保守ポイント CMASを参照します。

システムの処置: データ・リポジトリ (EYUDREP) が更新されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XDUT

宛先: SYSPRINT

EYUXD0617I I **CPLXDEF CICSplex=CICSplex**
MP=mp SYSID=sysid が EYUDREP に
正常に書き込まれました。(Successful
CPLXDEF CICSplex=CICSplex MP=mp
SYSID=sysid written to EYUDREP.)

説明: パラメーターは、EYU9XDUT リポジトリ初期設定プログラムに指定したとおりに表示されます。

CICSplex

保守ポイント CMAS が管理する CICSplex を示します。

mp CICSplex を管理する保守ポイント CMASを参照します。

sysid 保守ポイント CMAS の CICS システム ID です。

システムの処置: データ・リポジトリ (EYUDREP) が更新されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XDUT

宛先: SYSPRINT

EYUXD0618E E 無効なパラメーター長です。

WUINAME=status WUIPLEX=status
WUISYSID=status WUIAPPLID=status
EYUDREP Init は終了しました。
(Invalid parm length WUINAME=status
WUIPLEX=status WUISYSID=status
WUIAPPLID=status EYUDREP Init
terminated.)

説明: EYU9XDUT リポジトリ初期設定プログラムに指定されたパラメーターのいずれかの長さが無効でした。ここで、

status 各パラメーターの状況を次の値で示します。

ERR パラメーターにエラーがありました。

OK パラメーターは正しく指定されました。

システムの処置: データ・リポジトリの初期設定は終了します。

ユーザーの処置: 以下のように、エラーになったパラメーターの長さを訂正してください。

WUINAME=

1 文字から 8 文字までの WUI の名前。

WUIPLEX=

1 文字から 8 文字までの WUI CICSplex の名前。

WUISYSID=

1 文字から 4 文字までの、WUI の CICS システム ID。

WUIAPPLID=

1 文字から 8 文字までの、WUI の APPLID。

その後、ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU9XDUT

宛先: SYSPRINT

EYUXD0619E E 無効なパラメーター・データです。

WUINAME=status WUIPLEX=status
WUISYSID=status WUIAPPLID =status
EYUDREP Init は終了しました。
(Invalid parm data WUINAME=status
WUIPLEX=status WUISYSID=status
WUIAPPLID =status EYUDREP Init
terminated.)

説明: EYU9XDUT リポジトリ初期設定プログラムに指定されたパラメーターのいずれかが無効でした。ここで、

status 各パラメーターの状況を次の値で示します。

ERR パラメーターにエラーがありました。

OK パラメーターは正しく指定されました。

システムの処置: データ・リポジトリの初期設定は終了します。

ユーザーの処置: 以下のように、エラーになったパラメーターを訂正してください。

WUINAME=

1 文字から 8 文字までの WUI の名前。

WUIPLEX=

1 文字から 8 文字までの WUI CICSplex の名前。

WUISYSID=

1 文字から 4 文字までの、WUI の CICS システム ID。

WUIAPPLID=

1 文字から 8 文字までの、WUI の APPLID。

その後、ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU9XDUT

宛先: SYSPRINT

EYUXD0620E E **WUINAME=xxxxxxx** の最初の位置が無効です。**(WUINAME=xxxxxxx 1st position invalid.)** **EYUDREP Init** は終了しました。**(EYUDREP Init terminated.)**

説明: EYU9XDUT に指定された **WUINAME=** パラメーターの最初の文字が無効でした。最初の文字は、A-Z、a-z、@、\$、または # のいずれかでなければなりません。

EYUXD0621E E • EYUXD0626E E

システムの処置: データ・リポジトリの初期設定は終了します。

ユーザーの処置: パラメーターを訂正して、ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU9XDUT

宛先: SYSPRINT

EYUXD0621E E WUIPLEX=xxxxxxx の最初の位置が無効です。(WUIPLEX=xxxxxxx 1st position invalid.) EYUDREP Init は終了しました。(EYUDREP Init terminated.)

説明: EYU9XDUT に指定された WUIPLEX= パラメーターの最初の文字が無効でした。最初の文字は、A-Z、a-z、@、\$、または # のいずれかでなければなりません。

システムの処置: データ・リポジトリの初期設定は終了します。

ユーザーの処置: パラメーターを訂正して、ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU9XDUT

宛先: SYSPRINT

EYUXD0622E E WUIAPPLID=xxxxxxx の最初の位置が無効です。(WUIAPPLID=xxxxxxx 1st position invalid.) EYUDREP Init は終了しました。(EYUDREP Init terminated.)

説明: EYU9XDUT に指定された WUIAPPLID= パラメーターの最初の文字が無効でした。最初の文字は、A-Z、a-z、@、\$、または # のいずれかでなければなりません。

システムの処置: データ・リポジトリの初期設定は終了します。

ユーザーの処置: パラメーターを訂正して、ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU9XDUT

宛先: SYSPRINT

EYUXD0624E E WUISYSID= は 2 進ゼロにできません。(WUISYSID= cannot be binary zeroes.) EYUDREP Init は終了しました。(EYUDREP Init terminated.)

説明: EYU9XDUT に指定された WUISYSID= パラメ

ーターが無効であり、2 進数のゼロが含まれていました。

システムの処置: データ・リポジトリの初期設定は終了します。

ユーザーの処置: WUI の CICS システム ID を 1 文字から 4 文字までで指定することで、WUISYSID= パラメーターを訂正してから、ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU9XDUT

宛先: SYSPRINT

EYUXD0625E E パラメーターの XXXX および XXXX には、異なる値を設定しなければなりません。(Parameters XXXX and XXXX must be set to different values.) EYUDREP Init は終了しました。(EYUDREP Init terminated.)

説明: EYU9XDUT に指定されている 2 つのパラメーターが、同じ値に設定されていました。これらの値は異ならなければなりません。

システムの処置: データ・リポジトリの初期設定は終了します。

ユーザーの処置: この 2 つのパラメーターに異なる値を確実に指定してから、ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU9XDUT

宛先: SYSPRINT

EYUXD0626E E 無効な EYUXDPRM が見つかりました。(Invalid EYUXDPRM found.) EYUDREP Init は終了しました。(EYUDREP Init terminated.)

説明: 無効なパラメーターが EYUXDPRM に入力されました。有効なパラメーターは、WUINAME、WUIPLEX、WUISYSID、WUIAPPLID です。

システムの処置: データ・リポジトリの初期設定は終了します。

ユーザーの処置: EYUXDPRM に有効なパラメーターを入力してから、ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU9XDUT

宛先: SYSPRINT

EYUXD0627E E EYUXDPRM をオープンできません
 でした。(EYUXDPRM could not be
 opened) EYUDREP Init は終了しまし
 ました。(EYUDREP Init terminated.)

説明: EYUXDPRM ジョブ・ストリームの読み取りが
 できませんでした。

システムの処置: データ・リポジトリの初期設定は終
 了します。

ユーザーの処置: EYUXDPRM が正しく指定されてい
 ることを確認してから、ジョブを再実行依頼してくださ
 い。

モジュール: EYU9XDUT

宛先: SYSPRINT

EYUXD0628E E EYUXDPRM DD ステートメントを
 指定してください。(EYUXDPRM DD
 Statement must be specified)

説明: EYU9XDUT パラメーターの EYUXDPRM DD
 ステートメントがないか、無効でした。

システムの処置: データ・リポジトリの初期設定は終
 了します。

ユーザーの処置: 有効な EYUXDPRM DD ステートメ
 ントがデータ・リポジトリ初期設定 JCL にあること
 を確認してください。これは、PARM=
 ('TARGETVER=xxxx') が入力として指定されていない場
 合に必要です。つまり、EYUXDPRM DD ステートメン
 トは、データ・リポジトリを初期化している場合には
 必要ですが、データ・リポジトリを移行している場合
 は不要です。

モジュール: EYU9XDUT

宛先: SYSPRINT

EYUXD0700E E 無効な TARGETVER= 値です。4
 つの数字が必要です。(Invalid
 TARGETVER= value, Four numeric
 characters are required.)

説明: EYU9XDUT リポジトリ初期設定プログラムに
 指定された TARGETVER= パラメーターが無効でし
 ました。TARGETVER= 値は、CICSplex SM のバージョン
 を表す数値でなければなりません。例えば、
 TARGETVER=0230 は、バージョン 5.5 の CICSplex
 SM を表します。

システムの処置: データ・リポジトリは変換されませ
 ん。

ユーザーの処置: TARGETVER= パラメーターを訂正
 してから、ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU9XDUT

宛先: SYSPRINT

EYUXD0701E E VSAM エラー処理 EYUDREP
 Return Code=code Feedback=chars
 MACRO=macro. (VSAM Error
 Processing EYUDREP Return
 Code=code Feedback=chars
 MACRO=macro.)

説明: このメッセージは、データ・リポジトリ変換処
 理中に検出された VSAM エラーを説明します。

システムの処置: データ・リポジトリ変換プロセスは
 終了します。

ユーザーの処置: 指定されたエラーの説明については
 VSAM 資料を参照し、問題の訂正のためにそこに示さ
 れている指示に従ってください。その後、このジョブを
 再実行依頼してください。

モジュール: EYU9XDU1

宛先: SYSPRINT

EYUXD0702I I リポジトリは正常に変換されまし
 ました。(Repository successfully converted.)

説明: EYU9XDUT リポジトリ初期設定プログラム
 は、データ・リポジトリを、TARGETVER= パラメー
 ターによって指定された CICSplex SM のバージョンに
 正常に変換しました。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XDU1

宛先: SYSPRINT

EYUXD0703E E 内部変換エラー。(Internal
 conversion error.)

説明: EYU9XDUT リポジトリ初期設定プログラム
 が、データ・リポジトリを CICSplex SM の新規バー
 ジョンに変換している際に問題を検出しました。

システムの処置: データ・リポジトリ変換処理は、
 2048 異常終了で終了します。システム・ダンプが作成
 されます。

ユーザーの処置: ダンプ出力を収集して、IBM サポー
 トにお問い合わせください。

モジュール: EYU9XDU1

宛先: SYSPRINT

EYUXD0704E E DDNAME NEWREP のキーの長さがターゲット・バージョンに対応していません。(DDNAME NEWREP key length incompatible with target version.)

説明: データ・リポジトリを変換している際、EYU9XDUT ユーティリティは、NEWREP DD ステートメントに指定されているターゲット・データ・リポジトリに、**TARGETVER** パラメーターに指定された CICSplex SM のバージョンに対応していないキーの長さが存在すると判別しました。

システムの処置: EYU9XDUT ユーティリティは終了します。

ユーザーの処置: 所要の CICSplex SM バージョンが **TARGETVER** パラメーターに指定されていることを確認してください。指定されている場合、正しいデータ・セットが NEWREP DD ステートメントに指定されていることと、ターゲット・バージョンに適したキーの長さでそのデータ・セットが定義されていることを確認してください。キーの長さの情報については、CICS TS のインストールのマニュアルを参照してください。

モジュール: EYU9XDU1

宛先: SYSPRINT

EYUXD0705E E DDNAME EYUDREP レコード *nnnnn* の長さがターゲット・リポジトリに対応していません。(DDNAME EYUDREP record *nnnnn* length incompatible with target repository.)

説明: データ・リポジトリを変換している際、EYU9XDUT ユーティリティが、変換後にターゲット・データ・リポジトリの最大レコード長を超えてしまう長さのレコードを検出しました。ここで、*nnnnn* はレコードの番号です。

システムの処置: 指定されたレコードはターゲット・データ・リポジトリで更新および追加されません。EYU9XDUT ユーティリティは処理を続行します。

ユーザーの処置: ターゲット・データ・リポジトリの属性が **TARGETVER** パラメーターに指定された CICSplex SM のバージョンに対して正しいことを確認してください。適切な DEFINE CLUSTER 情報を含んでいるサンプル JCL については、CICS TS のインストールのマニュアルを参照してください。

モジュール: EYU9XDU1

宛先: SYSPRINT

EYUXD0706W W DDNAME NEWREP *nnnnn* レコードがバイパスされました。(DDNAME NEWREP *nnnnn* records were bypassed.)

説明: データ・リポジトリを変換している際、EYU9XDUT ユーティリティが、新しいターゲット・データ・リポジトリに書き込まれないレコードを検出しました。ここで、*nnnnn* はバイパスされたレコードの数です。

システムの処置: バイパスされたレコードは、新しいターゲット・データ・リポジトリに追加されません。EYU9XDUT ユーティリティは、戻りコード 4 で処理を続行します。バイパスされたレコードは、**TARGETVER** パラメーターに指定されている CICSplex SM のバージョンに対して正しくないため、//BYPASS DD ステートメントに出力されました。

ユーザーの処置: これは、問題の状態ではない可能性があります。エラーが発生したと思われる場合は、EYUDREP および NEWREP のデータ・リポジトリと、EYU9XDUT バッチ・ユーティリティからのジョブ・ログ出力を収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

注: 現在の EYUDREP の VERSION よりも小さい **TARGETVER** を指定すると、レコードは、**TARGETVER** パラメーターで指定されている下位の CICSplex SM でサポートされないため、バイパスされる場合があります。この場合、メッセージは正常であり、予想できます。それ以外の場合は、正常ではないので、調査する必要があります。

モジュール: EYU9XDU1

宛先: SYSPRINT

EYUXD0707E E BYPASS DD ステートメントを指定してください。(BYPASS DD statement must be specified.) **TARGETVER BYPASS DD** ステートメントを指定してください。(TARGETVER BYPASS DD statement must be specified.) **TARGETVER init** は終了しました。(TARGETVER init terminated.)

説明: CMAS データ・リポジトリの BYPASS DD ステートメントがないか、無効でした。

システムの処置: データ・リポジトリの初期設定は終了します。

ユーザーの処置: 有効な BYPASS DD ステートメントがデータ・リポジトリ初期設定 JCL にあることを確認してください。これは、PARM=

('TARGETVER=xxxx') が入力として指定されている場合に必要です。

モジュール: EYU9XDUT1

宛先: SYSPRINT

EYUXD0708I I CRESxxxx リソース・テーブルの
nnnnn レコードが変換されていません。
(**CRESxxxx resource table nnnnn
records not converted.**)

説明: CRESxxxx は、CICS システム内のあるリソースのインスタンスを記述する CICSplex SM トポロジー・マネージャー・オブジェクトです。これらは、EYU9XDUT パッチ・ユーティリティによって変換されません。これらのオブジェクト・タイプは、MAS が CMAS に結合したときに再作成されます。CRESxxxx リソース記述は、システム・プログラミング・リファレンスに記載されています。

システムの処置: データ・リポジトリの初期設定は続行されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9XDUT1

宛先: SYSPRINT

**EYUXD0709E E TARGETVER 値 (xxxx) が
EYU9XDUT (yyyy) の CICSplex SM バ
ージョンより大きいです (The
TARGETVER value (xxxx) is greater
than the CICSplex SM version of
EYU9XDUT (yyyy))**

説明: データ・リポジトリ変換が適切に動作するようにするには、PARM=('TARGETVER=xxxx') ステートメントで指定されている値が、SEYUAUTH データ・セットからロードされている EYU9XDUT のバージョンより大きくなることが必要です。

システムの処置: データ・リポジトリの初期設定は終了します。

ユーザーの処置: STEPLIB DD ステートメントが正しい SEYUAUTH データ・セットを参照していることを確認してください。

モジュール: EYU9XDUT1

宛先: SYSPRINT

**EYUXD0710E E EYUDREP (xxxx) の CICSplex SM
バージョンが、EYU9XDUT (yyyy) の
CICSplex SM バージョンより大きいです
(The CICSplex SM version of the
EYUDREP (xxxx) is greater than the
CICSplex SM version of EYU9XDUT
(yyyy))**

説明: データ・リポジトリ変換が適切に動作するようにするには、EYUDREP (データ・リポジトリ) のバージョンが、SEYUAUTH データ・セットからロードされている EYU9XDUT のバージョンより大きくなることが必要です。

システムの処置: データ・リポジトリの初期設定は終了します。

ユーザーの処置: STEPLIB および EYUDREP の DD ステートメントが正しいことを確認してください。

モジュール: EYU9XDUT1

宛先: SYSPRINT

**EYUXD0711E E TARGETVER 値 (xxxx) は、有効な
CICSplex SM バージョンではありません
ん。(TARGETVER value (xxxx) is not
a valid CICSplex SM version.)**

説明: TARGETVER=xxxx パラメーターに無効な値が入力されました。指定された値は、有効な CICSplex SM バージョンではありません。

システムの処置: データ・リポジトリの初期設定は終了します。

ユーザーの処置: PARM=(TARGETVER=xxxx) に有効な CICSplex SM バージョンを指定するようにしてください。

モジュール: EYU9XDUT1

宛先: SYSPRINT

**EYUXD0712E E NEWREP に少なくとも 1 つのレコ
ードが含まれています。(NEWREP
contains at least one(1) record.)** デー
タ・リポジトリの変換は終了しました。
(**Data Repository conversion
terminated.**)

説明: NEWREP DD ステートメントが、空でないデータ・セットを参照しています。EYUDREP をこのデータ・セットに移行するには、その前にこのデータ・セットは空にする必要があります。

システムの処置: データ・リポジトリの初期設定は終了します。

EYUXD0714I I • EYUXD0718E E

ユーザーの処置: NEWREP DD ステートメントが空のデータ・セットを参照するようにしてください。

モジュール: EYU9XDU1

宛先: SYSPRINT

EYUXD0714I I *nnnnn* レコードが書き込まれた後、**DDNAME NEWREP** が **DIRECT** 更新に切り替えられました。(DDNAME NEWREP Switched to DIRECT update after *nnnnn* records were written.)

説明: CICSplex SM データ・リポジトリ変換中に、レコード・キーが新規データ・リポジトリの更新を SEQUENTIAL から DIRECT に切り替えを要求して変更されました。これにより、リポジトリ変換の完了に必要な時間が増える場合があります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XDU1

宛先: SYSPRINT

EYUXD0716W W データ・リポジトリは、**CICSplex (cicsplex)** に対して不完全です。(The data repository may be incomplete for CICSplex (cicsplex).)

説明: このデータ・リポジトリが以前のリリースからアップグレードされていた間に、リソース・タイプが以前のリリースにないため、CICSplex の 1 つ以上のリソースが除去されたことが検出されました。ここで、

cicsplex は、影響を受けた CICSplex の名前です。

システムの処置: このエラーは内部的に記録され、EYU9XDUT の変換は続行します。変換が完了すると、これ以上重大なエラーが検出されなかった場合は、戻りコード 4 が発行されます。

ユーザーの処置: この CMAS を、アップグレードしたデータ・リポジトリで再始動してください。MAS は、保守ポイント CMAS に接続してから、この CMAS に接続する必要があります。これにより、この CMAS が保守ポイント CMAS とのリポジトリ同期を実行することになります。この CMAS のリポジトリがこの CICSplex に対して不完全であることがユーティリティで指摘されていたため、保守ポイント CMAS は、リポジトリ同期プロセスの一部として、必要な欠落レコードをこの CMAS に配信します。配信が成功すると、この CMAS はメッセージ EYUXD0038I を発行します。配信が成功しなかった場合、CICSplex がこの CMAS のリポジトリから除去された後、再追加されます。

モジュール: EYU9XDU1

宛先: SYSPRINT

EYUXD0717E E EYU9XDUT (*xxxx*) の CPSM パージョンは、EYUDREP (*yyyy*) または TARGETVER (*zzzz*) のバージョンに一致する必要があります。(The CPSM version of EYU9XDUT (*xxxx*) must match the version of the EYUDREP (*yyyy*) or the TARGETVER (*zzzz*))

説明: データ・リポジトリ変換が適切に動作するようにするには、SEYUAUTH データ・セットからロードされている EYU9XDUT のバージョンが、データ・リポジトリ (EYUDREP) のバージョン、または PARM=('TARGETVER=zzzz') ステートメントで指定されている値に一致するようにする必要があります。

システムの処置: データ・リポジトリの変換は終了します。

ユーザーの処置: STEPLIB DD ステートメントが正しい SEYUAUTH データ・セットを参照していることを確認してください。

モジュール: EYU9XDU1

宛先: SYSPRINT

EYUXD0718E E EYUDREP に CMASDEF レコードが含まれていません。(EYUDREP does not contain a CMASDEF record.) アップグレード・プロセスは終了しました。(The upgrade process has been terminated.)

説明: EYU9XDUT を使用して、CMAS のデータ・リポジトリを EYU9XDUT のバージョンに一致するリリースにアップグレードする際、CMASDEF レコードが EYUDREP ファイル内に見つかりませんでした。

システムの処置: データ・リポジトリのアップグレード処理は、正常に終了しません。

ユーザーの処置: 現在の EYUDREP ファイルは壊れています。バックアップ・ファイルからファイルをリストアし、データ・リポジトリのアップグレードを再実行してください。

モジュール: EYU9XDU1

宛先: SYSPRINT

EYUXD0719I I 非保守ポイント CICSplex の *nnnnn* レコードが変換されませんでした。(Non maintenance point CICSplex *nnnnn* records not converted.)

説明: EYU9XDUT を使用して、CMAS のデータ・リポジトリを EYU9XDUT のバージョンに一致するリリースにアップグレードする際、その CMAS が保守ポイント (MP) CMAS ではない CICSplex に関連するレコードは、EYU9XDUT によって作成された新しい EYUDREP ファイル、NEWREP に書き込まれません。そのレコードは、アップグレード後、最初に CMAS が MP CMAS に接続するときに新規 EYUDREP ファイルに書き込まれます。

システムの処置: データ・リポジトリの初期設定は続行されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9XDU1

宛先: SYSPRINT

EYUXD0720E E EYU9XDU1 MP plex リスト *getmain\freemain* に失敗しました。(EYU9XDU1 MP plex list *getmain\freemain* failed.) アップグレード・プロセスは終了しました。(The upgrade process has been terminated.)

説明: EYU9XDUT を使用して、CMAS のデータ・リポジトリを EYU9XDUT のバージョンに一致するリリースにアップグレードする際、*getmain* 要求または *freemain* 要求が失敗しました。

システムの処置: データ・リポジトリのアップグレード処理は、正常に終了しません。

ユーザーの処置: エラーが *getmain* で発生した場合は、データ・リポジトリのアップグレード・ジョブに関連付けられている領域サイズを増やし、再実行してください。問題が解決しない場合、またはエラーが *freemain* でエラーが発生した場合は、ジョブ・ログ内の失敗した *getmain* または *freemain* に関連したエラー・メッセージを調べて、問題を判別して解決できるかどうかを確認してください。解決できない場合は、EYUDREP ファイルのコピーと共に、完全なジョブ出力を収集し、IBM サポートに連絡して収集した資料を提供してください。

モジュール: EYU9XDU1

宛先: SYSPRINT

EYUXD0800I I *date time applid* API の初期化が完了しました。

説明: データ・リポジトリ・コンポーネントのアプリケーション・プログラミング・インターフェース (API) サブコンポーネントが正常に初期設定されました。

システムの処置: CMAS初期化は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0XDJI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUXD0801E E *date time applid* API の初期化に失敗しました。APIサービスは使用できません。

説明: データ・リポジトリ・コンポーネントのアプリケーション・プログラミング・インターフェース (API) サブコンポーネントを初期設定できませんでした。

システムの処置: API の初期設定は終了します。

CMAS の初期化は続行されますが、API は使用できません。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: API サービスが必要な場合、CMAS と CMAS に接続されているすべてのローカル MAS を停止して再始動してください。問題が解決しない場合は、例外トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XDJI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0802E E *date time applid* API 初期化で {*Connection* | ファイル属性指定 | 通知 | サービス} タスクを開始できません。

説明: API で必要な長期実行タスク (LRT) の 1 つが初期設定できませんでした。ここで、

name

初期設定できなかった LRT を以下のいずれかとして示します。

-
- 通知
-
- Connection
-
- ファイル属性指定
-
- サービス

システムの処置: API の初期設定は終了します。

CMAS の初期化は続行されますが、API は使用できません。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: API サービスが必要な場合、CMAS と CMAS に接続されているすべてのローカル MAS を停止して再始動してください。問題が解決しない場合は、例外トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XDJI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=Connection、
2=ファイル属性指定、
3=通知、
4=サービス

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0803E E *date time applid {Connection | ファイル属性指定 | 通知 | サービス}* タスクに失敗しました。タスクを再始動します。

説明: API で必要な長期実行タスク (LRT) の 1 つに、リカバリーを試行中の問題が発生しました。ここで、

name

再始動されている LRT を以下のいずれかとして示します。

-
- 通知
-

Connection

-
- ファイル属性指定
-
- サービス

システムの処置: CMAS で LRT の再始動が試行されます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、例外トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール:

EYU0XDNC、EYU0XDND、EYU0XDNE、EYU0XDNS

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=Connection、
2=ファイル属性指定、
3=通知、
4=サービス

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0804E E *date time applid {Connection | ファイル属性指定 | 通知 | サービス}* タスクを障害からリカバリーできません。タスクを終了します。

説明: 指定された API 長期実行タスク (LRT) が、障害からリカバリーしようとしてしました。しかし、LRT は、リカバリー試行回数が許可された最大数を越えたと判別しました。ここで、

name

終了されている LRT を以下のいずれかとして示します。

-
- 通知
-
- Connection
-
- ファイル属性指定
-
- サービス

システムの処置: LRT および API サービス環境は終了します。CMAS 処理は続行されますが、API は使用できません。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: API サービスが必要な場合、CMAS と CMAS に接続されているすべてのローカル MAS を停止して再始動してください。問題が解決しない場合は、例外トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール:

EYU0XDNC、EYU0XDND、EYU0XDNE、EYU0XDNS

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=Connection、
2=ファイル属性指定、
3=通知、
4=サービス

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0805I I *date time applid API {Connection |*
ファイル属性指定 | 通知 | サービス}
 タスクは終了しました。

説明: 指定された API の長期実行タスク (LRT) が終了しました。ここで、

name

終了した LRT を以下のいずれかとして示します。

- 通知
- Connection
- ファイル属性指定
- サービス

システムの処置: 残りの API の LRT が終了すると、追加の EYUXD0805I メッセージが発行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール:

EYU0XDNC、EYU0XDND、EYU0XDNE、EYU0XDNS

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=Connection、
2=ファイル属性指定、
3=通知、
4=サービス

宛先: COLG

EYUXD0806E E *date time applid API ESSS*
{Connection} に失敗しました。**ESSS** 応答
(code)。

説明: CMAS は、API に代わって環境サービス・システム・サービス (ESSS) アドレス・スペースと通信しようとしたが、失敗しました。ここで、

action

CMAS アクションを CONNECTION または DISCONNECTION として示します。

code

16 進数の戻りコードです。

システムの処置: API サービス環境は終了します。CMAS 処理は続行されますが、API は使用できません。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XDF1

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=Connection

5. *code*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0807I I *date time applid* **API** ユーザー
(*userid*) の {ジョブ名 | MAS 名}(*ins#4*)
{*Asid* | CICSplex}(*ins#6*) からの {サイン
オフ | サインオン} が正常に行われました。

説明: アプリケーション・プログラミング・インターフ
ェース (API) ユーザーが EXEC CPSM CONNECT コ
マンドまたは EXEC CPSM DISCONNECT コマンドを
発行し、そのコマンドは正常に完了しました。ここで、

userid

API ユーザーを示します。この ID は
CONNECT コマンドでユーザーによって指定
されたか、稼働環境に基づいて CICSplex SM
によって判別されました。

action

どちらの EXEC CPSM コマンドが発行された
かに応じて、ユーザーがサインオンされたか、
サインオフされたかを示します。

システムの処置: API 処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし。このメッセージは、CMAS
CICSplex SM システム・パラメーター
APISIGNMSG(NO) の設定によって抑止されている場合
があります。

モジュール: EYU0XDF1、EYU0XDF2

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. 以下のオプションから選択される値:

1=サインオフ、
2=サインオン

6. 以下のオプションから選択される値:

1=ジョブ名、
2=MAS 名

7. *ins#4*

8. 以下のオプションから選択される値:

1=*Asid*、
2=CICSplex

9. *ins#6*

宛先: COLG

EYUXD0808W W *date time applid* **API** ユーザー
(*userid*) の {ジョブ名 | MAS 名}(*ins#4*)
{*Asid* | CICSplex}(*ins#6*) からの {サイン
オフ | サインオン} が失敗しました。

説明: アプリケーション・プログラミング・インターフ
ェース (API) ユーザーが EXEC CPSM CONNECT コ
マンドまたは EXEC CPSM DISCONNECT コマンドを
発行しましたが、そのコマンドは失敗しました。ここ
で、

userid

API ユーザーを示します。この ID は
CONNECT コマンドでユーザーによって指定
されたか、稼働環境に基づいて CICSplex SM
によって判別されました。

action

どちらの EXEC CPSM コマンドが発行された
かに応じて、ユーザーがサインオンできなかったの
か、サインオフできなかったのかを示しま
す。

システムの処置: API 処理は続行されます。ユーザ
ー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セ
ットに書き込まれます。

ユーザーの処置: CONNECT コマンドまたは
DISCONNECT コマンドが正しく指定されていることを
確認してください。指定したが、問題が解決しない場合
は、例外トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集
して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XDF1、EYU0XDF2

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. 以下のオプションから選択される値:

1=サインオフ、
2=サインオン

6. 以下のオプションから選択される値:

1=ジョブ名、
2=MAS 名

7. *ins#4*

8. 以下のオプションから選択される値:

1=*Asid*、

2=CICSplex

9. *ins#6*

宛先: COLG

EYUXD0809W W *date time applid* リソースの解放に失敗したため、API ユーザー (*userid*) の **CPSM** リソースは未解決のままになります。

説明: その切断プロセスの一部として、API は、使用するために割り振られていたリソースを解放しようとしていました。しかし、解放は完全に成功しませんでした。ここで、

userid

リソースが関連付けられていた API ユーザーを示します。この ID は CONNECT コマンドでユーザーによって指定されたか、稼働環境に基づいて CICSplex SM によって判別されました。

システムの処置: API ユーザーはサインオフされます。ただし、そのユーザーの API スレッドに関連付けられているリソースの一部は、割り振られたままです。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XDF2

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0810E E *date time applid CPSM API* 環境が損傷しています。API サービスは現在使用できません。

説明: 問題が発生して、API サービス環境が損傷しました。

システムの処置: API サービス環境は終了します。CMAS 処理は続行されますが、API は使用できません。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: API サービスが必要な場合、CMAS

と CMAS に接続されているすべてのローカル MAS を停止して再始動してください。問題が解決しない場合は、例外トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XDNE

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXD0811W W *date time applid CPSM API type*
リソース不足が検出されました。

説明: API は、提供されている特定のリソースを使用果たしました。ここで、

type

リソースのタイプを次のいずれかとして示します。

- スレッド・インデックス
- スレッド・セット
- リンク・リスト
- コマンド・フリー・キュー

システムの処置: 不足のプロンプトを出した API 要求が失敗します。

ユーザーの処置: API サービスが必要な場合、CMAS と CMAS に接続されているすべてのローカル MAS を停止して再始動してください。問題が解決しない場合は、例外トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XDNE

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *type*

宛先: コンソールおよび COLG

**EYUXD0901E E SYSPRINT を指定してください
(SYSPRINT must be specified)**

説明: バッチ・リポジトリ更新ユーティリティの SYSPRINT DD ステートメントがないか、無効でした。

システムの処置: バッチ・リポジトリ更新ユーティリティは終了します。

ユーザーの処置: 有効な SYSPRINT DD ステートメントが含まれるようにバッチ・リポジトリ更新ユーティリティの JCL を訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU9XDBC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

**EYUXD0902E E SYSPRINT をオープンできません
でした (SYSPRINT could not be
opened)**

説明: バッチ・リポジトリ更新ユーティリティの SYSPRINT データ・セットをオープンできませんでした。

システムの処置: バッチ・リポジトリ更新ユーティリティは終了します。

ユーザーの処置: プリント出力先への有効な参照が含まれるようにバッチ・リポジトリ更新ユーティリティの JCL を訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU9XDBC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

**EYUXD0903E E SYSIN をオープンできませんで
した (SYSIN could not be opened)**

説明: バッチ・リポジトリ更新ユーティリティの SYSIN データ・セットをオープンできませんでした。

システムの処置: バッチ・リポジトリ更新ユーティリティは終了します。

ユーザーの処置: 有効な SYSIN DD ステートメントが含まれるようにバッチ・リポジトリ更新ユーティリティの JCL を訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU9XDBC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

**EYUXD0904E E command コマンドが失敗しました。
(command command failed.)
Response=response Reason=reason**

説明: このメッセージは、バッチ・リポジトリ更新ユ

ーティリティの実行中に発生したエラーの原因に関する追加情報を提供します。CICSplex SM API コマンド *command* が、*response* の応答値および *reason* の理由値を返しました。

システムの処置: バッチ・リポジトリ更新ユーティリティは終了します。

ユーザーの処置: バッチ・リポジトリ更新ユーティリティによって生成された追加メッセージを参照してください。コマンドの応答値および理由値の説明については、CICSplex SM コマンドを参照してください。

モジュール: EYU9XDBC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

**EYUXD0905E E CMAS *cmasname* に接続しようとし
ましたが、失敗しました (An attempt to
connect to CMAS *cmasname* failed)**

説明: バッチ・リポジトリ更新ユーティリティが、CMAS *cmasname* への接続に失敗しました。CMAS *cmasname* は、バッチ・リポジトリ更新ユーティリティでの接続およびバッチ・リポジトリ更新の実行依頼に使用可能でなければなりません。

システムの処置: バッチ・リポジトリ更新ユーティリティは終了します。

ユーザーの処置: CMAS *cmasname* が稼働していることを確認し、その CMAS がバッチ・リポジトリ更新ユーティリティで接続に使用できるようにしてください。バッチ・リポジトリ更新ユーティリティによって生成された追加メッセージに詳細が提供されています。

モジュール: EYU9XDBC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

**EYUXD0906E E CMAS *cmasname* で実行するバツ
チ・リポジトリ更新を実行依頼しようとし
ましたが、失敗しました。(An attempt
to submit a batched repository update
to run in CMAS *cmasname* failed.)**

説明: バッチ・リポジトリ更新を実行依頼しようとしたが、失敗しました。

システムの処置: バッチ・リポジトリ更新ユーティリティは終了します。

ユーザーの処置: バッチ・リポジトリ更新ユーティリティによって生成された追加メッセージを参照して、バッチ・リポジトリ更新の実行依頼が失敗した理由を判別してください。

モジュール: EYU9XDBC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXD0907E E コマンドの応答および理由を解釈できません。(Unable to interpret command response and reason.)
Response=response Reason=reason

説明: バッチ・リポジトリ更新ユーティリティーが、解釈できない *response* の応答値および *reason* の理由値を受信しました。

システムの処置: バッチ・リポジトリ更新ユーティリティーは異常終了します。

ユーザーの処置: ジョブ・ログを調べて、障害の理由を示している可能性がある、以前に発行されたメッセージがないか確認してください。CMAS のジョブ・ログも調べてください。作成されたすべてのダンプおよびトレース (CMAS によって生成されたものを含む) を調べます。障害の理由が見つけれない場合は、CMAS のジョブ・ログとトレースを収集し、バッチ・リポジトリ更新ユーティリティーのジョブ・ログおよびダンプも収集してください。IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU9XDBC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXD0908I I CMAS *masname* で実行するバッチ・リポジトリ更新が実行依頼されました (A batched repository update has been submitted to run in CMAS *masname*)

説明: バッチ・リポジトリ更新ユーティリティーが、指定された CMAS で実行するバッチ・リポジトリ更新を実行依頼しました。

システムの処置: バッチ・リポジトリ更新が、指定された CMAS で実行されます。

ユーザーの処置: 必要に応じて、指定された CMAS で実行するバッチ・リポジトリ更新のスプール出力を確認してください。

モジュール: EYU9XDBC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXD0909I I CICSplex SM バッチ・リポジトリ更新ユーティリティーは終了しています (CICSplex SM Batched Repository Update Utility is terminating)

説明: バッチ・リポジトリ更新ユーティリティーは終了しています。

システムの処置: ジョブが終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XDBC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXD0910E E フィードバック情報を取得しようとしたが、失敗しました。(An attempt to obtain feedback information failed.)

説明: フィードバック情報を取得しようとしたが、前の CICSplex SM API コマンドの失敗のために、取得も失敗しました。

システムの処置: バッチ・リポジトリ更新ユーティリティーは異常終了します。

ユーザーの処置: ジョブ・ログを調べて、バッチ・リポジトリ更新ユーティリティーによって生成された、失敗の理由を示している可能性がある追加メッセージがないか確認してください。CMAS のジョブ・ログも調べてください。作成されたすべてのダンプおよびトレース (CMAS によって生成されたものを含む) を調べます。障害の理由が見つけれない場合は、CMAS のジョブ・ログとトレースを収集し、バッチ・リポジトリ更新ユーティリティーのジョブ・ログおよびダンプも収集してください。IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU9XDBC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXD0911E E フィードバック情報にエラー・コードが含まれていませんでした (Feedback information did not contain an error code)

説明: バッチ・リポジトリ更新ユーティリティーが CICSplex SM API コマンドを発行しましたが、失敗しました。その後、エラー・コードのフィードバック情報の入手を試行して、エラーを説明する詳細情報を入手しようとしたが、エラー・コードがありませんでした。

システムの処置: バッチ・リポジトリ更新ユーティリティーは終了します。

ユーザーの処置: batchrep リポジトリ更新ユーティリティーによって発行された他のメッセージを参照してください。

モジュール: EYU9XDBC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXD0912E E フィードバック情報で提供されているエラー・コード *nn* が認識されません
(Error code *nn* supplied in feedback information not recognized)

説明: フィードバック情報で、認識されないエラー・コード *nn* が提供されました。

システムの処置: バッチ・リポジトリ更新ユーティリティーは異常終了します。

ユーザーの処置: ジョブ・ログを調べて、障害の理由を示している可能性がある、以前に発行されたメッセージがないか確認してください。CMAS のジョブ・ログも調べてください。作成されたすべてのダンプおよびトレース (CMAS によって生成されたものを含む) を調べます。障害の理由が見つけれない場合は、CMAS のジョブ・ログとトレースを収集し、バッチ・リポジトリ更新ユーティリティーのジョブ・ログおよびダンプも収集してください。IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU9XDBC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXD0913E E フィードバック情報にエラー・コード *nn* が含まれています。(Feedback information contained error code *nn* -) *feedback text*

説明: バッチ・リポジトリ更新ユーティリティーが CMAS 内でバッチ・リポジトリ更新を実行依頼しようとしたが、失敗しました。障害の理由は *feedback text* で説明され、以下のいずれかです。

この入力データ・セットおよびメンバーに対する重複要求
同じ入力データ・セット名および入力データ・セット・メンバーに対して CMAS で進行中のバッチ・リポジトリ更新が既にあるため、バッチ・リポジトリ更新ジョブを実行依頼できませんでした。

ジョブのストレージの取得の失敗

バッチ・リポジトリ更新を実行するために、CMAS でストレージ不足でした。

印刷処理中の障害

CMAS でスプール印刷出力処理中にエラーが発生したため、バッチ・リポジトリ更新は実行できませんでした。

入力データ・セットでのセキュリティ違反

バッチ・リポジトリ更新ユーティリティーのユーザー ID が入力データ・セットへのアクセスを許可されていないため、バッチ・リポジトリ更新ジョブは実行できませんでした。

スプールを使用できません

CMAS でスプール印刷出力が使用できないため、バッチ・リポジトリ更新ジョブは実行できませんでした。

入力データ・セットが見つかりません

入力データ・セットが見つからないため、バッチ・リポジトリ更新は CMAS で実行できませんでした。

出力データ・セットでのセキュリティ違反

バッチ・リポジトリ更新ユーティリティーのユーザー ID が出力データ・セットへのアクセスを許可されていないため、バッチ・リポジトリ更新ジョブは実行できませんでした。

システムの処置: バッチ・リポジトリ更新ユーティリティーは終了します。

ユーザーの処置: バッチ・リポジトリ更新を実行依頼できなくしているエラーの原因を訂正し、バッチ・リポジトリ更新ユーティリティーを再実行してください。

モジュール: EYU9XDBC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXD0914E E 入力パラメーターが無効です
(Invalid input parameter)

説明: バッチ・リポジトリ更新ユーティリティーに対して無効な入力パラメーターが検出されました。

システムの処置: バッチ・リポジトリ更新ユーティリティーが、CMAS で実行するバッチ・リポジトリ更新を実行依頼せずに終了します。

ユーザーの処置: 入力パラメーターを訂正し、バッチ・リポジトリ更新ユーティリティーを再実行してください。入力パラメーターの説明については、Administering CICSplex SM のマニュアルを参照してください。

モジュール: EYU9XDBC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXD0915E E 必須パラメーター *parameter* が指定されていません (Required parameter *parameter* is not specified)

説明: バッチ・リポジトリ更新ユーティリティーの *parameter* 入力パラメーターが必要ですが、指定されていませんでした。

システムの処置: バッチ・リポジトリ更新ユーティリティーが、CMAS で実行するバッチ・リポジトリ更新を実行依頼せずに終了します。

ユーザーの処置: 正しい入力パラメーターを指定し、バ

ッチ・リポジトリ更新ユーティリティを再実行してください。入力パラメーターの説明については、Administering CICSplex SM のマニュアルを参照してください。

モジュール: EYU9XDBC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXD0916E E 実行タイプが指定されていません
(Run type is not specified)

説明: バッチ・リポジトリ更新ユーティリティの実行タイプ入力パラメーターが必要ですが、指定されていませんでした。

システムの処置: バッチ・リポジトリ更新ユーティリティが、CMAS で実行するバッチ・リポジトリ更新を実行依頼せずに終了します。

ユーザーの処置: 正しい入力パラメーターを指定し、バッチ・リポジトリ更新ユーティリティを再実行してください。入力パラメーターの説明については、Administering CICSplex SM のマニュアルを参照してください。

モジュール: EYU9XDBC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXD1000W W *date time applid* **LIMIT** パラメーターに、サポートされている範囲 (1から9999999まで) に当てはまらない値 (*limit*) が設定されました。

説明: LIMIT パラメーターは、1 から 9999999 までの間 (両端を含む) の数値を指定する必要があります。この範囲外の値、または非数値が指定されました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: LIMIT パラメーターが正しく指定されているようにしてください。

モジュール: EYU9XDDA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *limit*

宛先: COLG およびコンソール

EYUXD1001E E *date time applid* パラメーター (*parameter*) は必須ですが、見つからないかブランクです。

説明: 必須の CMAS パラメーターが SYSIN データ・ストリームに見つかりませんでした。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: SYSIN データ・ストリームを訂正して、有効な CMAS 名を指定した SET CMAS パラメーターを含めるようにします。

モジュール: EYU9XDDA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *parameter*

宛先: COLG およびコンソール

EYUXD1002E E *date time applid* **CONTEXT** (*context*) の **OBJECT** (*object*) の検索に失敗しました。

説明: EYU9XDDA は CONTEXT *context* から OBJECT *object* のデータを取得しようとしたましたが、失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: さらにメッセージがないか @DLALOG または CMAS EYULOG を確認してください。

モジュール: EYU9XDDA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *object*
5. *context*

宛先: COLG およびコンソール

EYUXD1003I I *date time applid* 処理が完了しました。

説明: EYU9XDDA 処理が完了しました。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: これ以上の処置は不要です。

モジュール: EYU9XDDA

EYUXD1004I I • EYUXD1008E E

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG およびコンソール

EYUXD1004I I *date time applid CICSplex (cicsplex)*
を自動検出しています。

説明: EYU9XDDA 処理が CICSplex *cicsplex* を自動検出しています。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: これ以上の処置は不要です。

モジュール: EYU9XDDA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cicsplex*

宛先: COLG およびコンソール

EYUXD1005I I *date time applid CONTEXT (context)*
SCOPE (scope) への接続を確立しています。

説明: コンテキスト *context* およびスコープ *scope* への接続が確立されています。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: これ以上の処置は不要です。

モジュール: EYU9XDDA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *context*
5. *scope*

宛先: COLG およびコンソール

EYUXD1006I I *date time applid CONTEXT (context)*
への接続を終了しています。

説明: コンテキスト *context* EYU9XDDA 処理が完了しました。コンテキスト *context* への接続はクローズされます。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: これ以上の処置は不要です。

モジュール: EYU9XDDA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *context*

宛先: COLG およびコンソール

EYUXD1007W W *date time applid* リソース・タイプ
(*restype*) は認識されていないため無視されました。

説明: リソース・タイプ *restype* が認識されません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: これ以上の処置は不要です。

モジュール: EYU9XDDA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *restype*

宛先: COLG およびコンソール

EYUXD1008E E *date time applid* 現行の **CONTEXT (context)** および **SCOPE (scope)** 内でオブジェクト・タイプ (*objtype*) を取得できませんでした。

説明: EYU9XDDA は、現行のコンテキスト *context* およびスコープ *scope* から *objtype* リソース取得できませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XDDA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *objtype*
5. *context*
6. *scope*

宛先: COLG およびコンソール

EYUXD1009E E *date time applid* パラメーター
(*command*) は無効な入力です。

説明: SYSIN カードで指定されたコマンド *command* は、EYU9XDDA でサポートされていません。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: JCL カードを訂正し、再実行依頼してください。

モジュール: EYU9XDDA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *command*

宛先: COLG およびコンソール

EYUXD1010E E *date time applid* バージョン
(*versionid*) はサポートされてません。

説明: 指定された CICS Transaction Server バージョン *version* は、プログラムのこのリリースではサポートされていません。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: SET VERSION パラメーター・カードを訂正し、JCL を再実行依頼してください。

モジュール: EYU9XDDA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *versionid*

宛先: COLG およびコンソール

EYUXD1011E E *date time applid* **SYSIN** にデータが含まれていません。

説明: SYSIN から有効なデータが読み取られませんでした。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: SYSIN に有効なデータを指定し、JCL を再実行依頼してください。

モジュール: EYU9XDDA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*

宛先: COLG およびコンソール

EYUXD1012E E *date time applid* **PDS** メンバー
(*membername*) へのアクション (*action*) の
実行中にエラーが発生しました。戻りコードは (*returncode*) です。

説明: PDS メンバー *membername* に対するアクション *action* の実行中に、重大エラーが戻りコード *returncode* で発生しました。

システムの処置: プログラムは終了します。

ユーザーの処置: EYU9XDDA がアクセスしようとしている PDS に関連するメッセージがさらにないか
SYSPRINT および JOBLOG を確認してください。

モジュール: EYU9XDDA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *action*
5. *membername*
6. *returncode*

宛先: COLG およびコンソール

EYUXD1013I I *date time applid* **PDS** メンバー
(*membername*) が作成されました。

説明: データ・セット・メンバー *membername* が正常に作成されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XDDA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *membername*

宛先: COLG およびコンソール

EYUXD1014W W *date time applid* **FEEDBACK** データを使用できません。**RESPONSE**
(*response*) **REASON**(*reason*)。

説明: FEEDBACK データを取得しようとしたのですが、

EYUXD1016S S • EYUXD1019I I

RESPONSE *response* および REASON *reason* で失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: さらにメッセージがないか @DLALOG を確認してください。

モジュール: EYU9XDDA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *response*
5. *reason*

宛先: COLG およびコンソール

EYUXD1016S S *date time applid* バージョン (*version*)
では **CMAS** (*cmasname*) に接続できません。

説明: プログラムが、バージョン *version* で **CMAS** *cmasname* に接続できず、ディスカバリーを実行できませんでした。

システムの処置: プログラムは終了します。

ユーザーの処置: JCL で以下の点を確認してください。

- a. **CMAS** パラメーターが正しい **CMAS** 名 を指定し、その **CMAS** が現在実行中であることを確認します。
- b. **CMAS** が CICS Transaction Server *version* で API 接続をサポートしていることを確認します。
- c. JCL が、現在 **CMAS** が実行されている z/OS システムと同じシステムで実行されていることを確認します。

モジュール: EYU9XDDA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cmasname*
5. *version*

宛先: COLG およびコンソール

EYUXD1017I I *date time applid* オブジェクト (*object*)
に対する API コマンド (*command*) は
RESPONSE (*response*)、**REASON**
(*reason*) を返しました。

説明: オブジェクト *object* に対する API コマンド *command* により、*response* の **RESPONSE** および *reason* の **REASON** が出されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: コマンド *command* について詳しくは、CICS インフォメーション・センターを参照してください。

モジュール: EYU9XDDA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *command*
5. *object*
6. *response*
7. *reason*

宛先: COLG およびコンソール

EYUXD1018I I *date time applid* データ・ストリーム
は拒否されました。

説明: **SYSIN** データ・ストリームに正しくないデータが含まれています。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: 詳しくは、前のメッセージを参照し、JCL を訂正してください。

モジュール: EYU9XDDA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG およびコンソール

EYUXD1019I I *date time applid* **PDS** メンバー
(*membername*) が削除されました。

説明: **PDS** メンバー *membername* が、JCL に指定された **PDS** から削除されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XDDA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*

4. *membername*

宛先: COLG およびコンソール

EYUXD1021I I *date time applid CICSplex (cicsplex)*
が見つかりません。

説明: CICSplex *cicsplex* が現行の CMAS に定義されていませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: BOOK CICSplex 値が SET CMAS パラメーターのコンテキスト内で正しくなるようにしてください。

モジュール: EYU9XDDA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cicsplex*

宛先: COLG およびコンソール

EYUXD1022W W *date time applid BOOK (book) の RESOURCE (resource) のリソース限界に*
達しました。

説明: ブック *book* 内のタイプ *resource* のリソースの数が、LIMIT パラメーターの値に達しました。

システムの処置: このタイプのリソースはこれ以上ディスカバーされませんが、処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XDDA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *resource*
5. ブック (*book*)

宛先: COLG およびコンソール

EYUXD1023I I *date time applid CICS Region (region) を自動検出しています。*

説明: CICSplex *cicsplex* 内のリソースのディスカバリーが開始されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9XDDA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *region*

宛先: COLG およびコンソール

EYUXD1024I I *date time applid booktype (resource) の*
ディスカバリーは、フィルター (*filter*) に
よって抑制されました。

説明: フィルター *filter* の指定により、CICS 領域 *region* のディスカバリーが抑制されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9XDDA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *booktype*
5. *resource*
6. フィルター (*filter*)

宛先: COLG およびコンソール

EYUXD1025I I *date time applid コマンド (cmdtype) の FEEDBACK データの開始。*

説明: 詳細な FEEDBACK 情報が続きます。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: 詳しくは、後続のメッセージを参照してください。

モジュール: EYU9XDDA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cmdtype*

宛先: COLG およびコンソール

EYUXD1026I I *date time applid* **FEEDBACK** データの終了。

説明: 詳細 FEEDBACK 情報が完了しました。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: 詳しくは、前のメッセージを参照してください。

モジュール: EYU9XDDA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG およびコンソール

EYUXD1028E E *date time applid* **ORGNAME** は必須のパラメーターですが、見つかりませんでした。

説明: 必須の組織名パラメーター **ORGNAME** が **SYSIN** データ・ストリームに見つかりませんでした。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: **SYSIN** データ・ストリームを訂正して、**SET ORGNAME** エントリーを組み込んでください。

モジュール: EYU9XDDA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG およびコンソール

EYUXD1029E E *date time applid* **BOOK** パラメーター (*booktype*) が無効です。

説明: **BOOK** パラメーター *book* が無効です。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: **BOOK** パラメーターを訂正し、**JCL** を再実行依頼してください。

モジュール: EYU9XDDA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *booktype*

宛先: COLG およびコンソール

EYUXD1030E E *date time applid* **HOSTNAME** は必須のパラメーターですが、見つかりませんでした。

説明: 必須パラメーター **HOSTNAME** が、**SYSIN** データ・ストリームに指定されていませんでした。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: **SYSIN** データ・ストリームを訂正して、**SET HOSTNAME** エントリーを組み込んでください。

モジュール: EYU9XDDA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG およびコンソール

EYUXD1031E E *date time applid* 組織名パラメーター **ORGNAME(orgname)** が無効です。

説明: **SET ORGNAME** エントリーに指定された値が無効です。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: **SYSIN** データ・ストリームを訂正して、有効な **SET ORGNAME** エントリーを指定してください。

モジュール: EYU9XDDA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *orgname*

宛先: COLG およびコンソール

EYUXEnnnn メッセージ

EYUXE0001I I CPSM サブシステム (EYUX) の初期化が完了しました (CPSM subsystem (EYUX) initialization complete)

説明: CICSplex SM アドレス・スペース (CMAS) 始動プログラム、EYU9XECS が、EYUX と呼ばれる CICSplex SM MVS サブシステム・エントリーの初期設定を完了しました。CICSplex SM サブシステム・エントリーが作成されるのは、IPL 後に初めて CMAS が開始されたときのみです。それ以降の CMAS 始動は、要求されるリリースの CICSplex SM のサブシステム・エントリーが存在することを確認します。

システムの処置: CMAS初期化は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XECS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0002I I CICSplex SM のサービス・アドレス・スペースがアクティブです (CICSplex SM Service Address Space active)

説明: このメッセージは、環境サービス・システム・サービス (ESSS) アドレス・スペースの存在を確認します。IPL 後に始動する最初の CICSplex SM アドレス・スペース (CMAS) が ESSS アドレス・スペースを作成します。それ以降のすべての CMAS の始動では、アドレス・スペースがアクティブであることが確認されます。このアドレス・スペースが存在しているが、アクティブではない場合、現在開始されている CMAS は再始動する必要があります。

システムの処置: CMAS初期化は続行されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9XECS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0003I I CICSplex SM relnum のタスク終了に入りました (End of Task entered for CICSplex SM relnum)

説明: CICSplex SM アドレス・スペースの異常終了のため、CICSplex SM サブシステムのタスク終了ルーチン、EYU9XEET に入りました。ここで、

relnum

影響を受けた CICSplex SM のリリースを示します。

システムの処置: CICSplex SM は、環境サービス・シ

ステム・サービス (ESSS) アドレス・スペース内のその環境依存関係すべてを解放します。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードと、このメッセージより前に発行されたメッセージを調べて、異常終了の原因を判別してください。

モジュール: EYU9XEET

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0004E E CPSM サブシステム (EYUX) が見つかりません (CPSM subsystem (EYUX) not found)

説明: 環境サービス・システム・サービス (ESSS) ユーティリティ・プログラム、EYU9XEUT が起動されましたが、CICSplex SM MVS サブシステムが見つかりませんでした。EYUX は、EYU9XEUT で見つかることと予想されていたサブシステムの名前です。CICSplex SM サブシステムが存在するためには、少なくとも 1 つの CICSplex SM アドレス・スペース (CMAS) が実行されている必要があります。

システムの処置: ESSS ユーティリティ・プログラムは終了します。

ユーザーの処置: 実行中の CMAS があることを確認してから、ESSS ユーティリティ・プログラムを再始動してください。

モジュール: EYU9XEUT

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0005E E 無効な ESSS 関数の要求 (Invalid ESSS function request)

説明: 無効な環境サービス・システム・サービス (ESSS) ユーティリティ関数が要求されました。有効な関数は以下のとおりです。

- DUMP
- RELOAD

システムの処置: ESSS ユーティリティ・プログラムは終了します。

ユーザーの処置: ユーティリティ・プログラム JCL の SYSIN ステートメントを調べて、有効な関数を指定してください。

モジュール: EYU9XEUT

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0006E E 無効な CICSPlex SM バージョンの要求 (Invalid CICSPlex SM version request)

説明: 環境サービス・システム・サービス (ESSS) ユーティリティ関数が、CICSPlex SM の無効なバージョンに対して要求されました。

システムの処置: ESSS ユーティリティ・プログラムは終了します。

ユーザーの処置: ESSS ユーティリティ要求に指定されたバージョンを確認し、それが、ご使用のサイトで稼働している CICSPlex SM の有効なバージョンであるようにしてください。

モジュール: EYU9XEUT

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0007E E モジュールが要求されたバージョンではありません (Module is not requested version)

説明: 環境サービス・システム・サービス (ESSS) RELOAD ユーティリティ関数が要求されましたが、UTILLIB データ・セット内の新規プログラムは、要求されたバージョンではありません。

システムの処置: ESSS ユーティリティ・プログラムは終了します。

ユーザーの処置: UTILLIB データ・セットまたはユーティリティ要求を更新して、正しいバージョンを指定してください。

モジュール: EYU9XEUT

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0008E E 無効な ESSS 関数要求オプション (Invalid ESSS function request options)

説明: 環境サービス・システム・サービス (ESSS) ユーティリティ要求に、無効なオプションが含まれていました。

システムの処置: ESSS ユーティリティ・プログラムは終了します。

ユーザーの処置: 有効な ESSS ユーティリティ要求オプションのリストについては、Troubleshooting CICSPlex SM のマニュアルを参照してください。

モジュール: EYU9XEUT

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0009E E 無効な ESSS 要求構文 (Invalid ESSS request syntax)

説明: 環境サービス・システム・サービス (ESSS) ユーティリティ要求の構文が無効でした。

システムの処置: ESSS ユーティリティ・プログラムは終了します。

ユーザーの処置: ESSS ユーティリティ要求の正しい構文については、Troubleshooting CICSPlex SM のマニュアルを参照してください。

モジュール: EYU9XEUT

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0010E E CICSPlex SM バージョンが要求されました (CICSPlex SM version required)

説明: 行われた環境サービス・システム・サービス (ESSS) ユーティリティ要求が、CICSPlex SM の特定のバージョンを要求しています。

システムの処置: ESSS ユーティリティ・プログラムは終了します。

ユーザーの処置: ESSS ユーティリティ・プログラム JCL を確認し、VERSION キーワードを適切なユーティリティ要求に追加してください。ESSS ユーティリティ要求の正しい構文については、Troubleshooting CICSPlex SM のマニュアルを参照してください。

モジュール: EYU9XEUT

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0011E E プログラム *name* には、APF 許可が与えられていません。(Program *name* is not APF authorized.)

説明: 指定されたプログラムは APF 許可ライブラリ内になければなりませんが、そこにありません。ここで、

name プログラムを以下のいずれかとして示します。

EYU9XECs

CICSPlex SM アドレス・スペース (CMAS) 始動プログラム

EYU9XEUT

環境サービス・システム・サービス (ESSS) ユーティリティ・プログラム

指定されたプログラムが APF 許可ライブラリ内にある場合がありますが、そのライブラリが、APF 許可がない他のライブラリと

もに STEPLIB 連結内にある場合は無許可になるということに注意してください。

システムの処置: 許可されなかったプログラムに応じて、CMAS 初期設定または ESSS ユーティリティが終了します。

ユーザーの処置: 指定されたプログラムと STEPLIB 連結内の他のすべてのライブラリーに APF 許可が与えられているようにしてください。その後、ジョブを再始動してください。

モジュール: EYU9XECS、EYU9XEUT

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0012E E *dsname* データ・セットがオープンされません (*dsname data set not opened*)

説明: 以下のデータ・セットのいずれかが、環境サービス・システム・サービス (ESSS) ユーティリティ・プログラムでオープンできませんでした。

- SYSIN DD
- UTILPRINT DD
- UTILLIB DD

システムの処置: ESSS ユーティリティ・プログラムは終了します。

ユーザーの処置: OPEN エラーの原因を判別し、ユーティリティ・プログラムを再始動してください。

モジュール: EYU9XEUT

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0013E E **BLDL** エラーが発生しました (**BLDL error has occurred**)

説明: EYU9XEUT ユーティリティの実行中または CMAS の初期設定中に、UTILLIB データ・セット内のモジュールに対して BLDL を発行する際、エラーが発生しました。

システムの処置: エラーが発生した環境によって、ESSS ユーティリティ・プログラムまたは CMAS 初期設定を終了します。

ユーザーの処置: BLDL エラーの原因を判別してから、エラーが発生した環境に応じて、ユーティリティ・プログラムまたは CMAS を再始動してください。

モジュール: EYU9XEUT、EYU9XECS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0014E E *modname* モジュールが見つかりません (*modname module not found*)

説明: ユーティリティ・プログラム EYU9XEUT を実行している場合は、指定されたモジュールが UTILLIB データ・セット内に見つかりませんでした。または、このメッセージが CMAS 初期設定時に発行された場合は、指定されたモジュールが MVS リンク・リストまたは LPALIB 内に見つかりませんでした。

システムの処置: エラーが発生した環境によって、ESSS ユーティリティ・プログラムまたは CMAS 初期設定を終了します。

ユーザーの処置: EYU9XEUT を実行している場合は、モジュールを UTILLIB データ・セットに配置してから、ユーティリティ・プログラムを再始動してください。または、メッセージが CMAS 初期設定時に発行された場合は、そのモジュールが MVS リンク・リストまたは LPALIB 内に確実にあるようにしてください。

モジュール: EYU9XEUT、EYU9XECS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0015E E *modname* モジュールを実行できません (*modname module not executable*)

説明: 指定されたモジュールは実行不能な形式です。

システムの処置: エラーが発生した環境によって、ESSS ユーティリティ・プログラムまたは CMAS 初期設定を終了します。

ユーザーの処置: モジュールが実行不能である理由を判別してから、エラー・メッセージが生成された環境に応じて、ユーティリティ・プログラムまたは CMAS を再始動してください。

モジュール: EYU9XEUT、EYU9XECS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0016E E *type* **GETMAIN** 障害 (**GETMAIN failure**)

説明: 指定されたタイプのストレージに対する GETMAIN が失敗しました。ここで、

type 取得できなかったストレージのタイプを CSA、DSA、または ECSA として示します。

システムの処置: エラーが発生した環境によって、ESSS ユーティリティ・プログラムまたは CMAS 初期設定を終了します。

ユーザーの処置: 適切な領域サイズを増やしてから、エラーが発生した環境に応じて、ユーティリティ・プログラムまたは CMAS を再始動してください。

EYUXE0017E E • EYUXE0023E E

モジュール: EYU9XEUT、EYU9XECS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0017E E モジュール *modname* をロードできません (**Module *modname* cannot be loaded**)

説明: 指定されたモジュールをロードしようとしたましたが、失敗しました。

システムの処置: エラーが発生した環境によって、ESSS ユーティリティ・プログラムまたは CMAS 初期設定を終了します。

ユーザーの処置: LOAD 障害の理由を判別してから、エラーが発生した環境に応じて、ユーティリティ・プログラムまたは CMAS を再始動してください。

モジュール: EYU9XEUT、EYU9XECS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0019E E ESSS PC REPLACE 要求が失敗しました (**ESSS PC REPLACE request failed**)

説明: ESSS サービス・アドレス・スペース内の CICSplex SM プログラム呼び出し・ルーチンを更新しようとしたますが、失敗しました。

システムの処置: システムは、既存の PC ルーチンを使用して実行を続けます。

ユーザーの処置: EYU9XEUT ユーティリティの再実行を試行してください。問題が解決できない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

モジュール: EYU9XEUT

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0020E E ESSS IDENTIFY が失敗しました。
戻りコード = X'*code* (**ESSS IDENTIFY Failed Return code = X'*code*'**)

説明: CICSplex SM アドレス・スペース (CMAS) 始動プログラム、EYU9XECS が、環境サービス・システム・サービス (ESSS) アドレス・スペースに対して自身を識別する際に、ゼロ以外の戻りコードを受信しました。ここで、

code 16 進数の戻りコードです。

システムの処置: CMAS の初期設定は終了します。

ユーザーの処置: ESSS ユーティリティ・プログラム、EYU9XEUT の DUMP オプションを使用して、ESSS アドレス・スペース内のデータ構造に関するレポ

ートを取得してください。それから、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU9XECS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0021E E 使用可能な EYURXESS がありません (**No EYURXESS available**)

説明: CICSplex SM ESSS サービス・アドレス・スペースが見つかりませんでした。

システムの処置: EYU9XEUT ユーティリティは終了します。

ユーザーの処置: VERSION キーワードが、実行中の CICSplex SM サービス・アドレス・スペースに一致するようにしてください。

モジュール: EYU9XEUT

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0022E E ESSS がアクティブではありません (**ESSS not active**)

説明: 環境サービス・システム・サービス (ESSS) ユーティリティ JCL に、現在アクティブではない CICSplex SM のリリースに対する要求が含まれていました。

システムの処置: ESSS ユーティリティ・プログラムは終了します。

ユーザーの処置: ESSS ユーティリティ・プログラム JCL を確認し、有効な VERSION キーワードを指定してください。その後、ユーティリティ・プログラムを再実行してください。

モジュール: EYU9XEUT

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0023E E ESSS アドレス・スペースが作成されませんでした。 (**ESSS address space not created -> reason**)

説明: 環境サービス・システム・サービス (ESSS) アドレス・スペースを作成できませんでした。ここで、

reason 以下のエラーのいずれかを示します。

- EYU9X550 からの戻りコードが無効です
- EYUTXEPC をロードできません
- 領域ストレージの getmain が失敗しました
- 共通ストレージの getmain が失敗しました
- ESSS 制御ブロックのビルドが失敗しました
- EYUX550 アドレス・スペースが異常終了しました

- ESSS 初期設定がタイムアウトしました
- EYU9X550 をロードできません

このメッセージの後に、追加のサービス情報を提供する EYUXE0045I メッセージが続きます。

システムの処置: ESSS アドレス・スペースのダンプが取られます。「EYUX550 アドレス・スペースが異常終了しました」エラーの場合、ダンプのタイトルは EYU9X550.SYSTEM.FAILURE です。その他すべてのエラーの場合、ダンプのタイトルは EYU9X550.CREATE.FAIL.DUMP です。作成している CMAS が、このメッセージを発行してから終了します。

ユーザーの処置: ESSS 初期化ルーチン、EYU9X550 が以下のいずれかの場所にあることを確認してください。

- LINKLIB 内の許可ライブラリー
- 拡張リンク・パック域 (ELPA)

その後、CMAS 始動プログラムを再始動します。

メッセージの挿入部分からエラーの原因を判別してください。メッセージに応じて、エラーを訂正できる場合があります。

EYUTXEPC をロードできません

EYUTXEPC が CMAS 内の SEYUAUTH ファイルに割り振られたデータ・セットにあることを確認してから、CMAS を再始動してください。

領域ストレージの **getmain** が失敗しました

所定の IEFUSI 出口 によって EYUX550 アドレス・スペースが 16 MB 境界より上に少なくとも 32 MB のストレージを割り振りできることを確認してから、CMAS を再始動します。

共通ストレージの **getmain** が失敗しました

少なくとも 8 KB の連続した ECSA ストレージ (16 MB 境界より上の SP241) が使用可能であることを確認してから、CMAS を再始動してください。

ESSS 初期設定がタイムアウトしました

CMAS の再始動が発生するまでの間に、ESSS が使用可能になった時点で CMAS を再始動してください。そうしないと、ESSS 始動遅延の原因になったシステム・イベントが渡されることがあります。

上記で指定されたエラー、およびその他すべてのメッセージについてエラーが修正できない場合は、ダンプ、CMAS ジョブ出力、およびエラーの時点以降のシステム・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU9XECS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0024E E ESSS リリースの限度を超えました (ESSS release limit exceeded)

説明: システム内で同時に許可されている異なる CICSPlex SM リリースの最大数に達しました。

システムの処置: CICSPlex SM アドレス・スペース (CMAS) 始動プログラム、EYU9XECS は終了します。

ユーザーの処置: ご使用のシステムから、CICSPlex SM の前のリリースを少なくとも 1 つ除去してください。その後、CMAS 始動プログラムを再始動します。

モジュール: EYU9XECS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0025E E ESSS と PC ルーチンの不一致が発生 しました。(ESSS and PC Routines Mismatch Encountered.)

説明: CMAS の初期設定時、環境サービス・システム・サービス (ESSS) の IDENTIFY 関数は、ESSS アドレス・スペース・コードの生成日付と、そのコードが使用するプログラム呼び出し (PC) ルーチンが同じではないと判別しました。

システムの処置: ESSS アドレス・スペースのダンプが取られます。ダンプのタイトルは EYU9X550.CREATE.FAIL.DUMP です。作成している CMAS が、このメッセージを発行してから終了します。

メッセージ EYUXE0046E が ESSS アドレス・スペースから z/OS コンソールに発行され、モジュールの生成日とそれらのサービス・レベルに関する詳細情報が提供されます。

ユーザーの処置: 以下のことを確認してください。

- 最新バージョンのモジュール EYU9X550 および EYUTXEPC がある。
- モジュール EYU9X550 を含むライブラリーがリンク・リストにある。

MVS コマンド **F LLA,REFRESH** を発行して、LNKLST LOOKASIDE アドレス・スペース (LLA) をリフレッシュしてください。その後、CMAS の再始動を試行してください。この問題が再発する場合は、システムを再 IPL する必要があります。

モジュール: EYU9XECS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0026I I EYU9XECS リカバリー・ルーチンに入りました (EYU9XECS Recovery Routine Entered)

説明: 始動プログラム EYU9XECS の異常終了のため、CICSplex SM アドレス・スペース (CMAS) 始動リカバリー・ルーチンに入りました。

システムの処置: CICSplex SM は、異常終了からのリカバリーと、SVC ダンプの取得を試みます。

ユーザーの処置: SVC ダンプと、このメッセージより前に発行されたメッセージ (使用可能な場合) を調べて、異常終了の原因を判別してください。

モジュール: EYU9XECS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0027W W ロック・リカバリーに失敗しました。(Lock recovery failed -> reason

説明: CICSplex SM は、その独自の論理ロック方式を使用して、その共用リソースへのアクセスを逐次化します。CICSplex SM アドレス・スペース (CMAS) または管理対象アプリケーション・システム (MAS) の終了時、CICSplex SM によって指定されている MVS タスク終了ルーチンが、ロック・リカバリー PC ルーチンを以下のために呼び出します。

- 保持されているすべてのロックの制御を解放する。
- CMAS または MAS がロックの制御を待っているキューからその CMAS または MAS を除去する。

このロック・リカバリー・ルーチンが、以下の *reasons* のいずれかのために失敗しました。

1. 作業域のストレージ不足です。PC ルーチンに必要なローカルの作業域のストレージが不十分でした。
2. パラメーター・リストがアドレス可能ではありません。PC ルーチンへの入力として渡されたパラメーター・リストが、アドレッシングできなかったストレージ内にありました。
3. 無効なパラメーターです。1 つ以上の無効パラメーターが、PC ルーチンへの入力として渡されたパラメーター・リストに見つかりました。
4. 異常終了です。異常終了が PC ルーチンによって代行受信されました。

システムの処置: システム処理に対する影響は、失敗の理由によって異なります。

1. PC ルーチンがその責任を果たすことができません。これにより、関連したアドレス・スペース (つまり、CMAS に関連付けられている MAS または MAS に関連付けられている CMAS) 内でエラーとなる場合があります。また、最初に、関連するアド

レス・スペースをすべて終了しないと、終了しているアドレス・スペースを再始動できない場合もあります。

2. PC ルーチンがその責任を果たすことができません。これにより、関連したアドレス・スペース (つまり、CMAS に関連付けられている MAS または MAS に関連付けられている CMAS) 内でエラーとなる場合があります。また、最初に、関連するアドレス・スペースをすべて終了しないと、終了しているアドレス・スペースを再始動できない場合もあります。
3. PC ルーチンがその責任を果たすことができません。これにより、関連したアドレス・スペース (つまり、CMAS に関連付けられている MAS または MAS に関連付けられている CMAS) 内でエラーとなる場合があります。また、最初に、関連するアドレス・スペースをすべて終了しないと、終了しているアドレス・スペースを再始動できない場合もあります。
4. 異常終了が発生する前に、PC ルーチンがその責任をなんとか部分的に果たすことができた可能性があります。そのため、エラーの結果は予測できません。タスク終了出口に制御を戻す前に、SVC ダンプの取得が試行され、ソフトウェア・エラー記録要求が MVS LOGREC 機能に対して出されます。

ユーザーの処置: 適切な対応は、障害の理由によって異なります。

1. 終了しているアドレス・スペースに関連付けられているすべてのアドレス・スペースを終了してください。その後、すべてのアドレス・スペースを再始動します。問題が繰り返し起こる場合は、IBM サポートに連絡してください。
2. 終了しているアドレス・スペースに関連付けられているすべてのアドレス・スペースを終了してください。その後、すべてのアドレス・スペースを再始動します。問題が繰り返し起こる場合は、IBM サポートに連絡してください。
3. 終了しているアドレス・スペースに関連付けられているすべてのアドレス・スペースを終了してください。その後、すべてのアドレス・スペースを再始動します。問題が繰り返し起こる場合は、IBM サポートに連絡してください。
4. 以下の情報を収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

- SVC ダンプ (取得された場合)
- ジョブ・ログ、および
- SYS1.LOGREC データ・セットに書き込まれたレコード

モジュール: EYU9XEET

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0028I I CICSplex SM *relnum*, JOB *jobname*
 のメモリ終了に入りました。戻りコード
 = X'*code*' (End of Memory entered for
 CICSplex SM *relnum*, JOB *jobname*
 Return code = X'*code*')

説明: CICSplex SM アドレス・スペースの異常終了のため、CICSplex SM サブシステムのメモリ終了ルーチン、EYU9XEEM に入りました。ここで、

relnum

影響を受けた CICSplex SM のリリースを示します。

jobname

終了したアドレス・スペースの名前です。

code 16 進数の戻りコードです。

システムの処置: CICSplex SM は、環境サービス・システム・サービス (ESSS) アドレス・スペース内のその環境依存関係すべてを解放します。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードと、このメッセージより前に発行されたメッセージを調べて、異常終了の原因を判別してください。

モジュール: EYU9XEEM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0029E E ESSS 接続の終了に失敗しました。
 戻りコード = X'*code*' (ESSS connection
 termination failed: Return Code =
 X'*code*')

説明: CICSplex SM サブシステムのタスク終了ルーチン、EYU9XEET が、CMAS または MAS と環境サービス・システム・サービス (ESSS) アドレス・スペースの間の接続を終了できませんでした。ここで、

code 16 進数の戻りコードです。

システムの処置: タスク終了の処理は続行されます。ただし、一部の依存関係が CMAS または MAS と ESSS アドレス・スペースの間に引き続き存在します。

ユーザーの処置: ESSS ユーティリティ・プログラム、EYU9XEUT の DUMP オプションを使用して、ESSS アドレス・スペース内のデータ構造をダンプしてください。ダンプ出力を収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU9XEET

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0030E E サブシステム機能ルーティングのストレージ不足です (Insufficient storage for Subsystem function routing)

説明: CICSplex SM サブシステム・プリプロセッサ・ルーチン (EYU9XEER) が、タスク終了またはメモリ終了の処理用に作業域を作成しようとしたましたが、使用可能なストレージが不十分でした。ルーチンには、16 MB 境界より上に約 100 バイトが必要です。

システムの処置: サブシステム・プリプロセッサ・ルーチンは終了します。CICSplex SM 関連のタスク終了およびメモリ終了の処理は発生しません。

ユーザーの処置: 該当する領域サイズを増やしてください。

モジュール: EYU9XEER

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0031E E 機能 (funcname) は実行されませんでした。MAS がアクティブです (Function (funcname) not performed: MASs are active)

説明: アクティブな CICSplex SM MAS が原因で、TERMINATE 要求または REPLACE 要求が処理できません。

システムの処置: EYU9XEUT ユーティリティは終了します。

ユーザーの処置: MAS 領域内の CICSplex SM 機能がシャットダウンされていることを確認してから、EYU9XEUT を再実行してください。

モジュール: EYU9XEUT

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0032E E CICSplex SM *relnum* サービス・アドレス・スペースのダンプの終了が要求されました。(CICSplex SM *relnum* Service Address Space Dump termination requested.) ダンプ・データ・セットが使用可能な場合は、Y と応答してください。

説明: プログラム呼び出し (PC) ルーチンが、環境サービス・システム・サービス (ESSS) アドレス・スペースの内部データ構造に破損がある可能性を検出しました。ここで、

relnum

影響を受けた CICSplex SM のリリースを示します。

システムの処置: このメッセージは、応答が受信される

EYUXE0033E E • EYUXE0037E E

までコンソールに残ります。

Y の応答が受信されると、システム・ダンプが取られて、ESSS アドレス・スペースは終了します。ESSS アドレス・スペースに接続されていた CMAS または MAS も、ESSS が使用できない結果として異常終了します。CMAS または MAS の異常終了に関連した追加メッセージが、コンソールに発行される場合があります。

ユーザーの処置: システム・ダンプ・データ・セットが使用可能であることを確認してから、このメッセージに Y の応答をしてください。ダンプ出力を収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

CMAS または MAS の異常終了に関連したメッセージは、ESSS アドレス・スペースの終了の結果であるため、無視できます。

モジュール:

宛先: コンソール

EYUXE0033E E ESSS のシャットダウンが検出され、CMAS 始動は終了しました (**ESSS Shutdown detected: CMAS startup terminated**)

説明: CMAS の初期設定時、CICSplex SM は、ESSS サービス・アドレス・スペースがシャットダウンされていることを検出しました。

システムの処置: CMAS 始動は終了し、CICS ジョブも終了します。

ユーザーの処置: ESSS のシャットダウンが完了するまで待って、CMAS を再始動してください。

モジュール: EYU9XECS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0034E E *module* に対して無効なバージョンが検出されました。*version* が検出されましたが、*version* が予期されていました (**Invalid Version Detected for *module*, found *version*, expected *version***)

説明: このメッセージは、ESSS アドレス・スペースの初期化または再始動の準備の際、指定されたモジュールをロード中、CMAS 始動時に発行されました。

モジュールの CICSplex SM バージョンが、EYU9XECS のバージョンに一致しません。*module* に可能な値は以下のとおりです。

EYU9XEEM (メモリー終了出口) EYU9XEET (タスク終了出口) EYUTXEPC (ESSS PC ルーチン)

システムの処置: CMAS 始動が失敗し、ESSS アドレ

ス・スペースは作成されません。

ユーザーの処置: 検索順序 (1. steplib/joblib 2. リンク・リスト 3. LPA) の連結内の最初にあるロード・ライブラリーに、指定されたモジュールが正しいバージョンで存在するようにしてください。CMAS を再始動します。

モジュール: EYU9XECS

宛先: コンソール

EYUXE0035W W サイト・セキュリティのユーザー出口プログラム、EYU9XESV が見つかりません (**Site security user exit program, EYU9XESV, not found**)

説明: セキュリティ出口プログラムが見つかりませんでした。

システムの処置: システムは続行し、デフォルトのセキュリティ妥当性検査処理を使用します。

ユーザーの処置: セキュリティ妥当性検査出口を作成した場合は、EYU9XESV が CMAS STEPLIB 連結内のライブラリーにあることを確認してください。

モジュール: EYU9XECS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0036E E アドレス・スペース作成プログラムが失敗しました。 (**Address Space Create program failed -> R15=X'xxxxxxxx'**)

説明: EYUX320 アドレス・スペースを作成する際に、アドレス・スペース作成プログラムへの CMAS の LINK が、汎用レジスター 15 の、指定されたゼロ以外の戻りコードで終了しました。

システムの処置: CMAS アドレス・スペースのダンプが取られます。ダンプのタイトルは EYU9XECS.AS.CREATE.FAIL.DUMP です。その後、CMAS がこのメッセージを発行して終了します。

ユーザーの処置: ダンプ、CMAS ジョブ出力、エラーの時点以降のシステム・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU9XECS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0037E E サブシステム機能タスク終了 (EOT) のストレージ不足です (**Insufficient storage for Subsystem function End Of Task (EOT)**)

説明: CICSplex SM サブシステム・タスク終了 (EOT)

ルーチン (EYU9XEET) が、CMAS または MAS に関するタスク終了処理用に作業域を作成しようとしたが、使用可能なストレージが不十分でした。ルーチンには、16 MB 境界より上に約 600 バイトが必要です。

システムの処置: サブシステム EOT ルーチンは終了します。CMAS または MAS に関する CICSplex SM 関連のタスク終了処理は発生しません。

ユーザーの処置: 該当する領域サイズを増やしてください。

モジュール: EYU9XEET

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0038I I ESSS がアクティブではありません - ESSS アドレス・スペースが開始されます (ESSS not active - ESSS address space is being started.)

説明: 環境サービス・システム・サービス (ESSS) アドレス・スペースがアクティブではありません。LPAR の IPL 後に始動する最初の CICSplex SM アドレス・スペース (CMAS) が ESSS アドレス・スペースを作成します。それ以降のすべての CMAS の始動では、アドレス・スペースがアクティブであることが確認されます。

システムの処置: CMAS初期化は続行されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9XECS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0039I I jobnameESSS アドレス・スペース初期設定が開始中です。(jobnameESSS address space initialization starting.)

説明: 環境サービス・システム・サービス (ESSS) アドレス・スペースの初期設定が開始されました。

システムの処置: ESSS 初期設定は続行されます。ESSS の初期設定が終了すると、CMAS 初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9X550

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0040I I jobnameESSS アドレス・スペースがシャットダウンされました。(jobnameESSS address space has shut down.)

説明: 環境サービス・システム・サービス (ESSS) アドレス・スペースのシャットダウン手順が完了しました。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9X550

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0041I I jobnameESSS アドレス・スペースが function を開始しています。(jobnameESSS address space startingfunction.)

説明: 環境サービス・システム・サービス (ESSS) アドレス・スペースが関数 *function* の実行を開始しました。

function

以下のいずれかです。

- INITIALIZE
- RESTART
- TERMINATE
- REBUILD
- TERMINATE WITH DUMP
- DUMP ESSS ASID

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9X550

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0042I I jobnameESSS アドレス・スペースが function を完了しました。(jobnameESSS address space completedfunction.)

説明: 環境サービス・システム・サービス (ESSS) アドレス・スペースが関数 *function* の実行を完了しました。

function

以下のいずれかです。

- INITIALIZE
- RESTART
- TERMINATE
- REBUILD
- TERMINATE WITH DUMP
- DUMP ESSS ASID

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9X550

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0043E E *jobname***ESSS** アドレス・スペースが
function をエラーで完了しました。
(*jobname***ESSS address space**
completed*function***with an error.**)

説明: 環境サービス・システム・サービス (ESSS) アドレス・スペースが関数 *function* を実行する際にエラーが発生しました。

function

以下のいずれかです。

- INITIALIZE
- RESTART
- TERMINATE
- REBUILD
- TERMINATE WITH DUMP
- DUMP ESSS ASID

システムの処置: 実行された関数に応じて、システムは以下の処置を実行することがあります。

- INITIALIZE と RESTART の場合: ダンプが取られ、終了クリーンアップが実行され、関数の呼び出し元が通知されます。
- TERMINATE の場合: 終了処理は続行します。
- REBUILD の場合: PC ルーチン・テーブルの再構築の試行中に、TERMINATE 呼び出しが行われなれます。
- TERMINATE WITH DUMP の場合: TERMINATE 呼び出しが行われます。
- DUMP ESSS ASID の場合: この ESSS 関数呼び出しを要求した PC ルーチンに制御が戻ります。

ユーザーの処置: SVC ダンプ (使用可能な場合) と、このメッセージより前に発行されたメッセージを調べて、失敗の原因を判別してください。

モジュール: EYU9XECS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0044E E **ESSS** アドレス・スペースを使用できません - **CMAS** は終了します。(ESSS
address space not available - CMAS
terminating.)

説明: 環境サービス・システム・サービス (ESSS) アドレス・スペースが使用できないので、CICSplex SM アドレス・スペース (CMAS) が処理を続行できません。

システムの処置: CMAS の終了が開始されます。

ユーザーの処置: エラー・メッセージの原因を判別してください。

モジュール: EYU9XECS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0045I I **RETURN / REASON / DIAG**
=return/reason/diag

説明: この保守サービス・メッセージの前にメッセージ EYUXE0023E が発行されます。この保守サービス・メッセージは、環境サービス・システム・サービス (ESSS) アドレス・スペース・プログラムからの戻りコード、理由コード、診断コードを表示するために発行されます。

システムの処置: メッセージ EYUXE0023E のシステム処置を参照してください。

ユーザーの処置: メッセージ EYUXE0023E のユーザーの処置を参照してください。

RETURN、REASON、DIAG コードが要求されたら、IBM サービスに渡す必要があります。

モジュール: EYU9XECS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0046E E *jobname***ESSS** モジュールが
EYU9X550 (LVLPPnnnnn
MM/DD/YYYY) と **EYUTXEPC**
(LVLPPnnnnn MM/DD/YYYY) の間で不
一致です。(*jobname***ESSS module**
mismatch between EYU9X550
(LVLPPnnnnn MM/DD/YYYY) and
EYUTXEPC (LVLPPnnnnn
MM/DD/YYYY).)

説明: CMAS の初期設定時、環境サービス・システム・サービス (ESSS) の IDENTIFY 関数は、ESSS アドレス・スペース・コードのサービス・レベル (LVL) と、そのコードが使用するプログラム呼び出し (PC) ルーチン・モジュール (EYU9TXEPC) が同じではないと判別しました。

システムの処置: ESSS アドレス・スペースのダンプが取られます。ダンプのタイトルは EYU9X550.CREATE.FAIL.DUMP です。作成している CMAS が、このメッセージを発行してから終了します。

ESSS アドレス・スペースの開始を試行している CMAS により、メッセージ EYUXE0025E も発行されます。

ユーザーの処置: 以下のことを確認してください。

- 最新バージョンのモジュール EYU9X550 および EYUTXEPC がある。
- モジュール EYU9X550 を含むライブラリーがリンク・リストにある。

MVS コマンド **F LLA,REFRESH** を発行して、LNKLST LOOKASIDE アドレス・スペース (LLA) をリフレッシュ

ュしてから、CMAS の再始動を試行してください。この問題が再発する場合は、システムを再 IPL する必要があります。

モジュール: EYU9X550

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0047E E CICSplex SM relnum PC ルーチン *routine_name* 内での異常終了
X'abend_code' を再試行できませんでした。
(Abend X'abend_code' in CICSplex SM relnumPC routineroutine_namecould not be retried.)

説明: CPSM PC ルーチン内での異常終了の発生時に、FRR は再試行に失敗しました。

abend_code

PC ルーチンの完了コードです。

relnum

影響を受けた CICSplex SM のリリースを示します。

routine_name

異常終了が発生している PC ルーチンの名前です。

システムの処置: システム・トレースが発行され、異常終了の情報が記録されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYUTXEPC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0048E E このレベルのオペレーティング・システムでは **CMAS** の初期設定はサポートされていません **(CMAS initialization is not supported on this level of operating system)**

EYUXLnnnn メッセージ

EYUXL0001I I addspace 初期設定プログラムが開始中です **(addspace initialization program starting)**

説明: CICSplex SM アドレス・スペース (CMAS) または管理対象アプリケーション・システム (MAS) の始動プログラムが初期設定されています。

システムの処置: 初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9XLCS

説明: CMAS 始動は、オペレーティング・システムのリリース・レベルが CICS の実行に必要な前提条件リリース・レベルより前のものであること、またはオペレーティング・システムに必要な保守が適用されていないことを検出しました。

システムの処置: CMAS 始動は終了します。CICS ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: CICS TS プログラム・ディレクトリを参照し、前提条件となるオペレーティング・システム・リリース・レベル以上をインストールしてください。また、オペレーティング・システムの前提条件となるリストされた保守が適用されていることも確認してください。

モジュール: EYU9XECS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXE0049E E このレベルのハードウェアでは **CMAS** の初期設定はサポートされていません **(CMAS initialization is not supported on this level of hardware)**

説明: CMAS 始動は、ハードウェアのレベルが CICS の実行に必要な前提条件より前であることを検出しました。

システムの処置: CMAS 始動は終了します。CICS ジョブ・ステップは終了して、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの処置: 必要な前提条件ハードウェアを確認するには、CICS TS プログラム・ディレクトリを参照してください。

モジュール: EYU9XECS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0002I I addspace PLTPI プログラムが開始中です **(addspace PLTPI program starting)**

説明: CICSplex SM アドレス・スペース (CMAS) または管理対象アプリケーション・システム (MAS) の始動プログラムが初期設定されています。

システムの処置: 初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9XLCS

EYUXL0003I I • EYUXL0006I I

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0003I I *jobname* **CPSM** バージョン *nnnn*
comptype の始動が進行中です (*jobname*
CPSM Version *nnnn* *comptype* **startup**
in progress)

説明: CICSplex SM コンポーネントは、初期設定プロセスを開始しています。ここで、

jobname

初期化コンポーネントのジョブ名です。

nnnn

コンポーネントの初期設定が行われている CICSplex SM のバージョンです。例えば、CICS Transaction Server for z/OS®, バージョン 4 リリース 2 の場合は、0420 です。

comptype

コンポーネントを以下のいずれかとして示します。

CMAS CICSplex SM アドレス・スペース

LMAS ローカル管理対象アプリケーション・システム

SMSS シングル・サーバー領域

システムの処置: 初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU1XLEV、EYU9XLEV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0004I I *date time applid* **ESSS** 接続が完了しました。

説明: カーネル・リンケージ (KNL) コンポーネントと、環境サービス・システム・サービス (ESSS) の間の接続が正常に確立されました。

システムの処置: CICSplex SM の初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9XLEV

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0005I I *component* の主オブジェクトが作成されました (**Major Object created for component**)

説明: 指定されたコンポーネントのロード・モジュールがロードされ、公開ディレクトリーおよび専用ディレクトリーが作成されました。コンポーネントのすべての基本制御ブロックが取得され、形式設定されました。

component

コンポーネントを以下のいずれかとして示します。

- カーネル・リンケージ
- トレース・サービス
- メッセージ・サービス
- 外部サービス
- 共通サービス
- キャッシュ・マネージャー
- データ・リポジトリ
- キュー・マネージャー
- 通信
- トポロジー
- Monitor Services
- リアルタイム分析
- ワークロード・マネージャー
- MAS (管理対象アプリケーション・システム)
- GUI サービス・インターフェース・マネージャー

システムの処置: 初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU1XLBE、EYU9XLBE

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0006I I *date time applid* {BAS | 通信 | 共通サービス | データ・キャッシュ | データ・リポジトリ | モニター | パラメーター・サービス | キュー・マネージャー | RTA | トポロジー | WLM} 初期化を開始しました。

説明: カーネル・リンケージ・コンポーネントが、指定されたコンポーネントの初期設定を要求しました。

CICSplex SM コンポーネントは、以下の順序で初期化されます。

- メッセージ・サービス

- パラメーター・サービス
- 共通サービス
- データ・キャッシュ・マネージャー (CMAS のみ)
- キュー・マネージャー
- データ・リポジトリ (CMAS のみ)
- 通信
- トポロジー・サービス (CMAS のみ)
- モニター・サービス (CMAS のみ)
- ワークロード・マネージャー
- リアルタイム分析 (CMAS のみ)

システムの処置: 指定されたコンポーネントの初期設定が開始されます。追加のメッセージが発行され、コンポーネント初期設定の進行状況が記録されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール:

EYU0XLBI、EYU3XLBI、EYU3XLBV、EYU9XLEV

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=BAS、
2=通信、
3=共通サービス、
4=データ・キャッシュ、
5=データ・リポジトリ、
6=モニター、
7=パラメーター・サービス、
8=キュー・マネージャー、
9=RTA、
10=トポロジー、
11=WLM

宛先: COLG

EYUXL0007I I *date time applid {CMAS | LMAS | SMSS}* フェーズ {II | III | IV} の初期化が完了しました。

説明: 指定されたタイプの CICSplex SM コンポーネントが、いずれかの初期設定フェーズを完了しました。ここで、

comptype

初期設定中のコンポーネントを以下のいずれかとして示します。

CMAS

CICSplex SM アドレス・スペース

LMAS

ローカル管理対象アプリケーション・システム

nn

正常に完了した初期設定フェーズを示します。アドレス・スペースのタイプに応じて、1 から 4 の任意の初期設定フェーズが完了する必要があります。このメッセージは、以下のフェーズの完了後に表示されます。

II

すべてのカーネル・リンケージ・サブコンポーネントを初期化し、環境サービス・システム・サービス (ESSS) との接続を確立します。

III

すべての CICSplex SM 基本サービス・コンポーネントを初期化します。

IV

サポートされるすべての CICSplex を ESSS アドレス・スペースに登録します。

システムの処置: CICSplex SM の初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU1XLEV、EYU9XLEV。

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=CMAS、

EYUXL0008I I • EYUXL0013I I

2=LMAS、
3=SMSS

5. 以下のオプションから選択される値:

1=II、
2=III、
3=IV

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0008I I *date time applid* **CICSplex** 登録が完了しました。

説明: 初期化中の CMAS で管理されているすべての CICSplex が環境サービス・システム・サービス (ESSS) に登録されました。このメッセージは、CMAS が初期化されている場合にのみ発行されます。

システムの処置: CMAS初期化は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XLEV

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0010I I *date time applid* **CMAS** の初期化が完了しました。

説明: CICSplex SM アドレス・スペース (CMAS) が正常に初期設定されました。

システムの処置: CICSplex SM の初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU1XLEV、EYU9XLEV

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0011I I *date time applid* {CMAS | LMAS | SMSS} シャットダウンが進行中です。

説明: 指定されたタイプの CICSplex SM コンポーネントがシャットダウン中です。ここで、*comptype* はコ

ンポーネントを以下のいずれかとして示します。

CMAS

CICSplex SM アドレス・スペース

LMAS

ローカル管理対象アプリケーション・システム

システムの処置: 指定された CICSplex SM コンポーネントのシャットダウンは続行されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU1XLEV、EYU9XLEV

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=CMAS、
2=LMAS、
3=SMSS

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0012I I **ESSS** の切断が完了しました (**ESSS disconnect complete**)

説明: CICSplex SM 初期設定時に確立された環境サービス・システム・サービス (ESSS) アドレス・スペースへの接続が終了しました。ESSS からの切断が、CICSplex SM アドレス・スペース (CMAS) またはローカル管理対象アプリケーション・システム (MAS) の通常シャットダウン中に発生します。

システムの処置: CICSplex SM のシャットダウンは続行されます。ESSS アドレス・スペースは使用できなくなりました。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XLEV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0013I I *date time applid* **CICSplex** 登録を終了しました。

説明: 環境サービス・システム・サービス (ESSS) 内のこの CICSplex SM アドレス・スペース (CMAS) 前に登録されていたすべての CICSplex は登録解除されます。その他のアドレス・スペースは、この CMAS に接続できません。

システムの処置: CMAS は、他の CICSplex SM アドレス・スペースに接続せずに実行を続けます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0XLES

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUXL0015I I *date time applid {BAS | 通信 | 共通サービス | データ・キャッシュ | データ・リポジトリ | モニター | メッセージ・サービス | キュー・マネージャー | RTA | トポロジー | WLM}* 終了が要求されました。

説明: カーネル・リンケージ・コンポーネントが、CICSplex SM シャットダウンの一部として、指定されたコンポーネントの終了を要求しました。CICSplex SM コンポーネントは、以下の順序で終了されます。

- リアルタイム分析 (CMAS のみ)
- ワークロード・マネージャー
- モニター・サービス (CMAS のみ)
- トポロジー・サービス (CMAS のみ)
- 通信
- データ・リポジトリ (CMAS のみ)
- キュー・マネージャー
- データ・キャッシュ・マネージャー (CMAS のみ)
- 共通サービス
- パラメーター・サービス
- メッセージ・サービス

システムの処置: 指定されたコンポーネントの終了処理が開始されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0XLES、EYU3XLES

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=BAS、
2=通信、
3=共通サービス、
4=データ・キャッシュ、
5=データ・リポジトリ、
6=モニター、
7=メッセージ・サービス、
8=キュー・マネージャー、
9=RTA、
10=トポロジー、
11=WLM

宛先: COLG

EYUXL0016I I *addspace* シャットダウンが完了しました (*addspace shutdown complete*)

説明: 指定されたタイプの CICSplex SM コンポーネントが正常にシャットダウンされました。ここで、

addspace

アドレス・スペースのタイプを以下のいずれかとして示します。

CMAS CICSplex SM アドレス・スペース

LMAS ローカル管理対象アプリケーション・システム

SMSS シングル・サーバー領域

システムの処置: 指定されたアドレス・スペースは存在しなくなりました。CMAS またはローカル MAS であった場合、制御は CICS に返されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU1XLEV、EYU9XLEV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0017I I **CMAS** フェーズ **0** の初期化が完了しました (**CMAS Phase 0 initialization complete**)

説明: CICSplex SM アドレス・スペース (CMAS) の始動プログラムが完了しました。

システムの処置: CMAS初期化は続行されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9XLCS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0018I I *comptype* の再始動が進行中です
(*comptype restart in progress*)

説明: CICSplex SM アドレス・スペース (CMAS) のシャットダウンまたは異常終了の後に、指定されたタイプの CICSplex SM コンポーネントがそれ自体を再始動しようとしています。すべての CICSplex SM コンポーネントがシャットダウンされ、制御はそれらのコンポーネントの始動プロセスに戻されました。ここで、

comptype

再始動しているコンポーネントがローカル
MAS (LMAS) であることを示します。

システムの処置: MAS は、それ自体の再始動を試行して、終了された CMAS が初期化して環境サービス・システム・サービス (ESSS) への接続を確立するまで待機を試みます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU1XLEV、EYU9XLEV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0019I I *date time applid comptype* 再始動が完了しました。

説明: 指定されたタイプの CICSplex SM コンポーネントが、正常に再始動され、CICSplex SM アドレス・スペース (CMAS) へのその接続を再確立しました。ここで、

comptype

再始動されたコンポーネントがローカル MAS
(LMAS) であることを示します。

システムの処置: MAS の初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XLEV

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *comptype*

宛先: COLG

EYUXL0020I I *date time applid {SYSID(| } sysname
{ } の | } {CICSplex(| } plexname { }
に対する | } ESSS* 接続が進行中です。

説明: カーネル・リンケージ (KNL) サブコンポーネントが、初期設定の一部として、環境サービス・システム・サービス (ESSS) と CMAS または MAS の間の接続の確立を試行しています。この接続により、CICSplex SM は特定の必要な MVS プログラム呼び出しルーチンにアクセスできます。ここで、*target* は接続のターゲットを示します。CMAS の場合は、ターゲット情報はありません。接続先の CMAS は、メッセージ接頭部の APPLID によって識別できます。MAS の場合、*target* は以下のいずれかです。

CICSplex (plexname)

CMAS が指定されていなかった場合に、MAS
始動パラメーターに指定された CICSplex。

SYSID (cmasname) の CICSplex (plexname) に対する

MAS 始動パラメーターに指定された
CICSplex および CMAS。

システムの処置: ESSS への接続を確立する試みが続行されます。このメッセージの後に、接続の試行の成功または失敗を示す、2 つのメッセージのいずれかが続きます。EYUXL0004I は接続が成功したことを示し、EYUXL0105E は失敗したことを示します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XLEV

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=CICSplex(
2=

5. *plexname*
6. 以下のオプションから選択される値:

1=) に対する、
2=

7. 以下のオプションから選択される値:

1=SYSID(
2=

8. *sysname*

9. 以下のオプションから選択される値:

1=) の、
2=

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0021I I *component* 初期化を開始しました

説明: 指定されたコンポーネントの初期設定が開始されました。

component

コンポーネントを以下のいずれかとして示します。

- トレース・サービス
- メッセージ・サービス

システムの処置: メッセージ・サービス・コンポーネントがまだアクティブになっていないため、このメッセージは外部メッセージ・プロセッサによって発行されます。初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU3XLBV、EYU9XLEV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0022I I *addspace* フェーズ I の初期化が完了しました (*addspace Phase I initialization complete*)

説明: 指定されたタイプのアドレス・スペースが、最初の初期設定フェーズを完了しました。このフェーズでは、CICSplex SM 要件が検証され、主オブジェクト・ベース環境がセットアップされます。ここで、

addspace

初期設定中のアドレス・スペースのタイプを以下のいずれかとして示します。

CMAS CICSplex SM アドレス・スペース

LMAS ローカル管理対象アプリケーション・システム

SMSS シングル・サーバー領域

システムの処置: CICSplex SM の初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XLEV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0023I I トレース・サービスの終了が要求されました (**Trace Services termination requested**)

説明: カーネル・リンケージ・コンポーネントが、CICSplex SM シャットダウンの一部としてトレース・サービスの終了を要求しました。

システムの処置: メッセージ・サービス・コンポーネントがアクティブでなくなったため、このメッセージは外部メッセージ・プロセッサによって発行されます。トレース・サービスの終了が開始されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0XLES、EYU3XLES

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0024I I CICSplex SM サブシステムのアクティベーションの待機中です (**Waiting for CICSplex SM subsystem activation**)

説明: 環境サービス・システム・サービス (ESSS) サブシステムがまだアクティブでないため、ローカル MAS の初期設定は中断されました。ESSS は、MVS イメージ内で始動するために最初の CMAS によって初期化されます。このメッセージの前には、メッセージ EYUXL0103E が発行されています。

システムの処置: 初期設定が中断されます。CICS システムはアクティブのままですが、CICSplex SM に認識されません。CICS システムがアクティブである限り、MAS は定期的に検査して ESSS サブシステムがアクティブかどうかを判別します。ESSS サブシステムが使用可能になると、MAS の初期設定が完了します。

ユーザーの処置: CMAS を始動してください。

モジュール: EYU9XLBE

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0025I I CICSplex SM リリースの ESSS を待機中です (**Waiting for ESSS for CICSplex SM release**)

説明: リリース記述子ブロック (RDB) が CICSplex SM サブシステム (CPSM) からまだ使用できないため、ローカル MAS の初期設定は中断されました。RDB は、実行している CICSplex SM リリースを示し、最初の CMAS の初期設定時に作成されています。このメッセージの前には、メッセージ EYUXL0104E が発行されています。

システムの処置: CICS システムは、正常に実行を続けますが、CICSplex SM に認識されていません。CICS システムがアクティブである限り、MAS は定期的に

EYUXL0026I I • EYUXL0027I I

RDB の検索を試行します。RDB が使用可能になると、MAS の初期設定が完了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XLBE

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

**EYUXL0026I I CICSplex SM リリースの ESSS がアクティブになるのを待機中です
(Waiting for ESSS to become active for CICSplex SM release)**

説明: 環境サービス・システム・サービス (ESSS) アドレス・スペースが、リリース記述子ブロック (RDB) によって示される CICSplex SM のリリースに対してアクティブでないことが検出されたため、ローカル MAS の初期設定は中断されました。

システムの処置: ESSS アドレス・スペースがアクティブになるまで、MAS の初期設定は中断されます。

ユーザーの処置: CMAS を始動することで、ESSS アドレス・スペースを再始動してください。

モジュール: EYU9XLBE

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

**EYUXL0027I I date time applid plexname 内の sysname の {API | EUI | RTA} から自動再始動要求が {イベント | ユーザー ID} requestor によって出されました。
(Automatic Restart request from {API | EUI | RTA} for sysname in plexname issued by {event | userid} requestor.)**

説明: MVS 自動リスタート・マネージャー (ARM) を使用して、指定された CICS システムを取り消して再始動する要求が出されました。ここで、

compid

要求を出したコンポーネントを以下のいずれかとして示します。

API

アプリケーション・プログラミング・インターフェース。

RTA

リアルタイム分析。これは、通知条件の ACTNDEF が再始動を指定したことを意味します。

sysname

取り消して再始動される CICS システムを示します。

plexname

CICS システムがメンバーである CICSplex を示します。

entity

要求を出したエンティティを以下のいずれかとして示します。

イベント

RTA イベント。

ユーザー ID

API ユーザー。

requestor

RTA イベントまたは API ユーザーを示します。

システムの処置: 自動再始動要求が ARM に渡されます。この要求が受け入れられて正常に完了すると、CICS システムは即時に取り消され、自動的に再始動されます。

要求が処理できない場合は、MVS がコンソールにメッセージを書き込み、CICSplex SM が CICS トレース・データ・セットにユーザー・トレース・レコードを書き込みます。

ユーザーの処置: MVS コンソール・ログを調べて、再始動要求が成功したかどうかを判別してください。

モジュール: EYU0XLTA

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=API、
2=EUI、
3=RTA

5. *sysname*
6. *plexname*
7. 以下のオプションから選択される値:

1=イベント、
2=ユーザー ID

8. *requestor*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0028I I *date time applid CMAS jobname (jobname)* の自動再始動要求が出されました。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *jobname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0029I I *date time applid ESDUMP* 値が *process* によって *value* に設定されました。

説明: CMAS または MAS の実行中に、ESDUMP EYUPARM の値が更新されました。ここで、

value

ESDUMP に設定された値を以下で示します。

YES

抑止される SVC ダンプはありません。

NO

ESDUMPLIMIT EYUPARM の値に応じて、EYU9XLRV および EYU0XZPT で取られた重複 SVC ダンプが抑止されます。

process

ESDUMP 値が更新された方法を以下で示します。

COD0

更新は、COD0 トランザクション SET コマンドを使用して実行されました。

CMAS リソース・テーブル

更新は、API を使用した CMAS リソース・テーブルの変更によって、または WUI で実行されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9DBG1、EYU0XLAU

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *value*
5. *process*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0030I I *date time applid SYSID (cmasname)* の **CICSplex (plexname)** に対する **ESSS** 接続が進行中です。

説明: カーネル・リンケージ (KNL) サブコンポーネントが、初期設定の一部として、環境サービス・システム・サービス (ESSS) と、MAS の始動パラメーターに指定されている CICSplex および CMAS との間の接続の確立を試行しています。この接続により、CICSplex SM は特定の必要な MVS プログラム呼び出しルーチンにアクセスできます。

システムの処置: ESSS への接続を確立する試みが続行されます。このメッセージの後に、接続の試行の成功または失敗を示す、2 つのメッセージのいずれかが続きます。EYUXL0004I は接続が成功したことを示し、EYUXL0105E は失敗したことを示します。これ以上のメッセージが後がない場合、可能性が高い原因は、この MAS に対して CICS システム定義が存在しないことです。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XLEV

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *plexname*
5. *cmasname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0031I I *date time applid CICSplex (plexname)* に対する **ESSS** 接続が進行中です。

説明: カーネル・リンケージ (KNL) サブコンポーネントが、初期設定の一部として、CMAS が指定されなかった場合に、環境サービス・システム・サービス (ESSS) と、MAS の始動パラメーターに指定されている CICSplex との間の接続の確立を試行しています。この

EYUXL0032I I • EYUXL0075W W

接続により、CICSplex SM は特定の必要な MVS プログラム呼び出しルーチンにアクセスできます。

システムの処置: ESSS への接続を確立する試みが続行されます。このメッセージの後に、接続の試行の成功または失敗を示す、2 つのメッセージのいずれかが続きます。EYUXL0004I は接続が成功したことを示し、EYUXL0105E は失敗したことを示します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XLEV

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0032I I *date time applid* **ESSS** 接続を処理中です。

説明: カーネル・リンケージ (KNL) サブコンポーネントが、初期設定の一部として、環境サービス・システム・サービス (ESSS) と CMAS の間の接続の確立を試行しています。接続先の CMAS は、メッセージ接頭部の APPLID によって識別できます。この接続により、CICSplex SM は特定の必要な MVS プログラム呼び出しルーチンにアクセスできます。

システムの処置: ESSS への接続を確立する試みが続行されます。このメッセージの後に、接続の試行の成功または失敗を示す、2 つのメッセージのいずれかが続きます。EYUXL0004I は接続が成功したことを示し、EYUXL0105E は失敗したことを示します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XLEV

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0033I I *date time applid* **PURGE** を試行しています。**TRANID**(*tranid*)、**TASKID**(*taskid*)、**METHOD**(*method*)、**CALLER**(*caller*)。

説明: アクティブ・タスクを終了する際、タスクがその終了 ECB の通知に応答しませんでした。ページが発行されました。ここで、

tranid タスクのトランザクション名です。

taskid トランザクションが実行中である CICS タスクの数です。

method

ページ要求の時点でアクティブである CPSM メソッドの名前です。

caller

アクティブ・メソッドを呼び出した CPSM メソッドの名前です。

システムの処置: このメッセージを発行した後に、指定されたタスクに対してページが発行されます。

MAS、WUI、または SMSS 領域内の CPSM エージェントの終了または再始動中にページが発生すると、このメッセージの前にメッセージ EYUNL0148W が追加発行されることがあります。これらのメッセージのうち最初のものについてのみ、システム・ダンプが取られます。いずれの場合も、ダンプの際にはメッセージ EYUXZ0910I が表示されます。ページされるタスクの数にかかわらず、システム・ダンプは 1 つだけ取られます。その後、処理は続行されます。

CMAS の終了処理中にページが発生すると、メッセージ EYUXZ0910I で示されるシステム・ダンプも取られます。ページされるタスクの数にかかわらず、システム・ダンプは 1 つだけ取られます。その後、処理は続行されます。

ユーザーの処置: この状況が解決しない場合は、システム・ダンプ、トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XLTP

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *tranid*
5. *taskid*
6. *method*
7. *caller*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0075W W **CMAS** リカバリーに入りました。
(CMAS recovery entered.)

説明: MVS リカバリー・ルーチンに入りました。

システムの処置: MVS 診断メッセージが CMAS ジョブ・ログに書き込まれます。

CMAS 処理は続行されますが、この障害が原因で ISPF

エンド・ユーザーが予期しない結果を受け取る場合があります。

ユーザーの処置: ジョブ・ログで、このメッセージの前に発行された MVS または CMAS に関連するメッセージを確認してください。関連するメッセージおよび CMAS アドレス・スペースのダンプを収集し、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU9XLCI

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0076W W CMAS STCB の破損が検出されました。STCB は孤立します (CMAS STCB corruption detected - STCB will be orphaned)

説明: ISPF エンド・ユーザー・インターフェース要求の処理中、CMAS が、使用可能なサーバタスク制御ブロック (STCB) を見つけようとしていました。CMAS は STCB を検出しましたが、妥当性検査できませんでした。この STCB は上書きされている可能性があります。

システムの処置: CMAS は、妥当性検査失敗の時点で STCB をチェーン解除します。他の STCB の検出と妥当性検査が行えない場合は、エンド・ユーザー・インターフェース要求を満たすために、新規 STCB が割り振られます。

ユーザーの処置: この問題が解決しない場合は、CMAS アドレス・スペースのダンプを取得し、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU9XLCI

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0077W W date time applid ESDUMP が process によって NEVER に設定されたため、SVC ダンプは取られません。

説明: CMAS または MAS の実行中に、ESDUMP EYUPARM の値が NEVER に設定されました。ここで、

process

ESDUMP 値が更新された方法を以下で示します。

EYUPARM

更新は、ESDUMP EYUPARM によって実行されました。

COD0

更新は、COD0 トランザクション SET コマンドを使用して実行されました。

CMAS リソース・テーブル

更新は、API を使用した CMAS リソース・テーブルの変更によって、または WUI で実行されました。

システムの処置: 処理を続行します。システム内の CICSplex SM によって通常発行されるすべての SVC ダンプは、抑止されます。

ユーザーの処置: SVC ダンプを抑止すると、問題をデバッグする機能に影響することがあります。SVC ダンプ抑止をアクティブにすることで問題が発生した場合、問題についてデバッグを実行するには、その前にユーザーが SVC ダンプ抑止をアクティブにせずに問題を再現することが必要な場合があります。ESDUMP は NEVER に設定しないことが、CICSplex SM サービスで強く推奨されます。

モジュール: EYU0XLBV、EYU9DBG1、EYU0XLAU

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *process*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0078W W {FILE | PROFILE | PROGRAM | TRANSACTION | TDQUEUE} resourcename の定義が置き換えられました (The definition for {FILE | PROFILE | PROGRAM | TRANSACTION | TDQUEUE} resourcename has been replaced)

説明: CMAS の PLTPI プログラムは、CICSplex SM リソース リソース名 の無効な定義を置き換えました。前のメッセージ EYUXL0155E に無効な定義オプションの詳細が示されています。

システムの処置: CMAS初期化は続行されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9XLCD

宛先: コンソール

EYUXL0090W W *date time applid* **MAS** エージェントが **ESSS** サブシステムへの接続を待機している間、**PLT** 処理は続行されます。

説明: CICS 初期設定 **PLT** の処理は続行しますが、始動している **CMAS** によって **CICSplex** が **ESSS** サブシステムに登録されるのを **MAS** エージェントは待機し続けます。

システムの処置: CICS システムは正常に実行を続けませんが、**CICSplex SM** に認識されません。**CMAS** が **CICSplex** を **ESSS** サブシステムに登録すると、**MAS** エージェントの初期設定は続行されます。

ユーザーの処置: **MAS** の接続先となる **CMAS** が開始されていることを確認してください。領域の機能が **CICSplex SM** 機能 (例えば、**BAS** リソース・インストールや **WLM** ルーティングなど) に依存する場合は、**CMAS** を始動できるまで **CICS** 領域をシャットダウンすることが望ましい場合があります。

モジュール: EYU0XLBV

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0100E E 使用可能な **CICS CWA** がありません (**No CICS CWA available**)

説明: **CICS** 共通作業域 (**CWA**) が、**CMAS** の初期設定に必要な **CICSplex SM** カーネル・リンケージ作業域、**EYURXLWA** を格納するのに十分な大きさではありません。

システムの処置: **CMAS** の初期設定は終了します。

ユーザーの処置: デフォルトの **CWA** サイズは 512 バイトで、これは **EYURXLWA** に十分な大きさではありません。**CMAS** の初期設定パラメーターの 1 つとして **WRKAREA=2048** を含めるようにしてください。

モジュール: EYU9XLCS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0101E E **TRACE** 照会に対して許可されていません (**Not authorized for TRACE inquires**)

説明: **CICSplex SM** アドレス・スペース (**CMAS**) **PLTPI** プログラムに、必要な **EXEC CICS INQUIRE TRACEDEST** または **TRACEFLAG** のコマンドを発行する権限がありません。

システムの処置: **PLTPI** プログラムは、エラー状態で終了します。これにより、**CMAS** は強制的に終了します。

ユーザーの処置: 必要な権限を獲得してから、**CMAS** 初期設定ジョブを再始動してください。

モジュール: EYU9XLCS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0102E E *type* オプションを設定できません (**Unable to set type option**)

説明: **CICSplex SM** アドレス・スペース (**CMAS**) **PLTPI** プログラムは、指定されたトレース・オプションに対して **EXEC CICS SET** コマンドを発行しましたが、エラー・コードを受け取りました。ここで、

type オプションが **TRACEDEST** であるか、**TRACEFLAG** であることを示します。

システムの処置: **PLTPI** プログラムは、エラー状態で終了します。これにより、**CMAS** は強制的に終了します。

ユーザーの処置: **CICS** トレース・レコードを確認して、**EXEC CICS** エラーの原因を判断します。その後、**CMAS** 初期設定ジョブを再始動してください。

モジュール: EYU9XLCS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0103E E **CICSplex SM** サブシステム (**EYUX**) がアクティブではありません (**CICSplex SM subsystem (EYUX) not active**)

説明: **CICSplex SM MVS/ESA** サブシステム・エンタープライがアクティブではありません。

システムの処置: システム処理に対する影響は、初期設定されているアドレス・スペースのタイプによって異なります。

CMAS **CMAS** の初期設定は終了します。

ローカル **MAS**

MAS は、メッセージ **EYUXL0024I** を発行してから、**CMAS** が **ESSS** アドレス・スペースを初期設定して再始動するのを待機します。

ユーザーの処置: 適切な対応は、初期設定されていたアドレス・スペースのタイプによって異なります。

CMAS 始動 **JCL** がプログラム **EYU9XECS** を実行していることを確認してください。

ローカル MAS

なし。ESSS アドレス・スペースが使用可能になると、MAS の初期設定は続行されます。

モジュール: EYU9XLEV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0104E E 現行の **CICSplex SM** リリースの **ESSS** がありません (**No ESSS for current CICSplex SM release**)

説明: ESSS アドレス・スペースに、初期化しようとしている **CICSplex SM** のリリースのエントリーが含まれていません。

システムの処置: システム処理に対する影響は、初期設定されているアドレス・スペースのタイプによって異なります。

CMAS **CMAS** の初期設定は終了します。**CICSplex SM** は、ダンプ・コード **EYUXL001** の **SVC** ダンプをとります。

ローカル MAS

MAS はメッセージ **EYUXL0025I** を発行してから、必要なバージョンの **CMAS** が **ESSS** アドレス・スペースを初期設定して再始動するのを待機します。

ユーザーの処置: 適切な対応は、初期設定されていたアドレス・スペースのタイプによって異なります。

CMAS 始動 **JCL** がプログラム **EYU9XECS** を実行していることを確認してください。

ローカル MAS

なし。**ESSS** アドレス・スペースが使用可能になると、**MAS** の初期設定は続行されます。

モジュール: EYU9XLEV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0105E E *date time applid* **ESSS** 接続に失敗しました。

説明: カーネル・リンケージ・コンポーネントと環境サービス・システム・サービス (**ESSS**) の間の接続を確立しようとしたましたが、**CICSplex SM** 環境内のアドレス・スペースの初期設定中に失敗しました。

システムの処置: システム処理に対する影響は、初期設定されているアドレス・スペースのタイプによって異なります。

CMAS

CMAS を終了します。**CICSplex SM** は、ダンプ・コード **EYUXL001** の **SVC** ダンプをとります。

MAS

MAS を終了します。**CICSplex SM** は、ダンプ・コード **EYUI** のトランザクション・ダンプをとって、制御を **CICS** に返します。

ユーザーの処置: トレース・レコードに、**ESSS** 接続障害の理由が示されています。障害の発生時に初期化していたアドレス・スペースのタイプに応じて、以下のいずれかの処置を実行してください。

CMAS

ESSS に対して **CMAS** を識別するために、**JCL** が適切な **PLTPI** プログラムを指定していることを確認してください。

MAS

JCL が **CICSplex** と **CMAS** の両方を指定している場合は、指定された **CMAS** がアクティブであることを確認してください。

JCL が **CICSplex** のみを指定している場合は、**ESSS** に接続されている少なくとも 1 つの **CMAS** 内に **CICSplex** が存在することを確認してください。

モジュール: EYU9XLEV

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0106E E **CICS storage** を獲得できません (**Unable to acquire CICS storage**)

説明: 指定されたストレージ域から主ストレージを取得しようとしたましたが、失敗しました。ここで、

storage

ストレージ域を以下のいずれかとして示します。

DSA 動的ストレージ域 (16 MB 境界より下)

EDSA 拡張動的ストレージ域 (16 MB 境界より上)

システムの処置: 初期設定されていたアドレス・スペースの始動プログラムが終了します。

ユーザーの処置: **CICS** トレース・レコードを調べるこ

EYUXL0107W W • EYUXL0111E E

とで、GETMAIN 障害の原因を判別してください。

モジュール: EYU1ISTI, EYU1XLBE, EYU1XLEV,
EYU1XLOP, EYU9XLBE, EYU9XLEV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0107W W *compid* の主オブジェクトの作成が
失敗しました (**Major Object create
failed for compid**)

説明: 指定されたコンポーネントを作成しようとした
ましたが、失敗しました。ここで、

表 3. コンポーネント

コンポーネント ID	説明	ロード・モジュ ール
KNL	カーネル・リン ケージ	EYU9XL01
TRC	トレース・サー ビス	EYU9XZ01
MSG	メッセージ・サー ビス	EYU9XM01
SRV	共通サービス	EYU9XS01
CHE	データ・キャッ シュ・マネー ジャー	EYU9XC01
DAT	データ・リポジ トリ	EYU9XD01
QUE	キュー・マネー ジャー	EYU9XQ01
COM	通信	EYU9CM01
TOP	トポロジー・サー ビス	EYU9TS01
MON	モニター・サー ビス	EYU9MN01
RTA	リアルタイム分 析	EYU9PS01
WLM	ワークロード・ マネージャー	EYU9WM01
MAS	管理対象アプリ ケーション・シ ステム	EYU9NA01

システムの処置: CICSplex SM の初期設定が続行され
ます。

ユーザーの処置: 作成できなかったコンポーネントが初
期化アドレス・スペースで必要な場合は、そのコンポー
ネントのロード・モジュールが正しいロード・ライブラ
リ (ご使用のインストール済み環境に応じて

SEYULOAD または SEYULPA) にあることを確認して
ください。

モジュールが正しいロード・ライブラリーにあるが、コ
ンポーネントが依然として作成できない場合は、例外ト
レース・レコードおよびこのメッセージより前に発行さ
れたメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせ
してください。

モジュール: EYU1XLBE, EYU9XLBE

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0108E E *date time applid CICSplex* 登録に失
敗しました。

説明: CICSplex を環境サービス・システム・サービス
(ESSS) に登録しようとしたが、CMAS の初期設定
中に失敗しました。

システムの処置: CMAS の初期設定は終了します。
CICSplex SM は、ダンプ・コード EYUXL001 の SVC
ダンプを取り、CICS トレース・データ・セットにユー
ザー・トレース・レコードを書き込みます。

ユーザーの処置: ESSS アドレス・スペースがアクティ
ブであることを確認します。問題の原因を判別するた
めに、例外トレース・レコードを調べてください。

モジュール: EYU9XLEV

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0110E E モジュール *modname* のロードに失
敗しました (**Load failed for module
modname**)

説明: 指定されたモジュールをロードしようとした
が、失敗しました。

システムの処置: 可能な場合、処理は続行されます。

ユーザーの処置: ユーザー・トレース・レコードを調べ
て、ロード障害の理由を判別してください。

モジュール: EYU1ISTI, EYU1XLBE, EYU9XLEV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0111E E *date time applid CMAS* から ESSS
の切断に失敗しました。RESP =
respcode。

説明: CICSplex SM コンポーネントの正常シャットダ

ウン中に、環境サービス・システム・サービス (ESSS) アドレス・スペースから切断しようとして失敗しました。*response* は、切断ルーチンからの ESSS 応答コードです。

システムの処置: CICSplex SM のシャットダウンは続行されます。

ユーザーの処置: ユーザー・トレース・レコードを調べて、切断障害の原因を判別してください。この問題を解決するには、IBM のサポートが必要な場合があります。その場合は、メッセージの *response* の値を報告する必要があります。

モジュール: EYU9XLEV

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *respcode*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0112E E *addspace* の初期化に失敗しました
(*addspace initialization failed*)

説明: 指定されたタイプのアドレス・スペースが初期設定できませんでした。ここで、

addspace

アドレス・スペースのタイプを以下のいずれかとして示します。

CMAS CICSplex SM アドレス・スペース

MAS ローカル管理対象アプリケーション・システム

SMSS シングル・サーバー領域

システムの処置: システム処理に対する影響は、初期設定されていたアドレス・スペースのタイプによって異なります。

CMAS CMAS を終了します。CICSplex SM は、ダンプ・コード EYUXL001 の SVC ダンプを生成します。

MAS MAS を終了します。CICSplex SM は ダンプ・コード EYUI のトランザクション・ダンプを生成して、制御を CICS に返します。

SMSS SMSS を終了します。CICSplex SM は ダンプ・コード EYUI のトランザクション・ダンプを生成して、制御を CICS に返します。

ユーザーの処置: ユーザー・トレース・レコードと、このメッセージより前に発行されたメッセージを調べて、問題の原因を判別してください。

モジュール: EYU1XLEV、EYU9XLEV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0113E E *date time applid* CICSplex 登録の終了に失敗しました。

説明: 環境サービス・システム・サービス (ESSS) に以前に登録された CICSplex を登録解除しようとして、CMAS のシャットダウン中に失敗しました。

システムの処置: CMAS のシャットダウンが続行されます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 問題の原因を判別するために、例外トレース・レコードを調べてください。

モジュール: EYU0XLES

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0115E E **CMAS** 初期設定トランザクションが見つかりません (**CMAS initialization transaction not found**)

説明: CMAS PLTPI プログラム EYU9XLCS によって、トランザクション XLEV に対して EXEC CICS START TRANID コマンドが発行されましたが、トランザクション XLEV が見つかりませんでした。

システムの処置: PLTPI プログラムは、エラー状態で終了します。これにより、CMAS は強制的に終了します。

ユーザーの処置: トランザクション XLEV が CSD に定義されていることと、PLTPI ステージ 2 の処理中に CMAS PLTPI プログラム EYU9XLCS が実行されていることを確認してください (つまり、EYU9XLCS は、CMAS PLTPI 内の DFHDELIM ステートメントの後に出現する必要があります)。

モジュール: EYU9XLCS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0116E E *addspace* 初期設定プログラムが異常終了しました (*addspace initialization program abended*)

説明: CICSplex SM アドレス・スペース (CMAS) の始動プログラムが異常終了しました。

システムの処置: 初期設定は終了します。CICSplex

EYUXL0117E E • EYUXL0122E E

SM は CICS システム・ダンプを取ります。

ユーザーの処置: ダンプと、このメッセージより前に発行されたメッセージを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU9XLCS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0117E E *addspace* 初期設定プログラム - *reasontext*

説明: CICSplex SM アドレス・スペース (CMAS) の始動プログラムが終了しました。

reasontext は、早期終了の理由を以下として示します。

CICS エラー

CICS エラーのために初期設定が終了しました

既に開始しています

システム初期設定パラメーター内で、
CPSMCONN=CMAS と initialization=CM の
両方が有効状態で検出されました。

システムの処置: 現在実行中の初期設定プログラムが終了します。

ユーザーの処置: これは、終了の理由によって異なります。

CICS エラー

このメッセージより前に発行された メッセージを調べて、CICS エラーの原因を判別してください。問題を訂正し、ジョブを再始動してください。

既に開始しています

CMAS は、プログラム EYU9XLCS の別のインスタンスによって開始されました。

CPSMCONN または initialization のいずれかのみが、システム初期設定パラメーター内でコード化されていることを確認してください。

モジュール: EYU9XLCS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0118E E **PERFORM SHUTDOWN** に失敗しました。(**PERFORM SHUTDOWN failed:)** RESP=*respcode* RESP2=*resp2code*

説明: CMAS シャットダウン中に PERFORM SHUTDOWN コマンドが発行され、このコマンドが異常応答を返しました。ここで、

respcode

CICS によって返される値です。

resp2code

CICS によって返される値です。

システムの処置: シャットダウン・タスクは、CICS に制御を返します。CICS システムのシャットダウンは開始されません。

ユーザーの処置: CEMT PERFORM SHUTDOWN または EXEC CICS PERFORM SHUTDOWN の *respcode* および *resp2code* の値に関連付けられている説明に従ってください。これらのコマンドに関連付けられている *respcode* および *resp2code* の値の説明については、CICS システム・プログラミング・リファレンス を参照してください。

モジュール: EYU9XLEV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0119I I *date time applid* CPSM カーネルが *module* からロードされました。(**CPSM Kernel loaded from module.**)

説明: CPSM カーネル・オブジェクトがロード・モジュール *module* からロードされました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XLBE

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *module*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0122E E **XLWA** が見つかりません (**No XLWA found**)

説明: PLTPI プログラムによってカーネル・リンケージ始動プログラムに渡されたパラメーターに、EYURXLWA 制御ブロックが含まれていませんでした。

システムの処置: システム処理に対する影響は、初期設定されているアドレス・スペースのタイプによって異なります。

CMAS CMAS を終了します。CICSplex SM は、ダンプ・コード EYUXL001 の SVC ダンプをとります。

MAS MAS を終了します。CICSplex SM は ダンプ・コード EYUI のトランザクション・ダンプをとる、制御を CICS に返します。

ユーザーの処置: 始動 JCL が適切な PLTPI プログラムを呼び出していることを確認してください。

モジュール: EYU1XLEV、EYU9XLEV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0123E E *name* は、サポートされている **CICSplex SM** 環境ではありません (*name is not a supported CICSplex SM environment*)

説明: PLTPI プログラムによってカーネル・リンケージ始動プログラムに渡されたパラメーターに、4 文字の無効なアドレス・スペース名が含まれていました。

システムの処置: システム処理に対する影響は、初期設定されているアドレス・スペースのタイプによって異なります。

CMAS CMAS を終了します。CICSplex SM は、ダンプ・コード EYUXL001 の SVC ダンプをとります。

MAS MAS を終了します。CICSplex SM は ダンプ・コード EYUI のトランザクション・ダンプをと、制御を CICS に返します。

CICSplex SM の初期設定は、ユーザー ABEND 1000 で停止されます。

ユーザーの処置: 始動 JCL が適切な PLTPI プログラムを呼び出していることを確認してください。

モジュール: EYU9XLEV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0124E E PLTPI プログラムからパラメーター・ブロックが渡されませんでした (**Parameter block not passed from PLTPI program**)

説明: カーネル・リンケージ始動プログラムが、PLTPI プログラムによって渡されるパラメーター・ブロックを取得できませんでした。

システムの処置: システム処理に対する影響は、初期設定されているアドレス・スペースのタイプによって異なります。

CMAS CMAS を終了します。CICSplex SM は、ダンプ・コード EYUXL001 の SVC ダンプをとります。

MAS MAS を終了します。CICSplex SM は ダンプ・コード EYUI のトランザクション・ダンプをと、制御を CICS に返します。

ユーザーの処置: 始動 JCL が適切な PLTPI プログラ

ムを呼び出していることを確認してください。

モジュール: EYU1XLEV、EYU9XLEV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0125E E **INQUIRE SYSTEM** を許可されていません (**Not authorized to INQUIRE SYSTEM**)

説明: カーネル・リンケージ始動プログラムは、EXEC CICS INQUIRE SYSTEM コマンドの発行を許可されていません。

システムの処置: システム処理に対する影響は、初期設定されているアドレス・スペースのタイプによって異なります。

CMAS CMAS を終了します。CICSplex SM は、ダンプ・コード EYUXL001 の SVC ダンプをとります。

MAS MAS を終了します。CICSplex SM は ダンプ・コード EYUI のトランザクション・ダンプをと、制御を CICS に返します。

ユーザーの処置: 必要な権限を取得し、ジョブを再始動してください。

モジュール: EYU9XLEV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0126E E *date time applid* {アクティブな | 妨げられた} **CMAS** がこの **CMAS** と同じ {名前 | SYSID} を持っています。

説明: 環境サービス・システム・サービス (ESSS) の接続処理中、ESSS アドレス・スペースが、接続中の CMAS と同じ名前または SYSID を持つ CMAS がアクティブである、あるいは非アクティブである場合は、その CMAS に接続されている API アプリケーションまたはローカル MAS があるために妨げられていると判断しました。ここで、

status

「アクティブな」または「妨げられた」のいずれかです

name

CMAS の名前、または SYSID のいずれかです

このメッセージは、EYUXL0020I (ESSS 接続を処理中で) の後に出され、メッセージ EYUXL0105E (ESSS 接続に失敗しました) の前にあります。

システムの処置: CMAS の初期設定は失敗します。

ユーザーの処置: 同じリリースの CICSplex SM の同

じ MVS イメージ上で実行する場合は、2 つの CMAS が同じ名前を持たず、同じ SYSID も持たないようにしてください。

モジュール: EYU0XLBV

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=アクティブな、
2=妨げられた

5. 以下のオプションから選択される値:

1=名前、
2=SYSID

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0127E E *date time applid {LMAS}* 再始動の試行に失敗しました。

説明: CMAS のシャットダウンまたは異常終了の後に、CICSplex SM コンポーネントを再始動しようとしたが、失敗しました。ここで、*addspace* は、再始動しようとしていたアドレス・スペースのタイプがローカル MAS (LMAS) であることを示します。CMAS がアクティブになった後、MAS が接続する必要がある CICSplex をその CMAS が管理しなくなった場合は、CMAS への MAS 接続は確立できません。

システムの処置: MAS の初期設定は終了します。CICS システムは正常に実行を続けますが、CICSplex SM に認識されません。

ユーザーの処置: MAS JCL が正しい CICSplex および CMAS (該当する場合) を指定していることを確認してください。

モジュール: EYU9XLEV

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=LMAS

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0132I I *date time applid* 通知サービス長期実行タスクを開始しました。

説明: カーネル・リンケージの通知サービス・サブコンポーネントが、CICSplex SM 初期設定の一部として初期設定されたか、異常終了後に再始動されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0XLNX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUXL0133I I *date time applid* 通知サービス長期実行タスクが {異常 | 正常} 終了しました。

説明: カーネル・リンケージの通知サービス・サブコンポーネントが終了しました。ここで、*type* は、発生した終了のタイプを示します。

正常

通知サービス・サブコンポーネントが、CICSplex SM 終了の一部として終了しました。

異常

通知サービスは異常終了したため、再始動されます。

システムの処置: 通知サービスが正常終了した場合、CICSplex SM 終了は続行されます。通知サービスが異常終了した場合、ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれ、サービス自体を再始動します。通知サービスが再始動されると、メッセージ EYUXL0132I が発行されます。

ユーザーの処置: 通知サービスが正常終了した場合、処置は必要ありません。異常終了した場合、トレース・レコードを調べて、問題の原因を判別してください。

通知サービスが異常終了して、サービス自体を何度も再始動する場合 (このメッセージとメッセージ EYUXL0132I が繰り返し発行されることで示されます)、CMAS をシャットダウンしてください。通知サービスが異常終了して、サービス自体を 10 回再始動した場合、CMAS は自動的にシャットダウンします。トレース・レコードおよびジョブ・ログを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XLNX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=異常、
2=正常

宛先: COLG

EYUXL0134E E 現行の **CICSplex SM** リリースの
 ESSS がアクティブではありません
 (ESSS for current CICSplex SM
 release is not active)

説明: CMAS またはローカル MAS の初期設定時、環境サービス・システム・サービス (ESSS) アドレス・スペースが、リリース記述子ブロック (RDB) によって示される CICSplex SM のリリースに対してアクティブでないことが検出されました。CICSplex SM サブシステム (CPSM) および RDB が検出されましたが、ESSS アドレス・スペース自体は終了しました。

システムの処置: CMAS の場合、初期設定は終了します。

ローカル MAS の場合、初期設定は中断され、メッセージ EYUXL0026I が発行されます。

ユーザーの処置: CMAS を始動することで、ESSS アドレス・スペースを再始動してください。

モジュール: EYU9XLBE

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0135E E CPSM サブシステム (**EYUX**) また
 は *version* **ESSS** はまだ使用できません。
 (CPSM subsystem (EYUX) or version
 ESSS still not available.) 待機処理を終
 了するには、「C」と応答してください。
 (Reply 'C' to terminate wait
 processing.)

説明: ローカル MAS の初期設定時、モジュール EYU9XLBE が、CPSM サブシステム EYUX または ESSS アドレス・スペースのいずれかが使用できないと判断しました。ここで、*version* は ESSS CPSM リリースを示します。

システムの処置: このメッセージは、応答が受信されるか、EYUX サブシステムまたは ESSS (あるいはその両方) が使用可能になるまでコンソールに残ります。

適切な応答が行われると、ローカル MAS の初期設定はメッセージ EYUXL0136E を発行して終了し、CICS 初期設定は CPSM MAS エージェントなしで続行されます。

ユーザーの処置: EYUX サブシステムおよび ESSS を作成するために、適切なリリースの CMAS を始動してください。EYU9XLBE は、適切な環境に達したことを検出すると、コンソールからメッセージを取り消します。

適切な CMAS が始動できない場合は、「C」と応答してローカル MAS の初期設定を終了し、領域内で CICS 初期設定を続行します。後で CMAS が始動される場合は、領域での CPSM MAS エージェントの初期設定に COLM トランザクションが使用できます。

モジュール: EYU9XLBE

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0136E E EYUXL0135A へのオペレーター応答
 のために **LMAS** 初期設定を終了します
 (LMAS initialization is terminating
 due to operator reply to EYUXL0135A)

説明: オペレーターがメッセージ EYUXL0135A に対して「C」と応答しました。

システムの処置: ローカル MAS の初期設定は終了し、CICS 初期設定は CPSM MAS エージェントなしで続行されます。

ユーザーの処置: MAS が接続できる CMAS が開始されたら、COLM トランザクションを発行して、領域内で CPSM MAS エージェントを初期設定してください。

モジュール: EYU9XLBE

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0137E E EYUXL0135A の発行の試行が失敗したため、**LMAS** の初期設定を終了します
 (LMAS initialization is terminating
 due to failure attempting to issue
 EYUXL0135A)

説明: メッセージ EYUXL0135A の発行の際にエラーが発生しました。

システムの処置: ローカル MAS の初期設定は終了し、CICS 初期設定は CPSM MAS エージェントなしで続行されます。

ユーザーの処置: MAS が接続できる CMAS が開始されたら、COLM トランザクションを発行して、領域内で CPSM MAS エージェントを初期設定してください。

EYUXL0138I I • EYUXL0141E E

モジュール: EYU9XLBE

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0138I I EYU9XLOP がワークロードを待機中です (**EYU9XLOP waiting for workload**)

説明: このメッセージは、分散ルーティング出口または動的ルーティング出口として EYU9XLOP を指定した領域内で、その領域がワークロードに接続されていない場合に発生します。

システムの処置: EYU9XLOP が指定されていたが、領域に関連付けられているワークロードがない場合は、適切なルーティング出口を駆動する CICS に対する要求により、CICS が EYU9XLOP を呼び出しても、その後待ち状態になります。ルーティング出口のいずれかを駆動できる要求には、動的トランザクションおよび未定義トランザクション、EXEC CICS START コマンド、CICS BTS 活動、動的プログラム・リンク要求などが含まれます。

ユーザーの処置: 以下のいずれかの手順を使用して、領域に関連付けられたワークロードがある場合にのみ EYU9XLOP を指定するようにしてください。

- 指定されたルーティング・モジュールを変更する
- 領域をワークロードに関連付けてから、次のいずれかの方法で領域内で WLM をアクティブにする
 - 領域をリサイクルする
 - 領域内で MAS エージェント・コードを停止してから再始動する。例えば、COSH トランザクションを使用して MAS エージェント・コードを停止したり、COLM トランザクションを使用して MAS エージェント・コードを再始動します。

モジュール: EYU9XLOP

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0140E E date time applid CMAS jobname (*cmas*) の自動再始動要求が出されませんでした。理由: {ARM がアクティブではありません | CMAS CICS リリースが ARM には無効です | CMAS ジョブ名が無効です | オペレーティング・システム・レベルが ARM には無効です | 予期しない状況が XLTA から返されました | *jobname* の再始動は許可されていません | *jobname* の ARM ポリシーがありません | XLTA 障害}。CMASは再始動せずに終了します。

説明: 指定された CMAS の自動再始動を実行しようと

しましたが、示された理由により失敗しました。ここで、

cmas

失敗した CMAS のジョブ名です。

reason

CMAS の ARM 再始動を試行できなかった理由です。

システムの処置: CMAS を終了します。

ユーザーの処置: このメッセージの前に発行されたすべてのメッセージの推奨処置を実行して、CMAS を再始動してください。

モジュール: EYU0XLES

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cmas*
5. 以下のオプションから選択される値:

1=ARM がアクティブではありません、
2=CMAS CICS リリースが ARM には無効です、
3=CMAS ジョブ名が無効です、
4=オペレーティング・システム・レベルが ARM には無効です、
5=予期しない状況が XLTA から返されました、
6=*jobname* の再始動は許可されていません、
7=*jobname* の ARM ポリシーがありません、
8=XLTA 障害

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0141E E (*trannname* トランザクション定義がないか無効です (*trannname transaction definition missing or incorrect*))

説明: CMAS または MAS の初期化中に、*trannname* の CICS トランザクション定義が見つからないか、正しいプログラム名を指定していません。

システムの処置: 初期設定は続行されますが、トランザクション定義がないか、正しくないことが原因で予測不能な結果が生じることがあります。

ユーザーの処置: CMAS または MAS で使用される CSD が正しいことと、適切な CICSplex SM 定義がインストールされていることを確認してください。

モジュール: EYU9XLBE

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0142E E CICS Transaction Server CMAS
リリース *cmasrelease* は、CICS リリース
cicsrelease と異なります。(CICS
Transaction Server CMAS release
cmasrelease is different from CICS
release *cicsrelease*.) CMAS の初期設定は
終了します。(CMAS initialization is
terminated.)

説明: CMAS の初期設定は、CMAS と CICS のリリ
ース・レベルが一致しないため失敗しました。CMAS
が CICS Transaction Server とともに稼働できるのは、
同じリリース・レベルである場合のみです。

システムの処置: 初期設定は終了します。

ユーザーの処置: CICS Transaction Server CMAS リ
リース *cmasrelease* が CICS リリース *cicsrelease* と必ず
一致するようにしてください。

モジュール: EYU9XLCS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0148E E ENABLE PROGRAM *cccccccc* に失
敗しました。**EIBRCODE=xxxxxxxxxxx**

説明: CMAS の初期設定中、CICSplex SM 関連の
CICS 出口 (EXEC CICS ENABLE PROGRAM) を使用
可能にしようとしてエラーが発生しました。ここで、

cccccccc

出口の名前です。

xxxxxxxxxxx

CICS 16 進数 EIBRCODE です。

システムの処置: EYUS トランザクション・ダンプがと
られ、CMAS 初期設定は失敗します。

ユーザーの処置: 出口プログラムが CMAS に定義およ
びインストールされていることと、CMAS で使用され
ている DFHRPL ライブラリーにそのプログラムがある
ことを確認してから、CMAS を再始動してください。
上記の検証後もエラーが続く場合、以下の情報をできる
限り収集して IBM サポートにお問い合わせください。

- 完全なジョブ出力
- EYUS トランザクション・ダンプ
- フォーマットされていない AUXTRACE データ・セ
ット

モジュール: EYU9XLCS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0149E E EXTRACT EXIT *cccccccc* に失敗し
ました。**EIBRCODE=xxxxxxxxxxx**
(**EXTRACT EXIT** *cccccccc* **failed**,
EIBRCODE=xxxxxxxxxxx)

説明: CMAS の初期設定中、CICSplex SM 関連の
CICS 出口 (EXEC CICS EXTRACT EXIT) のグローバ
ル域アドレスを抽出しようとしてエラーが発生しまし
た。ここで、

cccccccc

出口の名前です。

xxxxxxxxxxx

CICS 16 進数 EIBRCODE です。

システムの処置: EYUS トランザクション・ダンプがと
られ、CMAS 初期設定は失敗します。

ユーザーの処置: 出口プログラムが CMAS に定義およ
びインストールされていることと、CMAS で使用され
ている DFHRPL ライブラリーにそのプログラムがある
ことを確認してから、CMAS を再始動してください。
上記の検証後もエラーが続く場合、以下の情報をできる
限り収集して IBM サポートにお問い合わせください。

- 完全なジョブ出力
- EYUS トランザクション・ダンプ
- フォーマットされていない AUXTRACE データ・セ
ット

モジュール: EYU9XLCS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0150E E START EXIT *cccccccc* に失敗しまし
た。**EIBRCODE=xxxxxxxxxxx** (**START**
EXIT *cccccccc* **failed**,
EIBRCODE=xxxxxxxxxxx)

説明: CMAS の初期設定中、CICSplex SM 関連の
CICS 出口 (EXEC CICS ENABLE PROGRAM START)
の処理を開始しようとしてエラーが発生しました。こ
こで、

cccccccc

出口の名前です。

xxxxxxxxxxx

CICS 16 進数 EIBRCODE です。

システムの処置: EYUS トランザクション・ダンプがと
られ、CMAS 初期設定は失敗します。

ユーザーの処置: 出口プログラムが CMAS に定義およ
びインストールされていることと、CMAS で使用され
ている DFHRPL ライブラリーにそのプログラムがある
ことを確認してから、CMAS を再始動してください。
上記の検証後もエラーが続く場合、以下の情報をできる

EYUXL0151E E • EYUXL0156E E

限り収集して IBM サポートにお問い合わせください。

- 完全なジョブ出力
- EYUS トランザクション・ダンプ
- フォーマットされていない AUXTRACE データ・セット

モジュール: EYU9XLCS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0151E E INQUIRE PROGRAM *cccccccc* に失敗しました。EIBRCODE=xxxxxxxxxxxxx
(**INQUIRE PROGRAM** *cccccccc* **failed**,
EIBRCODE=xxxxxxxxxxxxx)

説明: CMAS の初期設定中、CICSplex SM 関連の CICS 出口 (EXEC CICS INQUIRE PROGRAM) の入り口点アドレスに関して照会しようとしてエラーが発生しました。ここで、

cccccccc

出口の名前です。

xxxxxxxxxxxx

CICS 16 進数 EIBRCODE です。

システムの処置: EYUS トランザクション・ダンプがとられ、CMAS 初期設定は失敗します。

ユーザーの処置: 出口プログラムが CMAS に定義およびインストールされていることと、CMAS で使用されている DFHRPL ライブラリーにそのプログラムがあることを確認してから、CMAS を再始動してください。上記の検証後もエラーが続く場合、以下の情報をできる限り収集して IBM サポートにお問い合わせください。

- 完全なジョブ出力
- EYUS トランザクション・ダンプ
- フォーマットされていない AUXTRACE データ・セット

モジュール: EYU9XLCS

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0154E E CREATE {FILE | PROFILE | PROGRAM | TRANSACTION | TDQUEUE} *resourcename* に失敗しました。RESP=respcode、RESP2=resp2code
(**CREATE** {FILE | PROFILE | PROGRAM | TRANSACTION | TDQUEUE} *resourcename* **failed**:
RESP=respcode, RESP2=resp2code)

説明: CICSplex SM アドレス・スペース (CMAS) PLTPI プログラムが、CICSplex SM にリソース *resourcename* を作成する EXEC CICS CREATE コマン

ドを発行しました。CREATE コマンドは、*respcode* および *resp2code* に示す値で異常応答を戻しました。

システムの処置: CMAS初期化は続行されます。

ユーザーの処置: CICS トレース・レコードを確認して、EXEC CICS エラーの原因を判断します。その後、CMAS 初期設定ジョブを再始動してください。

モジュール: EYU9XLCD

宛先: コンソール

EYUXL0155E E {FILE | PROFILE | PROGRAM | TRANSACTION | TDQUEUE}
resourcename にオプション *yyyyyyyyyy* に対する無効値 *xxxxxxx* があります。
({FILE | PROFILE | PROGRAM | TRANSACTION | TDQUEUE}
resourcename **has invalid value**:
xxxxxxx **for option**: *yyyyyyyyyy*)

説明: CMAS の PLTPI プログラムは、CICSplex SM リソース *resourcename* で無効な定義オプションを検出しました。

システムの処置: CICSplex SM は、この定義をリソースのデフォルト定義に置き換えようとしています。これが成功すると、メッセージ EYUXL0078W が発行されます。置き換えに失敗すると、メッセージ EYUXL0156E を発行して CICS を終了します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9XLCD

宛先: コンソール

EYUXL0156E E *resourcename* の {FILE | PROFILE | PROGRAM | TRANSACTION | TDQUEUE} 定義が無効です。(The {FILE | PROFILE | PROGRAM | TRANSACTION | TDQUEUE} **definition for** *resourcename* **is invalid**.)
CICS は終了します (CICS is **terminating**)

説明: CMAS の PLTPI プログラムは、CICSplex SM リソース *resourcename* の無効な定義を置き換えられませんでした。前のメッセージ EYUXL0155E に無効な定義オプションの詳細が示されています。

システムの処置: CICS は終了します。

ユーザーの処置: CMAS の始動時に使用するグループ・リスト内の定義を見直して、無効なオプションを変更してから、CICS を再始動してください。デフォルト・オプションはサンプル EYUúCDEF に示されています。

モジュール: EYU9XLCD

宛先: コンソール

EYUXL0157E E TRANSATTACH *resourcename* に対する QUERY SECURITY に失敗しました。RESP= *respcode*、RESP2= *resp2code*。(QUERY SECURITY for TRANSATTACH *resourcename* failed: RESP= *respcode*, RESP2= *resp2code*.)

説明: CMAS 初期設定プログラムは EXEC CICS QUERY SECURITY コマンドを発行して、トランザクション *resourcename* が外部セキュリティ・マネージャーに適切に定義されていることを検証します。コマンドは、*respcode* および *resp2code* に示す値で異常応答を返しました。

システムの処置: CMAS 初期設定は、すべてのトランザクション ID が処理されるまで続行し、その後、CMAS エージェントがメッセージ EYUXL0159E を発行して終了します。

ユーザーの処置: EXEC CICS QUERY SECURITY の *respcode* および *resp2code* の値に関連付けられている説明に従ってください。

モジュール: EYU9XLCD

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0158E E TRANSATTACH *resourcename* に対する QUERY SECURITY は正しくありません。READ=NOTREADABLE。(QUERY SECURITY for TRANSATTACH *resourcename* is incorrect: READ=NOTREADABLE.)

説明: CMAS 初期設定プログラムは EXEC CICS QUERY SECURITY コマンドを発行して、トランザクション *resourcename* が外部セキュリティ・マネージャーに適切に定義されていることを検証します。CMAS 初期設定プログラムを実行するユーザー ID (領域のユーザー ID) に、トランザクション *resourcename* を START する権限がありません。

システムの処置: CMAS 初期設定は、すべてのトランザクション ID が処理されるまで続行し、その後、CMAS エージェントがメッセージ EYUXL0159E を発行して終了します。

ユーザーの処置: トランザクション *resourcename* のリソース・プロファイルおよび権限を修正し、CMAS ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU9XLCD

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0159E E 1 つ以上のリソースのセキュリティ・プロファイルが正しくありません。(Incorrect security profile for one or more resources.) CICS は終了します。(CICS is terminating.)

説明: それぞれの内部 CPSM トランザクションが外部セキュリティ・マネージャーに適切に定義されていることを検証するために、CMAS 初期設定プログラムが EXEC CICS QUERY SECURITY コマンドを発行しました。1 つ以上のコマンドが異常応答を返したか、1 つ以上のトランザクションに正しくないセキュリティ・プロファイルがありました。

システムの処置: CMAS 領域は終了します。

ユーザーの処置: メッセージ EYUXL0157E および EYUXL0158E に示されている問題を訂正し、CMAS ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU9XLCD

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0160E E *date time applid* CICSplex SM システム・タスクをページできません。TRANID() TASKID()。(Unable to purge CICSplex SM system task - TRANID() TASKID().)

説明: 指定された CICSplex SM システム・タスクをページできません。

システムの処置: CICSplex SM はその終了を続行します。

ユーザーの処置: 可能であれば、CICS 領域をシャットダウンして再始動してください。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
- 4.
- 5.

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0200S S *date time applid* 無効パラメーター・テーブルの初期化に失敗しました。

説明: CMAS または MAS の初期設定時、内部パラメーター・テーブルを初期設定できませんでした。

システムの処置: CMAS または MAS のパラメーター

EYUXL0201E E • EYUXL0204E E

初期設定が終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XLPI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0201E E *date time applid EYUPARM* データ・セットにアクセスできません。

説明: 以下のいずれかの理由により、CMAS または MAS の初期設定中に EYUPARM データ・セットにアクセスできませんでした。

- EYUPARM の DD ステートメントが、始動 JCL にありません。
- 宛先管理テーブル (DCT) に、EYUPARM データ・セットを参照する COPR のエントリが含まれていません。

システムの処置: CMAS または MAS のパラメーター初期設定が終了します。

ユーザーの処置: EYUPARM の DD ステートメントが、CMAS または MAS の始動 JCL に正しく指定されていることを確認してください。リソースの定義の DCT 要件を確認して、必要な訂正を行ってください。

モジュール: EYU0XLPI、EYU1XLPI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0202E E *date time applid EYUPARM* データ・セットの **LRECL** が無効です。

説明: CMAS または MAS の初期設定時、EYUPARM データ・セットの論理レコード長が無効であることが検出されました。データ・セットのレコード長は 80 でなければなりません。

システムの処置: CMAS または MAS のパラメーター初期設定が終了します。

ユーザーの処置: EYUPARM データ・セットとその DD ステートメントが論理レコード長 80 を指定していることを確認してください。

モジュール: EYU0XLPI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0203E E *date time applid EYUPARM* データ・セットの **RECFORM** が無効です。

説明: CMAS または MAS の初期設定時、EYUPARM データ・セットのレコード形式が無効であることが検出されました。データ・セットのレコード形式は、固定 (F) または固定ブロック (FB) でなければなりません。

システムの処置: CMAS または MAS のパラメーター初期設定が終了します。

ユーザーの処置: EYUPARM データ・セットとその DD ステートメントが F または FB のレコード形式を指定していることを確認してください。

モジュール: EYU0XLPI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0204E E *date time applid EYUPARM* データ・セットの入出力タイプが無効です。

説明: CMAS または MAS の初期設定時、EYUPARM データ・セットのファイル属性指定が無効であることが検出されました。EYUPARM は、入力データ・セットでなければなりません。

システムの処置: CMAS または MAS のパラメーター初期設定が終了します。

ユーザーの処置: EYUPARM の DD ステートメントが、CMAS または MAS の始動 JCL に正しく指定されていることを確認してください。CICS TS のインストールのマニュアルの DCT 要件を確認して、必要な訂正を行ってください。

モジュール: EYU0XLPI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0205E E *date time applid* パラメーター・エラーが発生しました。'GO'または'CANCEL'と応答してください。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0206E E *date time applid* 無効なパラメーター名 - *parmname* - パラメーターはバイパスされました。

説明: CMAS または MAS のパラメーター初期設定中に、無効なパラメーター名が見つかりました。

parmname

無効なパラメーター名を示します。

システムの処置: 無効なパラメーター名は無視されます。これは非クリティカル・エラーです。CMAS または MAS のパラメーター初期設定は続行されます。このメッセージのあとに、メッセージ EYUXL0205D が出ます。

ユーザーの処置: メッセージ EYUXL0205D が発行されたら、応答してください。

モジュール: EYU0XLPI、EYU1XLPI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *parmname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0207E E *date time applid* パラメーター *parmname* のパラメーター値 *value* が無効です。パラメーターはバイパスされました。

説明: CMAS または MAS のパラメーター初期設定中に、無効なパラメーター値が見つかりました。ここで、*value* は無効なパラメーター値を示します。

システムの処置: 無効なパラメーター値は無視されます。これは非クリティカル・エラーです。CMAS または MAS のパラメーター初期設定は続行されます。このメッセージのあとに、メッセージ EYUXL0205D が出ます。

ユーザーの処置: メッセージ EYUXL0205D が発行されたら、応答してください。

モジュール: EYU0XLPI、EYU1XLPI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *value*
5. *parmname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0208E E *date time applid* 無効なパラメーター・ステートメント - *parameter*。

説明: CMAS または MAS のパラメーター初期設定中に、無効なパラメーター・ステートメントが見つかりました。パラメーター・ステートメントが長すぎるか、正しく区切られていませんでした。ここで、*value* は無効なパラメーター・ステートメントを示します。

システムの処置: 無効なパラメーター・ステートメントは無視されます。これは非クリティカル・エラーです。CMAS または MAS のパラメーター初期設定は続行されます。このメッセージのあとに、メッセージ EYUXL0205D が出ます。

ユーザーの処置: メッセージ EYUXL0205D が発行されたら、応答してください。

モジュール: EYU0XLPI、EYU1XLPI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *parameter*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0209I I *date time applid compid {の} type* パラメーター。(type **Parameters** {for} compid.)

説明: これは、パラメーター・リスト要求のメッセージ・ヘッダーです。ここで、*type* は、リストされるパラメーターのタイプを、SYSTEM、主オブジェクト記述子ブロック (MODB)、または主オブジェクト実行パラメーター (MOEP) として示します。MODB パラメーターの場合、*compid* は、パラメーターが関連付けられている CICSplex SM コンポーネントを示します。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0XLPR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *type*
5. 以下のオプションから選択される値:

1=の

6. *compid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0210I I *date time applid parameter = value*。

説明: このメッセージは、パラメーターおよび現在有効な値をリストします。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0XLPR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *parameter*
5. *value*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0211I I *date time applid CPSM* 始動パラメーター。

説明: これは、EYUPARM リストおよび関連エラーのメッセージ・ヘッダーです。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0XLPI、EYU1XLPI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0212I I *date time applid parameter*。

説明: このメッセージは、CMAS または MAS のパラメーター初期設定中に EYUPARM 入力データ・セットでパラメーター・ステートメントが見つかったとおり、そのステートメントをリストします。

システムの処置: パラメーター・ステートメントの一部が無効な場合、このメッセージのあとに該当するエラー・メッセージが続きます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0XLPI、EYU1XLPI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *parameter*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0213E E *date time applid* 必須パラメーター '*parameter*' が指定されていません。

説明: CMAS または MAS のパラメーター初期設定中に、必須パラメーターが見つかりませんでした。

システムの処置: CMAS または MAS のパラメーター初期設定が終了します。

ユーザーの処置: CICS TS のインストールのパラメーター要件を確認し、EYUPARM データ・セットに欠落パラメーターを追加してください。

モジュール: EYU0XLPI、EYU1XLPI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *parameter*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0214I I *date time applid* パラメーター・サービスの初期化が完了しました。

説明: パラメーター・サービス・サブコンポーネントが正常に初期設定されました。

システムの処置: CICSplex SM の初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0XLPI、EYU1XLPI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUXL0215E E *date time applid* パラメーター・サービスの初期化に失敗しました。

説明: パラメーター・サービス・サブコンポーネントを初期設定できませんでした。

システムの処置: CICSplex SM の初期設定は終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードと、このメッセージより前に発行されたメッセージを調べて、問題の原因を判別してください。

モジュール: EYU0XLPI、EYU1XLPI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0216I I *date time applid* ユーザー *userid* によって **termid termid** から **EYUPARM SET** が出されました。 *eyuparm = value*。

説明: CICSplex SM EYUPARM が COD0 トランザクション SET 要求により更新されました。ここで、

userid

COD0 トランザクションを実行している端末に関連したユーザー ID です。

termid

COD0 トランザクションに関連した CICS 端末 ID です。

eyuparm

更新された CICSplex SM システム・パラメーター (EYUPARM) です。

value

EYUPARM に設定されている名前値です。

ユーザー ID と端末のいずれかまたはその両方の挿入が使用不可の場合、これらの挿入について N/A が表示されます。

システムの処置: 指定された EYUPARM が更新されます。

ユーザーの処置: なし。このメッセージは、CICSplex SM システム・パラメーターの変更をログに記録するものです。

モジュール: EYU9DBG1

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *userid*
5. *termid*
6. *eyuparm*
7. *value*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXL0900I I 環境のリカバリーを開始しています
(Starting Environment Recovery)

説明: CMAS または MAS での異常終了の結果として、CICSplex SM リカバリー・ルーチンに入りました。

システムの処置: リカバリー・ルーチンは、関連する診断情報の収集とフォーマット設定を試みます。入手できるすべての情報が、このメッセージの後に続く EYUXL09nn メッセージに表示されます。

トランザクション・ダンプが取られます。CMAS またはローカル MAS が異常終了し、異常終了したメソッドが誤ったアクセス・レジスター (AR) モードであることが判明した場合は、SVC ダンプも取られることがあります。

ユーザーの処置: 以下の情報をできる限り収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

- 異常終了を受信したジョブのジョブ・ログ。ジョブ・ログを使用できない場合は、システム・ログを取得します。

- EYULOG ファイル。CMAS が異常終了した場合は、その CMAS の EYULOG ファイルを取得します。MAS が異常終了した場合は、MAS が接続されていた CMAS の EYULOG ファイルを取得します。
- 定様式トランザクション・ダンプ。
- 不定様式 SVC ダンプ (取得された場合)。
- AUXTRACE ファイル (使用できる場合)。MAS が異常終了し、その CICS システム内で AUXTRACE がアクティブでなかった場合は、MAS が接続されていた CMAS から AUXTRACE ファイルを取得します。

モジュール: EYU9XLRV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0902I I ストレージ域の出力中の異常終了 (ABEND Outputting Storage Areas)

説明: 診断情報の収集およびフォーマット設定の試行中に、CICSplex SM リカバリー・ルーチンが、アクセスできないアドレスを検出しました。

システムの処置: リカバリー・ルーチンは終了し、これ以上の診断情報は表示されません。

ユーザーの処置: EYUXL0900I の説明に従ってください。

モジュール: EYU9XLRV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0903I I オフセットに対して R14 を使用した ロケーション ZERO への分岐 (Branch to location ZERO, Using R14 for Offset)

説明: 呼び出し側プログラムが、無効なアドレスへの分岐を試行しました。CICSplex SM リカバリー・ルーチンは、関連する診断情報のフォーマット設定の試みに、レジスター 14 のアドレスを使用します。

システムの処置: リカバリー・ルーチンは、診断情報のフォーマット設定を開始します。

ユーザーの処置: EYUXL0900I の説明に従ってください。

モジュール: EYU9XLRV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0904I I AR MODE での *method call-type*、呼び出しからの表示 (*method call-type in AR MODE, Displaying from call*)

説明: プログラムが、アクセス・レジスター (AR) モードであってはならない場合に、そのモードであることが検出されました。ここで、

call-type

問題が呼び出し側プログラム (CALL) によって検出されたのか、戻りプログラム (EXIT) によって検出されたのかを示します。

method EXIT の *call-type* の場合にのみ表示され、問題を検出した CICSplex SM メソッドを示します。

システムの処置: リカバリー・ルーチンが問題プログラムを識別し、メッセージ EYUXL0905E にその名前を表示します。

ユーザーの処置: EYUXL0900I の説明に従ってください。

モジュール: EYU9XLRV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0905E E *applid abcode IN method OFFSET* *nnnnnnnnn PSW psw1 psw2 LEVEL=level* *PFX=prefix INTC=intcode ILC=len* *TXCP=addr SCODE=syscode* *TRAN=tranid TASK=tasknum* *METHODS=methnames*

説明: このメッセージは、CICSplex SM で発生した異常終了の場所と状態を説明します。ここで、

applid 異常終了した CICS システムの z/OS Communications Server アプリケーション ID。

abcode 4 桁の CICS ユーザー異常終了コード。

メソッド 異常終了した CICSplex SM メソッド。

nnnnnnnnn 異常終了が発生したメソッド内のオフセット。

psw1/psw2 異常終了時の PSW の内容。

level モジュールのサービス・レベル。

prefix モジュールの接頭部。

intcode 中断コード。

len 命令の長さ。

addr 最後の変換例外のアドレス。

syscode
CICS ユーザー異常終了コードと同等の 3 桁のシステム異常終了。

tranid CICS トランザクション ID。

tasknum
CICS タスク番号。

methnames
失敗したタスク内でアクティブであるすべての CICSplex SM メソッドの名前。

システムの処置: リカバリー・ルーチンは診断情報のフォーマットを続行します。

ユーザーの処置: EYUXL0900I の説明に従ってください。

モジュール: EYU9XLRV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0906I I 異常終了時点のレジスター (Registers at ABEND)

説明: 異常終了の位置にあるレジスターの内容がフォーマットされました。このメッセージは、後続の内容レコードのヘッダーとして使用されています。

システムの処置: リカバリー・ルーチンは診断情報のフォーマットを続行します。レジスターの内容は、このヘッダーの直後の EYUXL0907I メッセージに表示されます。

ユーザーの処置: EYUXL0900I の説明に従ってください。

モジュール: EYU9XLRV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0907I I register contents

説明: フォーマットされた各レジスターの名前が、その内容とともに表示されます。

システムの処置: リカバリー・ルーチンは診断情報のフォーマットを続行します。

ユーザーの処置: EYUXL0900I の説明に従ってください。

モジュール: EYU9XLRV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0908I I 異常終了時点のストレージ (Storage At ABEND)

説明: 異常終了の位置にあるストレージの内容がフォーマットされました。このメッセージは、後続の内容レコードのヘッダーとして使用されています。

システムの処置: リカバリー・ルーチンは診断情報のフォーマットを続行します。ストレージの内容は、このヘッダーの直後の EYUXL0909I メッセージに表示されます。

ユーザーの処置: EYUXL0900I の説明に従ってください。

モジュール: EYU9XLRV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0909I I +/-nn storage contents

説明: 以下の各位置のストレージの内容が表示されます。

-20 PSW の前の 32 バイト

-10 PSW の前の 16 バイト

+00 PSW の先頭

+10 PSW の後の 16 バイト

システムの処置: 診断情報のフォーマット設定が完了しました。リカバリー・ルーチンは終了します。

システム処理に対する影響は、異常終了がいつ発生したかによって異なります。

CMAS の初期設定中
CMAS は終了します。

MAS の初期設定中
すべての MAS エージェント・コードが CICS システムから除去されます。CICS システムは初期設定を続行しますが、CICSplex SM に認識されていません。

CMAS または **MAS** の初期設定の後
CICSplex SM は、異常終了の前に、処理の最終ポイントに制御を戻そうとします。

ユーザーの処置: EYUXL0900I の説明に従ってください。

モジュール: EYU9XLRV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0910I I *dump_title*

説明: このメッセージは、SDUMP が CPSM リカバリーによって要求されたことを示します。ここで、

dump_title

システム・ダンプ・ルーチンに渡されるタイトル・ストリングです。

システムの処置: 現在の領域、ESSS アドレス・スペース、および異常終了したタスク内でアクセスされているコンポーネントのキャッシュ・データ・スペースを含む、SDUMP が要求されました。

ユーザーの処置: EYUXL0900I の説明に従ってください。

モジュール: EYU9XLRV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0911W W ESDUMP が NEVER に設定されているため、EYU9XLRV ダンプが抑止されました

説明: 異常終了リカバリー・モジュール EYU9XLRV によって出されたはずの SVC ダンプは、ESDUMP EYUPARM の値が NEVER であるため、抑止されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: SVC ダンプを抑止すると、問題をデバッグする機能に影響することがあります。SVC ダンプ抑止をアクティブにすることで問題が発生した場合、問題についてデバッグを実行するには、その前にユーザーが SVC ダンプ抑止をアクティブにせずに問題を再現することが必要な場合があります。ESDUMP は NEVER に設定しないことが、CICSplex SM サービスで強く推奨されます。

モジュール: EYU9XLRV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0912W W ジョブ *jobname* 日付 *dd/mm/yyyy* 時刻 *hh:mm:ss* について ESDUMPLIMIT に達したため、EYU9XLRV ダンプが抑制されました。(EYU9XLRV dump suppressed because ESDUMPLIMIT has been reached for job *jobname* date *dd/mm/yyyy* time *hh:mm:ss*.)

説明: SVC ダンプが要求されましたが、抑制されました。CICSplex SM システム・パラメーター ESDUMP が NO に設定され、かつこのプログラム名、異常終了コード、オフセット、および領域タイプ (CMAS または MAS) の組み合わせで要求されたダンプの数が

CICSplex SM システム・パラメーター ESDUMPLIMIT で指定された値を超えているためです。

<*jobname*>

最後の異常終了がキャプチャーされたときの CICS システムのジョブ名です。

<*dd/mm/yyyy*>

最後の異常終了がキャプチャーされた日付です。

<*hh:mm:ss*>

最後の異常終了がキャプチャーされた時刻です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: これは正常であり、新しいダンプが必要ない限り、これは無視できます。新しいダンプが必要な場合は、ESDUMP パラメーターを YES に設定し、問題を再現してから、ESDUMP を NO に再設定してください。Troubleshooting CICSplex SM 内の ESDUMP および ESDUMPLIMIT の資料を参照してください。

モジュール: EYU9XLRV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0913E E SDUMPX を取得する EYU9XLRV

要求は、戻りコード *X'retcde'*、理由コード *X'reason'* で失敗しました。

(EYU9XLRV request to take an SDUMPX failed with return code *X'retcde'*, reason code *X'reason'*.)

説明: この CICS 領域によって出された SDUMPX 要求は、正常完了に失敗しました。ここで、*retcde* は 16 進数の戻りコードです。*reason* は、SDUMPX マクロによって返される 16 進数の理由コードです。

システムの処置: このメッセージは発行されますが、ダンプは取られません。その後、処理は続行されます。

ユーザーの処置: SDUMPX マクロを文書化している「z/OS Authorized Assembler Services Reference」マニュアルを参照して、戻りコードおよび理由コードの意味を判別してください。

モジュール: EYU9XLRV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0951E E *mm/dd/yy hh:mm:ss* に例外が発生しました (Exception occurred on *mm/dd/yy at hh:mm:ss*)

説明: このメッセージは、メッセージ EYUXL0950E で説明されている異常終了が発生した日時を示します。ここで、

mm/dd/yy

異常終了が発生した日付です。

hh:mm:ss

異常終了が発生した時刻です。

システムの処置: リカバリー・ルーチンは診断情報のフォーマットを続行します。

ユーザーの処置: EYUXL0900I の説明に従ってください。

モジュール: EYU1XLRV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0952E E *mm/dd/yy hh:mm:ss* に例外が発生しました (**Exception occurred on *mm/dd/yy* at *hh:mm:ss***)

説明: このメッセージは、メッセージ EYUXL0950E で説明されている異常終了が発生した日時を示します。ここで、

mm/dd/yy

異常終了が発生した日付です。

hh:mm:ss

異常終了が発生した時刻です。

システムの処置: リカバリー・ルーチンは診断情報のフォーマットを続行します。

ユーザーの処置: EYUXL0900I の説明に従ってください。

モジュール: EYU1XLRV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0953E E オフセット *offset* での **CPSM** メソッド *name* (**CPSM method *name* at *offset* *offset***)

説明: このメッセージは、異常終了が発生した CICSplex SM メソッドを示します。ここで、

name メソッドの名前です。

offset 異常終了が発生したメソッド内のオフセットです。

システムの処置: リカバリー・ルーチンは診断情報のフォーマットを続行します。

ユーザーの処置: EYUXL0900I の説明に従ってください。

モジュール: EYU1XLRV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0955I I 異常終了時点のレジスター (**Registers at ABEND**):

説明: 異常終了の位置にあるレジスターの内容がフォーマットされました。このメッセージは、後続の内容レコードのヘッダーとして使用されています。

システムの処置: リカバリー・ルーチンは診断情報のフォーマットを続行します。レジスターの内容は、このヘッダーの直後の EYUXL0956I メッセージに表示されます。

ユーザーの処置: EYUXL0900I の説明に従ってください。

モジュール: EYU1XLRV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0956I I **CS=cs DS=ds ES=es FS=fs GS=gs**
SS=ss EIP=eip EAX=eax EBX=ebx
ECX=ecx EDX=edx EBP=ebp EDI=edi
ESI=esi ESP=esp FLAGS=flags PID=pid
TID=tid

説明: フォーマットされた各レジスターの名前が、その内容とともに表示されます。レジスターは論理グループで表示されます。最初のグループに、マシン・レジスターが含まれます。ここで、

cs コード・セグメント
ds データ・セグメント
es エクストラ・セグメント
fs Far セグメント
gs 一般セグメント
ss スタック・セグメント

その次のグループに、拡張 (32 ビット) レジスターが含まれます。ここで、

eip 命令ポインター
eax 拡張 ax
ebx 拡張 bx
ecx 拡張 cx
edx 拡張 dx
ebp 基本ポインター
edi 宛先インデックス
esi ソース・インデックス
esp スタック・ポインター

EYUXL0957I I • EYUXM0003I I

最後のグループに、ハードウェアおよびオペレーティング・システムのレジスターが含まれます。ここで、

flags ハードウェア状況フラグ

pid オペレーティング・システムのプロセス ID

tid オペレーティング・システム・スレッド ID

システムの処置: リカバリー・ルーチンは診断情報のフォーマットを続行します。

ユーザーの処置: EYUXL0900I の説明に従ってください。

モジュール: EYU1XLRV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0957I I スタックの長さ: *length* 追加情報:
 data (**Stack Len:** *length* **Extra Info:** *data*)

説明: このメッセージは、異常終了に関する追加情報を提供します。ここで、

長さ 残りのスタックの長さです。

データ 一部の異常終了コードについて提供される追加データです。

システムの処置: リカバリー・ルーチンは診断情報のフォーマットを続行します。

ユーザーの処置: EYUXL0900I の説明に従ってください。

モジュール: EYU1XLRV

EYUXMnnnnn メッセージ

EYUXM0001I I *date time applid* メッセージ・サービスの初期化が完了しました。

説明: メッセージ・サービス・コンポーネントが正常に初期設定されました。

システムの処置: CICSplex SM の初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0XMIN、EYU3XMIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUXM0002I I *date time applid* 呼び出し元 *caller*、
 Compid *compid*、**SubCompid** *subcomp*、

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0958I I 例外が処理されました (**Exception handled**)

説明: CICSplex SM リカバリー・ルーチンが、異常終了からリカバリーできました。

システムの処置: 診断情報のフォーマット設定が完了しました。リカバリー・ルーチンは終了します。

ユーザーの処置: EYUXL0900I の説明に従ってください。

モジュール: EYU1XLRV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXL0999I I **XLRV** が正常に終了しています
(**XLRV Exiting Successfully**)

説明: CICSplex SM リカバリー・ルーチン (XLRV) が、前の EYUXL09xx メッセージで報告された異常終了の処理を正常に完了しました。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: EYUXL0900I の説明に従ってください。

モジュール: EYU9XLRV

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

メッセージ番号 *msgnum*。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *caller*
5. *compid*
6. *subcomp*
7. *msgnum*

宛先: COLG

EYUXM0003I I *date time applid* 変数 *var1 var2*。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *var1*
5. *var2*

宛先: COLG

EYUXM0004I I メッセージ・サービスの終了が完了しました (**Message Services termination complete**)

説明: メッセージ・サービス・コンポーネントが終了しました。

システムの処置: メッセージ・サービス・コンポーネントは、メッセージの発行に使用できなくなりました。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0XMTM、EYU3XMTM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXM0010E E メッセージ・サービスの終了に失敗しました (**Message Services termination failed**)

説明: メッセージ・サービス・コンポーネントを終了する際にエラーが発生しました。

システムの処置: メッセージ・サービス・コンポーネントは、メッセージの発行に使用できなくなりました。ユーザー・トレース・レコードが、CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードと、このメッセージより前に発行されたメッセージを調べて、問題の原因を判別してください。

モジュール: EYU0XMTM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXM0020W W *date time applid* 統合メッセージ・ログ・キューが割り振られていません。

説明: MAS の初期設定時、MAS の接続先である CMAS のメッセージ・キュー ID を取得中に障害が発生しました。

システムの処置: MAS の初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: CMAS から AUXTRACE データ・セットを収集し、CMAS および MAS から完全なジョブ出力を収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XMIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXM0100I I *date time applid* 統合メッセージ・ログ長期実行タスクを開始しました。

説明: EYULOG 書き込みタスク、XMLT は、CMAS で正常に開始されました。

システムの処置: CMAS初期化は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0XMLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUXM0101I I *date time applid* 統合メッセージ・ログ長期実行タスクを終了しました。

説明: EYULOG 書き込みタスク、XMLT が、CMAS で正常に終了しました。

システムの処置: CMAS の終了が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0XMLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUXM0110W W *date time applid* 統合メッセージ・ログが使用できません。

説明: EYULOG 書き込みタスク XMLT の初期化中

EYUXM0120E E • EYUXM0503E E

に、EYULOG にアクセスしようとして、障害が発生しました。

システムの処置: CMAS初期化は続行されます。
EYULOG に書き込まれるメッセージはありません。

ユーザーの処置: CMAS から AUXTRACE データ・セットおよび完全なジョブ出力を収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XMLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXM0120E E *date time applid* 統合メッセージ・ログ長期実行タスクが異常終了しました。

説明: EYULOG 書き込みタスク、XMLT は、CMAS で異常終了しました。

システムの処置: CMAS初期化は続行されます。

ユーザーの処置: CMAS から AUXTRACE データ・セットおよび完全なジョブ出力を収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XMLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXM0500E E *date time applid* コンポーネントが非アクティブです。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXM0501E E *date time applid Compid compid* のコンポーネント・メッセージ・プロトタイプ・テーブルが存在しません。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *compid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXM0502E E *date time applid* メッセージを発行した呼び出し元 *caller* {*Compid* | クラス | メッセージ番号 | *SubCompid*} *name* が定義されていません。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *caller*
5. 以下のオプションから選択される値:

1=*Compid*、
2=クラス、
3=メッセージ番号、
4=*SubCompid*

6. *name*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXM0503E E *date time applid* スタック・オーバーフロー。メッセージ・テキストは不完全です。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXM0504E E *date time applid* 時期尚早なアンスタックが発行されました。メッセージ・テキストは不完全です。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXM0505E E **IYP2Z001 Method = mmmm**
Debug = dddddddd Comp = cc SComp
= s MsgID = xxxx PtID (yyyy) = pt

説明: メッセージを生成しようとして、エラーが発生しました。

mmmm メッセージ・サービスを呼び出したメソッドを示します。

dddddddd

メソッド *mmmm* のデバッグ・ストリングを示します。

cc メッセージの発行を試行したコンポーネントを示します。

s メッセージの発行を試行したサブコンポーネントを示します。

xxxx 発行できなかったメッセージの番号です。

yyyy メッセージ EYUXM0505E を発行したメソッドを示します (XMSM または XMSX のいずれか)。

pt エラーが発生したメソッド *xxxx* のポイントを示します。

システムの処置: 要求されたメッセージが作成されないか、その宛先に送信されません。

ユーザーの処置: このメッセージと関連して発行されて

いる関連メッセージを参照して、問題の原因を判別してください。IBM サポートに連絡が必要な場合があります。

モジュール: EYU0XMSM、EYU0XMSX

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXM0506E E **IYP2Z002 Var num = vv Type =**
tt Len = ll Val = vvvvvvvv

説明: メッセージの生成時に挿入変数を処理しようとして、エラーが発生しました。ここで、

vv メッセージ挿入変数の番号です。

tt メッセージ挿入変数のタイプです。

ll メッセージ挿入変数の長さです。

vvvvvvvv

メッセージ挿入変数の最初の 4 バイトの値 (16 進数) です。

このメッセージが発行された場合は、EYUXM0505E も発行され、追加情報が提供されます。

システムの処置: 要求されたメッセージが作成されないか、その宛先に送信されません。

ユーザーの処置: このメッセージと関連して発行されている関連メッセージ (EYUXM0505E および DFHME0109 を含みます) を参照して、問題の原因を判別してください。IBM サポートに連絡が必要な場合があります。

モジュール: EYU0XMSM、EYU0XMSX

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXM0507E E サービス・メッセージの初期化に失敗しました。**CICS 互換性 APAR** がありません。**(Message Service initialization has failed - CICS compatibility APAR is missing.)**

説明: 適切な CICS 互換性 APAR が MAS 内で CICS の CICS TS 3.2 より前のレベルに適用されていないため、(CICS TS レベル 3.2 以降の) CICSplex SM が MAS での始動に失敗しました。CICS のサポートされているレベルごとの互換性 APAR は、以下のとおりです。

- CICS TS 3.1 用の PK17360
- CICS TS 2.3 用の PK16582
- CICS TS 2.2 用の PK16582

システムの処置: その後、メッセージ EYUXL0112E が発行されます。詳しくは、EYUXL0112E の説明を参照してください。

EYUXM0508E E • EYUXQ0102W W

ユーザーの処置: 適切な CICS APAR を適用してください。この APAR が正しくインストールされていても、EYUXM0507E が解消されない場合は、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XMIN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXM0508E E サービス・メッセージの初期化に失敗しました。**CICS** メッセージ・サービスを介してメッセージを生成できません。
(Message Service initialization has failed - unable to generate messages via CICS message services.)

説明: CICSplex SM メッセージ・サービスは、CICS メッセージ・サービスを介してメッセージを生成できなかったため、CMAS、MAS、または SSMS のいずれかでの開始に失敗しました。

原因としては、CICSplex SM メッセージ定義モジュール

(EYUMCT1x) がいずれの STEPLIB ライブラリーにも存在しないことが考えられます。メッセージ EYUXM0508E の前には、障害の原因に関する追加情報を提供する 1 つ以上の CICS メッセージ・ドメイン・メッセージ (DFHMEnnnn) があります。

システムの処置: 環境に応じて、メッセージ EYUXL0112E が後で発行される場合があります。詳しくは、EYUXL0112E の説明を参照してください。

SMSS 環境では、CMCI 呼び出しが失敗し、CONNECT api_function でエラーが報告されます。

ユーザーの処置: メッセージ定義モジュール (EYUMCT1x) を含む CICSplex SM SEYUAUTH データ・セットが STEPLIB にあることを確認してください。

モジュール: EYU0XMIN

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXQnnnn メッセージ

EYUXQ0001I I *date time applid* キュー・マネージャーの初期化が完了しました。

説明: キュー・マネージャー・サブコンポーネントが正常に初期設定されました。

システムの処置: CICSplex SM の初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0XQIN、EYU3XQIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUXQ0002I I *date time applid* キュー・マネージャーの終了が完了しました。

説明: キュー・マネージャー・サブコンポーネントが終了しました。

システムの処置: CICSplex SM の終了を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0XQTM、EYU3XQTM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*

2. *time*

3. *applid*

宛先: COLG

EYUXQ0101E E *date time applid* キュー・マネージャーの初期化に失敗しました。

説明: キュー・マネージャー・サブコンポーネントを初期設定できませんでした。

システムの処置: CICSplex SM の初期設定は終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XQIN、EYU3XQIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXQ0102W W *date time applid* キュー・マネージャーの終了に失敗しました。

説明: キュー・マネージャー・サブコンポーネントを終了する際にエラーが発生しました。

システムの処置: CICSplex SM の終了を続行します。

ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XQTM、EYU3XQTM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

EYUXSnnnn メッセージ

EYUXS0001I I *date time applid* 共通サービスの初期化が完了しました。

説明: 共通サービス・サブコンポーネントが正常に初期設定されました。

システムの処置: CICSplex SM 初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0XSIN、EYU3XSIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUXS0002I I *date time applid* 共通サービスの終了が完了しました。

説明: 共通サービス・サブコンポーネントが終了しました。

システムの処置: CICSplex SM の終了は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0XSTM、EYU3XSTM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUXS0003E E *date time applid* 共通サービス
CEDA 障害: *error*.

説明: ジャーナリング EYUPARM パラメーターのいずれか、またはすべてが指定されていたことが原因で、CMAS がジャーナル・ファイルのオープンを試行しました。CICS は、ジャーナル・ファイルが割り振られなかったことを示す応答を返しました。

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

システムの処置: 初期設定を続行します。ジャーナル・レコードが書き込まれようとするときに、ジャーナル・ファイルのオープンがもう一度試行されます。

ユーザーの処置: ジャーナル 25 の JOURNALMODEL 定義が作成されていることを確認してください。

モジュール: EYU0XSIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *error*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXS0004E E *date time applid* ジャーナリングが要求されましたが、ジャーナル *journalname* が割り当てられていません。

説明:

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *journalname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXS0005E E *date time applid* 共通サービスが正常にジャーナル *journalname* を {オープン} できませんでした。**Resp1=respcode**、**Resp2=reasoncode**。

説明: ジャーナリング EYUPARM パラメーターのいずれか、またはすべてが指定されていたことが原因で、CMAS がジャーナルに対して提示されたアクションの実行を試行しました。

EYUXS0006W W • EYUXS0007E E

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: アプリケーション・リファレンス・マニュアルで CICS からの応答を調べて、問題を判別してください。

モジュール: EYU0XSIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=オープン

5. *journalname*
6. *respcode*
7. *reasoncode*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXS0006W W *date time applid* 共通サービスが正常にジャーナル *journalname* を {照会 | オープン | 書き込み} できませんでした。**RESP1=respcode**、**RESP2=reasoncode**。ジャーナル・データは失われました。

説明: ジャーナリング EYUPARM パラメーターのいずれか、またはすべてが指定されていたことが原因で、CMAS がジャーナルに対して提示されたアクションの実行を試行しました。このエラーにより、ジャーナル・データは失われました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: アプリケーション・リファレンス・マニュアルで CICS からの応答を調べて、問題を判別してください。

モジュール: EYU0XSJW

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=照会、
2=オープン、
3=書き込み

5. *journalname*
6. *respcode*

7. *reasoncode*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXS0007E E *date time applid* 出口プログラム **EYU9XSTR** のための抽出に失敗しました。**RESP=respcode**、**EIBRCODE=reasoncode**。

説明: CICSplex SM タスク・リカバリー・タスク関連 ユーザー出口 (TRUE) のグローバル域のアドレスの抽出を試行中に、CMAS またはローカル MAS でエラーが発生しました。ここで、

nn CICS の数値 RESP です。

xxxxxxxxxxxx

CICS 16 進数 EIBRCODE です。

システムの処置: CICSplex SM 共通サービスの初期設定は失敗します。システムが CMAS の場合は、EYUXL001 システム・ダンプが取られ、CMAS 初期設定が失敗し、その CMAS は終了します。領域がローカル MAS の場合は、EYUI トランザクション・ダンプが取られ、MAS エージェントの初期設定が失敗します。

ユーザーの処置: 出口プログラム、EYU9XSTR が CMAS またはローカル MAS に定義およびインストールされていることと、CMAS またはローカル MAS で使用されている DFHRPL ライブラリーにそのプログラムがあることを確認してください。上記の検証後もエラーが続く場合、以下の情報をできる限り収集して IBM サポートにお問い合わせください。

- 完全なジョブ出力。
- CMAS または MAS の実行中に発生した可能性のある異常終了についての不定様式 SVC ダンプ。
- フォーマットされていない AUXTRACE データ・セット (システムが MAS であり、AUXTRACE がそのシステムでアクティブな状態ではなかった場合、MAS が接続されていた CMAS から AUXTRACE データ・セットを収集してください)。

モジュール: EYU0XSIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *respcode*
5. *reasoncode*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXS0101E E *date time applid* 共通サービスの初期化に失敗しました。

説明: 共通サービス・サブコンポーネントを初期設定できませんでした。

システムの処置: CICSplex SM の初期設定は終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XSIN

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXS0102W W *date time applid* 共通サービスの終了に失敗しました。

説明: 共通サービス・サブコンポーネントを終了する際にエラーが発生しました。

システムの処置: CICSplex SM の終了は続行されます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XSTM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXS0910I I ダンプ・タイトル

説明: このメッセージは、CMAS またはローカル MAS で実行中の CICSplex SM タスク・リカバリー出口、EYU9XSTR によって SDUMP が要求されていることを示します。ここで、

ダンプ・タイトル

システム・ダンプ・ルーチンに渡されるタイトル・ストリングです。

システムの処置: 現在の領域および ESSS アドレス・スペースを含む SVC ダンプが要求されました。

ユーザーの処置: 以下の情報をできる限り収集して、

IBM サポートにお問い合わせください。

- 完全なジョブ出力。
- 不定様式 SVC ダンプ (メッセージ内のダンプ・タイトルは、必要なダンプを識別するために使用できます)。
- フォーマットされていない AUXTRACE データ・セット (システムが MAS であり、AUXTRACE がそのシステムでアクティブな状態ではなかった場合、MAS が接続されていた CMAS から AUXTRACE データ・セットを収集してください)。

モジュール: EYU9XSTR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXS1001I I インターバル・タイミングの初期化を開始しました (**Interval Timing initialization has started**)

説明: インターバル・タイミング・サブコンポーネントが初期設定されています。

システムの処置: インターバル・タイミングの初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XSTC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXS1002I I インターバル・タイミングの初期化が完了しました (**Interval Timing initialization complete**)

説明: インターバル・タイミング・サブコンポーネントが正常に初期設定されました。

システムの処置: CICSplex SM の初期設定が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XSTC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXS1003S S インターバル・タイミングが CICS 初期設定プログラムを接続できません (**Interval Timing unable to attach CICS initialization program**)

説明: インターバル・タイミング・サブコンポーネントによる DFHSIP、CICS 初期設定プログラムをサブタスクとして接続する試みが失敗しました。

システムの処置: CMAS の実行は終了します。

ユーザーの処置: システム・ログで、接頭部 CSVnnn

EYUXS1004W W • EYUXS1010S S

で始まる MVS コンテンツ監視プログラム・メッセージを確認してください。これらのメッセージに、問題の原因が説明されています。問題の原因が不明な場合は、MVS システム・ログと CMAS ジョブ・ログを収集し、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU9XSTC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXS1004W W インターバル・タイミングのキュー・エレメントの不足が検出されました
(Interval Timing queue element shortage detected)

説明: インターバル・タイミング・サブコンポーネントは、他のコンポーネントからの要求を受信するために使用するキュー・エレメントを使い果たしました。

システムの処置: インターバル・タイミングは、追加のキュー・エレメントの割り振りを試行します。

ユーザーの処置: 不足が解消できる場合は、このメッセージの後にメッセージ EYUXS1005I が続き、ユーザーの処置は必要ありません。不足が解消できない場合は、問題を IBM サポートに報告してください。

モジュール: EYU9XSTC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXS1005I I インターバル・タイミングのキュー・エレメントの不足が解消されました
(Interval Timing queue element shortage relieved)

説明: インターバル・タイミング・サブコンポーネントが、キュー・エレメント不足を正常に処理しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XSTC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXS1006I I インターバル・タイミングが異常終了を代行受信しました (Interval Timing has intercepted abnormal termination)

説明: インターバル・タイミング・サブコンポーネントで異常終了が発生しました。

システムの処置: インターバル・タイミング・リカバリー処理が開始されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XSTC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXS1007I I インターバル・タイミング・リカバリーを開始しました (Interval Timing recovery has started)

説明: インターバル・タイミング・サブコンポーネントが、異常終了に応答してそのリカバリー処理を開始しました。

システムの処置: インターバル・タイミングは、SVC ダンプを取得し、エラーからのリカバリーを試行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XSTC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXS1008I I インターバル・タイミング・リカバリーが完了しました (Interval Timing recovery complete)

説明: インターバル・タイミング・サブコンポーネントが異常終了から正常にリカバリーしました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: インターバル・タイミングによって SVC ダンプが生成された場合は、IBM サポートに連絡してください。

モジュール: EYU9XSTC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXS1009S S インターバル・タイミング・リカバリーができません。制御タスクは終了します
(Interval Timing recovery impossible - control task is terminated)

説明: インターバル・タイミング・サブコンポーネントが異常終了からリカバリーできませんでした。

システムの処置: インターバル・タイミングが SVC ダンプを取得します。CMAS の実行は終了します。

ユーザーの処置: SVC ダンプを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU9XSTC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXS1010S S インターバル・タイミングが再帰的エラー状態の可能性を検出しました
(Interval Timing has detected possible recursive error condition)

説明: インターバル・タイミング・リカバリー・ルーチンが、リカバリーできないエラー状態を検出しました。

システムの処置: インターバル・タイミングが SVC ダンプを取得します。CMAS の実行は終了します。

ユーザーの処置: SVC ダンプを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU9XSTC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXS1011S S *applid* インターバル・タイミングが外部セキュリティ・マネージャー・インターフェースをロードできませんでした
(Interval Timing could not load the external security manager interface)

説明: 初期設定時、インターバル・タイミング・サブコンポーネントは、EYU9XSEC 外部セキュリティ・マネージャー (ESM) インターフェースをロードできませんでした。ここで、

applid CMAS の z/OS Communications Server アプリケーション ID です。

システムの処置: CMAS の実行は終了します。

ユーザーの処置: EYU9XSEC モジュールが CMAS STEPLIB、MVS リンク・リスト、または LPA ライブラリー連結内に含まれていることを確認してから、CMAS を再始動してください。

モジュール: EYU9XSTC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXS1012S S *applid* インターバル・タイミングが外部セキュリティ・マネージャー・インターフェースを接続できません (Interval Timing unable to attach the external security manager interface)

説明: 初期設定時、インターバル・タイミング・サブコンポーネントが MVS ATTACH コマンドを使用して、外部セキュリティ・マネージャー・タスクを開始しようとしたが、その ATTACH は失敗しました。ここで、*applid* は CMAS の z/OS Communications Server アプリケーション ID です。

システムの処置: インターバル・タイミングの初期設定は終了します。CMAS の初期設定は終了します。

ユーザーの処置: システム・ログで、接頭部 CSVnnnn で始まる MVS コンテンツ監視プログラム・メッセージを確認してください。これらのメッセージに、問題の原因が説明されています。問題の原因が不明な場合は、MVS システム・ログと CMAS ジョブ・ログを収集

し、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU9XSTC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXS1013I I インターバル・タイミングが外部セキュリティ・マネージャー・インターフェースを切り離しました (Interval Timing detached the external security manager interface)

説明: インターバル・タイミング・サブコンポーネントが、外部セキュリティ・マネージャー・インターフェースを静止しました。CICSplex SM セキュリティー・サービスは使用できなくなりました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9XSTC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXS1014I I タスク nnnnnn トランザクション cccc のタスク・リカバリーが開始しています (Task recovery starting for task nnnnnn transaction cccc)

説明: CMAS またはローカル MAS で実行中の CICSplex SM タスク・リカバリー TRUE、EYU9XSTR が、CICSplex SM クリーンアップ処理を実行しなかった終了中タスクを検出しました。ここで、

nnnnn タスク番号です

cccc タスクのトランザクション ID です

システムの処置: タスクに対して CICSplex SM クリーンアップ処理が試行されます。このリカバリー処理の結果は、リカバリーが完了した後にメッセージの EYUXS1015I または EYUXS1016E で報告されます。

ユーザーの処置: CICSplex SM タスクがクリーンアップ処理を実行しない最も一般的な原因は、モニター、対話式デバッガー、または EYU9WRAM プログラムが自動的にまたはオンデマンドでタスクを「KILL」するため使用されている場合です。それ以外の場合、原因は、通常の CICS HANDLE ABEND 処理を実行しない異常終了です (例えば、CANCEL オプションを指定して EXEC CICS ABEND を発行した場合)。上記のいずれかのためでもなく、この EYUXS1014I メッセージとペアになる後続メッセージの EYUXS1015I または EYUXS1016E もなしに、このメッセージが出た場合は、以下の情報をできる限り収集して IBM サポートにお問い合わせください。

- 完全なジョブ出力。

EYUXS1015I I • EYUXS1016E E

- CMAS または MAS の実行中に発生した可能性のある異常終了についての不定様式 SVC ダンプ。
- フォーマットされていない AUXTRACE データ・セット (システムが MAS であり、AUXTRACE がそのシステムでアクティブな状態ではなかった場合、MAS が接続されていた CMAS から AUXTRACE データ・セットを収集してください)。

モジュール: EYU9XSTR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXS1015I I タスク *nnnnn* フラグ 123456789 のタスク・リカバリーが完了しました (**Task recovery complete for task *nnnnn* flags 123456789**)

説明: CMAS またはローカル MAS で実行中の CICSplex SM タスク・リカバリー TRUE、EYU9XSTR が、終了中タスクのタスク・リカバリーを完了しました。ここで、

nnnnn タスク番号です

- 1 リカバリーがタスクの CICSplex SM タスク作業域を正常にチェーン解除した場合は Y で、解除しなかった場合は N です。
- 2 リカバリーがタスクのグローバル・ロック・リカバリーを正常に完了した場合は Y で、完了しなかった場合は N です。
- 3 リカバリーがタスクのグローバル・ロック・ホルダー・エレメントを正常に解放した場合は Y で、解放しなかった場合は N です。このフラグに ? が表示される場合は、APAR PQ79290 の PTF を適用した後に ESSS アドレス・スペースが再始動されませんでした。
- 4 リカバリーがタスクのグローバル・ロック待機エレメントを正常に解放した場合は Y で、解放しなかった場合は N です。このフラグに ? が表示される場合は、APAR PQ79290 の PTF を適用した後に ESSS アドレス・スペースが再始動されませんでした。
- 5 リカバリーがタスクのローカル・ロック・リカバリーを正常に完了した場合は Y で、完了しなかった場合は N です。
- 6 リカバリーがタスクのローカル・ロック・ホルダー・エレメントを正常に解放した場合は Y で、解放しなかった場合は N です。
- 7 リカバリーがタスクのローカル・ロック待機エレメントを正常に解放した場合は Y で、解放しなかった場合は N です。

- 8 リカバリーがタスクの 64 ビット・ストレージを正常に解放した場合は Y で、解放しなかった場合は N です。

- 9 N です。リカバリーが成功したため、このタスクについて SVC ダンプは取られませんでした。

システムの処置: タスクの CICSplex SM クリーンアップ処理が完了しました。このリカバリー処理の開始は、前の EYUXS1014I メッセージで報告されています。

ユーザーの処置: パートナー・メッセージ EYUXS1014I の資料を参照して、これらのメッセージの発行を IBM サポートに報告する必要があるかどうか判別してください。

モジュール: EYU9XSTR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXS1016E E タスク *nnnnn* フラグ 123456789 のタスク・リカバリーにエラーがあります (**Task recovery in error for task *nnnnn* flags 123456789**)

説明: CMAS またはローカル MAS で実行中の CICSplex SM タスク・リカバリー TRUE、EYU9XSTR が、終了されたタスクのタスク・リカバリーを実行中に少なくとも 1 件のエラーを検出しました。ここで、

nnnnn タスク番号です

- 1 リカバリーがタスクの CICSplex SM タスク作業域を正常にチェーン解除した場合は Y で、解除しなかった場合は N です。
- 2 リカバリーがタスクのグローバル・ロック・リカバリーを正常に完了した場合は Y、完了しなかった場合は N、アドレス・スペースが ESSS に接続されていなかった場合は E です。
- 3 リカバリーがタスクのグローバル・ロック・ホルダー・エレメントを正常に解放した場合は Y で、解放しなかった場合は N です。このフラグに ? が表示される場合は、APAR PQ79290 の PTF を適用した後に ESSS アドレス・スペースが再始動されませんでした。
- 4 リカバリーがタスクのグローバル・ロック待機エレメントを正常に解放した場合は Y で、解放しなかった場合は N です。このフラグに ? が表示される場合は、APAR PQ79290 の PTF を適用した後に ESSS アドレス・スペースが再始動されませんでした。
- 5 リカバリーがタスクのローカル・ロック・リカ

バリーを正常に完了した場合は Y で、完了しなかった場合は N です。

- 6 リカバリーがタスクのローカル・ロック・ホルダー・エレメントを正常に解放した場合は Y で、解放しなかった場合は N です。
- 7 リカバリーがタスクのローカル・ロック待機エレメントを正常に解放した場合は Y で、解放しなかった場合は N です。
- 8 リカバリーがタスクの 64 ビット・ストレージを正常に解放した場合は Y、解放しなかった場合は N、ストレージの解放で障害が発生した場合は F です。
- 9 タスクのリカバリー中のエラーのためダンプが取られた場合は Y、ダンプが要求されたが、CMAS または MAS のこの実行に対して前のダンプが取られていたために抑止された場合は S、CMAS または MAS が ESSS に接続されていない場合は E、ダンプの取得中に障害が発生した場合は F です。

システムの処置: タスクの CICSplex SM クリーンアップ処理が完了しました。CMAS または MAS の実行中にこのメッセージが初めて発生したときに、メッセージ EYUXS0910I とともに SVC ダンプが要求されます。

ユーザーの処置: 以下の情報をできる限り収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

- 完全なジョブ出力。
- CMAS または MAS の実行中に発生した可能性のある異常終了についての不定様式 SVC ダンプ。
- フォーマットされていない AUXTRACE データ・セット (システムが MAS であり、AUXTRACE がそのシステムでアクティブな状態ではなかった場合、MAS が接続されていた CMAS から AUXTRACE データ・セットを収集してください)。

モジュール: EYU9XSTR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXS1017E E この領域の制御タスク、トランザクション *cccc* が異常終了中です。(The controlling task for this region, transaction *cccc*, is terminating abnormally.)

説明: CMAS またはローカル MAS で実行中の CICSplex SM タスク・リカバリー TRUE、EYU9XSTR が、クリーンアップ処理が実行されている終了中タスクは領域内の CICSplex SM 制御タスクであると判別しました。ここで、

cccc タスクのトランザクション ID です

システムの処置: このタスクに対して SVC ダンプがまだ要求されていない場合、メッセージ EYUXS0910I とともに要求されます。領域が CMAS の場合、取り消されます。領域がローカル MAS の場合、ESSS から切断され、再接続のためにその領域の再始動が要求されます。

注: このメッセージの前にはメッセージ EYUXS1014I があり、後にメッセージ EYUXS1015I または EYUXS1016E が続きます。

ユーザーの処置: 付随するメッセージ EYUXS1015I または EYUXS1016E の資料を参照してから、領域を再始動してください。

注: 取り消し (CMAS) または ESSS 切断 (ローカル MAS) の結果として、追加のエラー (異常終了など) が領域内で発生する可能性があります。これらのエラーは予期されるもので、無視する必要があります。

モジュール: EYU9XSTR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXS1018E E ESSS の切断に失敗しました。RESP *nnm*. (ESSS disconnect failed, RESP *nnm*.)

説明: ローカル MAS で実行中の CICSplex SM タスク・リカバリー TRUE、EYU9XSTR が、MAS の ESSS からの切断を要求している際に、無効な戻りコードを検出しました。ここで、

nnm 無効な戻りコードです

システムの処置: 処理を続行します。

注: このメッセージの前には、メッセージ EYUXS1017E があります。

ユーザーの処置: 以下の情報をできる限り収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

- 完全なジョブ出力。
- CMAS または MAS の実行中に発生した可能性のある異常終了についての不定様式 SVC ダンプ。
- フォーマットされていない AUXTRACE データ・セット (システムが MAS であり、AUXTRACE がそのシステムでアクティブな状態ではなかった場合、MAS が接続されていた CMAS から AUXTRACE データ・セットを収集してください)。

その後、ローカル MAS を再始動してください。

モジュール: EYU9XSTR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXS1019W W タスク *nnnnn* に割り振られた API リソースが孤立している可能性があります。**(API resources allocated for task *nnnnn* may be orphaned.)**

説明: ローカル MAS で実行中の CICSplex SM タスク・リカバリー TRUE、EYU9XSTR が、解放されなかった CICSplex SM API リソースを割り振ったタスクのクリーンアップを実行しています。ここで、

nnnnn タスク番号です

システムの処置: CICSplex SM クリーンアップ処理は続行されます。このメッセージの前にはメッセージ EYUXS1014I があり、後にメッセージ EYUXS1015I または EYUXS1016E が続きます。

ユーザーの処置: 孤立した API リソースが、ローカル MAS およびその接続先の CMAS にあります。このメッセージが頻繁に出される場合は、メッセージを受信するローカル MAS およびその接続先の CMAS を再始動して、孤立リソースを解放する必要があります。

モジュール: EYU9XSTR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXS1020E E トランザクション *cccc* のタスクの終了のため、**MAS** エージェントを終了します。**(Terminating the MAS agent due to the termination of the task for transaction *cccc*.)**

説明: ローカル MAS で実行中の CICSplex SM タスク・リカバリー TRUE、EYU9XSTR が、クリーンアップ処理が実行されている終了中タスクは受信タスク (トランザクション COIO) または状況タスク (トランザクション COIE) であると判別しました。ここで、

cccc タスクのトランザクション ID です

システムの処置: このタスクに対して SVC ダンプがまだ要求されていない場合、メッセージ EYUXS0910I とともに要求されます。その後、MAS エージェントは終了します。

ユーザーの処置: 付随するメッセージ EYUXS1015I または EYUXS1016E の資料を参照してから、領域を再始動するか、COLM トランザクションを発行して MAS エージェントを再始動してください。

モジュール: EYU9XSTR

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXS1021S S *applid* インターバル・タイミングが CICS 初期設定プログラムをロードできませんでした **(Interval Timing could not load the CICS initialization program)**

説明: 初期設定時、インターバル・タイミング・サブコンポーネントは、CICS 初期設定プログラム DFHSIP をロードできませんでした。ここで、

applid CMAS の z/OS Communications Server アプリケーション ID です。

システムの処置: CMAS の実行は終了します。

ユーザーの処置: DFHSIP モジュールが CMAS STEPLIB、MVS リンク・リスト、または LPA ライブラリー連結内に含まれていることを確認してから、CMAS を再始動してください。

モジュール: EYU9XSTC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXS1026E E セキュリティー・インターフェースが異常終了 *CNNNN* を代行受信しました **(Security Interface has intercepted abnormal termination *CNNNN*)**

説明: 外部セキュリティ・サブコンポーネントで異常終了が発生しました。ここで、

C システム異常終了の場合は S、ユーザー異常終了の場合は U です

NNNN

システム異常終了コードまたはユーザー異常終了コードです。

システムの処置: 外部セキュリティ・リカバリー処理が試行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XSEC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXS1027I I セキュリティー・インターフェース・リカバリーを開始しました **(Security Interface recovery has started)**

説明: 外部セキュリティ・サブコンポーネントが、異常終了に応答してそのリカバリー処理を開始しました。

システムの処置: 外部セキュリティ・インターフェースは、SVC ダンプを取得し、エラーからのリカバリーを試行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XSEC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXS1028I I セキュリティー・インターフェース・リカバリーが完了しました (**Security Interface recovery complete**)

説明: 外部セキュリティ・サブコンポーネントが異常終了から正常にリカバリーしました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 外部セキュリティ・サブコンポーネントによって SVC ダンプが生成された場合は、IBM サポートに連絡してください。

モジュール: EYU9XSEC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXS1029S S セキュリティー・インターフェース・リカバリーができません。 (**Security Interface recovery impossible.**) CMAS の終了を試行中

説明: 外部セキュリティ・サブコンポーネントが異常終了からリカバリーできませんでした。

システムの処置: 外部セキュリティ・サブコンポーネントは SVC ダンプを要求し、CMAS を終了します。

ユーザーの処置: 外部セキュリティ・サブコンポーネントによって SVC ダンプが生成された場合は、IBM サポートに連絡してください。

モジュール: EYU9XSEC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXS1030S S セキュリティー・インターフェース異常終了の限度に達しました (**Security Interface Abend limit reached**)

説明: 外部セキュリティ・サブコンポーネントが再帰的異常終了状態の可能性を検出しました。

システムの処置: 外部セキュリティ・サブコンポーネントは SVC ダンプを要求し、CMAS を終了します。

ユーザーの処置: 外部セキュリティ・サブコンポーネントによって SVC ダンプが生成された場合は、IBM サポートに連絡してください。

モジュール: EYU9XSEC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXS1101I I インターバル・タイミングの終了を開始しました (**Interval Timing termination has started**)

説明: インターバル・タイミング・サブコンポーネントを終了しています。

システムの処置: インターバル・タイミング・サブコンポーネントの終了が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XSTC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXS1102I I インターバル・タイミングの終了が完了しました (**Interval Timing termination complete**)

説明: インターバル・タイミング・サブコンポーネントが終了しました。

システムの処置: CICSplex SM の終了を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XSTC

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXUnnnn メッセージ

EYUXUnnnn メッセージは、カーネル・リンケージ・コンポーネントのさまざまなユーティリティー (オンライン・ユーティリティー・トランザクション (COLU) やバッチ処理されるリポジトリ更新機能など) によって発行されます。

COLU トランザクションは IBM サポートによって要求されたときに使用できる診断ツールです。これは、Using the online utility transaction (COLU) の使用で説明されています。

注: COLU トランザクションが MVS コンソールから発行された場合、そのメッセージ (EYUXU0001 - EYUXU0017) は CICS 端末ではなく、コンソールに返されます。

バッチ処理されるリポジトリ更新機能は、CMAS データ・リポジトリでの定義の作成および変更に使用できます。これらのメッセージの中には、バッチ・リポジトリ入力ファイルに関する問題 (無効なコマンドやリソース・オブジェクトなど) を説明するものもあります。入力ファイルとそのコマンドの説明については、『Administering』の『The batched repository-update facility』を参照してください。有効なリソース・オブジェクトおよびキーワードのリストについては、『Reference』の『CICSplex SM resource tables』を参照してください。

EYUXU0001I I *date time applid command.*

説明: このメッセージは、現在の COLU トランザクション用に発行されたコマンドのテキストをエコー出力します。

システムの処置: COLU 処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0XLUT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *command*

宛先: COLG

EYUXU0002I I *date time applid* オンライン・ユーティリティーが {エラー | エラーなし} で終了しました。

説明: COLU トランザクションは処理を完了しました。

result

COLU 処理の結果を以下のいずれかとして示します。

エラーなし

トランザクションが正常に完了しました。

エラー

トランザクションで 1 つ以上のエラー条件が発生しました。

システムの処置: COLU トランザクションは処理を完了します。

ユーザーの処置: エラーがあったことをこのメッセージが示す場合、このメッセージの前に発行された EYUXUnnnn メッセージを調べて、問題の原因を判別してください。次に COLU への入力を訂正して、トランザクションを再実行してください。

モジュール: EYU0XLUT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=エラー、
2=エラーなし

宛先: COLG

EYUXU0003E E *date time applid CICS {GETMAIN | SPOOLCLOSE | SPOOLOPEN | SPOOLWRITE}* に失敗しました。

RESP=respcode、RESP2=resp2code。

説明: EXEC CICS コマンドが異常応答を返しました。
ここで、

command

エラーの原因となった EXEC CICS コマンド
であり、以下のいずれかです。

- FREEMAIN
- GETMAIN
- SPOOLCLOSE
- SPOOLOPEN
- SPOOLWRITE

respcode

CICS によって返される EIBRESP コードで
す。

resp2code

CICS によって返される EIBRESP2 コードで
す。

システムの処置: COLU トランザクションは終了しま
す。

ユーザーの処置: 指定された EXEC CICS コマンドの
RESP= および RESP2= の各値を評価してください。次
に、可能であれば COLU への入力を訂正し、トランザ
クションを再実行してください。問題が解決しない場合
は、IBM サポートに連絡してこのメッセージのテキス
トを提示してください。

モジュール: EYU0XLUS

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. date
2. time
3. applid
4. 以下のオプションから選択される値:

1=GETMAIN、
2=SPOOLCLOSE、
3=SPOOLOPEN、
4=SPOOLWRITE

5. respcode
6. resp2code

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0004E E date time applid 入力ストリームで {
データ | キーワード} が指定されていま
せん。

説明: COLU への入力で必須パラメーターが指定され
ていませんでした。

parmtype

不足しているパラメーターのタイプがキーワー
ドであるか、データであるかを示します。

システムの処置: COLU トランザクションは終了しま
す。

ユーザーの処置: Troubleshooting CICSplex SM で
COLU トランザクションの構文を確認してください。
次に COLU への入力を訂正して、トランザクションを
再実行してください。

モジュール: EYU0XLUT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. date
2. time
3. applid
4. 以下のオプションから選択される値:

1=データ、
2=キーワード

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0005E E date time applid 無効な {コンポーネ
ント ID | キーワード} (parm) が指定さ
れました。

説明: 無効なパラメーターを指定して COLU トランザ
クションが実行されました。

parmtype

無効なパラメーターのタイプがコンポーネント
ID であるか、キーワードであるかを示しま
す。

parm

無効なコンポーネント ID パラメーターまたは
キーワード・パラメーターです。

システムの処置: COLU トランザクションは終了しま
す。

ユーザーの処置: Troubleshooting CICSplex SM で
COLU トランザクションの構文を確認してください。

EYUXU0006E E • EYUXU0009E E

次に COLU への入力を訂正して、トランザクションを再実行してください。

モジュール: EYU0XLUT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=コンポーネント ID、
2=キーワード

5. *parm*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0006E E *date time applid {MODB | MOEB}*
を *compid* で使用できません。

説明: COLU で必要な制御ブロックを、指定されたコンポーネントで使用できません。

cblock

必要な制御ブロックが MODB であるか、
MOEB であるかを示します。

compid

COLU がアクセスしようとしていたコンポーネントを示します。

COLU が発行された CMAS または MAS でコンポーネントが初期設定されていない可能性があります。

システムの処置: COLU トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: 指定されたコンポーネントが完全に初期設定されていることを確認してから、トランザクションを再実行してください。

モジュール: EYU0XLUT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=MODB、
2=MOEB

5. *compid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0007E E *date time applid* キーワード *parm* の
キーワード値の数が無効です。

説明: 無効な数の値が COLU トランザクションのキーワード・パラメーターで指定されました。ここで、

parm

無効だったキーワード・パラメーターです。

システムの処置: COLU トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: Troubleshooting CICSplex SM で COLU トランザクションの構文を確認してください。
次に COLU への入力を訂正して、トランザクションを再実行してください。

モジュール: EYU0XLUT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *parm*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0008E E *date time applid* キーワード *parm* の
キーワード値 (*value*) が無効です。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *value*
5. *parm*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0009E E *date time applid* パラメーター *parm*
の構文が無効です。

説明: COLU トランザクションでパラメーターが誤って指定されました。ここで、

parm

構文が正しくなかったパラメーターです。

システムの処置: COLU トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: Troubleshooting CICSplex SM で COLU トランザクションの構文を確認してください。次に COLU への入力を訂正して、トランザクションを再実行してください。

モジュール: EYU0XLUT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *parm*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0010E E *date time applid* キーワード *parm* に
キーワード値がありません。

説明: COLU トランザクションで指定されたキーワード・パラメーターに必要な値がありません。

parm

値が指定されていないキーワード・パラメーターです。

システムの処置: COLU トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: Troubleshooting CICSplex SM で COLU トランザクションの構文を確認してください。次に COLU への入力を訂正して、トランザクションを再実行してください。

モジュール: EYU0XLUT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *parm*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0011W W *date time applid* 要求されたサービスは *addspace* から使用できません。

説明: COLU トランザクションが発行されたアドレス・スペースのタイプからは使用できないオプションが、そのトランザクションで要求されました。ここで、*addspace*

アドレス・スペースが CMAS であるか、ローカル MAS (LMAS) であるかを示します。

システムの処置: COLU トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: オプションおよびそれらのオプションが使用可能なアドレス・スペースのリストについては、Troubleshooting CICSplex SM で COLU トランザクションの説明を確認してください。

モジュール: EYU0XLUT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *addspace*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0012E E *date time applid* **ABEND** が発生しました。

説明: COLU トランザクション処理中に異常終了が発生しました。

システムの処置: COLU トランザクションは終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれ、トランザクション・ダンプが取られます。

ユーザーの処置: トレース・レコードとトランザクション・ダンプを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XLUT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0013E E *date time applid compid* でオプションはサポートされていません。(Options not supported for compid.)

説明: CICSplex SM の指定されたコンポーネントで使用可能な COLU オプションはありません。ここで、*compid*

指定されたコンポーネント ID です。

システムの処置: COLU トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: オプションおよびそれらのオプションが使用可能なコンポーネントのリストについては、Troubleshooting CICSplex SM で COLU トランザクションの説明を確認してください。

モジュール: EYU0XLUT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *compid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0014E E *date time applid compid* のユーティリティ・プロセッサが予期しないエラーを検出しました。

説明: COLU トランザクションによって呼び出された CICSplex SM プログラムが、メソッド障害応答を返しました。ここで、

compid

エラーを生成したコンポーネントを示します。

システムの処置: COLU トランザクションは終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: トレース・レコードを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XLUT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *compid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0015I I *date time applid* 要求を満たす割り振り済みキュー・リソースがありません。

説明: QUE オプションおよび適切なオペランドを指定して COLU オンライン・ユーティリティ・トランザクションが実行されましたが、指定された基準と一致する割り振りキューがありません。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0XL70

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUXU0016E E *date time applid* コンポーネント ID かメソッド ID、またはその両方が無効です。

説明: COLU オンライン・ユーティリティ・トランザクションの QUE オプションで指定したコンポーネント ID またはメソッド ID に誤りがあります。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: 有効なコンポーネント ID またはメソッド ID を指定して COLU QUEUE トランザクションを再実行してください。

有効な CICSplex SM コンポーネント ID のリストについては、Troubleshooting CICSplex SMを参照してください。有効なメソッド ID は、必要に応じて、お客様サポート担当員によってサポートされます。

モジュール: EYU0XL70

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0017E E *date time applid* キュー環境照会メソッドに *nn* の状況で障害が発生しました。

説明: COLU オンライン・ユーティリティ・トランザクションの QUE オプションによって使用されるキュー環境照会メソッドが失敗しました。ここで、

nn

問題を識別する数値状況コードです。

システムの処置: ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。この問題に関連する追加メッセージがジョブ・ログに書き込まれる場合もあります。

ユーザーの処置: 以下の情報を収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

•

SYSOUT ファイル

•

トレース・レコード

•

COLU が実行されていた CMAS または MAS のジョブ・ログ

モジュール: EYU0XL70

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *nn*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0200E E *date time applid* 入力ファイル
(*dsname*) の {割り振り | 割り振り解除}
に失敗 - 理由コード (*code*)。

説明: 指定されたバッチ・リポジトリ入力ファイルの
割り振り処理中に、障害が発生しました。ここで、

action

実行されているアクションが割り振りである
か、割り振り解除であることを示します。

dsname

処理されていたデータ・セットの名前。

code

MVS 動的割り振り呼び出しから返された理由
コードです。

システムの処置: バッチ・リポジトリ実行は終了しま
す。

ユーザーの処置: 動的割り振りによって返される理由コ
ードの説明については、z/OS MVS Programming:
Authorized Assembler Services Guide を参照してくだ
さい。問題を訂正し、バッチ・リポジトリ・ジョブを
再実行依頼してください。

モジュール: EYU0XDBI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=割り振り、
2=割り振り解除

5. *dsname*
6. *code*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0201E E *date time applid* 入力ファイル
(*dsname*) の {クローズ | オープン | 読
み取り} に失敗 - 戻りコード (*code*)。

説明: 指定されたバッチ・リポジトリ入力ファイルの
入出力処理中に、障害が発生しました。ここで、

action

実行されているアクションを、オープン、読み
取り、またはクローズとして示します。

dsname

処理されていたデータ・セットの名前。

code

MVS BSAM 呼び出しからの戻りコードです。

注: ゼロ (0) の戻りコードは、MVS 入出力処
理中に異常終了が発生したことを意味します。
バッチ処理されるリポジトリ更新機能が異常
終了を代行受信すると、戻りコードは設定でき
ません。

システムの処置: バッチ・リポジトリ実行は終了しま
す。

ユーザーの処置: 適切な CMAS のジョブ・ログで、問
題に関連した MVS メッセージを確認してください。次
に、それらのメッセージの説明について z/OS MVS シ
ステム・メッセージのマニュアルを参照してください。

問題を訂正し、バッチ・リポジトリ・ジョブを再実行
依頼してください。

モジュール: EYU0XDBI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=クローズ、
2=オープン、
3=読み取り

5. *dsname*
6. *code*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0202E E *date time applid* {ベース・テーブ
ル・ | 入力 | 出力 | パーサー・} バッ
ファを作成するためのストレージが不足
しています。

EYUXU0203E E • EYUXU0204E E

説明: バッチ・リポジトリ機能に必要な指定されたタイプのバッファが、GETMAIN 障害のために作成できませんでした。ここで、

type

作成できなかったバッファのタイプが入力であるか、パーサーであるかを示します。

システムの処置: バッチ・リポジトリ実行は終了します。

ユーザーの処置: バッチ処理されるリポジトリ更新機能を実行している CMAS の領域サイズを増やしてください。CMAS は、BATCHREP ビューの内容によって示されます。ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU0XDBM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=ベース・テーブル・、
2=入力、
3=出力、
4=パーサー・

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0203E E *date time applid (module)* でのメソッド障害 - 応答 (*respcode*) - 理由 (*rcode*)。

説明: バッチ・リポジトリ機能による、指定された CICSplex SM モジュールの実行中に障害が発生しました。ここで、

module

失敗したモジュールの名前です。

respcode

モジュールによって返される応答コードです。

rcode

モジュールによって返される理由コードです。

システムの処置: バッチ・リポジトリ実行は終了します。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレース・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 以下の情報を収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

- バッチ・リポジトリ処理レポート

- EYULOG
- CICS トレース・データ・セット

モジュール: EYU0XDBM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *module*
5. *respcode*
6. *rcode*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0204E E *date time applid* ユーティリティー・{コマンド | パラメーター | オブジェクト} (*parmname*) が長すぎます。

説明: バッチ・リポジトリ機能への入力として使用されるパラメーターの長さが長すぎました。ここで、

parmtype

パラメーターのタイプを次のいずれかとして示します。

コマンド

7 文字以下

オブジェクト

8 文字以下

キーワード

12 文字以下

parmname

長すぎたパラメーターの名前です。

システムの処置: 入力ファイルが実行中だった場合、これ以降の処理は構文検査に限定されます。入力ファイルが検査中だった場合、実行は続けられます。

ユーザーの処置: 入力パラメーターを訂正し、バッチ・リポジトリ・ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU0XDBP

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=コマンド、
 2=パラメーター、
 3=オブジェクト

5. *parmname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0205E E *date time applid* **Value** 節にパラメーター (*parmname*) がありません。

説明: 指定されたパラメーターに値が見つかりませんでした。ここで、

parmname

値が見つからなかったパラメーターの名前です。

システムの処置: 入力ファイルが実行中だった場合、これ以降の処理は構文検査に限定されます。入力ファイルが検査中だった場合、実行は続けられます。

ユーザーの処置: パラメーターを訂正し、バッチ・リポジトリ・ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU0XDBP

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *parmname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0206E E *date time applid* パラメーター (*parmname*) の構文が無効です。

説明: バッチ・リポジトリ入力ファイルで、パラメーターが正しく指定されていなかったか、制御ステートメントの最後のパラメーターの後にセミコロン区切り文字がありませんでした。

parmname

正しくなかったパラメーターの名前です。

システムの処置: 入力ファイルが実行中だった場合、これ以降の処理は構文検査に限定されます。入力ファイルが検査中だった場合、実行は続けられます。

ユーザーの処置: パラメーターを訂正し、バッチ・リポジトリ・ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU0XDBP

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *parmname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0207E E *date time applid* パーサー・バッファ・エラー。

説明: 入力ストリームがバッチ・リポジトリのパーサー・バッファの限界を超えました。このエラーの原因として最も可能性が高いのは、コマンドがセミコロン (;) 区切り文字で適切に区切られていなかったことです。パーサーは、コマンドの区切り文字を検出するまで、コマンド・ブロックを作成しようとし続けます。

システムの処置: 現行コマンドの処理を終了します。入力ファイルが実行中だった場合、これ以降の処理は構文検査に限定されます。入力ファイルが検査中だった場合、実行は続けられます。

ユーザーの処置: コマンド入力の各行に、区切り文字があることを確認してください。エラーをすべて訂正し、バッチ・リポジトリ・ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU0XDBP

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0208E E *date time applid (command)* の実行のコンテキスト (*context*) が無効です。

説明: 指定されたコンテキストが、指定されたバッチ・リポジトリ・コマンドの処理に対して適切ではありません。ここで、

context

CONTEXT コマンドで指定された CMAS または CICSplex を示します。CONTEXT がパラメーターなしで使用される場合は、ローカル CMAS (つまり、リポジトリ機能を実行している CMAS) が想定されることに注意してください。

command

処理できなかったコマンドの名前です。

システムの処置: 現行コマンドの処理を終了します。入力ファイルが実行中だった場合、これ以降の処理は構文

検査に限定されます。入力ファイルが検査中だった場合、実行は続けられます。

ユーザーの処置: コマンド・ステートメントの前の最後の CONTEXT コマンドを確認してください。そのコマンドに、処理されるコマンドの適切なコンテキスト (ローカル CMAS または CICSplex のいずれか) が指定されるようにします。エラーをすべて訂正し、バッチ・リポジトリ・ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU0XDBM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *context*
5. *command*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0209E E *date time applid* コンテキスト (*plexname*) の保守ポイントがアクティブではありません。

説明: 指定された CICSplex が後続のコマンドのコンテキストとして指定されました。しかし、その CICSplex の保守ポイント CMAS がアクティブでないか、コンテキストが CICSplex の名前を付けていません。データ・リポジトリ・レコードは、アクティブでない CMAS に対して更新できません。

システムの処置: 現行コマンドの処理を終了します。これ以降の処理は、構文検査に限定されます。

ユーザーの処置: CONTEXT コマンドに CICSplex 名が正しく指定されていることを確認してください。名前が指定されていて、その CICSplex の保守ポイント CMAS がアクティブであることを予期された場合は、アクティブでない理由を調べてください。必要な CMAS がアクティブになったら、バッチ・リポジトリ・ジョブを再実行依頼します。

モジュール: EYU0XDBM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0210E E *date time applid* バッチ入力ファイル (*dsname*) のレコードの {フォーマット | 長さ} が無効です。

説明: 指定されたバッチ・リポジトリ入力ファイルにあるレコードの属性の一部が無効です。ここで、

attribute

無効であるのが、レコード長か、レコード形式かを示します。バッチ・リポジトリ機能への入力は、固定ブロック形式の 80 バイトのレコードとして指定する必要があります。

dsname

処理されていたデータ・セットの名前。

システムの処置: バッチ・リポジトリ実行は終了します。

ユーザーの処置: 入力ファイルを訂正し、バッチ・リポジトリ・ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU0XDBI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=フォーマット、
2=長さ

5. *dsname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0211E E *date time applid* コンテキスト (*context*) が見つかりません。

説明: CONTEXT コマンドで指定されている *context name* が、ローカル CMAS の名前ではないか、CICSplex SM に定義されていない CICSplex の名前です。

システムの処置: 現行コマンドの処理を終了します。入力ファイルが実行中だった場合、これ以降の処理は構文検査に限定されます。入力ファイルが検査中だった場合、実行は続けられます。

ユーザーの処置: 指定されたコンテキスト名が、ローカル CMAS の名前か、CICSplex SM に定義されている CICSplex の名前のいずれかであることを確認してください。CICSplex が CICSplex SM に定義されていることを確認するには、CPLEXDEF ビューを使用します。エラーをすべて訂正し、バッチ・リポジトリ・ジョブ

を再実行依頼してください。

モジュール: EYU0XDBM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *context*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0212E E *date time applid* ローカル **CMAS** が
コンテキスト (*context*) の保守ポイントで
はありません。

説明: 説明はありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし。

モジュール: モジュールは不明

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *context*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0213E E *date time applid* {コマンド | オブジ
ェクト} (*parmname*) が無効です。

説明: バッチ・リポジトリ入力ファイルのパラメータ
ーが正しく指定されていませんでした。

parmtype

パラメーターのタイプがコマンドであるか、オ
ブジェクトであるかを示します。

parmname

無効だったパラメーターの名前です。

システムの処置: 現行コマンドの処理を終了します。入
力ファイルが実行中だった場合、これ以降の処理は構文
検査に限定されます。入力ファイルが検査中だった場
合、実行は続けられます。

ユーザーの処置: パラメーターを訂正し、バッチ・リポ
ジトリ・ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU0XDBS

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*

4. 以下のオプションから選択される値:

1=コマンド、
2=オブジェクト

5. *parmname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0214E E *date time applid* オブジェクト
(*objname*) はバッチ・ユーティリティーか
ら参照できません。

説明: 指定されたリソース・オブジェクトは、バッチ・
リポジトリ機能によって処理できるオブジェクトでは
ありません。ここで、*objname* は、指定されたリソー
ス・オブジェクトを示します。

システムの処置: 現行コマンドの処理を終了します。入
力ファイルが実行中だった場合、これ以降の処理は構文
検査に限定されます。入力ファイルが検査中だった場
合、実行は続けられます。

ユーザーの処置: 指定されたオブジェクトへの参照をバ
ッチ・リポジトリ入力ファイルからすべて削除し、ジ
ョブを再実行依頼してください。バッチ・リポジトリ
機能によって処理できるリソース・オブジェクトのリス
トについては、Administering CICSplex SM を参照し
てください。

モジュール: EYU0XDBS

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *objname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0215E E *date time applid* パラメーター
(*parmname*) の値 (*parmvalue*) が無効で
す。

説明: バッチ・リポジトリ入力ファイルのパラメータ
ー値が正しく指定されていませんでした。ここで、

parmvalue

指定された値です。

parmname

値が無効であるパラメーターの名前です。

システムの処置: 現行コマンドの処理を終了します。入
力ファイルが実行中だった場合、これ以降の処理は構文

検査に限定されます。入力ファイルが検査中だった場合、実行は続けられます。

ユーザーの処置: パラメーターを訂正し、バッチ・リポジトリリー・ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU0XDBS

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *parmvalue*
5. *parmname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0216E E *date time applid* 必須パラメーター (*parmname*) がありません。

説明: バッチ・リポジトリリー機能に必要なキーワード・パラメーターが指定されませんでした。

システムの処置: 現行コマンドの処理を終了します。入力ファイルが実行中だった場合、これ以降の処理は構文検査に限定されます。入力ファイルが検査中だった場合、実行は続けられます。

ユーザーの処置: バッチ・リポジトリリー機能に必要なパラメーターの説明については、Administering CICSplex SM および システム・プログラミング・リファレンスを参照してください。その後、エラーをすべて訂正し、バッチ・リポジトリリー・ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU0XDBS

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *parmname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0217E E *date time applid* 矛盾するパラメーター (*parmname*) が指定されました。

説明: バッチ・リポジトリリー・入力ファイルに、他のパラメーターと矛盾するパラメーターが指定されました。ここで、*parmname* は矛盾しているパラメーターの名前です。

システムの処置: 現行コマンドの処理を終了します。入力ファイルが実行中だった場合、これ以降の処理は構文

検査に限定されます。入力ファイルが検査中だった場合、実行は続けられます。

ユーザーの処置: バッチ・リポジトリリー機能に必要なパラメーターの説明については、Administering CICSplex SM を参照してください。矛盾するパラメーターをバッチ・リポジトリリー入力ファイルから削除し、ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU0XDBS

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *parmname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0218I I *date time applid* バッチ *type* 要求が完了 - 状況 (*status*) - 関連フィールド *fielda fieldb*。

説明: 指定されたバッチ・リポジトリリー要求の処理が完了しました。ここで、

type

処理された要求のタイプを、CREATE, UPDATE, LIST, DUMP, REMOVE, MAPLEFT, または MAPRIGHT のいずれかとして示します。

status

要求の完了の状況を示します。

fielda および *fieldb*

状況が OK ではない場合に、エラーになっているフィールドです。追加フィールドは、このメッセージの続きであるメッセージ EYUXU0240I に含まれています。

システムの処置: 処理を続行します。ただし、OK ではない状況では、これ以降の処理は構文検査に限定されます。

ユーザーの処置: *status* が OK の場合、処置は必要ありません。OK でない場合は、示された状態を訂正し、実行のためにバッチ・ストリームを再実行依頼してください。OK 以外の状況コードは、操作されているリソース・テーブルによって異なり、自己説明型です。有効な入力については、システム・プログラミング・リファレンスを参照してください。

モジュール: EYU0XDBR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*

2. *time*
3. *applid*
4. *type*
5. *status*
6. *fielda*
7. *fieldb*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0219E E *date time applid* バッチ *type* 要求に
失敗 - 応答 (*respcode*) - 理由 (*rcode*)。

説明: 指定されたバッチ・リポジトリ要求の処理が失敗しました。ここで、

type

失敗した要求のタイプを、
CREATE、UPDATE、LIST、DUMP、または
REMOVE のいずれかとして示します。

respcode

バッチ・リポジトリ機能によって返される応
答コードです。

rcode

バッチ・リポジトリ機能によって返される理
由コードです。

システムの処置: これ以降の処理は、構文検査に限定さ
れます。ユーザー・トレース・レコードが CICS トレー
ス・データ・セットに書き込まれます。

ユーザーの処置: 以下の情報を収集して、IBM サポー
トにお問い合わせください。

- バッチ・リポジトリ入力ファイル
- バッチ・リポジトリ処理レポート
- CICS トレース・データ・セット

モジュール: EYU0XDBR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *type*
5. *respcode*
6. *rcode*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0220E E *date time applid* 更新プロセスのレコ
ード・キーが無効です。

説明: UPDATE 処理のために選択された、要求された
リポジトリ・レコードがデータ・リポジトリで見つ
かりませんでした。

システムの処置: これ以降の処理は、構文検査に限定さ
れます。

ユーザーの処置: 正しいレコードが指定されているこ
とを確認し、バッチ・リポジトリ・ジョブを再実行依頼
してください。

モジュール: EYU0XDBI

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0221E E *date time applid* バッチ・ユーティリ
ティー・スプール・ファイルの {クローズ
| オープン | 書き込み} に失敗 - 理由
(*rcode*)。

説明: バッチ・リポジトリ出力スプール・ファイルの
処理中に、障害が発生しました。ここで、

action

実行されているアクションを、オープン、書き
込み、またはクローズとして示します。

rcode

障害の理由が以下のいずれかであることを示し
ます。

- 割り振り失敗
- 無効なクラス値
- 無効な出力レコード長
- 識別できないノード/ユーザーの組み合わせ
- ストレージの GETMAIN エラー
- ストレージの FREEMAIN エラー
- サポートされない言語

- サポートされない機能
- UserId が脱落している
- Node が脱落している
- From が脱落している
- 無効な保持/削除
- 入出力が脱落している
- CICS SSI が既に使用可能
- サブシステムがない
- インターフェースが使用不能
- インターフェースが停止した
- データ・セットがオープンしていない
- マクロのオープン障害
- 内部スプール・エラー
- VSAM SHOWCB 障害
- JES スレッドが使用不可
- スプールは他のタスクで使用中
- スプールは現在のタスクで使用中
- MVS インターフェースの失敗

システムの処置: バッチ・リポジトリ実行は終了します。

ユーザーの処置: *rcode* で示された状態を訂正し、バッチ・リポジトリ・ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU0XDBO

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=クローズ、
2=オープン、
3=書き込み

5. *rcode*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0222E E *date time applid* パラメーター
(*parmname*) は {コマンド | オブジェクト
} (*name*) には無効です。

説明: 提示されたパラメーターは、現在の処理中に使用できません。*obj/cmd* が「オブジェクト」の場合、パラメーターは *cmd/obj name* で提示されたりソース・テーブルで無効です。*obj/cmd* が「コマンド」の場合、パラメーターはそのリソース・テーブルに対して有効ですが、*cmd/objname* で提示されたコマンド処理の間は無効です。

システムの処置: 入力ファイルが実行中だった場合、これ以降の処理は構文検査に限定されます。入力ファイルが検査中だった場合、実行は続けられます。

ユーザーの処置: 正しいオブジェクトまたはコマンドが指定されていることを確認し、バッチ・リポジトリ・ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU0XDBS

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *parmname*
5. 以下のオプションから選択される値:

1=コマンド、
2=オブジェクト

6. *name*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0223E E *date time applid* コマンド (*cmdname*)
はオブジェクト (*objname*) には無効で
す。

説明: 提示されたコマンドは、提示されたりソース・テーブルの処理中に使用できません。

システムの処置: 入力ファイルが実行中だった場合、これ以降の処理は構文検査に限定されます。入力ファイルが検査中だった場合、実行は続けられます。

ユーザーの処置: 正しいオブジェクトまたはコマンドが指定されていることを確認し、バッチ・リポジトリ・ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU0XDBF

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *cmdname*
5. *objname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0224E E *date time applid* 予期しないファイルの終わりが検出されました。

説明: 入力ストリームの処理中、コマンド区切り文字が検出される前にファイルの終わりが検出されました。

システムの処置: バッチ・ストリーム処理は終了します。

ユーザーの処置: 最後のコマンドが正しく終了し、コマンド内の大括弧が正しく釣り合っていることを確認してから、バッチ・リポジトリ・ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU0XDBP

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0225E E *date time applid* 重複するパラメーター (*parmname*) が検出されました。

説明: 入力ストリームの処理中、既に処理されていたリソース・テーブル・パラメーターが検出されました。

システムの処置: 現行のコマンドの処理を終了します。入力ファイルが実行中だった場合、これ以降の処理は構文検査に限定されます。入力ファイルが検査中だった場合、実行は続けられます。

ユーザーの処置: 各コマンドで重複パラメーターがないか確認し、すべてのコマンドが正しく終了するようにしてください。エラーをすべて訂正し、バッチ・リポジトリ・ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU0XDBP

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *parmname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0226E E *date time applid* 前のエラーにより、処理が未完了になっています。

説明: 入力ストリームで前に発生したエラーが原因で、バッチ・ユーティリティーは完全に処理されません。このメッセージはプロセスの終了時に発行され、実行処理中に発生したエラー状態をユーザーが確実に認識するようにします。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: バッチ・リポジトリ・ジョブの出力を調べて、失敗の原因を示す前のメッセージを探してください。

モジュール: EYU0XDBM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0227I I *date time applid* 要求を満たすデータがありません。

説明: MAPLEFT 要求または MAPRIGHT 要求がバッチ・リポジトリ入力ファイルに含まれていましたが、マップすることを要求したオブジェクトが存在しません。このメッセージは、バッチ・リポジトリ出力ファイルの MAPLEFT ステートメントまたは MAPRIGHT ステートメントの直後に表示されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0XDBZ

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUXU0228E E *date time applid* リソース・テーブル
のフォーマット設定中に無効な値が検出さ
れました。

説明: BATCHREP DUMP または LIST コマンドの処
理中に、1 つ以上の無効データ値が検出されました。

システムの処置: これ以降の処理は、構文検査に限定さ
れます。

ユーザーの処置: 無効な属性値は「*****」のよう
にフォーマット設定されています。API または
BATCHREP UPDATE コマンドを使用して無効な値を
訂正し、バッチ・リポジトリ・ジョブを再実行依頼し
てください。

モジュール: EYU0XDBR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUXU0229E E *date time applid* バッチ化リポジトリ
ーには **OUTPUT** カードが最初の入力で
なければなりません。

説明: バッチ・リポジトリ入力ストリームに
OUTPUT 制御ステートメントを組み込む場合は、
OUTPUT ステートメントを最初にする必要がありま
す。

システムの処置: バッチ・リポジトリ実行は続行され
ます。出力は、元のターゲットに引き続き書き込まれま
す。

ユーザーの処置: OUTPUT ステートメントをバッチ・
リポジトリ入力ストリームの先頭に配置してくださ
い。

モジュール: EYU0XDBM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0230E E *date time applid* **OUTPUT** の後には
キーワード **LISTING** またはキーワード
DATASET が必要です。

説明: OUTPUT 制御ステートメントに LISTING と
DATASET 以外のキーワードが指定されました。サポー

トされるキーワードは、この 2 つのみです。

システムの処置: バッチ・リポジトリ実行は終了しま
す。

ユーザーの処置: OUTPUT 制御ステートメントを訂正
してください。

モジュール: EYU0XDBM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0231E E *date time applid* **OUTPUT**
DATASET ではパラメーター **DSNAME**
および **INQUOTES** のみがサポートされ
ています。

説明: OUTPUT DSNAME 制御ステートメントに
DSNAME と INQUOTES 以外のパラメーターが指定さ
れました。有効なパラメーターは、この 2 つのみで
す。

システムの処置: バッチ・リポジトリ実行は終了しま
す。

ユーザーの処置: OUTPUT 制御ステートメントを訂正
してください。

モジュール: EYU0XDBM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0232E E *date time applid* **DSNAME** に有効な
データ・セット名が指定されていません。

説明: DSNAME パラメーターに、有効なデータ・セッ
ト名が指定されていませんでした。データ・セット名の
長さは、44 バイトを超えてはなりません。それらのセ
ット名は、ピリオドで区切られている 1 文字から 8 文
字までのグループで構成されている必要があります。
DSNAME には、データ・セット名の後に置かれるオブ
ションのメンバー名を含めることができます。メンバー
名は小括弧で囲む必要があります、長さが 8 文字を超えて
はなりません。バッチ・リポジトリ出力データ・セッ
トのデータ・セット名およびメンバー名は、バッチ・リ
ポジトリ入力データ・セットのデータ・セット名およ
びメンバー名と同じであってはなりません。

システムの処置: バッチ・リポジトリ実行は終了します。

ユーザーの処置: OUTPUT ステートメントの
DSNAME パラメーターを訂正してください。

モジュール: EYU0XDBM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0233E E *date time applid INQUOTES* の値は
YES または **NO** のいずれかの値でなければなりません。

説明: パラメーター *INQUOTES* の値として **YES** と
NO 以外の値が指定されました。

システムの処置: バッチ・リポジトリ実行は終了します。

ユーザーの処置: OUTPUT 制御ステートメントの
INQUOTES パラメーターを訂正してください。

モジュール: EYU0XDBM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0234E E *date time applid* 出力ファイル
(*dsname*) の {クローズ | オープン | 書き込み} に失敗 - 戻りコード (*code*)。

説明: 指定されたバッチ・リポジトリ出力ファイルの
入出力処理中に、障害が発生しました。ここで、

action

実行されているアクションを、オープン、読み
取り、またはクローズとして示します。

dsname

処理されていたデータ・セットの名前。

code

MVS BSAM 呼び出しからの戻りコードです。

注: ゼロ (0) の戻りコードは、MVS 入出力処理中に異常終了が発生したことを意味します。

バッチ処理されるリポジトリ更新機能が異常
終了を代行受信すると、戻りコードは設定できません。

システムの処置: バッチ・リポジトリ実行は終了します。

ユーザーの処置: 適切な CMAS のジョブ・ログで、問題に関連した MVS メッセージを確認してください。次に、それらのメッセージの説明について z/OS MVS システム・メッセージのマニュアルを参照してください。

問題を訂正し、バッチ・リポジトリ・ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU0XDBW

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=クローズ、
2=オープン、
3=書き込み

5. *dsname*
6. *code*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0235E E *date time applid* バッチ出力ファイル
(*dsname*) のレコードの {フォーマット | 長さ} が無効です。

説明: バッチ処理されるデータ・リポジトリで使用する出力ファイルのレコード長 (LRECL) が 80 バイトではありません。

システムの処置: バッチ・リポジトリ実行は終了します。

ユーザーの処置: 80 バイトのレコードを持つ出力データ・セットを使用してください。

モジュール: EYU0XDBW

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=フォーマット、
2=長さ

5. *dsname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0236E E *date time applid* 出力ファイル
(*dsname*) の {割り振り | 探索 | 割り振り解除} に失敗 - 理由コード (*code*)。

説明: 指定されたバッチ・リポジトリ出力ファイルの
割り振り処理中に、障害が発生しました。ここで、

action

実行されているアクションが割り振りである
か、割り振り解除であることを示します。

dsname

処理されていたデータ・セットの名前。

code

MVS 動的割り振り呼び出しから返された理由
コードです。

システムの処置: バッチ・リポジトリ実行は終了しま
す。

ユーザーの処置: 動的割り振りによって返される理由コ
ードの説明については、z/OS MVS Programming:
Authorized Assembler Services Guide を参照してくだ
さい。問題を訂正し、バッチ・リポジトリ・ジョブを
再実行依頼してください。

モジュール: EYU0XDBW

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. 以下のオプションから選択される値:

1=割り振り、
2=探索、
3=割り振り解除

5. *dsname*6. *code*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0237E E *date time applid* 構文エラー。
batchrep制御ステートメントに、対になっ
ていない引用符または括弧があります。

説明: バッチ・リポジトリ・パラメーター値が引用符
で開始されましたが、引用符で終了していませんで
した。パラメーター値の最初の文字 (左括弧の直後に続く
文字) が引用符である場合は、最後の文字 (右括弧の直

前の文字) も引用符でなければなりません。また、パラ
メーター値内の組み込み引用符はペアで出現しなければ
なりません。

システムの処置: バッチ・リポジトリ実行は終了しま
す。

ユーザーの処置: BATCHREP 制御ステートメントを訂
正してください。

モジュール: EYU0XDBP

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0238W W *date time applid* 無効な **set** 属性が
無視されました。

説明: MP CMAS が、リポジトリ同期の一部とし
て、下位の CICSplex SM を実行中の CMAS にリソー
ス割り当て (RASGNDEF) をシップしました。当該の
RASGNDEF には、下位の CMAS に適用できない属性
を識別する指定変更ストリングが含まれています。

システムの処置: 不明な属性は無視されますが、無視さ
れている定義属性を識別するために、下位の CMAS が
例外トレース項目を出します。このメッセージは、無効
な **set** 属性の検出数に関係なく、CMAS ジョブ・ステ
ップ内で 1 回だけ発行されます。

ユーザーの処置: 下位の CMAS に適用できない属性が
報告されているため、通常、このメッセージは無視でき
ます。このメッセージが発行された後、システム・リソ
ースの保全性について不審な点がある場合は、CMAS
補助トレース・データ・セットを収集して、IBM サポ
ートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XDOS

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0239W W *date time applid* 無効な **filter** 属性
が変更されました。

説明: MP CMAS が、リポジトリ同期の一部とし
て、下位の CICSplex SM を実行中の CMAS にリソー
ス割り当て (RASGNDEF) をシップしました。当該の
RASGNDEF には、下位の CMAS に適用できない属性

を識別するフィルター・ストリングが含まれています。

システムの処置: 不明な属性が内部的に変更され、下位の CMAS 内に FALSE 状態を生成します。変更された filter 属性を識別するために、例外トレース項目が取得されます。このメッセージは、無効な filter 属性の検出数に関係なく、CMAS ジョブ・ステップ内で 1 回だけ発行されます。

ユーザーの処置: システムが、フィルターの実行を可能にするために変更されている属性テストを報告しています。ただし、ユーザーは、変更されたテストが無条件 FALSE 状態を生成するために更新されることに注意する必要があります。つまり、特にこれらの無効な filter 属性が、AND 論理演算子に接続されている複合指定の一部である場合は、正常にインストールされていると想定するリソースが、それらのリソースのターゲット・スコープで現在は定義されていない可能性があるということです。このメッセージが発行された後、システム・リソースの保全性について不審な点がある場合は、CMAS 補助トレース・データ・セットを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XDOP

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0240I I *date time applid* 追加関連フィールド
fielda fieldb fieldc fieldd。

説明: これは、最大 2 つの関連フィールドを提供するメッセージ EYUXU0218I の延長です。このメッセージは、最大 4 つの関連フィールドをさらに提供できません。詳しくは、EYUXU0218I の説明を参照してください。

システムの処置: 詳しくは、EYUXU0218I の説明を参照してください。

ユーザーの処置: 詳しくは、EYUXU0218I の説明を参照してください。

モジュール: EYU0XDBR

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *fielda*
5. *fieldb*
6. *fieldc*

7. *fieldd*

宛先: COLG

EYUXU0241E E *date time applid* **BATCHREP**

OPTION コマンドの構文が無効です。

説明: **OPTION** コマンドの構文解析中に、構文エラーが発生しました。**OPTION** コマンドの形式は次のとおりです。

OPTION *type keyword ^keyword ...]*

ここで、

OPTION

オプション・タイプです。

キーワード

処理されているオプション・タイプによってキーワード形式が異なるキーワードです。

システムの処置: バッチ・リポジトリ実行は終了します。

ユーザーの処置: **BATCHREP** 制御ステートメントを訂正してください。

モジュール: EYU0XDBM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0242E E *date time applid* **BATCHREP**

OPTION カード・タイプ (*type*) が無効です。

説明: **OPTION** コマンドに認識できないタイプがありました。現在、以下のオプション・タイプがサポートされています。

DUPREC

CREATE コマンドの重複レコード状態に対する処理オプションを設定します。

システムの処置: バッチ・リポジトリ実行は終了します。

ユーザーの処置: **BATCHREP** 制御ステートメントを訂正してください。

モジュール: EYU0XDBM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*

3. *applid*

4. *type*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0243E E *date time applid* **OPTION** *type* のキーワードが無効です (*keyword*)。

説明: **OPTION** コマンドに無効なキーワードが含まれていました。ここで、
タイプ

オプション・カード・タイプです。

キーワード

認識できないキーワードです。

システムの処置: バッチ・リポジトリ実行は終了します。

ユーザーの処置: **BATCHREP** 制御ステートメントを訂正してください。

モジュール: EYU0XDBM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *type*
5. *keyword*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0244E E *date time applid* 総称キーは除去では許されていません。

説明: レコードを除去するバッチ・リポジトリ要求が出されて、総称キーが指定されました。つまり、キー・フィールドに「+」または「*」のいずれかが指定されました。除去は固有のキーにのみ作用するため、この要求は失敗しました。

システムの処置: バッチ・リポジトリ更新要求は失敗します。これ以降の処理は、構文検査に限定されます。

ユーザーの処置: バッチ・リポジトリ要求を訂正して、再実行依頼してください。

モジュール: EYU0XDBX

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU0245E E *date time applid* 出力ファイル (*dsname*) のアクセス権限が不十分です。

説明: **BATCHREP** コマンド・ストリームの発行者に、**OUTPUT** コマンドで指定されたデータ・セットに書き込む権限がありません。ここで、

dsname

BATCHREP OUTPUT コマンドで指定された出力データ・セットの名前です。

システムの処置: **BATCHREP** ストリームは異常終了します。

ユーザーの処置: **OUTPUT** コマンドを更新して、そのユーザーに書き込み権限があるデータ・セットの名前を指定してください。

モジュール: EYU0XDBM

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dsname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXU1401I I **CICSplex SM API** 環境を初期化しています

説明: これは、バッチ処理の正常開始を示します。

システムの処置: **CICSplex SM** バッチ・ユーティリティーは実行を続けます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1402S S **CICSplex SM API** 環境の初期化に失敗しました

説明: **CICSplex SM** 初期設定プログラムにアクセスできないか、実行できないため、**EYUINIT()** プログラムが初期化できません。

システムの処置: **CICSplex SM** バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: **REXX** 環境または **CICSplex SM** 環境が正しくインストールされていません。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1403E E **CONTEXT** が最初のコマンド・パラメーターでなければなりません

説明: EYU9XDBT ジョブの **CONTEXT** パラメーターが、最初のオプションではありません。EYU9XDBT ジョブ内での **CONTEXT** コマンド・パラメーターの最初の出現で、CMAS の名前が定義されます。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: EYU9XDBT ジョブを編集し、**CONTEXT** パラメーターを先頭に移動してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1404W W **CONTEXT** 値に続くデータは無視されました

説明: **CONTEXT** パラメーターに関連付けられていなければならない唯一のデータは、コンテキストの名前です。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: EYU9XDBT ジョブを編集し、無関係なデータを削除してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1405E E **>CONTEXT** が **CPSMDEFS** 入力ストリームの最初のコマンド指定でなければなりません (**CONTEXT must be the first command specification of the CPSMDEFS input stream**)

説明: EYU9XDBT ジョブの **CONTEXT** パラメーターが、最初のオプションではありません。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: EYU9XDBT ジョブを編集し、**CONTEXT** パラメーターを先頭に移動してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1406E E **CICSplex SM API** 環境の初期化に失敗しました

説明: 不明な**DEFINE**コマンド・パラメーターです。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: EYU9XDBT ジョブを編集し、パラメーターが有効で、スペルが正しいことを確認してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1407E E オブジェクト削除のためにリソース・タイプを明示的に示す必要があります

説明: EYU9XDBT ジョブの **DELETE** コマンドに続くオブジェクトの名前が認識されていないか、欠落しています。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: ログを確認してください。

EYU9XDBT ジョブを編集し、オブジェクトの名前が有効であることを確認してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1408E E サポートされない **ADD** コマンド・リソース・タイプです

説明: **ADD** コマンドは、**TOGROUP** と **REGION** の2つのリソース・タイプをサポートします。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: ログを確認してください。

EYU9XDBT ジョブを編集し、オブジェクトの名前が有効であることを確認してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1409E E サポートされない **REMOVE** コマンド・リソース・タイプです

説明: **REMOVE** コマンドは、リソース・タイプ **FROMGROUP** をサポートします。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: ログを確認してください。

EYU9XDBT ジョブを編集し、オブジェクトの名前が有効であることを確認してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1410E E 入力ファイル参照が **IMPORT** コマンドから省略され、要求はリジェクトされました。(Input file reference omitted from IMPORT command, request rejected.)

説明: DD 名が無効であるか、IMPORT コマンドの後にあります。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: ログを確認してください。
EYU9XDBT ジョブを編集し、オブジェクトの名前が有効であることを確認してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1411E E 入力データ・ストリーム *DDname* が空です (Input datastream *DDname* is empty)

説明: 指定された入力ファイルの内容が無効であるか、ありません。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: 入力ファイルを編集してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1412I I *numberof records* レコードがファイル *DDname* にエクスポートされました (*numberof records* records exported to file *DDname*)

説明: これは、指定された出力ファイルにエクスポートされたレコード数を報告します。

システムの処置: 指定された出力ファイルが作成されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1413I I 処理が完了しました

説明: これは、バッチ処理の正常終了を示します。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1414W W CICSplex 名に続くデータは冗長であるため無視されました

説明: CICSplex 名に続く行に、不要な追加データがあります。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは続けられます。

ユーザーの処置: EYU9XDBT ジョブを編集し、CICSplex の名前のみが存在するようにしてください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1415E E DEFINE REGION パラメーターは不完全です

説明: DEFINE REGION コマンドの後に 1 つ以上のパラメーターがありません。パラメーターは、APPLID、SYSID、および CMASID です。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: EYU9XDBT ジョブを編集して、それらすべてのパラメーターがすべての領域に存在することを確認してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1416W W CICSGRP 名に続くデータは冗長であるため無視されました

説明: CICSGRP 名に続く行に、不要な追加データがあります。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは続けられます。

ユーザーの処置: EYU9XDBT ジョブを編集し、冗長データを削除してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1417E E リソース *resourcetype* がコンテキスト・タイプと矛盾します (Resource *resourcetype* not consistent with context type)

説明: CICSplex が CMAS 名の一部として定義されていません。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: EYU9XDBT ジョブを編集し、CMAS 名と CICSplex 名 が対応するようにしてください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1418E E 同じ **ADD** コマンドに **REGION** と **CICSGRP** の両方は指定できません

説明: CICSGRP および REGION が、CPSMUTL ジョブの同じ **ADD** コマンドに定義されています。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: EYU9XDBT ジョブを編集し、REGION および CICSGRP に対して別々の **ADD** コマンドがあることを確認してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1419E E **ADD** コマンドには **REGION** と **CICSGRP** のいずれかを指定する必要があります

説明: 各 **ADD** コマンドには、REGION または CICSGRP のいずれかの指定が必要です。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: EYU9XDBT ジョブを編集し、各 **ADD** コマンドに REGION または CICSGRP を確実に指定してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1420E E 同じ **REMOVE** コマンドに **REGION** と **CICSGRP** の両方は指定できません

説明: CICSGRP および REGION が、EYU9XDBT ジョブの同じ **REMOVE** コマンドに定義されています。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: EYU9XDBT ジョブを編集し、REGION および CICSGRP に対して別々の **REMOVE** コマンドがあることを確認してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1421E E **REMOVE** コマンドには **REGION** と **CICSGRP** のいずれかを指定する必要があります

説明: 各 **REMOVE** コマンドには、REGION または CICSGRP のいずれかの指定が必要です。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: EYU9XDBT ジョブを編集し、各 **REMOVE** コマンドに REGION または CICSGRP を確実に指定してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1422I I *resourcetype resourcename* のオブジェクト作成が成功しました (**Object creation successful for resourcetype resourcename**)

説明: オブジェクトが正常に作成されました。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは続けられます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1423E E *resourcetype resourcename* のオブジェクト作成が失敗しました (**Object creation failed for resourcetype resourcename**)

説明: エラーが検出されたため、オブジェクト作成が失敗しました。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: このメッセージの後に、CPSM **CREATE** API の失敗について記述するメッセージ EYUXU1446E が続きます。冗長フィードバック・オプションを指定している場合は、EYUXU1430 も続きます。これは、エラー・コードなどのエラー・フィードバック・データを含んでいるセクションの先頭にマークを付けます。エラー・フィードバック情報を確認して、エラーを訂正し、アクションを再試行してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1424I I **CONTEXT** *contextname* への接続を
確立しています

説明: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーが、指定されたコンテキストへの接続の確立を試行しています。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは続けられます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1425I I **CONTEXT** *contextname* からの接続
を終了しています (**Terminating
connection from CONTEXT
contextname**)

説明: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーが、指定されたコンテキストから切断しています。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは続けられます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1426E E リソース・タイプ *resourcetype* は認識
されていません。要求はリジェクトされ
ました。(**Resource type *resourcetype* is
not recognized, request rejected.**)

説明: リソース・タイプが認識されていません。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: EYU9XDBT ジョブを編集し、有効な CICSplex SM リソース・タイプを入力してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1427E E 現行コンテキスト *contextname* 内の
オブジェクト *objectType objectname* が
CICSplex SM データ・リポジトリ内に見
つかりませんでした (**Object *objectType*
objectname within the current Context
contextname could not be located in the
CICSplex SM data repository**)

説明: 指定されたオブジェクトが、CICSplex SM データ・リポジトリに定義されていないか、定義されてい

ても、現行の CONTEXT 割り当て内に定義されていません。

システムの処置: EYU9XDBT 処理は、次のコマンドに進みます。

ユーザーの処置: 指定されたオブジェクトが定義済みであることが分かっている場合は、それが以前に設定した CONTEXT 値に該当することを確認してください。そうでない場合は、オブジェクト名自体を訂正する必要があります。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1428I I *objecttype objectname* のオブジェクト
削除が成功しました (**Object deletion
successful for *objecttype objectname***)

説明: REMOVE コマンドの後にあるオブジェクトが削除されました。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは続けられます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1429E E *objecttype objectname* のオブジェクト
削除が失敗しました (**Object Deletion
failed for *objecttype objectname***)

説明: REMOVE コマンドの後にあるオブジェクトを削除できませんでした。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: EYU9XDBT ジョブを編集し、有効な リソース・タイプを入力してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1430E E **CICSplex SM** フィードバック・デ
ータの開始 (**Start of CICSplex SM
feedback data**)

説明: これは、システムからデータを返すセクションの先頭にマークを付けます。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1431E E CICSplex SM フィードバック・データの終了

説明: これは、システムからデータを返すセクションの末尾にマークを付けます。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1432E E コマンド **verb** は無効です

説明: コマンド **verb** は無効です。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: EYU9XDBT 入力ストリームを訂正してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1433E E 必須リソース名パラメーターが省略されました

説明: 有効なパラメーターがありません。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: EYU9XDBT 入力ストリームを訂正してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1434E E 必須リソース・タイプ・パラメーターが省略されました

説明: 有効なリソース・タイプがありません。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: EYU9XDBT 入力ストリームを訂正してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1435E E コマンド・パラメーターが繰り返されています

説明: バッチ・プログラムで、1 つのコマンド・パラメーターが 2 回使用されています。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: EYU9XDBT 入力ストリームを訂正してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1436E E このプログラムでバージョン ID *version* は使用できません (**Version ID *version* is not allowed for this program**)

説明: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは、CICS TS 1.3 および CICS TS 2.2 をサポートします。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: 正しいレベルの CICS TS を使用していることを確認してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1437E E *DDname* データ・セットが空です (***DDname* data set is empty**)

説明: 指定されたデータ・セットが空であるか、ありません。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: データ・セットが存在し、中身があることを確認してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1439E E リソース名の長さはリソース・キーの長さ以下にする必要があります。

説明: リソース名の長さがキーの長さより長くなっています。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: EYU9XDBT 入力ストリームを訂正してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1440S S *resourceName* データで **TPARSE** が失敗しました: *status*

説明: CICSplex SM TPARSE コマンドが、リソース・テーブル・レコードの属性データへのアクセスに失敗しました。TPARSE REXX コマンドの STATUS オプションについて詳しくは、CICSplex SM コマンドを参照してください。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: 使用中の CICSplex SM のバージョンで、入力ストリームが有効であることを確認してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1441S S *resourceName* データで **TBUILD** が失敗しました: *status*

説明: CICSplex SM TBUILD コマンドは、提供されたデータからの CICSplex SM 定義または CICS リソース・テーブル・レコードの作成に失敗しました。*status* は、TBUILD コマンドによって戻される STATUS オプションです。TBUILD REXX コマンドの STATUS オプションについて詳しくは、CICSplex SM コマンドを参照してください。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: 使用中の CICSplex SM のバージョンで、入力ストリームが有効であることを確認してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1442S S *DDname* データ・セット読み取り中に入出力エラーが発生しました (**I/O error occurred reading *DDname* data set**)

説明: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーが、データ・セットにアクセスできません。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: フィードバック・コードの *cpsmresponse* および *cpsmreason* を確認して、フィードバックの再使用の障害を識別してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1443S S CICSplex SM **FEEDBACK**

OBJECT データを使用できません。

(CICSplex SM FEEDBACK OBJECT data is not available:)

RESP=cpsmresponse REASON=cpsmreason

説明: CICSplex SM がレコードの受信の準備の際にバッファを作成できません。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: フィードバック・コードの *cpsmresponse* および *cpsmreason* を確認して、フィードバックの再使用の障害を識別してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1444S S CICSplex SM **FEEDBACK** データを使用できません。(**CICSplex SM FEEDBACK data is not available:)**
RESP=cpsmresponse REASON=cpsmreason

説明: フィードバック・バッファが作成されましたが、そのバッファにデータを設定するために使用可能なフィードバック・データがありません。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: フィードバック・コードの *cpsmresponse* および *cpsmreason* を確認して、フィードバックの再使用の障害を識別してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1445S S CICSplex SM **FEEDBACK**を抽出できません (**CICSplex SM FEEDBACK cannot be extracted**)

説明: このユーティリティーが属性を受信しましたが、CICSplex SM はフィードバック・データを提供できません。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: その他のメッセージを調べて、問題の原因を判別してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1446E E CICSplex SM API
RESPONSE=*cpsmresponse*
REASON=*cpsmreason*

説明: このメッセージは、他のメッセージの一部として発行されます。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: *cpsmresponse* コードおよび *cpsmreason* コードを調べて、エラーの原因を識別してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1447I I オブジェクト *resourceType*
resourceName は、既存のレコードと重複しています。 (**Object *resourceType* *resourceName* is a duplicate of an existing record.**) レコード作成はスキップされました

説明: レコードは既に存在しています。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは続けられます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1448E E データ・ストリームは拒否されました

説明: このメッセージは、他のメッセージの一部として発行されます。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: 最初のメッセージを参照して、実行する処置を判断してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1449W W **OPTION** 値に続くデータは無視されました

説明: **OPTION** パラメーターに関連付けられている値の後に、無効なデータまたは追加データがあります。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは続けられます。

ユーザーの処置: ファイルを編集し、そのデータを削除または変更してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1450I I *responseOption* プロセス **OPTION** が *responseValue* に設定されています
(*responseOption* **process OPTION has been set to *responseValue***)

説明: *responseOption* の値は、FEEDBACK または DUPREC のいずれかです。FEEDBACK オプションの *responseValue* の値は、QUIET または VERBOSE のいずれかです。DUPREC オプションの *responseValue* の値は、SKIP、OVERWRITE、または REJECT です。詳しくは、CICS アプリケーション開発のリファレンスを参照してください。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは続けられます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1451I I *resourcetype* *resourcename* のオブジェクト更新が成功しました (**Object Update successful for *resourceType* *resourceName***)

説明: オブジェクトが正常に更新されました。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは続けられます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1452E E **OPTION** コマンド **verb** は無効です

説明: **OPTION** コマンド **verb** は、DUPREC または FEEDBACK のいずれかです。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは続けられます。

ユーザーの処置: コマンドの構文を確認してください。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1453W W *responseOption* **OPTION** は無効であるため、強制的に *responseValue* に設定されました (*responseOption* **OPTION is invalid and has been forced to responseValue**)

説明: *responseOption* の値は、FEEDBACK または DUPREC のいずれかです。FEEDBACK オプションの *responseValue* の値は、QUIET または VERBOSE のいずれかです。DUPREC オプションの *responseValue* の値は、SKIP、OVERWRITE、または REJECT です。詳しくは、CICS アプリケーション開発のリファレンスを参照してください。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは続けられます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1454E E **ModelType** モデル・レコードは無効であるため無視されました (**ModelType the model record is invalid, and has been ignored**)

説明: モデル・レコードが無効です。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは続けられます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1456E E **ResourceType** の名前は無効です

説明: CICSplex、領域、またはグループを無効な名前 (つまり、CICSplex SM の命名標準に準拠していない名前) で定義しようとしてしました。

システムの処置: プログラムは残りのコマンド・ストリームを拒否して、戻りコード 8 で終了します。

ユーザーの処置: CICSplex SM 命名標準に準拠した名前を指定する必要があります。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1457I I エクスポートは **ResourceType** レコードではサポートされていません (**Export is not supported for ResourceType records**)

説明: EXPORT でサポートされていないレコード・タイプ、ResourceType に対する EXPORT 要求が、CICSplex SM バッチ・ユーティリティーに発行されました。

システムの処置: EXPORT 要求は無視され、CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは続けられます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1458I I *numberof records* レコードがファイル *DDname* へのエクスポートでスキップされました

説明: これは、プラットフォームに属しているために、指定された出力ファイルにエクスポートされなかったレコード数を報告します。

システムの処置: 指定された出力ファイルが作成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1459I I 重複 **CONTEXT** *context* は無視されました。

説明: CONTEXT コマンドは、以前の CONTEXT コマンドが同じコンテキスト名を指定していたので無視されました。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XDBT

宛先: SYSPRINT

EYUXU1460E E *resourcetype resourcename* のオブジェクト作成が失敗しました

説明: エラーが検出されたため、オブジェクト更新が失敗しました。

システムの処置: CICSplex SM バッチ・ユーティリティーは停止します。

ユーザーの処置: このメッセージの後に、CPSM UPDATE API の失敗について記述するメッセージ EYUXU1446E が続きます。冗長フィードバック・オプションを指定している場合は、EYUXU1430 も続きます。これは、エラー・コードなどのエラー・フィードバック・データを含んでいるセクションの先頭にマークを

付けます。エラー・フィードバック情報を確認して、エラーを訂正し、アクションを再試行してください。

モジュール: EYU9XDBT

EYUXZnnnn メッセージ

EYUXZ0001I I トレース・サービスの終了が完了しました (**Trace Services termination complete**)

説明: トレース・サービス・サブコンポーネントが終了しました。

システムの処置: CICSplex SM は、CICS トレース・データ・セットに対してユーザー・トレース・レコードを発行できなくなりました。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU0XZTM、EYU3XZTM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXZ0002E E ファイル名 *filename* をオープンできませんでした。 (**Filename *filename* could not be opened.**)

説明: EYU9XZUT トレース・フォーマット・ユーティリティで使用する、指定されたファイルがオープンできませんでした。ここで、

filename

ファイルを SYSIN、TRCEIN、または TRCEOUT として示します。

システムの処置: トレース・フォーマット・ユーティリティは終了します。

ユーザーの処置: 適切な DD ステートメントが JCL に含まれており、指定されたファイルが存在することを確認してください。ジョブを再サブミットしてください。サンプル JCL については、Troubleshooting CICSplex SM のマニュアルを参照してください。

モジュール: EYU9XZUT

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXZ0003E E コンポーネント *text* は有効な CPSM コンポーネントではありません。 (**Component *text* is not a valid CPSM component.**)

説明: 無効なコンポーネント ID が、EYU9XZUT トレース・フォーマット・ユーティリティの COMPID= オプションに指定されました。ここで、

text 指定された内容です。

宛先: SYSPRINT

システムの処置: トレース・フォーマット・ユーティリティは終了します。

ユーザーの処置: コンポーネント ID を訂正してから、ジョブを再実行依頼してください。有効なコンポーネント ID のリストについては、Troubleshooting CICSplex SM のマニュアルを参照してください。

モジュール: EYU9XZUT

宛先: SYSPRINT

EYUXZ0004I I 訂正して、再実行依頼してください。

説明: このメッセージは、1 つ以上の EYUXZnnnnE メッセージの後に出力され、それらのメッセージは EYU9XZUT トレース・フォーマット設定・ユーティリティに関する問題を説明します。

システムの処置: トレース・フォーマット・ユーティリティは終了します。

ユーザーの処置: 前のメッセージで説明されている問題を訂正してから、ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU9XZUT

宛先: SYSPRINT

EYUXZ0005E E キーワード *text* は有効な選択基準キーワードではありません。 (**Keyword *text* is not a valid selection criteria keyword.**)

説明: 無効なキーワードが、EYU9XZUT トレース・フォーマット・ユーティリティに対して指定されました。ここで、

text 指定された内容です。

システムの処置: トレース・フォーマット・ユーティリティは終了します。

ユーザーの処置: キーワードを訂正してから、ジョブを再実行依頼してください。有効な EYU9XZUT オプションのリストについては、Troubleshooting CICSplex SM のマニュアルを参照してください。

モジュール: EYU9XZUT

宛先: SYSPRINT

EYUXZ0006I I オプション ALL が想定されます。 (**Option ALL is assumed.**)

EYUXZ0007E E • EYUXZ0012I I

説明: EYU9XZUT トレース・フォーマット・ユーティリティーで選択基準が指定されなかったため、トレース・データ・セット内のすべてのトレース・レコードがフォーマット設定されます。

システムの処置: トレース・フォーマット設定は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU9XZUT

宛先: SYSPRINT

EYUXZ0007E E シーケンス番号が数値ではありません (Sequence number not numeric)

説明: 入力レコード内のシーケンス番号またはタスク番号が数値ではありません。

システムの処置: プログラムは、エラーのあるレコードを無視して、その他のユーザー入力の処理を続行します。

ユーザーの処置: 問題を訂正してから、ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU9XZUT

宛先: SYSPRINT

EYUXZ0008W W ファイル名 *filename* が必要です。処理は終了します。

説明: EYU9XZUT トレース・フォーマット・ユーティリティーに必要な指定されたファイルが使用できませんでした。ここで、

filename

ファイルが TRCEIN であるか、TRCEOUT であるかを示します。

システムの処置: トレース・フォーマット・ユーティリティーは終了します。

ユーザーの処置: 適切な DD ステートメントが JCL に含まれており、指定されたファイルが存在することを確認してください。ジョブを再サブミットしてください。サンプル JCL については、Troubleshooting CICSplex SM のマニュアルを参照してください。

モジュール: EYU9XZUT

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXZ0010E E トレース・サービスの終了に失敗しました (Trace Services termination failed)

説明: トレース・サービス・サブコンポーネントを終了する際にエラーが発生しました。

システムの処置: CICSplex SM は、CICS トレース・データ・セットに対してユーザー・トレース・レコードを発行できなくなりました。このエラーが発生する前に、トレース・レコードがデータ・セットに書き込まれた可能性があります

ユーザーの処置: 例外トレース・レコードと、このメッセージより前に発行されたメッセージを調べて、問題の原因を判別してください。

モジュール: EYU0XZTM

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXZ0011E E 内部 SORT が失敗しました。理由については、SORT メッセージを調べてください。 (Internal SORT failed - examine SORT messages for reason.)

説明: EYU9XZUT トレース・フォーマット・ユーティリティーが内部ソート操作を試みている間にエラーが発生しました。

システムの処置: トレース・フォーマット・ユーティリティーは終了します。

ユーザーの処置: 付随するソート・メッセージを調べて、問題の原因を判別してください。問題を訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

モジュール: EYU9XZUT

宛先: SYSPRINT

EYUXZ0012I I 時刻および日付は *type* 時刻調整を使用してフォーマット設定されます。 (Time and date will be formatted using *type* time adjustments.)

説明: EYU9XZUT は、*type* CPSM 時刻調整または CVT 時刻調整を使用して、すべての時刻および日付をフォーマット設定します。

CPSM 時刻調整

CMAS または MAS の CPSM 定義の時間帯および時間帯オフセット

CVT 時刻調整

CMAS または MAS が実行されたシステム上の CVT からの時間帯オフセットおよびうるう秒調整。

システムの処置: フォーマットされたトレース・レコード内のすべての時刻および日付は、指定どおりに調整されました。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9XZUT

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXZ0013I I シーケンス番号 *nnnnnnnnnn* から、時刻および日付のフォーマット設定が **CPSM** 時間調整を使用するように切り替えられました。(Time and date formatting has been switched to use CPSM time adjustments, starting with sequence number *nnnnnnnnnn*.)

説明: 時刻および日付のフォーマット設定時、指定されたトレース・レコード・シーケンス番号 *nnnnnnnnnn* から、EYU9XZUT が CVT 調整から CPSM 調整に使用を切り替えます。さまざまなタイプの時間調整に関する情報については、メッセージ EYUXZ0012I の説明を参照してください。

システムの処置: 指定されたシーケンス番号で始まるフォーマットされたトレース内のすべての時刻および日付は、CMAS または MAS の CPSM 時間帯および時間帯オフセットを使用して調整されています。

ユーザーの処置: なし

モジュール: EYU9XZUT

宛先: コンソールおよび SYSPRINT

EYUXZ0100I I *date time applid* **MAS** トレース処理長期実行タスクを開始しました。

説明: MAS トレース処理長期実行タスク、XZLT は、CMAS で正常に開始されました。

システムの処置: CMAS初期化は続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0XZLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUXZ0101I I *date time applid* **MAS** トレース処理長期実行タスクを終了しました。

説明: MAS トレース処理長期実行タスク、XZLT が、CMAS で正常に終了しました。

システムの処置: CMAS の終了が続行されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: EYU0XZLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: COLG

EYUXZ0102E E *date time applid* **MAS** トレース処理長期実行タスクが異常終了しました。

説明: MAS トレース処理長期実行タスク、XZLT が、CMAS で異常終了しました。

システムの処置: CMAS の実行は続行されます。

ユーザーの処置: CMAS から AUXTRACE データ・セットおよび完全なジョブ出力を収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XZLT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXZ0901I I *date time applid* この **CMAS** のダンプ、コード (*dumpcode*) が、**CMAS** (*cmasname*) より要求されました。

説明: この CMAS のダンプ (*dumpcode* はダンプに関連付けられているコードです) が、別の CMAS (*cmasname* は要求している CMAS の名前です) によって要求されました。この CMAS でダンプが取られる場合、*dumpcode* はダンプのタイトルに含まれます。

システムの処置: この CMAS のダンプが要求されます。それが成功すると、その後にダンプのタイトルが組み込まれたメッセージ EYUXZ0910I が発行されます。失敗すると、その後にメッセージ EYUXZ0913E が発行されます。その後、処理は続行されます。

ユーザーの処置: 以下のいずれかのメッセージを発行した要求 CMAS のジョブ・ログを参照してください。

EYUXZ0902I, EYUXZ0903I, EYUXZ0904I, EYUXZ0905I

次に、そのメッセージの説明を参照して、応答方法を判別してください。

モジュール: EYU0XZSD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dumpcode*

5. *cmasname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXZ0902I I *date time applid* この **CMAS** は、この **CMAS** および **CMAS** (*cmasname*) のダンプ、コード (*dumpcode*) を要求しました。

説明: この **CMAS** および直接的または間接的にこの **CMAS** に接続されている別の **CMAS** (*cmasname* は接続されている **CMAS** の名前です) のダンプが、この **CMAS** によって要求されました。コード、*dumpcode* は両方のダンプに関連付けられており、ダンプのダンプ・タイトルに含まれます。

システムの処置: この **CMAS** および *cmasname* として示される **CMAS** のダンプが要求されます。これにより、メッセージ EYUXZ0901I が発行されます。ダンプが正常にとられると、その後にダンプのタイトルが組み込まれたメッセージ EYUXZ0910I が発行されます。ダンプに失敗すると、その後にメッセージ EYUXZ0913E が発行されます。その後、処理は続行されます。

ユーザーの処置: 問題を示す追加メッセージを要求 **CMAS** のジョブ・ログで探して、それらのメッセージの説明を参照し、応答方法を判別してください。他のメッセージがない場合は、両方の **CMAS** から完全なジョブ出力、AUXTRACE データ・セット、およびダンプを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XZSD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dumpcode*
5. *cmasname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXZ0903I I *date time applid* この **CMAS** は、この **CMAS** とすべての接続された **CMAS** のダンプ、コード (*dumpcode*) を要求しました。

説明: この **CMAS** および直接的または間接的にこの **CMAS** に接続されているすべての **CMAS** のダンプが、この **CMAS** によって要求されました。コード、*dumpcode* はすべてのダンプに関連付けられており、ダンプのダンプ・タイトルに含まれます。

システムの処置: この **CMAS** および接続されているすべての **CMAS** のダンプが要求されます。接続されている **CMAS** はメッセージ EYUXZ0901I を発行します。

ダンプが正常にとられると、その後にダンプのタイトルが組み込まれたメッセージ EYUXZ0910I が発行されます。ダンプに失敗すると、その後にメッセージ EYUXZ0913E が発行されます。その後、処理は続行されます。

ユーザーの処置: 問題を示す追加メッセージを要求 **CMAS** のジョブ・ログで探して、それらのメッセージの説明を参照し、応答方法を判別してください。他のメッセージがない場合は、すべての **CMAS** から完全なジョブ出力、AUXTRACE データ・セット、およびダンプを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XZSD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dumpcode*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXZ0904I I *date time applid* この **CMAS** は、この **CMAS** と **CICSplex** (*plexname*) を管理するすべての接続された **CMAS** のダンプ、コード (*dumpcode*) を要求しました。

説明: この **CMAS** および直接的または間接的にこの **CMAS** に接続されていて特定の **CICSplex** を管理するすべての **CMAS** のダンプが、この **CMAS** によって要求されました。ここで、*plexname* は **CICSplex** の名前です。コード、*dumpcode* はすべてのダンプに関連付けられており、ダンプのダンプ・タイトルに含まれます。

システムの処置: この **CMAS** およびこの **CMAS** に接続されていて **CICSplex** *plexname* を管理するすべての **CMAS** のダンプが要求されます。接続されている **CMAS** はメッセージ EYUXZ0901I を発行します。ダンプが正常にとられると、その後にダンプのタイトルが組み込まれたメッセージ EYUXZ0910I が発行されます。ダンプに失敗すると、その後にメッセージ EYUXZ0913E が発行されます。その後、処理は続行されます。

ユーザーの処置: 問題を示す追加メッセージを要求 **CMAS** のジョブ・ログで探して、それらのメッセージの説明を参照し、応答方法を判別してください。他のメッセージがない場合は、すべての **CMAS** から完全なジョブ出力、AUXTRACE データ・セット、およびダンプを収集して、IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XZSD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dumpcode*
5. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXZ0905I I *date time applid* この **CMAS** は、この **CMAS** と **CICSplex (plexname)** のワークロード (*wkldname*) を管理するすべての接続された **CMAS** のダンプ、コード (*dumpcode*) を要求しました。

説明: この **CMAS** および直接的または間接的にこの **CMAS** に接続されていて特定のワークロードを管理するすべての **CMAS** のダンプが、この **CMAS** によって要求されました。ここで、*wkldname* はワークロードの名前であり、*plexname* はそのワークロードが関連付けられている **CICSplex** の名前です。コード、*dumpcode* はすべてのダンプに関連付けられており、ダンプのダンプ・タイトルに含まれます。

システムの処置: この **CMAS** およびこの **CMAS** に接続されていて **CICSplex plexname** のワークロード *wkldname* を管理するすべての **CMAS** のダンプが要求されます。接続されている **CMAS** はメッセージ **EYUXZ0901I** を発行します。ダンプが正常にとられると、その後にダンプのタイトルが組み込まれたメッセージ **EYUXZ0910I** が発行されます。ダンプに失敗すると、その後にメッセージ **EYUXZ0913E** が発行されます。その後、処理は続行されます。

ユーザーの処置: 問題を示す追加メッセージを要求 **CMAS** のジョブ・ログで探して、それらのメッセージの説明を参照し、応答方法を判別してください。他のメッセージがない場合は、すべての **CMAS** から完全なジョブ出力、**AUXTRACE** データ・セット、およびダンプを収集して、**IBM** サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU0XZSD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dumpcode*
5. *wkldname*
6. *plexname*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXZ0910I I *date time applid dump_title*。

説明: このメッセージは、**SDUMP** が **CPSM** リカバリーによって要求されたことを示します。ここで、

applid

ダンプを要求した **CICS** システムのアプリケーション ID です。

dump_title

システム・ダンプ・ルーチンに渡されるタイトル・ストリングです。

システムの処置: 現在の領域、**ESSS** アドレス・スペース、および要求タスク内でアクセスされているコンポーネントのキャッシュ・データ・スペースを含む、**SDUMP** が要求されました。

ユーザーの処置: 以下の情報をできる限り収集して、**IBM** サポートにお問い合わせください。

- ダンプが取られたジョブのジョブ・ログ。ジョブ・ログを使用できない場合は、システム・ログを取得します。
- **EYULOG** ファイル。**CMAS** のダンプが取られた場合、その **CMAS** の **EYULOG** ファイル。**MAS** のダンプが取られた場合、**MAS** が接続されていた **CMAS** の **EYULOG**。
- 不定様式 **SVC** ダンプ (**SDUMP**)。メッセージ内のダンプ・タイトルは、必要なダンプを識別するために使用できます。
- **AUXTRACE** ファイル。**MAS** のダンプが取られたが、**AUXTRACE** がその **CICS** システムでアクティブでなかった場合は、**MAS** が接続した **CMAS** の **AUXTRACE** ファイル。

モジュール: EYU0XZPT、EYU0XZSD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *dump_title*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXZ0911W W *date time applid method* ESDUMP
が NEVER に設定されているため、ダンプが抑止されました。

説明: ESDUMP EYUPARM の値が NEVER であるため、SVC ダンプのオンデマンド要求が抑止されました。ここで、

method

ダンプを抑止した CPSM メソッドを以下で示します。

EYU0XZPT

EYU0XZSD

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: SVC ダンプを抑止すると、問題をデバッグする機能に影響することがあります。SVC ダンプ抑止をアクティブにすることで問題が発生した場合、問題についてデバッグを実行するには、その前にユーザーが SVC ダンプ抑止をアクティブにせずに問題を再現することが必要な場合があります。ESDUMP は NEVER に設定しないことが、CICSplex SM サービスで強く推奨されます。

モジュール: EYU0XZPT、EYU0XZSD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *method*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXZ0912W W *date time applid* ジョブ (*ins#1*) 日付 (*ins#2*) 時刻 (*ins#3*) について
ESDUMPLIMIT に達したため、
EYU0XZPT ダンプが抑制されました。

説明: SVC ダンプが要求されましたが、抑制されました。CICSplex SM システム・パラメーター ESDUMP が NO に設定され、かつこのプログラム名、異常終了コード、オフセット、および領域タイプ (CMAS または MAS) の組み合わせで要求されたダンプの数が CICSplex SM システム・パラメーター ESDUMPLIMIT で指定された値を超えているためです。

<jobname>

最後の異常終了がキャプチャーされたときの CICS システムのジョブ名です。

<dd/mm/yyyy>

最後の異常終了がキャプチャーされた日付です。

<hh:mm:ss>

最後の異常終了がキャプチャーされた時刻です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: これは正常であり、新しいダンプが必要ない限り、これは無視できます。新しいダンプが必要な場合は、ESDUMP パラメーターを YES に設定し、問題を再現してから、ESDUMP を NO に再設定してください。Troubleshooting CICSplex SM 内の ESDUMP および ESDUMPLIMIT の資料を参照してください。

モジュール: EYU0XZPT

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. *ins#1*
5. *ins#2*
6. *ins#3*

宛先: コンソールおよび COLG

EYUXZ0913E E *date time applid* SDUMPX を取る要求は、戻りコード X'*retcde*'、理由コード X'*reason*' で失敗しました。

説明: この CICS 領域によって出された SDUMPX 要求は、正常完了に失敗しました。ここで、*retcde* は 16 進数の戻りコードです。*reason* は、SDUMPX マクロによって返される 16 進数の理由コードです。

システムの処置: このメッセージは発行されますが、ダンプは取られません。その後、処理は続行されます。

ユーザーの処置: SDUMPX マクロを文書化している「z/OS Authorized Assembler Services Reference」マニュアルを参照して、戻りコードおよび理由コードの意味を判別してください。

モジュール: EYU0XZPT、EYU0XZSD

XMEOUT パラメーター/メッセージの挿入部分:

1. *date*
2. *time*
3. *applid*
4. X'*retcde*'
5. X'*reason*'

宛先: コンソールおよび COLG

COD0 メッセージおよび CODB メッセージ

以下のメッセージは、CICSplex SM COD0 および CODB デバッグ・トランザクションから発行されます。

IBM サポート担当員と作業していないときにこれらのメッセージを受信した場合は、以下の情報を収集して IBM サポートにお問い合わせください。

- エラー・メッセージ
- トランザクション・ダンプ
- その他の適切な診断情報

COD0 メッセージ

COD0 メッセージ

COD0 は異常終了します (COD0 IS ABENDING!) EIBFN: fcode RESP1:

resp1code RESP2: resp2code RC: rcode

COD0 デバッガー・トランザクションでエラーが検出され、このエラーからリカバリーできませんでした。トランザクションは終了し、CICS 端末にこのメッセージが発行されます。CICSplex SM 制御ブロック・チェーンを保護するため、CICS 異常終了は発生しません。

このメッセージには以下の診断情報が含まれています。

fcode DFHEIBFN により返される最終の CICS コマンド機能コード。

resp1code

CICS コマンドにより返される最終の RESP コード。

resp2code

CICS コマンドにより返される最終の RESP2 コード。

rcode 理由コード。次のいずれかです。

- 01** COD0 の代わりに DBG1 内部トランザクションが発行されました。デバッガーを開始するには COD0 トランザクションを使用してください。
- 02** 端末に関する情報の要求中に CICS エラーが発生しました。
- 03** CICS から非 3270 スタイルの端末が報告されました。
- 04** 端末の幅が 80 文字ではありません。デバッガーは 80 文字モード (モデル 2 から 4) でのみ実行されます。
- 06** COD0 ATTACH コマンドが使用する DBG9DBG3 モジュールを、MVS LOAD コマンドがロードできませんでした。
- 07** 内部エラー開始されたタスクと生成されたタスクのテーブルで、エントリーが使用可能であることが示されていましたが、使用可能なエントリーが見つかりませんでした。
- 11** 開始されたタスク、生成されたタスク、および割り振られたリソースをリストするための CICS WRITE TS コマンドが失敗しました。

- 12 CICS GETMAIN コマンドが失敗しました。
- 13 CICS PUSH HANDLE コマンドが失敗しました。
- 14 CICS POP HANDLE コマンドが失敗しました。
- 15 内部エラースタック・フレーム要求が発行されましたが、最大許容フレーム数を超えた可能性があります。
- 16 CICS HANDLE ABEND コマンドが失敗しました。
- 17 内部エラー端末バッファへ行を追加する要求が発行されましたが、最大許容行数を超えた可能性があります。
- 18 内部エラー端末バッファ・サイズの計算が正しくありません。
- 20 CICS CONVERSE コマンドが失敗しました。
- 21 内部エラー端末バッファ内にあるはずの属性が見つかりませんでした。
- 22 カーネル・リンケージ・キャッシュを作成するためのキャッシュ作成メソッドの呼び出しが失敗しました。
- 23 内部エラーパネルのフィールド数と、パネル・プロセッサに渡されたフィールド数が一致しませんでした。
- 24 内部エラーパネル・ヘッダーのフィールド数と、パネルで検出された数が一致しませんでした。
- 25 内部エラー要求されたパネルが見つかりませんでした。
- 26 CICS FREEMAIN コマンドが失敗しました。
- 27 内部エラーメッセージ番号がメッセージ・テーブルで見つかりませんでした。
- 28 COD0 ATTACH コマンドに必要なプログラム EYU9XLCI が、CMAS 初期設定時にロードされておらず、MVS LOAD コマンドによりロードできませんでした。
- 29 CICSplex SM XLWA が見つからなかったか、あるいはその目印を検証できませんでした。
- 30 内部エラー XLTD (メソッド・テーブル) エントリーのフィールドの長さが、予期された長さ (1 バイトまたは 2 バイト) ではありませんでした。
- 31 COD0 START コマンドが使用する DBG9DBG2 モジュールを、MVS LOAD コマンドがロードできませんでした。
- 32 COD0 ATTACH コマンドの出力で、メッセージ引数リスト (MAL) の長さが 256 バイトを超えていることが検出されました。

CODB メッセージ

これらのメッセージは、CODB 表示パネルの下部にある「MSG==>」フィールドに表示されます。

指定された ALET が有効ではありません。(THE SPECIFIED ALET IS NOT A VALID ONE.)

「ALET== >」フィールドに入力された値、または PF22 により選択された値が、有効な ALET ではありません。

DISPLAY コマンドが無視されました。カーソルが有効なフィールド上にありません。(DISPLAY COMMAND IGNORED, CURSOR NOT ON VALID FIELD.)

PF9、PF10、または PF22 が押されましたが、表示アドレスを開発するために使用できるフィールド上にカーソルがありませんでした。

メモリーを変更するには PF11 を押してください。(TO ALTER MEMORY, PF11.) 画面のメモリー表示部分が変更されました。この変更を有効にするには、PF11 を押してください。

表示後にメモリーが変更されました。変更を有効にするには PF11 を押してください。(MEMORY CHANGED SINCE DISPLAY, PF11 TO ALTER.)

変更対象のメモリー・ロケーションのデータの表示後に、このデータが変更されました。この変更を有効にするには、PF11 を押してください。

ロケーション *address* でデータがフェッチ保護されています。(DATA IS FETCH PROTECTED AT LOCATION *address*)

保護ストレージのメモリーを表示しようとしてしました。既存の表示画面をスクロールしたことによりこの問題が発生した場合は、表示画面は自動的に調整されます。*address* は、表示できないストレージ・ロケーションを示します。

ロケーション *address* でデータが保管保護されています。(DATA IS STORE PROTECTED AT LOCATION *address*)

保護されているメモリーを変更しようとしてしました。*address* は、変更できないストレージ・ロケーションを示します。

現在のコマンドでは 'NEXT' PF キーがアクティブではありません。('NEXT' PFKEY NOT ACTIVE FOR CURRENT COMMAND.)

現在のコマンドまたは表示モード (「ADDR」フィールド、PF9、PF10、または PF22 で示される) は、NEXT 機能をサポートしていません。

現在のコマンドでは、'PREVIOUS' PF キーはアクティブではありません。('PREVIOUS' PFKEY NOT ACTIVE FOR CURRENT COMMAND.)

現在のコマンドまたは表示モード (ADDR フィールド、PF9、PF10、または PF22 で示される) は、PREVIOUS 機能をサポートしていません。

カーソルが有効なキュー/キャッシュ・トークンを指していません。(CURSOR NOT ON VALID QUEUE/CACHE TOKEN.)

PF13 が押されましたが、カーソルが指しているデータが有効なキュー・トークンではありません。

要求されたキュー/キャッシュ・トークンが見つかりません。(REQUESTED QUEUE/CACHE TOKEN CANNOT BE FOUND.)

キュー・トークンによって定義されているキューはもう存在しません。

キュー/キャッシュの終わりに到達したか、またはキュー/キャッシュが空です。(END OF QUEUE/CACHE OR QUEUE/CACHE EMPTY.)

NEXT 機能の要求時にキューが空であるか、キューの終わりに達しました。

現在の表示画面では 'TOP' がアクティブではありません。(**'TOP' NOT ACTIVE FOR CURRENT DISPLAY.**)

現在のコマンドまたは表示モード (「ADDR」フィールド、PF9、PF10、または PF22 で示される) は、TOP 機能をサポートしていません。

現在の表示画面では 'BOTTOM' がアクティブではありません。(**'BOTTOM' NOT ACTIVE FOR CURRENT DISPLAY.**)

現在のコマンドまたは表示モード (「ADDR」フィールド、PF9、PF10、または PF22 で示される) は、BOTTOM 機能をサポートしていません。

予期しない異常終了が発生しました。ダンプが取られ、トランザクションが再開されます。(**AN UNEXPECTED ABEND OCCURRED, DUMP TAKEN, AND RESTARTING THE TRANSACTION.**)

CODB トランザクションが終了し、自動的に再始動されます。この問題は、CICSplex SM 制御ブロックまたはチェーンの破損が原因で発生することがあります。

CMAS シャットダウン・トランザクション・メッセージ

以下のメッセージは、CICSplex SM シャットダウン・トランザクション COSD によって発行されます。これらは、端末ユーザーが発行する通知専用メッセージです。ユーザー処置は不要です。

CMASSTOP は正常に開始しました (**CMASSTOP SUCCESSFULLY INITIATED**)

CMAS シャットダウン・プロセスが開始されました。

CMASSTOP が要求されました。システムが **CMAS** ではありません。無視されます。(**CMASSTOP REQUESTED, SYSTEM NOT A CMAS - IGNORED**)

COSD トランザクションは CMAS のシャットダウンにのみ使用できます。トランザクションは無視されます。

第 3 章 CICSplex SM 異常終了コードおよびダンプ・コード

異常条件が発生すると、CICSplex SM は通常の方法でリカバリーして、通常の処理を続行しようとします。場合によっては、このようなりカバリーを阻止または不可能にする条件が発生し、タスク、コンポーネント、またはシステムが終了することがあります。このような状況では、異常終了コードまたはダンプ・コードが発行されます。

CICS 異常終了コードおよびダンプ・コード

異常終了コードまたはダンプ・コードに対処するために IBM に連絡する必要がある場合は、できるだけ多くの診断情報を収集してください。

IBM サポートが問題を診断するために必要な診断情報を以下に示します。

- MAS のジョブ・ログ。
- MAS が接続されていた、または接続を試行していた CMAS の EYULOG。
- MAS の CICS TRANDUMP データ・セット。CICS DFHDUP ユーティリティーを使用してダンプ・データ・セットをフォーマットしてください。
- MAS の CICS AUXTRACE データ・セット (使用可能な場合)。Using trace in CICSplex SMの説明に従い、EYU9XZUT トレース・フォーマット・ユーティリティーを使用してデータ・セットをフォーマットしてください。また、フォーマットされていないトレース・データ・セットのコピーを保持しておいてください。

EYUI

説明: 初期化設定中にリカバリー不能エラーが発生しました。

システムの処置: MAS の初期設定は終了します。CICS システムは、正常に実行を続けますが、CICSplex SM に認識されていません。

ユーザーの処置: MAS ジョブ・ログを調べ、問題を示している可能性があるメッセージがないか確認してください。該当するメッセージが存在する場合は、それらのメッセージに関連する指示に従い、MAS を再始動してください。メッセージがない場合、または適切なアクションが示されていない場合、指定された診断情報を収集して IBM サポートに連絡してください。

モジュール: EYU9XLEV

EYUK

説明: MAS 初期設定中にリカバリー不能な異常終了が発生したか、または異常終了からのリカバリー時に適切な環境が存在していませんでした。

システムの処置: MAS の初期設定は終了します。CICS システムは、正常に実行を続けますが、CICSplex SM に認識されていません。

システムの処置: 初期設定中にこの異常終了が発生すると、MAS 初期設定は終了します。CICS システムは、正常に実行を続けますが、CICSplex SM に認識されていません。

ユーザーの処置: MAS ジョブ・ログを調べ、問題を示している可能性があるメッセージがないか確認してください。該当するメッセージが存在する場合は、それらのメッセージに関連する指示に従い、必要に応じて MAS を再始動してください。メッセージがない場合、または適切なアクションが示されていない場合、指定された診断情報を収集して IBM サポートに連絡してください。

モジュール: EYU9XLRV

EYUO

説明: CMAS または MAS の環境作成ルーチンが不正に呼び出されました。呼び出しプロセスが CICSplex SM サービスではありませんでした。

システムの処置: CICS システム処理は続行されます。

ユーザーの処置: 以下の点を確認してください。

- CICSplex SM 環境作成の呼び出しを試行しているサイト作成プログラムがない。
- 端末から、あるいは EXEC CICS START を経由して、ユーザーが直接 CICSplex SM TRANIDS を使用しようとしていない。

いずれの状況も該当しない場合は、指定された診断情報を収集して IBM サポートにお問い合わせください。

モジュール: EYU9XL0P

EYUR

説明: 異常終了からのリカバリーを試行した際にエラーが発生しました。

システムの処置: 失敗したタスクは終了します。CICS システムは、正常に実行を続けますが、CICSplex SM に認識されない可能性があります。

ユーザーの処置: MAS ジョブ・ログを調べ、問題を示している可能性があるメッセージがないか確認してください。該当するメッセージが存在する場合は、それらのメッセージに関連する指示に従い、必要に応じて MAS を再始動してください。メッセージがない場合、または適切なアクションが示されていない場合、指定された診断情報を収集して IBM サポートに連絡してください。

モジュール: EYU9XLRV

EYUV

説明: CMAS または MAS の Web ユーザー・インターフェース環境作成ルーチンが不正に呼び出されました。呼び出しプロセスが CICSplex SM サービスではありませんでした。

システムの処置: 失敗したタスクは終了します。トランザクション・ダンプが取られます。CICS システム処理は続行されます。

ユーザーの処置: 以下の点を確認してください。

- CICSplex SM Web ユーザー・インターフェース環境作成の呼び出しを試行しているサイト作成プログラムがない。
- 端末から、あるいは EXEC CICS START を経由して、ユーザーが直接 CICSplex SM TRANIDS を使用しようとしていない。

いずれの状況も該当しない場合は、IBM サポートに連絡してください。

モジュール: EYU0VGIN

EYUX

説明: リモート MAS で例外条件が検出されましたが、その時点では完全な CICSplex 例外トレースを書き込むことができませんでした。この条件は必ずしもアプリケーションの障害ではありませんが、例外条件が報告される場合は通常、通信の問題が発生しています。接続された CMAS には通信例外を送信できません。

システムの処置: 例外を記述するためトランザクション・ダンプが取られます。タスクの実行が続行され、例外条件に対して適切な処置が取られます。

ユーザーの処置: MAS および CMAS のジョブ・ログを調べ、問題 (特に通信ネットワークに関連する問題) を示している可能性があるメッセージがないか確認してください。該当するメッセージが存在する場合は、それらのメッセージに関連する指示に従ってください。メッセージがない場合、または適切なアクションが示されていない場合、指定された診断情報を収集して IBM サポートに連絡してください。

モジュール: EYU9XLEV, EYU9XL0P

EYUY

説明: CMAS 間の接続が異常終了しました。接続の受信タスク・コンポーネントが可能な限りクリーンな状態で終了しようとしたましたが、コンポーネントが引き続きネットワーク受信状態であることが検出されました。このため、この送信状態の明らかな不一致を示すトランザクションの異常終了を CICS が追加で生成しないと、このコンポーネントを終了できません。ただし、報告される接続障害により、このネットワーク状態はリセットできません。この異常終了は、このようなネットワーク状態エラーに関連する通常の CICS 異常終了コードの代わりに発行されます。

システムの処置: CPI-C 受信タスクまたは MRO 受信タスクはこの異常終了により完全に終了します。接続のすべてのタスク・コンポーネントが終了すると、接続ペアのファースト・スピーカー CMAS が接続を再び確立しようとしています。

ユーザーの処置: CMAS ジョブ・ログ、EYULOG、および CICS メッセージ・ログを調べて以前の障害またはエラー状態がないか確認し、該当するメッセージのユーザー応答に従ってください。

モジュール:

EYU0CLCT, EYU0CLCU, EYU0CLMT, EYU0CLMU

Uxxxx 異常終了コード

いずれかの Uxxxx 異常終了コードが出力された場合は、可能な限り多くの診断情報を収集して IBM サポートにお問い合わせください。

使用可能な診断情報のリストについては、437 ページの『CICS 異常終了コードおよびダンプ・コード』を参照してください。

U100

説明: ISPF インターフェースで障害が発生しました。

U1600

説明: PC が利用不可のサービスに対する呼び出しを行いました。

U1700 から U1798

説明: リカバリー・マネージャーが異常終了しました。

U1799

説明: 発生しないはずの状態が発生しました。

U1800

説明: C ハウスキーピング障害が発生したことを示します。

U1801

説明: GSI ハウスキーピングで障害が発生しました。

U1802

説明: GSI ルーター・ハウスキーピングで障害が発生しました。

U1803

説明: トランザクション・マネージャー・ハウスキーピングの障害が発生しました。

U1804

説明: SAS/C 常駐モジュールで障害が発生しました。

U1899

説明: システム環境条件が原因で DYNAEC EPD に障害が発生しました。

U1900

説明: ストレージ・マネージャーで障害が発生しました。

U3000

説明: 組み込みサービス機能ルーチンでエラーが発生しました。

U4000

説明: 疑似 GSI サービス障害が発生したことを示します。

U4080

説明: リカバリー不能な制御タスク・エラーが発生しました。

U4090

説明: サーバーまたはアプリケーションの初期設定エラーが発生しました。

U4095

説明: タスクが PGTERM により終了されました。

システム・ダンプ・コード

以下のいずれかのダンプ・コードが出力されたら、以下の診断情報を収集して IBM サポートにお問い合わせください。

- CMAS のジョブ・ログおよび EYULOG。
- フォーマットされていない SVC ダンプ (SDUMP)。IPCS へのアクセス権限が必要です。

EYUXL001 • EYUXL003

- CMAS の CICS AUXTRACE データ・セット。EYU9XZUT トレース・フォーマット・ユーティリティーを使用してこのデータ・セットをフォーマットしてください。また、フォーマットされていないトレース・データ・セットのコピーを保持しておいてください。

EYUXL001

説明: 初期設定プロセスが失敗しました。

システムの処置: 初期設定は終了します。

モジュール: EYU9XLEV

EYUXL002

説明: 初期設定中にリカバリー・ルーチンに入りました。

システムの処置: 初期設定は終了します。

モジュール: EYU9XLRV

EYUXL003

説明: リカバリー・ルーチンに入りましたが、異常終了から正常にリカバリーできませんでした。

システムの処置: 処理は終了します。

モジュール: EYU9XLRV

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。この資料の他の言語版を IBM から入手できる場合があります。ただし、これを入手するには、本製品または当該言語版製品を所有している必要がある場合があります。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。IBM 製品、プログラムまたはサービスに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない機能的に同等のプログラムまたは製品を使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス渉外

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態で提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様自身の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

*IBM Director of Licensing
IBM Corporation
North Castle Drive, MD-NC119 Armonk,
NY 10504-1785
United States of America*

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確証できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名前はすべて架空のものであり、類似する個人や企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

プログラミング・インターフェース情報

CICS には、プログラミング・インターフェースと見なすことのできる資料と、プログラミング・インターフェースと見なすことのできない資料があります。

オンライン製品資料の以下のセクションには、CICS Transaction Server for z/OS, バージョン 5 リリース 5 のサービスを取得するプログラムをお客様が作成するためのプログラミング・インターフェースが含まれています。

- アプリケーションの開発
- システム・プログラムの開発
- 保護の概要
- 外部インターフェースに向けた開発
- リファレンス: アプリケーション開発
- リファレンス: システム・プログラミング
- リファレンス: 接続

オンライン製品資料の以下のセクションには、CICS Transaction Server for z/OS, バージョン 5 リリース 5 のプログラミング・インターフェースとして意図されていない (プログラミング・インターフェースと誤解される可能性のある) 情報が含まれています。

- トラブルシューティングおよびサポート
- リファレンス: 診断

PDF 形式のマニュアルで CICS 資料にアクセスする場合は、CICS Transaction Server for z/OS, バージョン 5 リリース 5 のサービスを取得するプログラムをお客様が作成するためのプログラミング・インターフェースが以下のマニュアルに含まれています。

- アプリケーション・プログラミング・ガイドおよびアプリケーション・プログラミング・リファレンス
- Business Transaction Services
- Customization Guide
- C++ OO Class Libraries
- Debugging Tools Interfaces Reference
- Distributed Transaction Programming Guide
- External Interfaces Guide
- Front End Programming Interface Guide
- IMS Database Control Guide
- インストール・ガイド
- セキュリティー・ガイド
- Supplied Transactions
- CICSplex SM Managing Workloads
- CICSplex SM Managing Resource Usage
- CICSplex SM アプリケーション・プログラミング・ガイドおよび CICSplex SM アプリケーション・プログラミング・リファレンス
- Java™ Applications in CICS

PDF 形式のマニュアルで CICS 資料にアクセスする場合は、CICS Transaction Server for z/OS, バージョン 5 リリース 5 のプログラミング・インターフェース

として意図されていない (プログラミング・インターフェースと誤解される可能性のある) 情報が以下のマニュアルに含まれています。

- Data Areas
- Diagnosis Reference
- Problem Determination Guide
- CICSplex SM Problem Determination Guide

商標

IBM、IBM ロゴおよび [ibm.com](http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml)[®] は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

インテル、Intel、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Intel Centrino、Intel Centrino ロゴ、Celeron、Intel Xeon、Intel SpeedStep、Itanium、および Pentium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

製品資料に関するご使用条件

これらの資料は、以下のご使用条件に同意していただける場合に限りご使用いただけます。

適用範囲

IBM Web サイトの「ご利用条件」に加えて、以下のご使用条件が適用されます。

個人使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずに、これらの資料またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布 (頒布、送信を含む) または表示 (上映を含む) することはできません。

商用使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示することがで

きます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずにこれらの資料の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で資料またはその一部を複製、配布、または表示することはできません。

権利 ここで明示的に許可されているもの以外に、資料や資料内に含まれる情報、データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。

資料の使用が IBM の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、IBM はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。

お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。

IBM これらの資料の内容についていかなる保証もしません。これらの資料は、特定物として現存するままの状態提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。

IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。多くの場合、ソフトウェア・オファリングにより個人情報が収集されることはありません。IBM の「ソフトウェア・オファリング」の一部には、個人情報を収集できる機能を持つものがあります。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項をご確認ください。

CICSplex SM Web ユーザー・インターフェース（メイン・インターフェース）の場合： このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、認証、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの Cookie および持続的な Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie を無効にすることはできません。

CICSplex SM Web ユーザー・インターフェース（データ・インターフェース）の場合： このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、認証、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名またはその他の個人情報を、セッションごとの Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie を無効にすることはできません。

CICSplex SM Web ユーザー・インターフェース（「Hello World」ページ）の場合： このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、個人情報を収集しないセッションごとの Cookie を使用する場合があります。これらの Cookie を無効にすることはできません。

CICS Explorer® の場合:

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報、セッションごとの設定および持続的な設定を使用して収集する場合があります。これらの設定を無効にすることはできませんが、ユーザー・パスワードの暗号化形式でのディスクへの保管は、サインオン中にチェック・ボックスにチェック・マークを付けることによるユーザーの明示的な操作によってのみ有効化することができます。

この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人を特定できる情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、このような情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンドユーザーへの通知や同意の要求も含まれますがそれらには限られません。

このような目的での Cookie を含む様々なテクノロジーの使用の詳細については、『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』(<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』および『IBM Software Products and Software-as-a-Service Privacy Statement』(<http://www.ibm.com/software/info/product-privacy>) を参照してください。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

